Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

UNIVERSITY OF MICHIGAN
3 9015 04156 5246
B 1,660,221
THE UNIVERSITY OF MICHIGAN · LIBRARIES · 1817
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

第8巻

第6年9号〜12号
昭和3年9月〜12月

不二出版

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

HX
9
.J3
S85a
v.6
no.9-12
1928

一、復刻に際しては原本を若干拡大、縮小した。
一、文章途中の空白及び文字が判読できない部分があるが、これは検閲によるものである。

（不二出版）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

【収録内容】

第六年第 九 号　昭和三（一九二八）年 九 月一日発行
第六年第 十 号　昭和三（一九二八）年 十 月一日発行
第六年第十一号　昭和三（一九二八）年十一月一日発行
第六年第十二号　昭和三（一九二八）年十二月一日発行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級戰鬪雜誌

進め

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和三年九月一日發行　昭和三年八月二十八日印刷納本

第六年 9 第九號

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

解放群書(26)

―解放社編―

―菊判八百頁 全二冊箱入―

定價壹圓 送代拾錢

最新 社會主義隨論集

◇群書第六篇「社會主義隨論集」同第十二篇「續社會主義隨論集」は忽賣切絶版。本書實は「續々社會主義隨論集」なるも、題して「最近社會主義的隨論評資集」と命名。賣るに再び「社會主義隨論集」と廣告するは、只不用の木版を使用せんがためのみ、豈他意あらんや。六篇四百頁、十二篇五百頁然るに本 實に八百頁、上下二册皆箱入、豈賣切れずして可ならんや。

◇本書載するところのものは有らゆる名士闘將學者運動家の、有らゆる題目を捉へての論戰硏評、隨想隨筆、詩歌慷慨。資料あり統計あり、政治に經濟に、世界觀あり、文藝論あり、一卷よく世界を盡くし「壹千名家最近社會主義的隨論評資集」の名、眞に人を欺かず 敢て世に一本を推薦す。

東京市芝區新櫻田町十九 解放及解放群書發行所

解放社

振替東京三六九四四番 電話銀座二〇七七番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民勞働社取次書目

山川均著

資本主義のからくり

二十六版 三十錢

農村振興策批判(杉山)	、一〇錢	社會主義と民族問題(レーニン)	、三〇
唯物史觀解說(河上肇)	、一〇	或同志への書翰(山川)	、一五
プロレタリアの使命(佐谷)	、一〇	前衛と勞働組合(ロソウスキー)	、七〇
人一生の經濟學(河野)	、一〇	レーニン(ロソウスキー)	、三〇
無產青年運動(高橋)	、一五	マルクス評傳(レニン)	、二〇
勞働者の明日(野田)	、一〇	第三インタ小史(コミンタン)	、八〇
無產青年に與ふ(辻井)	、一〇	史的唯物論(ブハーリン)	一、〇〇
社會主義學說大要(堺)	、三〇	何をなすべきか(レニン)	一、〇〇
左翼小兒病(堺)	、三〇	社會運動辭典(田所)	二、〇〇

右は取次書目の一部でありその他に無產階級運動に關する一切の書籍特にパンフレツトを取次する。目錄請求(要二錢)一覽の上注文を乞ふ。送料は一切當社に於て負擔す

東京市芝區二本榎西町二

振替東京七六二七〇番

農民勞働社

進め　九月號

第六年・第九號

卷頭言　御大典と生存權確立の運動……卷頭言（五）

時評

小選擧區制の反動性……町田忍（六）
第三黨樹立運動の批判……佐々木敬三（八）

◉産業合理化と勞働階級……清水寛一（一〇）
◉帝國主義戰爭の危機……町田忍（一四）
◉何が彼等を裏切らせるか……吉田源藏（一八）
◉無産運動の發展策としての青年運動……上杉定義（二三）

資料

□無産黨合同の具體的方法……日本勞農黨（六八）
□京都西陣準備會の解散と日勞黨加盟聲明……京都西陣地方準備會（同）
□立入禁止反對の抗議書……全國農民團體協議會（同）
□對支干涉に對する聲明書……無産大衆黨（同）
□同……社會民衆黨（同）
□時事日誌……（同）
□東京市會腐敗問題に關する聲明……日勞黨東京府聯合會（六五）
□同……社民黨東京府聯合會（六五）
□非戰同盟成る……全國非戰同盟（一七）

◇無産階級當面の任務……羽田光雄（三四）

◇秋和松五郎、佐野學、佐野文夫の裏切行爲に就て大山郁夫、細迫兼光の責任を問ふ……福田狂二（四〇）

全土戰報（四六）

○富農爭議と無産政黨の活躍……進め社本部
○俺達の出産披露……福岡支局
○小作爭議は人民の權利である……全國農民組合
○和歌山の運動……和歌山支局
○秋の暴壓への戰備成る……新潟支局
○立入禁止を蹴飛ばす……奈良支局
○何故の犧牲ぞ……神戸支局

(女)女工たらんとする少女へ……吉田はつ（五二）

(少)勞働者たらんとする少年へ與ふ……吉田源藏（五四）

○大阪窯業セメント爭議批判……永田繁澄（五八）
○板舟權に就いて……（六六）

講座 唯物論及び唯物史觀……神庭仲之介（六〇）

創作

移住地を流れる歲月……本庄陸男（六七）

彷浪者の手記……中島安太郎（七六）

姉と弟……土佐和芳（八〇）

特別讀物

理想郷を作らんとして支那革命に從ふ……福田狂二（八三）

社會主義運動思出話（三）……岡野辰之介（八八）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產階級の獨裁なくして革命藝術の獲得なし（レーニン）

革命藝術大系なくして無產階級藝術なし

本書目次大要

革命と藝術
革命藝術大觀
革命文學論
文壇一般、文壇の中心、新作家の群、作家の自傳、作品の内容、文學雜誌、文壇挿話
革命詩壇
革命美術
美術一般、アッヘル、現代彫刻展覧會
革命樂壇
革命演劇
ルナチャルスキーと演劇、第四研究劇場、芝居を工場の中で打つ、新しい舞臺裝置者
附錄
墓の上に、中隊へ、アジア人から、曠野、永滑り、教師の少年及青年時代

解放群書（24）

最新刊

革命藝術大系

尾瀨敬止著

四六版二百卅 定價壹圓 送料十錢

◆『無產階級の獨裁なくして革命藝術の獲得はない。』凡てが有產階級的であつて、獨り藝術のみが無產階級的であり得ない。ロシアは世界唯一の無產階級國であり、其處に初めて無產階級藝術があり得る。しかして無產階級の革命と同じく、血苦十年の歷史を持つ。

◆日本に於ても現今頻りに無產藝術が問題され、理論鬪爭對立發展が進行する。しかし『革命藝術の把握なくして無產藝術の確立はない。』本書は斯界第一の權威たる著者が、十月革命十週年を紀念するため、刻苦十年の研究を傾け、十月藝術十年間の苦鬪奮鬪並に、文壇、詩壇、樂壇、藝術家、藝術團體の現狀現勢を、歷史的、紹介的、組織的、體系的に著述し、尚代表作品數種を附錄した鳥瞰圖であり、縮寫圖であり、シネマであり、パノラマである。其價値や知るべきのみ。

◆『革命藝術大系なくして無產階級藝術なし。』苟くも革命藝術を語り、無產階級藝術を創らんとする程の者に敢て本書を薦む。

發行所 東京市芝區新櫻田町十九 振替東京三六九四四番 解放社

革命藝術の把握なくして無產藝術の確立なし（尾瀨敬止）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

御大典と生存權確立の運動

吾等に仕事を與へよ、
吾等の生活を保證せよ、
こうした人民の血のしたゝる様な生存權確立の叫びは、今や全土に澎湃と捲きおこされ、資本家、地主の牙城に肉迫した。こうした、人民の烽火の前に戰慄した資本家、地主の輩は、事あらば、こうした人民の要求をじうりんし、彼等の飽くなき搾取の鐵鎖にしばらんとしてゐたのだ。

見よ、彼等は、今秋擧行せられるところの御大典の盛儀を利用し、人民の生存權確立の叫びにあらゆる中傷漫罵をあびせかけ、一擧に彈壓せんと企でてゐるのだ。吾等は、資本家地主のかゝる卑劣なる行動を糺彈し、御大典と、人民の生存權確立の叫びは全然別個のものである事を明示しなければならぬ。

御大典によつて、人民の生存權確立の運動がゆがめられる事があつてはならぬ。

諸君。

重い小作料に苦しみ、その小作料の爲めに最愛の娘を賣らねばならぬ百姓達には小作爭議こそ、正當な自己防衛の手段であらねばならぬ。失業者にとつては仕事をあたへよの聲も又最後の權利でなくてはならぬ。小數の資本財閥の爲めに戰ふ帝國主義戰爭の危機と戰ふ事も人民の正義の上に立つ權利である。

御大典によつて人民の生存權確立の權利はゆがめられてはならぬ。又ゆがめさせてはならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時評

小選擧區制の反動性

町田忍

田中内閣は、その成立以來、戰鬪的勞働者農民の陣營に嵐の樣な、凡ゆる彈壓の暴威を加へ來つた。最近、三月十五日の日本共産黨大檢擧以來、その反動性を露骨に曝露し、遂に左翼の戰鬪分子の一掃を以て、政友會内閣の存在使命とするに至つた。即ち國内的には勞働農民黨、勞働組合評議會、無産青年同盟の解散を斷行して、無産階級全線に挑戰し、國際的には、支那革命進動を帝國主義的軍事行動によつて、餘りにも不當に、これを蹂躙し、もつて左翼分子の絶滅を期してゐる。

然れ共、歴史の車輪を逆轉さす事は出來得ない。今や暴壓をはねかえせのスローガンは全國津々浦々にあがり、暴壓に抗する唯一の道である戰線の整理合同は日農、全日の兩農民組合の合同より始まり、今や全無産階級戰線の統一が行はれ様としてゐる。

この時反動内閣は突如と選擧區改正を主張するに至つた。

選擧は政府黨が勝つものであると言ふ時代を無視した錯覺がさめきらずにゐた田中反動内閣は、過般の總選擧に於いて意想外の打撃を受け、續いて議會の切り拔けに、非常なる困難を經驗して以來、それに過般の共産黨大檢擧以後田中内閣の存在理由である反動政策施行の必要上俄に現行選擧區制を小選擧區制に還元させなくてはならぬと主張するに至つた。この異様なる主張は反動政治家床次竹次郎が最近、民政黨から脫黨して早々標榜した小選擧區制論と相會し實際的には次第に實現性を濃厚にして來たかに見える。けれ共小選擧區制論者に對して我等の最も最初に持つ疑問は、小選擧區制を否として、政友會自らその制定に與かつた中選擧區制を、ただ一回の經驗のみにより、俄かにこれを葬り去ろうとするのは、如何にしても我等の首肯し能はないところである。

小選擧區制による選擧に於いては、買收その他の不正手段を用ひる機會が中選擧區制に於ける場合よりも非常に多い。從つて時の内閣が勝利第一主義で、手段を擇ばずにその選擧を押し切ろうとするならば、時の内閣及びその與黨にとりて小選擧區制程都合の良いものはない。これは從來我が國の選擧史上で、その都度歴々と證據立てられたところであつて。既成政黨が何れも劣らずに、經驗を經て來た事實である。しかるに田中反動内閣及床次氏一派がこの場合殊更に小選擧區制を擇ばんと

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

するのは畢竟現在の政情から推して次の總選擧もまた、恐らくは現內閣の手によつて行はるゝであらうと言ふ事、しかして中選擧區制で行はれた過般の總選擧においてさえ、あれ程苛烈な選擧干渉を行ふに、はばからざる現內閣にとつては、小選擧區制による事が、選擧必勝の早道であると思考せられる故であると言ふ事、も一つの理由は、田中反動內閣及床次をめぐる一派の人々にとりて、最も恐怖を覺ゆる戰鬪的勞働者農民の偉大な擡頭、過ぐる總選擧に於いて檢擧と投獄とで未曾有の大干渉を行ふたにも係はらず、無產政黨は、なほかつ八名の新議員を出し、總得票實に五十万票であつた。この新興無產階級の力に大なるをそれをなし、特に最近共產黨事件の檢擧後、田中反動內閣と床次氏一派は共通な立場にあり、共に無產階級政治勢力を小選擧區による不當なる干渉と壓迫によつてせきとめんが爲めであろう。醜惡極まりなき現內閣及床次氏一派によりて提唱せられつつある**小選擧區制還元の僞らざる動機が恐らくこの邊にあると我等には**思考せられるのである。

今かりに、かゝる動機論を措いて、これを純理論的に批判して見ても、選によつて出來得る限り、民衆の意志の暢達を計ろうとする今日、小選擧區制が中選擧區制に優る理由を見出す事はできない。由來小選擧區制は幾多の缺陥を持つたのである。即ち選擧干渉が組織的に行ひ得られる危險があり、金權の買收に容易である。候補者に選擧區の因緣關係利益關係の利用を誘發し易い。かゝる致命的な缺陥を有す小選擧區制を、しかも前述の橫な最も卑しむべき動機より、これを提唱すると言ふ事はあまりにも無茶と言はざるを得ない、我等はさきに選擧の公平を期する理想方法として、大選擧區による比例代表制を掲げてゐる。反動的使命を果すべく、選擧を干渉と買收とに蹂躪すべく、小選擧區制還元を主張する現內閣及その一統の內部にさえ、有力なる反對があるとのことである。犬養**鳩山氏等は大選擧區制による比例代表を目標として進まねばならぬと言ふて**ゐるではないか。現行の中選擧區制は弊害百出の小選擧區制から、前述の理想的選擧區制に向つて、實にその一歩を進めたものである。從つて現行選擧法の中に、不備の點があるならば、進んでそれの積極的改正を施し、以てこの最善を期さなければならない。勿論こんな事を、現反動內閣に期待する事はできぬが、かくする事が民衆に對する親切なやり方であると思ふ。

一體日本に於ける現行選擧法は、今日世界に通用してゐる意味に於ける普選法とは言ひ得られない。と言ふのは、中選擧區制であり比例代表制を採用せぬ事、多額の保證金を要する事や、尨大なる婦人層に選擧權を與えて居ない事、その他種々なる選擧民の意志を束縛する條文があり、かりに我等が選擧當時所々に張り出される官憲の注意書を見るならば、如何に、選擧と言ふものが窮屈なものがあり、民衆を愚弄し、蹂躪してゐるものであるかが明瞭**に知れるのである。我等は、今日反動**

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

勢力による小選擧區制還元が叫ばれてゐるのを機として、大選擧區比例代表制を採用せよ、保證金制度、住所年齡の不當制限を撤廢せよと要求しなければならない。以て撤底普選を獲得し、それを通じて、我國の政治的自由を戰ひ取らねばならない。

改正に名をかりて、改正の原則を放棄し、最も反動的なる小選擧區制に還元せんとしてゐる現內閣及床次氏一派に、勇敢なる鐵槌を下さなければならない。

大衆の力によつて、小選擧區制還元論を、粉碎せよ！

撤底普選獲得の猛運動を捲き起せ！

第三黨樹立運動の批判

佐々木敬三

八月一日、突如として、民政黨顧問床次竹次郎が第三黨樹立を企圖し、同黨を脫退してから今日に至るまで約一ケ月を經たが、その運動も一段落を告げ、漸くもこの新政黨が今秋を期して如何なる行動を起さんとするかが今やブルジョア政界の興味の中心點となつて來た。元來斯樣なブルジョア政局の變化など本誌上で口やかましく論じ立てる必要はない樣にも思はれるが、それは所謂机上の理論家達の言草で、苟くも實踐的な關心を有する者は、今日此等第三黨運動の性質を明白にし、これに對して如何なる態度を持し如何なる方策に出づべきかを規定せねばならない。

田中義一が內閣を組織して以來、四個の第三黨運動が繼起した。第一は、前陸相宇垣一成を擔ぎ出さうといふ計劃であつた。これは總選擧以前に策謀され、現在でも尙日本農民黨あたりと結びつけ樣とする手合がある相だ。併し當分潜伏狀態を續けるより仕方があるまい。次は明政會だ。「かび」の生えた憲政の神樣、尾崎を看板に鶴見長島などが狩り集めた猿芝居の一座だ。彼等に就いては既に烙印濟みで、兎や角いふ必要がない。

第三は三申老事小泉策太郎の運動であるが彼に追隨するのは、彼に選擧費用を支給して貰つてゐる一二の靜岡縣選出代議士だけだ。

所が床次が民政黨を脫黨し、舊本黨系を糾合して第三黨樹立に着手し、辛うじてゞはあるが議院法による交涉團體たる定員數を獲得したらしい——八月廿一日には參加確定十九名で、尙確實に參加すべきもの七八名と傳へられる。これが第四の第三黨計劃であり現內閣治下最後のそれであらう。では何のために第三黨が屢々計劃され、要求され來つたか。明政會所屬の大內岸

本兩代議士の新黨入り聲明書に依ると第三黨は何時の時代にも要求され且つ必要なもの、換言すれば所謂立憲政治――議會政治には三黨的存在が必須不可缺だといふ。これは、現在までの所全くの眞實だ。政友會憲政會對持時代の第三黨たる國民黨は、三非三變を背景とする二大政黨の政權爭奪の渦中にあつて日本のプチ、ブルジョアと自由主義的知識階級の代辯者であつたが、階級的基礎の薄弱な同黨は階級對立の尖鋭化と共に解消し去つた。併しそれが自然消滅でなく政友會への唐突な身賣りを以てした爲め、實業同志會と明政會とが出現し得たのだが、實業同志會も結局國民黨の轍をふむの止むなきに至つた。かくて唯明政會のみが新自由主義なる復古的な幻影を追ふて、巧妙なる議決權の切賣りに浮身をやつしてゐたが、床次の第三黨計劃は、愈々彼等をして幽靈的存在たらしめた。明政會までの第三黨は畢竟するにブルジョアジーの鼻息を窺ふに汲々乎として居ながら自己の門戸を構へてゐる樣な僞態を示してゐた中間階級の政治的代辯者であつたが、床次のはこれと質的な相異がある。

床次は、脫黨の日當つて曰く、『政界の現狀を見ると內政外交とも實にあきたらぬ』と。これを打開するための脫黨であると。具體的には『宜しくあくまで、合法的積極的に既得權益の擁護に努めざるべからず』てふ對支政策と、財政緊縮、金輸出解禁、小選擧區制を擧げてゐる。そして『階級鬪爭を激成する思想を鼓するが如き……斷じて許さざる所なり』といふ資本主義社會の絕對的信奉者たる旨を表白してゐる。第三黨樹立宣言を一讀すれば、床次黨が從前の中間層勢力の表現としての第三黨でなくして、純然たる反動陣營の一分子たる事が明瞭である。

床次は最も民政黨の對支不干涉主義に嫌厭たるものがあつたが、民政黨と雖も滿洲の特殊權益に關する事ならば一歩たりとも讓歩するものでない。

かくて日本ブルヂョアジーは第三黨の出現によつて更に支那に向けられた帝國主義的資本主義の鋒先を鋭ならしめた。支那に對して嘗つて非合法的方法により獲得した「合法」を振りかざして狂踊亂舞する田中反動內閣派に、帝國主義萬歲だ。小選擧區制が如何に不公平なものであるかは、今更云ふまでもない。財政緊縮や金輸出解禁は刺身のつま同然で、唯物史觀を排擊し階級鬪爭に怖氣を振ふ彼等は外は對支積極政策を以てその帝國主義の爪牙を鋭くし、內は小選擧區制を以て大衆の口を復ひ、明政會を勸誘して議會を完全に單一な有產階級獨裁協議機關たらしめんとしてゐる。

この第三黨が從來のそれと質的な相違を持つ所以は即ち此處にあるのだ、前議會に於て無產黨に握られたキャスチングヴォートを彼等の手に奪取せんとする必死の計劃なのだ。そして政友會が好機至れりとして小選擧區制を採用せんとするは、無產黨議員を議會外に放逐せんとする陰謀なのだ。

我等は第三黨運動を單たる泥仕合として看過すべきでない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

産業合理化と勞働階級

清水寛一

【一】

産業合理化は、今世界經濟の表面に最も大きく動きつゝある波である。しかし、この大きな波に二つの著るしい、むしろ全然相反した二つの形態が内包されてゐる。

卽ち、その一を「勞農ロシヤ」をもつて、代表される社會主義經濟上における合理化運動であり、今一つはロシヤを除く他の國卽ち、資本主義國家における合理化運動である。

【二】

以上の二つの形態によつて、すぐうなづけるのは、ロシヤの合理化運動と、資本主義國家の合理化運動とはその合理の目標が全然相反してゐるといふ事である。

ロシヤのそれは、全民衆の爲めに、如何にして産業の發達を促進し、以てその安定を確保しなければならぬといふ目的の上に立つてゐるのに反して、資本主義國家のそれは如何にして資本家が儲ける事が出來、資本主義經濟の永遠性を確保する爲め、どういふ風に産業の促進を企圖しなければならぬかといふ目的の上に立つてゐる。

前者にあつては、産業の合理化が、すぐに民衆の利益となり、勞働時間の短縮、報酬の增大、教育時間の增加となつて表れ、後者にあつては、産業合理化運動が進展すればするほど、失業者が多くなり、賃銀が低下し、過勞の問題が起り、熟練勞働の廢滅となり、婦人少年工の酷使となつて表れる。資本主義國家の合理化運動は無産階級を彈壓する事によつてのみ成功する。

【三】

勞農ロシヤの産業合理化運動は、ロシヤが革命後、内においては歐洲戰爭による疲弊と、襲ひくる飢饉と戰ひ、對外的には各帝國主義國よりの封鎖と戰つて、あくまでも社會主義經濟の確保をしなければならないといふ社會主義完成の目的の上に立つてゐる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

後者は、歐洲大戰後における資本主義諸國の復興問題と同時に、燎原の火の如く全世界の表面を蔽つて了つた。即ち、歐洲の資本家達は「破壞された生產力」を立直しする爲めにこの方策を取つた。國際經濟會議の如きも、この世界的表はれである。

かくの如く、產業合理化運動に二つの形態がある。勞農ロシヤを除く他の國の無產階級にとつては、產業合理化はおそろしい脅威である。

吾々が平常、合理化運動といふのは、この資本主義國家のそれであつて、然る限り產業合理化の形勢と戰はねばならぬ。もし、この問題を放棄して了ふならば、吾々に襲ひくるものは、失業であり、賃銀の低下であり、貧窮の增大である。

「資本の攻勢」と普通呼ばれてゐるのもこの傾向であつて

働かせろ……

食はせろ、の要求は、この合理化運動への全勞働階級の闘爭のスローガンである。

かゝる意味において、資本家的經濟の上に立つ合理化運動は、資本主義國家の勞働階級への攻勢であるのと同時に勞農ロシヤへの攻擊である。又、同時に、勞農ロシヤの合理化運動は、資本主義國家への一大攻勢であり、その世界××の理想への前進である。何故ならば、ロシヤのより大なる強大化は、全世界の勞働階級に勇氣と確信を與へる事であり、社會主義經濟の強力化といふ事は、資本主義經濟の沒落を意味するからである。

世界經濟において、資本主義も社會主義も相並んで繁榮するといふ事はない。それは氷炭相容れざるものであつて現に火の樣な闘爭を續けつゝある。英國を盟主とする反ロシヤ聯盟は、機會あらば武力をもつて、ロシヤ社會主義國家を粉碎せんとうかゞつてゐる。だから、吾々は勞農ロシヤを守らねばならぬ。勞農ロシヤを守る事は、日本の勞働者農民の戰線を防衞する事である。何故か。即ち、勞農ロシヤを、資本主義國家の反動によつて蹂躙させる事は、全世界の勞働者、農民の理想を永遠の彼方に沒却せしめるものであり、これを機會に資本主義は凱歌をあげ、全無產階級は解放の日の希望を失ふ。

勞農ロシヤの存在とその搖るがざる基礎の強大は、資本主義の弔鐘である。唯物史觀は明かに資本主義から、社會主義への變革を豫言的に立證するものであり、現實において勞農ロシヤの強大は、決して資本主義の逆襲によつても崩れない事を示す。全世界における勞働階級の陣營も同樣である。

ロシヤを守れ。これは、全世界の勞働階級の要望である。

【四】

勞農ロシヤの社會主義建設への產業促進は如何なる目標で行はれ、又現在如何なる狀勢を展開しつゝあるのか。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私はスターリンの第十五回黨大會における報告の中より引用して見よう。

「ロシヤは、次の主要觀點の下に產業の發達を圖る。

一、我等の政策は經濟總體の生產の進步的增加を全體として促進すること。

二、黨の政策は工業の發達步調を速かならしめ、全經濟における指導的役割の確保を促進すること。

三、經濟の發達につれて、國民經濟中の社會主義的扇形區域、即ち社會主義的經濟形態の比重を私經濟及び資本主義經濟形態を犠牲にして益々强めること。

四、我が國の一般的發達並びに、經濟的獨立を確保して我が國を世界經濟の資本主義的體制の附屬物たらしめない樣に導く事。

五、プロレタリヤの獨裁、勞働者農民のブロック、およびそのブロック內における勞働者階級の指導權の確保。

六、勞働者、農民の物質的文化水準を絶へず向上せしめること。……」

かゝる政策の下における、勞農ロシヤの生產の增加を見よう。

一九二四――一九二五年においては、農業生產は總額、戰前の八七、三%をなし、工業の全體の生產は、戰前の高さの六三、七%であつたが、二ケ年を經過せる、――一九二七――二八年においては農業生產は戰前の一一二、八%に向上し、工業においては一一四、四%以上に達したと云つてゐる。

次にロシヤの國民の總所得を見る。

一九二四――二五年におけるサヴエート聯邦の國民所得は、百五十五億八千九百万チエルヴオネツツ、ルーブルだつたものが、一九二五――二六年には、二百〇六億、五千二百万ルーブルになつて二九九%の增加となつてゐる。一九二六――二七年には、二百二十五億六千万ルーブル、即ち一一、四%の增加となり、國立計畫經濟委員會の統計によれば一九二七――二八年には二百四十二億〇八百万ルーブルに卽ち、七、三%の增加に達したとさへ云はれてゐるこれに對照して、資本主義國家における最大な地位をもつ米國においての國民所得の年率平均增加額は三%――四%を越へてゐない。イギリス、ドイツは一%乃至三%ぐらひが關の山である。

勞農ロシヤの產業の發達と國民所得の增大は正に世界的レコードを作つてゐる。

【五】

次にロシヤの全工業の七七%以上をなす國營重工業の增加を見よう。

一九二五――二六年のその生產增加數は、それ以前の年度に比較すれば四二、二%で、一九二六――二七年には一八、二%となり、一九二七――二八年には一五、八%となつてゐるが、國立計畫經濟委員會の五ケ年計畫による草案

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を見れば、五ケ年間に七六、七%の増加を見る筈である、毎年の平均増加率は一五%となつてをり、一九三一――三二年には、戰前の生産額に比し、二倍にも上る見積りとなつてゐる。

又、ロシヤの工業、全體として見れば、（重工業、輕工業國立工業、私的工業を含む）その五ケ年計畫によれば毎年約十二%の生産増加の算定となり、一九三一――三二年には戰前に比して約七〇%の増加を見るとの事である。

【六】

勞農ロシヤのかうした生産の増加は何によつて説明されるのであるか。

すべての生産が國家的統一の下に、社會全體の利益といふ觀點の下にあるから、發達の可能性を具へてゐるからだ資本家的工業は、農村と敵對的關係をもつて發達するものだが、國營工業は、これと反對的に價格低減政策を行ひ、その他幾多の理由によつて農民とプロレタリアートの密接な握手の下に促進されるからだ。要するに、一般には技術、特殊的には勞働者の生産性を非常に容易に發展させ、産業の合理化が全勞働者階級の支持の下にあるからだ。

ロシヤにおける社會主義的産業の合理化の成功は勞働階級の利益を如何に促進せしめたか。

國立工業の勞働者の實質的賃銀は、一九二四――二五年には一ケ月二五、一四ルーブルで、一九二六年――二七年には三二、一四ルーブルとなつてゐる。即ち二年間に二七%の増加となり、戰前に比して五、四%の増加である。

社會的補助金を加算すれば、（社會保險、文化的必需品、市町村補助金、其の他）勞働賃銀は、戰前の標準の一二八、四%の増加である。

農村の物質的地位の向上について見るなれば一九二四――二五年には、農民人口の所得は三十五億四千八百万ルーブルで、一九二六――二七年には四十七億九千二百万ルーブルに向上してゐる。右の期間における人口の増加は、二、三%であるが、明かに所得の増大、その地位の増大をもたらしてゐる。社會主義的産業の合理化運動の下にあつて七時間勞働制が實施され、失業者の減少、病氣や負傷した無産者への救濟は着々行はれてゐる。之に反して、資本主義國家における産業の合理化の下においては、失業は續出し、賃銀は低下し、過勞の爲め勞働者の健康は保たれない。資本主義者の搾取の増大の目的が産業合理化運動となつて表れてゐるのだ。資本主義は無産階級を搾取してのみ存續する。この事は、資本主義が努力すればするほど勞働者農民の反抗とその増大を内包する事を示すものだ。資本主義の運命は明かである。

社會主義的産業の合理化の下においては民衆の生活は愈々安定し、愈々勞働階級の支持を強大ならしめる。この事も、資本主義沒落の必然性を示すものである。

（八月廿一日日比谷圖書館にて）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

帝國主義戰爭の危機

町田忍

世界の帝國主義者は、かの歐洲戰爭によつて夫々必要とする植民地の協定分配を行つた。然るに、その後の資本主義の發展は、またまた自國の生產力と當時割當てられた殖民地の消費力とが、不均衡となり、一旦分割した殖民地の再分割を、必要とするに至つた。この世界の再分割は、必然に帝國主義戰爭を導くものであり、今や太平洋を中心に、その危機は刻々に迫りつつある、戰爭の口火が、どんな事から起るかは、今日豫測し難いが帝國主義各國が、已に都合の良い言ひ分をつかんで宣戰するであろう。しかしながら、如何なる理由で宣戰するにもせよ、今日引き起る戰爭が帝國主義ブルジョアジーの利害衝突利益爭奪のための鬪爭であると言ふ事には毫も變りはない。目下その最も危機の切迫せるは、同一條件の下にあるアメリカ帝國主義ブルジョアジーと日本の帝國主義ブルジョアジーとの支配を中心としての利害の衝突である。

經濟的資源に乏しい我が日本のブルジョアジーは從來滿洲を絕體に他國の容喙を許さざる特殊地域として支配してきた。即ち田中政府は去る七月二十日、東三省に對してとるべき根本方針を決定して曰く

一、日本政府としては、如何なる場合にも滿蒙に於ける日本の特殊地位及既得の權利利益並に一般經濟上利益の侵害さるゝ事を容認する事を得ない。

二、東三省の治安維持の爲めには、必要あれば何時でも斷乎として有效適切なる手段をとる。

三、如何なる場合にも勞農ロシアと境を接する東三省に共產主義又はこれに近似する制度思想が影響して朝鮮及日本內地へ赤化運動を傳ふるような事は忍ぶ事が出來ぬ。

か様に東三省に於ける日本の特殊利權確保の爲めには、凡ゆる武力干涉をも辭さないと公然と宣言してゐる。近來日本帝國主義ブルジョアジーはヨーロッパ戰爭當時より中

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

部支那、南部支那に、從來君臨してゐた英國に、とつて代つて一大進出をなした。この特殊利權の擁護の爲めに、例の手段で濟南事件を引き起し、軍事編成による大なる陸海軍を押出して山東一帶を占領し、支那の沿岸を軍艦で包圍し、この武力的威嚇の下に「濟南事件」の交渉を行ひ、以て、中南支那に於ける特殊利權を維持獲得しやうとしてゐる。

かくの如き日本帝國主義ブルジョアジーの××××は、同じ様に、しかも極めて急速に陰險に振舞はれてゐる、アメリカ帝國主義ブルジョアジーの利益と必然に衝突せざるを得ない。かの日本の濟南出兵に對する共同警備問題に最近の國民政府の條約改正を中心としたやゝこしい外交的かけ引き問題に、日米帝國主義ブルジョアジーの衝突の片鱗が充分うかがわれてゐるのである。特に田中政府の容喙抱協の妨害は、いよいよもつて、この危機を切迫せしめた。

去る七月十九日國民政府外交部長王正廷氏は、日支通商條約廢棄を、通告して曰く。

> 日支通商條約は民國十五年十月滿期となり支那政府より日本政府に改訂を申込み、その後しば〳〵期限を延期して、今日に至りたるが、いまだまとまらざるに七月廿日となり、こゝに期限到來した。國民政府はかねての宣言通り、平等相互の二大原則を基礎として新條約を締結せん事を希望し新條約締結までは、臨時辦法に從ひ、日支兩國の關係を律せんとするものである。

列國帝國主義ブルジョアジーの完全なる奴隷となり、銃と劍とを持つて勞農大衆の反帝國主義運動を斷壓してゐる國民政府が日本に對して何故かかる弱腰なる態度を取りつあるのか。

國民政府は北京、天津を占領し、滿洲勢力を完全に驅逐した。青天白日旗は、五色旗に代つて、革命成れりの觀念は東三省を除く支那全土にわき上がつてゐる。しかし、乍ら支那革命運動の本來の使命は、國民政府の北伐完成と、共にやぶれ衣の如く捨てられてしまつた。打倒帝國主義、打倒軍閥のスローガンは燎原の火の様に、支那全土の勞働者農民を驅つて、革命的勢力を伸張し、驚くべき革命的創造力を發揮した。勞働者の手に上海は握られ、農業革命の大衆風が渦捲きをつくつて全農村を席せんとした。

この時代に於ける國民黨は、列國帝國主義ブルジョアジーにとりて大なる脅威であつた。勞農大衆の支持の上に立つ北伐軍の非抱協的闘爭が到る所に進められるにつれ、國民政府は大衆のこの異常なる革命勢力に恐れを成したか、帝國主義ブルジョアジーに向ける銃と劍とを、一轉して勞農大衆斷壓に向けて來た。反帝國主義、反軍閥の闘爭を放てきするに從ひ、南京政府は列國帝國主義ブルジョアジーと抱協し、自分自ら新しい軍閥となりすまし、勞働者、農民に斷壓を持つて望むに至つた。國民政府の青天白日旗が支那全土に、ひるがえつたけれ共、支那に於ける列國帝國主義ブルジョアジーの一つでも、其かげを沒し去つたであろうか？　支那革命は國民政府の手から離れた。勞働者、農民の支持を、完全に失つた。今や打倒帝國主義、打倒軍閥

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の革命任務は無産大衆のものとなり、勞農大衆は國民政府のこの公然の裏切りと、戰闘的勞働者、農民の虐殺とに極度の怒りをなし、處々に國民政府と衝突するに到つた。この傾向は支那全土を席捲しつつあり、在來最も反動的地方と稱されてゐた東三省に於いてさえ、我々は即時に立つて帝國主義の危機と戰ひ「日本帝國主義の×××意圖と勇敢に大膽に戰はねばならない。」と叫ばれるに至つた。この澎湃として起つた勞農大衆の力の前に、おびえをなした國民政府は、ともあれ北伐斷行の旗印であつた、そして一度はまき收められてあつた打倒帝國主義を再び掲げざるを得なくなつた。勞働者、農民の威大なる闘爭力は反動軍閥の巨頭張學良一派をさえ、日本帝國主義ブルジョアジーと對抗し、日本帝國主義ブルジョアの最も嫌ふそしてその爲めに露骨な內政干涉さえ行ひつつあるにも、かかわらず南方政府と抱協をせざるを得ない狀態になつてゐるではないか。國民政府の日本に對する「條約廢棄」と言ふ强腰は、とりもなほさず國民政府そのものの態度にはあらずして、支那全土の戰闘的勞働者農民の態度である。

滿洲に於ける勞働者、農民の急激なる自覺とその革命的壓力は張學良をして南方國民政府に屈服させた。即ち揚字艇を仲介として、國民政府と張學良との間に

一、奉天側は三民主義に服從し、靑天白日旗の掲揚を承認する事。

二、東三省に委員制を採用すること。

其の他三ケ條の條件を以つて妥協が、殆ど成立せんとしてゐた、ところが、日本田中政府は斷然之に反對の態度を取り、武力的威嚇を以つて、張學良に對しての抱協を打切るよう林奉天總領事極く最近は林、內田彌老外交家を特使として嚴重な警告をなさしめた。張氏は東三省の治安維持の美名にかくれて、急激に自覺しつつある勞農大衆を斷壓する爲めに必然なる二三の秘密條件をあげ、これと交換條件として日本の警告に屈服し、國民政府に對しては、日本の內政干涉に忍ぶべからざる苦痛を蒙るに至つた、民國の統一を妨害するものは、正に日本であると言ふ理由を述べて了解を求めた。しかし乍ら勞農大衆の革命的壓力は、必ず張學良をして南方國民政府を抱協せしめる。又せしめないではをかないであろう。けれども日本帝國主義ブルジョアは東三省に於ける特殊地位の擁護の爲めには、武力干涉を辭せずと公然宣言してゐる。そして既に山東に、滿洲に朝鮮に、戰時編成による軍隊が駐在してゐるではないか。

今や日本帝國主義ブルジョアの支那××の陰謀は、その外交的修辭や、あやつりの衣を脫いで、公然と露骨に武裝して乘り出した。日本帝國主義ブルジョアジーの、この武裝的乘出しは、必然に向上線を辿つてゐるアメリカ帝國主義ブルジョアジーと乃至中、南支那に於ける既得利權擁護の爲めに、死物狂ひの努力を續けてゐるイギリス帝國主義ブルジョアジーと正面衝突せざるを得ない。山東の武力占領、東三省に於ける武力的內政干涉ーそしてそれは張學良

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

との秘密條約となつて、滿蒙内勞働者農民の戰鬪的自覺を斷壓する政策になり、同時にサヴエート、ロシアと南支、朝鮮及日本内地との連絡をたち切り、なほサヴエート、ロシアに對する浸略の用意をするものである。列國帝國主義ブルジョアジーの利害關係が、深刻に對立する時、戰爭が政策遂行の强力的手段である以上、いついかなる機會に、爆彈が破裂するかも知れない。帝國主義戰爭の最大の危機が、ここに拘藏されてゐるのである。

帝國主義戰爭への爆裂彈の凡べての用件が、支那の上に準備された。重ねて云ふ、戰爭はいついかなる機會に、如何なる口實の下に開始されるかも知れない。帝國主義戰爭が、帝國主義ブルジアジーの利權獲得擁護のためである以上、勞働者、農民大衆は斷呼として反對しなければならない。すべての勞働者、農民、すべての無産者團體は、即時に蹶起して戰爭反對の猛運動を起さなければならない。帝國主義ブルジョアジーは今着々として戰爭の準備を進めつつある。これを阻止するのは、勞働者、農民の大衆的蹶起より外に斷じてない。

支那の國民政府は、勞農大衆の支持を完全に失ふてゐる打倒帝國主義を叫ぶかわりに帝國主義ブルジョアジーの權力にすがつて「三民主義」に活を入れんとしてゐる。しかれども打倒帝國主義、打倒軍閥の斷乎たる鬪爭の魂は、勞農大衆の胸深くに生きてゐる。支那勞農大衆は萬國のプロレタリアートの力强き支持を得て、光輝ある打倒帝國主義の道を辿つてゐる。支那革命は、北京占領を峠として、更に一段の高度の段階に入つた。

わが勞農大衆は、プロレタリアートの國際的階級的義務により、即時に立つて、帝國主義戰爭絶對反對、對支干渉絶體反對のスローガンの下に猛裂な鬪爭を行はねばならない。世界戰爭の危機が近まつた。

全國非戰同盟成る

全國非戰同盟は、八月十五日、本所松倉町産業青年會館で第一回委員會を開いた。集るもの賀川、廣瀬、松本、楢本の諸氏

本部を神戸葺合新川賀川氏方に置き、東京本部は、前記本所松倉町の産業青年會館におく事に決定

一、綱領

1 我等は戰爭並に戰爭準備行爲に反對す

2 我等は侵略主義に基く政治的、經濟的、教育的活動に反對す

3 我等は略奪を鼓吹し、弱少民族又は虚弱團體に對する軍國主義的言論と壓迫に反對す

二、主張

1 非戰論の宣傳

2 非戰條約の實現支持

3 國際裁判所の支持

4 非戰運動の教育

5 國際聯盟規約第一條の撤廢

6 非戰運動團體の連絡

7 非戰運動の國際的結成

8 軍事費の削減

9 軍需品貿易に對する反對

10 軍國主義的教育に對する反對

三、運動方法

1 演説會の開催——來る三十日第一回演説會

2 リーフレットの作製——賀川氏、松本氏各々一册づゝ作る

四、事務

3 九月中旬に發會式擧行

常任書記 廣瀬庫太郎、大谷撤、亀田一郎、楢本貞代、和田富子

五、申合せ

1 組織單位を個人とす—ブルヂョア急進政治家思想家、宗教家、藝術家の外各經濟團體、宗教團體の個人へ加入を勸誘す

2 各政黨並に其他の非戰同盟と連絡し全國非戰聯盟を組織するための前提團體として組織す。

何が彼等を裏切らせるか

―（我國極左の本質）―

吉田源藏

曾て、ブハーリンは言つた。

「……ブルジョアジーとその警察、間諜、著述家達は、久しい以前からデマゴーグ的遣り口を用ひ、それによつて屢々效を奏しているのである。彼等の支配を脅かすところの黨が出來上らうとするのをみると、假へそれがどんな小さなものであらうとも、彼等は直に勞働者に向つて云ふ。「この黨の首領達は、諸君を肉彈にしようと欲つしてゐるのだ」と。

「……かくて資本主義の基礎を見張る忠實な番犬であり、國際聯盟の謳歌者であり、イギリス民主々義の讃美者であり、ボルシエビイキの偉大なる競爭者であるところのカウツキーは、やはりこの遣り口を用ひてゐるのである。カウツキーは、ボルシエビイキが「抑々初めから、プロレタリアーを自ら解放せしめる爲の何等の努力をしてゐない」と云つてゐる。

「……ちよつと何でもないやうだが、これは一體何を意味するか！（とブハーリンはつゞけて行く）それは黨が傍の方にゐて、プロレタリアーの成功をたゞ喝采したり、その失敗を嘆いたりしてゐるだけでも、プロレタリアーは自らを解放し得るとでも云ふのか！」と。

云ふまでもなくこれは、戰鬪的マルキストとしてのブハーリンが、世界的ダラ幹の張本たる、第二インターナショナルの首領カアルカウツキーに投げ與へた言葉である。しかしながら、我が國の戰鬪的マルキスト？・は、此の世界的ダラ幹の張本人の第二インターナショナルの首領と同じ遣り口を取つてゐるから實に手が付けられない。

曾て、我が國無産階級陣營內の正統左翼分子は、其の正統派たらむが爲に、言ひ換へれば、階級的正道の爲に「敵の組織を崩壞せしめるための諸方法を、己れ自身の上に轉用してゐる」ところの、自稱戰鬪的マルキスト事、氣分

革命家達の世界の天上から、『階級意識に基く現實政策』——日勞黨結黨の宣言の一節——の下界に下つたとき、之れ等の戰鬪的マルキシストは『反動的』『日和見』『裏切』等々とて、正統派たらんとする者を排擊し、追擊したのであつた。

かくして彼等は、下界の『不純分子』を排擊追擊しつゝも自らは、より『高き形態』へと昂揚しつゝ、下界の大衆の視野からは益々離れて、遠く雲間に隱れて仕舞つたのであつた。彼等は雲間に隱れて仕舞ふと、そのとき始めて、彼等の內の一部の者が、大衆から遠くかけ離れてゐることに氣づいて『無條件合同』と云ふことを唱へ出したが、彼等の『委員長』は、無條件合同論に對して、自問自答せられて曰く

『……だがそうした議論には、幾らかでもの事實的基礎があるであらうか』と自ら問ひ、而して勇敢に、斷乎として『否！』と自ら答へられてゐる。

『彼等と合同することが、（と彼等の委員長はつゞけられる）吾黨——舊勞農黨——がその爲に一層有力になると云ふやうな、突拍子もないロジックには、我々は耳を藉すことが出來ない』とて、より高き形態への飛揚の舵は、容易に下げらる可くもなかつた。

府縣會選擧、衆議院議員選擧戰はやつて來た。彼等は雲間から下界に向つて戰宣を布告した。彼等の戰ひは上から打ち下すのであるだけに見事であざやかなものであつた。

けれども、雲間からの射擊だけに、隨分と味方にも彼等の彈丸は命中した。

やがて、低氣壓が各所に起つて、反動の嵐が吹いて來た暴風雨は一樣に起つたものではあつたが『高き形態』と云ふ雲間を飛んでいたゞけに彼等の損害は大きかつた。彼等は反動の嵐の爲に遂に墜落して仕舞つた。さきに天上から逸早く下界に下つた連中は、下界に居たゞけに、此の嵐には比較的損害は少かつた。此の『階級意識に基く現實派』以前に、もう一つお先に下界に下つた只の『現實派』な通稱右翼と云ふところの一派は、下界に下つた歷史が古いだけに、既にそのときは避難所も出來てゐたゞけに此の嵐による被害は全くなく、寧ろ彼等は、此の嵐では反つて泥水に流されて來た大きな魚等を拾ひ取つた程に利益を齎したのであつた。

ところで『より高き形態』組の昂揚一派は雲間を飛んでいたゞけに、ひどい傷手を蒙り片方の翼をへし折られて文字通り、彼等の自稱通り『左翼』だけでは飛ぶことが出來ず、遂々下界に墜落したが、彼等は折がな暇がな、隙がな上天することを考へてゐる。しかしながら、嵐の爲に一番ひどい目に遭つた彼等は『左翼』と云ふ片翼だけでは容易に上天することが出來ないことを悟り、例の彼等の『委員長』をして『內外の諸條件は、もはや彼等——日和見や反動幹部を指す——を追擊する要はなくなつた』と云はしめて『社會民主々義の批判の理由の保留』と云ふ只の『現

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

實派」排撃の條件の下に、「階級意識に基く現實派」を上天する道連れにせんとして、「無條件合同」と云ふ曾ては、「突拍子もないロジックには、我々は耳を藉すことが出來ない」ことに屬して居つた事柄に、今では「彼等の委員長」始め大童となづて「耳を藉す」どころか、手も足も「誠意を認めてくれ」とて、腹わた迄も投げ出そうとしてゐる。

ところが「階級意識に基く現實派」は、彼等の「無條件合同」の呼び聲に迂つかり乘れば又候「より高き形態」への雲間へお伴をせねばならぬので、揚げ舵を取らぬ約束で下界に踏み止まつてゐる性根を見屆けたら、呼び聲に應じようと言つてゐる。

しかしながら、天上生活の味の忘れられない氣分屋達は「不純分子」の多い下界に於て何時迄心棒が出來ようぞ。と云つて飛ぶには翼は折れてゐるし、「共同闘争」『勞農協議會』『新黨組織準備會』等の足つぎはあれども、「より高き形態」への雲間には到底屆きそうにもない。

ところが最近此の天上組の中から、大地に足を踏み占めようと云ふ一派が現れた。驚いたのは……と云ふより慌てたのは天上組だ、お手のもの、「指令」や「聲明書」を出す事、出す事、例に依つて、「裏切」『反動』『分裂主義者』等々と盛り澤山の大安賣、術語用語は一切合切專賣品から輸入品迄取り揃へての總攻撃、彼等の「委員長」殿は聲明書を發して曰く

「無産大衆黨の結黨に依つて、我が新黨組織準備會は微動だもしない」云々と。

然り！　眞實だ！　微動だもしないとはよく白狀した。流石に一黨一派の領袖であつて正直である。反動の嵐に吹きまくられて、翼を折られて墜落してから「百千万回の結黨」はおろか、一度の結黨もしてゐない。勿論彼等に從へば、結黨して合法政黨として存在することは、武裝解除であり、降服することであるのだそうだが、それでは「微動だもしない」のでなくて、微動することも出來ないではないか。

それで、暴壓がどうの、日和見的戰術だ、誤謬を犯した彼等が合法政黨を要求するのは合法的以外に始めから何もしたことがないからだ、等々と努鳴つてゐるところは、恰度始めの方でブハーリンの言葉として掲げた「ボルシェビイキの競争者で、資本主義の基礎を見張る忠實なる番犬である、世界的ダラ幹の、第二インターナショナルの領袖カアルカウツキーの遣り口」そつくりでちる。即ち「微動だもしない」……否出來ないでゐて、「……それは黨が傍の方にゐて、プロタリアーの成功をたゞ喝采したり、その失敗を嘆いたりしてゐるだけで、プロレタリアーは自らを解放し得るとでも云ふのか！」とブハリンに笑はれたお目出度さである。

彼等の見解によれば「解散」は闘争をした證據であつて「解散されない」のは始めから何にもしてゐない證據だそうだ。してみると、**彼の農民勞働黨は僅々迄三時間の間に大**

いに闘爭したものであつて、本年四月の勞働農民黨は、日本勞農黨、社會民衆黨、日本農民黨と等しく、始めから何もしてゐなかつたと云ふことになるが、吾々にはそんな理窟は到底分らない。勿論彼等は言ふであらう……否現に言つてゐる。『彼等は合法政黨を要求するのは、合法的以外に何も始めからしてゐないからだ』と。

然らば彼等は、合法的以外の何を始めから行つて來たか

先づ第一に秘密結社（これは今のところブルジョアーの宣傳だけで、果してどうだつたか分らない）即ち日本××××、第二に秘密出版と。之位ではないか……否々あるぞ！第三に選擧妨害だ。これこそ實に明かな何人によつても認められるところの不合法——所謂合法的以外の仕事の尤もなるものだ——行動である。しかも第二の秘密出版は、その多くは第三の選擧妨害の目的を以て爲されたものである。しかしながら彼等の中には第二の秘密出版について或は云ふだらう『選擧妨害ばかりではない、×××××の宣傳も大いに行つた』と。我々もそれは認める、けれども、そのことについては無產者新聞が、わざ〱號外迄出して『決して危險なものでない、穩健なものだ』と辯護した以上不合法行動とは云へない性質のものだ。しかも、その辯護の爲の號外には『勞農』雜誌一派の出張こそ治安維持法に觸れる可き危險なものだと雜誌『勞農』一派を內務省や、警視廳邊に暗に告發していたのであつた。これこそ實に『……ブルジョアーとその警察と、團體、著述家達が、久しい以前から、彼等の支配を脅かすところの黨の粉碎の爲に用ひたデマゴーグ的遣り口』でなくて何であらう。裏切でなくて何であらう。果又反動でなくて何であらう！。

今や彼等の階級的意識は『階級それ自體』から『それ自體のための階級』意識に迄昂揚し、無產階級がそれ自體をその目的のもとに政黨に結成し『すべての階級闘爭は政治闘爭だ』との理由を、誰よりも明瞭に把握してゐる筈の彼等が、かくも事實上に裏切反動の役目を演ずるのはそも何に所以するのであらうか？、吾々は彼等が常に裏切反動の役目を果し『資本主義の基礎を見張る番犬』であるが故に排擊追擊して來たが、單に吾々は彼等を排擊追擊するのみに止めず、吾々は進んで、何が故に彼等が反動化し、裏切をやるかを糾明せねばならない。

そこで……（筆者言ふ　此處迄書いてきたら、目下大阪に歸省中の東京本部の同人で、腕力鬪士の大谷久次君が、後の方から覗き込んでゐたが、やがて開口一番『分つてらア——小ブルジョア——インテリゲンチャ——の本質の故にさ』と言つたので、私は後を書く手間が省けたような氣になつたから、これで筆を止めることにした）

だが、もう一度ブハーリンの言葉を藉つて來よう。

『……ちよつとこれは何でもないようだが、これは一體何を意味するか？』と。

——（をはり）——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產運動の發展策としての青年運動

上杉定義

一

最近における無產階級運動は、著るしく活氣を缺ぎ、極度の沈衰狀態を示してゐる。殊に左翼團體の解散後にあつては、無產大衆黨が勞農一派の人々によつて結成されたれども、未だ日淺く何等の具體的活動は展開されず、新黨組織準備會能く鬪ふと雖も、合法性を失つてよりは見るべき運動を成す事能はず、我國無產階級の最大要望を擔ひつゝある日本勞農黨は、これが發展勇躍の重大なる任務を課せられてゐるにもかゝわらず、勞農黨の解散以後にあつては昔日の面影なく、對立抗爭の必要を失つて以來日勞黨の紳士諸君は「萬事終れり」と思つてか充ての活動を休止したかの觀を呈してゐる。これは一つには愈々奇怪なる反動ぶりを發揮して來た田中內閣の攻勢にもよるけれども我々がその暴壓を打越へて勇敢なる鬪爭を成す所に新興階級の使命はある。現在の如き狀態の打開のために最近掲げられて來たのは青年問題であつて、青年運動のみこの難關を能く切り拔けて行くであらう。我國においては青年問題は案外等閑に附せられ勝ちであつて青年同盟の組織されたのは、舊勞農黨系に屬する全日本無產青年同盟が大正十四年に成立されたのみで、これも過般の共產黨事件に關聯して反動政府の兇刄に倒れ、現に存在してゐるものは社會民衆黨系の社會青年同盟準備會のみであつて、これも數ヶ月前に企圖されたばかりで構成員も未だ餘りに少なく、今後の發展を待つべきであり、全國的組織をもつものは、我國には存在してゐない。勿論、農民組合內の青年部、勞働組合における青年前衛隊の如く、無產青年を主體とする團體の無い譯ではなかつたが、これとても餘り目覺ましい活動を成した事を聞かない。要するに我國の青年運動は未だ搖攬時代であつてそれ丈け今後における期待も大きいのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

二

先づ始めに當つて讀者の參考のために、舊全日本無產青年同盟の運動を批判し、次に一般論に入る事にする。從來我國においては大衆的青年運動はなく、前衞的青年の結合よりなる團體によつて、單に思想の研究と教育的方面に限定された觀念的な運動が行はれて來たのであつたが、一九二七年に至つて始めて大衆的組織を標榜した無產青年同盟の結成があつた。これは我國の青年運動史上における一時期を畫する重大な意義あるものであつたが、この青年同盟も未だ完全に過古の誤謬より脫する事能はず、その構成は一般的青年運動と前衞的であつて青年運動の特殊的意義とを混同した畸形的な組織體であつて依然として實際運動の圏外にあつたと言ひ得られる。これは青年の最も犯し易い心理的作用も大いに含まれてはゐるが、我國の極左の人々が犯したと同じ誤謬、即ち我國の資本主義發展の段階の認識の不足より生じたものであつた。舊全日本無產青年同盟の最後における活動を見るにそれは共產青年同盟の役割を果さんとする焦慮の跡が歴然として見へるのである。共產青年同盟の活動のためにはその背後に强大なる×××の援助がなくてはならないにもかゝわらず、我國には未だかゝる强大な鬪爭力をもつ×××は不幸にして存在しない。そこに全日本無產青年同盟の戰術の誤りがあつたのである。この前衞的任務と大衆的任務の混同による指導精神の誤謬に對しては、餘りに幾多の人によつて述べ盡され、讀者諸君も中毒する程聞かれた事であらうから、再論を避けるが、舊無產青年同盟はこの誤謬より脫する事が出來ず、遂に倒れたのであつた。舊無產青年同盟はこの危險を實際に經驗し、今後における青年運動に對して活教訓を與へた點において、その意義が認められる。

三

かくの如く過古において苦々しき失敗の跡を殘した我國の青年運動は決して從來の如き誤謬を犯してはならない。これより組織される所の青年同盟は、從來の如く共產青年同盟の如きものでなく、最も大きな抱擁力をもつ所の一般的青年同盟でなくては、この沈衰狀態を挽回する所の重大なる役割を果す事は出來ない。そしてかゝる大衆的な青年同盟こそ現段階に適應したものであり、それ故に最も急速な發展性がある。かゝる意識のもとに、今後の鬪爭は進めて行かれなくてはならないのであつて、以下私は斯うした見解をもつて論を進めて行くであらう。青年運動がいかに重大な意義をもつてゐるかわ「青年を握れるものが××をも握る」といふリープクネヒトの言によつても明かな如く、青年は鬪爭意識の强烈なる點において絶對に其の比を見ないのである。そこにブルヂョアジーとプロレタリアートの間に青年の爭奪戰が常に行はれてゐるのである。この强大な鬪爭力をもつ青年運動も、決して一個獨立した

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

所の團體ではなくして當然他の無産運動の中に抱含せられるものであつて、只その一部隊としての任務を遂行する團體に過ぎない。然しながら一般勞働者とプロレタリア青年は現在の資本主義社會にあつては特殊的な地位にあり、そこに青年運動の特殊的な存在の意義があるのである。プロレタリア青年は、成年勞働者に比して劣惡な賃金と長い勞働時間をもつて、强烈な搾取の對照とされるのであつて、そのためにブルヂョアジーは學校、青年團、青年訓練所を通じて系統的な奴隷教育を施し、プロレタリア青年をして軍國主義の肉體的對照たらしめる。以上の諸問題をもつてしても青年運動の特殊的存在の意義は充分に認める事が出來る。青年問題を論ずるに當つて、都合上政治問題、經濟問題、軍國主義、教育問題等別々に述べるであらう。

四

資本主義の制度の下にあつて最も悲慘の境遇にあるものはプロレタリア青年である。殊に現在の如く、恐慌後にあつて大資本によつて中小資本が併呑されて來るに從つてプロレタリア青年は益々苦境のどん底に突き落される。資本主義の行詰りと同時に、何等かの方法をもつて自らの階級の利益を圖らんとするブルヂョアジーは青少年勞働者を使用する事によつて打開する事を知つた。青少年勞働者を最も低廉なる賃金のもとに長時間酷使する事によつて成年勞働者の賃金を益々低下せしめ、そのために成年勞働者は青少年勞働者のために仕事を奪はれ、そこに兩者の間に激烈なる職業の爭奪戰が行はれる。ブルヂョアジーはこの成年勞働者と青少年勞働者との間の鬪爭を激成せしめる事によつて、益々利潤を得る事に務めるのである。斯うしたブルヂョアジーに搾瞞された青少年勞働者は段々と過激の勞働と榮養不良のために、精神的にも、肉體的にも完全に破壞されるのである。成年勞働者は青少年勞働者のために職を奪はれ、或は最も低廉の賃金に强制的に甘ぜしめられ、悲慘の生活の基に泣かねばならぬ。かくして勞働階級は增々生活水準を低下させるのみである。我々は然らばこれに對して如何に鬪ふべきであらうか。青少年の夜業禁止、健康に有害なる産業に使用禁止、職業教育、最低賃金の制定、年四週間の休養等々の要求をもつて成年勞働者と共に、成立して戰ふことによつてブルヂョアの青少年勞働者と成年勞働者をも分割せんとする搾瞞政策を暴露し、それによつてのみその目的は達成されるのである。

五

我國における一般青年は滿二十五歳迄はブルヂョアデモクラシーのための總選擧に參加する事を許されず、充ての政治的權利を剝奪されてゐる。そのために我國の青年は政治團體の結成も政治的集合にも參加する事を法律をもつて禁止されてゐる。この政治的權利の剝奪は無産青年のみ、最も大きな損失を受くるものであつて、ブルヂョア青年は

決してこれがために損失を受くるものではない。一度無産青年の手に政治的權利を獲得した時は、舊き政治形態を必ず變革せずには置かないため、ブルヂョアジーは「青年は學ぶべきであつて決して實際闘爭に參加すべきものではない」とのお題目をもつて、無産青年の社會的諸現像と諸經驗とによつて、××的な青年運動の轉換を防ぐために努力するに對して、ブルヂョア青年も協力して自己の地位の保持に務める。かるが故にブルヂョア青年には政治的權利の必要はないのである。昨年の府縣會選擧において大阪朝日が「青年に支援された無産黨候補」と題して青年の政治的自覺の偉大さに驚異して居たのであつたが、この青年の政治的自覺に恐怖しだブルヂョアジーは今春の總選擧に際して、全國一万六千の青年團に對して、大日本聯合青年團理事長の名によつて「總選擧に直面して、青年團の採るべき態度」につひて左の如き聲明書を發した。「我國の青年團は善良なる公民、健全なる國民たるの素養を得る事に務め、政治運動の如き、黨派的、階級的に相爭ひ相排するが如き、實際運動に參加すべきではない。」

以上は井上理事長の發した聲明書の主要部分のみであるが斯の如き手段によつて青年の政治闘爭の參加を防止し、傍、田澤丸山の兩理事の立候補斷念の如きによつて表面一般の誤解を防ぐものであるの口實をもつて、意識水準の低い一般無産青年の政治的自覺を鈍らせたのである。ブルチ**ヨア青年とプロレタイア青年が其の利害關係において決し**て一致するものでなく、從つてブルヂョアジーによつて組織された官僚的、青年團の理事長が如何に大聲叱呼すると雖も、この階級的、黨派的政治闘爭が終熄するものでなく、プロレタリヤ青年がこれを蹴飛して自らの階級、自らの政黨のために闘ふのは餘りに當然であるが、未だ一般に階級意識に自覺せざる無産青年には、この井上理事長の世迷言も效果を奏するのである。もしこの世迷言を飛越へて我々の代表者を應援するものは、難解なる普選法をもつて從屬關係の如き罪名の下に、我々の闘爭場裡より戰闘的青年闘士を奪ひ去るのである。かゝるブルチョアジーの反動的手段に對しては、先づ官僚青年團の中に抱合されてゐる無産青年を我々の陣營に導く事によつて二十歳以上の青年男女の選擧權の獲得のための闘爭を展開し、無産階級的政治の確立のための原動力たらしめねばならない。

六

私は各國の帝國主義政策に對しては、本誌の時評欄において數回に亘つて論じて來たのであるが、最近に至つては特にその傾向が濃厚となり、第二次世界戰爭の危機が孕まれて來た。田中內閣の外交政策の失敗は支那問題を中心として、日米間の國際關係に險惡なる空氣を漲らしめ、苦々しきブルチョアの利權の爭奪戰の準備が整へられて來つゝある。この軍國主義に對する闘爭は、青年運動の中心闘**爭題目とも言ふべき重要さがある。資本主義の制度の存續**

のためには、戰爭は必然的のものであつて、又不可避的である。資本主義社會は戰爭を必要とする論理の上に立てられてゐるが故に、戰爭によつて一つの國家が轉覆すると共に戰勝國家間に變化を生じて再獲得物分配のため新らしい戰爭が始まる。かくして資本主義の存續する限り戰爭の絶へる事はない。然しながらブルヂョアジーは自己のこの醜態を覆ふために、表面は國家主義の美名の下に、擧國一致無產青年を戰爭のために動員するのである。平時にあつては平和主義を唱へて軍備縮少、不戰條約の如きを提唱すれども、軍備縮少會議にあつては、ロシヤ代表のためにこの帝國主義者の平和論を徹底的に暴露され、それに代ふるに軍備の全廢案を提出されて、全世界の帝國主義者の顏色を失わしめた。米國のケロッグ氏の不戰條約も自衞權問題において馬脚を現し、ブルヂョア新聞すら「從來の戰爭において各國が自衞のためと謂ふ題目を使用せず、戰端を開始した事があらふか」と評してゐる。帝國主義間の戰爭は常に國家自衞の名の基に開始されるのであつてブルヂョアジーの平和論もかゝる意識の上に、健てられるが故に、千度平和論を唱へても何等の效果もない。見よ、口に平和論を叫ぶ××帝國主義國は、頻々として大演習を行ひ、大阪を闇とした空中模擬戰爭の光影の如きは如何に口を極めて民衆を欺瞞せんとしてもこの事實を覆ふ事は出來ない。無產青年をして軍國主義化を圖るために、青年團、青年訓練所等を通じて、第二の世界戰爭に備へんとしてゐるではないか。この最も慘酷を極める帝國主義戰爭によつて、多大なる利權を獲得するものは、帝國主義ブルヂョアジーであつて、このために生命を犧牲にして、互に他國の無產階級を傷け、同胞相喰むの愚を演じ、帝國主義の前に肉體的對照となるものは無產階級青年である。この軍國主義政策に對しては、全世界のプロレタリア青年は協力して抗爭すべきであり、反軍國主義鬪爭のスローガンの下には、青年プロレタリアを動員する偉大なる力が潛まれてゐる。

七

未だ充分に述べ盡されないが、餘りに長くなるために敎育問題を簡單に述べて結論を急がう。經濟鬪爭、政治鬪爭反軍國主義への鬪爭を完全に遂行するためには、先づ一般無產青年に對して、階級意識を把握せしめなくてはならない。そこにプロレタリア敎育の必要が必然に生じて來るのである。プロレタリア敎育によつてのみ、最もこれ等の鬪爭に一般プロレタリア青年を動員するとが出來る。我々の敎育は、前に述べた如く「學ぶべきであつて戰ふべきでない」の指導方針と根本的に異り、實踐的活動と理論的敎育の結合によつて初めてその目的は達成されるのである。ブルヂョアジーが智識を目して特權となして、プロタリアの敎育機會を奪ふ事は餘りに當然の事ではある。一社會の內にあつては智識を獲得したものは、充ての階級を征服する事が出來る。ブルヂョアが智識を獲得した時、それはプロレタリ

アを壓迫する武器となる。プロレタリアが智識を獲得した時において初めて社會の進化法則を知り、觀念が社會制度を變革するものでなく、實在が思惟を決定する事を教えられ、ブルヂョアジーの强さ――即ち資本主義社會の現段階――を認識し、それによつて資本主義××の武器とするのである。教育は資本主義に對して如何に闘ふかの戰術を決定するために重大なる使命があるが故に、特にマルキスト理論家は、プロレタリア教育を重大視し、これに對して力を注ぐのである。勿論我々の教育は、實踐的經驗の理論的一般化でなくてはならず、充ての發展過程を物語る社會科學は如何なる場合も、教育的任務の旋回者となるのである即ち、マルクス主義的方法、辯證法的唯物論の方法をプロレタリア青年自らのものとして把握しなくてはならない。然らば果してプロレタリア教育を完全に青年プロレタリアのものとするには如何なる方法によつて成されねばならないか。これは從來ブルヂョア教育に毒されてゐる一般プロレタリア青年に對しては、決定的な重大な問題である。プロレタリア意識を未だ把握しない意識水準の低い青少年を對照とする教育なるが故に、最も單純なもの、即ち工場、學校、家庭、農園の如く常に接觸する明白なる事實の上に建つたものより、漸時復雜のものに移されなくてはならない。それと同時に青年プロレタリアの心理的特殊性に對して美術、文學等の智識の魅惑的方面よりもこれを廣める事も必要である。この手段としては、講習會、研究會、討論會等の機關を利用すると共に、レポート、記事、壁新聞の如きを共同して書くが如きは最も能き方法であらう。

八

青年をもつものは、××をもつものであり、青年をもつものは、未來をもつものである。即ち現在の沈衰狀態を打開するものも、又青年の力である。要するに大衆的青年同盟が、前述の如き概念の基に指導し、經濟闘爭、政治闘爭反軍國主義等の闘爭題目の下に勇敢なる闘爭を續ける時我國の青年運動は始めて正しき軌道を走る事が出來るのである。勿論青年運動は資本主義の搾取よりプロレタリア×××の長き苦難の途上において、更にプロレタリア社會の健設の過程において大なる困難に遭遇せねばならないであらふ。然しながら、斯る苦難の闘爭を最も執拗に成す事によつて、青年運動は初めて强固なる基礎の上に健てられ無產運動の前衛的役割を果すのである。今や老衰幹部によつて漸く遲緩して來た我國の運動も、青年の勇敢なる闘爭によつて、ブルヂョアジーを恐怖せしめずにはおかないであらう。青年問題は餘りに尨大の問題であつて、充分に述べ盡されなかつた恨みはあるが緊急を要する問題であるので簡單に述べ、粗雜に流れたる點は讀者諸君の寬恕を乞ひ、何れ後日何かの機會に詳論する事とする。（八月十日）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

資料

○無產黨合同の具體的方法……………日本勞農黨
○京都西陣準備會の解散と日勞黨加盟聲明……京都西陣地方準備會
○立入禁止反對の抗議書……………全國農民團體會議
○對支干渉に對する聲明書……………無產大衆黨
○同……………社會民衆黨

無產黨合同の具體的方法

過般大阪に於て無產政黨の統一を標榜して社民、日勞、舊勞農黨各黨有志によつて組織された政治研究教育會が無產政黨合同に關する吾黨の態度、並に合同の具體方策如何の回答を求めて來たのでそれに對し日本勞農黨は左の如く回答した、

一、無產政黨合同に贊成である。

二、(イ)合同は即時。既に結黨せる合法的政黨に關する限り合同に關して無條件である。

(ロ)合同時期尚早に非ず。緊急を要す。

(ハ)具體的方法。

(A)舊勞農黨方面で結黨せる地方政黨、在來の地方政黨、社民黨及吾黨を打つて一丸とする一大大衆黨を再建せんとするにある。この中にて贊成の部分のみにても結黨せねばならぬ程に合同は緊急を要すると考へる。

(B)舊勞農黨幹部の方針の如く『他黨をつぶしてとる或は他黨の幹部を排擊して大衆のみをとる』といふ方法には反對であり同時にそれは空想なりと考へる。吾黨は合法政黨を相互ありのまゝに合同せんとする。他黨の幹部にして合同に反對するもこれをその大衆に排擊せんことを要求するに非ずしてその幹部をして合同に贊成せ

時事日誌

七月廿一日(土)
日本政府不戰條約締結に無條件贊成の旨通告
張學良日本の警告により國民政府との妥協を取消し、內政干渉の聲高し。

七月廿二日(日)
本鄕基督教青年會館に無產大衆黨結黨式を擧ぐ、

七月廿三日(月)
獨乙ババリヤに於てファシストの示威運動あり。共產黨員之に投石し亂鬪起り死傷五十餘名、

七月廿四日(火)
本日より四日間於上海反日大會開催。

七月廿五日(水)
支那關稅自主を承認する旨の米支條約拔驅的に締結調印を了す

七月廿七日(金)
富山縣三日市滑川等に富山電氣株式會社に對する料金値下爭議起る。

七月廿九日(日)

しむる樣努力せんことを求める。
(C)所謂共同鬪爭の方法は反て混亂を起す故に他黨の鬪爭の場合は指導權を他黨に確保せしめて好意的の應援鬪爭によつて相互が接近し吾黨のは他黨に機會を與へる方法を採る。特に幹部同志でも大衆同志でも接近の機會を作つて相互了解をなすこと。新黨の綱領其他は在來の黨の綱領の共通點をとつて作ること。

京都西陣準備會の解散と日勞黨加盟聲明

かつて舊勞農黨を甚だしく毒し、戰線を攪亂し來つた極左翼一派は、、京都地方に於いても亦全國の彼等と共に、舊黨解散後依然としてその非を改めざるばかりか却つて益々反動的にその極左的、宗派的本性を發揮しつゝある。彼等は再建問題のためには、何等積極的方針を建て得ず常に舊幹部派の無定見なる極左的政策に追隨し、ひたすら急激に崩壞し行く自己の勢力の維持にのみ狂奔しつゝある。例へば彼等は始終我等反對派の中傷、逆宣傳を行ひ、大衆との分裂策を弄し、或は舊黨支持團體たりし元評議會加盟各組合の事務所を組合に無斷で移轉し、組合財産を橫領し組合名を僞稱する等、あらゆる陰謀と策動をつゞけつゝあるのである、また彼等は去る九日我等反對派を排除して既に有名無實となれる彼等の「準備會」を再組織し、舊幹部派の所謂「新勞農黨準備會本部」の統制に服し速かに結黨して日勞黨と合同すべきことを申し合せた。だがそれは明白に急激なる舊黨員の離反を喰ひ留めんがための全然實行不可能なる彼等の策略に過ぎぬ。今や彼等極左の勢力は全國的に崩壞し、舊黨員大衆は各地に於て彼等に對立して、戰線統一の前提として地方政黨を結成し、或は他の無產政黨に加盟しつゝある。舊幹部派のお膝元に於ける「無產大衆黨」の結成の如き、その好適例である。

當地方に於ける舊黨反極左派によつて成る「西陣準備會」は、舊黨解散以來全舊黨員が一致して再建に向つて進まんことを熱望し、極左一派にその誤謬の清算を促し、

舊評議會關東所屬組合は全國單一勞働組合總聯合關東地方協議會の名の下に第一回大會を本所公會堂に開催三分間にして解散を命せらる。

犯罪都市集中傾向著しく長野縣飯田刑務所に囚人なし。

日本遞信從業員聯合大會上野自治會館に開催、二十四時間勤務制廢止を決議す。

七月卅日(月)

サヴエートロシヤ富くじ付内債五億留公募の旨發表す。

七月卅一日(火)

海軍勞働組合聯盟中央委員會社民黨との合同を決議す。

八月一日(水)

床次竹次郎氏民政黨を脫し舊本黨系を糾合新黨組織に着手す。

八月二日(木)

英國マンチエスター紡績聯合會加盟會社はラムゼー紡績罷業側厭策として勞働者五十萬人のロツクアウトを八月八日を期し決行の所本日爭議解決す。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今日まで最善の努力をつゞけて來たのであるが、以上の如き彼等の態度によつて、今や彼等とは絶對に相容るゝ能はざることが明白となつた、これ茲に我等が極左一派と一切の關係を斷ち、その所信に向つて猛進すべく斷然決意するに至つた所以である。即ち我等は極左宗派主義を徹底的に排撃して速かに合法的組織を持ち、大衆の政治的利益の擁護に當ると共に、萬難を排して一路戰線統一に向つて猛進せんとするものである、然して我等は當地方に於ける現下の情勢は、地方政黨を組織するよりも、寧ろ他の無産政黨に加盟するを以て有利なりと考へる。かくて我等は、現在各無産政黨中、比較的最も忠實に、無産階級の利益を代表し、統一戰線のために奮闘しつゝある日本勞農黨に加盟し同黨の當地方に於ける黨員と協力して、有力なる支部を創立し同黨の統制の下に同黨を通じて、その目的貫徹のために邁進すべく、茲に『西陣地方準備會』を解散する次第である。

昭和三年七月十八日

京都西陣地方準備會

立入禁止反對の抗議書

農村小作爭議が何故頻發するかと云ふが如き問題は今更茲に喋々する迄もない、然るに地主は小作人に對し小作料完納の一片の催告書を發して債務不履行土地賃貸借契約解除と稱しこの小作人の土地に對し立入禁止假處分の申請をなし來ること、近來に到つて益々甚だしいものがある。乍然かゝる假處分が小作農民に對し如何に暴擧であるかは蓋し言語の外である。小作人は昨日迄自己の丹精せる土地に對し今日は一歩も足を入ることを禁ぜられて耕すべき土地を奪はれて小作人と其の一家は何に據つて生計を爲すべきであるか實に立禁處分は小作人一家の生命をも奪はんとする刑罰の如きものである。然るに裁判所はかゝる事實重大なる影響を及ぼすべき假處分申請に際し多くの場合は一回の口頭辯論をも開かずして惟々諾々として之を許す官廳は其の執行を完からんが爲、**あらゆる努力を惜まなかつたのではないけれ共、斯の如き裁判官廳の**

八月三日(金)
社外船員最低賃銀制不履行に就き栗林汽船々員爭議開始

八月八日(水)
支那第五次全體會議南京に開催
林權助大使をして張學良に南北妥協を中止せしむべく強硬なる勸告をなさしむ、
東京モス龜戸工場は請負賃銀率八厘値下に反對、爭議を起す。

八月十日(金)
北海道々會議員選擧施行(政友二七、民政二四、中立六)無産黨全部落選、
東京モス爭議解決。

八月十一日(土)
東京市會板舟權補償問題に疑獄起る。

八月十二日(日)
富山縣電氣爭議同盟會は知事一任の調停案を拒絶し決裂す。

八月十三日(月)
南京事件解決に關する英支協定成立、賠償金一千萬元英國鐵道勞働組合、四大鐵道會社と勞銀

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

態度は徒らに地主を擁護し小作人を害せんとするに外ならない、成る程冷やかな法律の論理は地主に權利あり小作人は之れに異議を謂ふべき理由なし、若しあらば法律的に之を唱へて壓迫を行ひ爭へば可なりとなすであらう、乍然窮乏の底に痛く逼迫せる苦痛により小作人の眞實の生活に就ては實に恬として一顧だになさぬ態度ではないかのみならず立禁處分を爲す地主の其の意圖は小作人が據りて以て目的の向上を計らんとする唯一の道程たる組合運動を根本的に破壞し小作人をして永久に地主の隷屬のものとに屈服せしめんとするにあり、然らば裁判所官廳と結果に於て地主の意圖の協力者に外ならぬではないか、吾等全國の各農民團體及び各勞農政黨の代表茲に相寄り立入禁止假處分の如き暴擧に反對するが爲に飽まで鬪爭を敢行せんことを盟約するに當り關係諸官廳の諸公が眞に思ひを致し從來の態度を一變されんことを要請す。

昭和三年七月二十三日

全國農民團體會議

中部農民組合　日本農民組合總同盟
東海農民組合　中央日本農民組合
全國農民組合　上下農民組合
社會民衆黨　日本勞農黨
無產大衆黨　新黨組織準備會

無產大衆黨の對支干涉に對する聲明書

一、支那のブルジョア革命を、一應完成し得たところの國民政府は、帝國主義ブルヂョアジー諸國との政治的經濟的利害の新なる關係の設定を全世界に提議した。帝國主義ブルジョアジー諸國は、支那との利害の新なる關係を自國にとつて有利に展開すべく、今や虎視耽々たるものがある。

二、わが帝國主義ブルジョアジーは、滿蒙における三井、滿鐵、大倉、安田の財閥並に原料と販路を滿蒙に依存する、その他のブルジョア群の利害の動搖と安全をひた

二、五パーセレ引下協定成立、向一ケ年實施。

八月十四日(火)
全國農民團體會議名古屋に開催
山形縣に電氣爭議起る。

八月十五日(水)
支那第五次全體會議終了、共產派擡頭す、賀川豐彦氏等全國非戰同盟を結成す。

八月十六日(木)
第六師團山東派遣軍撤兵。
支那黑龍江省の北部コロンバイルに獨立運動起る。

八月十七日(金)
閻錫山 北京の工人會(勞働組合)に共產黨彈壓を目的として解散を命ず。

八月十九日(日)
東京市疑獄進展、日勞黨社民黨糾彈に起つ。
全國勞働組合會議第二回準備會大阪に開會。

八月二十日(月)
富山縣電氣爭議滑川を除き解決す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

すら確保するために、國民政府による支那統一の内政に武力的干渉を敢て爲した。彼等の意圖が、わが武力の保護の下に、東三省王國を建設せしめ、その貢納を期待するにあるは明白である。

此のことは、支那の民衆に對する戰爭を準備し、虎視耽々たる帝國主義諸國との世界戰爭を準備するものでなければならぬ。

三、わが無産大衆黨は、わが民衆を支那民衆との戰爭、世界戰爭に投げこまんとする一切の企てに反對する、支那の統一を妨げて、東三省王國を建設せんとするあらゆる干渉に反對する。

しかして、わが民衆と、支那民衆との基礎の上に、新なる平等の國際關係を設定せんことを要求する。

わが無産大衆黨は、日勞黨、社民黨との協力によつて、無産大衆の最前線に起つであらう。

昭和三年七月二十五日　　無産大衆黨

社會民衆黨の對支政策に關する聲明書

支那が半殖民地の狀態に置かれ、世界列強の資本と武力との暴戾なる壓迫下に虐げられつゝあることは、支那民族自體の正當なる存立と發展との障害たるばかりでなく隣國たる日本の國際的存立に對する根本的不安の原因であり、且又、世界平和の根底に横たはる暗礁でなければならぬ。故に支那民衆が三民主義による統一的國家改造を斷行して、其の自主的生存權を確保することは當然の大勢と一見すべきであつて、日本が此の大勢の進展を理解し且つ援助し以て日支の緊密なる共存共榮の連繫を確立することは、たゞに日支兩國が世界的存立を強固ならしめ得るに止まらず、進んでは東洋各被壓迫民族の解放を實現し、眞實にして公平なる世界的平和の建設に貢献する所以であると確信する。

進め社だより

富山電氣爭議の時、進め社は直ちに富山縣支局に激勵電報を打つて、積極的參加を希望した。

トミデンニシストモクツセズプロノイリヨクヲシメセススメシヤ

ところが四五日たつて、東京日比谷署から呼び出して來たのでM君が出頭すると、署長が下らぬ事を云ひ出した。『あんな、過激な事をして貰ふと實に困る。今迄、進め社は勞農黨と竝んでゐても、取締りを寛大にしてをつたが、こんな事をして貰ふと、今後勞農黨と同じい樣に取締らねばならん』と。

諸君、考へて見ろ、進め社の電報の何處が社會の安寧に觸れると云ふのだ。

富山縣の大衆が生活權擁護の爲めに、横暴なる電氣會社と戰つてゐる時、常に大衆の爲めに戰つてゐる進め社が同地の支局に向つて大衆の爲めに先頭に立てと激勵したのが何故惡い。

こゝに警察の階級性がはつきり分るのだ。彼等の惡いと云ふのは富山電氣會社といふ資本家及び全國的電氣トラストの爲めに惡いと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾等はかゝる見地よりして日支條約改訂問題に對しては、日本は自ら進んで改訂の誠意を示し、法權、稅權等の回復に對しても、日本は率先して列强を指導するの態度を取るべきであり、條約の末節を以て支那側の條約破棄を云々し、威嚇を以て其の存續を企圖するが如きは、此の重大なる國際政局に處する日本國家の方針として時代錯誤の甚だしきものでなければならぬ。

又最近日本政府の行ひたる警告に至りては、これ明かに一個の內政干涉であつて、南北の合理的妥協の形勢に對し、故意に之を阻止せんとする大勢逆行の不法行爲でなければならぬ。

思ふに從來久しきに亙つて我が支配階級は、正しき自覺に基く支那民族の自主的統一を欲つせず、陰に陽に之を妨害し來つたことは明かなる事實であつて、今回の警告の如きも、その傳統政策の一表現たる南北分裂政策の發露でなければならぬ。斯くの如き政策は支那民衆をして東三省を日本の保護領たらしめんとするかの如き疑惑を生ぜしめ、日本支配階級による對支干涉の惡印象を益々深刻化する外何等の效果無きものなることを斷言する。

吾等は茲に斷乎として聲明する。日本政府は現下の重大なる東洋政局に鑑み、我國傳來の誤れる對支政策を根本的に猛省し、一切の行き懸りを一擲し、支那民族の自主的統一運動を理解し、且つ助長しなければならぬ。しかも日本の東亞に於ける重要なる國家的地位を考慮し、むしろ列國に率先し且つ指導して、支那更生の大勢に協力し以て東亞政局に一大光明を投ずる決意がなければならぬ。

吾等は刻下の支那問題が極めて重大化しつゝあるを衷心より憂慮するが故に、我が政府に向つて、對支方針の根本的轉換を要求するものである。

一九二八年七月二十六日

社會民衆黨中央執行委員會

云ふのだ。

食はせろ、働かせろ、電燈料を値下げしろ……こう云つて叫んでゐる民衆の運動をたゞ一個の資本家の爲めに彈壓するところの警察の正體は　警察の目的であると云ふ社會全體の安寧の爲めにの存在を通り越して、忠實な資本家の番頭となつてゐるのだ。

諸君、しかし、未來は吾等のものだ。理想は進め讀者の手にあるのだ。

しつかり、やらう。

握手しよう。

[勞]勞農戰線の進出的再從の爲めに「無産大衆黨」が生れた事は、戰線統一の爲めに戰ひつゝある日本勞農黨の大いに祝すべき事ではある。

しかしながら、その盟友の出現の爲めに、自己といふものを沒却させて了ふ事は惡い事だ。即ち無産大衆黨の出現の爲めに、日本勞農黨がその後に追隨し、へりくだる必要は毫も無いのだ。

日本勞農黨の機關紙「日勞新聞」の八月號を見ろ、まるで日勞新聞が、日勞黨の機關紙であるのか、又は無産大衆黨の機關紙であるのか、さつぱり見當がつかぬ。

日勞新聞よ、もう少ししつかり編輯しないと人に笑はれますぜ。

無産階級當面の任務

羽田光雄

（一）

日本無産階級は先づ何よりも、戰線の擴大と强力な日常鬪爭の展開をする爲めに、合法政黨が絶對に必要であるといふ確信をもたなければならない。

荒れ狂ふ反動の波、就中、舊勞働農民黨が解散されてより猛烈の度を加へ來たつた彈壓の魔手と戰ふ爲めに、合法政黨の必要性は、眞に戰鬪的な勞農階級のひとしく要望してゐるところである。

合法政黨の必要といふ聲は、舊勞農黨解散以前においては論じられた問題ではなかつた。何人もが當然な事として受け入れてゐたからである。然るにこの問題が、問題にされる樣になつたのは、舊勞農黨が解散されてから、舊勞農黨、今の新黨組織準備會の中に、合法政黨を事實上否認する樣な傾向が强くなつて來たからである。この傾向は、**戰線の混亂をふかからしめ、大衆の離散をもたらし、小數派運動への進展であり、眞に强力な左翼的運動の退却を意味する、**

この傾向と戰ふ事は、無産運動の强力な進展を促進するものであり戰線統一の爲めに邁進する事である。されば日本無産階級の上に課せられた最重要な任務たるや明かである。

（二）

では新黨組織準備會は、この合法政黨の獲得に就いてどんな態度をとりつゝあるか。先づ勞働農民新聞、無産者新聞をもつて語らしめよ。――

「さきに吾々は、わが準備會が會員獲得鬪爭の全國的組織に進出し、この鬪爭を通じて結黨を實現する事が可能であり、且必須である事を認め、まづ會員獲得鬪爭週間を計畫したのであつた。」

「それ故にこそ、わが準備會はあらゆる社會民主主義者の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

退却論にも拘らず、斷乎として反動政治と戰ひをつゞけ、支配階級が認めると否とに拘らず、嚴然たる勞農大衆の一戰線を築きあげ、今將にこれが公黨としての合法性の獲得に向つて進まんとしてゐるのである。」

「戰鬪的大衆黨の合法性を要求し、その結黨の準備を進め行くには、吾が準備會は以下の如き明確な目標をもつそれは、第一に既成黨員並びに未組織大衆をより容易に、より速かに政治的に結成し、第二に勞農政黨の合同運動の進展を一層容易ならしめ、第三に日和見主義や合法主義者の地方黨組織や、その他の非階級的陰謀を打破せんが爲めである。」（勞農新聞第五十七號社說）

以上によつて新黨準備會が合法政黨再建の必要を高調してゐる事が發見出來る。

然らば、如何にしての問題にふれて見なければならないこの問題を通じて、準備會の合法性獲得の方法が事實上不可能なものである事が發見される。

即ち曰く、「支配階級が認めると否とに拘らず、嚴然たる勞農大衆の一戰線を築きあげ」「彼等の如何なる彈壓にも搖がざる戰鬪的組織を作りあげ解散命令を一片の空文たらしめる事だ。（中略）吾々の陣容が強まつてこそその合法性は戰ひ取れるのだ。」（勞農新聞五十三號社說）

然して其の實例として

「見よ獨逸の赤色戰士同盟は政府の解散命令に抗し、ベルリンに十五万人の大示威運動をして、遂に最高法院をして禁止取消なさしめたではないか」（新黨準備會の檄六月廿日）

と。

その心事や洵に悲壯である。然しながら、彼等の夢見る禁止取消は遺憾ながら、ベルリンである。吾が東京においては、勞農黨解散の時、又新黨準備會の勞働農民黨結社禁止取消請求行政裁判の時においてすら、無產者新聞の幻想せるゼネラルストライキや示威運動が捲きおこつたか客觀的狀勢を正しく認識するものにとつては、彼等の態度は餘りに小兒病的であつた。出來ない事をしようとする者であつた。この再建方法では何時まで立つても合法性は戰ひ取れない。

三

では舊勞農黨再建に就いての反幹部派の態度を見よう。

すでに反幹部派は無產大衆黨を結成した。

曰く

「舊勞働農民黨々員諸君

政治的日常鬪爭機關としての勞農黨を奪はれてから、日常鬪爭は全國的に休止した。

此の結果は何をもたらしたか。

一般大衆は政黨中立から政治中立へ、さらに政治的無關心に陷入つた。**組合運動の鬪爭力は萎縮した。その間隙に**

乘じて右翼化の傾向は瀰漫し、支配階級の彈壓は加重されたのである。

舊勞働農民黨黨員諸君

かゝる傾向と戰ひ、彈壓と有效的に抗爭するには、眞に大衆的鬪爭による外はない。しかも政治的日常鬪爭の機關を缺く限り、無產大衆鬪爭に動員する困難なるは見易い。新黨準備會の所謂大衆鬪爭の失敗は實餞に於て之を示してゐる。而して大衆を眞に動員し得るかゝる機關は少くとも現在の我が國においては合法政黨を除いて他には無い。」

(無產大衆黨より舊勞農黨員への檄)、

「更に又政治的日常鬪爭以外の鬪爭によつて先づ前衞の力を强め、その力をもつて大衆を政治的に組織せんとする――それも誤謬だ。この際の政治的日常鬪爭の放棄は左翼にとつて最も致命的な退却を意味する。先づ前衞の力を强めて然る後にでなく、前衞を强めるためにこそ、直に大衆を日常鬪爭へ動員しなければならぬ。そして、それは直に政治的日常鬪爭の機關の樹立とならねばならぬ。だが、かゝる機關は合法的無產政黨たる事によつてのみ當面の所要の機能を果し得る。」(勞農八月號猪俣氏)

では如何にして、

「舊勞農黨分子による合法政黨の戰ひ取りは異常な困難を伴つてゐる。だが、それは決して不可能事ではない」

それは、現在の合法的可能性の最强度の利用によつて可能であると說明する。その條件として、先に勞農黨解散の直後舊日本農民組合の新黨組織方針をかゝげてゐる。

「一、解散の口實を與へざるが如き政黨を樹立する事

イ、大衆的共同戰線黨なる事

ロ、役員の變更

ハ、黨名の變更

即ち、無產大衆黨はその宣言において、吾黨は前衞黨と混同せられざる大衆的共同戰線黨であり、あくまで合法的なものである事を强調してゐる。

かくして無產大衆黨は結黨した。

かくして、舊勞農黨の新黨樹立に就いての二傾向が判然と對立した。

（四）

以上の二つの傾向を眺める時、前者も後者も共に合法政黨の必要は認めながら、その性質、樹立の方法において全く氷炭相容れざる立場に立つてゐる。

即ち、前者は到底不可能なる方法によるそれであり、後者はあらゆる合法的可能性を利用して再健せんとしたのである。前者は、現在の支配階級の許可する樣な政黨なら作らぬがよい。それは屈服だとして、支配階級がどうにもかうにも許可せざるを得ない樣にするといふのである。その爲めに、大衆的鬪爭を强力に捲きおこそうとしてゐるのである。しかし、それは現在において不可能である事は實餞が示したのであるが、彼等はその客觀的條件が滿たされる

時まで結黨はしないといふのである。換言すれば、前衛の力を强めてこそ、日常政治闘爭の動員があると云ふ。

之に反して、後者は、日常政治闘爭が强まつてこそ、卽ち合法政黨の機能を完全に果してこそ、初めて前衛の力が强大になるものである。そして、大衆を日常政治闘爭へ動員する爲めには合法政黨があくまで必要であるといふ。それは例へ一歩退いてもと云ふ。

兩者の論戰を今一度、兩者の言論機關をして語らしめよ

（五）

「かくて、工場、農村の砲壘による戰鬪的勞農大衆の驚くべき闘爭力と、その犧牲的努力によつて新勞農黨準備會の搖るぎなき基礎は一歩一歩と築かれつゝあつた。これは支配階級の恐怖であり、「勞農」派解黨主義者の豫期せざるところであつた。此の日より聲視聽と「勞農」一派の取引は成り………」（勞農新聞五十六號社説）

新黨準備會は合法政黨組織をもつて官許黨であると云ふ「卽ち無産大衆黨創立當事者の態度は、支配階級の勞農黨に對する戰鬪的勞農大衆に對する彈壓に抗爭する事を回避し、徹頭徹尾反動政治に屈服し………」（同）

かくて、準備會は大衆黨の態度を徹頭徹尾排斥し、「官許黨」「退却者」「分裂主義者」の罵聲をあびせかける。

（六）

之に對し、大衆黨側は答へて云ふ。

「一歩退らねば打込めぬ時にさがる一歩、進み過ぎた前衛を本隊に近づけねば攻撃を續け得ぬ時にする引戻しが敗北を意味する退却ではないことは餘りにも明白である」

「、解散の口實を反動政府から與ふ爲に豫め官憲と交渉することによつて惜むべき「官許」の政黨が出來ると云ふならば、日本のメーデーはすべて惜むべき官許のメーデーであり、日本勞農黨も惜むべき官許の政黨であつた。」

「、新黨準備會は、このヂレンマを糊塗する爲に、第二のデマゴーギを必要とする、曰く、吾々は戰鬪的な政黨を作るのだ。どんな政黨でもよいといふのでは無い。――しかし、これは左翼分子の一般任務と當面任務のスリ換へでなくて何であるか。當面の任務はあらゆる可能性の極度の戰術的利用によつて最も急速に合法政黨を獲得するにある。」

「戰鬪的政黨でなければつくらないと言つて政黨をつくらぬ事は、戰鬪的政黨をつくらない事である。（中略）それは退却のしるしであつて進出の旗幟ではない。」（勞農猪俣氏）

「問題は、合法的大衆黨の組織を放棄すると云ふ大きな苦痛の前に、官憲への多少の屈從の苦痛を堪え忍ぶか？、それとも官憲への多少の屈從も之を甘んぜず、自己の小な滿足の前に、合法的大衆黨の組織を放棄するか？に在る。」

（同青野季吉）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

（七）

以上長きにわたつて新黨準備會と無產大衆黨との論戰駁の跡を示して來た。

今や新黨準備會の方針は、洵に小ヒロイズム的に悲壯ではあるが、徹底的な誤謬である。明日のより大なる收獲を今日の日の小な自尊心に妨害されてゐる。合法政黨の必要を認めながら、事實においてそれを作り得ないのは、退却者であり、無產運動の進展を妨害し、それを回避せんとするものである。あくまで前衛黨たらんとして、大衆を離散せしめる觀念的小兒病者より一步も離脫してゐない。この方針が、事あらば彈壓せんとして口實を求めて止まない、支配階級の、彈壓政策に迎合する以外の何者でもない。之に反して、あらゆる戰術的技巧をもつて、解散の口實を奪つて生れ出でた無產大衆黨こそ、勞農黨再建の任務と戰線統一の任務を果すものである。しかし、無產大衆黨の舊勞農黨再建の程度はまだ未知數である。準備會と大衆黨は今や互に檄を飛ばして黨員の爭奪を行つてゐる。

（八）

わが日本勞農黨が舊勞農黨の再建の速かなるを要求するのは、それが支配階級への陣營の立直しであり、同時に合同運動の速かなる進展を示すものだからである。されば、**その再建の爲に最善の努力をする無產大衆黨の出現を喜ぶのは當然である。**「無產大衆黨結黨の理由は、舊勞農黨の再建と、戰線の統一であつたが、後者の任務を果す爲には、前者の急速なる成功がなければならない。何故であるか。即ち、前者に成功しないで、何時迄も大衆なき大衆黨で終つたなら、大衆黨結黨の意義はない。そうであれば、何も最初から、結黨の必要はない。日勞黨に入黨した方がましであつたらう、されば、大衆黨が躍起になつて舊勞農黨員の獲得に焦慮するのは必然である。

（九）

合法政黨組織は無產政黨合同への發端である、この事は五月二十八日、新黨組織準備會の細迫、上村の兩氏が、日勞黨を訪問され「新黨組織準備會は結黨せずにこのまゝで日本勞農黨と合同したい」と提議されたに對して、日勞黨は「新黨準備會は合同提議をする前に速かに結黨して、その合法的存在を明示する義務がある」として反對した事に徵しても、合法政黨あつてこそ勞農政黨合同への發端がある事を明示するものである。されば、新黨準備會が合同に誠意があるならば、すみやかに舊勞農黨の再建をなし、其の合法性を獲得すべきであつた。

しかしながら、新黨組織準備會は、その合法性獲得の鬪爭を戰ひつゝあるものゝ、それは事實上不可能な方法による**獲得鬪爭であるからして、何時までも黨の再建は出來**

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ず、支配階級内の反動の魔手に喰ひ荒されてゐるばかりである。では、その不可能なる再建運動とはどんな形態をもつたものか。

即ち、前にも書いた如く、大衆鬪爭の激化によつて、支配階級を恐怖せしめ、解散命令を一片の空文たらしめんとするもの丶如くである。そして、そのよき實例として獨逸の赤色戰士同盟の例を引出してゐる。しかし、日本には未だこうした××的鬪爭は起り得ない狀勢にある。この事は新黨準備會がよく承知されてゐるところであらう。彼等はすぐこうした鬪爭の起り得ないのは暴壓が激しいからだと云ふ。けれども、如何なる暴壓でもはね飛ばすだけの力がなかつたら、彼等の所期の目的を達成する事が出來ない。

ロシヤ革命は、暴壓をはね飛ばすだけの組織と大衆の戰鬪的反抗あつたればこそ成就されたのである。畢竟新黨組織準備會は、合法政黨の組織を放棄するらしい。

されば、無產大衆黨がこの幹部派の方針に反逆して結黨されるや、「合法政黨は官許黨である。警視廳との取引によるニセ無產黨である。」とデマゴーギを飛ばしてゐる。このデマゴーギは單に無產大衆黨に對するに止まらぬ。戰線統一の發端を愚弄するものであつて、當然、全無產大衆へのデマゴーギであると云はざるを得ない。

戰線統一に眞向から反對する者も、それを表面唱へながら、事實において不可能ならしめてゐるものも、立派な分裂主義者である。

（十）

口には立派な××的口吻をもらしても、それが實際的に退却するものであるならば、無產階級にとつて甚だしき危險な傾向であらねばならぬ。

新黨準備會によつて代表される合法政黨再建の放棄的傾向と戰ふ事は、戰線の擴大を圖り大衆の右翼化を防止する事であり、戰線統一の爲に戰ふ事である。

しかしながら、戰線統一を妨害するものは極左小兒病者のみにとゞまらない。戰線統一を共產主義者の陰謀であるとふれ廻つてゐる右翼の勢力も戰線統一を妨げ、支配階級の分裂政策に呼應するものである。

梅雨以來の天候の險惡は、米價の昂騰を來たすや明かである。すでに鰻のぼりに暴騰してゐるではないか。

帝國主義戰爭の危機は迫つてゐる。隣國支那に對する日本ブルヂョアジーの彈壓を見よ。亦、治安維持法の改正、朝鮮增兵、之は何を物語るものであるか。吾々はこの支配階級の彈壓と戰ひ、全民衆の生活を安定せしめねばならぬ。

その爲に、戰線統一を叫ぶ、勞農戰線の再建を叫ぶ、

一切の分裂的傾向と戰へ。

一切の非鬪爭的傾向と戰へ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

秋和松五郎、佐野學、佐野文夫の裏切行爲に就て

大山郁夫、細迫兼光の責任を問ふ

福田狂二

秋和松五郎のスパイ行爲

憶ひ起す本年一月下旬の總選擧に當つて、日勞、勞農の選擧協定が成立し、東京第五區に於いて加藤勘十氏を立候補せしめ、各無産政黨が協力しこれを應援すべく、協定せられたるに係はらず、勞農黨執行委員秋和松五郎がこの協定を破りて政友會公認候補畑彌右衛門を援けて盟友たるべき加藤勘十氏の當選を妨害したる事は、世上餘りに明かなる事であつてこれを詳細に述べる必要はないのである。二月一日、秋和松五郎立候補せし際、佐野學の經營する無産者新聞は「秋和松五郎氏は、勞働農民黨の中央執行委員にして、勞働者、農民の階級意識を體現せる日本における第一人者である」同氏立候補せし上は加藤君は潔よく、立候補を取消すべきである」と論じ、細迫兼光の發行せる勞働農民新聞も同樣の論説を掲げて思想的にも人格的にも加藤氏が秋和に劣れるが如くに中傷を浴せ甚だしきに至つては、秋和の政見發表演説會において加藤氏をダラ幹と罵り、加藤氏の演説會場において聽衆に對して「ダラ幹加藤を出すな」の如き奇怪なるビラを撒布するが如き最も卑劣なる手段を執りし事は、其の背後にあつて、これを使嗾せる勞働農民黨の最高幹部ありし事は明かなる事實であり、大山、細迫、佐野等が、その非を覆ふべくいかに詭辯を弄すると雖も、正しき大衆の審判を欺く事は出來なかつたのである。斯くの如く、大衆の前にあつて反階級的行爲を成して憚からざる秋和松五郎に對して、正しき觀察を爲す忠實なる社會運動家は、必然に疑問を起して來るのも當然である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

巧妙なるスパイは表面にあつては最も戰鬪的運動者らしくよそふ事はロシヤの社會革命黨の首領が最も能くその實例を示してゐるが、秋和松五郎は、日本共産黨の幹部であり、舊勞働農民黨の最高幹部であつたが、一方又最も憎むべきスパイであつた事が發見されたのであつた。三月十五日の曉の手入れに際して秋和も共に檢擧されたのであるが、數日にして釋放されたのであつた。彼れが共産黨の幹部でありながらも、直に釋放された事は奇とすべきであり、その後における彼の行動を見る時一層その感を深からしめるのである。彼れは其後東京市電氣局に通勤し車掌運轉士を首切る人事係に採用され淀橋に居を變へて常に周圍は私服巡査に守られ、同志との交はりを一切斷ちてゐるのである。既に前にも述べた如く、秋和が加藤氏の選擧妨害をしたのみでなく、その報酬として、三千圓を受取りし事は、畑彌右衛門の選擧違反の豫審調書によつて明かなる事實であり、今度のスパイ行爲によるのも、彼れが下劣なる金錢の奴隷であつた事を雄辯に物語つてゐる。勞農（新聞及び無産者新聞並びに、勞農黨の幹部が、勞働運動者に對する最高の侮辱を賭つて惜しまざりし秋和松五郎こそ、我々無産大衆が八裂きにしても飽き足らぬスパイであつたのである。（最近勞農黨の幹部は秋和は第二次檢擧の爲め身を隱したと云つてゐるがこれは彼等が秋和のスパイを隱匿せんとて大衆を僞る虛說である。）

佐野學の奇怪なる行爲

日本共産黨事件に關聯して何人も考へるのはスパイの問題である。そしてこれが眞相を探究する事は、階級運動者の任務でなくてはならぬ。この度の共産黨事件においても、未だ檢擧されざる所の人々の中に、その指導者と目される佐野學のある事も又不思議とすべきである。彼の大正十二年第一次共産黨事件の發覺せしは、佐野學の輕率の至す所であつたが、彼れは巧妙にもその檢擧網を逃れてロシヤに走り、多數の同志を官憲の手に渡し、自からはその重刑を免れたのであつた今回の共産黨事件に際しても、最も官憲が、危險視してゐる所の無産者新聞の主筆であり、果して、共産黨事件の口實の下に反動政府が檢擧の手を下すとすれば當然、その首領たる佐野學はそれを逃れる事は不可能なる事であるにも係はらず、再びその檢擧を前にして、ロシヤに逃れて、自己の安全を計つたのである。斯うした事はありうべからざる事でありながらもそれが實在として我々の目に映じたるに對して、何等かその裏にからくりのある事は想像されるのである。彼の兄醫學博士佐野彪は後藤新平の女婿である事はあまねく世間に知られてゐる事であるが、現內閣總理大臣田中義一の秘書官植田俊吉が彼の從兄であつて、彼れが、共産黨檢擧前にあつて、秘かに植田秘書官と會合せる事實を發見されるに至つた。前第一次共産黨事件當時にあつては、後藤新平は外務大臣であり、今回の共産黨事件に植田秘書官のありし二つの事を綜合す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る時思ひ半に過ぎるものがあらう。

一方には左翼理論を喜び一般無産大衆の正しき發展を妨げ、我國の無産階級運動を攪亂した平素における彼れの行動は荒畑寒村氏の勞農三月號に寄せられた左の一文によつても知る事が出來る。「私は二十年間の最も苦痛困難なる時代を通じてすらも、佐野君の如く同志を賣り、運動を賣るが如きスパイ的行動者としての榮譽を負わなかつた事は、少くとも僕の榮譽であつた。」と云ふて居るではないか、佐野が三月十四日下の闘を悠々と去りし事は下の闘の各新聞社の盡く之を知るところにして、佐野に對してその後二ケ月間令狀を發しなかつた事は今なほ日刊新聞記者間の共産黨事件の七不思議と稱されてゐる。

佐野文夫の密告事件

七月十九日、突如、雜誌勞農派の荒畑寒村氏は拘引された。同氏の今回の檢擧は日本共産黨の統制部長の推薦を受けたためであると新聞記者に對して檢事局は發表してゐる。勿論同氏が統制部長の推薦を受けた事は事實であるが、その際は第一次共産黨事件のために同氏は未だ服罪中であり、又、指導理論において常に對立せし荒畑氏が日本共産黨の入黨を拒み、統制部長推薦を拒絶せし事は餘りに明瞭である。荒畑氏は忠實なる社會運動家であつて、勞農派の中にあつても稀に見る純情の人である。私とは不幸にして所屬を異にし、意見の一致を缺ぎてをれども、同氏が敢つて處刑を恐れるか如き卑怯者でなき事は、推賞にあたへする。戰闘的であつた共産黨内には又戰闘的なスパイがあらゆる所に配置されてあつた。この密告者は日本共産黨内において最も重要視され、近視マルキスト小兒病者の渇望の的であつた佐野文夫であつた。これは荒畑氏夫人が、氏を刑務所に訪ねし時荒畑氏が憤慨して告げた事であつた。荒畑氏が極左の指導理論の誤謬を攻撃せしを恨み遂に氏を獄に投じたのであつた。彼等が證言せば司法當局は必ず氏を有罪にする事は明かな事であり、それと同時に、我等の同志を敵の手に奪はれし事に對して我々無産大衆は偉大なる損失を成せし事を悲しまざるを得ない。

渡邊政之輔の舊惡

渡邊政之輔は、舊勞働農民黨の最も尖銳なる理論家として知られ、第一次共産黨事件に際してもこれに加盟して、實に表面戰闘的勞働運動者を粧つてゐたのであるが、彼れは且つて大正十二年四月總聯合の指導の下に惹起したる汽車製造株式會社東京工場の爭議に際して、彼は總同盟所屬であつたが、工場より買收されてこの爭議の參加を阻みて遂にこの爭議

をして、失敗に終らしめた。これに對して戰線同盟の高尾平兵衛、吉田直行氏等が憤慨し、日本刀をもつて彼等一派の裏切りものに制裁を加へんとしたために、渡邊政之輔は新罪狀を出し事なきを得た。この事は大正十二年六月發行の民衆新聞第一號第二號に連載されたのである。

高田公松等の醜行

一昨年の博進社及び秀英舎の爭議において勞働組合評議會の爭議部長として、働ける高田公松は本年四月保險金を詐取せんとして自家に放火し、しかも隣家の七十歳の老婆が放火せし如くなせしも直に發見せられて、檢擧されるに至つたのであるが、斯くの如きは人道上許すべからざる事であり、社會運動家としての我々の陣營にかゝる人物が、たとへ一瞬時にても介在した事は、最も恥とすべきである。

細迫兼光の不逞無賴行爲

勞働農民黨の書記長として、華々しき活躍を成せる細迫兼光も、その無責任なる點においてその最たるものである。總選擧前において島根縣勞農黨支部長福田理三郎が東京安田銀行より私の弟と稱して金錢を詐取した事實を知り、勞働農民黨に對して抗議せし際、細迫兼光は左の返書をした。

「拜復御手紙拜見いたしました。福田理三郎君の事、黨としてもそれが事實とすれば、大問題であります。今日常任にも話しまして早速調査してもし事實であつたら、斷乎たる處置に出るつもりをしてゐます。もし貴社の方に具體的な證據が擧つてをれば、御示し下さいませんでせうか。右御願ひ致しますと同時に今後も尙調査の歩を進められん事を御願ひいたします。一月十四日　細迫兼光　進め社御中（勞働農民黨機關紙編輯部用原稿用紙筆記）

右の回答に接した進め社は即時安田銀行において取調べ昭和三年一月十一日なる事を確め細迫兼光に再度の通告をなしたのであつた。その後に至つても、細迫兼光よりも何等の返信もなく、私も總選擧のため歸國し、進め社も同志の應接のために多忙を極め、友黨勞働農民黨も總選擧中の事とて階級道德を守つてこれを追及せず、中止してゐたのであつた。

福田理三郎は前記の如く、最も下劣漢である事は述べたのであるが、彼はそれのみに止まらず、島根縣における總選擧中にあつて日勞黨に對立して候補者を擁立せんとして無理に民政黨の壯士戸谷一雄を勞農黨の候補として承認を一月十八日大山、細迫に求めて受託せしめたのである。戸谷一雄は當選の曉は民政黨に入るべく若槻禮次郎秘書木村小左衛門よ

り二千圓を受取りこの金をもつて立候補せんとしたのであつたが、到底日勞黨と對立する事が出來ざるを知つて私の選擧事務長を買收せんとしたり、又は防衞的な聲明書をブル新聞に發表せしために、私の選擧事務長は彼れを告訴したけれども、彼れが到底力及ばざるを知り、立候補を斷念して、應援する事を探つたために、この告訴を取下げたのであつた。この選擧中勞農黨は三度應援を申込み、三度これを破つて、日勞黨の戰鬪力を弱める事に努めた。この選擧を通じて、勞農黨島根支部の幹部は、私に對して棄權すべく大衆に宣傳し、或は事務所より金錢を詐取し、選擧應援に名を藉りて私の弟より金を盜るなど實に卑劣極まる事を爲し、山根某の如きは全國婦人同盟の應援辯士に暴行せんとして、その兄よりの制裁を受け、自己の罪を隱蔽せんとして、この問題に何等の關係なき私の外に五名の日勞黨員を殺人未遂で告訴するばかりでなく、演説會を開きて私が落選したために怒つて山根に暴行した如く發表せんとして、却て聽衆の質問續出し反對の聲が騷然として起り、會場は混亂に陷り遂に解散されるに至つた。この問題は單に島根支部のみに止まらず、彼れ等は勞働農民新聞並びに無産者新聞勞働新聞も筆を揃へて「落選して氣の狂つたゴロツキ福田狂二勞農支部の事務所に殴り込む」と恥かしくもなく書いた。私は福田理三郎如き虫けらは敢て問題にするに足らないが、勞農黨の機關紙がその眞相を調査せず無責任にも發表したるに對して、三月十七日進め社の前において大山郁夫を社內に引入れこれを責めた處、調査の上謝罪する事を約し、數日後再び細迫兼光は進め社に來り、福田理三郎一派の裏切り行爲を認め、勞働農民新聞に取消文、謝罪文を掲載する旨を述べたのであるが、今日に至るも未だこれを實行しないので近所でも進め社の前を通行しないのである。然り彼が謝罪せざる理由は明瞭となつた、則ち彼兼光は四月二十六七日頃島根縣の山根積及大山郁夫と謀り、私共を告訴した殺人未遂を少くとも傷害罪にても陷れんと計畫し、島根縣の勞農黨が僅か三十名計りゐるのを彈制して裁判所に請願書を出さしめた事は大山郁夫と細迫兼光の極惡非道形容しべからざる程無賴不逞漢である事を證明する、此事は最近島根縣の舊勞農黨員より眞相を發表し私に謝罪され、又辯護士が此請願書を實見して來たのである。

大山郁夫、細迫兼光は總選擧に當つて、資本家西村某（特に名を秘す）改造社長山本實彦氏を脅迫して數万圓を取れるが如きは彼等が三月私に放せしゴロツキなる放言の實行でないか、私がゴロツキか大山細迫等がゴロツキか、これは賢明なる讀者諸氏の判斷に任せるが私を、ゴロツキ、ゴロツキと惡罵せし彼等が今自らゴロツキの實踐した事實を發見せられたのである。其他數へ上げれば限りない事である。）

其他舊勞農黨の幹部の中における横田忠夫の如きは且つて進め社に在社中、進め社の攪亂を企て雜誌「進め」の保證金を竊盜したために當時藤江社員は憤つて彼れを詰問すべく連行中、卑怯にも逃走をなさんとして、遂に殴打された事があ

つたがその際の如きも、彼は診斷書を僞造して、何等この事件に關係なき私達も他の社員と共に殺人未遂で告訴したのであつた。この時代は大杉榮氏が殺害せられた翌年であつて、特に官憲は社會主義者に對して神經を尖らしてゐた折とて、裁判所は好機至れるとなして私に禁錮二ケ月に處すべく檢事が求刑せしも、勞農黨顧問辯護士布施辰治氏の熱烈な辯護によつて罰金刑となつた。斯くの如き裏切りものも其後勞農黨に入りては、中央委員の榮職を汚してゐたのである。私が以上の如く、[illegible]と共に[illegible]作に問題化して、スパイ的行爲を成したるもの、裏切りもの、罪状を一般の大衆諸君の前に暴露したる事は、單に、これを暴露するに止まらず、かゝる反動的行爲を爲せるもの、出でたる事に對して、又今後の我々の運動上に再たびかゝる裏切りもの、跳梁を防ぐために、些かにても參考となるから提唱したのである。社會運動は謂ふ迄もなく一般無産大衆の死活に關する重大なる問題であつて、これに對しては最も深刻の態度をもつて行動しなくてはならないのであるが、今回の如きも、近視マルキストによつて二年か三年の淺い經驗の下に輕擧を成したために社會運動史上拭ふべからざる汚點を永久に殘すが如き失敗を成したのである。レーニンも社會革命黨、メンセイビキ等の行動の誤れるに對しては、常に忌憚なく、猛烈なる批評を成し、甚だしきに至つては、死刑に處せられる同志に對してすらも、誤れる行動はどこ迄も指摘して、再びかゝる誤謬を犯す事のなき樣に努める事を忘れなかつた。これをブルヂョア道德より見れば、許さるべき事ではないかも知れないが、我々階級運動者にあつては情實のために運動を冒瀆する事は許されない。飽く迄も誤れる事に對しては容赦なき批判を下してこそ、最も忠實なる社會運動家である。私がこの稿を起さんとしたのは、共産黨の檢擧後幾何も經ざる時であつたが、一般より支配階級に追隨するものゝ態度として誤解されるのを避けて、約六ケ月を經過する今日迄これを延引してゐたのであつたが、長くこれを隱蔽する事は、再びかゝる誤りを犯す恐れあり、遂に發表するに至らしめたのである。もしこの一文が實際運動家のために些かにしても研究の資となれば幸ひである。

×　×　×　×　×

即ち、大山郁夫、細迫兼光等は佐野學、秋和松五郎、佐野文夫以下の裏切、背德行爲の全責任を無産階級の前に謝すべし、彼のブルヂョア政界においてすら、失敗と過失の前にはいさぎよく職をしりぞくにあらずや。彼等は正義を弄び無産階級をいつはりし罪は、永久に許さるべきものにあらず。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

富電爭議と無產政黨の活躍

富山縣一帶の電力を獨占してゐる富山電氣株式會社、橫暴はつひに縣下無產大衆の憤激するところとなつて、今や縣下は暗黒の地と化した。思ひ起せば、大正七年の夏の米騷動もこの地より最初勃發したのだ。この電燈爭議も又米騷動の如く、全國的に波及しつゝある。

生活を保證しろ、の生存權の叫びが電燈爭議となつて出現したのだ。打てばひゞく切實な血のしたゝる要望が、今や民衆の戰鬪的行爲となつて現れたのだ。無產民衆の先頭に立つて常に勇進すゝ吾が無產政黨は積極的に闘士を派してこの運動を應援しつゝある。先づその二三の聲明書をかゝげておく。

日本勞農黨の聲明書

富山に於ける電燈爭議は日常鬪爭の模範的な規模を以て進展しつゝある。今や爭議は滑川、岩瀬、三日市の諸町村即ち富山市の全郡部に蔓延しつゝあるが、郡山の電燈爭議に鑑みてもその勝負は一に富山市をこの運動の中に引入れ得るか否かに懸つてゐる。

吾黨は調査員、應援者を送り全力をあげてこの大日常鬪爭を援助し、特に富山市に於ける運動の組織を協力して遂行せんとするものである。

右聲明す

七月三十一日

無產大衆黨の檄（一）

富山縣民衆諸君！

資本主義制度の下における獨占事業の橫暴は、今や極點に達し、民衆は物價の吊上等、その經濟的壓迫の下に塗炭の苦しみをなめてゐる。而して我國に於ける獨占事業中電氣會社の橫暴は最も甚だしく、獨占業者は全國に亘つて無產民衆に高價極まる電燈料を課してゐる。

見よ！

昨年秋における日本勞農黨の指導下に行はれた福島縣郡山の電燈料値下げ反對大示威運動を!!

又諸君は今や、このあくことなき電燈會社の橫暴なる挑戰に對して、雄々しくも蹶起した。

諸君は十數年前、資本家階級の吸血的橫暴に對して、我國の大民衆運動の火蓋を切り、以て全國運動の導火線たらしめ、我國無產階級運動史の第一頁を飾つた。

今やこゝに蹶起した諸君はやがて全國に於ける、反獨占運動の下に、料金値下げ運動の魁をなすであらう。

諸君！　吾が無產大衆黨は、その全鬪爭力をあげて諸君の運動を應援支持するものである。

我が黨は、本常任執行委員會の決定によつて、常任委員大道憲二君等を派遣して、諸君の運動に積極的に參加せしむる。民衆諸君の猛烈なる鬪爭力に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

よつて横暴なる電燈會社を屈服せしめよ！

民衆諸君の闘爭組織を固めて、不斷の戰鬪機關たらしめよ……！

一九二八、七、二八

（その二）

富山電燈會社の横暴に對して、富山縣一圓に電燈料値下の運動が起つた。滑川町を中心とする大衆運動は白熱化し、電燈會社に對する憤激は刻一刻と高まりつゝある。

この運動は決して最早單なる地方的運動ではない。それは今や全國的意義を有する一大社會問題と化してゐる。電燈、瓦斯、電車、水道等所謂公益事業の美名の下にかくれて、無産民衆を搾取して巨額の利潤をあげつゝある之等獨占事業の横暴は、單に富山縣に止まるものではない。

全國における無産民衆はこの不當搾取のために如何に、その生活を脅滅されつゝあることか！

富山縣に於ける無産民衆の憤起は全國無産民衆の不平不滿の勃發のほとばしりである。

富山縣下における無産民衆の勝利は同時にまた我等の勝利であり、全國における狂暴なる獨占事業の經營の一角の崩壞であり而してそれは、全資本主義に對する全無産大衆の勝利への一歩だ……！

全國全無産大衆諸君！

奮起せる富山縣下の兄弟諸君を物質的に、精神的に支持應援せよ!!

全國的大衆的應援の威力によつて、富山電氣を屈伏せしめよ！ 我等の兄弟を勝たせよ!!

一九二八年 八月一日

進め社礪波支局の報告

富山縣に於ける電氣爭議は今や一縣を通じて全面的に展開した。礪波唯一の無産政黨我等の自治倶樂部は、十日夜、城資委員長以下同氏宅に會合左の聲明書を發布した。

聲明書

横暴なる富山電氣に對し秩序整然たる電燈料値下期成同盟會今次の勇敢なる闘爭に滿腔の敬意を表し吾が黨創立以來の宿願たる電燈料値下運動の徹底を期し呉山以西の電氣消費者の利益を代表し之を擁護せん爲め電燈問題の根本的調査と電燈料値下期成同盟會の積極的援助を爲すことを玆に聲明す

昭和三年八月十日

自治倶樂部

俺達の出産披露

彈壓の毒刄と反動の空氣は底深く流れて、過去十年幾多の同志が、血涙の闘爭を續け來たつた九州の地、福岡市にも久しく期待された日勞黨支部が結成された。

八月九日市記念館に支部創立大會を開き、翌十日九州劇場に大演說會を開催した。本部より麻生久、加藤勘十兩氏を迎え、其他、長崎、大牟田、嘉穗の各支部より同志數名來援し、熱狂せる滿堂の聽衆の中に、例の如く白犬數十匹元氣の無いツラをしてゐた。

刑期五年を終えて出獄せる桑原氏の熱辯は數語にして中止を喰ひ、加藤、片桐、森の三氏同じく中止され、相愛會の金氏、朝鮮民族の解放を叫び、ピアル、スタブリン氏巧妙なる日本語でよく論じ、麻生氏日勞黨の使命を說いて、聽衆の拍手の中に閉會された。

進め

福岡市は松本治一郎氏等、水平運動に闘ひ、舊勞農黨員の少數運動も、雄岡？ 幻滅して今や無し。先月の市議増員選擧に社民黨の一市議を得たるのみ、而かもかの中野正剛を大臣にせんと夢想してゐる事、ほど左様に彼等ブル議員の捏鬪に毒されてゐる福岡の市民達だ。

文化都市と謂ひ、學問の都と言ふも現在の俺達に何の關はりあらんやだ。この大福岡を築く爲に、筑豐炭坑の地下數千尺に働く兄弟姉妹と、惡税に苦しめられ土地を奪はれて追はれ來つた朝鮮同胞の、血と肉と生命が失はれてゐる事を思へ。

俺達が創造したものを俺達の手に獲得せよ。北九州の天地黒烟は噴亂し、玄海の浪は烈日の下に躍動してゐるではないか。

生れ出でたる日勞黨支部よ。大衆と共に正道を進め。正義の赤旗を高く輝かせ。

（福岡市　T　生）

小作爭議は人民の權利てある

今年は、土用の天候が惡いぞ、雨が降りすぎるぞ、これぢや稻作は不作にきまつてゐる。この秋は、不作で減免要求が猛烈に起るのだ！

また、高い小作料のために、貧乏と借金で首がまわらなくなつてゐる小作人が、いつせいに三割まけろと要求して、惡地主と戰ふことは、小作人の正義である。

小作爭議は人民の權利だ。

正義の戰ひを、人民の自由なる權利の小作爭議を、何んだかだと云つて、オサエつけたのは誰であつたか？ 地主と、奴等の御先棒の官憲である。

ことに、この秋は、御大典がある、御大典と、小作爭議は何の關係もない日本の充ての人民の食物を作つてゐる三百八十万の小作百姓が貧乏で、作つた米も食はずに、夏の炎天に、にえかへる水田で、おちる汗が眼の玉に付いて、眼をくもらし、脊の皮を三べんもむいて、なみたいていの苦心でなく作つた米が、大部分地主に搾り取られると云ふ法が、どこの國にあるか！ だからこそ吾々貧しい農民は脊に腹は代へられず起す小作米引下げの要求を、惡地主大地主が、頑張るから爭議になるんだ。奴等こそ、立毛差押えだ、立入禁止だと小作人を旱干にすることが正義に反し、社會を亂す張本人ではないか！

それだのに、警察は、小作側を壓迫するんだ。

正面から地主の味方になつてやるんだと云つては、彼等の面目玉がツブレるので、今年は、御大典にかこつけてオサエつけようとするかもしれないのだ！

そんなベラボーなことがあつてたまるものか！ だけれど、血迷つた彼等だ、何をするか知れたものではない。

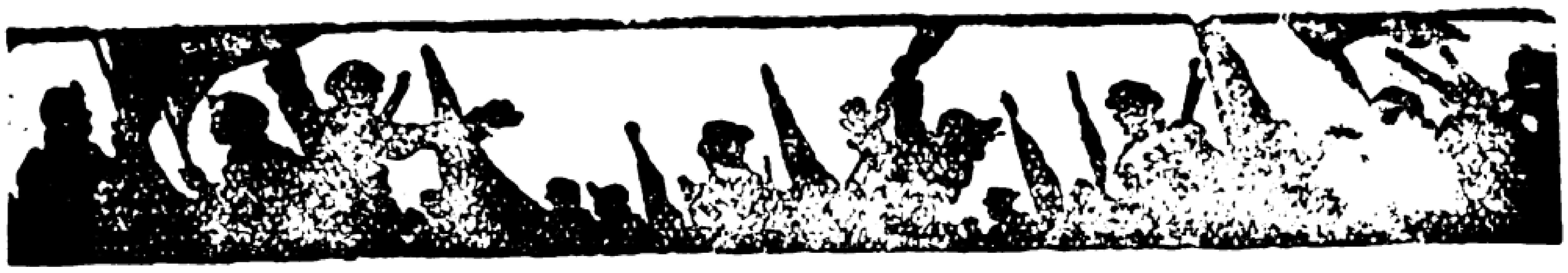
組合の勇敢なる鬪士を故なく檢束したり、又は、無いことと有ることによつて檢擧拘留することは、小作人の皆んなをオサエつけることとである。支部長や、執行委員を、壓迫することは、支部の全組合員をあつぱくすることである！

數年の鬪爭のけいけんのある組合員諸君！ この事をヨク考へてくれ！

御大典にかこつけての官憲の迫害に對して、御無理御尤もと云つてはゐ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め



られない。

人民の權利は、御大典によつて益々自由になる筈だ！　勇敢に、全組合員は一致團結して、小作料引下げや、立毛差押えや、土地引上げと戰ふ正義の軍に忠實に結束をかたくして進め!!

小作爭議は人民の權利だ。小作人の義務だ！

御大典にかこつけて、組合の集會や演說會や、示威運動をオサエるのは、彼等が地主ヒイキだからだ！　地主ヒイキの官憲には反對だ！

貧しい農民や勞働者その他すべての働く人民に自由をよこせ！　これこそ御大典のある年に、當然すぎるほど當然な要求である！

貧しい農民のゆく道は、小作爭議によつて、生活を少しでもよくすることの一つ道しかない。

小作爭議を壓迫する者と戰へ！

惡地主の大地主の搾取に對して戰へ！

地主官憲の逆宣傳にかかるな！・

全國農民組合の旗を高くかゝげて正義の戰ひに進め!!

（全國農民組合）

和歌山の運動

近年來同士の決死的奮鬪によりて異狀に進展しつゝある。和歌山縣下の無產者運動は全國農民組合和歌山聯合會となり日勞黨の和歌山縣支部聯合會となつた。その記念として去る七月廿八九、卅日の三日間和歌山公園あほい館にて兩聯合會合同主催にて夏期講習會を開いた。講師は全國農組合常任執行委員長杉山元治郎氏、同常任委員前川正一氏、日勞黨中央執行委員辯護士吉田賢一氏、同關西事務局長山名義鶴氏の四名にて聽講者も各階級より集りて數百名を數へて盛會なりき、その後全農聯合會は支部々々の座談會に、日勞黨は遊說に進んで居る、やがては之等の運動は全縣下に及ぶだらう。

又最近アナキスト連中の結社黑烟社も大衆の心より放れてマスターベイーション的になりて漸次に沒落しつゝあり。以上報告まで

（和歌山支局A生）

秋の暴壓への戰備成る

過般の全日、日農の合同によつて、全國農民組合は表面完全に成立した如くであつたが、長い間の對立抗爭の餘燼全く消ゆる事は難く、地方聯合會の合同は容易でなかつたが、最近に至つて鳥取、島根、京都、千葉、奈良の合同成り、秋の鬪爭に備へつゝあるが、我が新潟縣においても、人事問題等の種々なる問題も起つたけれども、萬難を排して愈々十一日新潟縣合同大會を開く事に決定し、第二回合同協議會の名によつて左の聲明書を發した。

聲　明　書

近時支配階級の攻勢は、益々急である。

吾等は、此反動期に際し戰線の統一と鞏固なる戰鬪力とを以て之に應へねばならぬ。先に全國農民組合の創立をなせしも實に此の所以に外ならぬ。

我が新潟縣下に於いても階級的正義と必要い前に久しきに亘る一切の行〻りと感情とを一掃し本日此處に一堂に會し完全なる合同協議の成立を見たるは、單に我等の喜悅のみならず全無產階級の名に於いても喜悅と

進め

する處である。我等は、此兩組合統一の力に依り更に進んで全縣下農民戰線統一に努力せんとするものである。

全日、日農組合統一萬歳

全縣下農民戰線の統一へ

七月十日

こゝに全國において最も多數の農民大衆の支持ある新潟縣聯合會は、その强大なる鬪爭力をもつて、地主階級をして、戰慄せしめずにはおかないであらう。地方農民組合に卒先して具體的合同に入つた事を誇ると共に、充ての障害を突破して、全國の農民諸君と完全に手を握つて秋の鬪爭に備へる日の一日も早きを祈つて、筆を置く。この戰報が進めに揭載される頃は新潟縣の合同は成立してゐるであらう。

（新潟支局　秋田秀夫）

立入禁止を蹴飛はす

立入禁止は百姓の咽喉をしめるものだ。吾々は死んでも土地を放すな。……

奈良縣磐城村八十町歩の立入禁止に關する爭議は、百姓達の結束堅くつひに、横暴な地主のおそれおのゝくところとなり、去る七月廿八日でひとまづ左の條件をもつて解決した。そして土地はふたゝび働く者の手に歸した。

一、立禁土地を速時解除して小作人に返すこと

二、昭和二年度は小作料二割五歩減

三、立禁八十餘町歩のうち三十五町歩の本年度小作料は全免

如何にして吾々は勝つたのか、もし吾々組合の力が弱く、團結力がしつかりしてゐなかつたなら、勝つ事は出來なかつたのだ。地主の手にうばはれてゐたのだ。

吾々は爭議が初まるや否や、地主、官憲、裁判所はグルになつてかゝつて來たのだ。裁判所でも吾々の立禁處分異議申立は敗訴になつたのだ。しかし吾々はこれによつてへコたれるどころか、返つて團結をかため死すとも土地をはなすなと誓つたのだ。そして、子供も老人も、婦人も、未明から約三里の道を歩いて八木町の地主河合の家を襲つて大いに糺彈して、其地主を縮みあがらせた。

一方奈良臨時縣會の開會されると聞くや、數百名の組合員は一擧に縣會議事堂におしかけ一大抗議を投げつけた時、知事、警察部長、議員一同は青くなり、「是非仲裁するから引上げてくれ」と泣きついた。そして一方警察はおどし文句で御大典と爭議をゴッチャにして、「檢束するぞ」とぬかしたが、組合員の意氣は益々高まるばかりで、どんな運動が起るか底が知れぬ有樣であつた。これを見た地主の一味はつひに屈服した。彼等は土地を俺達の手から取上げる爲めに數万圓の金を費つたのだ。しかし、組合の固き力の前には彼等の力や何者ぞ。

しかし、諸君安心してはならない。奴等は機會を向つてゐるのだ。より以上のおそろしい魔の手が時を待つてゐるのだ。少しでも團結がゆるんだなら奴等は時こそ來たれと手をのばすのだ。俺達は今日は昨日より明日は今日より毎日毎日力をつけておかねばならない。

全農民戰線の合同へ、

全勞農政黨の合同へ、

（奈良縣支局植田）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

何故の犧牲ぞ

安全週間とは何だ。俺達勞働者に惡い勞働條件と惡い設備の工場に働かせて、安い賃銀でヘロ／＼になるまで働かせて、それで怪我でもしたらみんなお前達が惡いんだとして、自分達の爲すべき義務はコツソリ棚へ上げようとしてゐるのだ。

ゴマカシ安全週間だ。
工場設備を完全にしろ
八時間勞働にしろ
生活賃銀を保證しろ

こうした聲は吾等無産大衆の「安全週間」に對する鬪爭であつた。果して資本家の「安全週間」はイイカゲンなゴマカシであつた。「安全週間」の二日目に起つた東京の大曲の電車衝突事件は何だ。左の激文の中にある樣に、不完全な電車を使用させた爲めに、あたら妻子ある從業員はこの世を去つた。これを不可抗力だと辯明する市電當局者を吾々は斷じて許す事は出來ない。吾々市電從業員はこれから先不完全な電車を使用させられて、事故ある毎に吾々に責任を轉嫁されてたまつたものか。激文を掲載する。

各新聞報通の通り吾本部は三日大曲に於る電車衝突事件に對し吾本部は三日午後七時緊急中央委員會を開き一大抗議をすることに決定した、此の根本原因は最早明白だ。各新聞及び市民は電氣局の醜態を非難し各方面から續々として抗議がなされてゐる。

電氣局では全從業員の勤務時間を改惡し、車體を減じ、不完全極まる車のみ使用させ、更には監督事務所の不當報告小サナ事故に對する嚴罰を行ひ、從業員を壓迫、搾取し吸々として營利にのみ走つて居る。

だからこそ大慘劇が生じ吾々の兄弟は傷ましくもこの犧牲になつたのだ。

事件發生の當時電氣局理事者は何處へかかくれて吾々の犧牲者を慰問しなかつたではないか。

かへつて當局は此の責任を車掌運轉手に轉嫁せしめようとしてゐるのだ此の陰謀と無責任極まる態度に憤激した早稻田、錦糸堀の支部員の一大抗議運動がなされんとしてゐる。

各支部は即時組合役員會をひらけ！
當局に抗議文、要求を叩きつけろ
早稻田、錦糸堀支部大衆に應援の檄を送れ。

錦糸堀早稻田兩支部は即時組合役員會を開らき一大抗議運動に依つて我等の兄弟を救はねばならぬ。

△犧牲者と家族に對する充分なる慰問
△完全なる車體を運轉させろ
△監督事務所の撤廢
△衝突の責任は電氣局だ

東京市電　黒川生

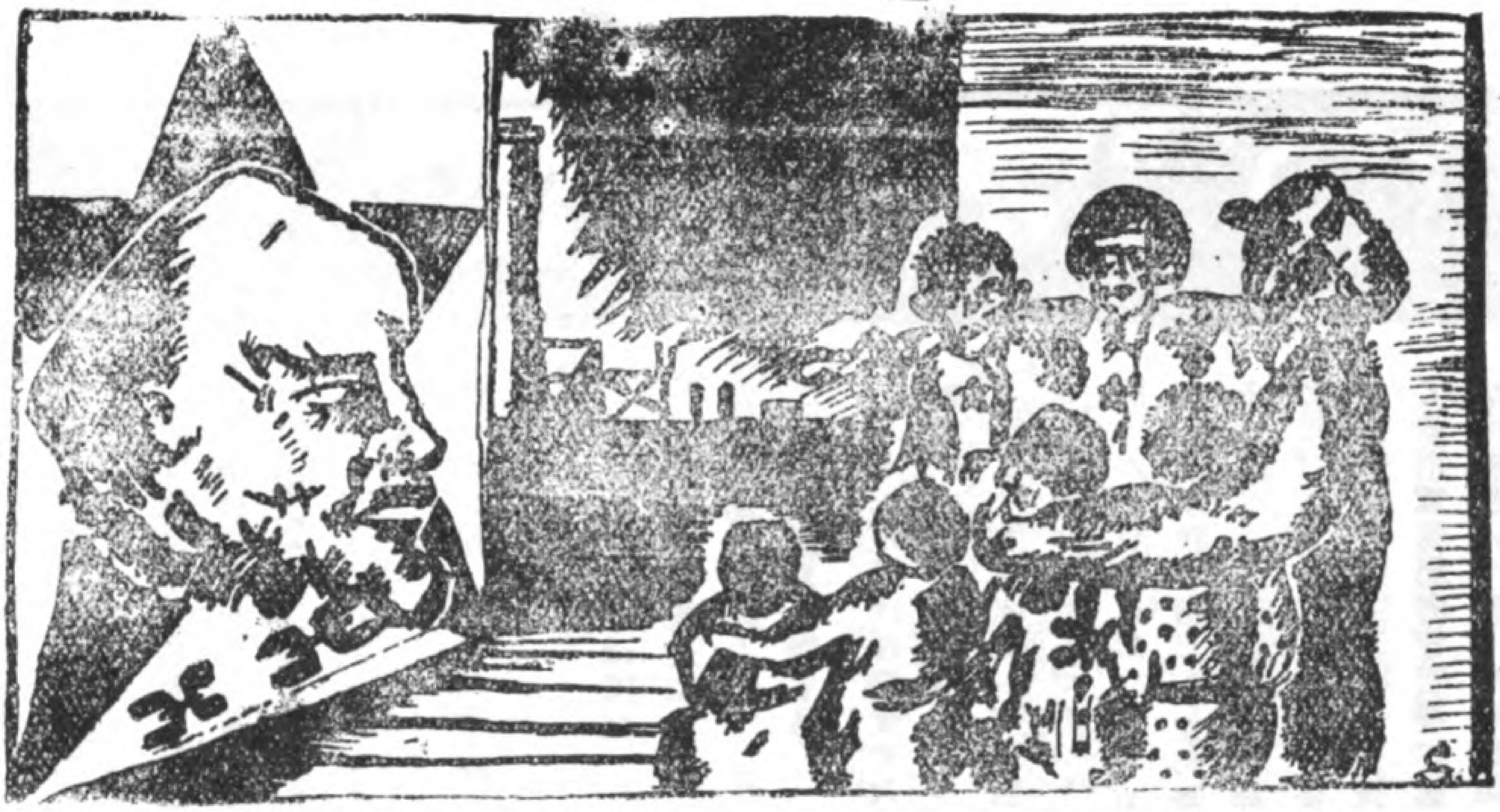
全ナ戰報をどしどし送つてくれ!!

農村から、工場から、鑛山から、海上から、いやしくも資本家と貧乏のあるところ、地主と飢餓のあるところ、必ず不平不滿のあるべき筈だ。

「進めポスター」……申込め!!

編輯部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



女工たらんとする少女達へ

吉田はつ

小學校を了へて現に女工となり、又ならんとせられつゝある少女達よ！否小學校を了ると同時に女工とならねばならなく運命付けられてゐる少女達よ！

貴女達は何も心から自ら求めて女工となられるのではあるまい。出來ることなら女學校にも行きたからうしお裁縫も習ひ度からう。そして兩親や兄弟等とも離れ度くもなからう。

それだのに、何故に貴女達は、兩親の膝下を離れ、兄妹に別れ、お針も習はず、勿論女學校等には夢にも行けないし、しかも遠い西も東も分らぬ他國に出稼いで女工にならんとせられる結果となられたのか。

先づ第一にそれは家が苦しいからであらうし、又よしひどく苦しくなくとも、嫁入の着物の一枚位は少くとも自分が拵へねばならぬ必要に迫られてのことではあらう。

そこで、貴女達は、無論兩親からも話しもあつたであらうが、兎も角も健氣にも女工たらんと決心せられたものであらう。

ところで、貴女達は、兩親や兄妹等に別れ、お友達にも別れて、懷しい村のお宮の森や、お寺の屋根を振り返りながら、村はづれの停車場から汽車に乘つて工場に來て、愈々女工となられたのだ。そこには、貴女達をどんなものが待ち受けて居つたか、何が貴女達を迎へたか。

冷い狹い穢い寄宿舍の部屋と、今に身體を捲き込んで仕舞いそうな機械と塵芥だらけの工場と、意地の惡い監督者であつたらう。そして與へられたものは何であつたか、安い給料と、身體の不自由と、蚤だらけの蒲團と、不味い賄とではないか。

そして意地の惡い會社の奴等はどんなことを言つて聞かせたか、日給の安いのはお前達はまだ年が若いから一人

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

前の仕事が出來ぬから、賄もなか〳〵此の頃は物價が高いから、外出をさせぬのは親達から嚴重な監督を頼れたから、寄宿舍は會社が儲かればどん〳〵改良するから、會社の儲かるように勉強して働いてくれ等々と並べたてたであらう。

けれども少女達よ！　考へて下さい彼等の、そういう裏面には次のようなカラクリがあるのです。

貴女方の從事する仕事は貴女方でなければ出來ないのです。試に考へて御覽なさい、紡績にしても、製絲にしても、貴女方の代りに働き盛りの男子が從事したとて、絲取りやハタ織が出來ますか、出來ないでせう。そうすれば貴女方のする仕事は、貴女でなければならぬのです。然らば例へ貴女方が年が若くても、その仕事に就ては一人前でありませう。從つて、一人前の仕事には一人前の賃金を仕拂はねばならぬのです。それにもかゝはらず彼等は、只年が若いと云ふ言ひがゝりの下に安い賃金しか拂はぬのです。即ち貴女方少女を雇ふことに依つて今日の資本家は二重に儲けてゐるのです。第一仕事が若い少女でなければ出來ないことだから、貴女方にさせればよく仕事が出來ること、第二に年が若いから一人前でないとて安い賃銀で胡麽化せること等です。

ところが、彼等資本家は貴女方を雇ふことによつて二重に儲けているだけではありません。寄宿舍に入れておけば都合のよい時間だけ自由に何時でもコキ使ふことが出來ます。そこで彼等は『親達から嚴重に監督を頼まれた』と云つて、寄宿舍に押し込めて、暗い内から暗がり迄酷き使ふのです。そこで貴女方を使ふのは一人前の大人を使ふよりも、これで又一つ利益があるのです、即ち三重の利益があるのです。

寄宿舍も立派な設備をするよりも穢い狹いところに放り込で置けば第一金がかゝらない、そして、よく働いてくれゝばもつと立派な綺麗な設備をすると言つて聞かせれば、純眞で正直な貴女方は一生懸命働くから第二に會社が利益を餘計に上げることが出來る。これで會社は五重に儲けがある。

彼等資本家が、貴女達に向つて、よく働けとか、勉強せよとか言ふときは極つたように、國家の爲めだとか、社會の爲めだとか、言ふでせう。若し朝から晩迄暗い内から暗がり迄働くことがこれほど國家や社會の爲めになるのなら、彼等資本家は、自分達の娘さん達も何故に國家や社會の爲めに働かせないのであらうか。彼等の娘は三味線やピアノや生花を習つたり、暇と金にまかして、海水浴だ、温泉だと遊んで歩いているのが果して國家や社會の爲めであらうか。

噓の皮です。國家や社會の爲めでは斷じてありません。皆彼等の爲めです。貴女達の働きなくしては彼等資本家は立つて行けないのです。實に彼等を生活せしめ贅澤せしめてやつてゐるのは貴女達である。

故に貴女達は彼等資本家を生活せしめ贅澤せしめる力があるのだから、又彼等を贅澤せしめないようにする力も

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

持つてゐる譯である。

女工たらんとする少女達よ！

貴女達は、其の貴女達の力！　即ち資本家を贅澤させたり、又それをさせなくさせたりする力を充分知らねばならぬ。そしてその力を最も強いものにするには、その力を最も大きなものにもせねばならぬ。

貴女達の力を最も強く、最も大きくするには團結することである。

貴女達の力を強く大きくする爲めには、勞働組合が貴女達の來り投ぜられることを門を開いて待つてゐる。

眞に貴女達の味方として、貴女達の利益を代表して、贅澤三昧をしてゐる資本家と鬪つて、貴女達を貧乏から救ひ出すものは勞働組合である。

女工たらんとする少女達よ！

貴女達は、會社の門をくゞる迄に、女工と成る迄に、必ず、先づ勞働組合の門をくゞらねばならぬ。

女工たらんとする少女達よ團結せよ！

勞働者たらんとする少年諸君に與ふ

吉田源藏

勞働者たらんとする少年諸君！　と私は今諸君に呼びかける。私の今呼びかけてゐる少年は、既に小學校を終へて工場なり會社なりへ這入つて働いてゐる諸君と、遲かれ早かれ小學校を出たら、會社なり工場なりへ雇はれて働かねばならない境遇にある少年諸君を指してゐるのである。

諸君は學校で先生から、働けば金も儲かるし、勉强すれば偉い人にもなれると教へられたであらう。

諸君はそれをほんとうだと思つたかどうだ。それに付いて考へて見たことがあるか、諸君は先生の教へてくれたことを、ほんとか噓か調べたことがあるか。何故調べて見ないのだ。私は世の中の事が諸君等の先生が諸君に教へた通りになつているかどうかを、諸君と共に研究して見度ひと思ふ。そこで第一に私は諸君に尋ねて見る。

「諸君のお父さんは怠け者か、働き手か。諸君の兄さんは兵隊に行つて勉强したか、遊んでいたか。諸君の姉さんは紡績會社や奉公先で怠けているか、よく働いているかどうだ」

恐らく諸君のお父さんは朝暗い内から辨當を持つて、割引電車で勤めに出て行き晩は電氣が燈つてから歸つてくるだらう。そして雨が降つて風が吹いても休まずに一年中働いているだらう

諸君の兄さんは兵隊に行つて眞黑になつて瘠せこけて、フラ〳〵になつて除隊して來ただらう。諸君の姉さんは紡績で夜となく晝となく働いているだらう。

そこでだ！　諸君！

諸君のお父さんはお金持になつたか？

諸君の兄さんは陸軍大將にでもなつて歸つて來たか？

諸君の姉さんは着物でもどつさり拵へたか？

諸君！

若しも、諸君のお父さんが、それ程働きながら、貧乏していたとしたら、若しも、諸君の兄さんが兵隊に行つてから歸る迄眞黑になつて瘠コケる迄勉强しながら一兵卒で歸つて來たとすれば、

若しも、諸君の姉さんが朝から晩迄晩から朝迄。夜となく晝となく働いてゐながら着物一枚買へぬとしたら、

諸君！

勞働者たらんとする少年諸君！

諸君が學校で、先生から敎へられたことは皆噓だ！噓の皮だ！

諸君！胸に手を當てゝよく考へて見給へ、働いて勉强したるものが必ず金持になつたり、偉い人になれるときまつていたら、諸君のお父さんも、諸君の兄さんも、諸君の姉さんも、諸君のお友達のお父さんや兄さんや姉さんも、もつと〳〵多くの人達、卽ち勞働者達は全部、社長や、陸軍大將や、お孃さんになつて仕舞ふだらう。そうすれば、電車を運轉する人も、戰爭する兵隊も、反物を織る人もなくなつて仕舞ふだらう。そんな事がほんとうならしまいには世の中は暗になつて仕舞ふではないか。

そこで、こうゆうことが云へるだらう、『世の中が暗にならずに、澤山の人が生きて行けるのは、皆〻働いているからだ』と。そうするとこんどはこうゆうことになつてくる。『人間が世の中で生きて行く爲めには、皆が働かねばならぬ』と。だから若し働かない人の分を誰かゞ働いてやらねばならない譯なのだ。

諸君！金持や、金持の息子を見給へ、奴等は何一つ拵へることを知らないだらう、それだのに奴等は諸君等や諸君のお父さんや兄さんや姉さん等より贅澤な生活をしてゐるだらう。それだから働くものは貧乏しなくてはならぬのだ。この譯を、も一つ分り易く言つて見よう。

此處に三人の人が居て、甲は一日五合の米を食ひ、乙も一日五合食ひ、丙はやつぱり一日に食ふのは五合で、外に一升蓄めて置き、まだその外に五合小鳥にでも食はすとするのだ。そうすると丙は結極一日に二升を費ふ譯である。そうすると、三人で一日に三升いる譯だが、此の三升を三人が働いて得るものとすれば一人が一升稼げばよいのである。それにしても甲と乙とは五合宛損をし、丙は一升儲けているのである。ところが此の贅澤をしている丙が働かないで毎日二升宛を費ふとしたら甲乙の二人が丙を見殺しにせず、生活させてやらうと思へば甲と乙とが毎日一升五合宛を働かねばならぬ。だから甲と乙とは一日一升五合働いて、五合しか取らぬから一升損をし、丙は遊んで居つて小鳥のようなもの飼つて樂んで貯金迄するのだから二升丸々儲けているのである。

今の世の中もこれと同じである。遊んでゐる奴が贅澤をするから勞働するものは年中損をしている、それだから勞働者は貧乏なのである。

それでは貧乏をなくするにはどうしたらよいか？と云へば、それは分り切つているだらう。遊んでいる奴をな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

くするのだ。皆が働いたらよいのである。若し働くのが嫌だと云ふ奴があればそんな奴には、たとへ金を持っていても何も買はせないようにすることである。それでは、そうするにはどうしたらよいか？　それは勞働者が團結したらよいのである。團結はどうしてするか？

勞働組合へ這入るのである。勞働組合は何をするものだ？

勞働組合は、働く者を大事にする爲めに、勞働者の利益の爲めに、勞働者を虐めたり、勞働者を誤魔化したりして勞働者の上前を刎ねてゐる奴等と戰ふ爲めに共同一致する勞働者の團結なのである。

だから、諸君が一人前の人間らしい人間として普通の生活がたてたいなれば、何をおいても先づ第一に勞働組合へ這入らねばならぬ。

勞働組合は勞働者の學校である。

——(完)——

大阪勞働學校 取次圖書目錄

各一部十錢 送料二錢

阪本勝	一錢銅貨物語り
村島歸之	勞働問題早わかり
野田律太	勞働者の明日
山川均	タンクの水
住谷悦治	プロレタリヤの使命
堺利彦	一休と自來也
中川重吉	勞働組合早わかり
野阪龍子	婦人と勞働組合
東天紅	政黨運動の一資料
吉田賢一	町村制の話
堺利彦	社會主義大意
山川　堺	社會主義の婦人觀
河野密	人一生の經濟學
河上肇	唯物史觀の略解
小岩井淨	小作調停法の話

大阪市此花區吉野町一丁目三十六番地

大阪勞働學校出版部

振替大阪七四三三六

讀め 社會民衆黨を支持する

月刊 **日本民衆新聞**

一部五錢　二十日發行

發行所

東京市芝區三田四國町二の六

日本民衆新聞社

電話高輪三二九〇
振替東京七〇二一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最新刊

日本勞農黨國際部長　上條愛一著

無産黨の戰術

定價壹圓　送料無料

普選によつて八名の黨員を議會に送つた新興無産政黨は更に急角度を畫いて既成政黨の牙城に肉迫せんとして居る。

今や好むと好まざるとに拘らず、國民は無産黨の內容を徹底的に知らねばならぬ秋に直面して居る。

見よ!! 彼等の鬪爭の跡と、而して彼等の戰術とを。

―內容―

無産黨小史　△明治時代の無産黨運動△普選運動と議會の否認△農民勞働黨の誕生。

對立無産黨の出現　△無産階級陣營內の對立鬪爭△宗派分裂主義とは何ぞ△勞働農民黨の結成と分裂△日農、社民、日勞等政黨の結成

無産政黨の內容　△各黨宣言△各黨の綱領△各黨の政策△各黨の幹部△支持團體及勢力。

府縣會選擧に於ける無産政黨の戰術　△選擧戰に對する各黨の戰術△各黨の選擧政策△府縣會選擧の戰績。

總選擧戰に於ける無産黨の奮鬪　△總選擧戰に對する無産黨の陣容△各黨總選擧政策△各黨總選擧協定△總選擧の戰績△總選擧戰績の批判。

日常鬪爭と其の戰術　△日常鬪爭の意義△勞農黨の日常鬪爭△左翼の戰術△日農、社民、日勞の日常鬪爭△現實派の戰術

戰死せる勞働農民黨　△第二次日本共産黨の檢擧△第二次日本共産黨とは何ぞ△勞働農民黨の解散。

第五十五議會に於ける初陣の無産黨　△議會內に於ける活動△院外に於ける民衆運動。

無産黨の將來　△無産黨の合同問題。無産黨の石炭問題△日本無産黨は何處へ行く？

東京麴町內幸町一の六
第一出版社
振替東京六八〇九〇番

大阪窯業セメント爭議批判

永田繁澄

約二ケ月に亘り正々堂々と戰ひ、遺憾なき迄に吾等の組織されし强大なる力を示し、彼等支配階級を戰慄せしめし爭議も大阪府特高課長田中某に依り强制的？に調停をやられ又爭議團も此以上永びく事の不利なる事を知り一先づ鉾を鎭め機を待つ事になつた。

此の時に當り、此れを批判研究する事は、今後爭議の時の一助となり、是非實行せねばならぬ事である。

今その要求書を見るならば

一、江崎房雄君の復職
二、賃銀三割値上げ
三、最低賃銀壹圓六十五錢
四、糧詰部屋價五割値上げ
五、皆勤賞與　四人分
六、解雇手當　壹ケ年未滿五十日分、壹ケ年以上壹年毎に三十五日分
七、退職手當解雇手當の七割

の以上であつた。

而して解決條件として

爭議團員百三十七名解雇
解雇手當壹万七千百圓

である。

同會社が如何に横暴であるかは等しく町民の認むる處である。

現在同會社附近はセメントの飛來で瓦の如きは眞ツ白くなり、洗濯物を干すにしても物干竿の上は眞ツ白になり、時としてはセメントで變色するぐらひである。

此れに躍起となり町內の會が嚴重に抗議せし處八月中にて絕對に散亂せざる樣設備すると辯明せしも未だ何等設備に着手する模樣すらなく、附近住民は實に莫大なる損害を蒙りつゝあり、過日も社會民衆黨が此の問題にて町民大會を開催せんとせしも、彼等資本家及び官憲に依つて阻止せられ開會出來ず散會せり。

のみならず同工場は屈指の惡設備の處にして、爭議團員の談に依れば一日平均三人の負傷者を出し、此等負傷者に對する會社側の態度は實に慘酷なるものありたる樣子なり

又ストライキ前迄は大阪窯業セメント勞働組合總同盟加盟を切り崩す可く、組合員に甘言又は威迫を以て脫會を强要せしも、何等效を奏せず、新に昭和會なるものを作り此れに對抗せしめ或は組合員の職場を替へたり、些少の過失を楯に給料の値下げを行ふ等あらゆる方法を以て切り崩しに狂奔せしも何等得る所なきのみか、却つて從業員の反感を買ひ、愈々强固なる組合となつたのである。

そこで會社は突如江崎君の解雇を發表したのである。玆に於て從業員は餘りの横暴に猛然と奮起しストライキに移つたのであつた。

此の間何人かの調停者も出でしも會社側の態度に愛想をつかし手を引くの止むなきに迄至つたのである。又同社重役××某は何人かの爲に下駄にて强打さるる等、彼等の態度は實に言語同斷のものばかりであつた。

而して前記の解決條件を見る時、此のストライキは全く失敗に歸したものであると云はざるを得ないであらう。平

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

均一人當り解雇手當九十圓內外、然も此の不況裡に百三十名の解雇は如何に見ても不成功と云はざるを得ないのである。斯くして同志は愈々貧困のドン底に蹴落され行く姿を見る時、餘りも多數の犧牲者に驚くであらう。

此の不成功、失敗を批判研究する事こそ、今後の爭議の一助とせしめねばならぬ。

その理由として

爭議團に熱がなかつた事、
他組合より應援がなかつた事、
爭議團に勇氣がなかつた事、

を數へられるであらう。

爭議團に熱がなかつた事は最大原因と見る事が出來る。示威運動すら碌々行はず、糺彈演說會の如きも會社附近にては一回も行はず公會堂にて三四回（？）開會したのみ、

他組合より應援のなかつた事は誠に遺憾で、此れに依つて熱を煽り損ねて益々意氣を消沈せしめたのである。

爭議團に勇氣の無つた事

工場には創立當時より暴力團同を拘へ、表面は人夫供給とし、實は工場の用心棒に外ならぬ、斯の如き者が工場門に居るのでペケチングも恐れて役目すら果す事を得ず、意氣愈々上らなかつたのであらう。示威運動の如きも何月何日行ふ等早くより發表し、その爲め折角集まりしにも不拘多數の檢束者を出し解散を喰つたり、又大阪聯合に米を取りに行つた時の示威運動を見るも三菱の荷車の內僅か一臺のみ工場の門前を唯一回練つたぎり、組合旗も持たずに行く等他から見ても餘りに意氣のないのに齒痒い感がしたのであつた。

斯く考へ來る時、吾々のストライキは「喰ふか、死すか」の二途あるのみならば番犬共や暴力團が居やうと決して躊躇す可きではない喰ふ爲だ、生きる爲だ、斯の如き者共に慄えて居るならば、結局は飢だ死だ、吾々は飽く迄も勇敢に突進せねばならぬ、又示威運動を早くより發表する等は最も愚の至りと云はざるを得ない。

此れを要するに一口にして云ふならば、總同盟大阪聯合會の指導の宜敷を得なかつたと云へるだらう。

總同盟の所謂現實主義も、此れでは甚だ心細い次第である。

萬國の勞働者同志よ。

爭議は生か死かの重大問題であるならば、勇敢に、熱を高めて、飽く迄彼等を屈服せしめねばならぬ。

萬國の勞働者團結せよ。失ふものは鐵鎖のみ得るものは全世界のスローガンを忘れるな。

（八、十六）

同志赤尾を守れ

反帝國主義運動、帝國主義戰爭反對の聲が漸く高まらんとしてゐる時、突如吾が社同人赤尾君は松本第五十聯隊にて兵卒を非人間的な取扱ひ方をしつゝある上官に反抗し、兵卒の爲め全無産階級の爲め、××して横暴と戰つた。この赤尾君の勇敢な行動は、つひに兵卒の同情を得塚田一等卒の如きは、某軍曹が平手で毆つたのに反抗し、さんざんに軍曹をなぐりつけて凱歌を奏した。

今や、赤尾君は軍法會議に廻されんとしてゐる。同志赤尾を彼等の魔手に奪はれるな。

講座

唯物論及び唯物史觀

神庭仲之助

世の中の移り變りは、唯心論者の說く樣に人の思想の變化が原因となつてゐるだらうか。社會主義は是れに向つて否と答へる。社會變革の原因は、各人の思想の上には求める事が出來ずして、經濟的條件に求めるのである。かくの如く社會進化の原動力を物質的動きであると爲す考へ方歷史の見方が唯物史觀である。この考へ方から行けば、各人の思想も法律も藝術も、皆この經濟的條件を土臺として立つてゐる。もし、一朝この土臺がぐらつく事があれば、たちまちにして、思想、法律、道德等の上部構造も變革されて行くのである。人の思想が經濟的條件を決定するのでなくして、反對に經濟的條件が人の思想を決定するのである。

唯物史觀は哲學上の唯物論の上に樹立されてゐる。唯物論は唯心論に相對してゐる。唯心論によれば、精神があつて初めて物質がある。精神なくして物質は存在しないと主張する。**反之、唯物論は精神は物質の影にすぎない、物質あつて初めて精神が生れるのであると。**

唯心論はその當然の結果として人間の意志は自由であるとするに反し、唯物論は自由意志を認めない、精神以外の何物にかよつてその意志を決定されると說明する。この問題に就いて、ブハリンは最も明快に說いてゐる。

『一例を擧げる。君が集會において一人の辯士を見たと假定する。彼は卓上のコップをとつて貪る樣に飮んだ。コツプを手にする時、彼は何を感じたであらうか。彼は自らその水を飮まうと決したのであつて、何人も之を强制したのではない。何人も彼をして斯くなさしめたのではない、何人も彼に强制したのではない。彼は全然その自由感をもつ彼自らが水を飮まうと決心したのであつて―例へば―踊らうと決心したのではない。彼は全然その自由感をもつ處でそもそもこの場合彼は何等の原因なくして行動し從つて彼の意志は實際獨立であつたものと稱する事が出來よう

か――決してそうではない。理性を具へた者であれば誰れでも直にその眞相を知るであらう。彼は斯う云ふだらう。辯士は咽喉が乾いて居る。それは何う云ふ意味か、熱辯を振ふに際しては辯士の咽喉に一杯の水を要求する樣な變化が生づるのである。これが即ち原因である。生體における變化即ち生理的原因が一定の願望を生ずる。そこで人は意志自由の感情、即ち獨立の感じと無原因、人間行爲並に、願望の無制約と云ふ事とを混同してはならぬと云ふ事になる」

「人間も生體が發育して來れば戀を知る。思ひ塞られて暗い絶望に陷るのである。約言すれば、人間の感情なり意志なりは彼自身の生體の狀態なり又有らゆる環境なりに倚存してゐるのである。」

右はブハリン著唯物史觀の決定論、非決定論の項の中から引用した。我々は精神の獨立の有り得ない事を知つた。我々は尙正確を期する爲めにブハリンの所論を展開して行かう。

『第三に、一定の方法で組織された物質が現れ初めて「精神」が現れるのである。

思考するのは空無ではない、孔のあるビスケツトではない、孔ではない、一切の物質のない『靈魂』ではない。思考するのは人間の腦髓である。人間の一部分である、所が人體は非常に複雜に組織された物質なのである。

第四に、上に述べた所からして、何故に精神なき物質が有り得て、物質なき精神が有り得ないかと云ふ事が明かになる。物質は思考する人間が出現した時よりも前に存在してゐた。地球はその上に何等かの「精神」が出現した時よりもずつと以前に存在してゐた。換言すれば、物質は客觀的に、精神から獨立に存在するのである。これに反して、心的現象即ち所謂「精神」は何時でも又何處でも物質なくしては、即ち物質から獨立に存在しない。思想は頭腦なくしては存在せず、希望は希望する者の生體なくしては存在しない、精神は恒に物質に堅く結び付けられてゐる（只聖書に於いてのみそれは獨立に奈落の上を疾走してゐたのである）或は心的現象即ち意識の現象は一定の方法によつて組織された物質の固有性換言すればその「機能」に外ならぬものである。（或大きさの機能——これは物質に倚存する他の大きさである）人間の例を取つて見よう。それは非常に微妙な組織をもつたものである。人がこの組織を解體し相互に其の構成部分に分解し、之を解剖すれば——精神は無くなつて了ふ。人體が再び働き出す樣にこの全體制を新たに再健する手段があるなら、換言すれば、人間がもしも物質の小部分を再び元の如く組み立て、新たに、組織し、分解した時計を組立てる樣に、言はゞ人間を再び組み立てる手段を得るならば、意識も亦再び還つて來る事であらう時計を修繕すれば時計は更に運轉し始めてチツク〱と音を出す。人體を再び組み立てれば彼は思考し始めるであらう。儘に、人間は未だそこまで發達しては居ないのであ

る。併し乍ら吾々は既に決定論の問題を考察するに當つて「精神」の狀態即ち意識の狀態が人體の狀態に倚つて居る事を見た。酒精を以て人體を毒すれば、意識も亦亂れ「精神」は醉ふ。人體を正常態に復せしめると（毒に對して解毒劑を用ふれば）――精神は更に毒を受けなかつた時の樣に動き始める。茲において意識が物質に倚存するといふ事換言すれば「思惟の實在」に倚存するといふ事が證明されるのである。」

諸君は以上によつて唯物論は、精神は物質によつて存在する事を主張するを知られたと思ふ。

社會學としての、唯物史觀は、この哲學上の唯物論の上に立つてゐる。

唯物史觀は社會の進化變革を經濟的條件の如何を基準として說明しようとする。さて、その經濟的條件とは何かと云ふに、それは生產方法と、其の生產物の分配を指してゐる。例へば、生產力が未だ幼稚にして一人々々働けば漸く一人々々分の生產しかなし得ない狀態にあつたなら、決して階級對立の社會組織は實現する事は覺束なかつたのである。階級社會は一人の働きによつて三人四人もの生產を爲す事が出來る樣にならねば實現しない。以上によつて其の大體がうかゞはれる如く社會進化の原動力は經濟的條件である。

マルクスの經濟學批判の序文の中には唯物史觀の大要が**極めて明快に書いてあるから引用しよう。**

唯物史觀は如何に社會變革を說明するか

以下掲載するのは唯物史觀の公式と呼ばれてゐる部分である、唯物史觀によつてのみ、吾々は社會生活の推移が研究出來、社會現象を正確に認識する事が出來る。敢へて唯物史觀公式を掲げる所以である。

◇

人類は、彼等の生活の社會的生產に於いて一定の必然的の彼等の意志より獨立した關係に、即ち彼等の物質的生產力の一定の發展階段に適應する所の生產關係に入り込むものである。此等の生產關係の總和は社會の經濟的構造を成すものであつて、それは法制上及政治上の上層建築が據つて以て立つ所の、又一定の社會的意識形態が之に適應する所の眞實の土臺である。物質的生活の生產方法は一般に社會的の政治的の及び精神的の生活過程を條件づける。人類の意識が其の存在を決定するのでなくて寧ろ之に反し、彼等の社會的存在が其の意識を決定する。

社會の物質的生產力は其の發展の一定の階段に於て、そのものが從來その內に活動してゐた所の當時の生產關係又は單にその法的表現である所有關係と衝突することになる。此等の關係は生產力の發展形式から變じて之が桎梏となる。**是に於いて、社會革命の時代が到來する。經濟的基礎の變**

動に伴ふて巨大なる上層建築の全部が徐々と或は急激に變革し了る。

斯かる變革の觀察に當つては、吾々は常に自然科學的に忠實に論證する事が出來る。經濟的生産條件の上に起つた物質的の變革と、人類が依つて以て、此の衝突を意識し、且つこれが決戰を爲すに至る所の法制、政治、宗教、藝術、哲學上の簡單に云へば觀念上の諸形態とを區別しなければならぬ。斯かる變革時代を其の時代の意識から判斷するのは、恰も或る個人が自分自身をどう考へてゐるかによつて、その人を決定せんとするに同じく、啻に得る所がないのみならず、寧ろ此の意識なるものが、物質的生活の矛盾から社會的生産力と生産關係との間に現存せる衝突から、説明されなければならぬのである。

一の社會組織は總ての生産力が其の組織内に餘地あり限り發展を爲し遂げた後にあらざれば決して顚覆し去るもので無く、又新なより高度の生産關係はそのものゝ物質的存在條件が、古き社會の胎内に孕まれ了る以前において、決して發現し來たるものでは無いのだから人間は常に解決し得る問題のみを問題とするものである。何故と云ふに一層正確に之を觀察するならば。問題自體は其の解決に必要な物質的條件の已に存在してゐるか又は少くとも、其の成生の過程に在る場合にのみ、初めて發生するものだからである

吾人は極大づかみに亞細亞的の、古代的の（ギリシヤ、ローマ）封建的の、及び近代の有産者的の生産方法を以て、經濟的社會構成の進歩の階段と爲す事が出來る。

而して、有産的の生産關係は、社會的生産方法の敵對的形態を採れるものゝ最後である。茲に敵對的と謂ふのは個人的敵對と云ふ意味にあらずして、個人の社會的生活の條件から派生する敵對を意味する。併し有産者的社會の胎内に於いて發展した生産力は、同時に此の敵對の解決に必要な物質的條件を作る。されば、人類社會の前史は、此の社會構成を以つて終局を告げる。」

即ち、物質的生産力の一定の發展階段、これが社會を形成する土臺となる。其の一定の發達階段に適せる生産力に基いて、分配交換の關係が定められ、それらの和が社會の經濟的構造を形成する。各人は生れるや否や必ずその生産關係の中に入りこんで了ふ。それは彼の意志の如何に關せずして、そうなつて行く。此の經濟的構造の上に、所謂宗教や、政治、法律の上層建築が形成されてゐる。社會の變革は生産力の進歩から初まつて行く、

「社會の物質的生産力は其の發展の一定の段階においてそのものが從來その内に活動してゐた所の當時の生産關係又は單にその法的表現である所有關係と衝突することゝなる。此等の關係は生産力の發展形式から變じて之が桎梏となる。是において社會的革命の時代が到來する。經濟的基礎の動搖と共に巨大なる上層建築の全部が、除々と、或ひは急激に變革し了る。」

生産力の不斷なる進歩を遂げつゝあるに反して、社會組

織は固定的なものである。歴史的なものであつて、永遠の性質をもたない。一時的に過ぎない。一の社會組織は生產力の發達程度を土臺として形成さるゝものであつて、初めの中は、その生產力と適應した形式であるから生產力の進步を促進して行く。しかし生產力が進步するにつれて、先の社會組織とは次第に均衡が取れぬ樣になつてくる。矛盾が生じて來る。以前までは生產力の發展を助けてゐたのが、反つて生產力の桎梏に變じて來る。されば再び現在の生產力に適應する社會組織が必要となつて來る。こゝに社會變革の時代が現出して來るのである。即ち生產力の變化は、必ず經濟的構造の變化となり、それに伴つて巨大なる上層建築が除々と或ひは急激に變化して來る。かの封建制度の破壞されたる所以は、偏狹な社會組織によつては到底進步せる生產力と步調を一にする事が出來なかつたからである。生產力の增大は封建制度の垣を破つて廣い世界に手足を伸ばす事の出來る資本主義社會を招き寄せたのである。資本主義社會は生產力をいやが上にも發展させた。技術の進步、機械の發明、交通の完備、通信の自由、そうした條件と共に洪水の樣な富をこの世に出現させた。しかし、それも一時的のものに過ぎなかつた。やがて資本主義社會組織も荒廢の期に近づいた。現在は正にその時代である。生產力と社會組織との矛盾からして、非痛な生活苦をあらゆる人々に與へつゝある、資本主義社會と矛盾衝突する樣になつた生產力に適應する社會が望ましい事となつた。その社會は社會主義社會である。封建制度が破れ、資本主義が生れ、その資本主義は亦破れんとして社會主義の實現の期は近づいた。社會主義は資本主義社會の中に孕まれた子供である。人間の子供が月滿ちて漸く生れると等しく、社會主義も母人たる資本主義社會が充分行きつく所まで行きつかねば生れて來ない。

マルクスは云つてゐる。

「一の社會組織は總ての生產力が其の組織內に餘地ある餘り發展を爲し遂げた後にあらざれば決して顚覆し去るものので無く。又新なより高度の生產關係はそのものゝ物質的條件が古き社會の胎內に孕まれ了る以前においては決して發現し來るものではない」

即ち（資本主義の場合を例に取らう）社會主義は資本主義の胎內において生れるに可能な準備をした後にあらざれば決して實現するものではない。未だ其の孕まれざる以前において、社會主義をこの世に實現しようとしたとて、それは無駄な事である。かの所謂空想的社會主義者は、未だ資本主義の發達の可能性のある時代において出現した。社會主義に至るべき條件が未だ孕まれてゐなかつたのである。彼等は社會主義が如何なる經路を辿つて實現されて行くかを知らなかつた。資本主義社會の自己運動が社會主義を孕んで行くかを見る事が出來なかつた。しかし、それは止むを得ない事であつた。當時の資本家的生產方法がそれに伴ふブルヂョアジイとプロレタリアとの對立は、ま

だ頗る不充分な發達であつた」のである。かゝる時代において出現した。サン、シモン、フーリエ、オウエンの三大空想社會主義者は、自己の頭惱に社會主義國家の樂園を書き自己陶醉に耽り、科學的に社會の動きを見るを得なかつた。彼等偉大なる思想家を空しく空想家にすぎない者となしたのは、實に其の時代の社會狀態であつた。

反之、科學的社會主義者と稱する人々は、現實の社會主義をして空想の夢として見る事なくして荒々しき現實の社會の流れの上に其の成立せざるべからざる事を發見したのである。さてその科學的社會主義の父は誰れであるかと云ふにそれはカアル、マルクスである。マルクスは、かの初期社會主義者の樣に將來の理想社會を一つの希望として自己の腦裡に畫いてゐたのに反して、社會主義は、嚴然たる歷史法則的に必然に生み來たる事を發見し、その來るべき經路を科學的に分析したのである。マルクスによれば、社會の變革は人々の思想によつて行はれるのでなくして、生産力の發展と共に行はれると爲す、その生産力に應じて一定の經濟的組織が形成され、その上に所謂上層建築が立てられる。手車でブンブンと綿を絲にしてゐた時代には封建制度が行はれてゐた。古ぼけた時代の遺物が私達の故鄕には未だに保存されてゐる。大機械の發明はこの封建制度を倒し、資本主義社會を建設した。即ち、社會の生産力が變化すれば社會組織も不應なしに變化する。マルクスはこうした新しい歷史の見方を發見したのである。前述した唯物史觀がそれである。

科學的社會主義は、社會主義をして歷史的な必然のものであると見た。社會主義は決して二人や三人の思想家の考へによつて來るのではなくして、實に社會の經濟的變化によつて來る。

東京市會瀆職問題に關する聲明書二つ

板舟權問題、京成電車乘入問題、東京瓦斯報償契約更新問題等を機會として東京市會はその腐敗情醜に徹せることを暴露した。白日堂々たる市會議員が頭を列ねて瀆職罪の罪名の下に收容せらるの醜態は心ある市民の正視するに堪へざる所であらう。東京市會は全く利權涉獵者流の亂舞場となり醜怪汚辱の伏魔殿と化し去つたのである。然し斯くの如き事態の由つて來る源は遠い。我等は民衆の利害を度外した政治の一歸結を眼前に見る心地がする。民衆に立脚する東京市會の再建こそ目下の急務であり、また市會を革正する唯一の途徑でなければならぬ。我等は民衆の名に依て現市會を糺彈し市當局の辭職を要求すると共に普通選擧に依る市會議員選擧の即時施行、市民の一般投票に依る市長の選擧を要求するものである。

昭和三年八月十八日

日勞黨東京府聯合會

我等は東京市の利權政治の正體に就いて、從來機會ある毎に暴露し攻擊し來つた處であるが、今回司直の手に依つて醜惡なる市會政治が公然白日の下に曝されるに至つた。然るに昨今司法に向つてもみ消し運動の聲あり、過去に於ける市議檢擧の跡を觀るに事件の中樞人物を逃し、所謂雜魚のみを追ふ傾向がある。

我等は此の市會淨化の絕好の機會に際して、司直の府が政治的牽制に[illegible]はさるゝことなく徹底的檢擧を斷行して其の禍根を一清し、以つて、東京市會の更生を圖らんことを要求す。

我等は今後、全市民の正義心に訴へ、且つこれと協力して市政大改革の烽火を擧げ公正なる新市會の建設を見るまで全力を擧げて努闘せんことを誓ふものである。

一九二八年八月二十二日

社會民衆黨東京府支部聯合會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

板舟權問題に就て

去る六月末より七月にかけて檢擧した右翼反動團體の取調よりはしなくも帝都の伏魔殿たる東京市會の疑獄事件が發覺し以外にも大きな波紋を抽いて擴大して行きつゝある。板舟權問題とはそも如何なるものであるかを簡單に述べるならば此板舟權は板舟權、平田舟權等の權利の總稱であつて、舊日本橋市場で魚類を販賣するために使つた巾三尺、長さ一尺の板一枚の權利であるが、その權利は一枚三千圓、平田舟權も魚類販賣に使用する船から河岸に渡した板の權利である、これが警視廳の行政命令によつて震災後日本橋魚河岸市場より芝浦に移され、その爲に舊板舟權總額二千万圓が無くなつたため、それを東京市に保償させんとしたのがそも〱この事件の發端である。これに對して東京市民は他に多くの社會事業が財政困難のために遲延されてある時に當つて一部の權利保護のためこれを負擔する事は出來ない理由のもとに猛烈なる反對運動を起したために東京市會に提案されてより數年に亘るも常に否決され、中村市長時代に百万圓保償が否決に遭い、西久保市長又九十万圓に減額し上提したるも遂に否決されたのであつた。然るにこの案が三月三十日の市會において七十万圓保償として上提されるに至つて遂に四十票對四十二票の差をもつて市民の反對を無視して可決されるに至つた。この板舟權保償案の通過の裏面には過般の總選擧に際しても候補者に贈賄したる形跡あり、上提以前における暗中飛躍は以外の效を奏し、上提以來反對し通した議員の寢返り、組合基金數十万圓の支出不明等に關聯して、この間にあつていかに醜怪極まる行爲が演ぜられたかを推斷する事が出來る。今やこの問題も司局の手に移つて十一日突如關係者方面の搜査を開始し、芋蔓的に檢擧されつゝある。既に、高村、相川、坪野、今津、小板等は、强制處分によつて市ケ谷刑務所に收容され、愈々起訴する事に決定してゐる。尙片山、田中、栗山、茂木の四市議、大野代議士等にも拘引状を發し事件は益々擴大しつゝある。從來市當局は豫算なしの理由のもとに、市從業員、市電從業員等々の待遇改善の要求は事毎にこれを斥けて、ために市從業員、市電從業員の生活は愈々窮迫してゐるをも顧みず十數年來利權のために紊亂を極めたる市會が、はしなくもほんの一部の人々を利するに過ぎざる板舟權問題のために始めてその醜状が暴露されたのである。我々はこの摘發檢擧に對しては當局を充分に監視しなくてはならないとともに、この問題の責任者たる市長の辭職と現市會の即時解散を要求して普選によつてこれが淨化を期せねばならない。

（八月十七日）

板舟權や京成電車乘入問題にからんで曝露された東京市の腐敗に各無産政黨が猛然として立つた。その片鱗として講座の末尾に聲明書の二三を揭げておいた。

移住地を流れる歳月

本庄陸男

トンペツに知人があるので、その方に女中奉公に出す。男は漁場の主人である——といふことは、相當の成功者である理由になり、お梅の出先に暗陰は更にないのだ。荒仕事をしなければ、容貌も冴えるだらう、と噂した。とに角お梅は部落を出るのだ。

勿論、隣の家がそれを信じようとどうしやうと、口實さへ明瞭であるなら、あとはどうにでも處理出來る。彼等——お梅の兩親は、それをすつかり肯定してゐた。女の子は概して役に立たない。こんな伐木と開墾に酷使するのは、その親に似ない色白が、却て不生産的である。女の元手で儲かる仕事が漁場に澤山轉がつてゐる。

何だ？　何が辛いといふんだ。まだ行つて見もせんで、何を吐かす。序に面白い思ひをせんでもないぞよ。阿呆奴！

親爺の一存は、一切を躊躇なく片附けた。そしてお梅は村を出る。出さねばならぬ理由を歪曲してゐる、眞實のことを隱せるだけ隱す傳統の道義心を持ち合せてゐた。お梅の色白に惚れて、横眼を使ふ若い男も居たには居たが、高が一戸分や二戸分の自作農に、なれるかなれんの見え透いた境涯だ。そんな者に遣られるかと瘦せ我慢を吐き出した。事實は此の時、彼等の生活に、ヒビが凄じく割れてゐたのだ。

新開地には、金と成功が待つてゐると云ふポスターが、内地の役場に貼り出された。祖先代々の煤けた家屋だけ——それをすつかり小作米の抵當に綺麗に渡して、海を渡つて來たのである。再三再四、拓殖課の役人に泣きついて、依託された原野を、三年間に開墾し、耕地にすべく命令された。三年間に、立木がすつかり伐採せられて、この森林に見透しをつけなければ下附にならぬ、——その條件を餘儀なく承認した彼等である。三年目に五町歩にしろ、土地所有主になるであらうと云ふ、果敢ない希望を確かり握つた。娘が居た、伜が居た、童が居た、赤子が居た。しなびた四十の女房以下の一隊を引きつれて、親爺は此の狹谷の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

、川口近く小屋を編んだ。そうして、三年間に、十町歩の開墾地を實現しようと目論むのだ。總動員して働いた、草の根を掘りかへして胃の腑に押し込んだ。

　だが、そうして働いても、十町歩の見透しは着き兼ねる
嬶はそれでも子供を産む、――營養不良で我鬼が死ぬ――自分で伐り倒して見たが、大きな根木の交錯は、焦るけれども、薩張り匂ひの高い黒土の畑地とはならなかつた。

　川に沿ふた澤地の沖積土であつた。生れだ内地を喰ひ詰めさせられた一つ一つの家々が、三本伐り拂つたたも木の間に小屋を掛けた。そして、此處に小さな移住部落を創くて行つた。家と家とは遠かつた。お梅の若さと娘さとが、それでも、一本の路を歩く時折りの人間に印象した。だから若い男は、鋸を立木の胴に挽き入れて、その手を止めてお梅の脊視を想ひ出した。若い男――清造は、お梅の開墾小屋の屋根に、綺な煤が黒くなる次の年、その奥の地を拂ひ下げた。高臺は、白樺の林の間に畑を飼はせた。その新移住者の家にも、親爺、お袋、それ以下五人の餓鬼どもが巣喰ふて行つた。

　高臺から見下して。お梅は十七？　そうすると、清造の十九と大して差違ない。熊笹をやつと切り開いた一本路、それを抱へてゐる未墾地の二つの家が、六百間の距離を置いて煙を立てゝ居た。

　三年間に未墾地が認められた場合には、その未墾地に相當する立木の木代を賠償しなければ附與にならない。三年間・とにも角にも、鋸一本で開墾した土地だ。――黒い土壤に、水々しく成長する青豌豆の丸い葉の色だ――檢査官が來て調査して、そして不許可と認定されれば、その迄になる。これは重大問題である――木代、木代……木代を拂へば附與になる。お梅の所有に出來る。

　三年目だつた、お梅が十九の生娘となつた。附與地にしなければならないための木代に替へて、お梅は斷然たる親爺の命と、母親の懇願にほだされて、女中奉公に行つた――トンペツと云ふ漁港に、荒い渡り漁夫の群の中に投げ込まれて行つた。

　六百間奥地の清造は、原籍地に舞ひ戻されて、其處から所屬の聯隊に、勤直な忠節を抽んでてゐる兵士であつた。一遍別れを告げ合ふひまもなかつた。奉公である、奉公である――その中、よい嫁の口でも見つかるだらうと慰められた。お梅は、雪に埋もれた一冬中に、洗はれて綺麗になつた白い襦袢を、唐縮緬のお袋讓りのお高祖に包んで七里の路を馬車に搖られた。停車場までの道々を、彼女の父親は、馬車の後から徒歩でついて來た。殊勝な娘は、金は取れるし、面白い思ひはするし――といふ土地に運ばれた。馬車に搖られて頭が重く痛んだ。その一晩を、煤けた部屋だが、幾年振りかで、お梅は疊の上によく寢入つた。翌朝、稍々に氣の晴そうな親爺の顏に、輕便列車を見送らせて朝の一番でトンペツに行く。トンペツは海岸で新しい魚を

食ひ放題だと云つた。汽車も來てゐるし、汽船も毎度碇泊するし、都であると聞かされた。

部落は、一本の立木が姿を消失する毎に、拓けて行つた。伐り倒される木が地響き打つた。一本の路は蔓のやうに奥へ地に延びて、一年毎に家を殖して行つた。

附與地に收穫が積まれて行つた。

馬をおのおの買つて育てた。馬の嘶きや鷄のときを作る音が、村を落ち着かせた。

編み立て、拜み合せの小屋を、柾葺きの木の生々しい家に建て替へた。

伐られた立木の跡に、さゝくれた切株が透かされて、部落の家が數へられるまでになつた。

部落戸數二十五を計上した。勿論、其處には、自治機關も發生的に設けられた。そうして、これは此の○部落の草分けの、お梅の父親奥行耕助と、清造の父親田部金作である。

高臺の清造の上等兵の星が三つで歸つて來た。お國のために忠良なこの兵士は、三年間の勤務に、在郷軍人となつたカーキー服を珍重された。だが、云ふまでもなく、此の流れ寄つた移民達には、心からの尊敬は決してなかつたけれど、立派な帝國の軍人ではあつた。なつかしい先祖代々の生れ故郷を追ひ立てて呉れた、あの餘儀ない脅迫を守成する、此の帝國の軍人ではなかつたか。二十五戸の子弟に讀み書きを法定敎授細目を誤魔化してする○部落敎授所の代用敎員吉田を中心に、清造の名譽は表彰されねばならなかつた。酒とそうめんの饗應があつた。

開拓されて行く村と一緒に成長した、若い者の統帥者である田部の清造さんは、内地に居る時、高等小學校も出て居たし、それから兵隊では上等兵である。部落のインテリゲンチャは、けれども、軍服をすつかり投げ棄てた。世の中の裏から裏を勉強して、狡猾な眼を竊の底に片よせた。彼は太い手に錢と鍬を持つて伐木に出た。田部の家では、馬小屋の隅に密造した味噌醬油の、稅金のがれの、僅かな身上が積つて行つた。あんな伜を持つた田部さんは僥倖だ。一足先に、内地に歸れるといふものだ。伐り拓かれた木立の合間に、陽光が十分に注ぐ、作物は處女地に生き〳〵育つのだ。高原の家は、周圍に密生してゐた白樺の木立をすつかり征服してゐた。新しい柾板葺きの家が、陽光にキラ〳〵した。

だが十年間――其の間に、都市集中に掃り切られた敗殘者の、急激な移民の群が、未墾地を埋めた。そうして其處には、新しい競爭が、罪無い立木を殺戮した。原野はだんだん明るくなつて來た。官憲との契約に、三年間を反古にしないためにも、開拓されて行かねばならぬのだ。平衡が其處に見えた。呼吸を一度、深く吸ひ込んだ。そして此の時初墾田に鍬を投げ込んだ人々は、十町步の畑地の持主であつた。夏中骨身を削つて働いて、冬中吹雪を見込んで森林主事を醉ひ潰した、その隙間の素早い官有林盜伐に、

思はぬ金儲けをしたかのやうに北叟笑んだ。

成長した子供は、次の時代に這入らうとして、お互ひの嫁取り婿取りを談笑し出した。

荒地と立木に戰ひ抜いた彼等であつた。そうして今は、官有林に手をつける以外に、手の出し所がないのだ、

此處で偶然と部落の人達は思つた──やつて來た騷亂の緒は、田部清造が掠奪されたことである。此の國が、外國と戰爭を初めたといふことである。

靑年會の、處女會の──勿論そんな名稱はなかつたが、その立役者であつた清造が召集されたのだ。

何に、あれは機動演習だ──と云ふ者もあつた。何あにあれは内地に嫁を捜しに出かけたのだ──と云ふ者も居た。

が、間違ひないことは、原籍の司令部からの召集であるお政府の召集に、惚惚と出かけたすぐ後で、單級小學校に昇格した吉川先生をたづねて、戰爭が始まつたことは、確實であると言明された。

勿論、日本は連戰連勝さ。

當り前よ、地球の裏では、ドイツを眞中に据えて、世界中が攻めて居るんだ。

新しい時代に觸れる新聞を讀みまはつて、それだけを承知した。

薄荷油が暴騰した。

青豌豆の賣卸に、濱の市街地まで行つて、歸りがけの奥行耕助は、重大な素張らしい計畫を抱いてゐた。濱の市街地では、來年鐵道が開通するといふのだ、そうすれば、五里の近さに都會が接近する。

濱の市街地隨一の雜穀仲買商㊂の、一番の上席番頭は、ズブリ／＼と俵にほぞを突き立てて、青豌豆の艶と乾燥を調べた。それを店先で待ち佇ら、耕助は、凍結した澁水の上を吹きつける風に、鳥肌立つてゐた。鼻汁を手指でかみ捨てながら、蒼白い顏の番頭が、うすい唇の間から、三等品の宣告をしないかと冷や／＼した。が、まづ二等品だと齒を見せて笑つた。愛想よく話しかけた。

──戰爭が初まつとるんでなあ。奥行さん。澱粉が、えらい景氣が出たぞよ。あんたん所は、馬鈴薯がよう出來るんぢやろう。あれから澱粉を取つて賣り出すと、一儲けになるがなあ──

耕助は返事をしなかつた。

──今が、やるなら遣り時ぢや。此の戰爭は、大きいから、中々長びくわ。しかも澱粉は輸出品ぢや。外國相手の商賣ぢや。

外國相手？

あゝ、つまり外國人の、是非要る品物なんぢや。何しろ世界は廣いからな。これは屹度儲かる哩。サックルの方ぢやあ、もう工場を造つて今年から初めとるが。㊂なんかも

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

何處かに澱粉はないかと血眼ぢや、俺を好う買ふがな。

奥行耕助は、馬橇の上で、風に吹かれて腐心した。一握りに掴み取れる千金を豫想することが出來た。ジヤンシヤン〳〵と、馬橇の鈴音を立てながら、彼は馬を追ひ立てゝ家に歸り着いた。

田部金造に相談を持つて行つた。

これは屹度儲かるよ。共同でやつて見んかい？

―だがな。㊂の番頭の言ふことぢや。何を企らんでゐるか分らんぞ。拔け目のない商賣人ぢやからな。俺は止めとこう。

駄目を押して、素氣なく斷られた。

―なら、なら、何もお願ひせんわい。俺一人でやつて見せるさ。吠面掻くな。

雪路を蹴立てゝ、學校の教員を訪ふた。

勿論、それは本當であつた。又々暴騰―天井知らず――といふ初號見出しの相場記事を、教員はストーヴの上に翳して見せた。

奥行耕助は、暗いランプの下で、覺束なく字を拾ひ讀みした。すると其處には、澱粉と並んで、青豌豆の相場が出てゐた。百斤、十五圓五十錢也―

十五圓五十錢なら―それなら㊂に六圓も儲けられとる一俵六圓儲けられとる！澱粉は？

なあ、先生。澱粉工場を建てたいと思ひ立つたんぢやが儲かりませうかいな？

さあ―と、教員は首を捻つた。―この景氣が何處まで持ち耐へるかなあ―だけんど、世界戰爭ぢやからなあ損にはなりますまいよ。

耕助は、斷然、決意して家に歸つた。彼は、新聞の相場欄に眼を通して、世界が廣くなつた。翌日耕助は、澱粉に青豌豆の荷造をしながら、㊂に強談判をしようと思ひ立つた。

不當な商人だ！俵六圓の利得。

雪の一本路は、橇の裏金が凍つて光つた。品質を調上げて、二三粒黒いのを殊更に店の土間に投げ捨てた。そして番頭は、

二等品！やつとぢや―

今日は一俵、何ぼに買ふて貰へるんですかいな

今日は？ 今日は云ふても昨日と同じに頂きます。

そこで耕助は落ちついて、首に卷いてゐた襟卷を握つて腿引きの上にたゝんだ。見縊るなと抗議し出した。

―でもね、新聞によりますと、十五圓五十錢となつてをりますが、あれはどうなんでせうかな。

薄い唇が初めて歪んだ、がすぐ愛想笑ひとなつた。

へへ………ありやあ、貴方、横濱の輸出相場ですぞ。あそこの相場と、此處とを一緒にされては困りますぜ、へへ………

―いや、横濱ぢやありません、小樽の相場ぢや。

小樽にしろが―と。もう番頭は、作り笑ひをしなかつた―此處から船と汽車でどれだけ手數を掛けますことか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それに又、此の相場といふ奴は、一時間に、大きに變動するものぢやあしなあ——全く、そうは行きませんや。汽車でも來りや又…………

それから、急に開き直つて番頭は上手に出た。

——そんなら、㊂では安すぎると仰言るんですな。安過ぎますなら、無理に賣つて貰はないでもよろしいんで、どうぞ、もつとお高い所に運んで下さい。たゞね、此の濱ぢやあ、何處に行つても此家より高くは買ひません哩、へへ小樽にでも行かた、へ。買はして貰はんでも、此家では、お前樣に貸した金さへ頂けりあ、外に言ひ分はありませんや、

——いや、いや——と、耕助は慌てゝ、手を振つた——そんな譯では決してありませんので、口が出すぎました。どうか、此處で取つて貰はな、俺は困りますので。濟みません。慾の皮がゴウ突く張りまして——

これで貰ふても、此家では、引き合はん位でございますが——と、空嘯いた番頭を、店の土間まで追ひ付いた。

もう、年を取つて出すぎました。こらへて下さいな——所で、昨日の話、あの澱粉をね、今年から目論んで見ようと思ひますんでな。大丈夫でせうな。

あゝあれか、あれは大丈夫だ。

そしたら、又、お宅で買ふて貰はならんのですから、買ひますとも!

耕助は、橇の上に、莚、叺を仕入れて馬を追ふた。具體化された計畫に、素張らしい魅力を覺えた。そこで耕助は、忘れてゐた長女のお梅に愛情の流る餘裕を感じた。

嚊が、圍爐裏框で泣いてゐた。

長男に手傳はせて馬を小屋に休ませた。橇の上の荷物を土間の隅に積み上げて、裝束の雪を拂ひ作ら、焚火の爐端の中に踏み込んだ。彼の計畫を話そうとする時、女房の赤くただれた眼が見上げた。

——お梅がなあ、お前、病氣になつてなあ——歸にたい歸にたい言ひよるぞ。今日手紙が來たわ——これに(と長男を顋で示して)讀んで貰ふたが、思へば可哀相で可哀相で。

病氣か? 何の病氣と云ふとりやあ?

何やら知らんが、病氣が苦しいと…………

耕助は略々見當をつけては居た。が、今時そんな問題ぢやなかつた。もつと此方に大切なことが山程あつた——だが女房は續けた

それになあ、梅は奉公先から嫁に行つたと云ふてはあるが、皆世間の人もそう思ふとるが、今更なあ——可哀想に。

——今戻つたとて仕樣があるか、もう少しだまつとけ!

それから耕助は、金儲けの計畫を話して、すぐに工事にかゝると宣言した。田部の小財産位、直に負かして了ふぞ!

貴方! そんな事業やなんかして、又、どうにもならんやうになるぞ——

つべこべ言ふな! 今に見とれえな!

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

翌年。奥行耕助の持地十町歩と、川下の借地五町歩は、悉く馬鈴薯畑となつた。それはそよ〳〵と地味な白い花を咲かせて繁茂した。

川に沿ふた新らしい柾葺きの家からは、港からはる〳〵傭ひ入れた大工達が、水車の製作を初めた。冷笑と羨望が飛び交ふた。お梅を貰つた時と、同じ意地で耕助は働くのだ。水車小屋で、大工とふざける娘を怒鳴りとばした。シャブ〳〵〳〵とまはり出した動力に、耕助は活氣づいた。

彼はそのために、十年間の血水の姿である十町歩の畑地を他人名義に書き替えねばならなかつた。利子は複利で膨脹して行つた。月二分の駆足で。見積られた地價がそれに喰ひ込むのは目に見えた。

だが、水車は廻轉した。芋の花は摘み捨てられた。山に木の栗が飛びあがる頃、異彩をはなつた馬鈴薯畑は、ヘローにかけて、掻き集められた。

そして——秋

○部落單級小學校の教室で、賀宴が張られた。酒と、そうめんと、今度は鰯が焼き添えられた。田部清造は室の中央に居て酔はされてしまつた。

山に、木の葉が散亂した。

一本路が、夜露に恐ろしく冷えてゐた。内地から連れて來た新嫁が、森の陰で蹲まつて待つてゐた。水車の音が路に響いた。

馬鹿らしい戰爭だな。お互に殺し合つてよ——おゝ悲い！

女は男に身を寄せた。身體を寄せ合はなければ、醉ひ醒めが震へ上るほどであつた。

——今年の下落は、止むを得んよ。休戰だからな。然し世界がドイツをたゝきつぶすと言つてゐる間は、まだまだ此の値は持ち上る。秋は、その方の專門だ大丈夫だよ。

㊂の番頭は、覺束ない信頼であつた。然し耕助は背水の陣だ。二束三文に賣らねばならなかつた。

そして翌年馬鈴薯は、清楚な花を、畑一面に咲かせた。戰爭は終つてゐた。雜穀は暴落した。

生憎、耕助の一家は、食ふべき麥を畑へ蒔き付けてなかつた。

又、翌年——

もう一つ海を越えて、植民地に行つたといふ耕助一家の噂話しが消えた。其の土地は、六百間隣の田部に所有されてゐた。

高齋の家から、清造は分家して來た。納屋一つ建て增した。

水車は川端で、ゴト〳〵廻つてゐた。その動力は、腕木の先で杵を上げ下げした。終日終夜、麥を搗いた。黍をこなした。粉をひいた。全部落の賃搗仕事を引き受けてゐた

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夕方清造は女房と二人で屑籠をまはして網を出した。

お梅の五度目の妊娠は、清造の手で破り棄てられた。

病身に身體を腐らせ乍ら、十町歩の畑地に居るであらう親達を想つたのだ。歸つて死にたい。汗水流して働いた家の下で死にたいと書かれてあつた。

お梅は賣り捨てられてゐた。だから、消滅した家を知らなかつた。女が三十の坂に登りつめたら、身勝手に處置すべきであつた。

六度目の妊娠が、ビリ／＼破られて、汚れたもののやうに焚火に燃え上つた。

娼婦の宿の不用者になつたお梅は、病軀を強いて、客に提供する力を失つてゐた。漁場の荒くれた男達に踏みにじられたお梅の肉體から、金になるものは、甚だ、搾り取られてゐた。そして肥料にさへならない腐肉を、男の前へ陳列して、その狂暴な食慾にそなへた。だが餓え切つてゐた。

有田ドラックの請合薬も効果がなかつた。

お梅は、夜、逃げ出した。這ひづつて夜汽車にころげ込んだ。

歸りたい！　歸りたい——

それは八月の明るい列車でなつた。

涼しい奥地の平原を走つてゐた。清々しい窓外の風光は四角に區切られて、すい／＼と應接した。

視察旅行の學生連が、一團となつて、愉快な會話を續け合はせてゐた。一番、便所に近い隅に、お梅は[illegible]で呼吸づいてゐた。汽車の動搖を防ぎ兼ねて、床に尻を下した。クッションに頭と腕とを載せた。

十時間目——お梅は、列車の動きを感じなかつた。世界を失つてゐた。

うつすらと、電灯のあかりを黄色に見た。窓間にある鐘が揺れてゐた。

歸りたい！　歸りたい！

汽車から一日掛の旅費を取つた、駐在巡査が、白つぽいサーベルを鳴らして部落の入口の小學校を覗いた。吉田教員は、四十人の全校生徒の授業を止めた。

教室の窓から、巡査と會話の交換をした。

奥村——といふ家は、三年ばかり前にありましたがね。

フン、と首を曲げた巡査に、教員は附け足した。

——あの田部といふ家で聞いて見ると分りませうよ。

そして、窓から首を重ねて出してゐる子供達をどなりつけた。

コラッ!!

そして、禿た頭を一度なでまはしてから授業に取りかゝつた。

巡査だぞ！

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

森林主事の鯱より長くて、よく光るな。
田部さん所へ行つたぞ！

――お梅さんが。清造はそう云ふ。爐端で女房が茶を入れた。巡査はそれを出そうに呑んだ。

――それぢやあ、警察で死んだんだね。そんなに歸りたかつたなら、お骨だけでも埋めてやらう。此處は俺等の故郷なんだからね――

私娼か何かをやつてゐたらしい。悪い病氣だ――巡査が事務的に言つた。

まあ――と、女房は汚らしく口を歪めた。

迎へに行きませう。清造は、青年達と相談をいたしまして。――

立ち上つて、清造は、附與の金のために賣られた女を想ひ出した。兵隊にさへ行かなかつたら、少し運氣が狂つたかも知れないと思つた。――この地所でしたから、そして此の家でしたからね、此の家の近くに埋めてやりませう。

ひやあ――氣味が悪い、

奇特なことですな、功徳になりますな。

――埋めてやるさ。明日、警察の方に出向きます。何でもよいよ、とに角相談しよう。

――よう、田部さん。名譽なことですな。ちやあんと、此處に載つとりますぞ。

吉田教員は、清造の畑に駈けつけて、封を切つたばかりの新聞を擴げて見せた。

○青年團長田部清造氏は云々――と、最上級の言葉を五行ばかり並べてあつた。だが其の上には、三段抜きの大見出しで、A開港場海運勞働組合のストライキが記されてあつた。勞働者大勝――だがそれには目を止めないで、教員はそは〱してゐた。

名譽でもないでせう――

清造は苦笑して草取りを進めた。

お梅さんも、こんな好い朋輩を持つて、幸福なことぢやなあ、内儀さん。

えゝ。

然し、記事の通り、お梅の骨は埋められなかつた。市街の說教所の方がよいと理屈をつけて其處に預けたので。

俺等の土地だ、他人の骨なんかを埋めておかれるもんか、なあ、馬鹿臭い！

薄荷油の値段が出て、畑は一面に目にしみる薄荷草の濃緑であつた。風が動いて、紫の小さな花が葉裏に見られた。

――(三、六、二〇)――

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

放浪者の手記

中島安太郎

ながい間、私と一緒に働いたことのある、文學土工の横田三次郎君が北海道の流送會社へ流材に出かけたのは今年の春でした。パンに追はれてあくせくしてゐる私達の生活のせちがらさ、横田君にしても私にしても別れて以來ろくに文通もせづにとう〳〵それが、永遠の別れとまでなつてしまひました。

今でも少くとも一生——忘れることの出來ない惡意のない横田君の笑顏。自由勞働者の常として長い着物にえんがなくぼろぼろのしるしばんてんを引かけて赤旗の唄をうたつたりしてひよこり思び出したように訪れて來る横田君。

——一滴の酒も呑まず一本の莨ものまない物固い横田君。

私や私の友達の前からこの横田君は永遠にさよならをしてしまつたのです。放浪兒横田君の死は私に取つてまたとない悲しみの一つです。日高の國は不幸なるこの横田君の靈の、その生前と等しく漂ひの旅に續きぬ恨を永久に留てゐる國であります。妻なく子なく兄弟なく、勿論金があるでなし親はあれども如何にせんの横田君が、ユーゴーを愛讀したり大無量萬經を誦したり、そうかと思ふと森林太郎の譯したファウストの文章に感じたりして悅に入つてゐた横田君の姿を、私どもは永久に見ることが出來なくなつてしまつたのだ。北海道へ立つ時どんなにさがしてもわからなかつた横田君の雜記帳——それが、いまひよいと物置の隅からころがり出て來た。

『あんなものどうでもよいが、君達が見ると嫌だからと思つてさがしたまでだ。自信も何もない日記もあれは、拔書もある、何かの參考にならう、あつたら僕の紀念に進ぜる讀んで見給へ。』と云つた最後の言葉——。

鉛筆で書いてある個所もあるし萬年筆の走り書もある、創作もあれば感想もあり筆記もある。横田君は勿論學者ではない。歌人でもなければ何でもないが、私は文學土工と呼んではよく嫌がられたものだ。このあかじみたうす汚ない雜記帳をこれからひろげて面白そうなところを私は讀み

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

抜いて見る。
　惡に逆らふ勿れ、裁判する勿れ、殺す事勿れ。從つて戰法廷なく軍隊なく牢獄なく、公私なくすべての復仇なし、されど爭もなく、裁判もなし。世界の法則は生存競爭なり。基督の法則は然らず自己の生存を他人の爲に犠牲に供するにあり（ヴォギエス）と書いてある。次には
田園はうらさびて疲れ果てたり
都市これを食ふ　ノルダウ
　これ等は何かの拔書だ。
月を背に砧打つ藥の匂ひ
と云ふのはてつきり横田君の自作だ。これから何であらうとだまつて讀んで行くことにする。

　私は今日森の林を見た。夕ぐれのさみしさに誘ひ出されたうす暗い中に見渡す限りの森の老樹が突立つてゐたが、その枝振りを見よ、その個性を見よ、一として同一のものよりも類似のものすらないではないか。私は價値についてのS君の言葉を思ひ出さずにはゐられなかつた。

　中年者の獨身、それはよくない、性の空虚は一切の哲學を灰色に彩る。南部北部の佛教も、女人禁制の求道に堪えかねて教法の破戒、喰肉の惡佛親鸞の爲に事實の上に於て完全に征服せられてしまつたではないか、淨土眞宗の佛は果して佛か。

　寒巖枯木、冬野の夜を照す寒月の如き、高僧は、袈裟に彩られたる金襴の錦が、燃へ立つ緋繻子の長繻袢に眞紅の都腰卷と卷きつき合つて戀愛にころがつてゐたつて、何が云へる。
　陰陽は相引く、それが眞理だ。獨身はよくない。

　五十男と性慾、それは俺達の考ひ知ることの出來るものではない——が、それにしても自己の地位、職權と云つたやうな地位を利用して、純潔な娘、處女を侵すと云ふが如き行爲は——公園の狒々ではあるまいし、少しはやけたような、憎いような、うまくやりやがつたような氣分が、壓すように俺の心を包んだ。

　山は灰色、川の流れは海への黑を溶かしたやう、瀬が荒いので眞白の波頭が立つ、人の心も灰色だ、その中に杉の木立の緑の黑さ、淺緑のチサの木（庄川の上流にて）

　竿頭に翻へる赤旗は危險を標示して立ち、ベルがなる。激しいリズムが、峽谷をかけめぐる、日は中天に輝いてゐる。トロ押の人夫達は岩かげへ身を潜めてじつとしてゐる發破だ、發破だ。

　二日休んで俺は考へたが、何をも得ることが出來なくて

休めば勞働賃銀が、とれないので損だと云ふことがわかつた。

何をしても手に附かぬ、頭がぼんやりしてゐる、動作が鈍い。只ぼんやり生きてゐる。

雨を恐れる張子ではあるまいかなれど、朝からの雨に氣をとられて仕事は休んでしまつた。七人の土工は飯場で思ひ切り飯を食つて、思ひ／＼の行動を取つてゐた。淨瑠璃浪花節の本を讀んだりしてゐた。むしろの上にところがつてゐる臭い蒲團の綿はよれ／＼になつてゐてところ／＼切れてゐてしらみが、這つてゐるのがひよつと見える。はんてん、股引などは吊り竿にうじや／＼とかけある。土工の合唱が始まつた。嵐の如し。

鯖を切る用意をした。

頭の尖つた尾のシヤンとした新らしい鯖を、支那人の山本が、流し場に置いた。

雨の爲に水だめの合樋の中へ流れ込む筧の水は灰色ににごつてゐる。

「どうだ俺が切つてやらうか、」

「あゝ」

鯖の料理に經驗はない。經驗のないところに自信もない落ち着いたような顏をして頸すぢねらつて包丁をぶつりと突きさしてみた。

若い娘が通る、幸福の娘、未來ある人だつや／＼しい黒髪が朝日に輝く。

男性的な夏だ。陽に光る綠の美しさ。

若いうちだと云つた。それはほんとのことである。だがどの方面に向つたとしても若いうちだ。既に立場を失つたところの俺だ。しどろもどろの筋肉勞働から得られる賃銀を浪費してしまつて吸ひからされたようなからだを殘したつて何になる。

みんなが寄つてたかつて俺を搾殺しようとするのだ。何が奉仕だ、何が犧牲だ。

（この間二行は鉛筆がはつきりしないので讀めない）

そうすると、とに角俺は世の中のくずだ。

若いうちに働け老ひてからは仕樣のないものだと云つたそれに相違ない。

ユーゴーは云ふホレース・ゲーテ・ラ・フォンテイヌを輝いたる暗黑なる人々である、彼等は自ら憐む可き者であるとは夢にも思はない。然し彼等はまさしく憐れむ可き者の共である。

弱には黍があり、金雀には繁蔞があり、駒鳥には虫があり、蜂には花があり、蠅には病虫があり、蜥蜴には蛆があ

つた。彼等は一生に多少相食み合つてゐた。其處に善と惡とが相交はる神秘がある。

東方の物語りが、傳へる所によると薔薇の花は神から眞白に作られたが、將に開かんとする時アダムに覗かれたので、それを羞ぢて赤くなつたといふことである。吾人は若き娘と花とを尊むが故に、その前に於ては無作法なる言を弄し得ないのである。(ジャンバルヂャンの一市街戰)

土工列傳

林銀十。二十六、越中礪波の産、人口過剰の農村に生れた次男の彼は早くも日本移民滿韓集中説に心醉した、義務教育を終へて生家の手傳ひをしてゐた頃、土地の豪農は作男として鮮人を雇入れた。彼の渡鮮熱は鮮語研究熱を煽り獨學自修遂にその大意を移入鮮人から學得した。中途に志しを變じ熱海線鐵道工事に身を投じ勉勵の結果遂に土工世話役となる。**大村好忠**。二十の頃居村の産業組合に奉職、それ以前に北海道に農耕せり、後林銀十をたよりて土方となる正直にして能筆なり。**小西翠**。二十。父母健在、所謂相當の百姓(但し小作人)高等小學二年修業。

これはこゝで終つてゐる。

■鐵を掘つてゐたら
鐵をつかねたような蛇が出た

金の財布ちやあるまいし
俺あ驚いて飛び上つた。

◇流動の大氣千切れてさわ／＼と
棕櫚の林を
渡り行くかな。

八月七日夜業終へて歸れば飯なし、ひちの中を探りて餘粒を拾ふ、終に滿腹せざれば、議して餅を買ひぬ一個五錢其數五十、少時眠れば彼來りて薪を割り居たり、彼等飯をとぎてその味やよしと云ひて喰ひぬ。

ぐずの福田が休んだ。四十七錢つかつたと云つた。酒をのみ餅を食ひまつ瓜を一つ食つたと云つた。そして仕事師が嫌になつたと云ひ出した。

こんな風にとても澤山書いてある。あまり長くなるといけないと思ふ。私は横田君が書きかけてゐる土工列傳こそ面白い思ひ付きであると思ふ。私はいつかこんな風な百姓列傳を書いて見たいと思ふ。放浪者横田三次郎君の雜記帳の抜き讀みではなし三次郎君の詳しい傳記を書いて見たい敢て言ふ。賃銀鐵鎖にしばられて永久に自由の天地を見ることなしに荒地で眠る放浪者横田君の靈よ。

私はあなたの爲に寂しい涙をさゝぐ。

童話劇

姉と弟

百姓座々員
土佐和芳

豪家の男の子數名
貧しい家の姉と弟

（夕方である、田圃に近い豪家の軒で澤山な子供が手をつないで「中の中の小坊ンさん」をくり返しながら遊んでゐる。汚い衣物を着た貧しい家の男の子がそれをぢつと側で見てゐる。だが、彼だけはこの腕白からのけ者にせられたやうなみすぼらしさである。）

貧しい家の子（堪りかねて）坊ちやん、一緒に遊んでくれない
——何だへお前かへ、いやだよ、
男の子、そんな事云はずによせて下さいよ私淋しいんだから

——いやつたらいやだへ、
——ヲイその奴、よせてやつちやア駄目だぞ、そいつのお父つあんはね、小作爭議の發頭人と云つて、惡い奴なんだよ。
——そうだ。家のお父さんもそう云つてたよ。あれのお父つあんは惡い事をしたから今は監獄に入れられてるんだつてね。
——ほんとにいやね、小作人の子供なんてあんな汚い着物きてゐるんだもん。
——そうだ、あんな奴よせたる事いらないよ。あつちへ行けお前のやうな奴ア。
一同、行つちまへ、行つちまへ、馬鹿野郎（皆につかれるのでとう〳〵其處にころげてしまう。そして彼は悲しさの餘り泣き出す。）
——アラ、泣いてゐるよ。
——なんだへ、泣蟲だね。
——ヲイ、みな僕の家へ來てお遊びよ。お父さんが買つて來て吳れたお土產が澤山あるよ。ビスケットにチョコレート、それから、今日造らへたゼリーのおいしいのが澤山あるんだから。
——チョコレートがあるんだつて？
——ゼリーがあるの？　私うれしいわ。私ゼリーが一番好きなんだもの。
——なんだへ、食いしんぼだね。
——さあ早く行かうよ。おもちやも澤山あるんだから。ラッパにサーベルに活動寫眞なんかもね。
——そら、それはいいね。さあ、みな行かう。
（一同ゾロ〳〵うれしそうに退場、男の子一人だけがころげた切り泣いてゐる。家の軒から靜かに月が上る）
男の子（うらめしさうに後を見送つてひとり言のやうに）旋だな。俺はなんで貧之人になんか生れたのだらう（立ち上り、月を見ながら）お月さん、私悲しいの。お父さんは監獄へ行つてしまつたし、姉さんと私とたつた二人きりなんだもの。そし

て、私はみんなからいぢめられるのよ（泣く）

（男の子の姉出て來る、これも汚い風體）

姉　アラ、そこにゐたの、姉ちやんはさつきからづいぶん探してたのよ。

弟　すみません。

姉　ヲヤ、泣いでゐるのね、どうしたの、

姉　なんともないのよ、走つて歸らっとしてここへこけたの。

弟　ぢやア、お泣きなさんな、男の子と云ふものは少し位の事で泣いたりするもんぢやありません。

姉　姉さん、

弟　何よ、

姉　うちのお父つあんね、惡い人？

弟　何を言つてるのよ、うちのお父さんはえらい〳〵人なんですよ。

姉　でも、あそこの坊ちやん達は惡い人だと言つてたよ。

弟　あゝ、向　の子供達かね、あんな者の云ふ事を眞に受けたらいけないよ。あれらのお父さんこそほんとに惡い人なんだよ。向うの倉に澤山積んである米でもみなうちのお父さん達のやうな小作人があせみどろになつて作つたものなんだからね。あれらの　ちは私達のやうな働く者があるから結構にいけるんだよ。あいつらは私達の生血を吸ふ惡魔のやうな奴なんだよ。

姉　そう？　そんなに惡い奴なの。ぢやア家のお父つあんは何故監獄のやうな處へやられたの。

弟　それはね。お父つあんが先頭に立つて小作爭議をはじめたからだよ。（泣く）

姉　小作爭議はそんなにいけないの。

弟　小作爭議はいい事なんだよ。私ら貧棒人にはあれ一つ丈しか武器はないのだからね。だけど小作爭議をすればお金持の人達は自分達の思ふ通りに米をしぼり取る事が出來ないからあんなに警察へまで走つたりして騷ぐんだよ。

姉　警察の人達はどうしてお金持の味方をするのだらうね。

弟　それはね、私にはよく解らないんだけど今の政治と云ふものはお金持の人ばかりに依つて造らへたからこんな世の中になつたと云ふ事なんだよ。だけど、私はお巡さんだつて貧棒人だのにあんな金持の味方をすると云ふのが可笑しくてならないんだ。

姉　ほんとにそうね、家のお父つあんだつてやつぱりお巡さんが引つぱつて行つたんだつたね。

弟　さうだよ。お巡さんは丁度金持の番犬にやとはれてゐるのと一寸もかわらないんだ――さあ、早くかへろう。今晩は死んだお母さんのお日柄なんだから。そして、お團子をまつつてあるのをさげてあげるからね。

姉　お母さんはいいね。死んでゐたらお腹の空いてくるのがわからないのだから。

弟　そりやそうだよ。だけど生きて來た世の中だから生きられる丈生きなけりやうそだよ。お母さんのやうに納屋のすみで首をくつたつて誰もえらいとは云つて吳れないんだからねだが、お母さんを殺したのもやはりお金持の人なんだ、お母さんは肥料代が拂へなくて家を差おさへされたので死んだの

だからね。（泣く、この時豪家よりにぎやかなチクヲンキの音が聞へろ。

弟　お金持の人達はみな樂しそうね。（思ひ出したやうに）姉さん、ゼリーってどんなお菓子？　お美味しいの？

姉　ゼリー姉さんはそんなお菓子なんかしらないよ。誰がそんな事云つてたの。

弟　向の坊ちやん達がよ一寸食べてみたいね、

姉　そんな事を思つちや駄目よ、そんなお菓子なんか姉さんが紡績へ行くやうになればお土產に買つて來て上げるからね。

弟　姉さんは紡績へ行くの、

姉　あゝ。

弟　姉さんはそんな處へ行つちや駄目よ、大きい姉さんが肺病になつて死んだのも、紡績へ行つたからなんでしよ？　姉さんが紡績へまで行つてお菓子を買つてくれるんだつたら、私もうほしくはありません、

姉　だけど、姉さんだつて家に借金がある限り行つて惡い處と知りながらもやはり行かなければならないんだよ。それだけに貧棒人はみぢめなんだからね。さあ、早く歸らう、

（二人トボ〱と退場、月ます〱美しくさへる。蓄音機の音はやがてにぎやかな曲となり子供達のにぎやかな笑聲が聞こゆ。）

——幕——

農民勞働社特價取次書目

一、	町村制の話（吉田賢一）	、一〇
二、	小作調停法の話（吉田賢一）	、一〇
三、	百姓は何故貧乏するか（行政長藏）	、一〇
四、	農民組合の理論と實際（杉山元次郎）	一、〇〇
五、	小作爭議の實際（杉山元治郎）	一、五〇
六、	農業と社會主義（平野學）	一、五〇
七、	世界の農民運動（大西俊夫）	一、五〇
八、	農民組合論（菲原達）	一、五〇
●	一—三まで一割引、四—八は二割引	
	無產政黨の戰術（最新刊）上條愛一	一、〇〇

右の他農民教育運動の時期にのぞみ、講習會教材として適當なるパンフレツトを、此の際特價を以て提供す。
目錄請求には郵劵二錢封入のこと

東京市芝區二本榎西町二番地
振替東京七六二七〇番
農民勞働社

特別讀物二篇

理想郷を造らんとして支那革命に從ふ（二）

稲田狂二

——揚子江を遡る——

四月三日揚子江により漢口に上るべく上海を立つた。船は日清輪船公司の大福丸、翌朝鎭江を經て、正午頃南京に到着した。鎭江は市中が非常に雑踏してゐたが、南京に到着すると上陸する人を、獨立軍が棧橋で調べてゐる。南京は云ふまでもなく赤旗だ。赤旗は何處の國も革命に用ひるものらしい。揚子江の河は海にそゝぐところは河幅三十里、茫々として彼岸を見る事が出來ない。南京の向岸へも約一里ぐらひもある。上ると又廣くなり、漢口に上つても一里ぐらひある。

岸は堤防無く自然に任してゐる。上る事三日にして漢口に到着したが、九江附近で五丁ぐらひある材木の筏を數十回見た。その上には假小屋が建てられ、二十數名の人が見えた。筏の上には畑もある。鶏がゐる。豚がゐる。この筏は湖北省の上流より來て、鎭口や福州あたり迄もつて行くとの事、これを流すに一年の歳月を經ると謂ふ。支那式で、又大陸的で、到底日本人の想像の出來ぬ事である。

鴨の群が一里又は二里ぐらひ雲集してゐる。揚子江の鴨は年中ゐるとの事だ。九江で北軍が大砲を打つのを見た。

漢口に着すると、日本旅館の「竹の屋」に宿泊した。こゝへ行つたのは、古川清君がゐる爲めだつた。古川君は私と同郷人で、馬賊になつた事もある。支那革命に盡力してゐる支那浪人の最たる者である。玄洋社の壯士や黒龍會の壯士等と

は餘程毛色の變つた人間だ。支那革命に關係しても古川君は常に實戰に參加してゐる。所謂支那浪人と云ふ支那革命家の酒呑み相手ではなかつた。第一革命の際漢口の向ふの武昌で黎元洪を黃興が脅迫して、革命の旗を擧へした時參加してゐた。これが清朝が倒れる革命の第一戰であつた。古川は實に勇敢に戰つた。黎は當時旅團長であつた。部下には清朝の旗本である滿洲人も多かつた。それで革命を贊成しない士官があつたが、古川は立所に十二三名斬り殺して威力を示した。これが第一革命最初の血祭りだつたとの話である。それから、古川の話だが武昌と漢口とで官軍と戰つた際、革命軍が苦戰惡鬪した。黃興は敵の機關銃を奪ひし者には一万元の賞をかけた。古川は四五人の兵をつれて機關銃六門を奪つた。當時革命軍は鑛山に向つた官軍には機關銃が七門きりより無かつたそうだ。古川は前二回代議士に當選したが去る二月は私と對立して共に落選した人だ。人としては非常に面白い人だが政友會についてゐると云ふ事は友人としての私が不快に堪えない。しかし、面白い男ではある。

この男を訪ねて、私が漢口の「竹の屋」に行つた。所が古川君はすでに岳州に立つて後であつた。「竹の屋」は長崎縣出身の人であつた。主人の姪「みね」さんは十七歳だつた。長崎の女學校を途中で止めて來たそうだ。そうして叔父の家に寄食し商賣を手傳つてゐた。英語の會話など非常にうまいものであつた。僕は當時二十七歳紅顏の美青年と形容せば可笑しいが、まだ二十代の青年だつた。みね子さんも僕に共鳴するところがあつた。上海にをつた時など自分の事だが、身長は五尺七寸、體量二十一貫、外國人に伍しても見劣りはしなかつた。支那の所謂新らしい婦人の集團である婦人參政同盟會の人達が僕に媚を賣つた事があるくらひだ。

みね子さんが僕と非常に懇意にして二日目の晩はおそくまで語り明した。實際僕も漢口でそんなやさしい異性がゐるとは思はなかつた。私共は人生を語り文藝を語り、革命を語りあつた。僕はこの漢口を出發する事が厭なような氣がしたが私情を顧みて大義を忘れる事は出來ない。社會革命の爲め生命を捧げてゐるから長く止まる事は出來ない。四日目に岳州に向つた。

――岳陽樓の閲兵――

約十時間にして岳州についた。岳州府は洞庭湖の揚子江にそゝぐところで人口十万ばかりの都市である、湖南省で揚子江の南岸にある。程潜君が一万の軍をもつて此處に獨立してゐる。湖南省一帶は譚人鳳の勢力範圍で、その門下から黃興や程潜、その他の革命の名士が多く輩出してゐる。程潜君は當時から實に偉い人で、群を拔いてゐた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

昨年の北伐軍の成功は湖南軍の力によるのだ。軍官學校を出た可弱いお坊っちやんの將校ではとても北伐なんか出來るものではなかつた。程潜の率ゆる千軍萬馬の湖南兵が北伐軍の主體となつた事は云ふまでもない事である。程潜は昨年ボロジンの策動にのつて、武漢派となつて蔣介石に南京で武装解除された、その後又湖南に歸つて勢力を回復してゐたが三四ケ月前誰れかに（名を忘れたが）監禁されたとの話である。將來、再び擡頭するに違ひない。

私が岳州についた時には、古川君も程潜君も居つた。丁度、郵政局前（**日本の郵便局**）に行軍の準備しつゝあつた。そして有名な岳陽樓の下で兵を閲する事になつてゐた。直ちに私もその軍に加はり、程司令に励した。古川君も同様革命軍の日本人參謀の格であつた。岳陽樓上から兵を閲する實に詩的である、樓上には歴代の墨客騒人等が壁上に詩を賦し文を記してゐる。杜甫、白樂天、李白、蘇東坡等の詩や文章もあつた。それから有名な岳陽樓の記がある。

岳陽樓の記　范文正公

慶暦四年の春、滕子京謫せられて巴陵郡に守たり。越えて明年、政通し、人和し、百廢具に興る。乃ち岳陽樓を重修して、其の舊制を増し、唐賢今人の詩賦を其の上に刻し、予に屬して文を作りて之れを記せしむ。予夫の巴陵の勝狀を觀るに、洞庭の一湖に在り。遠山を銜み、長江を呑み、浩浩湯湯として横に際涯無し。朝暉夕陰、氣象萬千。此れ則ち岳陽樓の大觀なり。前人の述備はれり。

然らば則ち北のかた巫峽に通じ、南のかた瀟湘を極め、遷客騷人多く此に會し、物を覽るの情、異なる無きを得んや。若し夫れ霪雨霏霏として、連月開かず、陰風怒號し、濁浪空を排し、日星耀を隱し、山岳形を潜め、商旅行かず、檣傾き、檝摧け薄暮冥冥として、虎嘯き、猿啼く。斯の樓に登るや、則ち國を去つて鄕を懷ひ、讒を憂ひ、譏を畏れ滿目蕭然として、感極つて悲しむ者有らん。

至春和し景明にして波瀾驚かず。上下天光、一碧萬頃にして、沙鷗翔集し、錦鱗遊泳し、岸芷汀蘭、郁郁青青として、或は長煙一空、皓月千里、浮光金を躍らし、靜影璧を沈め、漁歌互ひに答ふるが若きに至つては、此の樂何ぞ極まらんや。斯の樓に登るや、則ち心曠く、神怡び、寵辱皆忘れ、酒を把つて風に臨み、其の喜び洋洋たる者有らん。

嗟夫、予嘗て古への仁人の心を求むるに、或は二者の爲すに異るは何ぞや。物を以つて喜ばず、己れを以つて悲しまず。廟堂の高きに居れは、則ち其の民を憂ひ、江湖の遠きに處れば、則ち其の君を憂ふ、是れ進むも亦た憂ひ、退くも亦た憂ふ。然らば則ち何れの時にしてか樂まん。其れ必ず天下の憂に先つて憂ひ、天下の樂みに後れて樂むと曰はん。噫、斯の人微りせば、吾れ誰れと與にか歸せん。

（此の文は志士仁人の本意と悲喜二樣の光景を畫きて妙なり景中に情あり、情中に志士仁人の態度あり、支那文學の妙味である。）

僕が中學時代に大町桂月氏に教はつたものだ。大町氏が岳陽樓の記を何囘となく大聲をあげて誦したのが今尚ほ耳に殘つてゐるが、私は今岳陽樓に上つてこの中學時代の大町桂月氏の事を思ふと、實に云ふべからざる壯快を感じた。又大町桂月氏に教はつた「赤壁の賦」を思ひ出し、曹操の意を浮べ三軍を叱咤する私の得意何にたとへようもなかつた。翌日、湖北省の常州に官軍がゐる。それを討つべく軍を進めた。

――平原の戰――

吾々は驢馬に乗つて行く。驢馬は丈が三尺ぐらひより無い。一日に十里ぐらひの道をよく行く。その日平原に夜十一時頃に到着した。四月中旬だつたと思ふ。明月空に輝き、征驂いななき月を眺めて理想を思ひ、故國を偲び快云ふべからざるものがあつた。露營につき又眠りあたはざる程樂しかつた。

翌朝九時常州における官軍を討つべく出發し夜襲する筈だつた。が午前の十時頃、敵軍を見つけて直ちに戰鬪は開始された。約三時間にして戰ひは勝つたがその日の一時頃敵の逆襲に會つた。敵は吾軍の三倍四師だ。約四万計り、私は日本の砲兵だから砲の事は何んでも知つて居る。在隊中は軍務になまけて居たがそれでも單になまける計りでなく要點は心得て居た。又士官學校の軍事學教程と云ふ高議錄を見て居た、其他教範類は皆支那に行く時船中で研究した、私は砲兵での重砲兵で則ち要塞砲兵だから海岸砲野砲山砲の取扱方や射擊は勿論、歩兵騎兵工兵の教育も受けてゐる、これが日本の重砲兵だから私も軍事學の大體は知つてゐる、攻城でも築城でも野戰守城でも日本の聯隊長位は出來ると思ふてゐた、又十四五歳の頃孫子の兵書を讀み、將たるの心得も知りてゐた、且上杉謙信の用ゐし猪突猛進的戰術は私の性質に合つてゐた、何時か戰爭をした時にこれを實行して見ようと考へたこともあつたのだ。

今私は程軍の參謀である、二十七歳の血氣盛り、社會主義者となりてから、革命戰に倒るゝか、斷頭臺上の露と消ゆるか、われ／＼の理想的な死場所と思ふて居た、革命成りて權勢を擅にしようとは夢にも思はなかつた。吾々の若い時は實にそんな氣持だつた。先驅も又そう教へてくれた。

こんな死生觀を持つてゐたから、死は少しも恐れなかつた、戰ひは始まる、銃彈はシュウシュウと後に飛んで行く、たまには野砲か臼砲の彈が空をかけ廻る、勇しいと云ふより寧ろ壯快だ、これは戰の巷を往來した者計りの知る境地だ。

私は營長（大隊長）以上の作戰會議に列席したが湖南あたりの言語はわからぬ事が多い、且地理にくらい、それでも日本參謀本部の地圖はもつてゐた、砲兵戰の有利なる事を述べ一擧武昌を陥れ北京を突かんと說いたが吾が軍には七珊野砲四門と彈藥五百發よりない、約砲兵一ヶ中隊である、一日は丘の上に砲列を布き盛んに打つた、そして前進又前進した、私は照準を一發毎に調べて、打てと自ら號令を發した、彈はよく命中した、三日間に五里計り敵の陣地を戰ひとつたのは程軍の勇敢によるとは云へ私の照準の正しかつたのも與つて力ありと思ふ。

彈は盡きた。味方の兵は倒れ傷ついたものが多かつた、俄造りの革命兵は勇敢に戰つたが戰ひは彈丸がなければ出來ぬ他では白兵戰を試みた歩兵も多かつた、彈丸一發も殘さずつかひ果し銃をとりて突擊するより外に道はなかつた、私は突擊の號令と共に敵の歩兵線に向ふて眞しぐらにかけて行き私を突かんとする敵を斬つた、側に十二、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三人も居つたと思ふが皆私の勢ひに恐れて逃げた、敵の少校(少佐)が居つたが私は彼が逃げんとする馬のしりを斬つたから、此の少校は切りかゝつて來たが彼の指揮刀と私の日本刀は質に問題ではない、一刀の下に彼の肩から斬り下げて倒した、わが隊の兵はこれを見て驚きの眼を見張つた、私共は疲れたから饅頭をかじり出した、そうすると間もなく敵は一ケ聯隊程現はれて來た。約半里許りのところだ、これは新手の敵らしい。私等は本營に引揚げる事にしたが野砲を引き行くだけの兵が居らぬ、又馬は三頭より居らぬ。

『それでは砲を敵にとられるからいつその事閉鎖機をこはして了へ』とて四門の閉鎖器と照準器をこはしてかけ足で本營に引揚げた、約三十丁許りのところだが行つて見ると本隊が見えない、戰は不利と知りて此地を去つたそうだ、其の時に或る兵が退却命令が來た事を初めて知らせた、退却先が何と云ふ所だが誰れも知らない、方向だにわからぬ、それで私は又岳州に戻るべく遮二無二退却した。

約十里ばかりあるところを驢馬に乘つて行く途中、兵も將校も皆何處かへ逃げて了つた。私は道はよく分らぬけれども以前に來た道を辿つて行つた。馬も仲々進まぬ。岳州から二里程あるところで馬を農夫に五十錢で賣つて、包子(饅頭のやうなもの)を買つて空腹を充たし、岳州府に入つた。そして獨立軍の誰れかゞ來てゐないかと探したが、誰も來てゐない。もう金は十四五錢の銅貨より外に無い。町を步いてゐると、北軍の密偵らしいのもゐる。日清輪船公司の出張所の樣なものがあつた。其處へ行つて日本人はゐないかと聞いて見たが岳州には誰もゐない。その出張所に五十歲ばかりの支那人が居つた。それが王譜臣と云ふ人であつた。

この人が私の行つたため、やつてゐた麻雀を止めて款待して吳れた。そして「貴下は吾國の革命にまで盡して吳れる事を感謝する」旨を述べられ、北軍の密偵などゐるから外へ出るなと云つて夕方の六時頃、丁度漢口に行く船があつたので乘せられた。出發の際金十元を惠まれた。初めて會つた人が金十元を吳れた事は今でも深く感謝してゐる。船に乘らんとする時、北軍の密偵が後を追かける樣に岸に迫つたが、その時は、はや私の船は岸を離れてゐた。

そして、夜の十時頃再び漢口に着し「竹の屋」旅館に宿泊した。そして、みね子さんと又、同じ家に居る事が出來た。ゐる事一週間で湖南からの報告を聞く事が出來た。それは長沙から避難した邦人の話であつた。長沙に程潛等が入つて長沙は完全に獨立したとの事である。私があまりに深入りしたから本隊とはなれた事がわかつた。私は上海からも、嚴吾澄氏(國民黨幹部)の招電に接し湖南行を止め、上海に行く事になつた。

社會主義運動思出話（其三）

岡野辰之介

第三齣　塹壕の餘興

一　山川均首を縊る

正面に大鳥居が衝き立つて居る。社殿は木立ちに隠れて見えぬけれども、千木にも屋根にも苔蒸して神寂びた宮居に相違ない。四邊は木立ち繁く、夫れが夜であつたから、暗が層を爲して居るやうに思はれ、實に神域の淋しさを偲ばせる。

時は明治四十二年一月、日露戰後の好景氣の反動が來て、世の中が極端に不景氣に成つた時である。夫れでも松の内は人の心も幾らか陽氣であつたが、屠蘇の醉が醒めるに從つて、不景氣風が身に浸みるのであつた。こんな時、こんな處で首縊りでもありはしないだらうか？

そう思ふと身體がゾク〳〵として來るのを如何ともすることが出來ない。

鳥居の右手に一本の稚松がある。稚松といつても幹の圍りは一尺もあらう。夫れが地上からそんなに高くない處に、好い鹽梅の枝をヌツと出して居る。

何かブラ下がつて居る！

身體中水を掛けられたやうになり、頭は針金で締められるやうになつた。

碌でもないことを考へて居たら、トウ〳〵本物にブツかつてしまつたと、懷中電燈でそのブラ下がつてゐる本體を、熟〳〵検査したと思つて呉れたまへ。

青白い顔、高い鼻、コケタ頬、凄いたら……。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

寒中なのに白地の單衣を着て居る。袖口からブラ下がつてる手の細いを、青白いを……。

どうしても肺病か何んかで、何も彼も賣り盡し、置き盡し、セツパつまつて、此の始末となつたものだらう。新聞記事なら「肺病を悲觀して」と來る所だ。

「アツ!?」

皆ンナ異口同音に叫んだ。

「山川君だ!」

「ア、そうだ!?」

「凄いネ!?」

「丸で本物ソツクリだ!?」

「パチ〳〵、パチ〳〵、パチ〳〵」

これは拍手の音だ。

* * * * *

右は金曜會の新年會に於ける假裝の出し物の一ツ。處は神田三崎町に在つた吉田屋といふ貸席、大鳥居は書き割りで、現東京日々新聞社員柴田三郎の手に成り、山川のブラ下がつたのは本物の松の木で、當時金曜會の猛者として知られた坂本清馬、宇都宮卓爾、森岡榮治なんどいふ人々が、戸山が原の練兵場から、誰れにも斷りなくにブツタ切つて、一里餘もエツチラオツチラ吉田屋に舁ぎ込んだのであつた。

金曜會に椎檜松亭といふ男があつた。日刊平民で、廣告部長を承まはり、大に鳴らした……といひたいが、夫れほどでもなかつたが、此の男大石祿亭等と篩亭食升の弟子で、一所に都々逸やヘンな句をヒネ繰るのが好きであつた。其の年の勅題「社頭」の松を川柳で行つて、

元日や社頭の松に頭くくり

と駄句つたのである。夫れが當時の社會黨青年の銀線に觸れるものがあつたので、是非之れを活人畫に演じやうといふことになつた。誰れがよからう、彼れがよからうと、首縊り役の品定めとなつた。併し其の頃の雁首を實檢して見ると、ニキビダラケの森岡榮次、アカツ面の坂本清馬、黑ツ面の宇都宮卓爾といふ具合で、ドウモ欲まり役がない。そこで白羽の矢が山川均に立つたワケである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

禄亭は本名誠之助、亞米利加仕込みの醫者であつた。印度で數年開業したこともある。歸朝してからは紀州新宮で開業して居た。其の紹介で松亭が日刊平民の廣告部長となつたのである。松亭は其の後牟婁新聞といふのを出し、牟婁會の奥附などを仕事にして居たが、今はドゥなつたか知らぬ。禄亭は大逆事件で殺された。

森岡は赤旗事件で一年半食つて、千葉で勤めて居る內氣が變になり、ノベツに、

「天皇陛下萬歳」

を繰り返して居たといふことである。そして滿期出獄するや、滿洲に渡り井戸に投じて死んだ。車夫だつたが非常に頭腦明晰、理路井然であつた。金曜會で愛山山路彌吉をへコました話もある。此の男の過去帳は何れ「赤旗事件」の處で、も少し恐しく書く。

二　茶氣滿な當時の會合

當時の會合は議論よりも餘興が面白くて集まつたものである。山川の首縊りは新年會であつたから、色々の餘事の中の一場面に過ぎないのであるが、毎週會合する時にも議論は大したものがなかつた。何しろ日本の社會主義者中資本論一冊の讀んだものがなかつた時代で、「資本論」といふ本の名は知つて居ても、見た事がなかつたものだ。週刊平民時代加藤時次郎が英文の資本論を買つて、遂には大逆文庫の中に收められたが、當時之れを讀んだものはなかつた位であるから、集會に於ける議論も推して知るべしである。

或る時原霞外が女郎と何かを比較して論じ、來會者からヒドくやり込められた事があつた。霞外は加藤時次郎の出して居つた直言の編輯者であつて、後週刊平民の禁止せらるゝや、直言は其の後繼ぎであつた。浪花節の眞打ちで、後に伊藤痴遊を學んで講談もやつた。當時の集會では、原霞外の浪花節、岡千代彦の落語、松崎天民の牧師の口眞似等が、キツト集會にはつきものであつた。日刊平民の頃から添田啞蟬坊が代つて、あらゆる集會で美しい聲で流行唄を歌つて聞かせた。

大逆事件の一週年に、神樂坂倶樂部で集會があつた。集會といつてもホンの茶話會で、演説もなければ開會の辭もなく何れも茶を呑んで菓子を喰つて居た。臨監の警部だか警視だかゞ、夫をヂロッと見ては横を向き、ヂロッと見ては横を向きして居る。

「涎を流して居やがる」と大きな聲でいふ者がある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次ぎの室には角袖が机に依つて速記をして居る。下には數十名がオツ取り刀で二階をニランで居る。

ムシヤ〱、ツウ〱（茶を啜る音）ガリ〱、パリ〱（煎餅を噛む音）に和して笑聲起るばかり。

「誰れか餘興をやらないか？」と催促する。啞蟬坊も謹んで居る。何かのキツカケに牛田一郎が、デツカイ聲で、調子外づれの聲で、

「西郷隆盛りや、初めて都に登る時、
岩に腰かけ盤にチンボコはさまれた」

歌の拙さ、文句可笑しさにドツト破れる。流石の役人も天井向つてクス〱。

今度は啞蟬坊だ。何時もの流行歌で皆んなをうれしがらせて呉れるに相違ないと、何れも片唾を飲む。

「王が無ければ將棋でさへも
駒と駒とはたゝかはぬ」

皆、顏見合せて拍手するのも忘れた態。

週刊平民時代には、安成貞雄の新體詩朗詠も、必ず要求せられた餘興であつた。

三　辨慶中止の中止

之れは週刊平民時代の事である。紅葉の名所、瀧の川紅葉寺で園遊會が開かれた。園遊會といふと大變だが、何れも辨當持參で當日の餘興を見に行つたものである。

紅葉寺の門には紅白段々の幕が張られてある。這入つた正面、川の近くに舞臺が出來てゐる。大掛なものであつた。

辨慶が出て來る。七ツ道具を背負つて、六ツかしい顏をして。

すると前の方から巡査が出て來た。

だしぬけに、

「辨慶中止！」

ヘンな茶番サ。イヤ其の茶番も中止されて否前止を食つて、次いで解散を命ぜられてしまつた。切角樂しみにして瀧の川くんだりまで出掛けたのに、常連のコボすこと。

辨慶中止で思ひ出したのは、「辯士中止」の名人、古今獨歩ともいふべく、敵ながら稱讃せられたのは更級警部であつた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼は神田署に勤めて居た。されば錦輝館、基督教青年會館、松本亭、吉田屋、大概の演説會場には出張つた。彼は中止を發射する前には幾度か「注意を命じます」をやつた。中止の中でも、注意の時でも、腰かけから身を起して、

カチヤツ！

と一ツやる。それから徐ろに、眞に徐ろに、

「辯士中止（若しくは注意）を命じます。」

語尾に力を入れる。大概の辯士は唯諾々として退く。其の言葉が力あるばかりではない。彼が中止を命ずる時には、決して無茶な中止を命じなかつた。大概結論の處までは注意で進行させた。そして『之れを要するに』といふ處へ來ると、

『ガチヤリ、辯士中止を命じます。』

を喰はされる。だが辯士もいふべきことはいつてしまふし、聽衆も聞きたいことを聞いてしまふ。之れを要する部分はドウでも自分でつければ宜いんだから、決して無茶といふものがなかつた。更級から見れば之を要する部分が一番危險なんだから、其れで中止させたんだらう。

幸徳が青年會館で『暗殺論』と題して演説した時も、中止役は吾が更級であつた。幸徳は低い調子の、然も刺すやうな聲であつた。

「×××××××××××、××××××××××、×××××××××××××」

聽衆がヘヲ〳〵する。そして更級を見る。彼は仰向いて天井を眺めて居るので安心する。其の頃モウ五十の坂を越して居たらう。チヨツト苦味走つた所があつて、ヤオラ立ち上がり、中止を命ずる所は芝居氣たつぷりだつた。大逆事件後間もなく死んだ。今時こんな評判の宜い『中止屋』さんがあるだらうか？

四　原と安成の過去帳

原霞外は眞一郎といつて親爺は名古屋の株屋でつた。笈を東都に負つてゐる内、社會主義に成つたんだが、母親がなかつた爲であらう。平民社時代は浪花節しか出來ないと云はれて居たが、晩年には義太夫にも達して居た。之れは久しく國に歸つて居た爲めだらう。名古屋から出る新聞にも關係して居たが、晩年の仕事は憲政會の遊説掛であつて、憲政會內閣時代に死んだ。其の時葬式に總理大臣が列席したので、今迄金をもうける事を知らない馬鹿息子として、粗外して居た眞一郎がそんなにエラかつたのかとて、親爺オイ〳〵泣いたといふ話がある。明治十二年生であつた。

彼が社會主義運動に關係したのは、『直言』を編輯し、それを週刊平民の養子にしてから、山口とミルクホールをやった次いで日刊平民に入つて記者となり、『舶來乞食』といふ講談を連載した。後舶來乞食は隆文館から出版された。彼が唯一の著書だ。

モウ一つ可笑しいことがある。堺利彦が自由結婚をした時、當時の、社會主義研究會長安部磯雄が筆頭で、若い連中幾人か、安部は自由結婚論者が自分で自由結婚をするのは好くないといふ妙な論鋒で、青い連中は岡燒半分で、之れに反對したものである。そして決議をして堺夫妻に離婚を迫つた。自由結婚なんて今日の青年男女は、何んな意味か分らないかも知れぬが、當時は非常に新らしい意思であつた。其の論者が實行する譯にはイカぬといふことに成ると、禁酒論者は酒を止めてはイケぬし、獨身論者は獨身で居てはいけぬといふ筆法に成る。

其の決議を持つて、堺夫妻に手交したのが、此の原霞外であつた。此の一事彼の人爲りを語るに十分であらう。

安成貞雄は自ら與太大王と稱した如く、與太として有名であつたけれども、社會主義者としては日刊平民に懐春郎の名で短文を寄せたり、發句を寄せたりしたに過ぎなかつた。會に出ては「夢」の研究を語つた事もあつた。其の外には鼻腔にコカインを塗つて見せる位で、彼れの言論學說を聞いたことがなかつた。而し與太には傳ふべきものが多い。

或時山口と千束町(十二階下とも塔下ともいつた)に行つた。二人共嚢中錢なし。唯山口が買つたばかりの電車回數劵を持つてるばかり。遂に之れにして遊ばせてといふ談判をすると、流石魔性の女も、夫ればかりはイケヌと斷る。安成山口を叱して曰く、

『馬鹿！貴樣は經濟學を知らないナ。流通資本を固定させる奴があるか！』

其の他女に關する逸話は澤山あるが、少々キタないから書かない。

晩年は惡鬼羅刹野依秀一の秘書役として終つた。享年四十一二だつた。彼が發表したものとしては、へちまの花に寄せた『高等幇間を志願するの書』其の他がある。歿後遺稿として出版せられた。

吉川守邦君より

九月十五日は三月十五日の誤り、又赤旗事件は山口の兇徒聚衆罪を勤め上げた其歡迎會は誤りです。彼が日刊平民新聞に載せた『父母を蹴れ』及び『光』に載せた『貧富の戰爭』と題する記事の爲めに八ケ月の禁錮に處せられ、それを勤め上げて出て來た時に、神田錦輝館に出獄歡迎會を開き、其の席上當時の金曜會の人々が赤旗を振り廻したのが赤旗事件です。(筆者曰、九月となつて居たのは校正の誤りらしい。前後の關係から見ると、矢張り三月十五日とならなければならぬやうです。山口君の歡迎會を兇徒聚衆を勤め上げた時としたのは間違ひでした。吉川君の厚意を謝すると共に讀者諸君に御詫びします。)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯ノート

◆九月……思ひは大正十二年の大震災に馳せ廻る。

◆八月號は校正上の間違ひ多く甚だ讀みにくい點が多々あつた最も重なものは福田氏の「理想郷を作らんとして支那革命に從ふ」が目次では「理想社會を作らんとして北伐軍に從ふ」となつてゐる。目次の方が違つてゐるのです、又、九十頁の時事日誌の七月一日が七日一日となつて、月が全部日となつてゐる。その他、落ちてゐるのや、下駄のまゝの分が多かつた。

◆板舟權問題、京成電車乘入問題に絡んで市會の腐敗は今や高まつて來た。この時、各無産政黨の解明書をかゝげる事も無駄ではあるまい。富山電氣爭議狀況は、全土戰報において紹介した。

◆時評欄における町田、佐々木の兩君はいづれも日本勞農黨の若き闘士である。特別讀物はいよいよ佳境に入らんとしてゐる。味讀を求む。講座として、「唯物論、及び唯物史觀」を掲げた。「資本主義、社會主義」の續きであるけれども多少訂正して獨立させた。本庄陸男氏の「移住地や流れ月る歲」は追はれ行く小作人の悲壯な生活を描寫してゐる。血の流れ作品である。加藤利造君の「搾取行刑政策と自由勞働者の失業關係」は今月は休む事にした。筆者の都合による。「帝國主義戰爭の危機」は、支那××運動の進展の上に醸されつゝある新しい世界再分割の戰爭に就いて論じたものであり、清水君の「産業合理化と勞働階級」はロシヤにおける合理化運動と資本主義國家におけるそれとの本質的差異を明示したものである。羽田君、上杉君、吉田君、いづれも一讀すべきものである。福田氏の「大山細迫に與ふ」は、同氏一流の尖銳な論筆になつたものだ。

◆寄稿家諸氏に御願ひするのであるが、是非十日締切りを嚴守して貰ひたいものです後れる事は、編輯を混亂させ、發行の遲延を是非なくさせるのです。

◆今月號の最大の編輯者の失敗は、最も振假名をつけねばならぬ、「少年少女へ與ふ」と童話劇「姉と弟」に限つて振假名がなかつた事である。印刷屋の間違ひであつてかへようと思つたが、全部組かへる困難の爲めにこのまゝにしておく。

◆氣候の不順の爲めに農村の兄弟は惱んでゐる事であらう。

定價

一部	半年	一年
二十錢	一圓二十錢	二圓四十錢
郵稅 一錢	郵稅 六錢	郵稅十二錢

◇誌代は總て前金拂込の事
◇成る可く振替で送金の事
◇郵劵代用は必ず一割增の事
◇住所姓名は明かに書く事
◇支局は十日迄に拂込む事

無產階級戰鬪雜誌 進め 毎月一回一日發行

東京市麴町區内幸町一ノ五
發行所 進め社本部
振替東京六九八五三番

發行編輯兼印刷人 神庭仲之助

大阪市東淀川區十三西ノ町一三一
大阪事務所

廣告料

一等	二等	三等	四等
三百圓	二百圓	百五十圓	百圓

大賣捌

東京堂　東海堂　北隆館
大東館　參文社　大盛社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金、銀、白金

徳力商店

東京神田松円町

電神 25 216.235 / 221.976 / 450.（御客用）

婦人良薬

喜谷實母散

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗 東京京橋區中橋大鋸町

喜谷市郎右衛門

電話京橋 五五番 五六番

社會運動の動きが手に取る様に分る

週刊 勞働問題通信

東京市芝公園協調會内

發行所

日本社會問題通信社

振替東京七〇三二八番

無産大衆の戰鬪的政治新聞

月刊 日本勞農新聞

讀め!! 眞の無産政治新聞を!・

定價 一部五錢 一ヶ年一圓五十錢

日本勞農新聞社

東京芝公園五號地

振替東京四六六四九番

本通信は日本社會運動の縮圖である。

定價

一ヶ年 金二百圓
半ヶ年 金百十圓
一ヶ月 金二十圓

週刊

日本社會運動通信

發行所

東京市丸の内仲四號館六號
一官事務所
日本社會運動通信社
電話丸の内二六三〇番
振替東京七八五五九番

全國農民組合機關紙

月刊

土地と自由

一部 五錢

發行所

大阪市北區堂島濱通三丁目
全國農民組合總本部

日本紡織勞働組合機關紙

月刊

正義の光

一部 十錢
半年六十錢

發行所

東京市芝區芝公園五號地四號地
日本紡織勞働組合

解放群書
(25)
神近市子著

◇四六判二百五十頁
◇定價壹圓送代拾錢

最新刊

未来をめぐる幻影

内容

◇未來をめぐる幻影
◇アイデアリストの死
◇ある鼻の改造
◇古の街の一角
◇雄阿寒おろし

東京芝區新櫻田町十九
解放社
振替東京三六四九四番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Su-su-me- The Socialism Monthly. **Vol.6 No.9**

Head office; I. Uchisaiwaicho, Kojimachi, Tokyo, Japan. sept. 1928

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和三年九月一日發行 昭和三年八月二十八日印刷納本

第六年・第九號

定價二拾錢

精工舎製腕時計

SEIKO

測量器
寫眞器
銀器
精工舎時計
歐米製時計
ダイヤ
装身具
金銀盃

東京銀座二丁目
服部時計店

大阪博勞町
心齋橋筋角
大阪支店

無産階級戰鬪雜誌

進め

第六年十月號第十號

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和三年十月一日發行　昭和三年九月二十八日印刷納本

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎重版又重版！噫！幸德秋水の〇〇

◆文豪秋水幸德の名文は世既に定評あり。後世評して教科書中の教科書、國民文學の精髓、萬人必携の大寶典と稱する又故あり。

解放群書（7）本社編 四六判 二百頁 定價壹圓送代拾錢（半額宣傳版あり）

新重版

幸德秋水文集

◎秋水の名文は世既に定評がある、豈茲に贅するを要せんや。

〔内容一般〕

■隨筆集……〇世田ケ谷の襤褸市〇東京の木賃宿〇歌牌の娛樂〇排流行論〇粢食の研究〇北遊漫錄〇ダアヰンとマルクス〇プレシコウスカヤ女史〇ジンミー・ヒンギンス〇止械「一年有半」〇「平民主義」〇「基督抹殺論」〇「海外より見たる社會問題」〇「帝國主義」〇「工業衛生學」〇神愁鬼哭〇婦人と政治〇秩序風俗の壞亂ラサールと吉田松陰〇痛快至極〇一片の耿々〇風氣蕭索たり……………

■漢詩集（目次略す）…………………………

■短言集（目次略す）…………………………

◎見よ！階級人士の發狂的熱プン!!!

「解放群書」「宣傳用書」及月刊誌「解放」發行所
解放社
東京芝區新櫻田町十九
振替東京三六九四四番

進め案内

三行迄一圓　申込本社廣告部

1 社會新聞　山潛編輯
東京社會新聞　西川光二郎編輯
高價譲り受く　破帝國主義論　山口孤劍著

2 二十世紀之怪物帝國主義　幸德秋水著
右の書籍至急譲り受けたし

3 幸德秋水珍藏書英書（署名　署印あり）
譲りたし

4 片山潛　西川光二郎著
右不要の方あれば高價にて買ひたし

5 堺利彦編輯　明治三十九年發行
社會主義研究――お譲り下さい

6 進め　創刊號より七號迄三十圓にて賣り
たし希望者は進め社本部迄申込まれたし

7 雇れたし　二十五歳　大學卒業
思想雜誌　新聞社希望編輯の經驗もあり

8 平民主義
至急譲り受けたし

9 レーニン著作集全卷
譲りたし

10 國體論及び純正社會主義二十五圓にて至
急買ひたし進め社本部宛紹介乞ふ

11 日本における社會運動家直筆執筆者に
よつて次の値段にて應ずる故照會あれ
短冊　一圓、三圓、五圓、
額　三圓、五圓、拾圓、
軸　五圓、拾圓、貳拾圓

12 日刊平民新聞全號希望者に安價に提供社
會運動資料多數保存あり眞摯なる研究家
に保存願ひたし、日勞黨員

13 週刊平民新聞全號
希望者は相談に應ず

14 高尾平兵衛
寫眞と直筆買ひたし

15 幸德秋水署名入り寫眞高價にて求む
進め社九州支局開設門司市花山町通三丁
目柴尾與一郎、書籍よりの注文にも應ず

日本勞農新聞を守れ

新聞基金の爲めに戰へ

日本勞農黨は眞に民衆の眞先に立つて戰ふ政黨である。

日勞新聞は無產階級の唯一の大砲であり唯一の機關銃だ！

―この我等の唯一の巨砲は今や必死の戰を戰つてゐる！

新聞部員一同は、我等の巨砲の標準を正しくするために、紙面の改良のために努力してゐる。しかし經濟難！のために、この努力に沒頭し切ることが出來ぬのだ吾々は更に以上に、新聞資金のために沒頭せねはならぬのだ！

吾等の巨砲を扼殺しにしていゝといふのか？吾々には言論機關がなしでいゝといふのか？そうではあるまい。言論的闘爭に對して、從つて言論機關に對して正當な價値評價をなし得ざる者は回復し難ひ誤つた指導者であり、輝く理想に突進する新興無產大衆ではない。

諸君はきつと思ひ異いたしてゐるのだ！「何とか本部が工面するだらう」と。いけない！黨は諸君のものだ！新聞も諸君のものだ。皆が協力せずして、どうして花が咲くものか。また五萬圓募集などと稱してゐる此の基金募集と一所にしてはいけない。あれは金があつて、その出口の口實を作るための手段としての募集だ。吾々のは、集る金でやつて行かねばならぬのだ！

新聞の經營は、紙代と廣告代と寄附だ。新聞を維持し、更に擴大するためにはこの寄附基金が大にあらねば不可能だ！

諸君の貧しいのは承知だ。お互ひの通りである。しかしこの貧苦の中に、なほ階級の大義のために戰ふのが、新興プロレタリアートの義務であり、光榮の權利ではないか！

無產階級は日勞新聞を守らねばならぬ。
十錢でも二十錢でも巨砲擁護の爲めに戰へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

第六年 第十號

十月號

卷頭言……既成政黨の內訌……（五）

勞働組合の戰線は如何にして統一さるべきか……望月源治（一〇）

戰線統一と組合會議……岩崎正三郎（一四）

戰線統一に關する一斷想……上條愛一（一六）

時評

反動陣營と再組織……佐々木敬三（四四）

夢醒めた和製赤色戰士同盟……羽田光雄（四七）

矛盾せる平和主義……清水寛一（四九）

青年運動再建の急務……南三平（一九）

階級戰線を攪亂する者は誰ぞ……吉田源藏（二四）

進め讀者はこうして戰ふのだ……伊倉繁郎（六）

資料

富山電燈爭議と聲明書……（三四）

東京市會醜惡史……（三四）

市政革新無產者同盟の聲明書……（六三）

時事日誌……（五一）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞農政黨と合同問題……上杉定義（五二）
幣原外交の正体……佐々木敬三（二七）

全土戰報

朝鮮旱魃災民を救へ……朝鮮××支部
西の宮市朝鮮村立退問題と朝陽同志會の活動……進め、神戸支部
佐賀縣同志諸志に訴ふ……佐賀、有明呑洋
三不良團體及び不良分子排撃聲明書……全國水平社本部
電化の同志勝つ……進め、難波支局
日本勞農政治經濟研究會に參加せよ……進め關西通信局
（一八）

搾取行刑政策と自由勞働者の失業關係……加藤利藏（六六）

講座

無産政黨とは何ぞや……稲田狂二（五六）

創作と特別讀物

憎まれ者……吉田金重（七三）
嵐を衝いて……土佐和芳（七七）
理想郷を造らんとして支那革命に從ふ……稲田狂二（八一）
社會主義運動思出話……岡野辰之介（八八）
進め社だより……（六四）
編輯ノート……（九二）

農民勞働社出版取次書目

■一般啓蒙

一、プロレタリアの使命（住谷） 一〇
一、無産青年に與ふ（辻井） 一〇
一、社會主義大意（堺） 一〇
一、無産青年運動（高橋） 一五
一、青年に與ふ（レーニン） 四〇
一、勞働者の明日（野田） 一〇
一、失業と階級意識（林） 一五
一、唯物史觀解説（河上） 一〇
一、資本主義のからくり（山川） 三〇
一、社會主義學説大要（堺） 三〇
一、社會主義と進化論（パンネコック） 一五
一、社會進化の過程（ハインドマン） 一五
一、人一生の經濟學（河野） 一〇
一、プロレタリア經濟學（田所） 七〇
一、無産者經濟學（ブレブス） 八〇

■勞働運動

一、勞動組合の基礎智識（松澤） 一五
一、勞働運動と理論鬪爭（荒畑） 一〇
一、國際組合運動の統一（ロソウスキー） 三〇
一、組合の國際統一運動（荒畑） 一〇
一、前衛と勞動組合（ロソウスキー） 七〇
一、メーデー 一〇
一、婦人と勞働組合（野坂） 一〇

■農民運動

一、百姓は何故貧乏するか（行政） 一〇
一、町村政の話（吉田） 一〇
一、爭議調停法の話（小岩井） 一〇
一、農村振興策批判（杉山） 一〇
一、獨佛の農民運動（エンゲルス） 二〇
一、解放戰線に於ける農民の地位（杉山） 二〇
一、農民組合の理論と實際（杉山） 一〇〇
一、小作爭議の實際（杉山） 一〇〇
一、農民組合論（莊原） 一〇〇
一、世界の農民運動（大西） 一〇〇
一、農業と社會主義（平野） 一〇〇
一、立入禁止と如何に戰ふか（泉） 二五

■政治運動、社會主義

一、無産政黨の戰術（上條） 一〇〇
一、無産階級の政黨（山川） 一五
一、何から初むべきか（レーニン） 二〇
一、史的唯物論（ブハーリン） 一〇〇
一、辨證法的唯物論大要（ブハーリン） 三〇
一、史的唯物論について（エンゲルス） 三〇
一、何をなす可きか（レーニン） 一〇〇
一、前衛當面の任務（ロソースキー） 二〇
一、日本無產階級運動批判（猪俣） 一〇
一、私は此ふ考へる（山川） 二〇
一、或同志への書翰（山川） 一五
一、左翼小兒病（レーニン、堺） 三〇
一、無産者政治必携（產勞） 一〇〇
一、無産者法律必携（產勞） 一〇〇
一、十一月七日（堺） 二〇
一、パリーコンミユン（堺） 二〇
一、ゴタ綱領批判（マルクス） 二〇
一、支那革命の理論的考察 四〇
一、レーニンと消費組合 一〇
一、健康保險法のからくり 一〇
一、共産制より資本制へ（ハインドマン） 二〇
一、辨證法的唯物論（堺） 一〇
一、暴法と如何に戰ふか 二五
一、組織問題（レーニン） 一五〇
一、資本主義の安定より危機へ（スターリン） 一〇〇

■その他

一、マルクス傳 二〇
一、レーニン（ロソースキー） 三〇
一、レーニンの生涯と學説（ジノビエフ） 一〇〇
一、婦人問題の本質（堺） 一〇
一、新ロシアの婦人（近藤） 一〇
一、勞働辭典（勞研） 五〇
一、社會運動辭典（田所） 二〇〇
一、ロザの手紙（堺） 一〇
一、社會講談數種 各一〇
一、勞働讀本（山名） 一〇〇

右書籍は單に十月十五日現在の在庫品の一部に過ぎない。本社取次部はいやしくも無產者運動に關するものであつたら、如何なる大部の書籍でもパンフレットでも新刊舊刊を問はず取次する。注文者は但し、明瞭に發行所著者定價を記して申込みありたい。送料はパンフレットを除き一圓まで五錢、一圓を增す每に五錢宛注文者側で負擔のこと。

◆注文は振替にて前金のこと
◆送料は本書目記載のものに限り不要

東京・芝・二本榎西町二
振替東京七六二七〇番
農民勞働社

既成政黨の内訌

床次の脱黨に次いで、小寺、田中一派亦一新會に據り、民政黨の内紛は今や收拾の術なきにまで至らんとしてゐる

このブルヂョア政黨の離合集散の意義を日本プロレタリアートは、いかに看取し、いかに問題とすべきであるか單に既成政黨の内紛をブルヂョア階級の内に起つた一波動として我々は看過すべきであらうか。

勿論このブルヂョア政黨分解の裏面には利權、政權の爭奪が中心とされてゐる事は自明であるが、それと同時に日本ブルヂョアジーの行詰りが既に議會主義を離れて來た事を實證するものである。日本ブルヂョアジーは、所謂從來の議會主義の上に既成政黨的大政黨の對立を必要とせず、從つて實行標なき大政黨を支持し、その資金を貢ぐ余裕を失つた事を示す。この社會的必然性は現在小康を得てゐる政友會も、田中内閣の瓦解によつて分解作用を起す事は明かであり、かくして二大既成政黨の對立より、ブルヂョア政黨とプロレタリア政黨の對立への道を辿るのである。

たが日本プロレタリアートの當面の問題としての民政黨の分裂は、一には田中反動内閣の存續を助長し、他面行詰れる日本ブルヂョアジーの現狀打開策としての帝國主義戰爭の危機を深める。見よ。床次、小寺一派の宛ては田中政府の對支外交政策を支持してゐるではないか。

現下の帝國主義戰爭の危機は、一に支那外交政策の上に包藏せられてあり、田中政府の對支外交政策の硬化は、列國帝國主義の對立をしていよ〱深刻化せしめる。民政黨の分裂によつて日本プロレタリアートは、田中反動政府の基礎の強化と、日本ブルヂョアジーの走狗としての田中外交の硬化を看た。

これによつて日本プロレタリアートへの彈壓はます〱強烈を加へ、支那勞農大衆のプロレタリア××の完成をしていよ〱困難ならしむる。

こゝにおいて日本プロレタリアートの任務は愈々加重され、分裂の克服による勞農戰線の統一は當面の緊急事となつた。いざや全勞働者、農民は起つて合同に邁進せよ。而して田中反動内閣を打ち倒せ。

對支干渉絶對反對！　帝國主義戰爭の危機と戰へ！　全國非戰同盟を支持せよ！

（上杉）

進め讀者はかうして鬪ふのだ！

伊倉繁郎

「進め」の讀者は單に讀むだけの讀者であつては何もならない。讀者は讀者であると同時に行動者でなければならぬ。俺は「進め」を五年間一號も缺かさずに讀んでゐるぞ、と云ふだけならばこれ程くだらない名譽はないであらう。すべて我々の新聞雜誌はこれを通じ支配階級に對するところの鋭い武器でなければならぬ。一冊の雜誌が數人の同志をつくる機關となり、眞に無産者の方向を示し、之を鬪爭に導き、資本家地主に鋭い鉾先を向けてこそ「進め」は彼等にとつて憎むべく呪ふべき惡魔の降誕である。

「進め」は我々の武器だ。そうだ、進めのあるところ、讀者のある所必ず鬪爭の烽火が上がらねばならぬ。「進め」の讀者は常に階級的な立場から總ての民衆運動の先頭に立つてゐなければならぬ。工場に鑛山に農村に船上に、我らの兄弟の痛ましい血痕の滴るところ、我らの姉妹の酷使に泣く涙のにじむ所、「進め」讀者はそのたくましい巨腕にこれらの兄妹の手をしつかりと握つてゐなければならぬ。之が「進め」讀者に脊負はされた使命である。資本家の出現とともに勞働者は鐵鎖に縛され、「進め」の發刊とともに其の讀者は社會主義社會の建設てふ重大使命の實行を脊負はされてゐるのだ。

さて「進め」讀者はどういふ風にして此の重大使命を果さねばならないか。讀者諸君、わけて新しい經驗の少い讀者諸君の爲めに、私は其の鬪爭方法の一端を書かう。

それも茲では主として農村を中心として、勞働者諸君への言葉は別に稿を改めて書くこととするが、一般に利用すべき所はどしどし取上げて貰ひたい。

讀者倍加運動

一人で讀んでそつと自分の頭の中だけに丁度何か寶物みたいに藏つて置くと云ふ方法は無産階級のすることではない。それは資本主義のすることだ。我々の知識は無産階級全體の知識だ、そしてまた我々の運動は全無産階級の團結といふ大多數の兄弟との握手によつてのみ可能なのだ。だから「進め」の讀者諸君は自分で讀んで理解し得た知識はなるべく多數の兄弟の中に宣傳すべきである。また一人が一人の讀者をつくる考へで次から次へと新しい讀者を募集して行かねばならぬ。之をやらなくては絕對に運動は出來ないのだ。讀者倍加運動、之こそ實踐的運動の第一步である。之もそう〱容易なことではないだらうけれども、我が若き鬪士は之等の如何なる困難な仕事と雖も、否困難な仕事こそ好んで

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

敢然と成し遂げなければ運動の運も出來はしないだらう。先づ此の初歩的な仕事を注意深く、根氣よく、勇敢にやつて始めて他の運動に進み得べき資格は與へられるのだ。

諸君は先づ自分の知つてる周圍にある人で最も望みのありそうなのから手をつければいいあらゆる機會に無産階級の打ちのめされた姿をそして戰はねばならぬことを話しかけ或は「進め」を見せ、之について語り俺も讀まうと云ふ氣を起させる。（餘り親くない人には先づ親しくなる爲めに運動のことなどには餘り觸れずに本人の氣に入りそうな話から始めて行くこと等よく注意すべきだ）當人が愈々讀むといふことになつたら、是非誌代をとつて之を本當の讀者にしなければならぬ。無代でやつては資金が續かぬといふはかりでなく、自分が金を拂つた讀者であるといふ氣持を起させることとは雜誌を熱心に讀ませる第一條件を得るからだ。かうして一人々々根强くしらみつぶしに讀者を作り、また出來た讀者にも此の仕事をさせる樣にする。一方またポスター、ビラ等によつて「進め」の存在を知らしめ、未知の人からも讀者を得ることに努める。演説會其の他集會の場所等は見逃すべからざる好機である。またブック、デイ等もやるべきだ。たが之等の仕事には根氣が絶對に必要だと云ふことだ。一ぺんやつて見て失敗したからと云つてすぐ止めてしまふ樣なことではいけない。何べんも何べんも厚かましく働かねばならない。面の皮の無産階級的に厚くなることも其の間になされ、他の種々な經驗も一々自分のものとなつて行く譯だ。また警察や反動家の壓迫も勿論あるだらう。之については徹底的にやらねばならない。理由もないのに讀んではいけないといふ樣な巡查等があつたら、いやといふ程逆ねぢを喰はせてやるがいい。また發賣禁止になつたからと云つて一冊だけなら巡查なんかにとられる理由はない。禁止にならぬものでも發禁になつたからと云つて取上げることがあるから注意をしなければならない。それでもあくまで邪魔をしたら秘密的にやるより仕方がないだらう。

もう一つ注意すべきことは、之は一般的にだが、俺は社會主義者だといふ樣なひとりよがりな氣障な態度氣構へは絶對にやらないことだ。之は小兒病と小ブルのすることであつて我が讀者諸君は飽くまで實質的に本當に勞働者や農民になり切つてゐながら、しかも勇敢に階級的行動をとつて行かねばならない。

支局、座談會、讀書會、研究會

かうして一人々々讀者を集めると支局が出來る。そこで或數に達した（二三人でも）讀者を其の儘無方針に捨て置いてはならない。直に集めて一ケ月に二回とか三回とか決めて最初はほんの漫談會でもいい、會合を開くことだ。かうして集まつてゐる中にお互に同志愛といふ樣な一層深い親しみが出來、また語り合ふ話は否でも雜誌のこと、生活のこと、運動のことに觸れないではゐないだらう。そこで今度は此の會合を組織的にやつて行くことだ。お互によんで來た雜誌や書物の解らない所を研究し合ひ、または座長といふ樣なものを置いてお互に講義若くは問答し合ふ研究

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

會。讀書會、研究會、討論會をやる。此の讀に我々の階級的知識がめきめきと高揚して行く。そして新しい出版物を更にどしどし讀んで行くといふことになり。實際の運動へ入つて行く階段となる。勿論此の間に勞農組合、若しくは無産政黨の附近にあるところではをしく其の中に入つてゐるだらう。全然未組織の處と雖も之等の會合は必然に會合自體意識を高め、更に讀者倍加運動、同志糾合の上に大きな力となり組織的、計畫的に進行して行くはずだ。

此處に注意すべきことは、かやうにして一度得た讀者や小グループの人員は絕對に離さないことだ。喰ひついたら底の底まで喰ひ下がつて行くことだ。之にも努力と腕とは要る其の爲めには運動に對する若干の興味を起さしめ最後まで戰はふといふ熱情が煽り、自分達は戰はなくして生きられないのだといふ意識を戰ひとらすべきは勿論だが、それがためには、先づ一人々々に仕事と任務とを與へることだ。よく各人の個性や職業の具合や、才能等を考へた上で最初はほんの、それこそそれでも爲になるのかと思はれる程度からでもさせる。たとへば集會の時の集合場所や記錄掛だとか、產業や町村政あたりの調査だとか、時に新しい讀者の勧誘や座談會への勧誘等に働かせることだ。更にくわしく言へば誰と誰とをどういふ具合にと示す方がいい。

かうして行くことによつて各人は最後には離れ難いものとなつて來る。

集會はあらゆる機會を利用してなるべく多くやらねばならない。我々に關係のない集會をも我々の爲めに利用することは忘れてはならない。青年團の集まりだとか、村の催し物のある時だとか、大勢出合つて仕事をする時だとかは絕好の機會だ。またそれ等の後を利用するのもいい。

實際運動へ

研究會や座談會等のグループも其の儘で發展しなければ遊びにもならぬ。此の讀書によつて集會によつて得たところの知識は實際に生きて來なければならない。それは一般大衆と共に其の階級的利害の爲めに戰つてこそ始めて生きて來るのだ。即ち大衆をして階級的日常鬪爭に參加せしめ、之を指導するのだ。

勿論組織された組合なり黨なりの鬪爭團體のある處では之等の内部に入つてゐなければならない。組織内に於ける左翼分子の運動方法は改めて別に書くとしやう。

全然未組織地に在つて如何にして大衆を鬪爭に組織すべきか。「進め」讀者諸君は如何にして反動的青年團、青年訓練所、在鄕軍人會と戰ひ、資本家、地主、農會、町村會、支配階級と抗爭し、組合支部、黨支部を組織して備ふべきか。之れこそ實際運動への第一步として決定的な重大問題である。ただ之を細密に書く紙面は許されないから、公式的に、誰にも解るやうに一般的なものだけを書くことに止めて置く。如何なるものも其の存在の條件なくして存在はない。如何なる運動も運動が起り得る、なし得る、といふ地盤や空氣がなくて起り得るものではない。すべて鬪爭の條件が與つてこそ鬪爭が生れるのだ。だが讀者諸君、案じ給ふな。幸にして今時の世の中、資本主義社會では、搾るものと搾られ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るもの、支配される者と支配する者との存在する階級性なき社會はないたらう。（ソビエツトロシヤを除いては）我等の在る處すべて我等の戰鬪舞臺た。火藥は放置されてあるのた。我等は之れに導火線を結び點火すればいいのた。何時、何處で、問題は之によつて決定せられる。

およそ「大衆は今何を要求してゐるか」を見ることはあらゆる運動の先決的條件である之を見ることによつて投ずる石と場所と時期と其の波紋が側定せらるる譯た。日に日にいぢめられ酷使せられ、上から抑へつけられ、貧に泣きつつある民衆は今何を一番欲しがつてゐるかを見ることた。特別高い借家賃に苦しめられてゐる者は廉い借家を只の借家を欲しがつてゐるし、高い小作料の其の上に作の惡い時には小作人は小作料の減免を望んでゐるし、地主村會が出鱈目な税金を取立てたら税金のやすくなることを願つてゐるのた。

大衆が何を一番求め、或は何について一番不平を抱いてゐるかを見定めたならば今度はその潮時を見ることてた。何時が一番其の氣持が高まつてゐるかを知るのた。

之を見定めたならば兼ねて準備して置いたものを與へればいい譯た。即ち點火するのた大衆は立ち處に動くたらう。大衆をして鬪爭に參加させることも、そして團體を組織することも此の秋こそ急速に或時は飛躍的に成立さすことが出來る。

勿論周圍の情勢から、運動の擴大性や相互の力の關係も充分に考へ、またそれまでの潜行的準備運動を怠つてゐたならば、鬪爭は一片の煽動と後の續かない花火線香に終るから之を念頭に置いてかからねばならない。小兒病運動家はよく此の弊をふんで來た。たが我々の運動は實に困難な漸進的な仕事、日常鬪爭を××の其の日まで押し切つて行かなければならないのた。根氣よく――

では次に具體的な運動方法の二三を述べるとしやう。

（村民大會、各種代表者會議、署名運動・示威運動、黨支部の組織、組合の組織、爭議の展開方針、選擧運動、其の他村政、農會、反動的團體との鬪爭方法、農村青年、婦人の運動方法等は次號に書かせて貰はふ。今月はとても書く暇を見出せない）

大阪勞働學校取次圖書目録

各一部十錢 送料二錢

一錢銅貨物語り	阪本勝
勞働問題早はかり	村島歸之
勞働者の明日	野田律太
タンクの水	山川均
プロレタリアの使命	住谷悦治
一休自來也	堺利彦
勞働組合早はかり	中川重吉
婦人と勞働組合	野阪龍子
政治運動の一資料	東天紅
町村制の話	吉田賢一
社會主義大意	堺利彦
社會主義の婦人觀	山川均
人一生の經濟學	河野密
唯物史觀の略解	河上肇
小作調停法の話	小岩井淨

大阪市此花區吉野町一丁目三十六番地

大阪勞働學校出版部

振替大阪七四三二六

勞働組合の戰線は如何に統一さるべきか

望月源治

一

勞働組合の戰線統一運動は勞働大衆多年の要望である。此の運動は既に大正十一年九月三十日大阪會議以來續けられてゐるのであるが不幸にして具體的成果は擧げられない。

日本勞働組合總聯合では昭和三年六月十五日、同會大會の決議に基き、全國勞働組合會議の提唱をなすに至つた。蓋し勞働組合戰線の統一は個々の勞働者にしても、各勞働組合にしても之が必要なることの理窟は知りぬいてゐる今日、更に勞働組合に對する最近に於ける資本の攻勢と取締官憲の暴壓と懷柔の分劃的支配は、依り強固なる階級的結成を刺激し、各團體共に此の形勢に適合すべく努力を拂ひつつある際とて、同會議提唱は各方面の注目の標目となつた。同會議提唱案が今日に於ける公然の所謂「戰線統一」の唯一のものである。勿論統一又は合同の必要に切迫せる今日の諸狀勢下にありては、他に各々統一に對する理想的腹案の存することは論ずる迄もない。

二

組合總聯合提唱の全國組合會議の協議會は、七月十五日東京本所公會堂にて開催され、曲りなりにも全國勞働組合會議第一回準備會として成立された。

第一回準備會は、同會議成立條件として、「政黨的、思想的立場を離れて、全國勞働組合戰線統一をはかる事」の決定を見た。之は

議が考へても一應問題となるべき重大な難關に相違ない。其他三四の討議をなしたるも本質的には無討議であつたと言ふべきである。それは同提唱團體が豫め具體案を明示せざるにもよるが、當日の出席團體の不充分なること、組合會議其のものに就ての概念のまちまちであつたことにも存する。

第一回準備會はかゝる譯で、準備會としては不成績であつたと謂ふの外はない。

三

第二回準備會は、八月十九日大阪中之島公會堂に開かれた。出席團體は、大阪勞働組合會議參加團體（總同盟、官業は同會議に參加してゐない）と第一回準備會出席の關東の主なる諸團體であつて、從つて依然充分なる出席團體の顏觸を會するわけにはゆかなかつた。

第二回準備會の主なる協議事項は、當日即時會議成立の可否の討議であつたが、結果は、準備會續行と決定された。此の決定は、一部の團體には、多大なる失望を與へたるが如く感ぜられたが、それは期待する人々の空虛なる希望に對してであつて、寧ろ當然の結果と言ふべきである。何故かなれば、參加團體の不充分殊に總同盟、海軍聯盟、官業總同盟、東京市電現業員同盟等の各團體の不參加は、成立さるべき會議の社會的印象上、徒らに左翼結成又は左翼の足だまりを造る云々の標目となるのみならず然も成立さるべき會議が當分極めてゆるやかな組織形態と緩まんなる運動しかなされないのであるから、個々の勞働組合としての生存的立場からは、敢て自らを不利の地位に置くことになる。かゝる事情即ち大義名的分觀念に對する實質本位的な考へ方は、數年前と異なり今日では、相當なる自信の下に判斷さるる樣になつてゐるが故に、全體參加を第一條件にして成立すべき筈と思はれた同會議の內容としては根本的な致命傷と言ふべきである。故にかゝる缺陷の補點は準備會としてなすべきが當然の義務である。他に諸他の理由存するも右の一點よく即時結成不可能を示して餘りある。

かくて第二回準備會は、組合會議の大體の組織と輪かくを示し、運動方針の一端が明かとなつて、未參加團體勸誘の途を講じて終了した。

四

全國勞働組合會議が成立するか否やは、未だに大きな疑問である。第一は、前記未參加の主なる團體が容易に參加せらるるや否やであり、第二に參加されないことが判然とされた後に現在準備會に參加しつつある團體中、此の缺點をそのまゝに果して思ひ切つて、結成に贊成するや否やである。然も第二の決斷には、同會議そのものが相當強大なる力を具有するに至らざれば思ひ切つて結成することは出來ないであらうし、さ樣にすることは、各團體の獨自の組織と運動に或程度の拘束の及ぼすことが考へられるので、至つて困難と見なければならない。準備會の實行委員會は、極力未參加團體の參加

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

動務に努めるであらうし、又第二の方法に就ても充分な協議を進めるであらうが、かくて全國組合合議結成の熱望は決して樂觀を許さないし、却て困難さが見透かさる。

五

以上大體の今日眼前の統一問題を表面的に觀察したのであるが、戰線統一に對する實際的具體的解決方策としては他に之を論ずべき點多々あると思ふ。

× ×

分散的勞働組合の發展と勞働組合自體としての充實發展に確乎たる主張と理想とを有せざる我國勞働組合運動の行くべき途は、決して單なる名分と努力とにて平坦なる丘に到達し得るわけには行かない。勞働組合の實際は、一人の思想家が自己のテーブルでまとめ上げた一個の思念を、他の新なる條件の出現のために、又は自己の思念の誤りのために書きかへらるべき程容易な仕事ではない。組合員を有し、其の利害のために活動し、かつて明示した一定の方針で運動して來たのであるし、從つて、それ相當の歷史と根據とを有してゐる。分散的發展の下に成育さるべき我が勞働組合はあたかも、資本主義社會に於ける工場經營とか、一般的經營とかに相當するのであるから、自己の團體の基礎を守り發展を期するためには、他團體と對立もすれば競爭もする。かゝるが故に莫然たる戰線の統一と言ふ場合には、單に名分のために統一に贊成の意を表する場合と、自己團體が霸權を握らんと意圖する場合と、群少團體が單に自己の立場を失はずして、然も有利な立場に立つことを欲する場合等との內容が層をなして現はれる。然しながら分散的發達の我國の現狀にありては、前記の如き「自己の團體の基礎を守り發展を期するためには他團體と對立もすれば競爭もする」ことの止むを得ざる現實の事實がより進展する以外には本質的な解決案は生れ得ないのである。

今日の戰線統一の機運は、機運としては正しいし、大衆の要求としては將に要請さるべきものである。が決定的條件の備はらざる間は一見、大衆の要望を裏切るが如く見えたり、一部團體の利己心の防害の如く現れたりする。階級意識とか階級的理論とか言ふても、それが空中の產物でない限り、此の苦き現實の具體的存在を超越して勞働大衆を當然の途に進ましむることは出來ない。世論往々にして單なる抽象理論を以て團體の動きを批評したり、傷け罵倒したりするの弊風が多かつたが、今や勞働組合運動も日每に、其の理論的根據を現實の具體的事實に置き以て其の矛盾の解決に總ての努力を拂ふべき時代に到達し得た。

六

我々は勞働組合の戰線統一の標目に對し次の如く其の根本的解決案を提出するものである。

A

（一）鬪爭上の力を有し統制上の組織を具有する強固なる組合（職

合體に非ず）を造ること

（二）其のために必要なる時間の與へらるべきこと

（三）産業別的勞働組合の漸次的完成をなしとげること

（四）現在の數十の全國的團體の組織機關を漸次的に減少するに努めること

B

（一）勞働立法の如き共通的鬪爭目標のための共同機關を造り、從來の問題を分散化したことを改め、勞働大衆の全般的標目を合一化し中心的運動の必要性を勞働大衆に知悉せしむること

（二）從來の如き極左翼の分裂的、獨裁的、空想的、獨善的運動に徹底的批判を加へること

（以上二項目は、組合會議が成立すれば當面の任務となるべきもの）

七

右の根本策には、具體的に說明を要する個所が多分に存するが後日にゆずるとして、最後に、現下の問題たる組合會議準備に對し更に一言をつけ加へる。

我々は、或大きな然も全般的に關係のある問題を提起する場合は愼重なる態度と、充分なる注意と周到なる要意が必要とすべきであると信ずる。何かしら新しい提議をなして所謂・空氣で成立せしめようとしたり、押しでてでつちあげようとしたり、する態度は、單に要意が足りなかつたたけでは濟まないのであつて、此の失敗は既に過去に於て多く經驗した所である。

此の意味に於て、今度の會議提唱に、提起に際して、大團體間の了解の缺除が多分にわざわいされてゐる。統一運動をかゝる形式で形成せんとするならば此の點は一層の注意を要することを御互に自省したい。今後同會議の成立に對しては、前記の困難があるのであるが萬全の努力を拂つて行くことに意見の一致を見なければならないしつまらぬむりは餘程の決心と確信とがなければせないに限ると言ふことに留意すべきである。

× ×

勞働組合は明かに一個の團體的經營である。鬪爭も意識も其の強固なる經濟基礎の土臺の上にのみ育くまれる。一時的感激は勞働組合團體の發展からは大なる禁物である。階級鬪爭に於ける車輛としての勞働組合の組織は不斷の發展以外に効を得ることは出來ないものである。一足飛びが許されない我等の仕事は、堅々として、大勞働組合の完成に産業別勞働組合の完成に、之等の全國的、全體的統一の完成に努力する以外に眞の統一の途なきことを再論して止まない。大きな資本の攻勢の前には、我等が正義の叫びが、こゝのみごとに粉碎され、蹂躙されてゐることは、何が敵へるのか。

（昭和三年八月二十八日記）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰線統一と組合會議

岩崎正三郎

一

八月十九日大阪中央公會堂で開催された全國勞働組合會議第二回準備會は期待に反し會議の成立を次回に延期した。

一日も早く、一つでも多くの無產團體が全國的統一の目標の下に連絡、協同を强めんさすることは誠に願はしき限りであるが各無產團體の全國的統一に達するまでには幾多の迂余曲折があることはまぬがれないところだ。

二

我等は全國組合會議の速かなる成立を希ふまた全無產團體の全國的統一の日の近からんことを願つて止まない。然し、それは斷じて粗雜な社會民主々義的統一に就てではない。すべての運動はあくまでも現段階に於て最も熾烈に戰ひ拔かねばならない必然性の下にある全面的政治鬪爭を大膽に戰はんがための目的を以てなされねばならない。そして今日眞に力ある全面的鬪爭を敢行せんさすれは、それは眞の大衆的協同戰線黨の確立が必須的前提條件である。而もこの必須的條件は各勞農組合の統一によつてのみ階級的基礎が置かるるのであるから組合會議の完成乃至組合の統一は今日プロレタリヤが第一に要求してゐる階級的大衆黨の確立さ決して分離して考へ得られない。

三

階級的大衆黨は日常鬪爭の機關たるさ同時に必然にそれは全無產團體統一の任務を負はされてゐるものである。大衆的協同戰線黨が縱に種々の階級層を抱含すべきは勿論であるが、その礎石は勞農諸團體の廣汎なる橫斷的統一の上に置かなければ大衆的政黨さして完全なものではない。この意味に於て今日の勞働組合會議の成立は大衆的政黨の確立さいふ目標を外にしては考へられないのだ。換言すれは眞實の大衆的政黨の確立は諸勞農組合の統一的基礎の上に立つてのみ可能なのである茲に於て組合會議の成立さ大衆的政黨の確立さの間の辨證法的關係が見出だされるのである。

四

所謂極左派はその追隨者は一齊に組合會議の即時成立を要求したるに對し、所謂中間派さ俗稱されてゐる組合同盟、總聯合等は右翼諸團體の參加を極力努力せざるべからざるを說いて延期說を主張し、さもかくも會議の成立は次回に延期された。極左及び追隨派の會議を成立せしめて然る後に改めて總同盟其他に參加を勸誘せよさいふことは一應尤もにきこえるが、それは右翼をして益々右翼のみの聯盟を企圖せしめ右翼の固定化を强める結果

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を誘引しないたらうか。右翼は從來左翼の戰術の間隙につけこんで自家安泰の策に汲々さしてゐるのであるから眞に階級的立場に立つて右翼の固定化さ戰はんさするものは寧ろ此隙間の抜けたさ思はれるほどに、その一歩々々に注意し從來の失敗を取返すべく愼重に行動せねばならない。我等は今、組合會議を長く未完成のまゝにをくことの危險性を知つてゐるがそれ以上に意識的右翼に策動の機會を與へることを恐れる。

日本資本主義は右翼によき温床を與へる客觀的條件を有しないさはいひ、極左の分裂政策さ資本家共の右翼擁護とによつて我が國に於ける右翼は不當の優勢を續けて來た。右翼幹部は資本家政府のために、卑劣な小ブル心理を以て常に左翼排擊の口實を鵜の目鷹の目で探して自家勢力の維持に努めてゐるのだ。

然るに從來の極左的戰術は餘りにも屢々右翼に對して失敗を繰返して來た。眞の階級的立場を守るものは最早、右翼に一分のスキを與へてもならない。而もそれは從來の極左戰術では斷じて不可能なる分野に屬する。

五

我等は總同盟が不參加なら組合會議を永久に延期しやうさする事大主義には絶對に反對するが、また行詰れる運動を糊塗せんさする性急な行爲が百年の大計を誤らしむる如きを憂ふものだ。總同盟を中心さした東洋勞働者會議の開催さかアルベル、トーマの來朝を機さする右翼聯盟の策謀さか、虎視眈々さしてゐる右翼の策士共に乘ぜられることは足並の亂れてゐる今日の左翼にさつては致命的打擊である。右翼が固定して、左翼が孤立する、これこそ大衆的政黨確立にさつて最も根本的な失敗である。大衆的政黨樹立の可否は實にこの點に於て決するささへも思はれる。

かゝる危險性を内在するこの種の間、組合會議が準備會さして流動性のまゝに存在し右翼の策謀に對して彈力性ある對策を講じ得る可能性を保持してをくことは右翼の策動に對するかなりの牽制さなるであらう。

六

右翼の固定化を防止することは大衆的無產政黨を確立するために絶對の必要條件である否、大衆的政黨は右翼固定化を防止することに一つの重大なる任務を持つ。

我が國の今日の段階に於て、大衆的政黨の一應の確立は解放戰の當然の第一步である。大衆的防波堤なくして、武裝堅固な、死に物狂ひの日本帝國主義さ如何にして戰ひ得るか武裝をして完全な武裝たらしめるには大衆的壓力以外には策なきを思ふ。而も勞農戰線の統一なくして大衆的壓力は常にカケ聲のみである。カケ聲は聞きあきた。眞の壓力を蓄へるために臥薪嘗膽することだ。

石山賓吉著
日勞パンフレット第一編
惡稅撤廢の叫び
一部十錢　本社取次

戰線統一に關する一斷想

上條愛一

〇

△「どうか其の後は、相變らず貧乏にして暇ありといふやつか。其れはそうと秋の大會の季節に入つて、一入社會運動の戰線統一問題がやかましくなつて來た樣だが、どう進展して行くか、

△「そうさ、無産黨の合同問題も今までは單なる掛聲の時代だつたからね、ほんとに切らうといふ眞劍味がないのに、矢鱈聲ばかり大きくして空の掛け聲だけをかけてゐたのだ、然し此の頃どうやら戰線統一問題も具體的に眞面目になつて來た樣だね。犬だつてほんとに嚙みつく奴はやたらに吠ぬ。眞に合同をやらうといふのには聲明や指令や合同協議會の提唱だけでは駄目だらう。

△「日勞黨はどうするのか。

△「どうするか？知らんが、又未だどうするといふ態度をはつきり決定しては居らんらしいがね、然し戰線統一の行き道は大凡定つてゐるではないか、今日の日本の社會運動の狀勢から云つて、今日直に右から左までを一まとめにする事は不可能だらう。そうすれば實際問題としては左から合同を始めてどこまで右の方を包容して行くかといふことが一つ。右から合同を始めてどこまで左の方を獲得して行くかといふ方法が一つ。さもなければ日勞黨は從來の樣な獨自の立場に立つて左右兩翼をどの程度までなぎ倒して行くかといふ問題だと思ふがね、

△「勞働組合の最近の動きはどうかね、

△「資本の攻勢に對して勞働組合運動は受難の秋さ、どの組合だつて血みどろの戰ひさ、背水の陣をしいてどこまで自らの陣營を守つて將來の戰ひに備ふるかといふ問題だ。そして資本家と支配階級と正面衝突をやつてゐる勞働運動者の頭は、理論や理窟はどうでもよい。眞實の力を知り度い。勞働大衆の強大な組織と訓練といふことが眼目になつてゐる。其のためには今日の樣な四分五裂の味方の陣容ではどうにもならぬ。戰線の統一は熱望してゐる。然し日本の勞働組合運動は思想を中心にして陣營が混亂し過ぎてゐる。其の思想も日本の實際運動から生み出した根據のある力強い思想ではない多く外國からの輸入の思想ではないか。大正七八年歐洲戰後からの日本の勞働組合運動を回顧すると、朝にサンヂカリズムを迎へ、夕

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

にコムミニズムに走るさいふめまぐるほしい轉廻であつた。そして結局空漠たる思想の御輿をかついで日本の勞働階級にヘトヘトに疲れ切つた。眞に得たるものは何ものかと言ふことになる。かち得たるものは味方の陣營の混亂と味方同士の對立闘爭ではなかつたか。極論すればそういふ傾向がある、そして一通り思想の御輿かつぎも濟んだかと思ふと今度は無産政黨を中心にして對立闘爭が始まつた然し思想を中心の對立闘爭も無産政黨を中心にしての戰線の分裂も敢て無意義ではなかつたであらう。大觀すれば日本の勞働階級の一度は經驗しなければならぬ運命ではあつたであらう。然し長い間苦い經驗をなめ來つた今日の勞働運動者は自覺して來た、オイ兄弟!どうた。しつかり手を握り合つてやらうぜといふ率直な眞劍な欲氣を持つてゐる。そこへ行くと智識階級運動者は弱い。大義名分や理論や思想に關脱して居る。世評や人氣を苦にしてゐる。此の間も九州のＳ君がやつて來て憤慨して居たよ智識階級の書物や雜誌の原稿の材料になるために吾々は運動をやつてゐるのではない。マルクスがなんぢやエ、九州の山の炭坑の勞働者に聞いて見よ、マルクスは西洋菓子の名かと言ひ居る。吾々は十數年中央の諸君の指令や聲明書を忠實に守つて九州の一角で苦闘して來た。其れは文字通り吾等の仲間は食ふや食はずの運動を繼續して來た。然るにいつまでも雜誌や新聞を賑はす輕薄な中央の諸君に追隨してやれるか、理論闘爭が何だ。鑛山王國のもとに默々としてやつつけられてゐる坑夫や勞働者は、大義名分や理論では腹がふくれぬのぢや。革命の飯事や机上の理論闘爭は諸君に任せる。是れから己れらは自分からの信ずる所に猛進するのぢやと云ふてゐた。是れも時勢に覺醒した彼の極論であらうが一面の眞理は存してゐる。

此の間日本海員組合のＡ君が對外船の爭議の勝利解決後言ふてゐた吾々は今回の爭議をやるため七年間苦心し準備して來た。世間からは右翼だダラ幹だ協調主義者だと罵られつつ七年の間隱忍して來ました。七年の苦心が今日や、報ひられたかと思ふと、私の心の中には人知れぬ喜びが湧いて來ますと述懷してゐた。私は彼の此の述懷が眞實かどうか知らんが、大資本家を向ふに廻してほんとに戰ふといふには此の決意は必要である。マルクス主義を戰ひ取れとか資本主義の崩壞とかが雜誌や書物の上で壯語するのは朝飯前だが、そんなことでは數十年に亘つて築きあげて來た現在の資本主義制度はビクともしないのだ。私は且て鐵工組合の支部の解散式に行つた。解散式後組合員が支部旗を抱いて泣いてゐる有樣を見て無理がないと思ふた。資本家の壓迫を忍んで一つの支部を作るといふことは容易なことではない。間違へば自分の首は飛ぶのだ。支部の發會式をやるにも支部旗を作るにも、安い賃銀の中から絞り出さねばならぬ。ビラを作るにも會合に出る電車賃も乏しい財布をはたいての事だ。一つの支部を守るために彼等は凡ゆる犧牲を拂つて人知れぬ辛酸を甞めつくして來たのだ。然るに今爭議失敗の結果其の支部の崩れ行くを思ふ時、無限の感慨を禁じ得ないのは當然である。此の熱意と感激がなければ組合は發達し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ないのた

○

「君、僕はかりペラペラ喋るのぢやがね、日本の社會運動は今までは宣傳の時代たつたが、是れからは實戰の時代た。一つの戰爭も、騎兵、歩兵、工兵、砲兵、輜重兵、航空隊、斥候、間者、電信隊様々の兵隊が必要なのた。民衆の中へなぞと麗しいかけ聲をかけて社會運動の陣營へ飛び込んで來る近頃の若いマルキストや自稱コンミニストなぞは、要するに生活に困らぬ學生あがりのダンテヤチエツホの代りに流行に從つてマルクスやレーニンを讀んだといふ文學青年ではないか。戀愛の詩の代りに革命歌を歌ふにすぎぬ結局趣味の運動ではないか。たまに殊勝に組合運動に身を投じて來るかと思へは、組合の青年鬪士に油を注いで自分は天晴れマルキストを氣取たいといふ罪のない連中が多いのた。實際運動となると徒らに世評や人氣を苦にして、右翼たダラ幹たといふ空虚な攻撃が恐ろしい様ぢや問題にならぬのた。古い言葉たが自ら信ずる所は千万人といへども吾行かんといふ骨のある人物が必要なのた。何でも左翼たマルキストたといはねは安心出來ぬ様な人々は今後の實戰には役立たぬのではあるまいか。人各所信ありて今日左翼の陣營にも右翼の陣營にも其の所信に忠實な勇敢な眞劍な吾等の敬愛する多くの眞面目な鬪士諸君が居る。どちらでもよい腹のすわつた眞劍な人々は無産階級運動に役立つて來る。唯世評や人氣を氣にしてふらつく人々は多く運動の邪魔になると思ふのた。

△「大分君は今日は氣焔を擧げるではないか、

△「うん、實はさつき珍しい友人に逢つて飲みつけぬビールを一杯やつたのでね。ビール氣焔の氣味があるがね。然し人間は醉へは幾分正直になる、自分も智識階級の片われでゐて馬鹿に今日は智識階級の攻撃をやつた様になつたがね、まあ是れは自分の弱點を拾ひあげた様なものさ。今後も無産階級運動殊に無産政黨運動には智識階級の活躍すべき舞臺が多いと思ふがね、今日は惡口たけ言つてしまつたのた。其れに話しが大分中心から外れてしまつたが、要するに戰線統一の問題も今までの様な掛聲では駄目たと思ふのた。新聞宣傳のために合同協議會を提唱したりインシエニチイブをとらんがために聲明書を出したつて何にもならぬのた。やらうと思ふならはほんとに心をぶちまけて誠意を以て手を握るでなければ戰線統一などは空宣傳に終るのた。

御互同志のことを政策的や腹に一物を藏して置いて、よし合同をやつて見た所がうまく行く譯がないではないか。大衆と大衆との結合なぞと大聲叱呼しながらコツソリ乘り取策を講ずるなどは古い手たからね。其れはそういい氣になつて喋べつたら腹が減つたがどうた一つ飯でもオゴらぬか。

△「馬鹿を言へ、いい加減な氣焔をきかされた上、おごらされてたまるものか。

△「君も友達甲斐のない奴たなあ。

青年運動再建の急務

南　三　平

一

無産階級、戦線の一翼として、無産青年運動は重大なる意義と役割を持つものであり、その獨自の任務を遂行す可く、獨立した闘爭組織を確立することは、全無産階級の利害を代表して闘ふ階級黨の指導の下に、一日と雖も等閑に附し能はざる問題でなければならぬたが我國に於ては、既に一般には、青年運動の必然性は認められたとは云ひ、今尙、依然として強力なる闘爭組織の實現を見ない。

既に本誌前號に於て同志上杉が、青年同盟の再建を叫び、その一般的任務に就いて述べてゐる。たが、それの持つ必然性に於て提編せられたる青年運動は、現在の狀勢に於て、いよ〱焦眉の急務として我々に課せられるに到つてゐる、國內、國際の逼迫せる諸情勢は、今こそ切實に、勞働人口の大半を占むる無產青少年の大衆的闘爭組織の必要を告げてゐる。

國際的、狀勢に於ては、如何なる平和條約なも一片の空文に化せしむるのであらう。世界帝國主義戦爭の危機が刻々迫りつゝある、即ち勢力の均衡を失し、動搖しつゝある帝國主義列國強國間の關係は、國內に於ける階級對立の激化、支那無產階級の革命的勢力の擡頭サヴエツト聯邦の力強い進出等々の諸情勢の下に、いよ〱その對立を尖鋭化するに到つた。しかも、最近に於けるサヴエツト聯邦の躍進は、帝國主義諸國間との對立を深化し日本帝國主義の支那出兵を端として、支那をめぐる世界の帝國主義諸國間の利害關係は異常なる緊張を現して來た。

此くて必然に展開さる可き世界戦爭は、市場の開拓や資本の投下地を獲得するための、侵略戦爭であると同時に、それは、ロシアプロレタリアの影響の下に各帝國主義諸國內に階級的使命の段階を歩一歩遂げつゝある世界プロレタリアと、更に、それ等の支持を背後に、打倒帝國主義の戦ひのため苦闘しつゝある支那被壓迫民衆の革命的勢力、及び凡ゆる植民地に於ける被壓迫民族の解放運動、そして、此の全闘爭の先端に立つサヴエツト聯邦と列強に對立抗爭する點に於て、將しく國際的階級戦をも意味するものである。

青年運動の持つ重大なる特殊的役割は、先づ反軍國主義の闘爭で

ある。

茲に強力なる農村プロレタリアの大衆的組織が必要となる。

更に、産業合理化の名に於て世界的に開始されたる資本の猛襲は勞働時間の延長、賃銀の引下げ等によつて今や勞働階級を極度の窮迫に陥れてゐる。そして、青年勞働者に支拂はるゝ、成年勞働者と同質の勞働賃銀は、成年勞働者のそれに比して甚しく引下げられてゐる。經濟的條件に於て、此ゝる不等の賃銀を與へられ、政治的條件に於ては、凡ゆる政治的活動が禁壓せられ、青年は資本の完全なる奴隷としてのみ生くることを余儀なくされてゐる。

此かる現下の國際的國内的諸情勢は、その特質を指適するならば帝國主義列國の一切の活動の主方向が益々、世界再分割のための帝國主義戰爭の危機に向つて進行しつゝあることとである。

軍隊の大部分を構成し、工場勞働者の三分の二を占むる我國青年プロレタリアの運動は、特に、こゝに重大なる意義を有つものである。

二

一般に青年運動の有つ役割は何であるかと云ふならば、それは云ふまでもなく青少年プロレタリア及び農村青年の政治的經濟的並に社會的利害のために闘ふものであり、從つて階級運動の一翼として他の闘爭機關との協力の下に行はるゝものであり、その特殊的な闘爭目標を、我々は大體次の如く規定する。

第一に、戰爭反對、兵營の民衆化、兵士の政治的自由の獲得等を内容とする反軍國主義のための闘爭

第二に、青年プロレタリアの問題として、見習徒弟制度の撤廢、賃銀の增額要求等の勞働條件のための經濟闘爭

第三は、政治的活動を禁壓する一切の抑壓制度の改廢、選擧權、政治結社權の獲得

第四に、ブルジョア敎育に對するプロレタリア敎育のための闘爭

然して、此等の闘爭を通じて、廣汎なる青年を動員し訓練し、統合し、以て全階級のため闘爭の戰線にまで進出合流せしめねばならぬたが、一般的には此く規定するとしても、當面先づ現在の具體的情勢に應じて現實的闘爭目標が決定されねばならぬ。それは、先づ資本主義の現狀勢に於て、無産青年が現に與へられてゐる政治的經濟的諸條件と無産者運動内に於て占む可き地位の批判を前提とする。かゝる究明を俟つ時初めて、青年運動の持つ歴史的使命とそれの正當なる評價が認識される。

無産青年は來る可き世界戰爭のため、その侵略戰爭のため先づ第一に資本の犠牲として血祭りにあげらる可く、支配階級によつて絶大なる努力の下に凡ゆる組織的計畫施設によつて軍國主義的敎化を受けてゐる。支配階級は青年層を肉彈として徴發するために、先づ青年をして軍國主義の完全なる奴隷たらしめねばならぬ。たから此くあらしむる爲には、青年をして、資本主義の一切の機構に對して目を瞑はしめ、政治的活動への參加を禁壓し青年の凡ての獨自的活

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

動を拘束しなければならぬ。此のための支配階級の諸政策は最近に到つて漸く強大なる計畫となつて現れて來たるは今更あげる必要もなく明かである。

（參政權の拒否獨占せる教育機關の全活動による資本主義奴隷敎育の普及官製青年團の全國的組織、青年訓練所修養團宗敎文藝等々）

一方、全無産階級に襲ひかゝる帝國主義的抑壓は強烈になるに及んで勞働青年は、その勞働狀態に於て、成年勞働者以上の窮迫につき落される。云ふまでもなくかゝる賃銀の差異は、成年勞働者と青年勞働者とを分裂させて、搾取を高めんとする資本家の分割支配の現れであることは明かである。そして更に青年の多くは、徒弟制度に依つて、極度の搾取と隷屬を強いられてゐる。

かゝる狀態は、必然に我々の有たなければならぬ青年運動の當面の任務を決定し、此の青年獨自の特殊的要求のために闘ふ獨立した組織を必要ならしめる。然しながら、青年特殊の要求と雖も、それは全無産階級の階級的要求の一部をなすものであり、從つて闘爭方面もまた階級闘爭の一翼として、正しきプロレタリア黨の指導の下に行はれねばならぬことは云ふまでもない。

青年運動が、獨立した組織を持たねばならぬ所以は、青年共通の特殊的事情に基く獨自の組織の闘爭を通じてそこに初めて青年層を全階級的闘爭にまで動員し合流せしめ得る強固なる闘爭力が發揮され得るがためである。即ち我々の時に持たねばならぬ青年同盟は、青年プロレタリアの些末なる端初的要求をも拾ひあげて此のために闘ふ、廣大なる青年層を結集する大衆的組織でなければならぬ。

三

茲に今一應我々は數年前華々しく展開せられ、全日本無産青年同盟の名の下に、最近まで續けられて來た吾國の無産青年運動の經驗を顧みる必要がある。

田中反動內閣の手によつて行はれた三月十五日の彈壓は一瞬にして、此の青年同盟をも蹂躪し去つたことは既に衆知のことである。そして、此の青年同盟の再組織運動は、その後直ちに開始せられ、着々進められてゐる。

然し乍ら、我々は、若し、此の再組織運動が、解散されたる從前の青年同盟の、そのまゝの復活であるならば、依然として、それの持つ指導精神の誤謬の故にそれを斥けねばならぬ。我々は本質的に決定的にそれを否とするのではなく、現在の狀勢の下に於て青年運動の持つ任務は、從つてそれの遂行のための闘爭を行ふ組織の指導精神は、明かに、舊青年同盟のそれとは異なるものであるとなす點に於て、我々は新しく再建さる可き青年同盟の活動の基準を他に求める必要を感ずる。

舊青年同盟の犯した根本的誤謬は、曾てはいちぢるしく活潑にその全國的に擴大せられたる活動が次第に衰退し、その勢力に於て全く少數知識分子の集團と化しつゝあつた、解散直前の狀態が何よりもこれを雄辯に物語つてゐる。勿論、此の數的減少は、反動化せる

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も一半の理由ではあるが、けれども我々はその本質的なる原因を指導方針の錯誤に基づくが故の活動の行詰りに認める。

嘗て青年同盟の指導者は、明かに、青年の凡ゆる不平と要求——それはほんに初歩的なる政治的經濟的社會的要求の片鱗——をも拾ひあげて、それのために闘ひ、それを通じて行はる可き運動の基礎的方針に代ふるに、ひたすらに前衛的役割を青年同盟に課することを以て指導精神とした。卽ち一方、廣大なる青年を抱擁する大衆的組織たらしむると共に此の大衆組織そのものを共産主義的鬪爭組織にまで押し進めることに力を注いたのである。たから此の二つの役割を同時に遂行せんとする或意味の二重團體主義に導かれたる活動は必然に、或る段階に來るや自體に内包する二方向の指導精神の矛盾に陷り遂に一定の限界に突き當つて終つた。此處に現實的破綻が暴露されたにも拘らず指導幹部によつて强力的に遂行せられたる活動は、遂に、意識の遲れたる後進プロレタリアに對して・現實に於て門戸閉鎖を行ひ・此の大衆との離反は、ために組織の基礎なる可き大衆的支持を失ひ、全く少數尖銳分子の集團化への傾向を辿るに到つた此の孤立的傾向は指導精神の根本的誤謬の必然的結果であつた

●我々の將に持たなければならぬ青年同盟はかゝる誤謬の嚴正なる批判と卒直なる訂正の上に創られねばならぬ。現狀勢の下に於てかゝる二重體團主義的指導精神は全く現實への批判を缺く誤りであるそれは現實の鬪爭の大衆的規模への發展性を抹殺し去ることに他ならない。

かゝるが故に當面する青年運動は先づ第一次的要求を結合の基礎的條件とする大衆的青年同盟を持たなければならぬ。此くしてこそ初めて、青年はその獨自の組織を通じて、全階級のための鬪爭を深化し、强大ならしめることが出來る。此の點に就いては、既に各方面に於て批判し盡された事であるが、我々はその誤謬を大擔に認める事により一の教訓として再び繰返すことなく細心の批判的努力を要するものである。

四

青年の獨自の鬪爭機關は、勞農組合の青年部の必要を否定するものではなく、却てその必要の重大性を認めるものである。特に青年勞働者・農村無產青年の組織は、勞農組合青年部の鬪爭を通じて、或は協力の下に、初めてなされ得る。また、青年部は、組合の鬪士の養成部門であり、產業別的基礎に於て結合せられたる組合の鬪爭に於て、組合青年部は特に共通の經濟的事情を有するが故に、青年同盟と協力する事によつて、組合の全鬪爭に對して、强力なる前衛部隊となる此の鬪爭の前線に起つ先頭部隊として絶對に必要である

けれども勞農組合の本質的役割は、勞農階級の經濟的鬪爭の分野を受持つてゐることである。此ふした鬪爭分野の限界は、必然に、經濟鬪爭意識より全階級的鬪爭卽ち政治的、鬪爭への進出を困難ならしめ、青年勞働者は組合主義的意識の限界内にとぢこめられて終

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ危險性がある。のみならず、勞働者は、その制約されたる諸條件の下に生活する關係上、一般にその意識に於て全階級的政治鬪爭意識への發展が經濟鬪爭意識の埒内に制限される。青年運動の果されねばならぬ一の重なる任務は、かゝる制限を克服し、組合内に組織されたる青年の意識を全階級的鬪爭の領域にまで高揚せしめるにある。かくして、青年はその經濟的鬪爭のみならず、凡ゆる青年特殊の要求のため鬪ふことが出來る。

　青年運動が、獨自の組織を必要とすることは、青年の獨立的行動の必要を意味する。

　青年同盟は、黨の一機關ではない。從つてひたすらに無批判に黨の命の儘に動く從屬物ではない。青年同盟は、青年層の全面的鬪爭を指導して戰ふところの、政治的大衆的日常鬪爭の機關であり、黨組合と別個なる組織である。だが、それ故に無產階級の全般的鬪爭を指導する階級的黨との間に密接なる關係を有し、その政治的指導を離れる事は出來ぬ。青年同盟が黨から全然獨立し、政治的中立を持するが如きは大なる誤りである。

　青年同盟は、積極的に執拗に黨に働きかけ黨の日常鬪爭と組織の中に、青年の要求を有力に反映せしめなければならぬ。此のためには、同盟の前衛分子は黨の活動的青年黨員として戰ひ、黨と同盟との組織の上に於ける關係を密接ならしめねばならぬ。かくて、青年は青年の要求を黨の日常鬪爭の上に強く要求する事が出來る。

だが、云ふまでもなく、青年の要求を輕蔑、無視するが如き黨に對しては斷呼として反對し抗爭する。黨をして誤りなく、全階級の政治的指導を遂行せしむ可く、即ち、眞の階級黨たらしむ可く、黨に對する批判的自由を保留する。だから、青年は、黨の政治的指導下にありながら、黨の鬪爭に協力しつゝ黨への大なる影響力を有せねばならぬ。階級的立場を嚴守して、黨の日和見主義化に對しては敢然と戰ひ、黨をして階級的使命を果さしめねばならぬ。

五

　再建さる可き青年同盟は、かくて、大衆的組織である。而して、明確なるプロレタリア的指導精神を確保せねばならぬ。然らば此の同盟は如何なる組織形態を持つ可きであらうか。

　それは工場(職場、農村)を基礎的單位とする形態でなければならぬ。居住地域を單位とする組織は鬪爭を活潑に圓滑にせしめざるのみでなく、眞に強力なる鬪爭力を發揮せしめる事が出來ぬ。組織の基礎は、生產のその場處になければならぬ。工場農村に根を下すこと、即ち勞働青年が勞働の場處に於て結合し、小作青年を耕作場に結合し此の工場班乃至農村班の日常鬪爭を通じて、全工場農村の青年をひきつけなければならぬ。

　支部は、從つて、或る地域の產業班の結合でなければならぬ。

　以上の原則が確立せられた時、產業別に組織せられたる青年大衆の強大なる鬪爭力が確立せられる。

（四十三頁へ續く）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

階級戰線を攪亂するものは誰ぞ

――(大山郁夫は何處へ行く)――

吉田源藏

(一)

「階級戰線を攪亂する無產大衆黨の出現」是れ、新黨組織準備會の首領大山郁夫クンが「ブルジョア新聞に報道されたもの」を對象として、「たゞ毫末も忌憚なく」單一無產政黨主義の立場から語りしもの、ブルジョア雜誌「改造」九月號に公にして、「根本的重要點に於て動かせない」彼の「確信を反映した」ものである。

そこで、私は、大山クンと同じく單一無產政黨主義――「鬪爭の爲めの戰線統一」――の立場から、しかし、私は「ブルジョア新聞に報道されたもの」を對象としたのでなく、無產大衆黨自身の主張と、舊勞農黨の闘爭精神を固守する、新黨準備會を背負つて立てる大山郁夫クンが、「毫末も忌憚なく」語りし、正眞正銘の、彼の腹の底の底をも對象として、戰線統一を衷心希ふところのプロレタリアーの一人として、「毫末も忌憚なく」「階級戰線を攪亂するものは誰か」を穿鑿して見ようとするものである。

大山クンは、先づ、その「毫末も忌憚なき」その劈頭言つて居る。

「……新に生れた無產大衆黨が、それとさうた、それと支配階級との對立にさへも新黨準備會との對立を何にもまさつて――まさつて――強調してゐる以上は、我々が新黨準備會の立場から、それに對して感じてゐることを一言するのは、決して無意義なことではない筈だ……

「……いづれにせよ、現在の瞬間に於て我々の立場が、彼等のそれと對蹠的地位にあると云ふ根本的事實だけは、何物を以てしても變へることは出來ない……

「……私は無產大衆黨の組織者たちの人的關係については、一切口を噤まうとしてゐる……

「……さうした人的關係を通じて、同黨を見ると云ふことは、同黨の本質を知る上に大切なことであるかも知れない、否、大切なことであらう。たが、それは私には出來ないことだし、またよく出來ても、私はそれをすることを欲しない……」と。

甞に然り、若し人的關係から無產大衆黨を見れば、その組織者達には甞て「一般民衆の推戴す可き偉人を選ぶ權利」と云ふような民主々義を唱へた人は一人もなく、同黨の本質が、あまりにもよく知れるので、それはよし出來ても、大山郁夫クン自身には非常に都合

の惡いことになるであらう。

（二）

「無産大衆黨が、それと新黨準備會との對立を何んにもまさつて――さうだ、それと支配階級との對立にもまさつて――強調してゐる……」等とは、一體何に怯へられたのか、浮氣稼業上りの女が、誰にもまして嫉妬心の強いやうに、支配階級との對立にもまさつて、同じ味方の陣營に對立して抗爭を續けられて來た……そして現に、これにもまさつて抗爭を續けられつゝある大山クンとしては、無産大衆黨の結成は、なる程ジユピターの頭の中からミネルバが飛び出した樣に驚かされるのも無理からぬことではあらう。

だが、大山クンよ！御安堵召されよ。無産大衆黨は斯う云つてゐるのです、そしてこれは、ブルジョア新聞の報道せしものではなくして、無産大衆黨自身の言葉です。

「勤勞農民黨々員諸君！

政治的日常鬪爭としての勞農黨を奪はれてから、勤勞農民戰線に於ける日常の發揚たる政治鬪爭は殆んど休止的狀態である。

此の結果は何をもたらしたか。

一般大衆は政黨中立から政治中立へ、さらに政治的無關心に陷らんとし、之と共に組合運動の鬪爭力も亦萎縮した。

その間隙に乘じて、右翼化の傾向は彌漫し支配階級の彈壓は加重されたのである。

勤勞農民黨々員諸君！

かゝる傾向とたゝかひ、彈壓と有効に抗爭するには、眞の大衆的鬪爭による外はない。しかも政治的日常鬪爭戰鬪を缺く限り無産大衆を大衆鬪爭に動員するは困難である。新黨準備會の所謂大衆鬪爭の失敗は、實践に於て之を示してゐる。

而して、大衆を動員し得る、かゝる機關は少くとも現在の狀勢に於ては合法的政黨を除いて他に之を求む可くもない。

踏み躙られた戰線の建設、統一、擴大も今や無産大衆の切實なる要求となれる無産政黨の合同も、合法的政黨を俟つて、始めて成功的な段階に這入り得る」と。

實にさうだ！踏み躙られた戰線の建設、そして統一、擴大も、亦吾々プロレタリアーの切實に要求しつゝある全無産政黨の合同も、現在の狀勢の下に於ては、合法的政黨を俟つて爲すにあらざれば、決して成し遂げられるものではない。

嘗て、日勞黨は、新黨組織準備會の合同提議に對して、合法政黨としてでなければ提議に應じられないと爲した。況んや全戰線の合同に於ては、右翼をも捲き込まねばならないのである。新黨準備會が眞に全無産階級の利害を代表するところの、階級的立場にあるものなれば、先づ何を措いても、合法政黨結成の鬪爭を爲さねばならぬ筈である。爲さねばならぬことを、半年も放置しておくが如きは斷じて階級的立場に起つもの、態度ではない。しかも、之れを成し遂げんとするものに對して「官許」「退却」「武裝解除」等々の難癖をつけて、裏切り呼はりをする等は、明かに、それこそ實に裏切りであり、戰線の攪亂者である。

吾々は、君の言はれる「……支配階級との對立にもまさつて強調してゐる」ものが如何な

るかをハッキリと知るのである。それは即ち新黨準備會の立場に立たれる、大山郁夫君その人である。

大山郁夫クンよ！

若し此處に盗賊と妥協するものがあつて、それが、盗賊の加へる害惡を輕くする爲めに妥協しても、君はそれを盗賊と臟品を分配せん爲めに妥協した共犯者として告發せられるであらうか。

君よ！吾々の歩む道は「ネプスキー通りのペーブメントはかりではないのです。

吾々の條件を以てして、支配階級に號令することゝ、支配階級の條件の下に吾々が屈服することとは、どちらが望ましきことであるかは、あまりにも明白な事柄である。たゞ吾々は、或る具體的一定の條件の下に於ては吾々が支配階級に號令する爲めに、一定の限度迄吾々の行動を支配階級の條件の下に制約せられることを忍ばねばならない場合もあるのである。

君は「無産大衆黨が出來た當時に、ふと感じ」られて「何を爲す可きか？」の中の「批評の自由とは何を意味するか」の一章の末節の文句を引き合ひに出しておかれる。そこで私も「……その一々の文句を我々の場合に當て嵌めて、具體的意味を帶びさせようとしてゐるものでない」と云ふ君の都合の良い御言葉を拜借して「起り得るあらゆる誤解を防ぐために」キッパリと、特にお斷りしておいて、プハーリンの「カアル、カウツキーとソヴイエットロシヤ」の中の一句を引き合ひに出すことゝしやう。

「ブルジョアジーとその警察、間諜、著述家等は、久しい以前からデマゴーグ的遣り口を用ひ、それによつて屢々効を奏してゐるのである。彼等の支配を脅かすところの黨が出來上らうとするのを見ると、假令それがどんなに小さなものであらうとも彼等は、直に勞働者に向つて云ふ。

「この黨の首領達は、諸君を肉彈にしようと欲してゐるのだ」と。

かくて吾々は、我が無産階級運動の陣營内に「支配階級との對立にもまさつて」吾々との鬪爭者を見るのである。

×　　×

しかしながら「惡魔も聖書を引用」し「反動的論客の側からさへもマルクスからの引用句を屢々發射されるやうな」世の中とさへなつて來たのであるから、況んや「鬪爭の爲めの單一無産政黨主義」を奉ぜられる大山郁夫クンよ、レーニンの「何を爲す可きか？」を銘記せられてゐる限り恐らく、沼地に墮ちられることもあるまいが、そして、君には、常に、より高き形態へと飛躍する爲めの翼……左翼と云ふ翼の持ち合せもあることだから、何れ、さうだ！差當り天上でもされることとなるであらう。

が、しかし、それは御自由です。たとへ天國であらうが、極樂であらうが、いやそれどころか、現實を離れた天國こそ、大山君等のほんとうの居場所なのだ。

我々は、現實の下界に足を踏みしめて、常に夢の國に逍遥されてゐる人達が天上されるときの「左翼」と銘打つた、國際的專賣品の片翼の、使ひ分けの妙技の御手並を「緩々と拜見」させて戴くことゝしよう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

問題の解說

幣原外交の正體

田中反動內閣の對支外交失敗を攻擊する民政黨の外交方針は、加藤・若槻兩內閣の外務大臣だつた幣原坦が確立した故、これを幣原外交といふ。そして內政不干涉主義を聲明し消極的傍觀的對支外交方針を以て臨んだので不干涉主義とも呼ばれてゐる民政黨內閣の外務省參與官であつた永井柳太郎をして、暫く語らしめよう。(東朝所載)(對支外交果して過てるか)

「從來我國の外交は多く追隨外交であつた(中略)幣原外交は日本獨自の見地に立ちて日本國民の生存と使命のために勇敢に戰ひ」云々。

「幣原外交の重要なる部分は、そのアジアに關する關係である」

「最も心血を注ぎたるは對支外交であつた一面支那の國民的宿望中道理あるものはこれを承認して新興支那と日本との間に不可分の情誼を結ぶと共に他面支那に於ける我既得の權利利益を確保し、進んで經濟的進出の機會を開拓する爲め全力を傾けた」

これ等の言は、民政黨內紛の前後資本閥の間に幣原外交に非難の聲がかまびすしい折柄發表されたものである爲、內政不干涉による漢口南京の兩事件、上海の排日運動等の損害に就いてはなるべく觸れぬ樣にしてゐる。併し、九月十七日大阪に於る幣原前外相の演說では

「內政不干涉と權益の擁護といふ事は必ず一致すべきものであり、また一致させねばならぬ」

「滿洲の權益は東三省の政治組織如何によつて左右される樣な薄弱なものではない」

云々と云つてゐる。

日本資本主義の發達が獨自な帝國主義的步調をとるまでに至らなかつた際は「多く追隨外交」によつて、列强の所謂獅子の分前にあづかつて來たが、歐洲大戰後、火事場盜棒的飛躍をして日本資本主義は、支那に於て殊に中支に著大な發展を遂げ、英國の勢力と伯仲するに至り「日本獨自の見地に立ちて」行動する必要が生じた。そして支那の近代的ブルヂョア國家としての結成の齎す動亂休止による資本侵略のよりよき條件を獲得するため「支那の國民的宿望中道理あるものは承認しなければならぬ。斯樣な一切は要するに「經濟的進出の機會を開拓するため全力を盡す」日本資本主義の大目的の單なる手段なのだ。故に支那に於ける統一運動が如何なる傾向のものにせよ目鼻のつく迄は御世辭笑ひをして內政不干涉とか消極主義とかの口上を述べて居なければならなかつた。そこで「內政不干涉と權益擁護とは一致し一致させねばならぬ」のである。滿洲は、天然の資源に乏しい日本資本主義にとつては死んでも手離せぬ寶庫である。東三省の政治的關係がどうならうとそれによつて左右される程薄弱なものでもなくさうあらせてもならないのだ。即ち滿洲問題は「支那國民の道理ある要求」としては承認しないのだ。所が、民政黨內閣瓦解の諸原因、產業資本の顚落、寡頭金融資本の壓倒的支配、即ち國內產業の破產と利鞘取りの支配は、從前の、日和見的待機的外交を不可とし、武斷的積極的我武者羅的外交—田中反動外交を要求するに至つたのだ。

幣原外交が對支不干涉であり無產黨の對支外交方針が不干涉であるといふ單なる形式的一致により日、和見的帝國主義的資本主義外交と、兩國の××××のため共同戰線展開を要望するものとの對立といふ本質的差違を、ぼかされてはならない。

全土戰報

朝鮮旱害災民を救へ

咸南其他同地方を除いては全鮮にわたつて大旱魃に襲はれてゐる。この旱魃による農民の困乏化は實に我々の想像のそれどころではない。

「旱魃は豫想外に激甚で、全鮮で水稻植付不能面積十萬町歩（この減收百万石）で植付遲延による減收を合すると全鮮で少くとも三百萬石の減收と稱されてゐる目下代用作としてそば粟の植付を盛んに奬勵してゐるが、旱害の最もひどい慶北の如きは堤防の草まで枯る實情なので代用作もまた枯死する慘狀を呈してゐる」（大每八月廿八日）これはたゞ大每の紙上で見た旱害の一狀況にすぎないが（しかも總督府の二三の技師の口から出た數字である）

更に東亞、中外等朝鮮人經營紙を見る時に實に言語を絶するやうな朝鮮の慘狀が我々の眼前に展開されつゝあることはいふまでもないところだ。そこに載つてゐる一枚の寫眞版を見てもそれが世界地圖のやうにこまかくひびが入つた田面であるのだ。

又或る紙上では五百萬石減收等々報じてゐるものもある。

たゞ口で或は筆先で五百萬石、三百萬石等といつてゐてもそれが具體的な一々計上した數字でないことはいふまでもない話だがちよつとした田舍に入れば飮用水すらもが不足勝ちであつたり或は二丈位の深井戸に水が枯たりしてゐるものほとんど全鮮的である。從つて大豆、きび、小豆、芋等の雜穀類はその大部分が枯死してゐるといつてもいい位だ。又ところに依つては松、竹の如きに至るまでが立枯になつてゐる。

以下旱害の慘狀は枚擧にいとまない位だ。更に我々はその深刻な餘りにも深刻な慘狀を一々書いてゐる時間とよゆうを持たない。

いづれにせよ、兎角かゝる現場にある二千餘百萬同胞に對して我が×××當局は如何なる救濟策を講じてゐるであらうか？

さき頃朝鮮視察の途上にあつた日本政府大藏次官の某は「朝鮮農民は實に悲慘だ。悲慘だ。慘めだ」と連絡船の訪問記者に語つたそうだ。又我賢明なる次官は「何とか救濟策を講ぜねばならない」と言つてゐたそうだが、我々の現狀は決して金持ちの奧樣や所謂政治家先生共の上つ面丈の救濟策？に依るすゝめの涙程の救濟基金位では救はれそうにもない。又總督府の御役人樣方の御好意？に依つて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

め　通

代用食としての滿洲粟の關税低下方について御考究中たそうたが、しかし農作物の枯死に依つて今すでに飢餓に襲はれてゐる我々にいくら關税の引下を考究して貰つても一升の粟も買ひ得ないことはいふまでもない話した。愛らしき小供欺し政治家達よ！諸君のその手品はすでに種あかしの終つたものた。

　それ程朝鮮同胞を愛？してゐるなら、なぜ日本の勞働市場にその飢餓に依る勞働を賣らんとする勞働者、農民の渡日を禁止してゐるのた！。我々が新附日本國民である以上は我々が御大典を奉祝してならないといふことはないではないか？しかるになぜ御大典警備の名の下に渡日を禁止するのた。又貧者に朝鮮農民を救濟する氣持ちがあるなら、なぜ勞働力を賣るの自由を奪ふのた。

　これこそ田中××内閣の残忍極まる暴政の發露でなくて何た！

　親愛なる滿天下の同志諸君！

　諸君こそは飢餓に瀕してゐる朝鮮農民を救ふ唯一の味方た。

　なけなしの財布をはたいて「朝鮮貧農飢餓救濟基金」に送れ、（本誌發行所事業部宛に）朝鮮人の渡日に對する一切の制限を廢止しろ！

　飢餓に直面してゐる二千萬同胞を救へ！

　全國的、大衆的救濟運動を起せ！

西之宮市朝鮮村立退問題と朝陽同志會の活動

一九二八年九月八日午後八時尼ケ崎市舊城内、城内倶樂部に於て、我が「朝陽同志會」は第二回總會を行つた。

司會者　李成執
議長　崔浩俊
書記　安光秀
同　金正吉
代議員　二十三名

順序
經過報告
會計報告
規約改正
事務所建設
維持方針
全朝鮮鬪爭團體合同問題

香櫨園夙川堤朝鮮村立退問題

此の總會に於て最も重要問題となつたのは最後の議案である「香櫨園夙川堤の朝鮮村立退問題」である

　香櫨園夙川堤にある朝鮮村は戸數二十九戸人口百四十二名にして、男子八十四名、婦人二十六名、兒童三十二名より一部落を成して居るので、去年の二月頃より諸所を失業、住宅難等々の理由の下に該地所に蝟集し來たり、過般の總選擧には、民政黨の前田房之助氏に投票したるもの多數ありて、何れも公民權を有するものなるが、最近該地先が兵庫縣西之宮市にある官有地なるを以て、兵庫縣警察局は、警察の手を以て強制的に追放せんとしたものである。

　警察當局が追放せんとしたときの理由は「警察法違反＝官有地不法住居」と云ふにあつて、追放執行吏のあるものは「行き先きがなければ監獄にでも行け」等々の暴言を吐きしとか。

　これに對する善後處置に關しては、直

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

接の關係にある西之宮市當局は何等の對策を講じ居らず、前記前田房之助氏に投票せしめたる民政黨の如きは反つて市當局及び縣當局と共に警察力を以て、無理矢理に追放せんとして、土地發展上に良くないとの極めて無謀なる言辭を弄して百數十名の我が同胞の居住權を犯さんとしてゐる。

そこで朝陽同志會は、此の朝鮮村の立退き問題を重大なる社會問題、人道問題として、根本對策を講ずることゝなつた

朝陽同志會第二回總會は此の件を滿場一致を以て可決し、直に活動に移つたが一方朝鮮村に於ても、日本勞農黨兵庫縣支部に依頼し、代議士河上丈太郎氏、兵庫縣會議員阪本勝氏、尼ケ崎市會議員藤岡文六氏、朝陽同志會執行委員崔浩俊氏等に一切を委任して對策を講ずることゝなつた。（進め社神戸支局）

佐賀縣の同志諸君に訴ふ

吾佐賀縣にも時代の潮流に押されて無産階級解放運動の漸く盛力を得つつある事は、一面現内閣及び資本家地主階級の勢力の失はれつつある事を如實に物語るものだ。

たゞまた階級意識の足りない、或は全く無い大衆が縣下に充滿してゐるのだ。

社民の支部が唐津に出來た。そしてぐんぐん勢力を扶殖しつゝある現實を觀て吾人は默視するに忍びない。

何故なら、吾人は社會民衆黨の指導精神が餘りに右翼的であり、常に戰線統一を破壞してゐるからだ。例へば、最近の組合會議結成に際しても、明かである。

一日後るれば一日吾人の戰線が縮少されるのだ。立て！同志諸君。而して日勞黨支部を樹立仕樣ではないか。

日和見主義と謂ふと、何と謂ふと、現内閣の如き反動政府の下に於ては、所謂合法的政黨に寄らずして何事が出來るか？合法政黨を否認して何が出來るのだと云ふのか。唯いたづらに聲のみ大にした處で、實行の伴はぬのでは空言では無いか。小兒病的傾向を帶べる結社は地方的にも駄目だ。新黨準備會の指導方針も排撃せねばならない。又最近杵島郡西部立憲青年黨なるものが、先般結黨式を擧げた。世話人として民政黨所屬現縣議某々、其他一味數名、資格者を滿廿才以上四十歳迄として各村に支部を設けてゐる。支部役員も同じ穴の貉、然も覺めない大衆は知らずに彼等の口車に乘つて入黨しつつある。

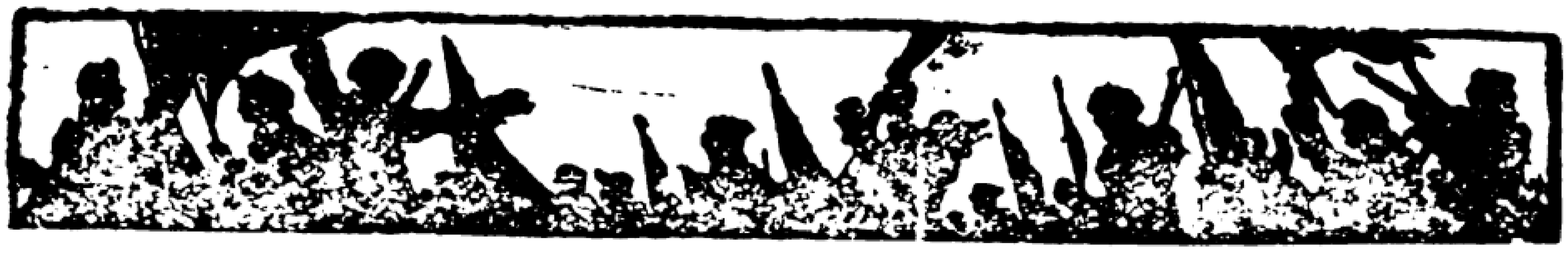
純然たる民政黨の別働隊なのだ。嗚呼シヤクだ。斯くして吾縣の大衆は彼等にうばはれて仕舞うのだ。

だから俺は叫ぶ！支部をたてよ！

而して彼等から大衆をうばひ返せ自然發生的に放任する事も或程度迄は宜いだらう。然しそれは恰も自然發生的ストライキの組織的ストライキに比して勢力の無い事と同理だ。アヂテーションするにも確固たる所屬がなければ餘り効果が無

い。又大衆を迷はす事にもなるのだ。
繰返して叫ぶ
縣下同志諸君立て而して日本勞農黨支部設置に向つて邁進仕樣ではないか（一九二八、九、一）佐賀縣住ノ江有明吞洋

進め



三不良團體及び不良分子排撃聲明書

> 本誌六月號全十戰報欄所載の「全國水平社藝術聯盟」生るは、文藝戰線にも同樣揭載されてあつたさうだが、九月十四日、水平社總本部の深川武氏が來訪され、全國水平社藝術聯盟の反動性を指摘され一般大衆の誤解を受くるおそれがあるから右の聲明書を揭載してくれとの事であつた。

■今や支配階級の意識的な水平運動抑壓は因んで差別の容認奬勵となり並びに懐柔的融和政策、スパイ政策は反動的御用團體の簇出となつて益々露骨な全面的攻勢の魔の手は全部落民の上に現はれて來てゐる。

我々は今や、その差別の根據がブルヂヨア社會制度の根幹を爲すものであることを見究める。從つて凡ゆる差別の徹底的除去を期すると共に我々の水平運動を彌壓することにのみ汲々として、何等顧みるところのないブルヂヨア支配への徹底的抗爭を期する（中略）

その故に我々は水平運動の假面を被り只々支配階級に阿諛迎合する事に依り、賣名と私利の爲めに反動的役割を大膽に白日の下に演じて、猶部落民を喰ひ物にせんとする似而非水平社及び不良分子の排撃と撲滅を進めて行かねばならぬ。

全國の水平社及び各無産團體諸君！

我が全國水平社は茲に左の三不良團體及び不良分子に何等の關係の無き事を明かにし、而してその排撃を期するものである。

一、日本水平社

日本水平社は既にして全部落民の知れる通り、我が水平運動の前科者南梅吉の統帥する所謂反動的御用團體である。彼等は絶えず全部落民の利害を代表する我が全國水平社に對しては中傷と讒誣に依る對立と抗爭を以つてして警察當局の擁護の下に僅かに南梅吉個人及びその數下の私腹を肥やして來た

二、日本主義水平血盟團

右團體は高崎市宮元町に居を構へ、小林和吉と稱するもの首領格となり、或ひは高崎水平社と稱し絶えず部落大衆を背景に仕立てゝ惡事を働き、常に反動團體大化會の岩田富美夫等と交り、脅迫團體の名實に副ふた能力を發揮しつゝ來た。

彼等は昨年、菊地寛氏の小説——特殊部落の一夜、其他——の差別的問題に就て反動岩田等と共に正當なる糺彈行動でなくして最も慎しまねばならぬところの強迫的利權的糺彈手段を弄し、菊地氏をして澤田正二郎氏の演劇を高崎劇場でやることを承諾せしめ、その收入利益金をさへ不明ならしめてゐるとか。

實に彼等は差別に對する糺彈運動の本質を忘れ一般民衆に水平運動を一種の暴力團體かの感を抱かしめる等、正しい水平運動を冒瀆せること甚大である。

三、全國水平社藝術聯盟

右は本年五月の中央委員會の時に京都に來り、藝術聯盟を全國水平社の統制機關の下に置くことを認めてくれと建案したるが我が中央委員會は、今認めるわけには行かぬ、と確答を與へなかつたのである。

然るに、その後山本欣三なるもの及び櫻木某（彼等は部落民には相違なきも水平社とは從來無關係のもの——惡質ブローカーである）は全國水平社藝術聯盟の名稱を水平社の機關の承認なきに係はらず勝手に振り廻して全水の統制を破つてゐる。

彼等は最近、劇作家山本有三氏及びキ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

遍め

ング七月號長田秀雄氏作品中の差別問題に就て糺彈に行つてゐる。而も、元同愛會員の不良文學青年と共に又は前掲高崎の反動ゴロと通謀して。——

反動團體有馬頼寧の乾分の青二才、及び暴力團と策謀せる彼等の行動を見よ！

やはり、其處には唾棄すべき、强迫がましい暴力團的、寄附强制的、詐欺的、乞食的（長田氏から旅費と稱して二圓なにがし乞食してゐる）な糺彈でない糺彈をやつてゐる。

斯くの如き徒輩、斯くの如き行動の行爲者は、勿論、正統水平社の前には眼まぶしく、東京府水平社の機關を逃げ、避け廻はつてゐる。

勿論、我々は以上の作家の差別的作品、及び何等の良心なき營利出版業者共の無責任に就ては斷乎として糺彈する。それは夫々全國水平社の組織に從ひ東京水平社若しくは東京府水平社（何れも東京市淺草區松葉町所在）先づその衝に當ることになつてゐる。

我々は、斯かる藝術てふ假面を被れる差別的作品、ブルヂョア御用作家の反動的作品——資本主義を肯定し、擁護する故に無産大衆の反抗を痲痺さすべくして盛られたその文章の至る處に羅列してある夢の如き美しい文字又は無産藝術運動への挑戰、一般民衆に差別を肯定さす可くしてのその差別的文句の現はれ——に對しては絕えず曝露し排擊し糺彈して行かねばならないことを主張するものである。

但し如上の各團體は我が全國水平社と何等の關係なき無責任なる一人一黨的不良團體にして全國水平社の統制を紊し、更にその糺彈手段たるや卑劣にして、却つて水平運動の冒瀆となる事を知るが故に我々は排擊するものである。

尙、今後は文藝的作品の上に現はれて來る差別に對しては一層の宣傳と與論に依つて糺彈を進めねばならぬ。

四、下　阪　正　英

右人物は兵庫縣水平社同人であるより、かつて全國水平社の第一線に起つて運動に加はつてゐたことありしが、その當時より水平運動の第一線に起つべき鬪士としては如何はしき行動を續けて來たところの一種の水平ブローカーとも云ふべき非人格者であつた。然るにその後大阪府、向野水平社の同人を瞞着して數千圓を着服したことがあり、又は關西に於ける同志を欺いては金錢の詐欺を働き、自己の遊興の費に充てゝゐた。（中略）

今や彼下阪は公然と警視廳のスパイとして肩で風を切つて步いてゐるさうだ。

我水平社、及團體に於かれても宜しく階級的裏切者に對する、苛責なき排擊に努められん事を深く〳〵希望する次第である。右聲明す

昭和三年八月　日

大阪市浪花區榮町四ノ二三

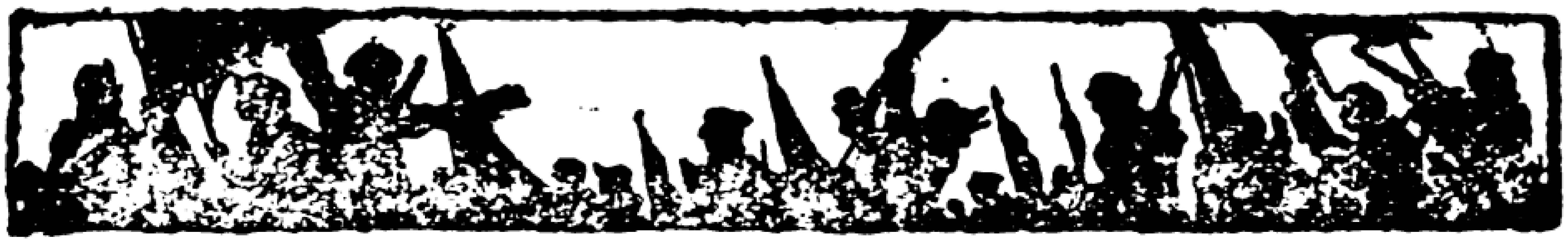
全國水平社總本部

振替大阪六四三七八番

電化の同志勝つ

電氣化學工業株式會社伏木工場に働いてゐる同志達は、「電化從業員組合」を創立せんとしたところ、狼狽した會社は幹部に對して「すぐ組合を解散せよ」と命しつけたが、從業員は、日頃こらへにこらへた不平を一時に爆發して八月十五日十三ケ條の要求を會社につきつけて、若しこの要求をじうりんする事があつたなら、直にストライキを開始するとの意氣物すごく、益々結束を固めて戰ひの決意を見せたので、流石搾取と詐欺の魔手をふるふ會社もヘコタレ、十ケ條を承認したので、從業員側も之を諒として解決した。

進め



しかし、吾々は平常において強い組合の基礎を作つておかねはならぬので伏木勞働組合準備會ではこれを機會に、各工場勞働者の有志、代表者のみの「工場懇談會」を二十一日中伏木常願寺において開くべく左の加盟勸告のビラを配布した

「全伏木の勞働者諸君！電化の兄弟は會社の待遇にたへられなく「從業員組合」をつくつて、會社に交渉した結果、見よ！見事に大勝利したではないか、夫は全職工が一致團結した組合を以て正々堂々さ戰つたからこそた、王子製紙、板紙、北陸肥料、北海曹の兄弟諸君！諸君は働らく時間が長くて困らないか？賃銀が安くて生活が苦しくないか？工場の設備はさうた、衛生設備は完全か、若しその一つでも不滿足たつたらオレ達は安心して働けないではないか？明日オレ達がさんな大ケガをしないさ誰が保證出來るか明日會社の都合さかで長年勤めたものが無一文で首を切られるかも知れないではないか、否、そんなことはこれまで數へきれない程あつたではないか？そんな時一人で會社におねがひしてもダメたつたではないか、こうした勞働者の日頃のことを守つてくれるものは、勞働者自身の「勞働組合」より他には何一つないのでそれほど諸君達が團結すれば強くなるのた團結のみが、組合のみがオレ達を守つてくれるのた、たから會社にさつては組合があつては自分達の思ふまゝにならぬから、組合のことを惡くいふのた、それに資本家は「水曜會」さいふ資本家同志の團體をもつてゐるではないか全國到る所、勞働者のゐる所、必ず組合があるのた、組合のあるところ、必ず勞働者の賃銀、時間工場の設備はよくなつてゐるのた、勞働者は安心して働らけるのた、一日も早く諸君達は自分の工場の中で寄り合つて各現場の有志が組合をつくる相談會を開け！男も女も少年も老人も勞働組合に直に加入せよ！全伏木の勞働者團結せよ！十一日の「工場懇談會」に各工場代表者有志を必ず送れ

八月二十日

伏木勞働組合準備會

（難波支局報）

日本勞農政治經濟研究會に參加せよ

日本勞農黨の、關西地方に於ける黨員の有志から成る「日本勞農政治經濟研究會」の第一回研究會が、一九二八年九月十一日夜七時から、大阪進め社事務所に於て開催せられた。

出席者を擧ぐれは左の如し

日本勞農黨關西事務局	岩崎正三郎
日本勞働組合同盟	末永實吉
高知勞働組合	前田晴生
日本勞働組合總聯合	宮原末男
京都西陣賃業者組合	河邊友吉
日本勞農黨浪速支部	兼松清美
同	山本義一
同	乾松太郎
大阪勞働組台	大野偉良
同	吉田源藏

以上の通り第一回の研究會さしては可成りの出席成績を示した。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資料

富山電燈爭議と聲明書

（富山縣全土を包む爭議の聲、電燈問題の文獻として支局調査のもの主として民衆のもの、縣のもの會社のものを紹介いたします。）

その一

横暴なる富山電氣に對し秩序整然たる電燈料値下期成同盟會今次の勇敢なる鬪爭に滿腔の敬意を表し吾が縣創立以來の宿題たる電燈料値下運動の徹底を期し吳山以西の電氣消費者の利益を代表し之を援護せんため電燈問題の根本的調査と電燈料値下期成同盟會の積極的援助を爲すをこゝに聲明す

昭和三年八月十日

■　自治倶樂部

富山電氣會社配電區域の電燈爭議滑川町外四ケ町に於ける斷線消燈に始まり爾來消燈の事實なしと雖もその爭ひは逐日熾烈となり今や各地に波及擴大して爲に民心の不安その度を増し公安を妨げ部民經濟の伸暢を抑止し延て健全なる町村自治の進展を阻害するの虞れなしとせず、自治團體の首長たる吾人町村長の深憂に堪えざる所なりこれが問題を解決し爭議を靜止し以て民心の安定を圖るは特に焦眉の急務たるを信ず、吾人町村長は素よりその職責に於て能ふ限り部內の平靜と波動防遏に善處しつゝありと雖も爭議の繼續は益々事態を深刻化しその影響や重大なるものあるを思ひ一日も早く問題解決の曙光を見るに至らむことを熱望して歇まず而してこれが調停の實を擧ぐるにあるのみ願むらくは關係者よく此處に思ひを致し速かに圓滿妥協し以て不安を一掃せむことを敢て聲明す

東京市會醜怪史

これは日勞新聞九月十五日號に掲載されたものである。東京市政の腐敗愈々市民の前に暴露する時、この暴露記事は極めて有益な記事たるを失はない。敢て掲載する所以である。

火事と喧嘩は江戸の花だと言ふが今一つの名物が殖えた。それは東京市會の疑獄事件である。板舟補償並びに京成電車乘り入れを機會として暴露した東京市會の腐朽は既に市會議員の收容せられたもの十數名、然もその波及するところ那邊に及ぶか豫測すべからざる狀態である。俺は潔白だと御丁寧に聲明書まで出して收容された市會議員があるかと思へば、往生際を惡くして逃げ廻つてる市會議員がある。よくこれまで腐敗した人間許を集めたものだと驚歎せざるを得ない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

昭和三年八月十一日

富山縣町村長會

■

無産大衆の全要求の一迸りが今回の電氣爭議を捲起したものでこの事は不景氣のドン底の襲來そのものゝ爲めで無くして實に永い間苦しめられ來たつた大衆の反抗心が不景氣といふ一現象にぶつかつて爆發したものである、そしてこの一要求は決して電氣料値下のみの運動では無くして、それと同時に、稅金値下、惡稅撤廢（自轉車稅、特別所得稅等）又、一切の全無産大衆の生活保證に對する要求等と結びつけての運動とならなければならない、それでこそ初めて無産大衆の意義ある要求となるのである、然るに、富山、滑川、水橋、岩瀨各同盟會は無産政黨等の闘爭的應援を拒否し、又、電氣値下は階級闘爭ではないと聲明してゐる。我々は無産大衆の眞の要望はこゝにありと斷定し、各同盟會の誤謬を批判し、指導せんとするものである、全無産大衆諸君は電氣値下のこの大衆的闘爭によつて勝利を占め更に他の凡ゆる無産階級要求にも勝利を占め得る唯一の武器は大衆的闘爭そのものであることを、はつきりと經驗するであらう、されば、今日の大衆運動こそは實に、全無産大衆の日常利益の勝敗の分け目である事を知り果敢に闘爭しなければならない、この意味に於て、我々無産藝術家は全無産大衆の利益のために、執拗に、電氣料値下同盟會を全幅的に支持するものである

八月十日

全日本無産者藝術聯盟富山支部
富山プロレタリア藝術聯盟
無産文藝社
富山藝術批評社

■

呉山以東に於ける富電對同盟會の經濟的確執は暴戻なる富電會社の、彈壓的闘爭、挑戰的術策によ

東京市政が施行されてから四十有餘年になるが、その市會の歷史は宛然たる一篇の疑獄史の觀がある。先づその主なるものを列記して見るならば

一、明治二十八年の水道鐵管事件
一、明治三十三年の汚物掃除事件
一、明治四十四年の瓦斯合併事件
一、大正九年の砂利事件
一、同十年の瓦斯値上げ事件
一、昭和三年の板舟事件並びに京成電車乘り入れ事件

と、一寸數へる丈けでも十指に餘るほどである。これに依つて見ると、東京の市會議員は四十有餘年間相も變らず水道の鐵管を嚙じつたり瓦斯を飲んだり、砂利を食つたり、緩いはき溜を漁りまわつてゐたと言ふことが解る。

× × ×

明治二十八年の水道鐵管事件と云ふのは水道の鐵管に從來使つてゐた

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りて遂に深刻なる社會問題を惹起し今や重大なる思想問題として全國民の環視裡にこの歸趨を憂慮せられつゝあり、單なる經濟的確執をして斯くの如き重大化せしめし責任二者その何れに在りやは吾等の喋々を要せざる所にして、既に、社會民論によりて明かなり。由來我が富山縣は大自然の惠與によりて水電王國を以て全國に誇示する所なり、故にその電力使用料に於ても亦低率ならざるべからず然るに何ぞ、暴戻なる富電會社は事業の獨占を以て、利益の獨占なりと專斷し、需要者と倶に共存共榮の實を擧ぐべき、公共事業會社たるの使命を沒却し、我が縣民の天賦の利益を壟斷して只會社の高率配當に專心するが如きは、天人倶に許さゞる暴擧なり、宜なり偶々吳東の一角に富電膺懲の烽火一度あがるや、電光的速力をもつて同配電區域の團結となり、大民衆運動となり、暴戻なる富電の彈壓に對し勇敢に然も秩序ある抗爭を續けつゝあり、この時に際し富電配電區域に於て最高率の差別料金を強られつゝある吾々が、傍觀的態度を持續し來りしは會社の措置を正當なりとせしに非ず、たゞ事件の紛糾を懸念し、會社の冷靜なる反省によりて圓滿解決を期待せしに他ならず、然るに富電は未だ毫も反省の色もなく、不自然なる手段によりて事件の解決を企圖するが如し卽ち吾等はこの不自然なる手段を斷乎として排擊し、合法的積極的手段と紳士的態度をもつて、本郡の最高率差別待遇を撤去し更に既成同盟會と共に三割五分の値下を要求しその貫徹を期さんとす、敢て本同盟會の態度を天下に聲明す

昭和五年八月十一日

氷見郡電氣料値下期成同盟會

■

三日市町電氣料金値下期成同盟會は去る七月十一日調停委員會の作成に係る調停案に賛成したるため同盟聯合會の各地とその立場を異にしたる觀ありたるもその後調停委員會は最初の主旨を貫徹することは至難なるを見て八月七日同會を解散したりよつて我が三日市同盟會は調停案に贊成の無意義なるにより當然先の三割五分値下をもつて聯合會と同一步調を以て進む事を聲明す

外國製の鐵管を止めて日本製の鐵管を使ふと云ふことを東京市會で決定し、いつもの常套手段で急速に鐵管會社を作つてこれに賄はせることとにした。ところが不良品として排除された鐵管に認可の番號を附し、そしらぬ顔で收めてゐたと云ふ事實が端なくも職工の口から洩れ、朝野の大問題となつてとう〳〵司直の手が下されたと云ふ事件である。この時には市會議員の縄付きは出さなかつたがその次ぎに起つた、明治三十三年の汚物掃除事件に至るとゾロ〳〵と縄付き市會議員を出すに至つたな

この事件は明治三十三年に施行された汚物掃除法に基いて、東京市の汚物を掃除するために汚物掃除會社を作つてそれに賄はせたがその間賄賂收受の事實が發覺し、一大問題を惹起した事件である。この時には當時市會の元兇と目されてゐた利光鶴松を始めとして左の八名の市會議員

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

■

三日市電氣料金値下期成同盟會

我が同盟聯合獨り三日市町同盟會は中途調停委員會の發表したる調停案に賛意を表したる爲め本會の主張と相容れざるものありこゝに離脱せざるの止むなきに立ち至りしは洵に遺憾とする所なり、その後三日市同盟會に對し調停委員會は自個の責任を果さず解散したるは不誠意も甚たしきものと認め自省猛省更生の感を以て強硬なる態度を示したると同時に我が聯合會の主旨に合流し最後まで同一歩調を採る誠心誠意を確認したるに依り茲に再び同盟を容認し飽くまで共同戦線の下に初志の貫徹に勇往邁進せむことを聲明す

富電區域電氣料金値下同盟聯合會

■

多年大衆を欺瞞し搾取し來たる富山電氣株式會社にこの度値下期成同盟會は團結の威力により社會正義の爲富電の暴狀を暴露し勇敢なる鬪爭に滿腔の敬意を表し、吾黨創立以來の主張たる全無産階級の社會經濟生活安定の一歩として電燈料値下の徹底を期し全大衆の利益を代表し値下期成同盟會を積極的に支持する事をこゝに聲明す

八月十三日

海勞江勤勞黨

■

その二

富山電氣株式會社對電氣料値下期成同盟會の係爭は昭和二年十月中旬下新川郡三日市町にその端を發し滑川町、東岩瀬町、東水橋町、西水橋町その他の町村亦之に和し相前後して富電區域電氣料値下

が瀆職罪の罪名の下に有罪の判決を受けた。

稲田政吉、大田直次、峰尾勝春、長谷川深造、今井余輔、横山宮次郎、中島文五郎、後藤亮之助

×　×　×

瓦斯の合併と東京市との報償契約は爾來市會に醜聞を流す原泉となつたのであるが、この時は單に尾崎市長がなぐられた位で問題を起さなかつた。

然るに大正九年に至ると多年鬱積した瓦斯問題が大爆發をなすに至つた。

問題の起りは明治神宮の參道工事の不正が發覺し、市の土木係長笠間等が收容されたことから大問題となり、當時市會を牛耳つてゐた高橋義信が先づ起訴され根岸治右衛門も次で收容された。然し當時道路不正事件はつけたりであつて、問題は瓦斯値上事件にあると見られてゐたが果然！大正十年に入ると共に瓦斯事

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

期成同盟會を組織し電氣料三割五分の値下を主張して料金不納の儀これが達成運動を繼續す一面會社においては久しきに亙る料金の不納は事業經營に著しく困難を來すを以て供給契約に基きて本年五月十七日西水橋町及三日市町における料金不納者數戸に對し斷線消燈したる處兩者の拮抗は地方產業上に惡影響を及ぼすものとなしその間調停を試みんとする地方有力者の出しを慫慂し縣においてもこれが必要を認め會社に對し一時斷線消燈を見合せしめ地方有力者の手に依つて自治的圓滿解決を得んがため、本年五月關係地方有力者を網羅する調停委員會の組織を見るに至れり同會は五月十八日第一回委員會の開催を初めとして爾來兩者の間に立つて各その主張するところを研め愼重熟議を重ぬること數回に及び七月十一日電氣料金一割五分二厘五毛の値下を至當としこれを兩者に提示して同意を求めたるに三日市同盟會は該調停案贊成したるも其の他の同盟會並會社は之を容れず遂に不調の形となりたる結果會社は再び七月二十六七日兩日滑川町、東水橋町、西水橋町、東岩瀬町三日市の各町に亙り料金滯納者の內數十戸に對し斷線消燈を決行したる爲め前記各町は夫々一齊に電球を返還して同情消燈を決行せり爾來同盟會は益々結束を堅めランプ瓦斯燈等の燈火の不足のもとに極めて平靜裡に運動を繼續せり乍去斯る爭議の永續と燈火不足の狀態、治安、衞生、風俗及產業各方面に憂慮すべき事象なるを以て本官は縣治上坐視するに忍びず之が調停の勞を執らむと欲し兩者の間に立つて誠意を披瀝し調停一任方交渉したる結果會社は之を承諾し無條件にて本官に一任したるを以て同盟會側に對しても極力之を慫慂し同盟會幹部と折衝を重ぬること六回に及び各幹部も大體本官に一任の意向ありしもの丶如きも其の間會社側の態度に於て不滿の點あり即ち會社は知事に一任したりと雖も尙誠意を缺くものありやの理由の下に本月十二日午後九時遂に同盟會側本官の調停を拒絶するに至れり然れども本官はこれを以て圓滿解決し願望を捨てず日夜その實現を衷心より切望し方策につき深思熟慮を重ねつゝありしに同盟會幹部もまた愛鄉の念と共存共榮の精神を發揮し再考熟慮の結果翻然覺醒して十月十九日改めて本官に無條件一任方を承諾したるを以て茲に一面需用者の聲に聞き他面會社の經營狀態を調査する等各般の事項を考慮し愼重審議最も適切公平なりと認むる調停案を作り二十日午前零時

件に飛び火し市會議員の收容せられるもの相次ぐの狀態であつた。その主なるものを擧げれば

澤川保平、丸山名政、中村鐵二、伊藤淸、宮崎三之助、棚橋一郎、所澤貞太郎、山口巖、辰澤延次郎、增野豐、杉山健十郎、安住佐太郎、柄井泰、岩松兼重

の十數名に及んだのである。

瓦斯料金の値上問題と言ふは、東京瓦斯會社は石炭の値上を口實として、瓦斯一千立方尺に對して一圓の値上を要求し、東京市の理事者はこれを九十錢の値上案として大正九年市會に提出したのである。ところがこれに對しては異論百出し、或は七十五錢案或は五十錢案、或は三十五錢案を提出して爭つたが結局五十錢の値上として決定したのである。ところがこれを通過せしむる市會に於て、丸山名政の如きは殊更に「質問をしない」と云ふ動議を提出したりして言論抑壓の下に無理々々に押し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三千分赤十字支部樓上に於て之を關係者に披露し交附せり其の内容は別紙の通にして會社の内容に鑑みるに料金値下の余地ありと認め一は産業の發展上より動力料金の値下歩合に於て考慮し一は社會政策的見地より低燭光電燈料金の値下歩合を多からしめ以て中産階級の福利増進に資せむとすると共に地域に依り或は電力使用方法に從ひ其の料金權衡を生ずる嫌あるものに就きては可成之を統一し以て公平ならむことを期したり而して其の細目に至りては別に會社をして縣の承認を得て之を作成せしめ電氣料金をして本縣産業と需用家の要望に適應せしめむことに意を致せり、茲に本爭議調停に至りたる顛末を述べ併て此の際合富山電氣株式會社並需用者各位は調停に對する本官の赤誠微衷を諒せられ共存共榮の精神に基き中斷を謬らず益々自重、自愛せられ累て斯る事態を惹起せざる樣自戒せられむことを切望して已まざるものなり

、昭和三年八月二十日

富山縣知事　白　根　竹　介

■

（富山市西四十物町の電氣料値下期成同盟會は白根知事の調停案に對しかさねて左の如く聲明書を發表した）

全日本國民が凝視せる我經濟爭議は天の與ふる惠みを少數の人々のみが獨占し然も其獨占業者が自己資本の擴大と共に其の基礎の鞏固を加ふるに正比例して愈々益々其の獨占的暴威を逞ふして敢てあくなき暴利を一般消費者の上から搾取せんとするにある、蓋し電燈電力の使用消費が今や國民生活上絶對的必要品にして産業の開發上、社會の保安上、更に文化生活の増進上不可缺の條件となり莫大なる永久的利益の保證は國庫公債に比す可くにも拘らず暴威に加ふに暴利を以てし事業自體が安全にして且半は公共的性質を帶るを忘れ純營業的横暴をほしいまゝにして吾人の生活を脅威するものであるを以て吾人等共に相結び先に聲明したる如く富電に對し電燈の三割五分値下を要求したるものである總ての物品は價格如何に依つて甲乙何れの營業者よりも買入られる事は吾人の自由とするも獨り生活

逃避して了つたのである。その背後には東京瓦斯の金がバラまかれたことは均しく具眼者の豫想する所であつたが、遂に砂利事件をきつかけにしてそれが白日の下にさらされたのである。

×　×　×

大正九年十年の大疑獄事件の後東京市に革新會が組織され、疑獄事件は一時跡を絶つた如くであるが、それは表面丈けのことで、例の瓦斯報償契約更新問題を中心として三木武吉一派と東京瓦斯會社との間に流された醜聞は殆んど公然の事實である三木武吉が猫のやうにおとなしくなつてゐるのは、その尻尾を政友會に握られてゐるからだと言ふことはこれまた殆ど公然の事實である。

今度の大疑獄事件は事末だ進行中に屬するので何とも言はれないが、兎も角大正九年十年以來たまりにたまつて來た内部の鬱積のたまく外

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に絶對必要品とも云ふ可き電氣のみ甲乙を選ぶ自由を吾人から奪ひ敢て飽くなき暴利を一般消費者の上から搾取せんとするは吾等の斷じて默せうとして默せざる所である、然るに此の神聖なる經濟爭議に對し滑川上市を除く東岩瀬、水橋等の聯合側の幹部が自己が其の代表である地位を利用して極めて秘密裡に電氣側より十三萬圓の金錢を授受せんと企畫して居るのを突然新聞紙に曝露せられ憶面もなく需用者に慰藉料として一戶當り一日金一圓、十七日間拾七圓の分配をするなどと見透いた辯明を以て世間を糊塗彌縫せんとし然もその金錢の授受に依つて知事に白紙一任するなどと殆ど一般道德の許す可らざる言語を弄し何等恥る所を知らず遂に輿論の沸騰を恐れ身を隱蔽して暗中飛躍をなし俄然金錢問題を表面に現さず無條件知事一任に豹變して殆ど三割五分値下要求を忘却し大衆生活の利益を犧牲として悔る處を知らざる彼等の奇怪極まる態度は實に天人共に容れるところに非ず、今や本縣下電氣爭議は滿天下の問題として全社會から注視の的となつて一進一退は悉く社會批判の資料とならざるを得ない今日この際我同盟會は一に縣外的に一は縣下大衆のために最後の一人となるまで斷々乎として正しき經濟組織の改革を圖らんとするもので今日知事が發表せる調停案はわれ等の要求趣旨と餘りにも懸隔甚しきを遺憾としあく迄初志の貫徹に向つて邁進することを滿天下に聲明す

昭和三年八月二十日

富山市西四十物町二番地

富山市電氣料値下期成同盟會

■

弊社の電氣料金問題につきまして由來半歳の久しきにわたり紛爭を見ました事は洵に遺憾に堪えない次第で一に弊社責務の至らざりし事を謝する次第であります、顧みますれば此の間において弊社は終始一貫社業の實狀を披瀝し或ひは供給規定を改正して誠心誠意需要家の御理解とその御便宜を圖るに努めましたけれども不幸にして事態は却て紛糾を見ました事は返す返すも遺憾の極みでありまして只管至誠の及ばざりし事を愧る次第であります本縣知事閣下は深く之を憂慮せられ調停解決の一任

部に洩れたものに外ならない。然し問題が板舟や京成電車に限られてゐる限りは呑舟の魚を逸せぬとも限らぬ。それが多年の伏魔殿たる東京瓦斯問題までさらけ出すに至つて始めて問題の當所にふれることが出來るのである。

かく疑獄に疑獄を重ねて來た東京市會を、性こりもなく、默認して行く東京市民の寛大さお目出度さに我々は慨歎せざるを得ぬ。疑獄事件の曝露の瞬間には相當に興奮しながらいか既成政黨の手になした革正運動などの中に卷き込まれてゆくのは、正に前門の虎を追つて後門の狼の口の中にとび込むやうなものである我々はこの時東京市民の一齊に奮起せむことを望むと共に、何れの政黨の革正運動が眞の革正運動であるかと心を潜めて考へて貰ひたいと思ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を要求せられましたので弊社は茲に全部を擧げて無條件一任を申出た次第であります是卽ち弊社が閣下の御裁斷を仰ぎ衷心平和の曙光を希望したる微衷の發露に外ならないのでありまして各位におかれましては右一任は弊社の誠意に出でたることを御認め下さることを確信致します、今や閣下の御裁斷によりまして永き紛議も全くその跡を絕ち昔日の和顏を見ることも近きにあるべきを固く信じて疑はない所であります料金改正につきましては誠に甚大なる影響があり社業の經營容易ならざるものがありますが凡ゆる犧牲を拂ひまして御裁斷の御精神に副はん事を期して居ります、こゝに弊社は將來益々責務の重大なるを自覺すると共に社業の改善に精進し江湖に酬ひん事を念願して居りますから一層の御援助を切に御願ひ申上げて止まない次第であります

昭和三年八月二十三日

富山電氣株式會社

追て定額電燈料金中低燭光は元本社區域に付いては左の通り値下をなしその外動力料金等目下愼重審議を凝らしておりますので成案を得ますれば縣當局の御承認を得て之を發表致したいと存じておりますから御諒承を願ひます

九月壹日ヨリ

五燭光　五錢値下げ

十燭光
十六燭光
二十四燭光 }　拾錢値下げ

■

去二十四日、富山の各文藝團體が電氣爭議の知事調停には絕對反對であるから今後あくまで戰鬪を繼續する所の富山西四十四ケ町同盟會を積極的に支持することを決議して左の聲明書を發表した

×　×

岩瀬、水橋、三日市等の電氣値下同盟會が先に一割五分の調停會を一蹴し、あれ程、强硬なる三割

日勞黨の無產黨合同への態度

日勞黨支持團體の日本勞働組合同盟は去る二十二日午後一時より芝靑年會館で中央委員會を開き、無產政黨合同に對して左の決議をなして、其の態度を明示した。

決議

一、日勞黨は立黨の精神に從ひ、一大階級的大衆黨の結成に向つて一致邁進すべし

一、日勞黨は單獨に無產大衆黨と合同する事は現下の狀勢に於ては一大階級的大衆黨の結成に支障を來たすものと認め之れに反對す

一、同時に社會民衆黨との合同は日勞黨の立黨の精神たる階級的大衆政黨の結成のための妥當なる第一歩と認め、我同盟は誠意を以て之が促進に努力すべし

一、日勞黨の無產政黨合黨に對する方針は經濟戰線(勞働組合)の統一をも有効ならしむるやう努力すべし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五分の要求貫徹の意氣が、輕はづみにも知事に白紙一任したこと、その事は知事そのものが資本家地主と同じ穴の貉であり、全民衆を嘘で誤魔化す位の事は、いつも見え透えた事實なのに、それを知らなかつたと云ふ同盟會代表等の無智をはつきり物語るものであり、又知事一任をあれ程、反對し續けて來た代表等が急に一任に變更したことは、實に代表等が民衆の要求に飽く迄戰ふといふ意志の薄弱さを示して居り、その事は、彼等が、最も戰鬪的にして民衆の要求貫徹には如何なる彈壓懐柔、誘惑をもはねのけて戰ひ抜き得る所の無產政黨の應援を拒絕する等の誤謬せる戰術を使つたが故である。

全富山縣下諸君！諸君は民衆の期待を裏切つた是等代表の妥協的、又、非戰鬪的なるを糾彈する片方に、今、眞に最後の一人となる迄、「三割五分値下」のスローガンを片時も棄てずして、知事一任を飽く迄反對したる滑川、及び富山西四十物町同盟會、外十數ケ町村の運動を積極的に、徹底的に支持應援しなければならない、我々の要求貫徹は決して知事一任では成い、それは今日少くとも會社に實行させた經驗と同じく實に「大衆的闘爭」そのものであることは縣民諸君がまざまざ今經驗した事であるのだ、我々文藝家もこの際、全富山縣民と同じく、次のスローガンに集中して、飽く迄執拗に、戰ひを續けるものである、三割五分値下徹底的に要求しろ！知事の干渉絕體反對だ！爭議は大衆自身が解決しろ！金で爭議を賣るな！民衆代表に會社監督權を與へろ！町營には原則として賛成！縣營は絕體反對だ！大衆的闘爭で爭議を戰へ！

八月二十五日

全日本無產者藝術聯盟富山支部
富山プロレタリア藝術聯盟
富山藝術批判社
無產文藝社
農民藝術社

その三

これに對して、同じく日勞黨支持團體の一である全國農民組合の日勞黨系は

「全國農民組合としては、日本勞働組合同盟が無產戰線統一のためには先づ日勞、社民兩黨の合同をなすべしと決議したのとは全然見解を異にし日勞黨は寧ろ無產大衆黨とこそ合同すべしと主張せねばならぬ」

その意見を極めた。

かくして、日勞黨の合同問題は兩派の二大對立となつて現れ、日勞黨分裂の危機が傳へられる事になつた。

吾々は日勞黨の分裂と戰はねばならぬ。無產政黨統一を立黨の精神として生れた日勞黨が統一の使命を果すどころか、それ以前において分裂する程馬鹿らしい事はない。大衆政黨においては、民主主義者も共產主義者も共にやつて行けるのだ。日勞黨を分裂させるな。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の爭議はこう云ふ性質の同盟會を至るところに生んだ

■

近時農村の疲弊殆んどその極に達し今にしてこれが救濟の途を講ぜずんば其窮極する處豫測するに難しからず、則ち消極的には負擔の輕減をなして支出の減少を圖り積極的には農業の振興を策し一面農村電化の實を擧げて疲弊救濟の道を講ずるを以て刻下の急務なりと信ず、然るに翻えつて本村内に於ける電氣需要の狀態を見るにその架設條件が部落によつて多少の相違ありと雖も概ね苛酷に失し從らに需要者の負擔のみ重からしめ將來に向つてその禍根を治すもの實に一にして足らず且年に支拂ふ料金が本村經濟と略匹敵の多額に上るが故に、今にしてこれが條件等を更改せしめ會社の横暴より脫却し以て負擔の輕減を圖るは蓋し焦眉の急務なりとす茲に本會を創設し當初の事業として別項決議の實現を期せんとするものなり右聲明す

昭和三年八月二十三日

野尻村電氣需用同盟會

以上

（中島生）

戰鬪的理論雜誌

「プロレタリヤ」改題、政治、經濟、社會、思想、文藝の批判

大衆時代 十一月創刊

定價 三十錢

十月二十日發行

目次概要——無産政黨統一問題、田所輝明——社會民主主義とは何ぞや、河野密——我國經濟界の現在と將來、清水武雄——その他、時評、座談會、附錄漫畫

申込所

東京市牛込區五軒町登龍閣内

大衆時代社

（二十三頁より續く） かくの如き組織を持つ問題の當面する任務は、現在の狀勢に於て先づ（一）、農村と大工場（特に重工業工場）、即ち無産青年の密集地點に、深く根を下すことである。これこそ特に切實なる緊急事である。

工場と農村へ！そのために、先づ班の組織に着手せねばならぬ、班の確立、殊に大工場に於ける強固なる班の組織は最も重大であるそして班の組織が凡ての前提的第一條件でなければならぬ。かくて（二）、青年を犧牲とする反軍國主義のための鬪爭、官僚、（三）ブルジョア、カルトに對するプロレタリア、カルトの鬪爭（四）今や、我國陣營内に發生し來れる日和見主義との鬪爭、等

青年運動の役割は、現狀勢の下に於て特に重大である。我々は全力をあげて、大衆的青年同盟の再建を計らねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時評

反動陣營の再組織

佐々木敬三

一

九月號では床次一派の新黨樹立運動を論じたが彼等一黨は九月四日には所屬議員廿五名に達し愈々議會内の交渉團體となつた。一葉落ちて天下の秋を知る。況んや廿數名の頭顱を引きぬかれては、天下の大政黨であり、第二黨であり、憲政常道論で次期内閣組織を夢みてゐる民政黨も無事では濟まぬ。果然九月上旬に入るや不平組と稱せられ自らは刷新派と號する田中善立、森田茂一味の策動が、ブルジヨア新聞の政治記事欄を賑はし占領するに至つた。結局四名の除名者を出し、どうやら表面たけは收まつた樣なものの、同時に黨内に於ける總ての暗流を暴露し、民政黨の無力無能な政治的虚脱症の原因を明示した。

今、少しくこれ等の事實が眞實に我等無産階級にとつて如何なる意味を敎へるかを見よう

二

元來民政黨は產業ブルジヨアジーを代表し地主黨たる政友會と對立し來つたのであるがブルヂヨアジーの發展は、地主と產業ブルジヨアジーを既に結合せしめ、金融資本の獨裁を現出せしめてゐる。かゝる今日、民政黨本來の使命は全く消滅し去つた。即ち民政黨の獨自的な立場は崩壞し了つたのである。この點は政友會も同樣であることは田中大將が民政黨の内紛に頗る同情してゐるので明瞭で、民政政友共に單に從來の歷史的因緣行きがかり上對立して居るのに過ぎない。換言すれは、兩黨對立が資本主義の偏倚的發展を防止しブルヂヨア、デモクラシーの表現に有用であつたのに、寡頭金融資本獨裁の形勢は如何ともし難く、議會も從つて政府もこれ等の基礎の反映たるを餘儀なくされたした。昨春の金融恐慌が產業ブルヂヨアジーと提携せる多數銀行の沒落と民政黨内閣の鬪殺を招來し反動的地主黨たる本來の面目に加ふるに近時金融資本獨裁の反動的要求を容れて立てる政友會田中大將の内閣が物々しい面構へで登場した恐慌とモラトリアムとは、三井、三菱、第一、安田、住友の五大

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

銀行に預金集中となり完全に田中内閣出現の效果があつた。されはこそ、田中反動内閣は滿州の特殊權益の積極的伸張、共産黨狩り、山東出兵、等々あらゆる武斷振り專制振り、反動振りを内外に遺憾なく發表したのだ。これに對して無論我等は總ての機關を動員して抗爭を續けてゐるが、獨裁的金融資本の支持の下にある田中反動内閣は、買收、威喝至らざるなき陰謀を弄して今春の議會を喜三郎の腕一本を犠牲に供しただけで切拔けた。民政黨は野黨の悲しさ、政友會とは本質を同じうしながら金融資本と結托する機會を漸次失ひ來り、殊に從來三菱の支持を受けてゐたが、これと結合する加藤高明や仙石貢などの人的要素を失ひ、しかも上叙の如く金融資本獨裁の結果、三井三菱の兩財閥間には多少の小競合はあり乍らも大體協調し相犯さざる默契が成立してゐる今日、彼等の懊惱と煩悶とは益々深からざるを得なくなつた。既成政黨の黨員はブルヂョアヂーの政治的傀儡である、「お給金」が出るからこそ働いてゐるが、これが出ないとなれは彼等たる者考へざるを得ない。よりよき金主を見出さねはならぬ。

八月一日、民政黨を脱退し新黨を組織せる床次の一黨も、田中樋口、森田小寺の一味も畢竟するに此の既成政黨の經濟的基礎構造の變革に適應せんとする意圖よりして劃策し行動したもので、此間政府筋の魔手が常に動いてゐたのは這般の消息を裏書するものである床次が反動陣營へ參加の手土產は「小選擧區制」といふ無產黨追出しの一手であつた。今や、憲政一新會の手土產は、「外交問題を政爭の具に供せず」といふ帝國主義的日本資本主義の支那侵略の無條件的支持である。されはこそブルヂョア新聞などでは憲政一新會は結局、新黨俱樂部に合流するたらうと評してある。併し彼等が同じ釜の飯を食ふまでに如何なる猿芝居をうつかは我等の問題ではない

三

傳聞する所では、民政黨内部に種々な分派があり、官僚系、政進黨系、本黨系、其の間三木派が介在してゐたりして複雜で憲政一新會發表のパンフレット「噴火山上の民政黨」では極力官僚系の安達江木、町田を攻擊してゐるが、何が故に民政黨の指導分子が官僚であり、且つ今日何が故に此分子が排擊せられねはならぬかに就いて根本的な省察が加へられてゐない。日本資本主義の發達は、明治維新以來溫床的培養によつた。そのため、産業資本は常に官僚政府の指導下に發達し來り、明治初年には産業資本的でさへあつた封建諸侯の後繼者的政府の官營全盛の時代もあつたのだ。されは産業資本の發達と共に勢力を得來つた急進的ブルヂョア黨たる憲政會—民政黨の指導分子が官僚系であるのは必然にして當然である。而も憲政一新會の宣言を借用すれは、「兵法は流轉し時代は推移す」るた、資本主義最後の段階に到達して見れは最早や産業資本は過去の夢かなりし時代の幻影を追ふより以外に能はない。過古一ケ年間、新しき獨裁者——金融資本は此の古き指導者を放逐せんとし、これに内部より策應する徒輩を物色してゐたのだ。濱口民政黨總裁が

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「田中、樋口兩氏の刷新運動は表面の口實であつて總てを欺いてゐた。實に怪しからん。由つて來る所は遠く根は深い」と言つてゐるのは、知つてか知らずしてか、案外眞相を言外に說明してゐる。また國民新聞が、民政黨內紛の結果沒落し行くものは幹部の官僚系ではないかと論じたのは無論無產者的把握の下に爲されたのではないにしても、ブルヂヨアそれ自身彼等の運命を或る程度まで感知した事を示してゐる。

現在除名されたのは數名に過ぎないが、今後、ブルヂヨアジーがその陣營再組織のため、如何なる手段をとるか。陣營內の弱味たる民政黨を外部から內部から、或は分離せしめ或は結合せしめるだらう。

四

無產階級は此等反動陣營の再組織運動に直面して爲すべき任務は何であるか。徒らに、既成政黨の內紛醜狀が暴露された、それ見ろと拍手しておればよいのか。否、否、然らず。我等は議會を通じて表現された反動の激化に、その激化の本尊に對して、あらゆる機關を通じて鬪爭せねばならぬ 先づ、彼等に依つて提出された搾取政策から打破せねばならぬ、床次の新黨俱樂部の反動性を遺憾なく暴け出した「小選擧區制採用」の提議は、前號に摘發せる如く無產黨追出しの陰謀で、既に資本家と無產者の明確なる對立鬪爭を開始した九州八幡市會では、それが採用を決議したではないか。政友會所屬代議士中六十名は中選擧區制なるが故に選出されてゐる今日そんな事が、等の氣やすめは狡猾なるブルヂヨアをあまりに甘く見過ぎてゐる。更に憲政一新會をして語らしめよ。「議會に於ける帝國の權益を主張して一步も讓らざるは根本主義に至りては在野民政黨をはじめ、天下公論の肯定せる所、之を鞭韃し之を指導し國策の遂行を期せしむるは國民の義務に非ずや、然るに民政黨は今や小數政爭論者に操られ對支外交の枝葉の失敗を鳴らして政爭の具に供せんとす」これ、日本の帝國主義的資本主義の最大の要求に外ならぬ。天下の公論とは何か。國策遂行と、國民の義務とは何を意味するか。巧妙なる寡頭黨爭、政爭を排斥して政策第一主義を執るとは何か。「巧言令色仁あること鮮し」で、とんだ喰はせ者だ。民政黨の從來取り來つた不干涉主義、所謂幣原外交を破綻せしめるため關西のブルジヨア連が巨額の資金を刷新派―憲政一新會に與へたのは隱れもなき事實だ。これ等ブルジヨア樣方の御命令が天下の公論であり、國策であつて、これを遂行するのが、國民の義務たらうか。支那に對する日本の帝國主義的資本主義――反動內閣の政策を支持するのが國民の義務であるとは、無產階級の誰一人も殘念ながら首肯致し兼ねるのだ。政爭を排斥するのは、最早既成政黨が明白にブルヂヨアのものである事を自白してゐる。公然とブルヂヨアジーは其の政治的權力を結合して我々無產階級の咽喉笛に摑みかゝる事を、昨は床次をして、今は田中等をして無產階級に宣言したのだ。無產階級の政治的經濟的

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

戦線は、またそれ故に即刻統一されねばならぬ、ブルヂョアジーの陣營は分裂の形式によつて再組織され整頓されつゝあるが、我等は之に反し統一によらねばならぬ。「結合い前の分離」が反動陣營の戦術として採用せられる光榮に浴したのは皮肉でもある。統一され結合された無産階級全體の力を以て反動の陣營に突撃せねばならぬ日本ブルヂョアジーの發展の必然的産物たる支那無産階級の革命運動と提携し之を支持し、更に米國ブルヂョアジーとの衝突による帝國主義戦争の危機を××によつて突破せねばならぬ

反動陣營の再組織による資本專制の激化に抗爭せよ。戦線の統一無産階級××無産黨合同を即刻成就せしめよ、

夢醒めた和製赤色戦士同盟

羽田光雄

「支配階級の權力が、左翼に向つて大衆的政黨すらも作る事を許さないならば——少くとも、コムミユニストの排除を條件としなければ政黨組織を許さぬとするならば、政黨と云ふ形態を強いて取らなくてもいゝではないか。當面の必要としては、先づこの日常闘爭並びに暴露反抗を活潑に行ひ得る組織があればよいのだ」（四月十六日無産者新聞）

「多かれ少かれ左翼的戦闘分子を排除し、社會民主主義に屈從せざる限りこの結合は不可能である。（中略）それは支配階級の分劃支配の前に降服する事を意味する」（五月八日勞農新聞）

そうだ。解散直後の勞農黨はかくして支配階級の前にヒロイズムな決意を示した。支配階級の許可する樣な政黨なら作らぬがよいしかし大衆政黨は必要である。されど新黨準備會は大衆的威力をもつて否でも是でも支配階級に結黨を許可せしめ、先の禁止命令を一片の空文たらしめて了ふのだ——これが彼等の意圖であつた。そして、彼等は熱情的文章をもつて大衆に呼びかけた。曰く「見よ、獨逸の赤色戦士同盟は政府の解散命令に抗しベルリンに十五萬人の大示威運動をして遂に最高法院をして禁止取消をなさしめたではないか」と。

そして、無産大衆黨が結黨するや、口をからして流産を祈つた。「無産大衆黨は官許黨である。警視廳と取引されたニセ無産黨である。」かくして、新黨準備會は大衆的壓力によつて支配階級に否應なしに許可せしめんとする方針の下に戦つた筈である。然るに、解散後七ケ月を經過せる今日迄結黨されず、反幹部派による地方政黨の出現となりその合同も實現し、新黨準備會の地盤は日に日に沒落しつゝある。

されば、八月廿三日新黨準備會は左の如き結黨方針を決定した。

（一）大山氏は委員長を、細迫氏は書記長を辭任し、新黨の書記

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

長は上村進氏とす
（一）綱領政策の草案は、あらかじめ官憲の內閲を受け、折衝によつて修正されるも已むを得ない
（二）大體舊勞農黨解散直後の準備會の結黨方針卽ち無產者新聞の「勞農協議會」の提唱に應じたる前の方針にもどること

× × ×

一見して、新黨準備會の指導方針の變更が明瞭である。むしろ、從來の結黨方針の失敗を完全に裏書きするものである。卽ち所謂「官許黨への屈服」へが行はれんとしてゐる。方針の（一）にそれが明かであり、結黨を十二月頃に延期すると云ふのが又それを示してゐる前に、結黨方針の決定が新しくされると云ふ事自身、すでに新黨準備會の方針の行詰りを物語るものである。ベルリンの赤色戰士同盟の解散命令反抗の示威運動の夢はさめた。

しかし乍ら、新黨準備會のデマゴーギ式の釋明は初まる。曰く、

「しからは吾々が結黨の具體化に進まんとする條件は何であるか？

（イ）準備會の全國的並びに地方的組織が漸次確立に進み、大衆的に結黨運動を進め得る實力を備へるに至つたこと。更に結黨によつて舊黨員並びに未組織大衆をより容易に、より速かに政治的に結成し、且つ勞農政黨合同運動の進展を一層容易ならしめ得る條件が熟して來たこと。

（ロ）無產大衆黨、日勞黨の一部裏切的指導者、合法萬能主義者等の準備會に對するデマゴギー、準備會排除の合同說等々の如き非階級的陰謀を結黨運動によつて堂々と擊破すべき事情が切迫した事。

（ハ）全國の舊黨員並びに戰鬪的勞農大衆の果敢なる鬪爭により、支配階級は、舊勞農黨の戰鬪的政治勢力の實體たる新黨準備會を彈壓し盡し得ないことを經驗した。かくて、新黨の公認を確認せしむべき條件が熟したこと。

わが準備會は以上の條件を充分に考慮し當面の鬪爭の計畫に從つて結黨に進むのである。………」

然らはこれを本質的に批判的に見たならは

（イ）準備會の全國的組織が確立したのではなく、實はその鬪爭的力が休止した

（ロ）其處で、速かにその結黨方針を變更しなければ、大衆の支持を失ひ孤立化する事情に立至つた

（ハ）支配階級が準備會の組織を彈壓しない事を經驗したのではなく、何時まで立つても準備會の運動は進展せず、政府の反動策の餌食になつてゐるから、支配階級に否でも應でも結黨を許可させるのでなく、否でも應でも自分の方から、

「われわれは結黨の爲めに戰ひ、これを實現すべく努力する。從つて當面の情勢に對して充分な政治的考慮を拂ひ、技術的な駈引をも出來る限り利用しなければならない」事になつたのである。その結果として、所謂「官許黨」なる天へはきかけた唾が自分の顏へ落ちてくる事になつたのである。

勿論、支配階級に氣兼ねして結黨する事は實に悲しむべき事た。しかし、この態度をも甘んじて、明日のよりよき收穫の爲めに努力する事は、受難の無產階級にとつては止むを得ない事である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

合法的無產政黨を大きくする事こそ、無產階級にとつて最も必要である。×××の勢力を強くしてから、それを大きくするのではなく大衆政黨を擴大してこそ、左翼的勢力の増大がある。

されば、吾々は事あらば、何を措いても合法政黨再建の急務を力說し強調し來たつた。今や、新黨準備會は、合法政黨の否認的再建を捨てゝ、更に左翼的な道が何であつたかに氣づいて來た。あゝ夢醒めた勤勞赤色戰士同盟よ。

矛盾せる平和主義

清水寛一

一

不戰條約に對するソビエットロシヤの參加承諾の回答文は、同時に各帝國主義國家によつて支持される不戰條約に實に忌憚なき批判を試みたものだ。

「勞農ロシヤは常に世界平和の爲めに努力して來た。今後もその爲めに最善をつくすであらう。

勞農政府は、戰爭を防止する唯一の實行手段は全世界のあらゆる國家が、徹底的に軍備全廢を斷行する以外には無いと確信するものである。何故なれば、各國が軍備の充實に注意すればするほど戰爭の危機は免れぬからである。されば、勞農政府は徹底的軍備全廢を立案して國際聯盟主催の軍縮準備委員會に提出した。しかし、これは各帝國主義國家の反對するところであつた。勞農政府はこれにもこりず各國の民衆の負擔を輕減する機會を逸しない爲めに、又軍備全廢に至るべき過程としての軍備縮少の具體案を提出したが之亦否決の運命に立至つた。彼等は軍備縮少なしの平和、軍備撤廢なしの不戰案のあり得ない事を知り乍ら反對した。然るに、各帝國主義國家は不戰條約に調印した。」

勞農ロシヤはかくして、先づ各帝國主義國家の基礎的矛盾を暴露してゐる。

「不戰條約の提議が各國に持ち出されるや、其の一切の討議からわが勞農聯邦を除外した。單に、ロシヤばかりでなく、支那、トルコ、アフガニスタンの樣な世界平和と絶大な關係を有してゐる諸國を除外してゐる。この事實は、不戰條約がこうした國々を對象とする帝國主義的共同戰線であるやうに見えた。勞農政府は右條約の正文の改正に對して各國同等の權利を要求するものである。」

「不戰條約の定議する戰爭の解釋に反對するものである。戰爭に各帝國主義國家間の國策の具としての戰爭ばかりではなく、國民的獨立運動を壓迫する一切の戰爭をもふくまれてゐるべきである。」

「英國の提出した保留條項によれば、英國は特殊地域における行動の自由をもつものとされてゐる。英國の所謂特殊地域が若しカナダ、印度の自治領を意味するものなら、他國からの領土侵略の條項に包含されてもいゝ筈だ。英國が其等領域以外の特殊領域に對する

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

行動の自由を固執してゐるのは一體何を目的としてゐるのか、不戰條約がこうした英國の權利を承認するならば、不戰條約は世界平和の爲めの條約ではあらずして、帝國主義遂行の手段であると政府は斷ぜざるを得ない。」

「不戰條約は、其の基本的問題であるべき軍備問題、又世界平和への障害である條件を保留する事によつて、事實上すでに骨拔きされたものである。

然し乍ら、勞農政府は、この不戰條約を機會として軍縮問題、其の他一切の平和への手段が提供され、討議される事、又世界平和への努力の表現として、不戰條約に參加する」

二

以上によつて不戰條約の本質的矛盾がはつきりと見られる。米國の一ブルヂョア自由主義者においてすら、

「自國の權益を擁護すると云ふ名目の下に行はれなかつた戰爭がかつてあつたであらうか」と冷笑してゐる。

正しく不戰條約は、世界平和の爲めに何等の役割をも持つものではない。それを支持してゐる、各帝國主義國家の矛盾對立は愈々激しくなつてゐる。各國はせつせと、民衆の血稅を搾りあげて、軍備の充實に血眼になつてゐる。この事實からして、各帝國主義國家に戰爭と徹底的に抗爭する意志が全然缺けてゐると云はねばならない。

吾々は正しく戰爭の時期に生活してゐる。吾々は、戰爭を防止する決定的力は無產階級の握るところである事を確信するものである。無產階級は戰爭は一部支配階級の野心を滿足せしめるに過ぎぬものである事を知りぬいてゐる。殊に、來るべき帝國主義戰爭は、必ずや帝國主義同志間の戰ひに終るものでなくして、世界に澎湃と捲きおこされてゐる無產階級の勢力を斷絕せんとするに違ひない。否、すでに各國は戰爭の準備が、無產階級の政治的躍進をおさへつける事によつて可能である事を信じてゐる。八月三十一日の全國非戰同盟の演說會が中止に次ぐ中止の比類なき彈壓の下に終つた事が何よりも雄辯にそれを物語つてゐる。

吾々は、この襲ひくる帝國主義戰爭の危機と戰はねばならぬ。全民衆は、かつて子を失ひし親、夫を失ひし婦人、兄を失ひし者、弟を奪はれし者、いな、一切の民衆は悲慘極まる戰爭に一大抗議を送らねばならぬ。

三

されば、吾々は全國非戰同盟を支持して、積極的運動を開始しなければならぬ。それは一切の急進ブルヂョアジー、平和論者、等を網羅した同盟である。しかし、その中心指導權は無產階級によつて固く握られてゐる。然らざれば、この同盟の前途は暗澹たるものであるが日本勞農黨その他の無產政黨は、積極的支持を聲明してゐる。

世界平和は、帝國主義者の所謂「不戰條約」によつて確保されるか。否、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時事日誌

自八月二十二日
至九月二十日

■八月二十二日
鐵道現業員第五回總選擧に日本最初の婦選實施さる

■八月二十三日
天理敎研究會の不敬事件發表さる

■八月二十五日
大阪郊外の諸電鐵會社、電燈電力値下發表、英國船舶、綿業關係の諸會社に依り支那產業振興を名目とする一億五千萬圓以上の借款團組織さる

■八月二十六日
一時解散せる支那天津の卅五の勞働組合は合同す
社民黨主催上野に於て東京市會糺彈の市民大會開かる

■八月二十七日
巴里に於て各國全權不戰條約に調印、參加國四十餘國。ソヴエート・ロシヤも參加の意嚮あり
支那交渉決裂、再びコロンバイル獨立運動起る
國際運輸自動車部に爭議起る

■八月二十九日
九州の共產黨員卅九名起訴

■八月卅一日
全印度會議は自治派の主張を容認し、自治要望の決議を英本國に傳達す。

■九月　日
全國農民組合中央委員會は戰線統一問題の具體的解決を計劃す
民政黨不平組の反幹部黨刷新運動起る
鑛夫勞役扶助規則改まる（十六歲未滿者及び女子の坑內勞働禁止等）

■九月二日
國際無產青年デー、二萬社會科學研究會員檢束さる

■九月三日
英國勞働組合會議年次大會は六十年紀念祭を兼ね、スウアンシーに開催、海員勞働組合を除名する等、左翼排擊的空氣に支配さる
第九回國際聯盟總會ジユネーブに開催

■九月四日
床次氏主盟の新黨俱樂部議員廿五名に達す。
無產大衆黨本部に赤化防止團員亂入暴行す。

■九月七日
民政黨反幹部派は黨政一新會と稱し各黨派の横斷的政黨組織企劃を發表す
國際運輸爭議解決

■九月八日
無產大衆黨、秋田勞農黨、兵庫大衆黨、關西大衆黨（京都）の合同成立

■九月十日
京都地方の共產黨員卅一名起訴

■九月十一日
文部省思想善導費十四萬六千圓餘責任支出に決定

■九月十三日
富山縣滑川町電燈爭議は電燈町營に決し解決す

■　月十五日
大阪地方共產黨員九十七名起訴

■九月十六日
長野地方共產黨員九名起訴

■九月十七日
北支直魯軍奉天に寢返り反擊し、奉天軍直魯軍、國民軍の三巴戰となる

■九月十八日
札幌地方共產黨員卅六名起訴

■九月十九日
新潟地方共產黨員十六名起訴
直魯軍潰滅す

■九月二十日
伊國ファシスト黨大會議の結果、同會議は事實上の統治者とする法案を可決。皇位繼承に就きても同會議の決定によるものとし、ムツソリーニの野望漸く實行さなる。

勞農政黨と合同問題

上杉定義

一

勞農戰線の統一は長い間我國の無産階級に課せられた宿題であり各勞農政黨もこれに對しての忠實ぶりを示す事によつて、自黨の立場を擁護するための一つの武器たらしめてゐた。

然しながら、一度合同實現のための具體的問題に入るや、常に外交的言辭を弄し合い、何等かの理由によつてこれを阻止し實質における分裂行動を合理化せんとして、デマゴギーの製造に沒頭する事が、各政黨の指導者達の一つ仕事であつた。ために合同問題は增々その實現に困難を加へるのみであつて戰線統一論は徒らに空想的な架空の問題の如く思わしめたのである。

この各勞農政黨の指導者によつて行われた泥合戰の中にあつて、殆んど絶望的な問題の如き合同問題は、戰鬪的な勞働者、農民によつて追々と整理せられ、全國農民組合の成立によつて農民戰線の統一を斷行し、勞働組合全國會議の準備會も回を重ねる事二回に及んで經濟戰線の統一は一段と合同の機運が熟して來た。

この經濟戰線統一への忠實なる歩みは、必然的に行詰らんとする勞農政黨の合同の打開のために働きかけずにはゐない。最近に至つては左右中間の何れの政黨も少くとも從來よりは眞面目に合同問題に對して、具體的方法を講ぜんとしつゝあり、外交的合同論より時に一歩進出して來た事を認める事が出來る。

二

三月十五日事件以來、支配階級のために遂に解散された新黨準備會は「大衆の威力をもつて合法性を戰ひ取れ」「結黨迄　三　大衆を獲得せよ」の如く、現在の我々にあつては到底不可能なる問題を提起して、一般大衆に重き負擔を課し、たゞ徒らに英雄的言辭を弄するをもつて滿足し、合同問題に至つても準備會そのまゝの姿をもつてこれに望まんとしたのである。

總選擧以來の支配階級の狂暴の前にあつては、徒らざ彼等に解散の口實を與へる事は警戒しなくてはならないが、合法性を戰ひ取らぬ準備會のその儘の入黨はその必然の結果として、他黨を躊躇せしめる事となる。それに對して日勞黨が拒絶したるをもつて合同に不忠實なるものとして攻撃するに至つては、彼等の階級心をも疑わ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ざるを得なかつたのである。

　かくの如き態度を持して來た新黨準備會の當時における客觀的狀勢を見る時、或は彼等に言わしむれは止むを得ない事であつたかも知れない。三一五事件以來神經過敏となりし田中反動內閣は、例へ綱領、政策を右翼政黨の水準に迄引き下ても、勞農政黨の再建は不可能であり、御大典を前に控へて勞農政黨に彈壓の魔手を振いつゝある時にあつては、非常の困難であつたであらう。

　それと同時に、革命家としての夢に陶醉した前衛戰士達は、支配階級に解散された憤激とそのヒロイズム的な悲壯なる決心とによつて、合法性を極度に壓縮されつゝも尙官憲の前に結黨の許しを乞ふは、所謂官許黨たる事も潔しとさせなかつたであらう。そこにおいて合法政黨否認の傾向は現れ、「例へ合法政黨にあらざれども、我々の鬪爭は勇敢に續ける事が出來る」「我國の勞働者、農民は未だ合法政黨以外の鬪爭の經驗を有せざるが故に、合法政黨に依らざれば鬪爭の不可能なるが如く信ずるのである」等の合法政黨否認を合理化せんとしてかくの如き理論を生むまでに至つた。

　然しながら、これを合理化する事によく努めると雖も、現實當面の問題として、到底我國の現狀に入れられざる時、舊勞農黨員は、彼等指導者に從つて躍る事は出來なかつた。そこにおいて、始めて永き夢よりさめて現實を眺めた時、そこには無產大衆黨の出現ありて、舊勞農黨員の中に續々と鬪爭を續けて行きつゝあり、新黨準備會も自黨防衛の一手段としても、例へそれが官許黨であれ、鬪爭によつて獲得した黨であるにしろ、一度は合法政黨としての形態を備へなくてはならぬ必要に迫つた事を知つた。

　斯うした客觀的情勢の變化と新黨準備會の認識不足であつた事を悟つた彼等が八月二十三日の大山氏邸において合法政黨組織に立戾る事にその方針を決定したのである。この結黨方針は「三萬の黨員獲得」の如き或は「我々の鬪爭によつて合法性を戰ひ取れ」でも無くして、舊幹部は一時辭任、綱領、政策の草案も豫め官憲の內閱を必要とし、その折衝によつて修正する事になつた。これに對しての反對意見は東京合同その他より提出されたが、兎に角合法政黨否認より合法政黨結成への正道に忠實なる步みを進めて來た事は、日勞黨との合同問題の中にあつたその障害物が取除かれる事となり、その結黨は少くとも左翼戰線の統一を速かならしめる重大なる意義が含まれてゐる。

三

　少くとも我國の勞農戰線の統一の聲が擧つてより、これを阻止し分裂せしめた原因の一つは、左右兩翼の指導者であつたと言へる。殊に右翼幹部鈴文・松岡の如きに至つては愈々勞働貴族としての容姿を整へて來た。關西における猛烈なる支持ありし全國勞働組合會議準備會をして、總同盟不參加によつて經濟戰線の統一を遲延せしめたのも彼等であつた。それはかりでなく、世界的勞働ブローカーとして有名なトーマ來朝を機としてアジヤ勞働會議の大準備を成し

勞働者、農民を帝國主義ブルヂョアジーに賣り渡さんとして、幹部一派は双手をあけて歡迎してゐる。

かゝるダラ幹と勇敢に戰つてこのコソ泥式策動を尻目にかけて社民黨の大衆は左翼的に進出して來た。殊に關西における社民黨の大衆は合同問題に對つて一段とその躍進ぶりを見せてゐる。大阪聯合會は社民黨の中軸とも言ふべき勢力を擁してゐるが、この關西大衆の全國勞働組織に對しては、總同盟幹部の不忠實ぶりに反抗してその成立のため勇敢に鬪つてゐる。八月號の時評欄において私が總同盟の幹部の傾向を逆說した所、それに對して猛烈なる抗議を一部の人より受けたのであつたが、「我國の一般情勢が未だ總聯合すべき情勢に達してゐない」との理由で中央委員會において不參加を決定した幹部の專横は關西における大衆の進出によつてこれを實證したのである。この左翼のアッピーリングと勞働者、農民の進出は社民黨内部の合同反對論者をして讓歩せしめ、日勞黨との合同問題も個人的にその結成に盡力する事となり、ここにも合同論の一進歩を見受けられる。

社民黨内部に芽生えつゝある社會青年同盟準備會は、右翼的指導精神に反逆して、單なる民主主義の擬裝をもつて滿足せず、左翼指導意識迄進展せんとして戰ひつゝある。これに對して社民黨幹部は、この内部よりの反逆兒に驚き、これが壓縮のために全力を注いでゐるため、今一應は右翼青年同盟の結成に止めざるを得ないかも知れないが、總ては統一の使徒として社民黨ダラ幹を屈服せしめるであらう。

四

最も合同に對して有利の立場にあり、この有利の立場を利用してその速成實現のために割合に忠實にその任務を遂行して來たものは日勞黨であつた。合同問題もその實現を少くとも一番期待せられたのは日勞黨と勞農黨であり、昨年の各政黨の中心問題は一に合同問題であり、その後も幾度となく繰返されたが、勞農黨の指導精神の個執によつて一頓挫を來し、勞農黨の無條件合同論と共に、日勞黨の單一絶對條件出で、二頓挫し、勞農黨の解散によつて三頓挫したのであるが、それに對する批判は幾多繰返されたため、再び述べる事は避けるが、日勞黨は常に合同問題には忠實であつたが、最近に至つて愈々進展し、「合同は緊急を要するが故に、最も可能性のある部分的の合同にても成さねばならぬ」との叫びが高く愈々最近開かれる中央執行委員會によつてその態度の決定を見るであらうが、他黨に比して一段の進展を示してゐる。

無産大衆黨の出現によつて日勞黨内部にあつても、意見の一致を缺く點のある事も致し方もない。例へば關西側における日勞黨は社民黨と密接な關係を有し、關東側の一部には無産大衆黨との合同に積極的に力を盡しつゝあり、中間政黨としての苦悶はある。

清算主義、分裂主義と罵られつゝ遂に結黨した無産大衆黨は戰線統一を唯一の中心スローガンとして生れたのであるが、未だ結黨式

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

許もなくして、批判の余地は少いが、八月二十九日三地方政黨との合同によつて、勞農戰線の進出的再建の第一歩を踏み出した。清算主義、分裂主義の罵聲に答へる事は、今後の鬪爭による實踐によつてのみ、成す事であるが、少くとも無產大衆黨の出現は合同問題を再燃せしめた。

五

以上によつて、各政黨の合同への動きを一通り見て來たのであるが、この傾向より見る時確かに勞農戰線の統一に一歩前進したと言ひ得る、たがこの合同問題の裏面には、幾多の難關障壁ありて、この表面上の事實を見て、樂觀する事は出來ない。

新黨準備會の内部にあつても、合同の前提條件である合法政黨の結成も、單に無產大衆黨の防戰のために一時的戰術としての合法政黨を企圖する一派と、その具體的組織の過程において對立して眞に合同のために合法政黨を組織せんとする二派の對立あり、合法政黨成立後においても、如何に變轉して行くかは絶對に豫測されない。

それと同じく最近における海軍勞働組合聯盟の社民黨との合同機運が熟したるに對して鈴文、松岡、赤松の如きは右翼政黨の結成を夢見て「量的合同を排して、質的合同へ」の如きをもつて社民黨大衆の合同の要望を抑へつゝあり、合同問題の前途は實に暗澹たるものがある。

合同問題は各政黨を通じて幾多の障害を生じてゐるが故に、これ迄の合同問題に對しての努力に倍し、決死的鬪爭を要する。單に自己防衞の手段として合法性を獲得するのみで、假にも分裂行動を捨てようともしない左翼宗派主義を克服し、右に勞働ブローカーの一派はことごとに支配階級に勞働者農民を賣り、統一による無產階級の增大力を阻止せんとするに對してこれを牽制しなくてはならない。

勿論この合同を阻止せんとする分裂主義者は、あらゆる理由の基に自己の行動を合理化せんとして、デマゴーグを飛ばして民衆を欺瞞するであらう。しかし如何に粉飾して、合理化せんとしても、それが實踐において、戰線を分裂するものなる時は、斷乎としてこれと鬪爭しなくしてはならぬ。それは唯全國勞農大衆の大衆的壓力によつてのみ可能であり、それが我國のプロレタリアに課せられた歷史的使命である。特にその具體的方法としては、經濟戰線統一のために開催せられたる全國勞働組合會議、全國農民組合會議は、これに絶對に參加し、これに參加する事によつて、合同統一に對する一つの連鎖とする事は、必然に政治戰線統一の實現の可能性を增大せしめる事となる。

今や支配階級によつて、治安維持法改正事後承諾案、欺瞞的勞働立法の上程を來議會に成されんとしてゐる。これに對しての戰備は既に我々勞農戰士によつて整へられなくてはならない。

全國農民組合會議、全國勞働組合會議を支持して、戰線統一を實現せしめよ。（九月十日）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

講座

無産政黨とは何ぞや

福田狂二

こゝに掲載するのは去る二月の總選擧に私が「立候補の挨拶」として島根縣第一區の有權者諸君へ配布したものである。編輯部から今月號には「講座」がないから是非このまゝ題を變へて載せてくれとの頼みであつた。これは「立候補の挨拶」としても甚だ不備なものであつた。けれども、この挨拶狀によつて一回も演說しない所から、豫期しない投票があつた事は事實である。しかし、このまゝで「無産政黨とは何ぞや」と題して講座にするのも甚だ變なものであるが、無産政黨の使命は不充分乍ら述べてある。材料も古いものであつて讀者諸君から定めし苦情が出る事と思ふが、それは編輯の方へ云つて下さい。

はしがき

普通選擧による第一回の總選擧に臨んで、不肖私が小作人、勞働者、俸給生活者、小賣商人諸君をもつて組織された日本勞農黨公認候補として、出馬する理由は、一は、日本勞農黨の立黨の精神と私の年來の主張を諸君の正當な批判に訴へ眞に民衆政治の土臺を築きあげようとする熱烈な希望と、今一つは、既成政黨の腐敗、墮落、金持地主本位政治の爲め、愈々生活が苦しくなつた日本の民衆諸君の双手を擧げての總體殊に私の郷里である島根縣第一區の小作人小市民その他民衆諸君の火の出る樣な要望に感激したからであつた。かうした民衆諸君の輿望を一身に荷ふた以上は、死を期しても民衆の生活擁護の爲め民衆の生活を窮乏のどん底に陷入れた民政黨、政友會の金持達の政黨を堂々と向ふに廻して戰ふべく突進する事に決意した。

諸君のすでに御存知の樣に今回の選擧は普通選擧であつて、新に今迄口を塞がれて金持達の議會を齒ぎしりしながら見てゐなければならなかつた一千萬の無産階級を相手とする事が出來る以上、私達は愈々使命の重大を感じてゐる。

私は叫びたい。

「小作人、勞働者、俸給生活者、小賣商人諸君が民政、政友の既成黨に渙顧してゐる事は自分達で喜んで長く貧乏してゐやうとする結果になるのだ。何時迄も高い小作料を拂ふ事を喜んでゐる結果になるのだ。小賣商人の諸君は民衆の貧乏の爲め品物が賣れて行かない事を喜んでゐる結果になるのだ。「天は自ら助くる者を助く」だ。小作人や勞働者が貧乏を追拂ひ、小供達に暖かい御飯と着物、學用品を與へやうとする愛があるならば、無産階級の生活をおびやかす金持政黨を蹴飛ばして、自分達の政黨日本勞農黨に一票を投ぜよ」と。

吾が親愛なる小作人、勞働者　俸給生活者、小賣商人諸君。

民政黨と政友會を一寸見ると喧嘩してゐる樣に見えるが吾々貧乏人いぢめの金持政黨である事においては二つとも同じい。その證據には二つの金持政黨は無産政黨を共同して叩きこはそうとしてゐるけれども、私達の政黨は血と涙の歴史をもつてきづきあげられたものである。三黨首妥協とか何とかするゴマ化し政黨と違つて切れば血の出る政黨だ。吾が日本勞農黨が日本全國小作料合理化運動や失業反對、賃銀値下反對、電燈料金値下運動が頑固な冷酷な資本家と衝突して爭議となつた時、民衆の先頭に立つて生活擁護のため戰つた事は、如何に民政、政友の諸君が非難、歡誣しようとしても嚴然と民衆の心にきざみつけられた、切れば血の出る事實である。

いざ、小作人、勞働者、俸給生活者、小賣商人諸君。

私は、今少し微に入り細をうがつて日本勞農黨の使命と私の立場を發表したい。

日本勞農黨は何故生れたか

社會の柱は誰れか

世の中で一番大切なものは勞働である。百姓や勞働者がなかつたなら、皆飢死して了はねばならぬ事は分り切つた事である。社會のすべてのもの、即ち、教育、政治、宗教とかいふいろくなものを支へてゐる、家で云ふ大黒柱の役目は小作人や勞働者である。「おれは金持だ」と云つて自慢して見たところで、働く者が無くて米や野菜や着物がなかつたら駄目である。「おれは大地主樣ぢや」と云つて見たところで、働く小作人がなかつたら、稻は出來ないで草ばかり生へて荒れて役に立たない樣になつて了ふ。「おれは澤山の税金を納めてやるから國家や縣や市町村がやつて行けるのだ」と云つて見たところで、遊んでをつて税金の税の字も生れて來ないから、矢張りその税金の全部は實際働いてをるものが作つたものだと云ふ事が分る。その上に地主や金持が遊んで贅澤してゐる費用まで作つてやる。さて、勞働者や小作人は、遊んでゐる地主や金持達に「さあどうか遊んで自動車を買つて乘り廻して下さい」と云つて働いて得たものを喜んでもつて行つておしつけるかと云ふに　そうでけない。地主や金持は、勞働者や小作人が働いたのを強制的にでも取立

てるように出來あがつてゐる。「泣く子と地頭には勝てぬ」といふ昔の言葉がある。徳川時代には殿樣といふ人があつて百姓の作つた米を取立てたものである。「出さぬ」とか「負けてくれ」とか云へば「なんだ土百姓が」と云つて刀のつば元を叩いておどしつけたものだ。

地主は土地を私有し、資本家は工場を所有して了へば、小作人や勞働者はどうしても地主の土地を小作し、勞働者は資本家の工場へ雇入れて貰はねばならぬ。そうしなければ、働く事はおろか、食ふ事さへ出來なくなる。其處で、世の中で一番必要な土地とか工場とかいふ生產機關を所有した金持等は土地を貸して小作料を取立て勞働者へは實際の力よりはるかに安い賃銀をやつて、その殘りをふところに入れる。働いたものゝ上前をはねて了ふ樣な世の中の社會組織の中では、必ず、働く者は貧乏する、社會の柱である小作人や勞働者が貧乏神にとりつかれる。

稼ぐに追つく貧乏あり

一生懸命働け働け働きさへすれば貧乏は逃げて了ふ。怠けてゐると貧乏になると普通云はれてゐる。怠けてゐて貧乏になればそれはあたり前であるが、働いても働いても貧乏になつたら不思議であるその不思議な事が現在もあるから不合理である。例を取つて見れば小作人が朝暗い中から夜は星の出る迄汗水流して働いても、收穫の大半をすつかり地主の倉へおさめて了ふから、後には一年の食糧さへ殘らず、ぼろぼろの屑米ばかり食べてゐる樣な始末だ。殊に不作でもあつた時は大變だ。そんな實例は私がこゝでくどくどと云はなくてもみなさんがよく知つてゐられる通りである勞働者だつてその通りで、安い俸給では、家庭を滿足に養つて行く事が出來ない。その上に何時首が飛ぶか知れない。首が飛ぶと云ふ事は、刀で切られる事では無いが仕事が無くなる事を首が無くなると云つてゐる。失業したらどうなる。食つて行く事が出來なくなる。「稼ぐに追付く貧乏なし」なんて言葉は眞赤な嘘だ、働きさへすれば後から貧乏がにげるどころか影法師の樣にくつついてくる。

貧乏の原因は何か

さて、働く者はこうして貧乏して苦しんでゐるがこれは一體どうした譯か。怠けてゐないにかゝはらず、貧乏するからには、それには何等かの理由がなければならない。それは前にも一寸ふれておいた樣に、遊んでゐる奴等が一生懸命働く者の後から、澤山の上前をはねて行くからである。

地主は小作料として取立て資本家は勞働者を長い事使つて短い時間だけの賃銀を支拂ふからだ。また、その外、現在の政治が地主本位資本家本位の爲め、地主の利益の爲ならどんな事でもするが、小作人や勞働者の事なら、食ふか食へまいが勝手だといふ樣な政治であるから、愈々貧乏するのである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

現在の政治

惡い政治の下には必ず、人民が貧乏して苦しむのは世の中の法則だ。有名な佐倉宗五郎は、惡い政治をやつて人民から血の出る樣な取立てをやつた殿樣に向つて、百姓の爲め死を賭して戰つた人である。惡い政治は、佐倉宗五郎の昔を見なくても、現在を見てもそこら中にころがり横行してゐる。その證據には人民が愈々貧乏してゐるではないか。それは、現在の政治が働く者をおろそかにして、遊んでゐる地主や資本家の利益の爲めばかりの政治だからだ。こうした政治は今迄、民政黨とか政友會が金持や、地主本位の政治をやるのは、その代議士が金持である上に、今迄の選擧が貧乏人を除外した制限選擧であつたからだ。

民政や、政友は口を開けば自分は國家の選良だと云ふ。ところが彼等の政治は國民の要求や國民の生活の安定なんて問題にしてをらない。私利私慾の爲めの政治である。かの松島事件の如き、また昨年來の金融恐慌以來、小數の金持の爲めなら、臨時議會を開いてまへ、金持の不始末の尻ぬぐいをして九億圓といふ金を民衆の上におしつけたに徴しても既成政黨は到底眞の民衆政治の實行者となる事は出來ない。

民衆の自覺

又、佐倉宗五郎の例を取らう。惡政の下に佐倉宗五郎は百姓の爲めに戰つた。今や、日本の農村、工場においてかゝる不合理な高い小作料を取立て、又は不當に解雇し賃銀の値下げをやるところの資本家地主に對して、社會の柱たる勞働者、農民は團結して立上つた。そして、勞働者は勞働組合、小作人は農民組合をもつて、團結の力をもつて民衆の生活擁護の運動を起しはじめた。そして、組合の力はさしも横暴な地主や資本をこらしめて、地位は次第に向上して行つた。ところがこうして、組合が大きくなり、民衆の生活が向上してくると地主や資本家に取つては大變不利益な事になつて行く譯になるのだ。そこで地主や資本家は、自分達の代表者である政治家をして、こうした民衆の運動を壓迫しはじめた。しかし、眞の民衆の爲め戰ふ正義の士はかゝる壓迫をもこりず、民衆の先頭に立つて奮鬪した。しかし、私達無産階級は單なる組合運動だけに止まる事は出來なかつた。民衆は吾々の自らの力をもつて、自らの政治を行ふべきである事を痛感した。

「天は自ら助くるものを助く」

こゝにおいて、吾々勞働者農民は吾々の政黨無産政黨を結成して民衆の爲め既成政黨をコラしめる事になつた。

無産政黨は眞に民衆の味方

無産政黨の威力を示せ

無産政黨は、民政黨や政友會とは違つて小作人や勞働者等社會の

主として働きつつある者の利害を代表する政黨である。働いても働いても貧乏する民衆の眞先に立つて、小作人や勞働者、小賣商人の爲め最善の努力を拂ふ政黨である。小賣商人、小市民の諸君は生活の窮乏が、小作人勞働者の生活の窮乏の結果である事を知られたなら、喜んで無産政黨を支持しられるであらう。

無産黨は小作人勞働者の味方であれは、それは必ず小作人や勞働者の膏血を搾り取る地主や資本家の反對側に立つ事になる。されは金持の政黨は、權力を濫用し、或は金をもつて民衆をごまかして行かうとする、けれども民衆はゴマ化されてはならない。

無産者の味方は金持ではない。金持は貧乏人が無けれは一日も生きて行けないから吾々の反對だ。

見よ、吾々無産政黨の主義主張を、曰く

失業者を救濟せよ。

働く農民に土地を保證せよ。

小作料を合理化せよ。

すべての人民に仕事を與へよ。

かの府縣議戰において、民衆の力をもつて送り出した無産者の代表は如何に目ざましい活躍をなしつゝあるか。栃木縣においては只一人の無産議員、日勞黨の石山寅吉君は孤軍奮鬪遂に自轉車税を撤廢した。そして、今尚無産階級税の撤廢を主張し、税金は地主資本家に拂はせろと云つてゐる。尚兵庫縣會においては日勞黨選出の行政坂本、勞農黨の長尾の三縣議が轡を並べての奮戰振りは、縣會の空氣を一新させてゐる。長知事の社會政策論に對しては、行政縣議が多年の經驗をもつてこれを欺瞞政策なりと論じ、坂本君は、内務部長、警察當局の選擧干渉の事實を指適して猛烈なる攻撃をしたため縣議場騒然として殺氣立つた。或は農村問題に關する質問、又は兵庫縣民によつて未知の世界であつた、そして今まで既成政黨が同じ穴の何とかで絶對にふれる事を避けてゐた土木事業に關する質問をして既成政黨を青くせしめる等、兵庫縣會を唸らせてゐる。

以上を見ても無産黨こそ、吾々の味方であり、公明正大な政治を行ふものである。之れに反し既成政黨のやる政治のすべては、みな金持本位で無産階級をゴマ化、事はかりである。その一例を農民諸君に一番密接な自作農創定案を解剖すれは分る。

百姓をゴマ化す自作農創定案

既成政黨の農村振興策の金看板として自慢してゐるものに自作農創定案がある。ところがこの政策も實は農村振興ではなくて、小作人いぢめの地主様萬歳の策略がひそめられてゐる。既成政黨は云ふ小作人を自作農にすれは農村が振興されると。それは眞赤な嘘だ。農村の疲弊は遊んで食つてゐる連中がはびこつてゐるのを許容してゐる組織全體が悪いのであつて、小作人が自作農になつたからとてすぐ農村が振興され、農民のふところ具合がよくなると云ふ譯ではない。現在は、小作人より自作農の方が餘計苦しい立場にある。農林省の農家經濟調査にも明かなる如く小作人が一ケ年四十四圓十錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

損してゐる時に、自作農は百八十一圓餘も欠損してゐるからで、毎年一萬戸づゝ自作農が小作人になつて行く様な狀態であるから、農村の振興どころか反つて農村の混亂を惹起す様になる。

ところが、この自作農創定案は地主様に取つては大變都合のいゝ政治である。何故なれば、農業が他の工業に比して割が惡くなりかけたと同時に、小作人が次第に自覺して高い小作料を合理化せよと云つて爭議がおこる様になつてふところ具合が一層惡くなつたので地價が下落しない中に高い値段で小作人に賣つけて、他の景氣のいゝ商賣に代へようとするづるい考へである。しかも、今迄うんと小作人から取り立ててもうけた上でだ。小作人がだまされて土地でも買つたら大變だ。毎年、今度は地主に代つて政府が小作料に相當するものを取立てる。そうなつたら、不作でも凶作でもお構へなしで取立てられる。滯納すれば土地は取上げられて了ふ。

自作農創定案は農民をだまして、地主の御氣嫌を伺ふ欺瞞政策である。

民衆奮起の秋

兎に角、既成政黨の政策は到底吾々が信頼する事が出來ない。こうした政策者流に何時迄も政治を任せておけば民衆の生活は益々窮乏し、種々な社會悲劇を發生するであらう。民衆を踏臺にする事が既成政治の法則である以上彼等のかゝげるところ盡く民衆の敵である。地租移讓も、肥料政策も、表面一寸立派に見えても、いづれも勞働者、小作人の負擔となるのだ。成程市町村へ地租を移讓すれば、少しは樂になるかも知れないけれども、それによつて穴のあいた中央の財政は、民衆泣かせの公債か增税かである。

吾々無産階級は、金持政治にたよつては駄目だ。吾々の政黨無産政黨の力をもつて、自らの地位の向上を促進すべしだ。今や、總選擧は來た。吾々は金持の買收や切崩しで固めた八百政治を蹴飛ばして、吾が無産政黨を支持すべしだ。

四　無産黨の中に於ける日本勞農黨の立場

現在無産政黨は四つある。これは、色々の事情の爲めに分裂してゐたのであるが分裂してゐるのが民衆の力を示して行く上に非常に不都合な爲め今や無産黨の合同は着々と實現されつゝある。

吾が日本勞農黨は、この無産黨の大同團結の爲めに生れ民衆の爲め常に戰つて來た。

見よ。いかなる僻村僻地においても農民、勞働者、小市民の生活が窮乏してゐるところ、亦、農村に工場に坑山に民衆の生活擁護の運動があるところ、必ず吾が黨の旗はひるがへつてゐるではないか。

吾人は無産階級の行くべき道と日勞黨の大精神をあまねく民衆諸君の正當な批判に訴へて、民衆政治の基調を建設せんとするもので

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。

普選を徹底せしむる者は民衆自身だ

民政黨は「自分こそ普通選擧の實行者」だ「自分こそ民衆の味方だ」と云ふかも知れない、馬鹿を云つちやいけない、民政黨が普選を實行したと考へるなら大きな間違ひだ。民衆が普選を要求したからこそ出來たのだ。

民衆が普選の徹底を要求してゐるにもかゝはらず、不徹底極まる普選法をもつて、民衆の味方を立候補せしめない様にしたものは誰だ、普選の大精神であるあまねく民意を議會に反映する事をさまたげたものは一體誰だ、しかも現在の民政黨にはかつて普選に反對した政友會の殘黨がゐるではないか、主義主張か自分達の御都合によつて猫の眼の變る様にくるくる變る連中が「自分こそ普選の實行者だ」など、大きい顔をする義理もあるまい、もし彼等が眞に普選の實行者であるならば普選法の通過と共になぜ制限議會を早く解散しなかつたのか、そして天下の輿論をもつて公明な政治を行はなかつたのか三派妥協とか待合政治をもつて命脈を保つ事に汲々としてゐたのは一體誰れだ、既成政黨はいづれの方面より見ても普選の實行者ではなく、その破壞者である

見よ政友會は昨年秋の府縣會議員選擧において大々的地方官の更迭を行ひ選擧干渉をやつて普通選擧本來の大精神である言論の自由を束縛したのを見ても普通選擧を生かすものは既成政黨ではなく無産政黨である事が分るではないか。

吾人は明治四十年以來大井憲太郎安部磯雄加治時治郎氏等と共に普通選擧同盟を創設し天下の輿論を捲起し、大正五年六年に請願運動をしたが大正七年の請願運動は遂に國民の輿論となつた。

これは普通選擧同盟會の力であつた。大正七年は卅萬の請願案をたづさへて私等は民衆の先頭に立つて議會に迫つた。そして普選を要求した。

此事を幾回となく重ねた爲め警視廳の壓迫に合ひこの時私は警視總監を詰問し普選運動を妨害すると言つたから大に詰問して彼等の心膽を寒からしめた。此爲め私は禁錮三年に處せられた、しかし翌年において私の入獄中普選は通過するに至つた。之は在野黨なる憲政會が民衆の輿論をもつて政府を攻擊する材料としたこれは今迄普選に反對してゐた憲政會としては不思議である。憲政會内閣當時普通選擧によつて議會を解散するが當然だつた。然し之に反對した。今日に至つて普選を憲政會がやつたと云ふなら舌を釘拔で拔いてもよい。憲政會の某は「普選獲得史」を出してゐるが之には吾が普通選擧同盟の事は一言も言はない。彼等は斯の如くゴマ化そうとしてゐる。彼等既成政黨は普選によつて沒落してしまうから普選を喜ぶ譯がない。

現在の普通選擧法は普選の本來の大精神を骨拔きしてゐる、保證

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

金制度の如き民衆の代表を押さへつけようとする大缺陷をふくんでゐる。之に對して普選の神様、本家本元の様に云つてゐる民政黨は何等改正しようとはせぬ。

普通選擧を眞の普通選擧たらしめるものは無産政黨をおいて外にはない。

吾が日本勞農黨の徹底普選獲得の運動はこれを雄辯に物語つてゐるではないか。

島根縣第一區民衆諸君に望む

普通選擧の使命は民衆政治を出現する事であり、すべての人民に仕事と食を與へる事である。されば、普通選擧による總選擧は、あくまで言論によつて民衆の正當なる批判に訴へる事である。

然るに、昨年秋の府縣會議員選擧において、政友會内閣は如何なる事をしたか。地方長官の更迭をやつて極端な干渉をして、普通選擧の本來の使命をふみにぢつた。今次の總選擧にもまたそうした沒常識な干渉をやり、ある者は金權をもつて民衆諸君の批判力を曇らそうとするに違ひない。しかし、民衆諸君はたまされてはならない。島根縣民衆諸君によつて、普選の美果がもたらされる事を私は確信してゐる。吾人の行動は民衆政治を建設すべき希望を實現する以外何物でもない事を述べて民衆諸君の御批判を仰がんとする次第である。

（をはり）

市政革新無産者同盟の聲明書

板舟權問題　京成電車乘入問題を中心とする市會議員疑獄事件は今や全市民大衆の面前に曝露されつゝある。市會は魚市場の極めて少數の人々を利するに過ぎぬ板舟權、平田船權の補償金拾萬圓を全市民の激烈なる反對を押切つて可決した。また本所區民の激烈なる反對運動にも拘はらず、突如京成電車の乘入をも通過せしめた。果然この背後には醜惡なる事實がひそんでゐたのである。たがこの事件は、市會伏魔殿の一端を曝露したに過ぎない。更に暗から暗に葬られた東京ガス疑獄事件、或ひは電力購入問題等、問題の存する所、必ず代議士及び市會議員の魔手が動いてゐる。彼等はこれ等の事件を通じて資本家の利益を圖り、私腹を肥して來た。

ブルヂョア階級が市政を蹂躙し自己の利益を圖りつゝある時に、無産市民は益々重り行く負擔に苦しみ、市從業員の待遇改善の要求は事毎に蹂躙されて常に生活の窮迫に脅されてゐる、今回の板舟權補償七十萬圓もその全部が一般市民の負擔に歸せしめられんとしてをり、家屋税所得税附加税等は益々重くなるばかりだ。

こゝに東京市從業員大衆の組織せる市電自治會、市從業員組合、市電協同會は無産市民の利益のために闘爭し來れる日勞黨、新黨準備會、無産大衆黨と共に　市政革新無産者同盟を組織して、その攻撃力を集中し、ブルヂョア階級の支配する腐敗市會の徹底的糾彈、市政革新のために蹶起した。

一、板舟權補償を即時取消せ！
一、京成電車乘入認可を即時取消せ！
一、ブルヂョアの獨占する市會を解散せよ！
一、醜類と彼等に策應せる市長を葬れ！
一、普選による市會總選擧を即時施行せよ！
一、市長は一般投票で公選せ！
一、全市民の手に市政を奪還せよ！

昭和三年九月八日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社だより

一月二十八日、××××××の××さなりて松本聯隊に入營したる同志赤尾は、去る七月二十四日兵卒を××の如く扱ひたる羽生伍長に××して、遂に、上官侮辱、上官暴行、持兇器上官暴行未遂さ云ふ恐ろしい罪名の下に、宇都宮衛戍拘禁所の××につながれた。

松本聯隊は去る濟南事件のため出兵してその××××××××××、羽生伍長の如きは自己の職務を放棄して、成澤上等兵にその事務を委任して省みず、成澤上等兵は不寝番割付けのため忙殺を極めて、伍長の命を遂行する能はざりしを怒つて、伍長かこれを毆打したるに端を發したものである。

それ以前にあつて、成澤上等兵が布哇に雄飛して十數年にしてかへり、入營したために三十に垂んさしてゐるを羽生伍長は「隠居」「々々」さ呼びてこれを侮蔑したるも成澤上等兵は涙を呑んで忍んでゐたのであつた。それさ同時にその赤尾君は社會主義者なりさして×××を極めたる事は云ふ迄もない。然れども同志赤尾は、所謂主義者扱さしてその自由の凡てを拘束され、あらゆる侮辱をも堪へ忍んで、只單なる×××××××××××××××××××をなさんさして、隊内にあつては、忠實に軍務に服してゐたのであつた。

然るに前記の成澤上等兵に對する羽生伍長の行爲の餘りに不法なるに憤慨し、伍長の行爲を制止せんさせるを伍長が毆打したるため遂に持兇器上官暴行。上官侮辱、上官暴行の恐ろしい長い罪名さ共に軍法會議に附せられるに至つた。

私は去日、同志赤尾を宇都宮の拘禁所に訪ふたが、例へ一時でも階級戰線より離れなくてはならぬ事を慨きつゝ、軍隊内の餘りに階級戰士を冷遇する事をほのめかしてゐた。その面會も監視の下におかれて充分語る事は許されずその眞相すら知る事を得ぬが同君の口より洩れた片々たる言葉の内にもこれを察する事が出來る。

今や豫審は終結して、愈々起訴される事さなつた。必ずや彼等は××××××××××××んさするであらう。これに對して我國の辯護士界にあつて令名を唱われた松谷與二郎氏が快諾、進んでこれの辯護に當る事さなつた。氏は且つて北原泰作の直訴事件にその名辯護振りを發揮した人であつて、氏の辯護には絶對に期待する事が出來るが、それさ同時に同志赤尾に對して一つには×××××××はのためにも同志を敵の手よりはねばならぬ（上杉）

◇

進め社の裏は小ガ平の家である。シヤクに障る建物だ。小ガ平の爲めに空氣の流通もよくない。それだから、

「小ガ平、小ガ平」さ怒鳴りたてる。近所の連中はビックリしてゐる。何しろ、今を時めく鐵道大臣に向つて「小ガ平」を連呼するものは吾等あるのみだ。小ガ平の女房が時々ピアノを彈いてゐるが何時聞いても眠氣のさす樣な音色だ。永久に上達しつこない低腦兒らしい。

反動主義者、禿チヤピン、「小ガ」よ無産運動は永久に若く成長する。（古川）

◇

富山電燈爭議の中心地滑川町の指導者諸君は多年「進め」の讀者で

ある。應援に行つた各無産政黨の人々に「電燈爭議は「進め」によつて根强く植つけられた階級意識の表現である」と語つた。見よ、結社運動を象牙の塔であるとあざ笑ふ事は、この事實を見よ。

◇

左翼劇場の公演を見た。仲々立派なものであると思ふ。しかし、鈴木文治を知らず、松岡駒吉の何たるやを知らざる書生ッポがカフエーの隅におけるダラ幹に向つて「鈴文そつくり」「松駒の樣だ」と怒鳴つてゐるのは笑止の至りだ。帝國ホテルで結婚式を擧けるブルヂヨアイデオロギイの絶對的信奉者によつて演出される左翼劇場より。ダラ幹、小ブルが左翼の口吻をもらしかつさいを受けるのも、芝居においてのみ可能な事だ。

◇

赤松克麿君のデマゴーギに至つては、頭腦の健康をうたがはざるをえない大阪において「日勞黨は來年解散されると云つた。社會民衆黨はかりが、政府のいゝ子にならうとする樣なデタラメは、慨して無産者の者笑ひの種、憤激の種になるからな。

◇

新黨準備會の結黨方針によれば大山を止めて上村進を委員長にかつぎあげるとの事である。學識無く、運動の體驗なく、何のとらへどころなき上村進をかつぎあげる新黨準備會の血迷ひぶりはどうだ。それは、そうとして進め社の前を通る新黨の人々には近頃とんと元氣が無い。

◇

加藤勘十君、高田保一君、大野佳良君等が入社された。同君等は入社すると同時に各方面に活動されることになつた。大野君は大阪進め社にあつて、仕事される事になつたし、他の二君は東京本部にあつて運動される事になつた。

◇

大阪進め社事務所で研究會が開催されてゐる。全土戰報欄にくわしくその事が書いてあるから、關西の同志で希望の人は、どしどし申込まれたい。

◇

ポスターが作つてあるから、申込んで貰ひたい。但し、折角送つて街頭に張つて貰はなければ困る。集合所でも、掲示版でも、其の他の人のよく集まる目につき易い所へどしどし張りつけて貰はねばならぬ。「進め」は書齋だけの本ではなく、實に街頭の雜誌である。

◇

時は、收穫の鬪爭を前に控へ、農民勞働者の活躍の秋、讀者諸君の愈々健鬪されん事を祈る。

（八十一頁より續く）

さ、この時だつた。やにはに現れた警官は彼の利腕を兩方からつかんだ。彼は急に自由を失つたので玩具のやうに扱はれた。

「卑怯。卑怯だ」彼はかう云つて猛れる丈け暴れやうとした。たが駄目だつた。

二人の警官に捕へられた彼はすぐ雨の中を警察へ送られた。

「卑怯だへ。警察へ頼みやがつてこんな者を捕つて置くなんて」吉はくやしさのあまり聲を上げて泣いた。

そして雨の中を歩きながらも榮養不良のやうに青い顏をした自分の妻や子供の事を思ふと彼は其處へ倒れさうになつた。

（終り）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

搾取行刑政策と自由勞働者の失業關係（五）

加藤利藏

刑餘者の社會的經路

一

前に述べた如く、所定刑期の滿了により社會生活に放たるゝその第一歩から、刑の延長の社會的執行を意味する公權剝奪に由る「刑餘者」又は「前科者」といふ特稱を冠せられることによつて生活的手段の先決要件である就職上の範圍を極度に狹められてゐるといふ關係上――卽ち官公衙方面への就職の不可能なるは周知の如くであつて、更に雇傭契約の永續關係が要件となる會社若くは工場方面への就職等も頗る至難であるといふ窮地に放置されてゐるといふ點もあり（尤も雇傭主との個人的な特別關係に繋がる者とか、過去の經歷を餘程巧妙に隱蔽し得る者等は別だが）たとへその受刑中「刑務作業の目的は彼等に釋放後の基礎を授け――激烈なる競爭場裡に生活し得る勞働能力を涵養せしむるにある」などといふ、行刑當路者の仰せ通りに仔々として、その服役作業に技術修得に勉勵して見たところで、これまた當局者が屢々言明してゐる「社會における產業制度の全般的傾向が分業制の徹底化に針路を進めつつある故受刑者に對する作業訓練もそれと同樣の方法に據らねばならない」といふ所謂分業的技術の訓練をうけたのでは、既に雇傭契約の永續關係が要件となり、その生產機構も分業的手法に基礎をおいてゐる現在社會の工場、或は會社方面への就職が至難であるといふ以上さうした在刑中の分業的技術の訓練も釋放後の「前科者」の社會生活上の實際問題としての價値も甚だ心細いものであり、他面から見るときは、被支配被搾取階級に對する搾取支配階級のいつもながらな矛盾と偽瞞の片影がこの邊からも窺はれやうといふものである。

然しながら、數ある雇傭主達の中には「受刑といふ過去の經歷が祟つて、擧世指彈の裡に無緣孤獨の身世を喞つ前科者の境遇が憐憫に堪えぬ」とか「犯行の償いとして法定刑期を了し終つた者に對し飽くまで指彈擯斥の冷遇を以てその生活を彈壓するのは人道上、或

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は社會問題上から見るも甚だ誤つた考へでもあり、寧ろ進んでそれらの者に對しては先ず生活上の保證を與へ溫かい社會的同情の手を以て順良なる社會生活の水平まで誘導してやるのが文明的刑事政策の目的にも合流するものでもある故」などといふ一見刑餘者に對する同情氣分滿溢の如くに思はれる俠名の下に主として釋放者保護會經由の刑餘者のみに限つての雇傭を歡迎してゐる、といふやうな者等もある。が刑餘者に同情するとか或はその救援のためとかいふ甘言俠語も畢竟搾取階級常套の表面を裝ふ一片の口實に過ぎないものであつて、例を擧げると、刑餘者の雇用を歡迎するといふそれら雇傭者達の先づ全部が釋放者保護會の手を經由せる刑餘者以外の個人としての雇傭契約の單獨交渉等は常に斷乎として拒否してゐるといふ點である。尤も突然「刑務所を放免されて來た者ですから」とその同情を求められたのだけでは果してその者が過去における己れの罪行を改悔し、その雇傭後において刑務所で搾られ通しに搾られてゐたときと同じやうに、唯々として雇傭主の搾取の儘に「善良」なる奉仕をして與れるであらうかどうか、或はまた雇用後の將來に何等か警戒を要する計畫でも抱いてゐるではなからうか？などといふ「杞憂も抱いて見ねばならないから」といふやうな一面の理由もあらう事故、その者の過去の罪質或は性向、又は受刑中における行狀（作業成績も含む）等詳しく調査濟みの上「これならば」といふ釋放者保護會の保證付きの者ならば安心して使用出來る故「刑餘者の雇用は保護經由の者のみに限定してゐるのである」など、いふ理由を列べてゐるが、その反面においては、雇傭契約の個人的交渉者——即ち刑務所を單獨にて釋放せる者、若くは釋放せしめられたる者が大部分を含む——の雇傭後の將來に要する「警戒すべき杞憂」とか、飽くなき搾取に堪え得る者があらうかどうかといふ利己打算からの「不安」のあるそれらの雇傭を拒否して「安心出來る雇傭者」であるといふ保護者」であるといふ保護會經由の釋放者を雇傭してゐるといふその底の底には、如上列記の理由とは又別個な意味における、頗る巧妙なる資本家的利己の魂膽が伏在してゐるのである。それは勞資紛爭の際における前科者の利用であると云つた。さたけでは一寸分り難くからうと思ふ——即ち釋放に際し保護會に吸收され、更にそれら刑餘者の雇傭を歡迎するといふ傭主達の手許に送り込まれる釋放の先づ全部が、その在刑中、當局者の間斷なく全力を注いでゐる反動的カルトの鑄型に、意識的に又は無意識の間に格好良く嵌り込んだ者、といふ認定濟みの者等ばかりだからである故にそれらの者の就職する會社、若くは工場等に勞資間の經濟的紛爭でも惹き起つた際、イの一番に罷業破りのスタートを切るのはそれらの前科者の面々であると斷ずるのに私は憚らない。

序に、現段階における反動團體構成分子の半數位が前科者であり時々罷業破り用心棒のエキストラに雇はれ兄弟猶に鬩ぐの醜體を演ずる「自由勞働者」の過半が同じく前科者であるといふことを付記して置く。

尤も當局者が受刑中の者に對する頗る露骨なる反動的カルトの必

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

要は、無論、右に述べた如く釋放後の彼等をしてブルジョア陣營擁護の走狗に利用せんとするの意味も含んでゐるではあらうがさうした當局者の意圖は寧ろ第二義的に位するものであつて、それよりも現行行刑政策の眼目である受刑者搾取の目的遂行をより完全ならしめんがための手段が主であると見るのが至當であらう。

そんなら當局はどんな方法の下に、刑務所において受刑者反動化の手段が講ぜられてゐるか。項を改めて述べる。

二

刑務所の中で、よく受刑者相互間が密々話して話題に上る次のやうな意味の小話がある。

「二人連れの母子が高い塀に圍まれた刑務所の傍を通りかゝつたとき、足を停めた幼兒がその母の袖を牽き「この塀の中には何がゐるの」といふ問ひを發したとき母は「この中には大泥棒の手に捕まつた小泥棒達が大勢押し込められてゐる」云々と答へた」といふ小話である。かう云ふ話しに異樣の眼を輝かしながら話し興じてゐる受刑者の腦裡に往き來する大泥棒の手に捕へられた小泥棒？といふたとへそれが已れ達の身世を中心にする現社會に對する、政治的並びに經濟上の明確なる意識の批判點からの「刑罰觀」のそれであるか、或は「犯罪」といふ過去の行爲の結果としての「受刑」といふ現在の境遇に對する朧氣なる自覺のそれであるか、の穿鑿は姑く別として、刑務所において受刑者の話題に上る右の小話は資本主義及強權主義社會における「刑罰制度」の本體を極めて簡單に、そして意味深く表現し得た至言であるとして玩味するには充分足ると同時にロンブロゾーやケトレー等の論中に屢々現はれてゐる「根本的な社會制度の改變に俟たなければ犯罪者の根滅は期し難い」云々といふ意味の言も、一面から見るときは、右に述べた大泥棒意識把持者對社會關係の意義を別途から裏書せる言であるとも見ることが出來る。

それと同じやうに「搾取と泥棒とは結局同じものである」と、誰やらが云つた如く、只前者にあつては潤澤なる資本の運用と、有力なる社會權への苟合或は社會的勢力の把握とを根據とし、後者にあつてはその出發點において經濟力の皆無と社會的教養の不足と、腦の容積の輕量と、その決行の方法が比較的拙劣であつたといふ程度の上の差こそあれ、不勞所得の經濟力搾取といふ結果においてはいづれも五十歩百歩の親戚關係である。

此處では犯行の目的及動機を個人若くは一集團に對する經濟力の破壞、掠奪、騙取等に原因をおく者――總括して「經濟的犯罪者」とでも呼んでおかう――を主とし、他の受刑者全數中の極く少數を占むるこれとは正反對の目的及動機に原因をおく經濟上並びに政治上の思想犯、或は、過失若くは病的疾患に原因をおく性犯行、又は傷害殺人等のそれらを除外する。

前陳の如く刑罰そのものに對して、明瞭不明瞭の程度の差こそあれ、何れも大泥棒の手に捕へられた小泥棒意識の所持者である受刑

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者の大多數に對し、矛盾とも誤錯ともいいやうのない「犯罪者の改悔善導」といふ表幟の下に、陳腐極まる勸善懲惡主義や、改過遷善主義の月並手段を以て所謂改悔遷善の期待を望んだところで恰度道樂親爺が道樂息子への意見と同様何等の効果のあるべき筈のないことは言ふまでもないことであつて、さりとて威嚇拷問の強壓手段につつてその「矛盾せる反省」を強いたところで「さうせかうなりや北海道と定め市ケ谷監獄假の宿」云々の捨鉢氣分の助長を促す位いが落ちであらう、といふことも既にさうした拷問や威嚇の壓制手段を一般に行使せる時代に（表面では〻分上受刑者に對する威嚇拷問の直接行動は禁ぜられてゐることと故對社會的には極秘の裡に行つてゐたことは無論である）幾多の狂暴なるピス健達を社會に送り出した經驗もあり、さうした著名な群小のピス健とまでは行かぬまでも、壓制や拷問の手前だけはその痛苦から逃れ得る便法として、表面上柔順と改悛を装ふてはゐるが「今に見ろ」といふ復讐と反抗と呪咀との兇暴性を内部的に壓縮して居り、さうした壓縮せる兇暴な潜在意識が比較的自由な社會生活に放り出された後に、その生活の上に有形無形の姿となつて現はれ出で、全社會面には何等かの波紋を惹き起した筈である事も、將來起すであらう事も容易に想像される事でもある故、前陳の如く、恰度内面生活においては、淫蕩と惡辣の限りを盡しながら一度愚男愚女の前に立つに及んでは俄に端嚴の相を装ふて世の淨化を説く贋僧流の口吻を以て大泥棒に捕へられた小泥棒意識の所持者である受刑者に向つてその改悛を迫つたところで冷笑と揚足とりの批評以外、何等の効果も期待出來ないし、といつて壓制拷問の強壓手段に訴へたところで、これまた既に述べたる如く、反撥的に兇暴性の激動を唆るに過ぎないといふ、刑事政策の表看の期待に背く結果を誘出せしめたのでは、對社會の手前もあり斯うしたジレンマから脱出する方法として案出したのが受刑者の攝取と反動化の二方法であらう。それは受刑といふ不自由極まる境遇裡にある者の必然的要求として全受刑者の腦裡に激しい欲動を惹き起してゐる衣食住の給與に頗る巧妙なる手加減を施し、恰度南極地方にあるといふ、車端の一角より吊し下げた一塊の肉片に猛烈なる食慾を唆られ、その肉片を喰はんとして本能的に歩を運ぶ中、いつしかその肢體に括付けてある重荷を牽引して行くといふ犬車の「犬」の如く、一人前以上何割の作業能率を昂めた者には日に何回副食物の増給をしてやるとか、入浴の回數を何度増してやらうとか、作業賞與金を日に何割か多く與へてやらうとか等々の所謂階級處遇規と稱する好餌を以て巧に經濟的搾取の第一段の目的を達し、斯うした好餌に釣られる受刑者にあつては不知の間に、過度の勞作による多量なカロリーの消失によつて體質上に生理的の變化を惹き起し、二三の本能的な慾情を除く以外の（内面的な意識の活動が漸時鈍くなり、六ケ月乃至一年位を經る中には精神力の能さが全く單純なものとなつてしまう――のが先づ受刑者の大部分であると見ることが出來る。就中生來虚弱な體質の受刑者などは極めて短期間の中に、内面的には全く拔け殻同然の者とされてしまう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯うした、受刑者個々の内面に起る精神活動の單純化は、彼等當局者の要望措く能はざる即ち第二段の目的であつて、その際の乘ずる「精神的訓育」と稱する拔け目のない方法が賢る綿密な計畫の下に、教誨師とよぶ說教坊主等の宗教的去勢手段と相俟つて受刑者の反動に全力を注いでゐるのである。

二三の例を擧げて見ると「荒み切つたる受刑者の品性を教化向上せしめ、他面においては、實際的社會の圈內より嚴重に隔絶せる刑務所といふ一廓內に檻禁しておく受刑者に對し、彼等が釋放後社會歸住の際の豫備智識を涵養せしむるため移り行く世相の概況を知らしむる」云々といふスローガンの下に刑務協會より（行刑事務硏究改善の補助機關であつて司法省內にある）發行してゐる雜誌の紙面を埋めてゐる記事といふ記事の總てが、軍國主義やら資本主義或は國粹主義等の宣傳或は謳讃に終始する文字羅列のものであつて、これは全國を通じ（植民地を含む）一般受刑者に閱覽せしめてゐる。受刑者の大多數もまた「世相の一端を窺ひ得る」といふ好奇に牽かれかなり熱心に讀んでゐるやうでもあり、生活が單調であるといふ故もあらうが同雜誌の配給日などは指折數へて待つてゐるやうな狀況にある。それと同似の刺戟を受刑者の腦裡に印してゐるのが、刑務所より受刑者へと貸下する官本の看讀による不知の間の感化であつて（私本の看讀は未決收容者及特別處遇者を除く以外の受刑者には絶對に許可せぬ方針をとつてゐる）先づ刑務所に藏してゐる書籍の殆んどが、これまた軍國、國粹、資本主義等の宣傳、謳讃の文字羅列のものか、同樣の意義を御用文士等の筆端によつて巧妙に粉飾せる小說、講談物の類か、諦め主義や屈從主義を高調せる宗敎本の類であつて、受刑者の中には、兎角カルトの足りない人々に通有な不定見な智識慾の衝動に驅られて、さうした御用本を無批判に熱讀するといふ不心得な者等もあるが先づ受刑者の大多數は、月に二回乃至三回位にある休役日の長い一日を、狹隘な居房に閉置され他囚との交談も出來ず、同時に居睡りも禁ぜられ、一定の時間以外には膝も崩されないといふ（最も雜居房獨居者達にあつては巡廻看守の目を盜すんでの密々話しや居睡り位は甚だしいのになると、鼻唄や手踊などもかなり巧妙にやつてのける勇敢分子もある）兎に角、長い窮屈なしかも苦痛まで伴ふ休業日の退屈凌ぎに「本でも讀んで見やう」といふ動機からの書見が多い。かたさへ、退屈凌ぎのそれからの讀書であつても、反復して讀んでゐる中には、いつしか批判的の皆無に等しい、觀察力の鈍い、受刑者の腦裡に何等かの印象を刻し、遂には彼等の心理上に當局者の企求してゐる反動的氣分の濃厚な變化を惹き起して來る、といふやうな事は見易い道理であつて「統計をとるに受刑者の大部分は保守的な反動的氣分の濃厚な者等である」といふ誰やらの所論を如實に立證する結果が現出してくるわけである。

右に述べやうな行刑當路者が主力を注いでゐる搾取政策と、それに兩面の關係を結び、釋放後におけるブルジョア陣營擁護の利用をまで考慮に入れた反動的カルトの期待に背く如き言行に出づる者或

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、行刑設備の不備缺點を指摘して、その改善を刑務所當路者に迫る者とか、或は同様の情苦、又は刑務官吏の私的若くは公務上の醜行を摘發せる訴願などを行刑當路の上司の許に呈するとかする（實際において、受刑者に對する食糧の給與、衞生設備等その他萬般に亘つて法規通りの處遇をしてゐる刑務所は全國を通じて、先づ皆無と斷じて差し支ない、と共に時折り新聞紙の社會面を賑はす、何々刑務所の××事件などゝいふ問題も、五十歩百歩の差こそはあれ、何れの刑務所においてもそれと同似の暗黒面はあるやうである）等の當局者に對する所謂不穩のいかいかの行動に出づ者には寸刻の容赦もなく直に所内における集團生活の圏内から摘み出し「行狀性向不良」或は「改悛の思念毫もなき者」などゝいふ理由の下に獨居拘禁に付されて嚴重な監視を受けるか、次ぎから次ぎへの移監送置によつて放免間際まで、いくつもの刑務所を引き摺り廻はされるかする。（尤も受刑前に職業關係――主として雜誌新聞の記者の如き、或は、思想運動等に從事せる者に對しては、所謂「分類拘禁」と稱する手加減によつて、受刑當初より獨居拘禁に付する方針をとつてゐる）からした部類に屬する者の釋放後における保護會への被保護の如きも、無論テンデ受け付もしないし、又これらの人々も釋放後に保護會の厄介になりたいなどゝいふケチな考へは毛頭抱いて居ないといふのが普通である。

右に述べたところによつて、釋放者保護會に吸收する者と然らざる者の區別に對する當局の手加減と、それら保護會に收容され、更に社會生活に送り出される者等の殆どが、意識的、或は無意識の間にブル陣營擁護の走狗に養く反動分子であるといふ――即ちそれら「刑余者の社會的經路」の一般が知られることゝ思ふ。

以上は主として釋放に際し「直接保護」若くは「間接保護の手を經由する刑余者に對する論述であつたが、今度は筆を換へて、釋放當初より「單獨釋放」の道を辿る者、即ち保護會の厄介にならなかつた者、なりたくつてして貰へなかつた人々の社會生活上の經路に就いて少しばかり述べる。

三

先づ刑を了へて、社會に放たれる日々數百の釋放者全數の過半が「單獨釋者」であつて、それら單獨釋放個々の思想的色分を見ると大體において、約半數位が「意識的の反逆分子」であり、後半は「意識的又は無意識的な反動氣分の持主であると見ることが出來る。それから、釋放に際し保護會の被保護を拒否する者、又は拒否されて獨行の社會生に還入るこれら單獨釋放者の受刑中における行動を「單獨釋放」といふ統計表中に編入されるの理由は、前項中にも或は前文中にも記しておいた如く、當局者の所謂「行狀性向不良」の者か「作業成績劣等にして事毎に官吏の命令に戻り、改悛の思念毫もなきもの」などゝいふ勇敢なる者か、老衰又は病弱のため、作業成績なども頗る劣等であり、從つて作業賞與金等の所時も少く、保護會に收容して見たところで徒に保護の費用のみ嵩む者であるか

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

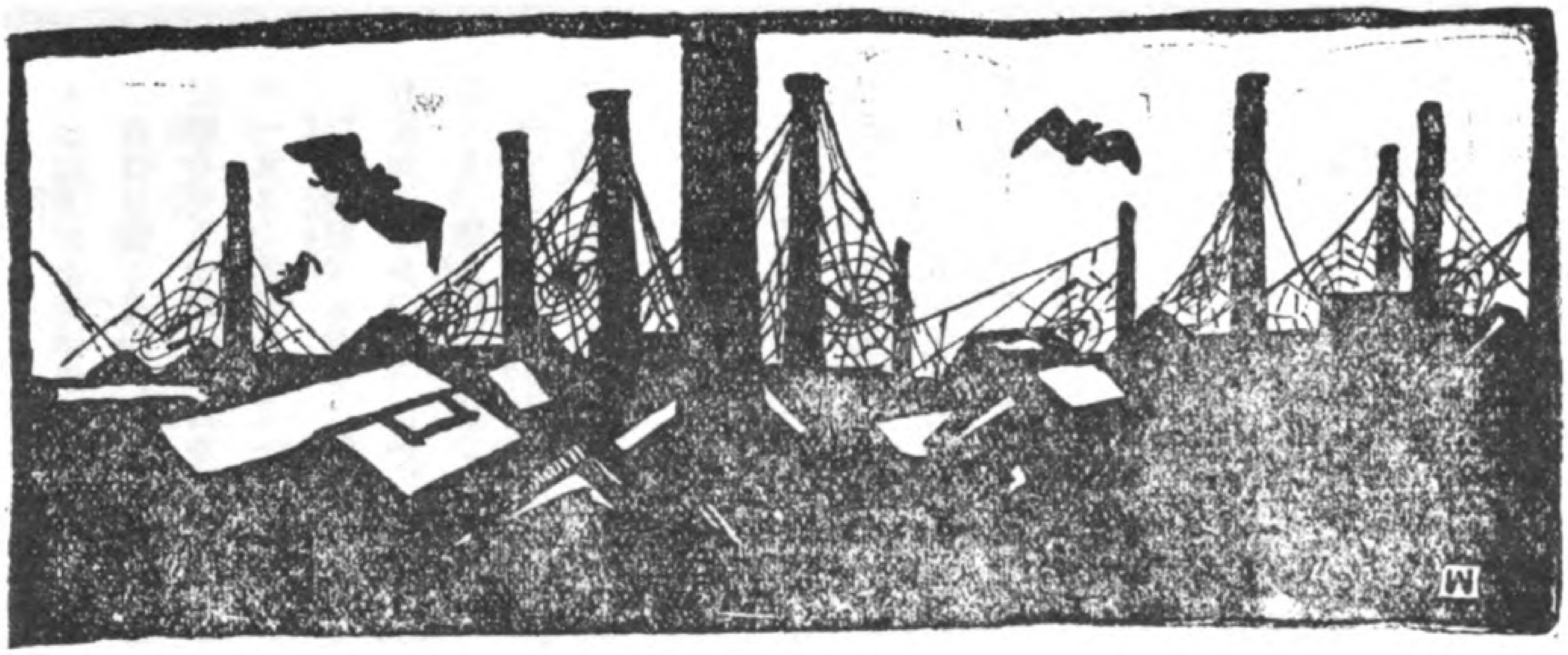
ら體裁よく放り出してしまおう」といふ取扱ひをうける者があるが、稀にはかなり高額な賞與金などを所持して居るため、放縱やその他の係りの者から甘言を盡しての被保護の歡誘を斥けて、自ら單獨釋放の道を選ぶ者もあるが、これらは「保護會に收容されて窮屈な生活をするよりも、ピヨセ〳〵になつてやうなく貰ひ貯めた賞與金で二晩でも三晩でも自由に面白く遊び暮して見て、將來のことはそれからでもなんとかならう」といふ享樂氣分からのそれであつて、先づ僅かの間に有金全部を費ひ果し、享樂の繼續を欲求する餘り、又々「一寸早いところ」をやつて再び元の古巣に歸つてゆく出戻り分子が多いやうである。これらは同じ單獨釋放といふも、數においても極めて少數でもあり、その動機においても或は行動においても一寸異類に屬する者等である故此處で例外としておかう。

そんなら他の單獨釋放者はどういふ經路を辿つて實際社會の生活保證を求めてゆくか、言ふまでもなく先決要件は就職の問題であるが、既に前陳の如く前科者といふ經歴が祟つて會社及工場方面への就職が先づ至難であるといふ位置におかれてゐるのであるが、といつて小資本の運用による露店商ひでも始めやうとしたところで、先決問題がその「小資本」である。たとへその受刑中に一人前以上の仕事をして毎月五十錢乃至一圓前後の支給をうける作業賞與金の計算高を所持してゐたところで、一年や二年位ひの短期刑では（受刑滿六ケ月間は作業賞與金の給與はしない）その規定もある故（この規定は現段階における反動階級の領袖山岡萬之助が行刑局長時代に立案實施するものである）全く多寡が知れてゐる、殊に釋放時に際し、衣類その他の調付にもいくらかを費消せねばならないし、釋放後充分とまではゆかぬまでも、受刑のため營養不良や過勞によつて衰弱しきつた身體の靜養に少くとも三四日位は要するであらうし、その間に要する費用も最低限度に見積つたところで一圓前後は要すると見ねばならない。（先づ半數位は、四五日位の靜養どころか、明日の日からの糧に追はれる者等である）かうなると勞作の難易とか、賃銀の多少とかいふ選擇などはする遑なく、焦眉に迫る生活指針を急速に他に向けねばならなくなる。卽ち資金も不要で雇傭關係も簡單である自由勞働中の「筋肉勞働」でもやつて見やうといふことになる。

斯うした必然の軌道を辿つて單獨釋放者の群は續々として自由勞働市場へと落ち込んでゆくのである。

果してそんなこれら刑余者の群は自由勞働市場において生活の安定を求め得られるであらうかどうか。（未完）

×　×　×



進め

創作と特別讀物

憎まれ者

吉田金重

「貧乏人の子供が、學校へはかり通つたつて何になるもんか！」

尋常小學校を卒へた私が、更に高等小學校へ入學しやうとした時、まづ反對したのは嫂であつた。嫂に取つて、私はこの家の餘計者であつた。餘計者の私は、いつまでもこの家にゐて高等小學校までも通ふよりか、早く丁稚奉公でもするか職人の弟子にでもなつて、出て行つた方がましであつた。長兄はそれをいゝとも、悪いともいはなかつた。素知らぬ風に、顔を反向けてゐた。高等小學校へ入學して通ふことよりもむしろ、讀んだり書いたり――とにかく學問の好きな私は嫂を怖ろしく、長兄を憚らなく思ひながらも、誰かに救ひを求めなければならなかつた。自分の可愛い息子のために、唇を噛みしめながら耳を欹てゝゐた母は堪まらなさう、

「何になるもんか……なんて、そんな無茶なことをいふもんぢやない、學校へ通へは通つたたけ徳になる」といつた。

「なんの徳になるもんか、學校へ通ふて飯が食べられるやうになる譯ぢやあるまいし」

「またそんなことを……またよし學校へ通ふて飯が食べられるやうにならないにしても、これからの子供はせめて高等小學校ぐらひは卒業させとかなきや……」

「ふん、仰しやいまさあ……そんなこたあこちとらのいふことぢやなくて、岩井のやうな分限者のいふことぢや、金や田地をあり餘るほど持つて、働かずにでも食べて行けるやうなお大盡のいふことぢや……それよりか鐵さんなんか富さんのやうに大工の弟子にでもなるか、町の呉服屋へ丁稚奉公で

もしたがよつぽどましぢや」
娘は口賢く母をいひくるめてしまつた。氣に弱い母はいつかな險に眼を光らせながら口を噤んで父の方をちらと見やつた。
「父さん僕あの……」
私は歎願するやう、父の顔を覗つた、この上はもう、父に縋るよりほかはなかつた。しかし、父は容易に口を開かなかつた。私は情なくも、苛立たしくなつて來た。
「父さん、僕を學校へ、高等小學校へ入學さしてよ」
「健さんは學校へ〱といふが學校へ通つて一體何になるつもりなんぢや？」
娘の眼は鋭く、私の要求を咎め詰つた。それを怖ろしさうに見上げた私の視線は、そのまゝ娘の胸のあたりにおりた。そこには食後の睡氣になつた乳房を啣んで、心持好くすや〱と眠つてゐる者があつた。いつも學校から歸つて來た私の脊中に縛りつけられながら、臀のあたりに毎度のやう生温い小便をいはりかけ、心地惡くさぼさぼと濡れしよぼらしてギヤー〱と泣き立てる――私に取つては嫁ひなく姪があつた。さうたその竹子と、母のつい脇に胸のあたりから、膝のあたりに飯粒をぼろ〱撒きこぼしながら、いつまでもく茶碗と箸を手離しさうにない松子とこそ、私から學校を、そして一家の愛をさへ奪つて行く厭はしい存在なのだ。それにしても父は、私のために一言せずにはゐられなかつた。
「まあとにかく入學して見い、健はほかの者とは違ふて讀んだり書いたりすることがすきぢやからな……しかし、うんと勉強するんだぜ」
「はあ、僕はうんと勉強して優等になつて見せて上げるよ」
つい先刻までの憂色はどこへやら、私は雀躍りせんばかりに嬉しくなつて來た。嬉しさの餘り私は、母の顔を見やりながらにこり微笑んだ。
「讀んだり書いたりすることばかり優等になつたて、何になるもんか、貧乏人の子供はやつぱり貧乏人の子供ぢや」
娘は呟きながらふて〱しく坐を立つと、竹子をそこへ投げやつて置いて、長兄と肩を並べて野良に出かけた。
五十戸ばかりのこの小さい字から、今年の春村立のM小學校を卒へて、I村にある共立のN高等小學校へ通ふやうになつたのは私と私の仲のいゝ友達の實三と二人であつた。ほかの學校友達の多くは牛を川堤に追ひ飼つたり、籠を脊負つて山へ草刈りに行つたりした、女の子達は家にあつて小さい弟や妹を遊ばせたり、つい隣字へ裁縫の稽古に出かけたりした。
「實三さん學校へ行かうや……」
私は毎朝のやう二丁ばかり離れた友達の家の裏口から聲をかけたすると實三は裸體のまゝ眠い眼をこすり〱、裏の脇の井戸端へ顔を洗ひに飛び出したり、眞黒い麥飯に茶をかけてさぶ〱掻き込んだりした。
「健さん待つてくれよう」

「健さんとこは朝早いんだからの……」
　私と實三とのやう、母と仲のいゝ友達のお幸小母さんはにこ〱しながら好く、空豆のいつたのを手掴みにくれた。しかし大工の長五郎小父さんはもう、前の空地でゴシゴシ材木を引き切つたりてふいなでペサ〱はつゝたり、それとも他所へ造作に出かけたりしてゐた。私は私の家よりも小さく、そして世間から貧乏の如く見られながらいつもにこ〱顔の父母と、快活な多くの兄弟を持つてゐる實三が羨ましかつた。亜米利加に出稼ぎしてゐる長兄の松太郎、私の母の媒介で嫁入つてゐる長姉の佐代、父の仕事を手助けするといふよりものらくら遊ぶことの好きな次兄の作次郎、母とゝもに畑の耕作に餘念のない次々兄の潮藏—— 妹のお春はM尋常小學校へ弟の市郎はまた木の片を積んだりして遊んでゐた、ほかの兄姉達が尋常小學校やつと卒へたか、卒へないかにもかゝはらず、實三が高等小學校へ入學するやうになつたのも、亜米利加に出稼ぎしてゐる長兄の松太郎によるのであつた。さうした。實三はいつも襤褸々々を着てゐながら、教科書や筆墨は次から次へと新しく買ひとゝのへた。
　私より一つ年上で、脊さへずつと高い實三は、級中の誰よりも活潑であつた。跳ねたり飛んだり冒險ごとの好きな實三はマラソンでも角力でも、ベースボールでもいつもチャンピオンの地位を占めた
「僕も實三さんのやうになれたらなあ……」
　讀本や、習字や、作文などのほかいつも引つ込み思案でゝとつちかといへば臆病で優柔不斷な私も、好く考へた。考へはしたが私には、實三の眞似は端片さへ出來なかつた。が實三は決して、自分を他人に強いはしなかつた。喧嘩の仲裁に入つたり、弱い者をかばつたりする實三も、自分から爭ひを求めたことはなかつた。その實三が、私に取つて唯一の保護者であつたことはいふまでもなかつた。
「健さんとこの嫂さんは、惡い奴だなあ……」
　字を出はづれて川端に差しかゝつた時、實三は私の家の方を振り返りながらふいにいつた、私はぎくッとして、同じく自分の家の方を振り返つたが、そこには何事もなかつた。
「貧乏人の子は學校なんか行かない方がいゝんだつて、そんな無茶なことがあるもんかなあ……」
「誰が？そんな無茶なことを……」
「誰がつて、健ちやんとこの嫂さんがいふたんぢやないか、そこら中へ振れ廻つてゐるんぢやないか、そして……」
　實三はいつになく憤慨しながら、私の顔を覗き込んだ。私もまた何がそして？なんだらうと實三の顔を瞶つた。
「健さん、用心せんぢやいけんぜ、君とこの嫂さんは惡い奴だから……」
「うん、それや……」
「健さんをひよつとすると、どこかへやつてしまふか分らないさうたからな」
「えッどこへ？」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私は今更ながら身顫ひした。曾て嫂の口からしばしば聞かされた言葉を、この仲のいゝ友達の耳を通して聞かなければならなかつたから。

「そこへつて、そんなことは知らんが大工の弟子か、丁稚奉公かにやつてしまひたいんたつてね……そんなことを、あつちこつちへ頼んで廻つてるさうたあ」

「何、頼み廻つてる?」

「お松叔母さんが昨夜、僕のとこへ來てそんなことを話しとつた」私の家の北隣りで駄菓子や、小間物などを商ふお松は實三の父の妹であつた。世間の日常に起る色々な評判や、噂はこの女によつて次から次へと傳はつた。それにしても私は、實三の言葉は身に迫つた事實として、より痛切であつた。

「實三さん、どうしたらいゝたらうなあ?」

「さあ、それや僕にも分らないがなあ……次手に面倒臭いから、そんな嫂さんこそどこかへやつてしまふんたな、それが一番いゝと思ふ……」

「そんな無茶なことを……」

戯談らしくもない友達の言葉を、私は心持顔を紅らせながら遮つた。しかし、私は前よりも一層暗鬱になりながら、二十丁ばかりの道程を默々と辿つた。辿りながらも私は、すぐ前を何の屈托もなく唱歌を口に歩く實三を如何に羨んだことであらう!

「健さん、君とこにやまた喧嘩をやつとるぜ、早く歸つて見い」

それは翌年の學期試驗のある日のこと、私が實三と學期試驗の問題に就てあれこれ話合ひながら、學校の歸途川端にさしかゝつた時そこに牛を飼つてゐる少年達は口々にいつた。私を間に挾んで母と嫂とのいざこざから、一家の風波の絕へなかつたこの頃、私は今更のやうに胸に動悸を打たせながら三四丁もの道程を一さんに走つた

そしてやつと家に辿りつき、今しも入口の閾を跨がうとした私は、

「それほど健が憎くて〳〵ならんのなら、私がつれて出て行くから安心するがえゝ……」といふ、母のいつもになく咽喉を絞るやうな聲を聞いてはツとした。それに對して長兄はもとより、父さへ口を挿はさまなかつた。ひとり祖母の膝に縋りつきながら泣きつゞけるのは、やつとよろよろ歩くやうになつた竹子であつた。

(九十一頁より續く)

彼は芝居は甘かつた。今神奈川縣下で神主をして居るといふ。其處へ吉川守邦外大勢が萬歲々々と連呼しながらやつて來る。爭議に勝つたのた。石井は子供を失つたが、多數の幸福をよろこんた。これが筋であつた。女房がシックリと他と合はず、變なものであつた

又夜間手術することは殆んどない。夜間にしなければ面白くないが、手術は晝と定つてるものた。夫れを殊更夜間やる所少々無理なやうな事もあるが、其所が芝居なのたらう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

嵐を衝いて

土佐和芳

1

空は泣き出しさうに曇つて、吹く風は砂埃をまくし上げて激しい
夜が明け切れないので街はまた眠つてゐるやうだつた。

明神の源公を誘つてやらうと思つた沖仲仕の吉は悪臭の激しい排水堀に沿うて廣ッ場の方へと足を早めた。今朝は早いせいか此處を通る青服の職工達や、法被姿の人足連中の影も折にしか見へない。

「今日も馬鹿に吹きやがるな」彼は折々恐めしさうに空を見上げると呟いた。そして沖が荒てまた仕事にあぶれはせぬかと心配した。

「源公ゐるかへ？」

汚い腐りかけた板橋を渡つて、嫌な臭ひの漲つてゐる路地に入つた吉は、角から三軒目の戸口に首を突込むと荒ッぽい聲でおらんだ。

「まア、入つて呉れ」

すぐそれに答へた源公は飯を喰つてゐるらしい。坐敷では子供が火のつくやうに泣いてゐる。

「どうしたんだへ。よく泣いてるたねゑか」

吉はけげんさうに顔をしかめると薄暗いジメ〳〵した土間に入つた。

「仕様がねえよ、嬶の奴は風邪を引きくさるし、子供は泣きやがるし——」

口に一ぱい頬張つた飯を、グイと目を白黒させながら呑込むと、源公は泣くやうな顔を吉に向けた。

吉は急に氣の毒さうに顔を曇らせた。

「乳が出ないと見へるね、可哀想に」

子供は母親の乳房にすがつて乳を吸ふのだが、乳は出ないらしいそれでもひもじいとみへて子供はやつぱり吸ひ續ける。すると終ひには疲れて泣くのである。

「さうたへ、ミルクでも買つてやつたら？」吉はあまり可哀想なので思はずかう云つた。

「ミルクかへ？」源公はチョット言ひ淀んだが「一昨日から時風つゞきで仕事にあふれ通したもん、そんな物を買ふゆとりがねえんだよ」とかう云つて彼は急にうなだれた。

貧乏人が子供を育てるのは容易な事ぢやねえ」吉は彼に同情するかのやうにしんみりとした口調でかう云つて「俺も神戸にゐる時は

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

二人も死なせたんだよ」と眼をしばたゝきながらバットに火をつけた。

「ほんとにおめえの言ふ通りだ。俺らのやうな貧乏人は一人育てるのも仲々の骨だ」

源公はかう云ひながらどす黒い麥飯を茶碗に盛ると、

「俺らの子供は病氣になりや唯死んで行くだけよ」と、ポロリと茶碗の中へ涙を落した。

戸外は烈風が激しく唸つて、破れ障子は容赦なくガタ〳〵と音をたてる。

「今日もまたひどい風ぢやあるまいか?」

二人は言合したやうにかう云つて顔を見合せた。

やがて飯を喰終つた源公は二三べん苦しさうな咳を續けると土間に下りて

「どうも待たしてすまなかつたな」と、汚い手拭を首へグル〳〵巻きつけた。

「おめえも風邪引いてるんだな」

吉は心配さうに源公の顔をのぞいた。

「なに、大した事アねえ」

源公は吉の尋ねて呉れるのを遮るやうにして戸外に出た。急に霰まぢりの寒風は二人の横面を激しく撲つた。源公は續け樣苦しさうに咳をした。

「おめえ大丈夫かへ?」

吉はダメを押すやうに尋ねた。

「大丈夫だ、行つて呉れ」源公は苦しい息の中からかう云つて、心配するなと云ふ風に手を振つた。

少時。二人は默し切つたまゝ細い濱ッ端の道を濱の方へと急いだ。

2

二人が濱の溜り場へ着くと外の沖仲仕連中はみな集まつてゐた。沖は昨日より以上に荒てゐる。

「こんな日和に休みもあぶれもあるものか」

のんきな奴はこんな事を云つてストーブの側で仰向けになつてねてゐるのもある。隅の方では一錢二錢と出し合つてサイコロを振つてゐるらしく銅貨の音がチヤラ〳〵と聞へる。

「どうだへ。向うは明日出帆だと云ふんだからみな集まつたのなら明神丸へ行つたら」

油切つたどす黒い顔の荷役頭は忌々しくバットの吸殻を地べたへ投げつけると集まつてゐる連中を睨みつけるやうにして怒鳴つた。だがこの時風では小さいランチで沖へ出る事は危險だから誰もが進んで行かうとはしない。

「お前達は行かないと云ふのかへ?」

荷役頭は自分の言つた事が通らないと腹を立てゝ悪魔のやうな形相をした。それでもみな顔見合せる許りで動かない。

「天氣のいゝ時はヲールナイトでも默つてする癖に、今日らのや

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

うにチヨツト風が吹きや文句つけやがるんたな」

「よしツ！貴樣達アもう文句吐かす事ア出來ねゑぞ？」

一座は水を打つたやうに靜まり返つた。嵐は物凄く唸る。思ひ合したやうにたれもがみなキヨロ〳〵目ばかり光らせた。

「どうたへ、こんな時沖へ行く者をくぢ引にしたら？」

誰云ふ共なく、囁くやうにこんなことが云ひ廣がつた。

「それがいゝやー―いゝ案た」

みな一致したやうに贊成した。

いつも世話好きの吉は木切れを折つて、長短のくぢを頭數たけ造らへて來た。皆我先にと拔いた。短いくぢの方は仕事に出るのであつた。

三十人餘りの中でいよ〳〵二十人たけが行く事に定つた。風邪を引いて熱にうかされてゐる源公はくぢが當つたので泣くやうな顏をした。

「たから今日は大丈夫かと云つたたねえか」

吉はかう云つて可哀想な源公の姿をしみじみと見つめた。

「仕方ねえや。こんな日和に仕事しまいと思へは貧之人に生れて來なけりやいゝんたよ。――さあ、行かう。言ふ程の大した波ぢやねえ」

沖の本船へ行く連中はこんな事を聲高く喋りながらトボ〳〵と歩き出した。

源公は激しい咳をしながら、今は打殺されに行く老牛のやうに悄然と彼等の後に尾いて行つた。

3

沖の本船へ近づくに從つてランチは木の葉のやうに跳返り廻つた

「何程急く荷役かしらんが、この天氣に積荷が出來るものかへ。――もしもの事があれば俺らの命でも買取つて呉れると云ふのかへ？。」

ランチにゆられながらみな口々にこんな事をぼやいた。たがそれでも船を陸へ引返せとはやう言はない。それたけ彼等は弱い人間達であつた。

源公は魂の拔けた人間のやうに蒼くなつて苦しさうに唸つた。

「大丈夫た、もう本船へ來たからな」

吉は優しくいたわるやうにかう云つて源公の背中を何べんとはなしにさすつてやつた。

やがてランチは本船の左舷に横着けになつた。たが船は前より以上に波の鉢返りで激しく上下した。

「あぶないぞ。タラツプにしつかりすがれ」

甲板でコワタマスターが激しく叫んた。みな其通りに力を込めてタラツプを攀登つた。

「俺もうしんどくて動かれねえ」人より後れた源公は哀訴するかのやうに、泣顏を吉に向けた。

「このまゝぢや仕方ねえ、まあ元氣出してとにかく本船へ上れ」

吉はへゝこたれてゐる源公をはげました。源公はヨロヨロよろけながら危つかしい手つきでタラップの綱を攫つた。

「さあ、早く上つたッ」

吉は今にも倒れさうな源公を叱るやうに云つた。

と、其時だつた。山のやうな鉢返り波のために激しくタラップが上下した。と思ふ拍子に唯さへよろ〳〵してゐる源公はタラップの綱をもぎとられて眞逆様に海へ落ッこちて行つた。

居合せた者は急に騒ぎ出したがどうする事も出來ない。甲板からは幾つもブイが投げ込まれたが波が激しいのと、病氣のために身體を痛めてゐるのと兩方でブイには、やうすがらなかつた。で其うちに彼の身體は人々の眼から失われてしまつた。

4

どうしても波が治まらないのでみなが陸へ引上げた時分からポツリ〳〵と大粒の雨が降りはじめた。

「沖まで苦しみに出て、源公を殺して來たやうなもんだ」どれもがみな行く時以上に暗く顔を曇らせてこんな事をさゝやきあふた。

そして其うちでも明瞭である吉は今にも泣き出しさうな顔をしてうなだれてゐた。

「親方。一體どうしてやる考へです」

吉は今ぢつとしてゐる場合でないと思つたのか憤てかう云つて荷役頭に喰つてかゝつた。

「どうするつて、仕方がねえたないか」

荷役頭はかう言つたものゝ、やはり苦悶の色が顔一ぺイに漲つた。

「源公は死んだんですぜ。あんたの仕事をして」

吉は打殺された友のために拳をふるはせて言つた。

「と、言つてどうすると言ふんだへ」

荷役頭は益々横柄な態度を續けた。

「ヲイ、白ばくれたら駄目ですぜ。どうするつて判つてるたないか、あれにはかゝも子もあるんだからな」

吉は今はもう喧嘩腰になつた。

「お前はなんだへ。人足風情で大きな口を利くと承知しねえぞ」

荷役頭は自分の何物かを傷つけられた腹立たしさに聲高く怒鳴つた。

「何だと——畜生ッ?」

吉はかう云つたかと思ふとやにはに荷役頭にしがみついた。

そして少時は激しい格闘をつゞけた。

5

みなに引分けられて吉が外に出た時は陽はずんぷり暮れて篠を突くやうな雨だつた。

それで吉は頭から法被をかぶると源公の家へ走つた。街の電燈は激しい風のために折々明滅してあやふく立止まらねばならなかつた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

やがて源公の家の表まで來た吉は障子の破れ目から内部をのぞいてみた。

家の中では相變らず四ッの美代子と母親の胸に喰ひついた赤ン坊とが競爭するやうに泣いてゐた。

「可哀想に」彼はかう思ふと、思はず涙を流した。そして急に今迄の勢ひをくぢかれてしまつて今自分が持つて來た凶報を彼等にしらせたくはなくなつてしまつた。

彼女がこんな事を聞けばどんなに驚くだらう?今日のたつきにさへ追はれてゐる者がどうするだらうか?彼は破れかけた軒の下に立ちあぐんで雨の音を聞きながらにこんな事を思つた、そして何思つたか、又雨の中へ姿を消した。

吉は一體どこへ行くのだらうか?。自分の家へ歸るのだらうか?彼自身にもそれが判らなかつた。だから彼は當もなく雨にぬれながら歩いた。

6

長い間雨にぬれながら歩いた吉は、今迄から判然とわからなかつた物を今初てのやうに知る事が出來た。

「俺らは今迄苦しめられながら彼奴達のためにのみ生きて來たのだ――そして俺らは何の事もなく唯彼奴に依つて働きの全てをもぎ取られてゐたのだ」

彼は雨の降る中で電柱にもたれてこんな事を呟いた。

「[illegible]だ。今に俺も源公のやうに打殺さて行くんだつたのだ。源公が何よりもいゝ手本だ。だけど俺はそれをどうする事も出來ない。しかし俺はもう我慢が出來ぬ。我々の全てを蹂躙した彼奴を今俺の手でバラにしてやるんだ。――さうではないか。いくら沖仲仕はフランテンとは云へ使つてゐる限りはやつぱり使用人だ――だつたら何故する丈けの事をしてやらないんだ。仕事にあやまつて死んだのではないが波にさらはれて死んだのも、やはり惡い天氣もかまはずにやつたからなんだ。――まるで俺達を犬や猫のやうに思つてゐやがるからこんな事になるんだ。畜生ッ」

彼は怒のためにブル／＼全身をふるはせて今は無我無中に荷役頭の家を目がけて走つた。

8

嵐を突いてやつて來た吉は、荷役頭の家の戸を荒々しく明けた。

「誰だへ」

それと、すぐ荷役頭は出て來た。

「俺だへ、ひるの話をつけに來たんだ」

吉はかう云つて雄々と立はだかつた。

「何を、生意氣な。貴樣のやうなガキは歸れ」

荷役頭ははけしく叫んだ。

「何だと」吉は全身に力を込めて肉彈を投げつけるやうにみがまへた。

（六十五頁へ續く）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理想郷を造らんとして支那革命に從ふ（三）

福田狂二

呉淞砲臺によりて揚子江艦隊を破る

閘北には程君が居るから、私が行かなくてもよい。上海にある殷君は私をあてにしてゐるので私は再び上海に行く事とした。船の中には避難民が多かつた。上海に着くと直ちに殷君を訪ふた。殷君は呉淞が非常に危險だから、明日呉淞に行つて呉れとの事であつた。當時上海に來てゐた日本の歩兵大尉栫引弓太郎君等七人を連れて呉淞に行つた。呉淞は上海の入口、揚子江と黃浦江が支那海に注ぐ中州である。この中州は揚子江の泥土が作つたものらしい呉淞の砲臺と云へば一寸有名な所である。十四五年以前には呉淞の天文臺と云つて東洋第一と稱せられた位のものであつた。上海より十三哩、戸數五六百位の小市街ではあるが、東洋を航海する船は必ずこゝに停船せなくてはならない有名な所である。呉淞を奪へば支那を扼する事が出來るために昔は軍國主義者の注目する所であつた。

砲臺は二十四珊加農砲、二十八珊榴彈砲が各四門宛据つけられてあつた。白文蔚君が總司令である。白君は清朝時代から軍籍にあつたが夙くから革命に志し同志を糾合して、第一革命の起るまでは南京第九鎭三十三標の一軍人に過ぎなかつたが武昌革命の際は鎭江師團長となり、南京總攻擊の際は浦口攻擊の總司令官となりて專任安徽都督にもなつた。此の時は呉淞獨立軍の總司令となつて居た。容貌魁偉で品行端正眞に志士らしい所があつた。北軍が呉淞に向つて主力を注ぐ海軍は海圻と云ふ支那第一の戰鬪艦（四千三百噸）を始め巡洋艦（各一千噸位）三隻をもつて攻めたが容易に陷ちない。それもその筈砲兵戰術に自信を有する劉狂民あり、この人の射擊は百發百中殆ど空彈はなく海圻以下碇を切つて逃た。この人は卽ち私であつた。私は劉と云ふ姓をよく用ひた。支那革命に加はつてゐるには福田と云ふ姓はよくない。支那人らしく支那四億の民衆の代表の積りで劉と云ふ姓を選んだ支那では劉と云ふ姓は古來より尊はれてゐるので特にこの姓を用ひた。「狂」はくるふと云つて徹底す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る意味が含まれてゐる。民のために狂ひそして斷頭臺上の露と消へるか、革命戰術の白骨と化するか、私のその當時の決心はこうであつた。

海軍は南京に向つたらしい。呉淞は世界における革命家中で第一の戰術家をもつて自惚れてゐる私がゐるから十隻や二十隻の艦隊に等しいやうな軍艦ではとても陷れる事は出來ない。私が官軍の軍艦を追拂つた時の如きは例へ英國の艦隊が來ようとも、日本の艦隊が來ようとも又ネルソンでも東郷大將でも況に恐るゝに足らんやと思つた。海軍が退却したので敵の陸軍は呉淞へ……呉淞へ……と潮の如くおし寄せて來たのであつた。

陸軍を潰滅せしむ

その時の噂には、呉淞には日本の陸軍大將が援助してゐるから官軍の力ではとても陷ちない。この陸軍の大將は關帝（關羽の事を支那人が尊稱して關帝と呼んでゐる）の再來たと支那の苦力等が云つてゐたそうである。これが官軍にも知れたために官軍は五ケ師團の兵をもつて呉淞に押し寄せて來たのであつた。呉淞は三角州の様な處だから、とても一ケ師團の兵すらも來る事は出來ない。これが率ひる官軍の司令官は誰であつたか名も忘れたが戰術などは少しも知らぬ。軍人としての資格のない人であつた。我軍は砲臺より二里前に鐵條網を張つた。この鐵條網も支那の内亂では餘り用ひられた事がなかつたらしい。これは私が上海の日本商人より鐵線を買つて作らしたのであつた。塹壕を築き、出でては時に敵を撃つた。密集せる官軍は二三人死ぬると他の兵は驚ろいて潰亂するのであつた。この有様を觀測臺上にあつて雙眼式觀測鏡で見てゐると三里位の處が二三町位に見へて、敵の狀勢は手に取る如くである。擊退された敵は鐵條網の一里位の向ふに逃て近付かない。時に機關銃を撃つけれどもその機關銃も二三門位しかない様に見へた。

支那の戰爭は夏になると午前十時より午後三時頃迄の間は双方とも休憩する事となつてゐる。それは正午の前後は砂が燒けて、とても暑くて立つておられない。その時分は木陰か塹壕の中で晝食をして夜にかけてパチ〳〵射擊をする。夜の七八時頃になると益々熾になつて十二時頃迄續いて又休むのである。これは殆ど戰爭中の日課の様なものである。

外國人等でこの戰爭を見に來るものも少くなかつた。上海で一日舟を雇つて呉淞に下り夜の十一時頃迄かへる。支那の戰爭は呑氣なものだと日本の新聞が書いた事があるが、中々呑氣には戰爭は出來ない。命懸けたから却て日本の戰爭よりはつらい。餘り良い武器を與へないし、食事等もいゝ加減なものを與へ、靴でもゲートルでも一ぺん與へたら二年でも三年でも與へない。金もないためにその補充もつかない。長い野戰になるとズボンの脛から切れて跣足で歩かねばならぬ事もある。草鞋をかつはらつたり、支那人の靴をかつぱらうのも止むを得ない。長い野營は寢臺が無いからジバンの替りがない。汗は出る汚れはするそれと同時に虱は無數に湧く。洗濯や着

ちたボタンを縫ひつけるなんて事は明日をも知れぬ武士の出來る事ではない。先づ一杯の老酒や高粱酒を飲んでこの苦しみを忘れる事だ。支那兵が掠奪するさ云ふ事も又仕方のない事である。日本の軍隊ですらあつたさ云ふではないか。戰爭さ云ふ不道徳がある限り又こんな罪惡も起るのだ。いかに革命戰でも人を殺す事は同じだから掠奪位は止むを得まい。今年支那に起つた掠奪殺人事件等も私は亦止むを得ない事々思つてゐる。それよりも廟堂にあつて軍艦をかぢり機密費を使つたりする奴が余程惡い。

支那の軍隊は革軍にしろ、官軍にしろ、背嚢をもつてゐない。又武器も頭數の半分位しかない。丁度日本の中學生の行軍見たようなものである。半分は鐵砲をもつて半分にはもつてゐない。鐵砲をかつぐものも、かつがぬものも大布敷を背中にしよつてゐる。その中には色々のものが入れられてゐる。先づ余談はこれでやめて戰爭の話しに入らう。

私は敵が一里計り退却したから進むに進まれない。我軍は五六倍もゐる敵軍には到底追擊する事は出來ない。私は氣がついた。加農砲をもつて敵を潰滅せしめ樣さ、一門の加農砲を動かし始めた上海の工場から技師を呼び二日かゝつて砲の方向轉換をした。技師に見込まれて一萬元とられ、七十人の兵が勞力を出して漸く完成した。

時は六月中旬であつたらう。燒ける樣な陽のもさで即ち午後一時頃私は射擊の用意を命じて彈を裝詰した。これは射擊する積りではは無かつたが偶然に擊ちたくなつたので火藥をつめさせて擊つた。その折敵の兵六七十人を殺傷した事は後で聞いた。その夕方よりこの加農砲を四發擊つたが一發は敵の旅長（旅團長）を殺し、二百人の敵兵を殺傷して戰慄せしめた。一發は楊子浦さ云ふアメリカ租界の北端に行きアメリカ人の家屋を潰して問題さなつた。アメリカ領事館よりアメリカの陸戰隊が呉淞に來て抗議を申し込んで來た。先づ我軍に對してアメリカ軍は停戰を命じたのであつたが私は官軍が退却せざれば停戰する事は出來ないさ彼の要求を斥けた。交渉は中々はかどらず、ためにアメリカ海軍の陸戰隊の中には、呉淞を占領して了へさ云ふものも居つたが、私は「武力においては敢て貴國の軍隊は恐るゝに足らず」さ大見得を切つた。

北軍は毎日四五發の加農砲を擊つたために遂に退却した。中には退却中に汽車に乗つて逃る途中上海のステーションにおいて各國の義勇隊から武裝を解除された者もあつた。これによつて北軍は殆ど潰滅した。

身を挺して敵艦を奪ふ

敵のなくなつた私は時には上海に出て久しぶりに日本の宿屋に泊つたり、日本の料理を食ひに行つたりした。上海にある四馬樓の夜さ云へは東京の銀座の如き處である。上海の附近では戰爭のあるのに、四馬樓では支那人も外國人も歡樂境に浸つてゐる。私もこの時二三回行つて見た事もある。そして人並の氣分を味はつて見た

事もある。此の頃米租界の東洋館に日本の海軍大佐大田三十郎君が居つたので、よく私は彼れを訪問した。大田君は日本の海軍部内にあつても有數の人物ではあつたが、海軍の軍閥と快よからず、海軍の大改革を計劃してゐたが、その事を密に友人名和又八郎（海軍大將）に話した處、名和は友人を裏切つて當時の海軍の大御所山本權兵衛に告げたために海軍當局より睨まれて、豫備役に編入されて了つた。大正三年のシーメンス事件に際して、山本權兵衛を首班とする政友會内閣の海軍に對する不正事件をこの大田君が暴露して位階を遂に褫奪された。大田君は未だ五十に成らず覇氣があつたから上海に遊んでゐた。その後も能く大田君と話しあつた。孫逸仙に大田君を紹介したのもその頃であつたが、その時孫逸仙も彼れを海軍の顧問にする腹もあつたらしいが宮崎滔天や山田甚三郎等の支那浪人が妨害した爲なれなかつた。この支那浪人は大抵日本の軍閥より金を貰つてゐるので日本の不平家である大田大佐を革命軍の顧問にする事を嫌つた。大田君はかりでなく僕等もどんなに彼等に妨害されたか知れなかつた。それでも我々が實戰において役立つ事によつて、彼等は我々の前には常に恐れを抱いてゐた。

七月の初め上海の殷君より機器局（砲兵工廠）を乗り取るから援助して呉れとの事であつた。總大將は陳其美であつた。陳其美は相當の人物ではあつたが彼が日本人の浪人共と日本人の旅亭で藝者をあげて騒ぐ樣な事はかりするので私は彼を革命家として遇する事は出來なかつた。それで私は呉淞に所屬して居るから行けぬと斷つた。機器局の攻擊は始まつて呉淞よりも歩兵二千はかりが派遣された。私は時々この戰爭をフランス租界に出でゝ觀戰したが、機器局は中々陥ちそうにもなかつた。革命軍が日本の同文書院の裏に隱れたために官軍のために同文書院が燒拂われたのも此の時であつた。

わざわざ殷君が呉淞に來て上海獨立軍が敗けてゐる故是非革命軍のために援助して呉れと白文蔚と共に依賴して來たので愈々乗り出す氣になつた。そこで私はこれを破るのには機關銃の二門や三門ではどうする事も出來ないので私の得意である砲兵軍をもつて攻める事としたが、呉淞の要塞をフランス租界迄もつて行く事は到底出來そうもないので、大田三十郎君に計略を相談した所、官軍のよる機器局の陥らぬのは、官軍が海軍をもつてゐるからであるから、先づ敵の軍艦を奪つて了へとの事であつた。その翌朝、私は支那の舟に乗つて長江艦隊の巡洋艦楚有（七百五十噸）を襲つた。

この軍艦に入るため、私は日本の商人に化て、煙草やお菓子の如きものをもつて忍び込んだ。實際その頃舟の着いた時にはこんな日本人の商人がゐたのであつた。私は山口、田山の兩君と支那人十六人を連れてゐた。この人達は私がその腕力と機敏さを試驗して採用したものである。官軍の軍艦は夜は戰爭して晝間はフランス租界の各國の軍艦の中の安全地帶で休憩してゐた。私達が九時頃敵艦を襲つた際、敵艦に上らんとするとぼけた水兵が誰何したが、私が「艦長は何處か」と怒鳴つたため水兵は無言で艦長室を指差した。私は直に艦長室に這入つて寢臺の上の艦長の襟上を掴

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

み、用意してゐたモーゼルの一聯發拳銃を胸に擬して威嚇したな　そして軍艦を革命軍に渡す事を強制した所、彼は直に承諾した。他のものも私と同様モーゼル一號をもつてゐた。この拳銃はドイツ製で千米突は有効である。日本の騎兵銃と着彈距離は同一で、そしてポケットに入れる事が出來るので非常に都合が好い。この時私は平服であつた。今の言葉で云へば便衣隊であつた。皆が拳銃を擬して百三十名の乘組員を威嚇し、降服したものには一人一人に手錠をはめた。

所謂暁の手入れの樣なもので、僅か三十分ばかりの間に敵艦は完全に我軍の手に歸した。この際、敵軍は一名の死者を出し、我軍は僅かに小指を擊たれたものがあつたのみで占領したのである。そうする中に革命軍の平服隊が百人ばかりこの楚有にやつて來た。そこでこの平服隊に迎へられ、楚有には革命軍の旗を揭げて呉淞に出發した。その途中日本の巡洋艦の將校や水兵がこの有様を見て「しつかり遣りたまへ」と激勵して呉れたが、私が日本人である事を知つてゐたらしい。

呉淞に着いてからは、機關士のみを殘して、全部上陸を命じ、革命軍をもつてこれに代らしめた。この楚有の官軍の艦長であつた魏子浩大佐は私と一緒に上海に行つたが、途中彼の語る所によればもし自分が北軍にかゝれば斬罪に處せられるから、上海の親類の家に逃れ、一生軍人にならぬと云つて居た。私は別れにのぞんで彼は無一物であつたので、金十元を與へた。今この大佐はどうして居る事であらうか。私のために、折角艦長にまで出世したものが僅三十分の間に棒にふつてしまつた。武士の生涯とは云へ、人を切り人を殺すも革命なればこそ、早く我々の理想社會の出現を祈らずにはゐられなかつた。

上海の太田君にこの事を報告した。太田君は支那の軍艦ならばこそ又君ならばこそ軍艦奪取も出來たのだと大いに歡待して、酒を命じて祝つて呉れた。支那の國民黨の人々も七八人ゐて、これに對して太田君は一々紹介して呉れた。福田君は日本に生れたため一の不平家に過ぎないが、支那に生れたならば、關羽や張飛以上だと冗談を云つて、皆呵々と笑つた。酒も廻つてその夜は私は東洋館にその儘寝てしまつた。

中國社會黨首領

私が上海に着いて間もなく中國革命黨の首領江亢虎君に會つた江君は且つて歐米に學び、社會民主々義を主張して、支那各地に支部を作り、その黨員は七十萬と云はれて居つた。その中には國民黨員であつて革命黨員である人もあつた。黨員はこの革命に對しては割合に無關心であつた。それは古い軍閥が倒れて、新しい軍閥が代るに過ぎぬと思つて居たからであつた。その當時の日本の社會主義者も矢張り同じ思想であつた。社會革命は政治革命と異つてゐると云つてゐた。彼等は政治革命を社會革命に導くと云ふ事を知らない世の中には公式主義で融通のきかぬ人達が多い。座して居て、社會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

革命の來るのを待つと云ふ虫の好い事を考へて居るものばかりた。
私は其の後江君とは數十回會つて語つたがこの人も到底革命家ではない事を知つた。私と一緒に支那に渡つた渡邊政太郎君も支那革命を社會革命に轉化せしめる事については反對して居た。その當時の日本の社會主義者はダヽイスト的で私に云わしむれば駄々子主義的な人達ばかりで、堺にせよ、山川にせよ皆無政府主義的思想で、革命的經綸を抱いて居るものは無かつた。一身を賭して運動を仕樣と云ふ人も無かつた。私はこの人達の樣に文章を賣らず、詩を作らず、妙な皮肉を云つてばかり居る事は不平文士の如く厭ぜられ、革命家を裏切る樣な氣がしたので、如何にせば革命を起し得るかとそれのみ考へて居た。それで支那に革命が起れば支那に走り印度に革命が起れば印度に行かんと考へて居たのであつた。
私は無政府主義については少しの興味をも持たなかつたがバクーニンのいかなる暴動にも行つて煽動したと云ふ事に對しては、學ぶべき事であると思つて居た。その後三年にしてロシヤにレーニン起つてロシヤ革命を大成したので、世界には私と同じ事を考へて居る人もあつたと融通の利かぬ公式主義者を嘲笑した。
それはそうとして江君の中國社會黨の組織は決して無駄ではなかつた。その後の中國社會黨は袁世凱によつて解散され、幹部は殺され江亢虎君は米國に逃れた。途中横濱から東京に來て堺君や渡邊君に會つたと云ふ事たが私は丁度田舍に旅行して居たために會ふ事は出來なかつた。それより大正十二三年頃北京にかへつて復辟運動、即ち清朝の再興に參加したために名望全く地に墜ちて今は何處にゐるか知れなくなつた。日本の先覺者片山潜はロシヤに行つてその最後を飾つたが、支那の先覺者江亢虎君は餘りに終りが惡かつた。
私は或日江君の紹介で中國革命黨の漢口支部長何海鳴君に會つた。この人は國民黨員で地位は甚だ低かつたが、しつかりした人であつた。私はこの人と南京に行く事になつた。南京は黃興が三月以來二度獨立させたが二度ながら逃亡した所た。黃君が弱いのではないが從いてゐる支那浪人が惡いと思はれた。支那浪人は前にも云つた如く、日本の參謀本部より金を貰つてゐるから、支那革命の完成なとは望んではゐない。清朝を倒した革命の元勳も支那浪人の手によつて日本の軍閥あたりから飜弄されたのたつた。私は黃君に忠告すべく幾度か黃君を訪ねたが、その都度支那浪人のために會ふ事は出來なかつた。そんな風で黃君は遂に南京を捨てたため、私は何海鳴君と南京獨立を計劃したのであつた。（未完）

全國農民組合機關紙
無産農民の輝くたいまつ
月刊 土地と自由 一部五錢
發行所 大阪市北區堂島濱通三丁目
全國農民組合總本部
振替大阪六七七八一番

社會主義運動思出話（其四）

岡野辰之介

五、堺利彦警視總監となる

少し安賣りをしたナ。も少し自重して貰ひたかつた。今日では總理の器たからナ。なぞゝ思ふものがあるかも知らぬが、何しろ今から二十年前であつて見れは、そして彼れが四十二の時であつて見れは、警視總監は相當であり、はまり役であつた。

× × ×

彼れ一度權勢地に立つや、引つくゝるわ、打ち込むわ、見事といはうか、亂暴といはうか、國民全部監獄へ送つても厭はないといふ有樣であつた。されは彼れの名は上下を戰慄させた。何しろ翁の赤テロに據ると、千九百九年には在監四十八萬千百三十七人と註せられ、殆んど之れが革命黨であつて、そして大部分は終身懲役たつたのである。中には千八百八十一年二月に行はれた亞歷山二世の暗殺に加擔した連中、民意黨の連類と、大事件に關係したものが大部分であつたが、夫はかりでなくチヨット官憲に反抗したといつては十年二十年の刑に處したのであつた。これ警視總監たる彼れの爲す所であつたことは勿論である。尤も上に一代の兇暴首相ストリピンを覗いて居たのは、彼れが此の兇暴を逞うするに最も都合がよかつたのである。

されは赤テロの怨は先づ彼れに向けられた。何時か魔手が彼れの生命の上に延びなくては止まう。千九百九年の一月（明治四十二年一月）であつた。彼れは警視廳前から馬車に乘らうとした。自動車はマダなかつた。

あのヅングリした身體に變な帽子を冠つて、黑の詰め襟服着、胸にデツカイ勳章をさけて、大玄關を出て來ると、何事もないやうに近づいて來たのは、楚々たる美人であつた。件の美人は此の寒空に眞白の服を纏うてゐる。そして其のポケツトから手早くピストルを取り出し、警視總監を狙つて、

ズドーン

實に目にも止まらぬ早業であつた。

彼は凍つた踏み固められた雪の上に顚倒したらしい。中から多くの警官が飛び出して狙撃者を捕へた。

可笑しいことには、四十二の彼れの眉毛が眞白かつたことと、御承知の通り無髯であるのに、矢張り眞白な髭を蓄へて居たことた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

また可笑しいことは澤山ある。狙撃者の夏仕度も不自然であれは彼れが毛皮の外套位着て居なかつたことは、如何に貧乏であつたとはいへ、チヨツト時候を超越し過ぎて居た。

不自然で、無格好であつたのも道理、これも明治四十二年一月神田三崎町吉田屋でやつた金曜會新年會の餘興の一ぐさりなのたもの斬髪に書いた山川の首縊りの次に演ぜられたので、顏に赤い粉を塗りお花見用の附け髭をつけ、眉毛と兩方を白粉で塗つたのであつた。

警視總監ではあるが日本のではなくて、露西亞のであることはいふまでもなく、その名はプロトポフであつたと思ふ。狙撃者は誰あらう堺爲子で、これは脊が高くて長面であつたから、露西亞人に成つてゐたが、亭主に至つては曾我廼家綠六がお巡査さんになつたやうたつた。狙撃者は革命婦人ブレスコウスカヤたつたと思ふが、其の洋服は加治時次郎夫人崎子の方のを借りて來たのであつた。今なら婦人洋服は何處でも手に入るが、其の頃之れを持つてるものは、ヤンゴトなき方々は知らず、平民では先づ見當らなかつた。然るに加治夫人は一兩年亭主と一所に歐米を漫遊したので洋服を持つて居たのた。

[illegible]の勳章といふのが振つてゐた。直徑五寸もあるカレンダーで、中にスターが出來てゐて、それを廻すことに依つて一ケ月中の七曜が分るものであつた。金屬製でメツキがしてあるものたからピカピカ光つて、夫れにマグネシユームが映ずるゞ本物よりも立派であつた。

彼れをして之れを演ぜしむるには、青年達は非常なる骨を折つた悠遊百端といふ有様であつたが、結局山川が首縊りをやるなら、己れも警視總監をやらうといふことに成つて、トウ〱二人を承諾させたのである。

兩方とも一世一代であつた。其の年の夏赤旗事件といふが起る。一年はかりして大逆事件となり、もう道化心を起して居る遑はなくなつた。それからヅツと大正の中頃までは、鳴りを鎭めて居たのであるが、社會主義勃興時代となつて再び道化心が起つた。イヤ藝術が起つた。イヤ常に持つてゐた藝術心が、機會を得て實地にやつて見たくてタマらなくなつた。

六、服部濱次の葬儀屋

家は區劃整理で取拂はれる。洋服屋は繁昌せず、食つて行かれないで葬儀屋に、商賣替へしたと早合點してくれては困る。大正九年一月平民倶樂部でやつた新年會で、落語劇を二幕演じた其の主役になつたのである。

職人らしいのが、板をけづつては箱を造つて居る。服部が夫れを鞭撻しながら、なた豆煙管でスパスパ、ポン〱やつてゐる。

位牌が二三基ある。白木のなら聞こえるが、戒名が書いてあつたのはチト妙たつた。所へ棺桶の註文が來る。二人連れた。昔から斯うした使者は二人とキマつたもの、今でも片田舍へ行くと、切り即

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しの草鞋はきが二人揃つて行けば、不幸の知らせにきまつて居る。唯、黙つてるのは一人を入口の、然も話の聞こえぬ邊へ待たして置いて、一人だけ店へ入つて來た。

「彼奴の叔父が死んだので、棺桶を註文に來たんです」と桶の値段を聞き、直ぐ出來ますかなど〻念を押し、それから「彼奴少し低脳ですから、親方が棺桶を送つてくれねえと、叔父の死體をドウしやうッテ、今朝泣いてるんです。で、何もいはないで「引受けた」と一言いつて下さいネ親方何もこんなこといつた所が彼奴低脳で分らないんですから、唯、「ヨシ引受けた」とだけ、ドウか頼みますよ。今呼びますから……」

「エ、お易い御用で。へ」と服部がいふ。

待つてた奴が這入つて來る。

「ヘエよろしう御座います。たしかに御引受けいたしました。モウ少しお待ち下さい」と馬鹿に叮嚀に挨拶する。

「夫れぢやドウか頼みます」と前に這入つて來たのが出て行きながらチヨツト低脳を小招ぎして連れ出す。

「毎度アリがたう御座います」と服部が送り出す。

前に這入つたのが小陰で低脳にいふ。

「ア、云つて引受けて與れたんだから、大丈夫だから、モ少し待つて居て與れたまへ。金は十五圓といつて置いたから、昔氣質で引受けたからには、七八置いても作つて與れるんだからネ」

「ヘア、そうですか、どうも御迷惑かけて濟みません」と低脳がいふ。

「夫れぢや失敬するよ。どうも濟まなかつたネ。左樣ナラ」

「左樣なら」

「左樣なら」

低脳が殘る。直ぐ店へ行く。

「親方如何でせう?」

モヂ〳〵しながら低脳がいふ。

「へ、御待たせしました。出來ました」

といつて服部が棺桶を持ち出す。

「親方冗談ぢやありませんよ。お金ですよ」

「お金は三圓五十錢です」「十五圓と申しはしませんか?」

「三圓五十圓に勉強して置きます」

「可笑しいナ、アナタは今の方の叔父さんぢやありませんか?」

「赤の他人だ。お前は一體何んだネ。己れの店を素見に來たのか?」

「イエ、アノ方が素見に來たんです。昨夜、ワツシがお勵めして上がつて貰つたんですが一文も無いんで、今日ついて來ましたんです。そしてアメタが叔父だから、こしらへて貰ふといつたんです」

「馬鹿いへ。名前も知らないものだ。お前は吉原の妓夫太郎なのか?」

「エ、さうです、たつて親方先つき確かにお引受けしました、といつたぢやありませんか。」

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「それは先つきの野郎がお前の叔父が死んだんだがお前が低腦で棺桶が出來なかつたら、ドウしやうと泣いてるから、何もいはずに唯一言引受けたといつて呉れと頼むから、それでいつてやつたんだ。ドウして呉れるんでエ、此の棺桶はワザワザこしらへたんだ、持つて行きねへ。」

「たつて親方、これを持つて市中を歩けはしないぢやありませんか？」

「イケねへ、イケねへ、誂ひて小便されちや此方が立つて行かねえ。」

「ヘッテ、困つたナ、困つたナ、困つたナ」

と不承無承棺桶を持ち出す。

「オイ代を置いて行つてくんな」

「一文もないんなら馬をつけてやるからよい。」

「オイ助どん此の男と一所に行つて代を貰つて來な」と番頭（石井鐵）を呼び、低腦について行かせる。夫れで落ち。

何しろ舞臺がチヤンと出來て居たんで、高い所で服部が汗を流してタンカを切る圖たらなかつた。然し甘いもんだ。洋服屋をさせて置くより、高座に上らせたらと思つた。其の時の登場人物の名を殆んど逸した。知つてる方は知らせてほしい

七、新劇「停電」

これも同夜の出しもの〻一つ。これはチヤンと脚本が出來て居たのであるが、今逸してない。登場人物や荒筋を書く。

登場人物（劇の人名を失したから俳優の本名で行く。）

電燈工夫	石井鐵次
數醫者	岩佐作太郎
女房	失名氏
隣りの女房	岡千代彦
電燈工夫多勢	吉川守邦外數名
舞臺監督	吉本俊吉
舞臺裝置	望月桂

荒筋

石井鐵二の子が死にそうたが石井は電燈會社の爭議の張本であるから、家へは碌に歸らずに活動してゐる。女房が頻りに心配しながら看病してゐる。

隣りの女房の岡千代子が見舞に來て、子供の病氣の事や、電燈會社の爭議の事を語り合ふ。何んでも愈々勝算が立たなければ、東京市中を闇にしてしまうんだといふ話をして居る。其處へ醫者が來て病人を見る。盲腸炎で直ぐ手術しなければ死んでしまふといふ。そして女房の同意を待つて手術に取り掛かる。手附の惡い醫者だし、消毒も何もあつたものではないから、手術が濟んだら化膿しなければよいがと心配させられた。

アラッ！手術中はで電燈が消へた。いよ〱爭議は惡化した。手術は續けなければならない。家中探して蠟燭を見付け、何んとか縫付けはしたが、そんな具合で經過のよからう筈はない。子供は死ぬ。石井が歸つて來て男泣きに泣く。（七十六頁に續る）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯ノート

◆清新の秋を迎へて、本誌も又面目一新の飛躍をせねばならない。既成政黨の分解作用が盛んに行はれてゐるが、これは支配階級の足並の亂れたる事を表現するものではない。無產階級斷然の强力な力が集中されつゝある事を示すものである。之に反して、無產階級の分裂は、自らの力を分散する以外に何等得るところがない。吾等は之をなげく。

◆この時、戰線統一問題に就いて組合同盟の望月氏、上條氏、日勞黨關西事務所の岩崎氏全國農民組合の兩氏の寄稿を得たる事を喜ぶ「問題の解說」は今後必ず二つ三つ位新しい問題を提へて載せる事にした。富山電燈爭議の聲明書は當地の支局である中島安太郎氏よりわざわざ調査して送られたものであつて、貴重なる參考資料たるを失はない。東京市會の腐敗愈々出でゝ愈々腐敗せる時、日勞黨の調査にかゝはる東京市の醜惡史を掲げる事は無駄な事ではあるまい。

麻田狂二氏の「無產政黨とは何ぞや」は選擧の時の挨拶狀そのまゝである。同氏もその事を斷つておられるが、編輯部がその責任を負ふつもりである。特別讀物は愈々佳境に入る。

◆今月から七半ポイントで二十二行にした。紙面に明るい感じが出る事と思ふ。

◆投書と戰報をどしどし送つてくれ。毎月編輯部の机の上に山積するほど送れ。表紙の應募が四五あつたが適當なものがない。讀者大多數の希望で八月號の樣にした。それから、廣告の一に三行廣告欄をもうけたからどしどし申込んでくれ、それから、毎度乍ら云ふ事だが「進め」は一部の者の私有物ではない。實に大衆のものである。だから惡い點は勿論あらゆる批評を送つて貰ひたい。そうする事によつて「進め」は愈々大衆の物となるだろう。

◆「進め讀者はこうして鬪ふのだ」は進め讀者の行動の基準を示したものである。筆者もそう云つておられるが、編輯部の方でも不充分なものだと思ふ。大衆的討議を求むるものだ。筆者は山陰の支局をしてゐる人で全國農民組合の若き鬪士である。

定價

一部	二十錢	郵稅一錢
半年	一圓二十錢	郵稅六錢
一年	二圓四十錢	郵稅十二錢

無產階級戰鬪雜誌 進め 毎月一回一日發行

◇誌代は總て前金拂込の事
◇成る可く振替で送金の事
◇郵劵代用は必ず一割增の事
◇住所姓名は明かに書く事
◇支局は十日迄に拂込む事

東京市麴町區內幸町一ノ五
發行所 進め社本部
振替東京六九八五三番

發行編輯兼印刷人 神庭仲之助

大阪市東淀川區十三西ノ町一三一
大阪事務所

廣告料

一等 三百圓	二等 二百圓
三等百五十圓	四等 百圓

大賣捌

東京 東京堂 東海堂 北隆館
大阪 大東館 盛文堂 大盛社

喜谷實母散

金銀白金

德力商店

東京神田松田町

電話 神田 25 { 216.235 / 221.976 / 450. 御客用

讀め社會民衆黨を支持する

月刊 日本民衆新聞

一部五錢 二十日發行

發行所

東京市芝區三田四國町二の六

日本民衆新聞社

電話高輪三三九〇
振替東京七〇二一

無産大衆の戰闘的政治新聞

月刊 日本勞農新聞

讀め!!眞の無産政治新聞を!

定價 一部五錢 一ケ年 一圓五十錢

日本勞農新聞社

東京芝公園五號地
振替東京四六六四九番

多摩川原遊園地

京王閣設備

大浴場（モントサン）
薬湯（ラヂオカルク）
トルコ風呂
兒童遊戯室
音樂室
美容室
喫茶室
ピンポン臺
大休憩室
個人風呂
客室
撞球室
碁將基
大食堂
大休憩室

メリーゴーランド
スベリ臺付徒渉池
遊舟池
豆自動車
庭球コート
和食堂
活動寫眞館
プール
迷園
各種運動器具
納涼臺
展望臺
望遠鏡
サンルーム
バルコニー
自由食堂

京王電車

電話四谷三一三三一四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

尾崎行雄先生序

新使命主幹 高野清八郎著

無產階級の新政策

痛切なる現代の要求を滿たす空前の大快著

定價金五拾錢
送料金四錢

次の內容を見よ

◇悲慘なる生活難と亡國を救ふ政策
◇富豪を保護し貧民虐めの我財政
◇實際は貧民の納める我國の直接稅
◇何億の大會社も廿萬圓は納稅せぬ
◇奇怪なる貧民と富豪の納稅額
◇國民の階級別と財產所有の割合
◇富豪財閥が國家から取り返す金額
◇貧民の膏血を絞つて富豪に補助
◇國民生活を安定せしむる根本策
◇無產者の强唱すべき消費稅全廢
◇日常必需品を暴騰せしめる關稅
◇關稅は全く財閥に暴利獲得策
◇勞働者の爲めに朝飯無稅政策を
◇財閥保護の爲めに衰滅する我國運
◇國家の金を情實の爲めに濫費してゐる事實
◇二重の不利を防ぎ官營斷行の必要
◇財政改革の根本原則
◇課稅の新學理
◇貧民と富豪の納稅割合の學理
◇英國の廿分の一しか納稅せぬ
◇日英兩國の所得稅額
◇アイドルクラス(遊食階級)打破政策
◇日英兩國の相續稅比較
◇財政大整理の必要
◇國費を半額に減じた米國
◇英國財政の大整理
◇非常なる英斷を行ふ英國と我國政
◇國費を半減し社會政策を行ふ
◇財政を半減したムッソリーニ氏
◇世界の趨勢に逆行した我國政
◇我國財政の膨脹する趨勢
◇國民負擔の激減する實況
◇國債の益々增大する趨勢
◇借金で亡滅する國を救ふ政策
◇フィリップスノーデン氏の新學說
◇悲慘なる我國民生活の現狀
◇生活難の爲めに自殺する人數
◇不良少年も貧困が原因
◇社會政策實行の急務
◇寡婦孤兒等の救濟策
◇遊食者に與ふる恩給を大整理
◇十五億の新財源を得る政策
◇無產階級最大の使命

● 附錄 ●
普選法全文、同選擧區別表

◇理論鬪爭に沒頭せる、現代の學者、思想家を冷罵して深刻なる「生活不安」を救ふ、實際政治上に於ける政策の最高權威

◇◇!各書店は全部賣切れの所、愈々八版發行、驚く可き大賣れ行き!

發賣 東京神田通神保町 電話神田三五五八番 上田屋 (丸ビル內、富山房書店にあり)
大阪 盛文館

發行 東京市麴町區內山下町一ノ一 振替東京六九〇六九番 電話銀座㈣三七九三番 新使命社

東京上野 銀座

良品廉賣

松阪屋

實用百貨

大阪日本橋 名古屋

Digitized by Google

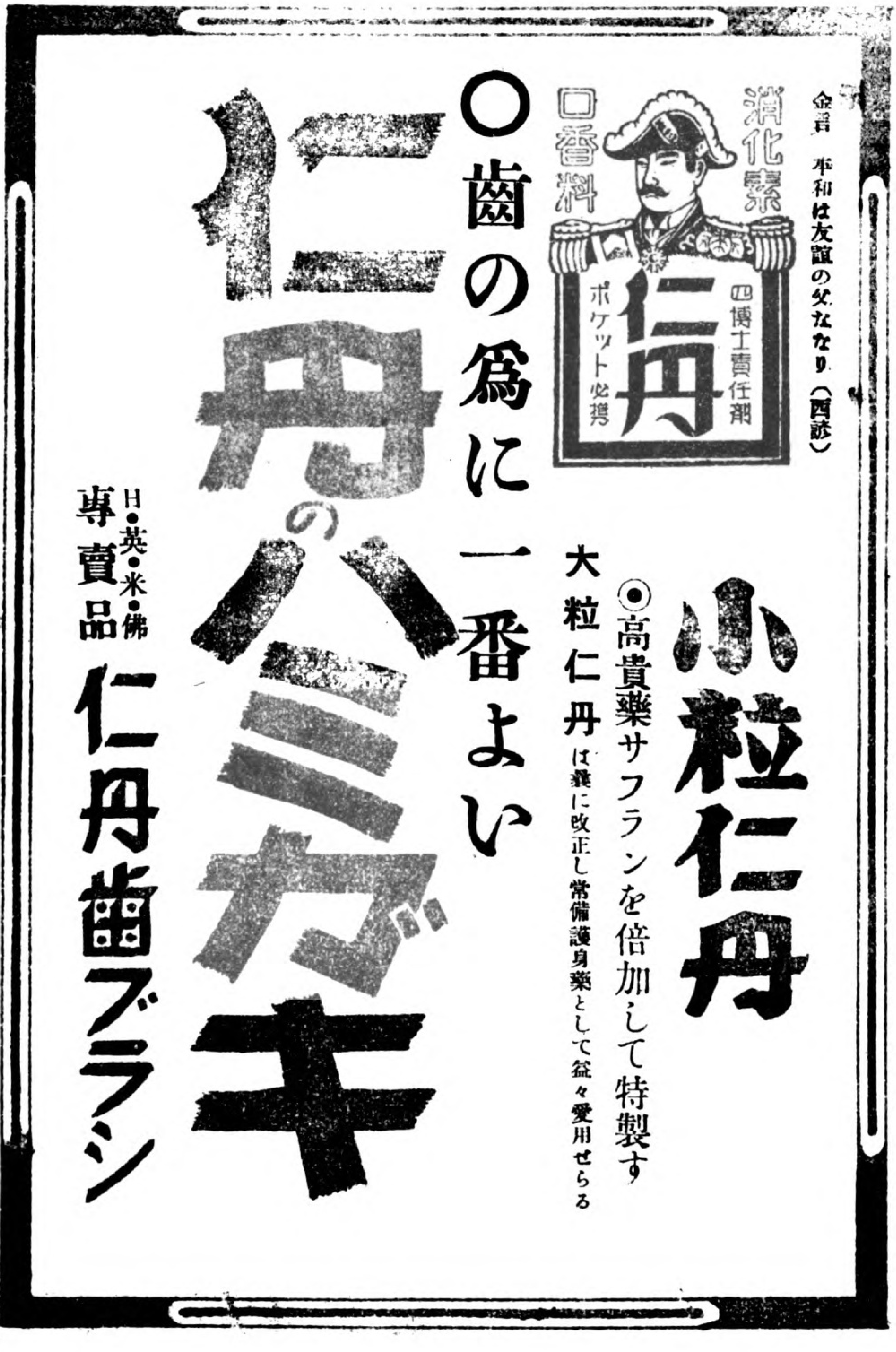
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

C-3

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Su-su-me- The Socialism Monthly. Vol. 6 No. 10
Head office; 1. Uchisaiwaicho, Kojimachi, Tokyo, Japan. Oct. 1928.

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和三年九月二十八日印刷納本 昭和三年十月一日發行



第六年・第十號 定價二十錢

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級戦闘雑誌

進め

第六年十一月號 第十一號

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

お買物は三越へ

品質が良く、新流行品揃ひにて、價もまた低廉です

三越はデパートメント、ストーアですから、日常生活に御必要なお品は大抵揃へてあります、

何と申しましても、良い品は東京に限ります、東京でも三越の品ならば、お安心してお買物が出來ます、

地方からのお註文はお手紙にて通信販賣部へ
御一報下さいますれば迅速にお送り致します

三越

東京駿河町

洋服と帽子

洋服は……

スタイルは既に定評が御座います。清新なる英國生地のストックと共に冬の流行に率先して居ります。

帽子は……

總ゆる世界的著名品を網羅致して居ります。型に、色合に、今年の品は實に落着いてスマートな感じが致します。

松屋呉服店

東京・銀座

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

第六年　第十一號　十一月號

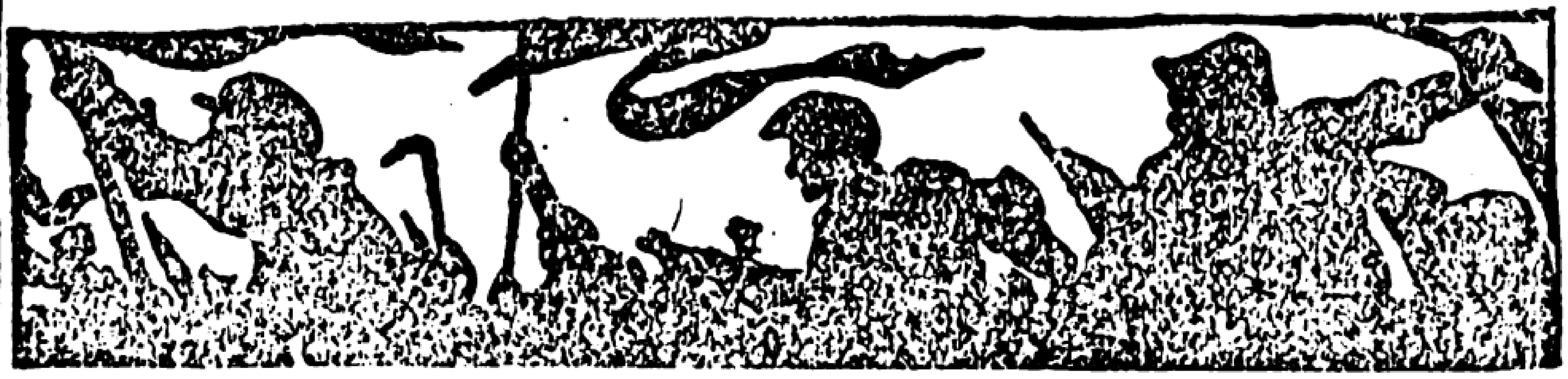
階級裁判と抗爭せよ……卷頭言（五）
陪審法の實施と無産階級……三輪壽壯（六）
無産政黨合同方針の出題……板垣艮一（一〇）
無産階級運動當面の難關を如何にして突破すべきか……辻井民之助（一四）

傍聽記

◇日勞黨第五回擴大中央委員會傍聽記……高見悠介（一七）
◇第十七回總同盟大會記……大野佳良（二三）
◇日本農民黨大會傍聽記……高木郁夫（二四）

全土戰

柏山青年會の同志諸兄に與ふ……朝鮮　××支局
北鮮水害罹災同胞救濟基金を送れ……朝鮮　××支局
中部地方の戰線は統一したぞ……愛知　天木生
最近の慶南狀勢……朝鮮　釜山支局
二つの報告……富山　加藤友吉
處女會を欺く反動主義者……廣島　山岸虎次
農村青年に檄す……大阪　大野佳良
長崎にも借地爭議……長崎　一市民
長崎戰報（二）……長崎　一市民
……（28）……



報

軍官學校報告……大阪 日窒職員
出鱈目に苦しむ百姓團結せよ……茨城 高山久治
毒ガス防止に起つ王子の戰線……東京 山本生

日勞黨第五回擴大中央委員會の批判……羽田光雄（三八）
現實主義の評價……吉田源藏（四四）
社會政策の本質（講座）……清水寛一（四八）
藝術に於けるアヂ、プロの問題……深谷進（五二）

編輯ノート（九二） 進め社だより（五六） 進め案內（四六）

巴里のプロ展を見る（歐洲通信）……淺野研眞（六三）
金解禁の話（問題の解說）……佐々木敬三（五八）
國民政府の內容（問題の解說）……（四六）
十一月七日を迎へて……森貞次（六九）
理想鄉を造らんとして支那革命に從ふ（特別讀物）……福田狂二（六四）
社會主義運動思出話（特別讀物）……岡野辰之介（七〇）
導火線となつた男（創作）……平野吉三郎（七七）
泥棒とお仙（戲曲）……土佐和芳（八六）

資料

公判公開要求同盟の聲明……（一九）
合同問題の危機に際して聲明す……（六二）
無產大衆黨の合同問題に對する指令の要項……（一一三）
時事日誌……（四三）

無產階級の獨裁なくして革命藝術の獲得なし（レーニン）

革命藝術大系なくして無產階級藝術なし

本書目次大要
革命と藝術
革命藝術大觀
革命文學論　文壇一般、文壇の中心、新作家の群、作家の自傳、作品の内容、文學雜誌、文壇插話
革命詩壇
革命美術　美術一般、アッヘル、現代彫刻、展覽會
革命樂壇
革命演劇　ルナチャルスキーと演劇、第四研究劇場、芝居を工場の中で打つ、新しい舞臺裝置者
附錄　墓の上に、中隊へ、アジア人から、曠野、永消り、教師の少年及靑年時代

最新刊

解放群書（24）

革命藝術大系

尾瀨敬止著

四六版二百卅頁　定價壹圓　送料十錢

◆「無產階級の獨裁なくして革命藝術の獲得はない。」凡てが有產階級的であつて、獨り藝術のみが無產階級的であり得ない。ロシアは世界唯一の無產階級國であり、此處に初めて無產階級藝術があり得る。しかして無產階級の革命と同じく、血苦十年の歷史を持つ。

◆日本に於ても現今頻りに無產藝術が問題され、理論鬪爭對立發展が進行する。しかし「革命藝術の把握なくして無產藝術の確立はない。」本書は斯界第一の權威たる著者が、十月革命十週年を紀念するため、刻苦十年の研究を傾け、十月藝術十年間の苦鬪奮鬪並に、文壇、詩壇、樂壇、藝術家、藝術團體の現狀現勢を、歷史的、紹介的、組織的、體系的に著述し、尙代表作品數種を附錄した鳥瞰圖であり、縮寫圖であり、シネマであり、パノラマである。

◆其價値や知るべきのみ。

◆「革命藝術大系なくして無產階級藝術なし。」「苟くも革命藝術を語り、無產階級藝術を創らんとする程の者に敢て本書を薦む。」

發行所　東京市芝區新櫻田町十九　振替東京三六九四四番　解放社

革命藝術の把握なくして無產藝術の確立なし（尾瀨敬止）

階級裁判と抗爭せよ

「裁判を明るくする」爲めに人民を裁判に參與させる陪審法が、去る十月一日を期して、田中反動内閣を初め一切のブルヂョア機關をあげての鳴物入りの賑やかさで實施された。

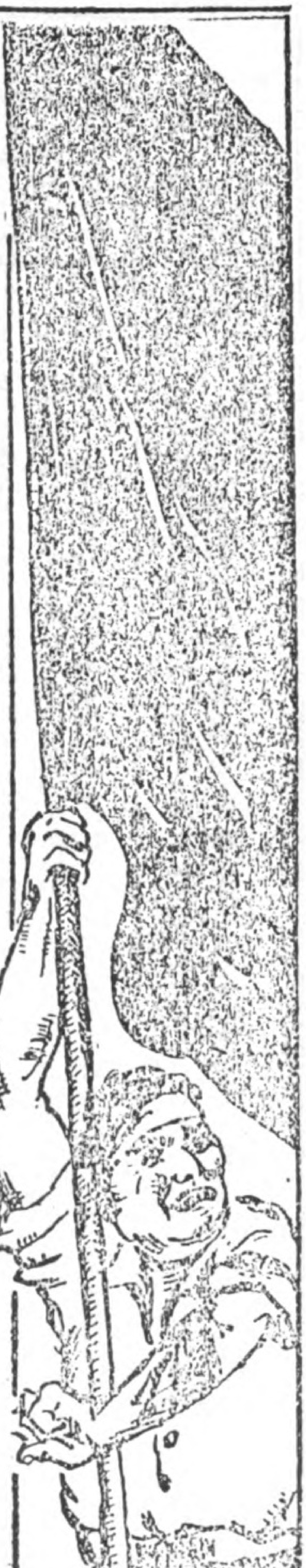
然るに、皮肉にも、日本共産黨事件は今や東京を除く各地の豫審終結して公判が開かれ、又開かれんとしつゝあるが、見よ「普選による明るき日本」を創造すると宣傳し、更に廻つて買收と、暴壓によつて普選を泥ぬつたブルヂョアジイは、又もや、「陪審による明るき日本」のかけ聲の裏においてこつそりと反動的性質が陪審法に忍はせながらも、その陪審をすら除外し、公判の公開を禁止し、正に文字通りの暗黑裁判を發揮しようとしてゐるのだ。

われわれはこゝにおいて、彼等の、「明るい裁判」が階級裁判をゴマ化す宣傳に過ぎぬ事を知るのだ。階級社會において、階級裁判は免れないのだ。

洵に彼等の明るき裁判の本元陪審法は、議會主義と共に、歐米資本主義がブルヂョア革命の勝利品として獲得したものであつて、その時代においては、正に封建的專制裁判に對する「人民を參與させた明るき裁判」の名にふさはしきものであつた。然るに、資本主義國家の爛熟に進行して、それは支配階級としてのブルヂョアジイを擁護し新興プロレタリア階級の進出をおさへつける階級裁判にまで變化する。

かゝる歴史的意義をもつ陪審法の實施が、極度に反動化した日本ブルヂョアジイによつて行はれる事は、階級裁判をゴマ化す「明るい裁判」の空大鼓に過ぎぬのである。陪審員の規定において、三十歳以上の男子であり、居住年限二ケ年以上、直接國稅三圓以上の條件その他種々なる條件をもつ有資格者に限られ、其有資格者の中から、市町村長の抽籤によつて選出されるのだ。かゝるが故に、青年、婦人、無産階級の一切は除外されるのである。かゝる有産者的陪審員をもつて構成さる、陪審法が階級裁判にあらずして何だ。かゝる陪審員によつて總攻擊を受けるべき無産階級にとつて、それは明るき裁判の實施であるか、否、吾々無産階級は、暗黑裁判の假面を蔽ふ、彼等の「明るき裁判」の本質を曝露し、裁判制度の徹底的民主化の爲めに戰はねばならぬ。「明るき裁判」のカケ聲の裏に、暗黑裁判の名の何とふさはしからぬ事よ。

吾人は階級裁判と抗爭する無産階級の聲を闇から闇に葬らんとする秘密裁判を糺彈し白日下の全民衆の監視裡の公判を要求するものである。われらの聲は遂に十月二十九日の名古屋の共産黨公判をして彼等をしていやいやながら公開するの餘儀なきに至らしめたのだ。公判公開は全民衆の心からの要望である。



陪審法の實施と無産階級

三輪壽壯

◆

人、陪審法の實施につき語るとき裁判制度の進化を讃美する。法律の進化を說く。法律の民衆化社會化の表現であるといふ。そして時代の進運を附言することを忘れない。

私も陪審制度の實現が法制の進化であることを否む者では決してない。陪審制度は議會制度とともにブルジョア、デモクラシーの双璧である。普通選擧の徹底と陪審制度の確立とはブルジョア、デモクラシーの確立の基礎をなすものである。たから徹底普選の獲得の重要性を認むるならば十月一日を期して實施された陪審法に冷淡で、あつてよいわけのものではない。

たが刑事裁判について私共の今までの短い淺い經驗ではあるが、それを通じて考へさせられることは、單なる形式の完備などちつとも有難くはないことである。早い話が大正十一年の新刑事訴訟法が實施さるゝ時（大正十二年より實施）その特色は公判中心主義として公判前の手續を重要視した舊法を改正したことにあると聞かされたものである。成程未決勾留期間は二ケ月と限定された。然し「特に繼續の必要ある場合は」といふ例外を遠慮なく適用することによつてそれは一片の空文に化する。檢事が勝手に被告人を拘引拘留することは出來なくなつたといふけれども、形式さへ整ふれば拘引拘留におろかなこと人權蹂躙また勝手たるべしである。刑事訴訟法改正されて人權蹂躙が無くなつたかといふにさうではなく、減つたか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

といふに必ずしもさうではない。要するに人權蹂躙の矣が法律の條項の中から手際よく除かれたり蔽はれたりしたに過ぎないのである。

無產階級運動に關心を持ち、無產階級の人權の擁護を志す者にとつて、第一に問題になるのは警察官の拷問に端を發する冤罪（罪狀を殊更に惡くすることをも含めて）である。一の勞働爭議に數十人の犠牲者が出て警官の拷問が有罪の自白と更に他の相棒の有罪の證據とをでつち上げる。それが檢事局にまはる。檢事の前で若し警察の供述と異つたことでも言はふものなら大目玉を喰つた上にすなほにやらないことをやつたといふよりは倍も三倍も刑罰が重い樣なことを感得せしめらるゝ。豫審判事の前たつて五十步百步だ。おまけに此頃になると拘留數ケ月で里心が出て一日でも早く刑務所の門を出れば後は後で何とかなりさうな氣がする。眞實を言へといはるれば警察で云つたことが眞實だといふのが先方の求むる眞實だなどと氣をまはす被告心理が昂じて來る。人權蹂躙はかくして犯罪者を製造し冤罪者を亦交互に縛りつけるのである。之を除くことが、此惡制主義と戰ふことが、此封建制度の遺物を打開することが、私共の司法裁判制度に求むる第一の條件である。

陪審制度は之を是正するであらうか。此積弊を芟除するに役立つであらうか？私は遺憾ながら否と答へざるを得ない。

陪審法の特色は公廷の陪審員の面前ですべての證據を直接に調ぶることにあるといはれ又その原則的規定がなされて居る。然し之が前述した樣な意味で眉唾ものである。何故かなれば、直ぐその後に例外的規定があつて、檢事調書や警察の聽取書に至る迄も若し被告人が公判廷で以前公判外で爲した陳述と違つたことを述べた場合には之を證據に供してもよいことになつて居る。よつて被告人が公判廷で拷問に基く調書と違つたことを云へば、前には警察から檢事局豫審と引續きかう云つて居るのであるからその證據と被告人の公判廷の供述とどちらかを選ぶ樣に「說示」されれば陪審員の頭は間違つた方にも容易に動き得るのである。拷問調書は立派な證據として働き得る餘地が與へられてゐる。私は人權蹂躙――拷問調書――冤罪の一連の鎖を絕ち切つて無辜をして罪なからしめ、民の罪なくして拘禁さるゝことなからしむる爲には警察檢事の調書を證據として採らぬ原則が例外なからしめなければこの點の要望は滿されないと考へて居るものである。私はこの點に於て新陪審法の功績に疑惑を挾まざるを得ない。

◇

陪審は立憲的機關と併び立つ。たゞ議會主義がブルジョアジーのものである樣に陪審も亦ブルジョアジーの所產である。現代のデモクラシーが無產階級に觀念的な滿足を與へつゝも欺瞞に導く樣に、陪審に於ては殊に我國の陪審に於ては無產階級に切實味が乏しい。直接國稅三圓以上を納むる有產階級が陪審に關與し得るのみである無產階級のものが陪審法廷に立つとして、それは文字通りブルジョアの陪審員の前に裁きを受けるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

故意か偶然か長期十年の治安維持法が今回の共産黨事件の陪審終結の前に死刑又は無期の刑を規定することになつて、十月一日陪審法施行前陪審を終つたものは別として施行後陪審終結することになつて居る東京の二百名といふものは之を拒まない限り陪審にまはされねばならないのである。今回の事件が治安維持法に謂ふ所の國體の變革にふれるかどうかは知らぬが、少くともその違犯として公判に付せらるゝ限り、若き數多くの解放運動者は、直接國税三圓以上を納むるブルジョア陪審員の前に立つことになるであらう。

私は所謂京大學生事件なる治安維持法違犯事件に辯護人として立會つた。血の氣の多い學生諸君として無理のないことかも知れぬがあの時學生被告諸君が取つた態度が裁判に對する抗爭一天張で、自己階級の立場を支配階級に理解せしめ乃至は公判を通じて廣く民衆に訴へる樣な自若たる態度の見られなかつたのを物足らなく思つたことである。私は嘗つてかのマルクスが一八四八年十一月新ライン新聞主筆として雄深の筆を揮つて居たときプロシア國民議會の納税拒否の決議を支持して暴動を煽動したといふので翌年二月ケルンの陪審法廷に立たされたときのことを思ふ。

現代の所謂マルキシスト、コンムユニストは宣傳た眼目だといつては最大限の資本主義呪咀、彈劾の論旨などをならべるがマルクスはそんな言葉は一言も云はなかつた。彼は彼の行動が當然の行動であり本來ならばブルジョアジー自身がやらなければならないことであつたといふことを論理的に諄々と說いて却つて自らの主義主張を少しもまげることなく起訴の非なる所以を明かにして居る。そこにマルクスの偉大さがある。マルクスはブルジョア陪審員の同情や憐憫からでなく、彼の論理によつて彼等に打勝つて無罪を言渡させた。

現在の日本は千八百四十八九年のドイツとは異つて居る。ブルジョアジーが政權を取らうとして居る際でなく、現にブルジョアジーが政權を握つて居るのである。如何に陪審法廷に於て自らの立場を防護しブルジョア陪審員に對すべきかはマルクスの場合と同じにはゆかぬがそこに多くの學ぶべき點がある。ヒステリカルな反抗ならは願ひ下にしたいものである。

◇

無産階級と陪審といふ問題によく引合に出される話であるが、一九一四年七月三十一日歐洲大戰の宣戰布告を前にしてフランス社會黨の首領ジアン、ジョーレスは一愛國者の拳銃によつて射殺されたがその犯人の陪審の結果はどうであつたか。全フランスが戰勝の光榮に醉い、愛國の至情に燃え上つた一九一八年「反逆者」ジョーレスを殺した愛國者は愛國者陪審員によつて無罪の判決を受けたのである。

日本でも陪審ではないが甘粕大尉事件があり、高尾平兵衛殺害事件がある。輕薄な日本の輿論が國賊の名に於て死刑を、愛國者の名に於て無罪を宣告することを豫想しないわけには行かない。健忘症の日本人のことだから例へば問題の事件陪審員の選擧事件でも、今で

あれは、犯罪を評決するものでもほとぼりのさめた頃陪審に附さるゝならば無罪となるものが出て來ることになりはしないか。

　無產階級の立場から云へば、立憲陪審とはブルジョア、デモクラシーの所產である以上、之に多くの期待を持ち得ないことは當然ではある。然しさきにも言つた樣に我陪審法では陪審員の資格さへ普選法に於けるが如く納稅の制限があり有資產階級に限られてゐる。我等は先づこのブルジョア性と戰つて民主主義化を徹底しなければならぬ。外國の制度を手際よく模倣して陪審らしい空氣をたゞよはせたに過ぎない陪審法を我等の立場から完全なものとして獲得しなければならぬ。普選法が支配階級の欺瞞的讓步である樣に、陪審法も亦民衆の裁判干與といふ美名を以て階級裁判を粉飾し糊塗するにすぎないとしたならば、我等が之と如何に戰ひ我等の立場から如何に發展せしめなければならぬかは自ら明かでなければならぬ。

　陪審法、陪審裁判は無產階級と無緣のものであるかの如く考ふるのは誤りであると共に、また裁判民衆化の宣傳に迷はされて之が我等に直接よき結果を齎すなどと考へるのも謬見である。我等は陪審法のブルジョア性と戰はねばならないのである。そして我等の陪審法を獲得せねばならぬ。わけても冤罪者の國家賠償制度の確立（不當勾留檢束等に對する賠償を含めて）無料辯護制度の確立等は陪審法そのものゝ不徹底を暴露しつゝその獲得への戰をつゞけなければならぬ（一〇、一六）

公判公開要求聯盟の聲明

　田中政府は民衆の自由を最後の一片までも奪はんとしてゐる殊に當然公開さるべき公判の公開禁止に至つては暴虐の限りである。從來民衆の最も聞かんとする公判の公開禁止に係つたものゝ事例は無數である。我等は公開を要求する今回の日本共產黨事件に於て然りである。政府は數百名の共產黨事件の被告を七ケ月の長日月に涉つて、獄舍につなぎ、凡ゆる逆宣傳を放つたのである。愈々東京を除く各地の豫審終結して公判の開かれんとするや、徒らに陪審を除外し公開を禁止し闇から闇の秘密裁判によつて事件の眞相を民衆の眼より遮らんとして居る。然るに一方共產黨事件の被告等は叫ぶ「只ひたすらに窮迫せる勞働者農民のためにその利益を擁護し、その解放の爲に戰ひ來つたのだ」と。既に神戸の公判廷に於て一人は堂々、公判の公開を要求し、大阪の被告等は獄中より陪審を要求して居る。公判の絕對公開は全日本の民衆の心からの要求である。殊に資本家地主に反抗せんとせる勞働者農民の結社事件の眞相を隱蔽せんとせる政府の專斷に對して反對し、プロレタリア言論機關を總動員して公開要求聯盟を組織し、政府の專制的司法權の亂用に抗爭せんことを誓ふ。

十月十三日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產政黨の合同方針の出題

板垣良一

一、問題の提出

日本の政界に於ける將來の政黨分野はその經濟的條件からして、大體に次の四大分野に對立するものと我等は觀て居る。

一、反動的政黨――大財閥――大地主對建貴族

二、小ブルジョア自由主義政黨――小資本家、小地主、商業資本家――大番頭

三、無產大衆黨――勞働者、小作農――これに近き民衆層

四、(前衛黨)――勞働者、農民の精鋭分子を中心として

第一の反動的政黨の出現に關する詳細な說明をする必要はない。今日の政友、民政の內訌はその進出への第一步である。

第二の小ブル自由主義政黨が日本の政界で相當發達すると云ふ說と發達する余地がないと云ふ說とに分れてゐる。私は小ブル自由主義政黨は必ず短期限であるけれども發達することを充分に豫想することが出來得ると思ふ。日本の產業別人口に現れた(數字略)所謂小ブルジョア層である、自作農及自作兼小作農、商業、職員の人口は相當廣い領域を持つて居る。これ等の小ブル階級は大財閥の經濟的壓迫と加ふに國家租稅の加重に苦しみ、自己の財產收入と勞働力の收入は到底永久にその家族をして安逸な生活をなさしめ得る確信はない。たから彼等はブルジョア生活領域からプロレタリアの苦惱の生活への沒落を、凡ゆる手段と方策を以つて喰ひ止めんとするのである。此の小ブルの經濟的、思想的、政治的の利害を代表する黨は必ず日本の政界に一時的發展を來す客觀的の可能性は充分にある

第三の無產大衆と、第四の前衛黨が出現する豫想も充分に出來得る。今日の客觀的な狀勢は全ブルジョア政黨に對する全國的單一無產政黨と云ふ樣な單一の階級黨を結成することは困難であるが、併し單一政黨に近い階級的大衆黨の實現の可能性は充分にあるし、又吾等は凡ゆる努力を拂つて結成せねばならぬ。

二、合同問題についての見通し

吾等は以上の政界の將來、及現實鬪爭に於ける長き經驗、未組織

大衆包擁の上からも、又、資本の攻勢とそれに伴ふ反動政治の狂暴に闘へる上からも、如何なる政黨と合同し、如何なる政黨を結成するかの見通しを充分つけ、その確信の下に合同問題を取扱わねばならぬ。でないと自然發生的な合同論は幾多の勞力と勢力の消耗を來し、實質に無産階級の利害を代表せず、反對に裏切る結果になるからである。

吾等は以上の立場から叫ぶ合同論は階級的、大衆行動黨、即ち前衛黨第三の無産大衆黨の結成にある。從つて前衛黨を作る時の合同論でもなく、左右、中間及び地方政黨も打つて一丸とする自然發生的な、唯一無産政黨の合同論でもない。(斯ふ云ふとすぐ分裂主義者とデマを飛すかも知らぬがそんな苦勞知らずのマルクスボーイやレーニン信者には相手にならぬのだ) 又世上の合同論者は前衛黨を中心とする合同論か、それとも實力ある階級的大衆黨の結成の時の合同論かを明確にして合同問題を取扱わねばならぬ。

三、階級的大衆黨結成の立場から
日勞社民の兩黨の合同論の現狀

先づ最近展開された、日勞黨と社民黨の合同問題から検討しよう。日勞黨は結黨以來、無産黨の合同論者の明星であつた。その撓まざる合同論に刺戟されて、社民黨の關西大衆、特に大阪の大衆は早くから日勞、社民の無條件合同論を唱へ、幾多の大會、委員會を通じて最近には、その加盟せる總同盟中央委員會をして「日勞黨との合同は個人的交渉を充分にした上で合同協議會を開いては」と決議するに到らしめた程に合同問題に努力と奮鬪を續けて來た。

が併し、社民の中央及大阪聯合會の大衆の要望は無殘にも九月二十五日の日勞黨の中央執行委員會に於いて本質的に踏へ附けられて仕舞つた。それは日勞黨が中間政黨として孕んだ内面的の矛盾と、幹部の合同方針に對する無定見と無能力が斯く決定せしめたと吾等は見て居る。此の決定に依つて日勞黨は過去の輝ける合同の旗幟は完全に焼き拂われ、再び焼野の灰燼の上に再建せしめんとしてゐる。過去二ケ年に亘る日勞黨の苦惱な鬪爭の歷史は日本の無産政黨史の上に何事をもなし得ず無用の長物黨であつた事を暴露したと同時に反動化せんとする社民の東京官僚幹部をしてその餘命を長からしめ、政府をして狂喜せしめたより外に何等の價値なき決定である。日勞の大衆は健在である。吾等は更に一層、此の誤れる決定を日勞黨の大衆との握手に依つて完全に無効に終らすのだ。

日勞黨の決議の本質は如何なる内容を含むかを更に解剖する必要がある。日勞黨が社民黨と合同することに依つて、「自己の所有せるマルクス的思想を民主々義的な思想に改惡される事を恐えた。飢りないマルクス主義を所有する幹部、日勞黨支持の舊全日農系の幹部がその戰線に於いて勞農黨の積極的な働き掛けに對し、只一つ無産大衆黨との合同に依つてその防衛的な地盤を築き、自己の足場を堅めんとする利己的な反對。更に此の二つの有力なる反對論を支持して、無産大衆黨との合同を合理化せんとする黨本部の理論家。

今一つ總同盟に對する反感を有する一部支持團體の幹部の反對。これ等の反對論者が社民黨と合同せんとする日勞黨關西大衆及有力なる支持團體である組合同盟の要求を封じ社民黨關西大衆の進出は抹殺されて仕舞つた所の實質的な根因であつて、此の根因があの決議を生むに到らしめたである。

四、日勞黨に對する合同問題の提出

然らば日勞黨は今後合同問題を如何に處理して行くか？即ち社民黨と合同せんとする一群と無産大衆黨と合同せんとする一派、を如何に統一し合同に進むかは吾等が注目する所である。

日勞黨が無産大衆黨と合同することに依つて、勞農黨の働き掛けに對して對抗せんとするが如き誤れる合同論を先づ批判せなくてはならぬ。

言ふ迄もなく無産大衆黨は實力を持ち得ない黨であり此の黨も、幹部が勞農黨の運動に對してアキタラズして創りあげた幹部黨であつて、大衆の參加と支持に依つて結黨されたものでない事は世間周知の事實である。所謂、「大衆なき大衆黨」と日勞黨が合同して勞農黨に對抗するなどと云ふ事は實に子供欺しの合同論であり、加ふに農村の戰線に於ける勞農黨の浸蝕は事實上、彼等が農民の利害を代表して日常鬪爭を活潑に展開するからであつて、これに對抗して戰線を混亂さすが如き戰術でなくて、自ら戰線の第一に立つて働く勇敢な鬪士を農村に差向け日常鬪爭を通じて農民大衆の支持を得る事に依つて初めて、勞全日農一派が主張する勞農黨に對しての防衛的地盤が確立され得る。此の日常鬪爭を通せず、只大衆黨との合同に依つて防波堤を築かんとするが如きは却て農民大衆の信頼を失ふのみである。農民は今日や昨日に出來た大衆黨が如何なるものであるかを判斷するものでないのでそう輕兵急に信用しないのだ。

本當に農村の事を考へるなら勞農黨と合同して政治的にも經濟的に強大なる鬪爭を續けることが本當である。が併し、勞全日農派の幹部には勞農黨と合同する勇氣はないのだ。併らば結局合同問題は如何にする。

次に社民黨と合同する事に依つてマルクス的思考を民主々義に變改されると恐ひ、大衆黨との合同を主張し大衆黨との合同を合理化せんとする幹部の行衛を批判せねばならぬ。日勞黨が大衆黨と合同して仕舞へば事實上左翼黨としての存在に止り、決して、合同後の發展を豫想しても、大衆黨としての延長擴大性がない。それは一層左翼黨の左翼としての心細い存在のみが殘るのである。又、これ等の人々が將來、勞農黨と合同して新黨を結成する程の勇氣と確信があるかと云へばこれ又、全然豫想することは出來得ない。然らばこれ等の社會民衆黨との合同に反對する人々の合同問題は如何になり得るか。それは結局行詰りを生ずるより外に途はない。

五、内面的矛盾と困難を解決して 一路大衆黨結成に進め！

吾等は此の日勞黨の持つ内在的矛盾を解決せねばならぬ。それは

眞に日勞黨をして大衆行動黨たらしめ、無産大衆の利害を忠實に代表さすためめた。

日勞黨が社民黨と合同する事に依つて日勞黨が持つマルクス主義的立場を失ふものでなく、却て反對に社民黨をして眞に階級的大衆行動黨の立場に歸らしめ、他方、無産大衆黨及新黨準備會の持ち孕む內在的矛盾を清算し、眞に一大階級的大衆黨の結成の大方針を決定するものである。マルクス主義は、机上の空論でない。現實の闘爭を通じ、運動の過程の中に於いてのみその存在と意義と力を持つものである。此の理論の武器に依つて眞に社會民衆黨を階級的大衆黨たらしめる爲にも又眞に強力なる政治的城塞の建設の爲にも、犧牲となつて吾等は勇敢に今後日勞黨への合同を押し進めて行く。唯た此處に諸君の問題となるのは社民黨が胎んでゐる構成分子が合同に贊成するか、又新黨準備會の合同論は如何たと云ふに決つてゐるこの社民黨の本質及合同問題と、新黨準備會の合同問題は紙數の都合上、來月號に廻そう。

×　×

御斷り　なるべく合同問題の常識を與へる爲めに思ひ浮んだ儘に書いたので文意極めて平易であるからして幾多の疑問と矛盾する點を發見されたなら遠慮なく御注意下さい（十月七日總同盟全國大會に臨んで合同問題を提出せんとする朝、走り書）

無産大衆黨の合同問題に關する指令の要項

▼各黨の一般的情勢

一、（A）右翼結成に猛進する社民黨の一般情勢（B）關西先進分子の新方向（C）關東に於ける「單一政黨期成同盟」運動

二、階級的合同に進出せんとする日勞黨

三、我が黨に屈服しつゝある新黨準備會（A）合同に對する無力（B）結黨方針の對立（C）清算過程の進行

▼「全合同」への方針と一般的指令

我が黨は第一に

「全戰線の再建と統一のために右翼結成を克服しつゝ社民黨日勞黨、民憲黨その他との全合同による單一的全國的政黨の實現を飽くまでも當面の目標として直進する」

第二は

「支配階級との闘爭並に全合同の急速なる實現のために勞働者農民の戰線を强化すべく、可能な範圍に於ける順次的合同をも辭するものではない」

第三には

「合同の時期は、今秋の各黨大會の討論を經て年內に實現しなければならぬ」

我が黨は右の見地より、合同の提議權を爭ふものではないが、全合同への狀勢を靜觀しつゝ、階級的合同へのイニシアテイブを執る準備をも有する、もとより我が黨は、合同に對する條件を附しない。合同政黨が（一）黨名變更（二）役員改選（三）綱領、政策の改造をなすは言ふまでもなく我黨の黨員は合同に對し、舊勞農黨大衆の陷りたる無用なる愛黨心に、こだわらざる決意をもたねばならぬ。

次に合同促進のために次の如き一般的戰術を執る

一、極左翼並に右翼幹部批判の態度は感情的對立を避ける、二新黨準備會に對しては清算を促進する。情勢によつては日常闘爭の共同戰線を張る、三、社民黨の先進分子の活動に協力する四日勞黨とは大衆と大衆を密着せしめる、五、他黨の支部又は聯合會との間に合同促進委員會を設定する。

無產階級運動當面の苦難を如何にして突破すべきか

―戰鬪的勞働者の任務―

辻井民之助

一、苦難に打突かれる無產階級運動

現在、日本無產階級運動は、反動的支配階級の嵐の如き彈壓の下に、未だ嘗て經驗せざる甚たしき苦難に打突かつてゐる。××××の檢擧、勞働農民黨、勞評議會等の解散、各地に於ける勞農組合の破壞、維持法の改惡、大學に對する彈壓、對支出兵等々、彼等の極端なる彈壓と反動政策とは、限りなく無產階級運動の上に加へられ、我等が過去十幾年に亙る苦闘によつて獲ち得たる陣地は刻々として奪還され、その陣營は彼等の蹂躪に任せるの外なき、實に慘憺たる有樣にあるのだ。

今こそ全國の戰闘的勞働者は、一齊に起つてこの彈壓を蹴破し、この難關を切り抜けて、全無產階級の利益を擁護し、我等の歷史的使命に向つて躍進すべく、全力を擧げて奮戰しなければならぬ。では我等はこの重大なる任務を、如何にして果すべきであらうか？

二、無產階級戰線の統一へ！

最近の彈壓に對して、極左一派の諸君は、「大衆的行動によつて、奴等の彈壓をハネ返せ！蹴飛ばせ！」と、「無產者新聞」や「勞働農民新聞」等の紙上から悲壯な怒號が繰返してゐる。たがこの勇敢な紙上アジにも拘らず、大衆の間からは、何ら反抗らしい反抗も起つては來ない。なぜたらう？

支配階級の彈壓は、勞働農民黨、勞評議會解散前の勢力を以てしても、これを蹴飛ばすことも、ハネ返すことも出來なかつたのではないか。然るに既にそれらの組織を破壞され、大衆は萎へ切つてゐる今日、如何に極左の指導者諸君が、勇敢に紙上アジを連發しても、彈壓をハネ返すことは愚か、せい／＼少數の極左追隨者をして、強大な支配階級のホンの觸手に過ぎない官憲と小ゼリ合ひを行はしめ檢束ゴッコを繰返させるが落ちであらう。

我等は先づ冷靜に考へてみねばならぬ。一

階級我等の運動を今日の如き苦難に陷らしめた眞の原因が何であるかを。極左諸君はタメクであらう。「支配階級がドロ跳とサーベルとで蹈みにぢりやがつたからだ」と。だが思ふても見よ。彼等は、彼等の地位を脅やかす我等の運動の發展を、常にボンヤリ傍觀してゐる程の間拔けであらうか? 彼等は機會だにあらば、我等の運動を骨拔きにし、粉碎せんものと付け狙つてゐるのではないか。我等の一切の行動は、この敵前に於てなせるものであるといふことを、瞬時も忘れてはならない筈ではないか。

然るにこの敵を前にしながら、最近の我等の陣營の有様はどうであつたか? 左翼も右翼も、相競つて戰線の分裂と同志打ちに狂奔し味方の勢力を甚だしく分散せしめ、更に分散されたる勢力を、有害無益な仲間喧嘩に消耗して來たのである。拔目なき支配階級が、こうしてこの好箇の隙を見逃すであらうか。かゝる戰線不統一の結果、我等が強力なる反抗運動を起し得ぬといふ、充分なる見通しが付いたればこそ、彼等は最近の如き暴壓と反動政策とを開始したのである。然も支配階級の見通しは、不幸にして、極左諸君の見通しの如くに、決して過つてはゐなかつたのである。

今日の苦難が、戰線の不統一に基因することとは最早明白である。從つてこの缺陷を完全にハネ返し、今日の苦難を速かに突破せんがためには、現在の四分五裂の戰線を速かに統一し、戰闘力を強大ならしめるより外に途はない。そしてこのことは、多少とも階級意識を有する無產階級の總てが、等しく認むる所であり、現に大衆の間に、統一戰線の要望が熱烈に高まりつゝあるのはそのために外ならぬ。最近の、日農、全日、兩農民組合の合同全國勞働組合協議會準備會の成立、各無產政黨の合同への傾向等は、この大衆の熱烈なる要望を反映せるものに外ならぬ。

この大衆の要望を體現し、一切の分裂主義的傾向を徹底的に排擊し、統一戰線實現のために全力を擧げて闘ふこと――これぞ戰闘的勞働者の當面の、最大の任務でなければならない。そして我等がこの重大なる任務を完全に果さんがためには、統一戰線のための正しき、具體的な方法を持つことが絶對に必要である。

三、對立闘爭は何をもたらしたか?

最近まで無產階級戰線を、分裂から分裂へと導きたる、極左福本氏一派の「宗派的分裂主義」、及びその相棒者たる「新黨準備會」一派の奉ずる極左的理論は、既に決定的に批判し盡され、その根底から覆へされるに至つた。所で、然らはかゝる非階級的理論が無產階級戰線の一部に、即ち評議會や、勞農黨等の間に、一時非常な勢力を得るに至つたのは如何なる理由に基くか? これを知ることは、分裂主義的傾向を實踐的に克服し、統一戰線の具體的方法を樹てんがために、是非必要なことである。私は、評議會に所屬せし一勞働者としての經驗により、こうした點に就て少しく所感を述べてみたいと思ふのである。

×

總同盟は、大正十四年、左右二派の對立の結果、第一次の分裂を惹起し、この左翼によつて創立されたのが評議會であつた。この

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

分裂が、果して避くべからざるものであつたか否かは姑く後に廻し、この分裂によつて、一體如何なる結果がもたらされたかを考へてみやう。

分裂後總同盟の指導分子は、評議會の切崩しに備へ組合員の結束を圖る必要からも、極力反評議會熱を煽り立てた。「評議會は、空想的、小兒病的分子によつて支配され、現實を無視した過激な理論によつて、勞働運動を手習草紙にし、勞働者の生活を破壞する危險な組合である」等と盛んに攻擊を加へ、組合員の評議會に對する敵愾心を煽り立てることに努めて來たのである。ただ評議會側の行つて來た所も亦、決してこれに劣りはしなかつた。評議會はその成立の事情によつて、總同盟に比較すれば、當然遙に多數の左翼的分子を抱擁してはゐた。ただ評議會も亦、勞働者の大衆的團體である限り、一般組合員の水準は、總同盟のそれに比して大なる相違であるべき筈はない。この一般組合員のギルド的意識、組合根性に訴へ、これを刺戟して、評議會の指導分子も亦、頻に總同盟に對する敵愾心と、競爭心の激成に努めて來た。かくて兩團體の間には、終には敵に對する以上の憎惡反感がかもされるに至つたのである。

評議會は、總同盟の右傾化に反比例して左傾し、一般組合員のギルド意識、組合根性の上には強烈なる左翼的優越感が釀成され、評議會内に漲るこうした空氣は、更に逆に指導分子の意識に働きかけずにはゐなかつた。右翼團體内に於ては、除名覺悟な者でなければ公然と左翼的意見を發表し難いと同樣に、評議會内に於ては、除名覺悟でなければ、如何に疑惑を感じてゐても、左翼的な理論を批判することは困難となり、左翼的に振舞ふ者程巾がきく有樣となつた。當時偶々出現したる極左「福本主義」が、忽ちにして評議會の指導分子を捕へるに至つたのは寧ろ當然であつた。「福本主義」は評議會のこうした傾向に恰も焰火に油を注ぐ役割を果した。これまでは自己の極左的分裂主義的行動で、その左翼理論との間に多大の矛盾を感じつゝあつた評議會の指導分子も、今や「福本主義」の激勵によつて、その行動は理論化され、正當化するに至つたのである。彼等の極左的、分裂主義的行動は、愈々益々大膽ならざるを得なかつた。かくて評議會は、評議會を最も有力なる支持團體とする勞農黨と共に、分裂主義の使徒と化するに至つたのであつた。

當時評議會は、確に多數の戰鬪的、左翼的勞働者を抱擁してゐた。然るにその大多數が、終に極左に盲從し、非階級的な戰線分裂の元兇犯となるに至つたのは、實に分裂と對立鬪爭のためであつた。そして分裂と對立の結果は左翼分子自身と左翼團體の發展を阻害したるばかりでなく、右翼團體の大衆に對しては、左翼的影響を與ふるの途を斷ち、右翼指導者の指導に任せ、その發展を甚だしく阻害するの結果となつたのである、少くとも大衆團體の對立鬪爭は絕對に發展をもたらすものではない。無產階級の現實の利益の擁護も、大衆の發展も、左翼分子の發展も、それは統一戰線の中に於てのみ、統一戰線實現の鬪爭を通じてのみ可能なのである。

×　×　×　×　×　×

傍聽記

日勞黨 第五回擴大中央委員會 傍聽記

高見憲介

◇

外部的には日勞黨の危機を傳へられ、内部的にはお家の大事と騒がれ、家の子郎黨を雲集せしめるに至つた合同問題を中心とする日本勞農黨の第五回擴大中央委員會は秋雨煙る十月七日、芝區青年團會館の會議室に開催された。

記者はこのお家の一大事が如何に進展するかを、一種の興味と、極めて緊張した氣持ちとをもつて傍聽するの榮を得たことを感謝しつゝこの日の早朝六時三十分、この大會議に列席すべく名古屋より馳參じた日勞黨名古屋支部長、佐々木市太郎氏同支部、片桐市藏氏龜田了介氏等を品川驛頭に迎へ共に會場を指して乘り込んだ。

會議は午後の一時、例の如く麻生書記長に依つて開會を宣された

集まる者、執行委員、加藤勘十、三輪壽壯、河野密、山名義鶴、吉田賢一、淺沼稻次郎、河上丈太郎(代議士)の諸氏を始めとし、中央委員、田所、三宅、川俣、清水、望月、坂本(勝)、岩内、長沼、石山、棚橋、堀川、安藤、關家、森、今村、光吉、藤岡、西村、細野村松氏等、聯合會代表、松本(和歌山)臨田(東京府)林(青森)平山(神奈川)網島(新潟)の諸氏及び支部代表として、菊野(宇都宮)植松(長岡)小松原(大谷)可兒(岩城)小原(雄平)木田(龜戸)鈴木(淀橋)槙田(南花原)伎(北豐島)金井(京北)松坂(川崎)名倉(富久)松本(三河島)熊谷(王子)佐々木(名古屋)金井(横濱)の諸氏五十四名一騎當千の猛闘將の面々がズラリッと着席に及んで、いでや一番無かる可からずと眞剣ならざる當日のプログラムを右手に持ち左手を机上に着けたる様は流石は大日勞黨の堂々たる偉力を眞に天下に示すの觀があつた。

加ふるに傍聴者五十五名、之れ又、記者の如き者四五名を除くの外、何れも総同盟の後を繼ぐ日勞系の闘士諸君、偉觀と謂はずして何ぞやである。

議長には満場一致を以つて吉田賢一氏を推薦し議長席に着くや、次いで麻生書記長は起つて一般報告は後廻しとし統一問題に對する経過及び前回執行委員會の決定事情等を詳細に報告し第十四回中央執行委員會の決議を内容とする統一問題の件を議題に供する旨を宣し質問に入る。

斯くして茲に黨内外の注目の的となれる重要なる統一問題は一騎當千の古强者に依つて論議され熱況相闘ふの一大論戰は開始されることゝなつた。

◇

先づ第一に質問の矢を放つたのは堀川氏であつたが、此處で一寸黨内の空氣を説明して置く必要がある。即ち何故にこの會議が斯く迄も内外の注目の的となつたかと云ふことを簡單に述べて置く必要がある。

それは既に讀者諸君も知るが如く、日勞黨の支持團體の一つである日本勞働組合同盟と、全國農民組合の総全日系に屬するものとがこの統一問題に對して相異なれる二つの意見を持つた事にある。

即ち組合同盟に於ては、九月二十二日第三回中央委員會に於て政黨合同問題に關して左記の如く態度を決定して了つた。

(2) 日本勞農黨が中間にて無産大衆黨とのみ合同することは現下の情勢に於ては一大階級的大衆黨の結成に支障を來すものと認め之に反對す

(3) 同時に社會民衆黨との合同は日勞黨立黨の精神たる階級的大衆黨結成のための妥當なる第一歩と認め我が同盟は総意を以つて之が促進に努力すべし

と決議して發表したに對し、全國農民組合側は「無産大衆黨とこそ即時合同すべし」と云ふ意味の決議を、組合同盟で態度を發表した後に發表した。

斯くして勞働組合側と農民組合側とは同じ日勞黨支持團體でありながら二つの異つた方向に向つて合同すべしと云ふ態度を明かにして一路各自の信ずる方向に向つて邁進せんとした。故に各自がこの主張を飽くまで强調するに於ては日勞黨はいやでも分裂せざるを得ない情勢となつたのである。日勞黨分裂の危機も故なきことではない。

この二つの意見の衝突は、この會議の必然的歸結と考へられるのが當然であるから、參集した愛黨の精神に燃へる黨員各自の顔に不安と緊張との色が漂て居るのも無理からぬことである。

然るに、この不安なる情勢を觀て取つた中央執行委員の諸士は、その以前に於て九月二十三日夜より翌二十四日の朝に至る迄徹宵協議を續け各組合側の意見を出來る丈け接近せしめやうと努力したが、この徹宵協議は不幸にして何等具體的の案を決定する事が出來なかつたのみか二十四日の朝に至つて前夜來の集會は無屆集會であるとの理由を以つて三田警察署へ一同が檢束された等の余興まで演

するに至つた。

次で二十五日第十四回中央執行委員會第三日目として討議を續行し組合側とは懇談會を開き然し再びかの懇談を重ね、各組合側の意見も漸に接近して來たので茲に中央執行委員會の決議として左の事項を決定するに至つた。

一、吾黨は立黨精神に基き階級的一大大衆黨の結成に今後益々邁進す。

一、無産大衆黨との即時單獨合同は現下の情勢の下に於ては吾黨の合同方針完成の上に支障あるものと認む。

一、合同政策遂行のために中央執行委員會の統制下に支持團體代表をも加へたる無産黨統一委員會を設置す。

猶、同時に聲明書として左の一文を發表した。

我黨の傘下にある全黨員は勿論、全無産大衆は階級的大衆的統一主義の旗が尚高く翻くことを待望してゐる。

我等の期するところは全無産政黨の統一我等の目標とするところは階級的一大大衆黨の結成、而してそれが支柱をなすものは我黨の外にない。

外界の攪亂臆測に拘らず、我黨は微動だもしない。陣營を整備して一大躍進をなすの機は熟しつゝある。

我等はもと血盟の士、更に全黨員の奮起を望むとともに邁進せんことを誓ふ。

階級的大衆黨の結成へ。

日本勞農黨を通じて戰線の統一へ！

と謂ふにある。而してこの日の中央執行委員會提出の議案＝政黨統一問題の件＝は實にこの決議と聲明書を内容とする（前述の如く）討議に外ならない。

以上、極めて簡單ながら不安な成行きと問題に供さるべき内容とを說明したから次へ筆を進めることゝする。

◇

話しは前へ戻つて堀川氏の質問の第一矢の要點となる。堀川氏は「中央執行委員會が意見を決定するに先達つて支持團體の少數の幹部と懇談會を開いて、結局、中央執行委員會の意見が支持團體の少數者の意見に依つて動いたと云ふは、斯くの如き重大問題を控へた時に於ては不都合であり、又、中央執行委員は如何なる形式を以つて如何なる手續を執つて懇談會を招集したるや」「我々支持團體の中には懇談會の通知に接しざるものもあつた」と云ふにあつたが、この點は手續上の問題について第二三の質問者を出した、これに對し麻生議長の答辯は極めて要領を得たものであつた。即ち「緊急を要する場合であつたので手續上の手落ちはあつたとしても、事は頗るデリケートの問題を含んで居る場合であつたが故に……」とあつさり片付けて了つたが、「緊急を要する場合」と謂ひ「事は頗るデリケートの問題を含み」と云ふ黨責任者としての麻生氏の答辯を察するに餘りあるものがあつた。尚ほも堀川氏は「一體この合同問題は何處から合同を申込んで來たのか、何處からも申込んで來ないとすれば何にも騷ぐことはないし私はそうしたことには反對だ」と遂に大脫線をして了つたが、一轉の御愛嬌として次ぎの質問に移る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

質問者は次から次へと議長に發言を求めて起つたが、何れも「斯くの如き重要なる問題は中央委員會を招集して決せられたい」と云ふにあつたが、質問中特にヤリツとさせた一つとして「總同盟の機關紙「勞働」の今月號に合同問題に對する吉野氏の秘密會議に我が黨より參列したるものゝあるが如く記載されて居るが、若し斯くの如き秘密會議に吾黨幹部として參加したるものありとせば參列者の氏名を明かにし、而して内容を發表せられたし」と云ふの一事であつた。吉野氏に於ける秘密會議と云ふ言葉それ自體が既に陰謀的に響く音律を伴ふが故に、これはしたり一部策動派の現實暴露かと、議場は不思議な色に包まれたがこれに對しては山名執行委員の答辯にて「私も吉野氏の會合に列席した一人であるが……」と明解なる答辯を與へたので一同今更の如く何とかの姿と見れば枯尾花、別に陰謀でも策動でもなく返つて必要事であつた事を諒解するに至つた。

◇

愈、質問を打切つて討論に入る。雨になるか風になるかの討論の模樣こそ詳細に報導する必要があるが餘りに長くなるので、記者は此處では要點のみを記すに止めて置く。

先づ提出された議案に對し「大衆黨とこそ即時合同すべし」とする舊全日系の殷民派と關東方面の一部、日勞黨をしてより左翼的ならしめんとする人々等は期せずして一致の論旨を以つて、議案第二項大衆黨云々の項を削除すべしと云ふ異論を立てた。之に對し組合同盟側は既に決定したる決議文の三項は何れも變更の必要なしと力說して互に一歩も讓らざるの概を示した。

殊に棚橋氏は起つて「折角、懇談に懇談を重ねて決議した。この三項の決議こそ各々が折れ合つた最要のものであるから、若しこの三項の中、一字たりとも變更をするが如きことあらば組合同盟は、恐らく諸君の想像もせざる重大なことになるであらう、私共組合同盟は削除は勿論のこと修正すら絕對に反對すべきである」と暗に言外に脫線すべきやも知れざる意味を含み斷乎として言ひ放つ。

然して、甲論乙駁の議論は何時、果つるべきや豫想すら許さざるの情勢となつた。田所執行委員は「諸君が三項の決議に對し變更を求めらるゝは明らかに執行委員會を不信とするものであり、若し變更するが如きことであらば當然執行委員會の責任の問題になる」「殊にこの決議は既に發表したものである以上、今更變更も出來ないではないか」と言ふ。

斯くして數時間の討論は結局、斯くの如き既に決定し發表を終つたるものを議案としてこの會議に提出することが間違ひであるからこの議案は撤回して執行委員會の報告と改め、これを承認し、更に本會議に於ては別の決議を決すべしと云ふ意見が出で、圓滿一致を以つて議案ならざる、この報告を承認することゝなつた。

さて次は、本會議としてこの態度を決定するのであるが、これには三つの案が出た、卽ち

（一）東京府聯合會、松谷與二郎氏案

執行委員の決議中の第二項即ち無産大衆黨云々を全部削除し且つ統一委員會を增員すべし

(二) 新潟聯合會、(中央委員)三宅正一氏案

吾黨は大右翼結成及び大左翼結成の名の下に行はれる統一論は無産政黨を永遠に分裂せしめるものである。故にこれに反對し飽くまで立黨精神に從ひ單一大衆黨結成を目標としてこれが必要なる行動を開始す。

(三) 青森秋田聯合會、西村中央委員、小原支部提案

三宅案に次の如く附加す。

適當なる時期に於て各黨に對し合同提議をなすべし

松谷氏が「統一委員會を增員すべし」と云ふことは、執行委員會にて決定したる人員以外に黨の幹部外に在つても日勞系に屬する人々にて有力なる人々をも加へよと云ふにあつた。松谷氏の說明に依れば例へば山崎今朝彌氏、稲田狂二氏、中村太八郎氏の如きと云つて六七名の人名を擧げた。これに對して一同は一寸、意外とする論であるかの如き思ひ入れであつたが、記者はよく松谷氏の眞意のある處を諒解するに苦しまざるものである。

三宅氏の原案に對しては何故、「大右翼結成及大左翼結成」の字句を入れるやと云ふ問題に對して可成り激烈なる論爭が開始されたが、三宅氏は「大右翼結成及び大左翼結成」の字句こそ必ず入れなくては、この決議の意義がなくなると強硬に主張した。

この間、前代議士(候補者)鋼島正興氏は堂々たる二十四貫の體軀を重も重もしく起つて一場の演說を試みる。其堂々たる演說は[illegible]肉を壓して、熱辯眞に火を吐く觀があつた。さしもの一騎當千の猛者の面々タヂ／＼の體であつたが、惜しいことには大演說は眞に大演說に過ぎず、論旨は問題の中心を外れて「鋼島さん御說は御もつともです。私等も其の爲めに今討論をして居るのですが、貴殿の御說の方法は」と問はれて「それは執行委員一任に願ひます。」と笑ひの種をまく、何のことはない大劍士が試合に木劍を落としたやうなものだが諸君、堀川氏以後第二の御愛嬌と云ふ勿れ、氏の愛黨の熱情を買はざるべからずである。

この時、五時四十分議長は休憩を宣し六時三十分再會、討論續行の結果、遂に左の如き折衷案を決定して、この重大なる統一問題の幕を下すに至つた。

決議

一、吾黨は大右翼結成大左翼結成の名の下に行はれる統一論は無産政黨を永遠に分裂せしめるものであるから飽迄單一大衆政黨の實現を目標として之が達成に必要なる行動を開始す

二、中央執行委員會統制の下に支持團體代表をも加へたる無産政黨統一委員會を設置し適當なる時期に於て各黨に對し合同を提議すべし

三、執行委員會に於て適當なりと認むる相當數の委員を增員すること

◇

統一問題の討議が終ると、一時に緊張味も解けて了つたが、尙ほ左の議案

二、九州事務局設置の件

三、黨大會に關する件

四、全國勞農青年同盟の組織を積極的に指導すべき件

五、市町村會改選に關する對策
六、役員補任の件
七、全國遊說の件
八、日勞會館建設の件

を討議に附し決定を見るに至つた。この討議のうち、黨大會に關する件は、山名執行委員の說明にて會期を御大典の關係上明春一月を期して開催すると云ふ事情を說明したに對し、何時も議論の雄として議場に花を飾る、九州の今村等氏、光吉悅心氏、關西の飯岡文六氏等々、今日の會議には始めから一言も發せず只默々として風雲を望んで居つたが、この時、即ち大會々期を明春一月にすると云ふ說に對して今村氏は起つて「自分等はこの統一問題は決してこれで済んだものとは認めない。自分等も大會に於て何れ論戰を闘かはうと思つて殊更に一言も云はなかつたが大會には自分達の意見も闘はしたいので明春などと云はずに來月位には是非大會を開いて貰ひ度い」と論外に一物、何物かを忍ばせて居ることを察するに充分なる言ひ廻しを以つて大會の早からんことを望んだ。

本會議を通じての情勢を見るに出席者は、何れも日勞黨を愛する精神を以つて臨み、例へ組合同盟と農民側とが意見の相異を見るに至つたとしても、日勞黨を分裂させて迄も自己の信ずる道に走らうとするものは一人もない。日勞黨、安じて可なりである。

然し、斯くの如く重大なる統一問題を議するに當つて、本會議の如く何等、統一問題に對する根本的の理論を闘かはず、又殊更に、理論闘爭をなさざることに努めたかの觀があつたことは、返つて日勞黨の將來の爲めに惜しむべきことではなからうか。

今村氏の言と謂ひ、光吉氏、飯岡氏の殊更らしき沈默と謂ひ、これ等は總て來るべき大會に於て、記者の想像を許さざる情勢の急轉を見ないとも限らない。

一時的、不安の雲は去るゝあり、日勞黨の將來も他の政黨と共に又、多事多端と謂ふべきか。

想ふに、何れの時、何れの團體と雖も、其内部には常に左に走らんとするもの、現狀を維持せんとするもの、更に右せんとするもの、の三派が伏在するものである。只要は勢力のある分子が他の勢力を克服した時に一致を見る、日勞黨内部に於ける勢力は何れが勝を誇るべきか＝不幸にして記者は其の明のなきことを悲しみつゝ日勞黨立黨の精神たる單一大衆政黨の實現の爲めに邁進せられんことを望み筆を擱く。

日勞黨萬歲の聲ぞ勇ましく聞ゆ。正に午後八時三十分、閉會、

第十七回總同盟大會記

大野佳良

第十七回總同盟全國大會が十月七、八、九日の三日間に渉つて大阪土佐堀青年會館で開かれた。多くの議案が上程せられたが、時節柄問題となつたものは「總同盟大會を二年に一回とすること」「勞働組合總聯合に關する件」「産業合理化に關する件」「對支外交に關する件」等であつた。

第一日目と第二日目の鈴木會長と米窪某との握手の一幕は何の爲めに勞働組合の大會があんなことをやらなくてはならぬかと、多くの勞働者は憤慨してゐたが、それは實に見苦しい場面ではあつた。

「總同盟大會を二年に一回とすること」と云ふ提案は關東同盟會所謂の組合から出されたと云ふだけで、提案の理由の腹の底の底が既に見拔かれてゐた。それだけに關西側の反對にあつても、流石に關東側も腹の底の底を露骨に現すことも出來ず遂に否決されて仕舞つた。

「對支外交に關する件」は單なるメッセージの發表で、そこら邊にざらにある民政黨や、革新黨あたりの壯士が何處でもやる所謂既成政黨の「決議」の發表であつた。此の既成政黨流の「決議」は無産政黨の代議士によつてわざ〳〵支那迄持つて行かれるのだそうである。

「勞働組合總聯合に關する件」は關西側から提案されたもので、これは階級戰線の統一問題に重要な關係を持つものである。從つて總同盟には……否總同盟の幹部■主として主事に、或る別の意味から重要な關係を持つものであつた提案者側の關西派は終始一貫階級戰線の統一の上に立つて居り、反對側の關東派は終始一貫感情の上に立つて居つた。反對演說を行つた人達の中に、紡付工場の人事係を拜命してゐる幹部のあつたことには、何人にも成る程とうなづかしめた。

「産業合理化に關する件」は關東と關西と兩方から提出され、關西から提案したるものは、全く反對の意味を表明するものであり、關東側（中央委員會案）からのは必ずしもそうゆう意味ではなかつた。即ち勞資が一致して、そして資本家が勞働組合の團體的交渉權を認めれば産業の合理化が「産業の民主化」と云ふ形式の下に行はれるから、そうゆう産業の合理化なら賛成すると云ふ意味であつたらしい。たが討論六時間を費して、どうやら産業の合理化と云ふことが判明したらしく、反對しなければならないことゝきまつて、委員附託と云ふことになつた。

總同盟の第十七回大會を通じてハッキリと我々が知つたことは、主事の演說によつて、總同盟の幹部が「共産主義を全く知らない」ことゝ野田の爭議が「階級鬪爭を激成するものでなかつた」ことゝ「日本の勞働組合は今一つに固まることが良くない」と云ふことであつた。

即ち總同盟幹部は共産主義を知らないから反對するものであり、野田の爭議は階級鬪爭をやつたのでなく、資本家諸君――松岡氏はかう云つた――の頑迷に警告を與へたものであり、急速に統一や合同をやらないことが、總同盟の傳統的精神だと云ふことが、第十七

回全国大会を通じてヘツキリしたのであつた。松岡氏は、労働組合総聯合に関して、「宋襄の仁」と云ふ六ケしい言葉を用ひられたが労働組合を現在のやうに、政党を中心とした分裂線に副ふた、四分五裂の状態に置く事は「宋襄の仁」ではなからうか。

我々は階級戦線の分散状態を永久化することによつて利益するもの、何故なるかを知らねばならぬ。咄々、寇に兵を藉す「宋襄の仁」者はそも誰ぞ！

日本農民党大会傍聴記

高木輝夫

大正十五年十一月、「現下の形勢において左翼も右翼も、労働者も農民も挙つて唯一無産政党の旗下に集まれと謂ふが如きは、主張としては正しき純理なるも断じて一箇の空論である」と論断して当時の唯一無産政党であつた労働農民党に対立して、我国の六割五分を占める農民層を対照として「農民は農民党へ」のスローガンを掲げて結党したところの日本農民党は余りに發展の跡も示さぬばかりでなく、昨年の府県会議員選挙直後、会長北沢新次郎氏を失ひ、今年又日労党の合同問題にからんで高橋亀吉氏脱党して御難続きではあつたが、十月二十日他党に先たつて協調会館において第二回大会を開催した。集まるものは羽織袴で農民気分タップリの代議員三百六十五名、傍聴席にも空席多く、淋しい情景の中に大会の幕は定刻を遅る、二時間後午前十一時になつて漸く開かれた。議長細迫兼光氏も白髪童顔にて好々爺らしくは見へるが、議長振りは余りに冴ず、ベンベンダラリの内に議事は進んで行く。

正午近に本部事務報告を終り、午後一時から議事に移つた。

一、肥料国営運動に関する件

一、電燈料値下全国的運動に関する件

一、農地金庫並に自作農創定案に対する態度決定に関する件

一、規約改正組織改革に関する件

満場一致で議了し昨年も各政党の中心議題であつた合同問題が、再び中心政策としての価値を失はず上提された。この合同問題の態度決定に関する議題の上提される頃より議長席には坂本利一氏あつて場内の空気も稍々緊張味を帯びて来た。この提案理由の説明は群馬、北海道の意見を代表して田村勘次氏によつて成されたが、その大略を記すと、

「日本農民黨が合同問題に對する態度は從來餘りにも無定見であつた。總選擧前にあつては日勞黨との合同を提議し總選擧後にあつては農民組合の全國的統一に參加せんとし最近に至つては社民黨との合同を提唱する等、所謂日本農民黨式合同方針は今後絶對に排して最も確固たる方針の基に合同問題に對する態度を決定しなくてはならない。從來、合同方針の決定せざりしは、各支部が何等の定見なく、本部に追隨して來たるがために、大會の價値を失はしめた。そこで私はこの點を改めるために、本部員としての資格でなく、群馬縣聯合會の代議員の資格をもつて提案したのである」と前述して

「この合同問題を論議するに先立つて、農民黨がその指導精神とした「農民は農民黨へ」のスローガンを變更する必要がある。今や資本家と地主が完全に握手し、我々被壓迫民衆に對峙してゐる時に當つて、農民は農民のみによつて政治鬪爭を成す事は出來ぬ。又資本家の搾取の對照は獨り勞働者、小市民のみでなく、農民もその苛酷な搾取の對照とされてゐる。かくの如き状勢の基にあつては、すべからく勞働者と農民は提携しなくてはならぬ。我黨においても山梨北海道においては勞働組合が成立してゐる位であつて、「農民は農民黨へ」のスローガンが間違つてゐると言ふ事を明瞭に認識する事が出來る」とスローガンの變更を力説して、合同方針の態度決定に移り、「我黨が從來右翼黨と見られし關係上、一部左翼の批判は止むを得ないが、過渡の一段階として、社會民主主義的大衆黨の結成に猛進すべきである」と結んだ

それに對して種々の質問はあつたが、その主なるものとしては

問「社會民主々義とは日本の何れの政黨がこれに包含されるか」

答「社會民衆黨、日本勞農黨はこれを社會民主々義的黨と見るが一歩進めて無産大衆黨も昨年の勞農黨の大會において「社會民主々義の批判の自由」を撤回すべく主張したるに鑑み、これも包含されると思ふ」。

問「田村君は合同に對して、我黨がその態度が不徹底であつたと云はれるが、他黨の態度も不徹底であつたではないか、徒に我黨のみの弱點、欠點を暴露することは對立的合同でなくて併合されるの恐れなきや」

答「私は自己批判によつて誤謬を清算する事は最も必要と信ずるが故に批判したものであつて、自黨、他黨の別なく批判する必要がある」

問「農民黨のスローガンの變更によつて合同は實現するか」

答「それは出來ると思ふ」

問「社民黨と日勞黨の如く社會民主々義的政黨にても合同は出來ないではないか」

答「それは種々なる對立關係があるためであつて、指導精神が一致してゐるから直に合同が出來るとは保證出來ぬが、指導精神が異なれば困難であり、他黨との合同に誠意あれば必然にスローガンは捨てる事となる」

等の質問戰を終つて討論に入るや須貝快天老先づ立つて現状維持説

を唱へ

「田村君の自黨攻擊は他黨のスパイの如く聞へる。我黨結黨以來社會情勢は餘りに變りなく、六割五分の農民を擁する我國においては勞働者と提携せずとも、努力によつては日本一の大政黨となり、日本農民黨の上に大命は降下するであらう。故に敢てスローガンを變更するの必要はない、田村君は本部員でありながら自ら行つた仕事を誤つてゐたと云はれるのは、餘りに若氣の至りで理論にのみ走つたがためであらふ」と大氣焰をあげ、山梨縣聯合會の代議員は「社民黨の合同に對しては絕對に反對である」と主張し、北日本農民組合の立川君は「日本勞農黨との合同は絕對に拒否するものであるが、それはかりではなく、日勞黨は我々の陣營を攪亂するものであるから、よろしく全無産階級の名をもつて解散を命ずべきである」と合同論より脫線して議長をマゴツカした等のエピソードを殘しつゝ紛糾を重ねたが、結局北山玄四三氏の合同問題研究會によつて決定した案即ち

「擧黨一致を根本條件として、大會をもつて合同問題研究委員を擧け合同に對する態度方針を決定する」事を提議し滿場異議なく承認、さしも曲折を經た合同問題も落ちつく處に落ちついた。小憩の後二三の議案を終了して午後六時閉會した。この大會を通じて筆者の感想を述べれば、結黨當時において、「左右兩翼、農民と勞働者が同じ政治戰線に立つ事が空論であるとし、現狀に於ける可能なる範圍において、農民は農民黨を組織すべきである」との論據の基に鬪爭を續けて來た日本農民黨の內部において、此の指導精神が誤謬でありこれを愈々變更しなければならぬと謂ふ事が若い鬪士の頭に考へられて來た事は、今年の農民黨大會よりの大きな收穫であつたそれと同時に自己批判を拒否して自黨の誤謬を合理化せんとしてデマゴギーを飛ばす一部の無産團體の卑劣なる態度に反して、勇敢に自己批判を行つた點は、最も敬服に値する事である。社會民主々義的政黨の結成についても一言すべきであるが、從來最右翼と見られた日本農民黨に對しては餘りに無理な注文であるが故に、一歩にても二歩にても進出した事を諒として差控へておく。

附記

僞同黨內の合同派（群馬、北海道、愛知、宮城）は大會終了後その主張の貫徹のため、左の如き申合せをした。

一、我等は日本農民黨合同委員會をべんたつし、誠意をもつて合同に直進せん事を期す。

一、我等は日本勞農黨、社會民衆黨が從來の行懸りを放棄して三黨合同を邁進するに努力せん事を望む。

一、我等は合同實現のために各黨が、一應解黨して、合同の熱意を示さん事を望む。

一、我等は完全なる合同實現のため各黨のろう劣なる策動を絕對に排撃す。

一、我等は公明正大なる態度をもつて對外交渉に當り、斷じて單獨行動に出でざる事を誓約す。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

年鑑日記解放社の萬人必携 贈答用の注文殺倒將絕品の 勞農紳商大衆急

解放群書

○各冊送料[illegible]
○[illegible]は[illegible]半價あり

◇新居格 傑作集
◇青野季吉 [illegible]
◇山田清三郎 傑作集新聞
屋隈蜂
◇山崎今朝彌 駄文集地震
憲兵火事巡査
◇幸徳秋水 名文集
◇幸徳秋水 書簡集
◇消費組合の理論と實際
◇石川三四郎 世界社會運
動史普及版
◇岡陽之助 日本社會運動史
◇佐倉啄二 製糸女工虐待史
◇近藤榮藏 露國革命運動史
◇小川未明 最近傑作集
◇中西伊之助 長編傑作武
左衛門一揆
◇守田有秋 古今東西理
想郷物語集
◇山內房吉 各種古今東
西社會思想解說
◇尾瀬敬止 革露革命藝
術大系
◇神近市子 女史傑作選集
◇綜編プロレ大家最近傑作
集上下二冊
◇終編社會主義的隨筆論文
集上下千頁
◇赤松克麿 英國婦人勞
働運動史
◇守田有秋 世界革命家列傳

解放社 (五十錢) 四年版

大衆年鑑日記

特色

◇年鑑日記解放社
◇萬人必携贈答用
◇便利重寶御經濟
◇美裝堅牢第三種
◇辭典懷中活動的
◇机上便覽常識的
◇官吏町人お百姓
◇學生腰辨失業者
◇注文殺倒將絕品
◇勞農工商大至急
◇日記年鑑顧問官

内容一部

1 年鑑の部

◇昭和四年陰陽曆
◇一九二九東西曆
◇郵便小包電報料
◇各國メートル表
◇印紙營業所得稅
◇各種相續稅率表
◇天皇御歷代表
◇年令年利早見表
◇世界解放運動大觀
◇日本解放運動鳥瞰
◇無産團體現勢大觀
◇政治經濟婦人各種統計
◇勞農組合各種統計
◇圖表統計約半百
◇團体名簿約二千
◇日記年鑑歷史二十頁

2 日記の部

◇新案大衆日記滿壹年

3 附錄の部

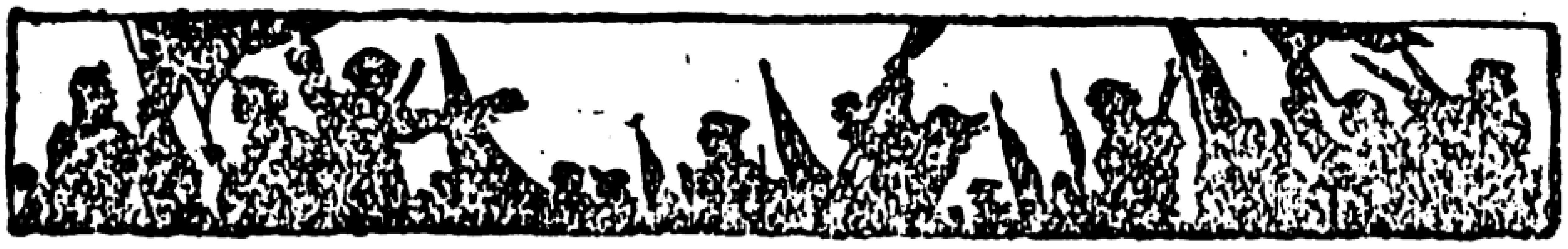
◇解放法律十戒則
◇現行解放法律年別表
◇日常必要法令約百頁
◇黑旗赤旗に國際史
◇メーデー及メーデー歌
◇我等何から讀む可きか

『解放群書』『宣傳用書』 及月刊『解放』發行所

解放社

東京市芝區新櫻田町十九 振替東京三六九四四番

便利重寶御經濟の美裝堅牢第三種の辭典懷中活動的の日記年鑑顧問官



全土戰報

柏山青年會の同志諸君に與ふ

朝鮮青年總同盟創立以來×××××帝國主義の分遣隊共に依つて一切の集會を禁止されてゐる、これ我々朝鮮人に取つて屈辱この上ない大變際でなければならない。否！それのみではない。總、勞總も又解散同樣の屈辱を與へられてゐる又新幹會、槿友會の大會禁止、朝鮮×××事件の數千名の我が鬪爭的同胞は今奴等の爲めに××されんとしてゐる等、在滿同胞壓迫、渡日防止等々數へ切れない程の彈壓が我々の頭上に襲ひつゝあるこの時に際して我々は一層勇敢に依り一層活潑なる鬪爭を展開しなくてはならない。

親愛なる柏山青年會同志諸君！

諸君はすべての鬪爭力を集中して青年會の再組織へと向へ、それは決して現在の樣な普通茶菓生——即ち小地主ののらくら息子の遊び半分の集團であつてはならぬ、しかし現在の會員は勿論その再組織の出合の先頭隊とならなければならない。そうして貧農の若い青年を抱擁した大衆的な戰鬪的な團體として〻なければその存在は全然無意義なものになり終るであらう。從つて素人劇團もその一藝術部門として編入すべきである。

親愛なる同志諸君！諸君は直に再組織に着手せよ！而して柏山青年會をして大衆的な戰鬪的な鬪爭團體たらしめよ。これこそが柏山青年會同志諸君の當面の最大急務であるのだ、斯かる組織のみが××の彈壓とよく鬪ひ得るのだ。

青年會の再組織と農民組合の組織準備……これ歷史が諸君に強た當面任務だ。一切の力を青年會再組織へ集中せよ！。

（一九二八、一〇、二〇×××）

北鮮水害罹災同胞救濟基金を送れ

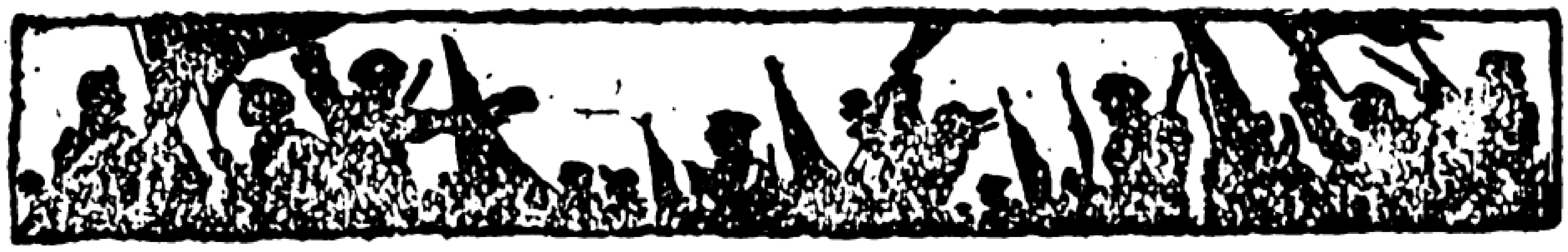
——本誌讀者は一人殘らず應ぜよ——

全北鮮一帶を襲つた前古未曾有の大水災は實に莫大なる生命と財產を掠奪して了つた。

數十萬の生靈は一朝にして水鬼となり數十町步の沃土は泥海と化した。

全北鮮一帶に漂着しつゝある白衣同胞の死骸！おゝそれこそ我等と共に鬪ひ、我等と共に生きやうとした我等の同胞ではないか、塗炭の貧苦の我等の生活に光を失せる無間地獄の襲來であるのだ、人「生き地獄」とはこれを指すのである

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



う。

満洲風荒れ狂ひ、雪霜凍る北鮮の蒼天に山なす死屍を取りまく數百萬の同胞等は今死に直面してゐる。——降り積る雪！吹荒ぶ凶い風！その上飢餓！寒！何人がこれに抗し得やう。

草根木皮を噛り飢餓から逃れやうとする同胞はそれで救はれる皆なく、その大部分は凍傷を負ひ半身不隨の病體となり日毎に「凍餓死」者の數は激増しつゝある、……死に直面せる老夫はその子を呼び、母を失へる幼兒はその乳房を求めて泣き叫ぶ、力なく行き倒れし老女は呻き、母の死骸を抱きし少女は悲痛なる哭聲をはりあげて涙にくれる暗黒地獄！酸鼻の修羅場！慘憺たる現場は實に筆紙盡き名状すべからざる有樣である。

親愛なる同志等よ！諸君はこの死に直面せる白衣同胞に一片のパンを分ち與えよ！眞に彼等を救ひ得るものは諸君より外にないのだ。雪凍る北鮮の蒼天に飢えし白衣同胞を救え！なけなしの財布をはたいて救濟基金を送れ！

——送金は本誌發行所、又は東京府下戸塚町源兵一四四在日本朝鮮勞働總同盟本部宛に——

一〇、二〇

中部地方の戰線は統一したぞ！

未曾有の反動期をけ飛ばして、戰線統一を絶叫する民衆のシレツな要求が抑えることの出來ない力となつたのはトツクの昔のことだ

全土に捲起つた此の要求はやがて全國勞働組合會議と成り、或は地方的に中部地方勞農組合協議會となつて現れた。

然るに前者は一部ダラ幹の蹂躙する處となり未だに其の成立を見ず準備會の形で停頓してゐるのである。が後者は幸、敗北的ダラ幹も飛出さず此處に輝ける中部地方勞農組合協議會は成立した

戰ひに惠まれた中部の勞働者農民諸君！此の機を逸せず俺達はより強力な闘爭へ進出しなければならない。

そして當面の闘爭は廣汎な未組織勞農大衆の獲得だ。

牢獄の樣に暗い大工場に呻吟する未組織の男女工を……自分が汗脂で作り上げた米すら食ふ事の出來ない農村青年等の間に——俺達の組織を延長するんだ。

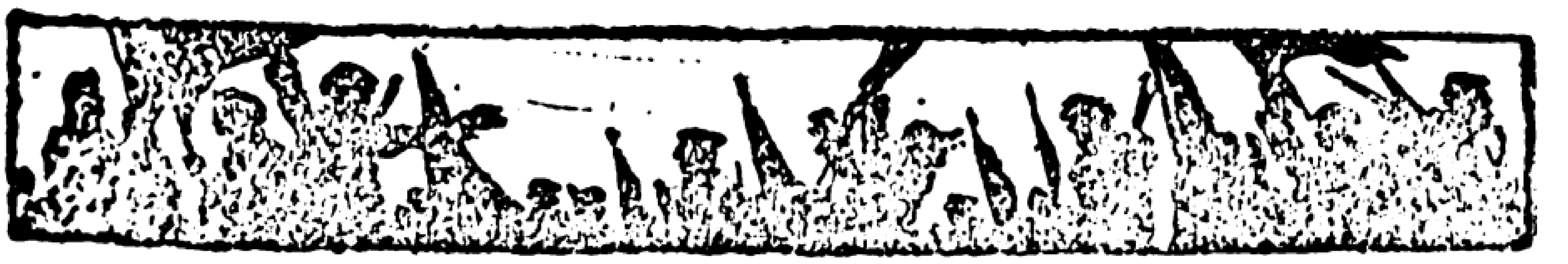
そして又一方全國的勞農戰線の統一へ向つて邁進しなければならないのだ。

全國の戰線に、さきがけて成立した中部地方勞農組合協議會の任務は斯くも重大だ、それだけに俺達は愼重に又大膽に闘はねばならない。

闘爭を通じて未組織勞農大衆獲得へ！中部地方勞農組合協議會の旗を工場に農村に進めて行くのだ。そうだ云ひ後れたが諸君よ！

未だに勞働組合農民組合に加入してない勞働者農民諸君は速かに協議會の旗の下に馳せ參ぜねばならない。

未組織の勞働者農民諸君が、君が陣營



に投じ各々の職の部所に歸いた時三、一五事件以來頓に沈衰し切つた中部の勞農戰線は完全に再建される時が來るのた。そして輝かしい闘爭舞臺は開かれて行くであらう。そしてやがて中京の街、中部の平野に大衆の凱歌は上るであらう。中部の未組織勞農大衆團結しろ！中部地方勞農協議會成立萬歲！

（愛知、天木生）

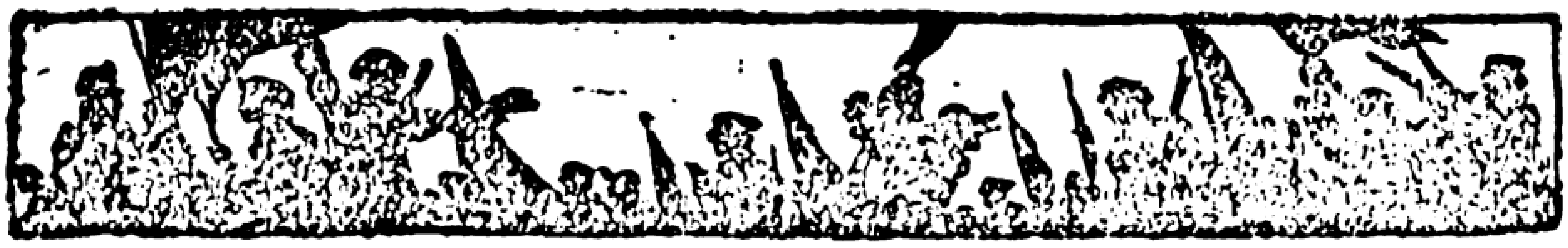
最近の慶南情勢

慶南青年聯盟事件といふのがでつち上げられて全慶南一齊の戰闘的な青年闘士數十名が大邱や其他の監獄に繋がれてゐる、が、言論、否すべての自由を奪はれてゐる朝鮮では未だにその眞相が發表されない。もう一ケ年餘りにもなるのに……。

それはかりではない馬山×××事件たの、やれ××××な事件たのといつて大衆を引き立てちや赤い着物を着せられる青洲の××學校や大□の高等普通學校馬山の×信學校釜山第二商業學校等數へ切れないほどの學生ストライキで所謂「煽動者」や其他くもの巢のやうな朝鮮特有の法律に引つかけられた連中等もやはり赤い着物に大豆と滿洲粟八割南京米二割といふ飯を喰はせられて大邱や釜山の監獄、否、刑務所に二本の手を後にしはりあけられ××を掛けられてゐるその〇〇といふ奴が又東京あたりの〇〇は「×さない程度に」やるのたそうたが、朝鮮では朝鮮式〇〇といふ奴をやるんたそうで、その朝鮮式〇〇といふのは「×す程度」にやるのたそうた例へは第十回朝鮮×××の×××君が保釋で出獄したらすぐ發狂して人を見ると恐怖心を抱いてにけ出し妻や子すらも姿を見ると恐い〱といつて居たが、間もなく死んでしまつたといふ、こんな話はいくらでもある、白光欽君もやはりそうたつた。又々あるが、死に捕へられたらたゞぢや[illegible]さめといふ朝鮮の警察政治の彈壓爾來下に闘爭を續ける同志等の慘苦は實に言語に絶し、名状すべからざる有樣である。

話がとんでもない方に向いてしまつたが、これから少し新しいレポを書くことにする密陽の郡守某がお手のもの、收賄をしたといふことが暴露したので、密陽郡内の青年がより〱協議中であつたが去る×月恰度密陽城内の市の日に郡守の野郎が大威張りで自動車の中から葉卷をふかして利權取引に出かける途中を密陽名物船橋の上で青年によつてストップされた自動車諸共南川江の中にドブン。サーベルがかけつけた時にやつつけた同志等は手の塵をはたいて知らぬ顔！、その後から續々と白い着物が集まる、あまり多數なのでサーベルの大將そのまゝこそこそ歸つて行つたそうた。

次に勞働夜學校たが、どんな田舍へ行つても一つ宛りは必ずある。教科書は總督府で許可したものでないと、所謂不穩に引つかゝるのでいや〱ながら乃ち大



將、廣瀨中佐はどえれえ軍人だ、否、軍神だつてなわけだが、仲々奴等が考へてゐるやうな具合には行かねえ、といふのはイロハも碌に讀めなかつた百姓の子がルビ付の新聞でも讀めるやうになると裁判所の偉い人が——といふよりも鬼見た様な奴が——東拓會社御付の自動車で五六里もある山の中にわざく出かけては立てて行く「立入禁止」だの「立毛差押」と書いた木札がわかるのだから仕様がない。

だから「朝鮮總督府版權所有」と石版で刷り込んだ拾二錢の本よりは月に三十錢拂つても日勞新聞か進めの方が面白く讀めるといふわけで…………。乃木大將や廣瀨中佐よりもマルクス、レーニンが、有產階級と書いてある本よりも無產階級と書いてある本が、ブルヂヨアを書いた本よりはプロレタリアを書いたもの、地主を書いたものよりも農民や勞働者を書いたものといふわけで百冊の拾二錢の本よりも一枚の日勞新聞、一冊の進めを弱してゐる、尻おくれでも何でも村中引張りたこたからといつて奴等は乃木や廣瀨をほめないわけにも行かず、夜學校を一ツ殘らず全部解散するわけにも行かないとみへて——否やはり〇〇〇〇の〇〇〇〇を吹き込む上に於いて是非必要かも知れないが、いづれにしても奴等は奴等、俺達は俺達だ、どうしても一致しないことはいふまでもない。

釜山の紡績工場

釜山鎭にある朝鮮紡織株式會社の釜山工場では巡査上りの守衛が十人餘りもごろごろして居て、いふまでもなく所謂「不逞鮮人」の見張りをしてゐるがといつて日給二十八錢で一人前の男が喰へるわけではない、だから男女工間に不平不滿は頂點に達し近く××の×合××を上げる手筈で猛運動が續けられてゐるそうだ。

大邱片倉製糸工場

南鮮一の工業地としての大邱には山十、朝鮮生糸、片倉兼太郎經營片倉製糸の工場等があるが、いづれも朝鮮特有の搾取術・應用してゐる、片倉等では滿一ケ年を勤めないと無給！男一匹の年俸七圓といふ。こゝもやはり內部から猛烈な反抗運動が起りつゝある。大邱、釜山、慶北道、密陽、慶山、金海、馬山等其他慶南浦一帶では奴等の〇へる〇〇の如き彈壓にも屈せず、北鮮水災罹災同胞救濟基金募集運動を展開してゐる。

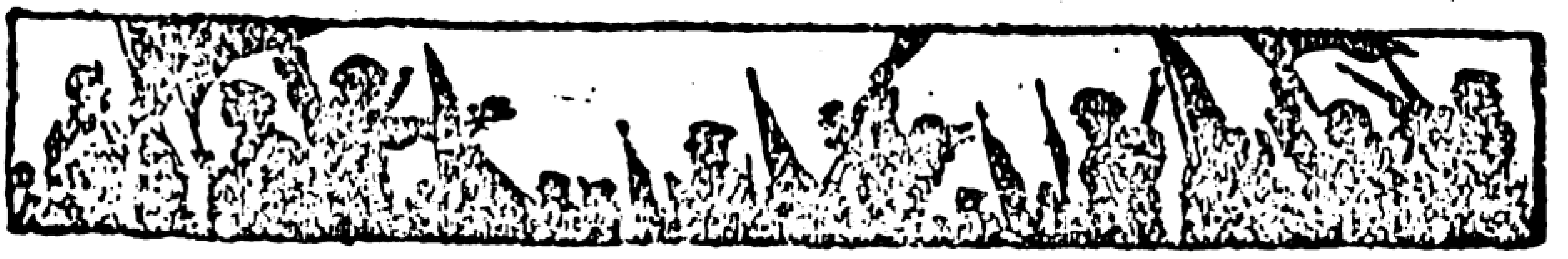
一九二八、一〇、二〇釜山支局

二つの報告

日本農民黨系の富山縣農業團體聯合會は富山縣會議事堂に於て九月十五日臨時大會を開き左の宣言と決議を發表した。

宣言

我が富山縣農業團體聯合會は茲に臨時大會に當り縣下の情勢に鑑み富山縣下の全農民大衆のため運動方針を定め、茲に宣言す。今や不景氣は日本全土を襲ひ就中農村に於ける農民大衆は地主階級と商



工資本階級の二重搾取に惱み、其の生活は益々深刻化しつゝある、斯の如き重大なる狀にのぞんで、我等は一致團結し組織者の力を以て現下の緊急問題たる穀物檢査制度の改造と補償米制度確立の爲めに吾等の決意を表明するは最も意義ある事と確信す。

然して其の目的の遂行に當り、輕擧妄動を戒め、合理的手段により一般農民大衆の眞實の要求を聽きつゝ、堅實なる步を進めんとするものである。

斯くの如き吾等の溫健にして堂々たる態度は遂に縣農會の當局をして「小作人の努力に酬ゆる爲めに補償米問題に對して各町村農會は協議會を開いて應分の處置を執るべし」との通達を發するに至つたのである。我等は當局のこの苦心の跡と誠意を認めるものではあるが更に結束を固ふして當然の權利である補償米制度確立の爲めに猛進すると同時に更に縣下の未組織農民大衆の自覺を促し、堅實にして強大なる農民組合を結成し社會一切の不合理を克服し、以て農村問題の根本的解決を期せんとす。

斯くして吾等は穀物檢査制度の改造と補償米制度の確立を期し、更に一步を進めて耕作權の確立に努力し町村會の改選に際しては我等の同志を選んで町村會の耕作者本位への改造に向つても全力を傾注し以て新日本建設の基礎的大任を果さんとするものである。

右宣言す

昭和三年九月十五日

決議

一、補償米は特甲（五升）甲（四升）乙（三升）丙（二升）丁（一升）とする事。

二、小作米の納入は丁合格米を以て標準とする事。

三、前二項の要求に應ぜざる地主に對しては無檢査米を納入する事

四、等級標準米査定會の委員には生産者側より半數以上の委員を上ぐる事

右決議す

昭和三年九月十五日

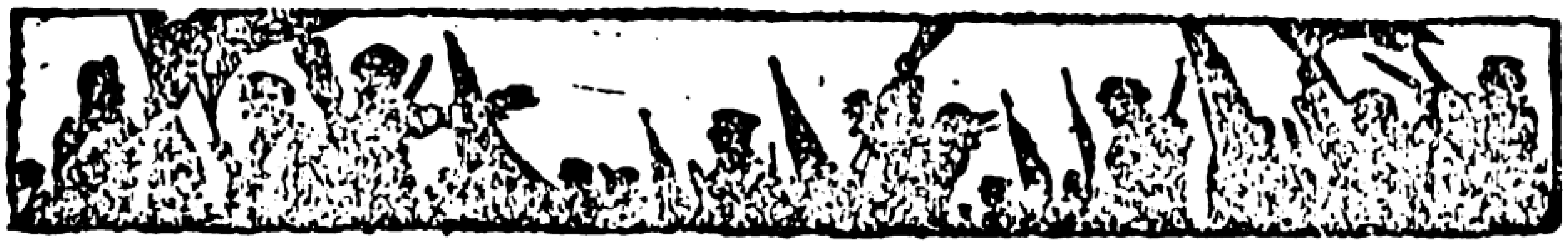
富山縣農業團體聯合會

また勞農新黨準備會は伏木勞働組合組織準備會をして伏木町佐賀造船所の爭議を應援せしめ職工側の要求の全部を工場主認めたるも特高課はこれを不可となし準備會の藤田祐吉、野宗七、藤谷定、山田平太郎氏等を引致してなぐり飛ばし等せし由。尚十七日造船所職工が、午後五時代表者は工場主と會見十九ヶ條全部を撤回し首謀者として村田政一氏は解雇され慘敗の職工諸君は十八日から復職した。尚この問題に對して北陸タイムスは公平に近い報告をしたが、高岡新聞は勞働者をケダモノ扱ひにしたやうな記事を書いた。この爭議の主謀者として藤田祐吉氏は伏木電化を解雇された。勞働農黨高岡支部の萩原貞一氏も伏木署に引致されたが、直に釋放され目下福野町富山紡の解雇職工の爲めに奮闘してゐる。

（高岡市加藤友吉）

處女會を欺く反動王義者

帝國主義戰爭の危機が刻々と近寄りつゝある時、彼等ミリタリストは青年に向つて軍事的、〇〇化を怠らない。そ



の一例として我が縣下安佐郡大林村の處女會員を、「青年訓練所に出席せぬ青年とは絶對に結婚しない又途中で出會つても決して口を利いてはならぬ」と決議させて、否應なしにからめ手から青年に訓練所を普及せんとした一反動の手先がある。

奴等の魂膽は、はつきり分つてゐるのだ。來るべき世界再分割の戰爭に勝利を占め、資本家の前に山の樣に黄金を積み立てゝ、その分け前にあづからうとするのだ。

吾々、無産階級にとつては、戰爭は、子を失ひ親を失ひ兄弟を失ふばかりだ。よし、生きて還つたにしても永久に治らぬ不具者であつたり、貧乏は愈々つのるばかりだ。殊に、科學文明の進歩は、日一日と精巧な武器を作りあげてゐる。それだけに、今日の戰爭の悲慘は目もあてられないに違ひない。

奴等は、俺達を、この恐ろしい武器の試驗臺に追たてようとするのだ。

そうだ、俺達には、戰爭によつて得るものは貧乏、悲劇の外何物もない、

吾々無産青年は、この〇〇〇〇の陰謀をうち破り、世界戰爭の危機と戰はねばならぬ。それには先づ青年團の、官僚的、反動的その他一切の反動的支配をたち切る事だ。

萬國の無産青年諸君。

吾々には、資本家の爲めに〇〇〇〇戰場に行くか、立つて世界平和の爲めに支配階級と抗爭するか、問題は不可避的に課せられてゐるのだ。

大衆的全國的青年同盟を樹立せよ

全國非戰同盟を支持して帝國主義戰爭の危機をぶち破れ。

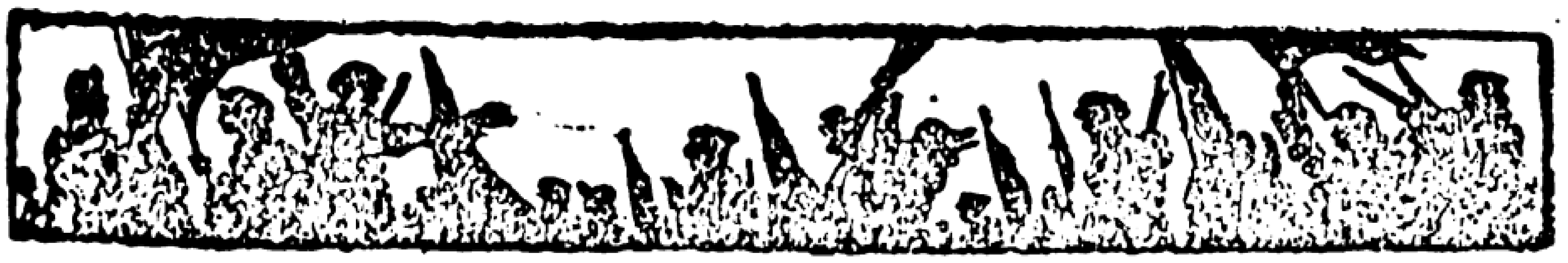
未來は青年のものである。

（廣島、山岸虎次）

農村青年に檄す

「我等に自由を與へよ然らずんば死を與へよ」との叫びは今や我等プロレタリヤ青年の叫びでなくて何であらう。

農村青年諸君諸君はブルジョア青年達が熱狂的だ戀愛だ宗教だと云つて騒ぎ廻つて居るのに、君達は一年中酷烈なる自然と生活の脅威とに追跡されつゝ、奮闘して居るのだ。君達が太つた腕で白日の下で鍬を輝かす時、避暑中の奴等は何んと美しい絵でせう詩でせうとか言つてゐる。君達の戀人は都に賣られ可愛い妹は彼の大工場で骨と皮許りに搾り取られ、君達の友人は志を立て都に出て失業と貧困に襲われ、年を經ずして病みて歸り一家は赤貧と不幸に落されて行く。斯くして土地の地主と都市のブルとの二重搾取を受けてゐるのだ。働いた者が食ふそれが當然の眞理だ、然るに現實を見よ。大部分は營養不良と勞働過多の爲に知らず識らずの内に身を削られて居るのだ。諸君の小學三年の弟から七十の老母迄働いて白い飯が食へないのだ。一體此れは何奴の爲か諸君よ君達が汗と脂とを流して働いた結晶を公然盗む奴が居るのだ。君達の友人も戀人も老父も皆其奴等のだ



めに斯様な奴隷で居なければならないのだ。奴等は毎日今日はどうして擲ろうか明日はどうして遊ぼうかと考へて居るのだ。諸君そして奴等は其の状態を続けて行くために軍隊、警察、宗教、政治機関を持つて居るのだ。奴等は我達を欺く為に民心振興とか農村救済等々、我達は欺かれちやいけないぞ。諸君は先づ我々が住む此の社会を科学的に解剖して科学的解剖に於てのみ我等は如何にして斯く迄我々を不幸にした其の原因とプロレタリア解放の真理を掴るであらう。諸君よ立ち上れ我達の前途は常に不断の闘争に充ちて居る。大胆に勇敢で忍耐強くそして團結の一語を忘れず猛進せよ、彼のブルジヨアジーをして我がプロレタリアの前に戦慄せしめよ。

全プロレタリア青年團結せよ

（大野佳延）

長崎に於電燈爭議

富山縣における縣營小[illegible]は、それが打ては全民衆の胸にひゞく生存権確立の運動であつたからして、争議の波は全国的に拡大した。我が長崎市においても、東邦電力株式会社に対する料金値下運動が、日労、社民、新党準備会の共同闘争によつて展開され、九月廿三日午後七時より左の如く市民大会が開かれた、会するもの七百名、議場立錐の余地もないぐらひの盛況であつた。これを見ても、如何に、全民衆が資本の横暴に憤慨してゐるかゞ分る。吾々は、全民衆の要求が單に電燈料の値下のみでなく、悪税の撤廃、家賃の値下げ、小作料の低減にある事をよく知つてゐる。吾が日本労農党はこの民衆の要望の上に果敢に戦ひ行くであらう。

さて、市民大会の模様を簡単に報告するならば、社会民衆党の田中定吉君が司会者としての挨拶を述べ、議長選挙には日労党の森登君が当選し、議事は進められた。

そして左の如き宣言、決議を可決し、東邦電力との交渉委員として、宣言、決議文の起草者たる、新労農党の遂原、秋山、布田、社会民衆党の小島、松尾、日労党の小松、平古場氏その他十数名をあげた。

宣言

底知れぬ不景気の嵐は凡ゆる階級を通じて窮乏化し今や全く悲境の苦しみに喘ぎつゝある。然るに従来依然として暴利を恣にしつゝある東邦電力株式会社は日本に於いて第一位を以て任じ豊富なる資本によつて莫大なる巨利を得つゝも飽くなき搾取を敢てなすが如きは我等長崎市民の断じて許さゞる所である。於茲我等市民は敢然立つて市民大会を開催し、以つて電燈電力の値下げに向つて勇往邁進し以て目的の貫徹を期するものである。

右宣言す

昭和三年九月二十三日

要求項目

一、電燈、電力料金を二割下げよ。
一、電力需用の申込金を撤廃せよ。

一、料金後納猶豫期間を三ケ月に延せ。
一、工事費を低減せよ。
一、休燈料を撤廢せよ。
一、會社は需用者に對する不遜の態度を改めよ。

決議

長崎市民大會は共益事業の美名に隱れ時代逆行の暴利を貪る東邦電力株式會社に對し絶對的値下を要求す

右決議す

昭和三年九月二十三日

長崎市民大會

終つて永久座、八幡座において大演説會を開き、大いに全民衆の歓迎を受けた聽衆約千名、森・伊藤・藤原君等出演した。(以上)

長崎市一市民生

長崎戰報二

長崎紡織會社では、不景氣對策として十月一日現在使用せる男工四百名、女工千六百名に對して、日給約二割引下げを發表した。勞働者の不平不滿は極度に高まり、日本勞農黨長崎支部の應援を得てストライキに入つた。

檄

全國の同志諸君!

反動の波に乘つてヒシヒシ押し寄せ來る資本の攻勢は全國到る處に賃銀の値下げ勞働時間の延長人員の淘汰臨つて失業者の續出等一大社會不安を現出せしめてゐる。

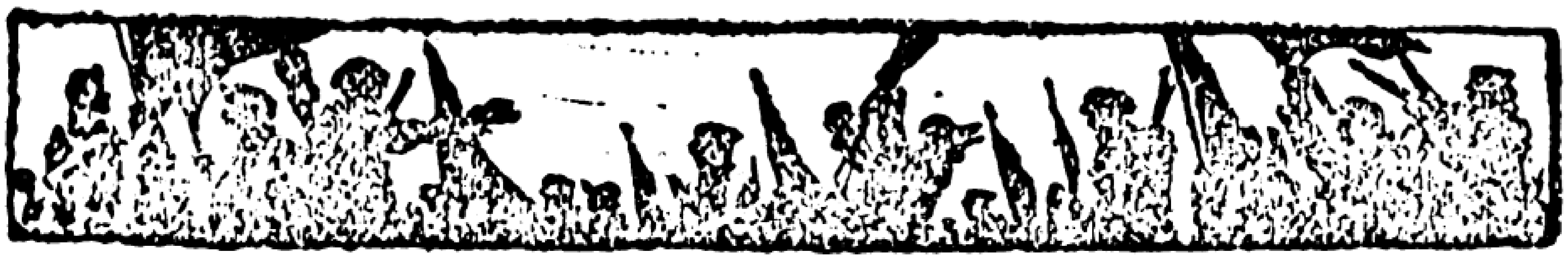
折柄我が崎陽の地に於て有數の大會社たる長崎紡織株式會社では從來幾度か待遇の改善を罵し來つたが、更に今回突然賃銀二割値下げを發表し、十月一日より實施せんとしたのである。

今や三千の從業員は最後のパンの一片をもぎ取られんとしてゐる斯くの如き我等の生存權をも蹂躪せんとする横暴な待遇の改善に對し如何に從順なる勞働者と雖も敢然として起たざるを得なかつた。然して去る二日午後二時夜勤者男女工一千名は獄門を叩き破つて雪崩れ出で濱田ビルに引上げたのである。然るに不意を喰つた會社は狼狽おく處を知らず翌朝五時半二十數名の暴力團を傭傭して罷業女工の取り戻しに押しかけ來り、暴力を振ひて寮内に亂入し無理に女工を引出してしまつた。此の間警察は傍にありて只傍觀するのみにて横暴なる切崩しを默認し爭議團側の戰鬪分子を續々と檢束し、未曾有の迫害と彈壓の下に我等の姉妹はさらわれてしまつたのである。噫!呪ふべき迫害よ!憎むべき彈壓よ!然し乍ら我等は四圍の狀勢上止むなく涙を飲んで傍觀しなければならなかつた。

然し數百の男工は屈服せず、斯くの如き迫害彈壓と戰ひつゝ持久戰に入つた。正義か?然らずんば死か?我等は悲壯なる決心を固めた。

全國の同志諸君よ!我等の爭議を勝たしめよ!資本の攻勢と横暴なる反動政策とをして凱歌を擧げしめよ!資本の攻勢と横暴なる反動政策とをなして凱歌を擧げしめるな。

各地の兄弟諸君!人と金とを送れ!



積極的に應援を乞ふ。

昭和三年十月四日
長崎市樺島町臨田ビル
日本勞働組合同盟九州聯合會

軍官學校報告

日勞黨の中堅分子養成の目的をもつて生れたところの關西軍官學校の結果を報告する。

その講師及び卒業生を見るならば

經濟學……辰巳經世
近世政黨利權論並に政治學……坂本勝
支那革命論……後藤貞治
組織宣傳術……淺沼稻次郎
財政學……河上丈太郎
無産者法律論……吉田賢一
一般戰略社會主義概論……岩崎正三郎

卒業生

(鳥取)赤尾源太郎、平木光(神戸)濱田有國(鹿兒島)宅間森右衛門(德島)北央夫(島根)山本秀一(和歌山)土屋秀一(石川)田榮、大西松治、杉本俊行、(奈良)島谷興志雄、以上十一名

軍官學校は盛會裡に九月廿二日開校され、同二十九日終つた。二十九日の夜同校主催で戰爭反對大演說會開催の豫定であつたが、廿六日から學校幹事總檢束の厄に遇つて開く事が出來なかつた。學校幹部の中、吉田、谷口、前田の三君はいづれも進め社の同人である事を付加しておく支配階級の彈壓は愈々激しい。

出鱈目に苦しむ百姓
團結せよ

(大阪一農民)

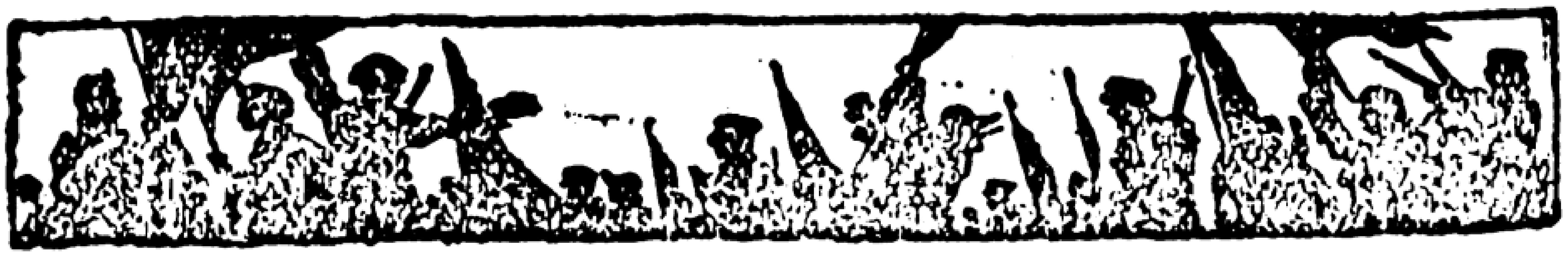
大豐作と聞いて呆れる、政府の發表によれば平年より四百萬石の增收だと云ふ地主等は得意滿面で、「こんないゝ年に爭議の起る理由がない」ととぼけてゐる。

おれ達小作人には大凶作だ。地主の機關である縣農會の報告を綜合した政府の數字はウソでかためてあるのだ。凶作か豐作かは、ほんとうに稻を作つてゐる、百姓がいちばんよく知つてゐる。彼等の魂膽はこうだ。豐作だ。豐作だとおさへつけて爭議を起させまいとの考へなのだ。

地主の機關が如何に農民を愚弄してゐるかを一例として報告しよう。他縣は知らないが我が茨城縣の米の檢査制度の出鱈目には呆れて了ふ。稻敷郡の某村では檢査の前日、檢査員を上座にして村中の百姓達が無い財布をはたいで酒肴の用意をして御馳走する。檢査員は好い氣になつて村の娘さんにまでふざけ廻る。

何故こんな御馳走をせねばならぬかと云ふと、御馳走をせぬと、米の等級を下るとか規則通りに嚴重にしたり手におへないとの事である。縣農會なぞの不良ぶりはざつとこの通り、こうした連中の報告がアテになつて堪まるものか。地主の手先になつて百姓をいぢめる奴等の云ふ事を眞面目になつて聞いてをれるかい。

何が豐作ぢや、小作爭議はかまはんから、どしどし横暴な地主に要求をたゝき



つける
秋の農民闘爭を小作爭議の大衆的政治闘爭にまで高めねばならぬ。
全國農民組合の旗の下に。

（茨城、高川久治）

毒ガス防止に起つ王子の戰線

大日本人造肥料株式會社王子工場より吐き出す亞硫酸瓦斯の防止に就いて、各無産政黨は協同して協議を進めてゐたが、最近人肥亞瓦斯防止同盟創立準備會を組織し十月十二日夜王子町に町民大會を開催して火蓋を切つた。聽衆二百五十人、司會者長山直厚（無産大衆黨）氏の開會の辭に始まり、左の如き、スローガン、決議を定めた。

スローガン

一、毒ガスを完全に防止せよ！
二、今迄の損害を全町民に賠償せよ！
三、従業員の衛生設備と勞働條件を改善せよ！
四、焙燒部を移轉せよ

決議

貴會社王子工場は設備不完全にして有害ガスを王子町及び江北村等に瀰漫させ、住民に多大なる損害を與へたのみならず、人體に危害を與へ、民衆の生命を損ひつゝあり、然るに利潤の追求に汲々として、之を顧みず、害毒に惱める住民が貴會社を糺彈すれば惡辣なる買收手段を講じ、或は脅迫に、何等誠意を以て改善を加へず、金權を弄んで社會生活を破壞しつゝある。

吾が同盟會は町民大會の決議によつて、貴會社に左の要求をなす。

（要求は（スローガン）と同様なれば略す編者）

右決議す。

昭和三年十月八日

人肥毒ガス同盟會
王子町町民大會

實行委員として、石井幸太郎氏（王子町會議員）五十嵐茂登、白倉惣次郎（王子町）齋藤八十八（江北村）新興勞働同盟會、大衆黨、日勞黨、社民黨より名一名乃至三名の割合で選出する。

全國の同志諸君、金權勝つか、無産者勝つかそれは一にかゝつて民衆の後援の如何によつて決せられるのだ。吾々は人道を無視した三井財閥の專横に反抗し、毒ガスに惱む王子町民の健康の爲めに飽くまで戰はねばならぬのだ。

王子町山本生

編輯部戰報係より

戰報と投書をどしどし送れ。聲明書、ビラ何でも結構だ。寫眞なら尚更だ。

「進め」を大衆雜誌たらしめるには是非それが必要なのだ。農村から、工場から、いやしくも、貧乏と無産階級のあるところ、小作人と地主、資本家と勞働者の對立があるところ其處には、あらゆる不平不滿があるべき筈である。そして生存權確立の闘爭たる要求があるべき筈だ。大衆運動が捲起されるべき筈だ。其處には、戰報が必ずあらねばならぬ。抑揚なき戰報を進め紙上から、資本家地主にぶつつけろ。全土の民衆に訴へよ

日勞黨第五回擴大中央委員會の批判

羽田光雄

日勞黨合同方針の展開

日本勞働組合同盟が九月二十二日の中央委員會において、無産政黨合同の態度を明かにし、次いで同じく日勞黨支持團體の一である全國農民組合の總全日系の態度も明白になるに至つて、日勞黨は分裂するではないかとの杞憂を抱かしむるに至つた。

即ち、組合同盟は、「日勞黨が單獨に無産大衆黨と合同する事は現下の狀勢において一大階級的大衆黨の結成に支障を來たすものとして反對し、社會民衆黨との合同は日勞黨の立黨の精神である階級的大衆政黨の結成の爲めの妥當なる第一步と認めこの促進に努力すべく決議した。之に對して後者は、日勞黨は無産大衆黨とこそ合同せねばならぬと決議した。この對立は、單に支持團體別のものであるが、地域的に云ふならば、關東の日勞黨幹部は概して無産大衆黨と合同すべしとする舊全日の意見と同意であり、關西に於ける日勞黨幹部は組合同盟の意見を支持すると見て差支ない。全農の 部であり、關西における日勞黨幹部は、內心において組合同盟說を支持しながらも、自己の立場からして否應なしに全農の多數意見に引づられ、同時に組合同盟の幹部であつても內心全國農民組合の態度を支持しながら、之亦自己の組織上の立場から引づられてゐるものもあり、內部關係は可成り複雜を極めてゐるもの丶如くである。

日勞黨內の工場勞働者が社會民衆黨に近寄らんとし、農民團體が左翼政黨へ行かんとするのは謂た矛盾せるものとも見える。しかしながら、これは組織を目標とせる組合の態度としては止むを得ない狀態の下におかれてゐるからである。即ち、組合同盟は、日本における最も鞏固な組織と戰鬪力を有してゐるのは何と云つても總同盟であると見てゐる。組合同盟はこの總同盟への接近を最も緊急の關心事としてゐる。殊に總同盟の關西大衆の進出を目のあたり見ながら、これと接近の勢を阻害する一切の試みに全力を擧げて反對して

ゐる。この立場から、組合同盟及び關西派の日勞黨幹部は現在において無産大衆黨との單獨合同は躍進する總同盟との提携を阻害するものと認識した譯である。

之に反して、全國農民組合の舊全日は、先に極左小兒病を清算した舊日農と合同したばかりの生々しい組織をもつてゐる。殊に、舊全日の幹部がかつて日農の小兒病的態度に憤慨して飛出し日勞黨に參加しこれを組織した關係から見ても元來左翼的な畑に育つてゐるこの點、組合同盟が總同盟から分離して出て來たのと決定的でないまでも相違してゐると見ねばならない。其處で舊全日は新黨準備會に立こもる舊日農を自己の指導勢力下におくためには、新黨準備會の誤謬を糾彈しながら結黨した無産大衆黨の助太刀を最も必要とするのである。全農にとつては、何等農民の上に勢力なき社會民衆黨は全く論外の存在である。以上の論述によつても知られる如く、日勞黨內の對立は、一つには思想的な開きもあれ、それを尖鋭ならしめるものは組織上の問題であると云つても過言ではあるまい。思想的に社民との合同を支持しながら、結局組織上の力におされて引づられ、一方左翼の大衆黨と殆一歩的に合同せねばならぬと思ひながら、之亦組織上の立場からそれに引づられてゐる人々の多きを見る時、組織上の必要が、對立を尖鋭ならしめた事が首肯されると思ふ。

しかしながら、かく明瞭に對立はしたものゝ、分裂を賭してまでやらうとする樣な非階級的不純な意企の上に立つてなされたものではなかつた。單一大衆黨結成といふ日勞黨立黨の大精神の上に立つて、これがその理想實現の爲めに便利であり、近道であるかといふ事の大衆的討議が集中された事の表現であつた。それは內訌と見做すべきものでなく、むしろ、合同への具體的狀勢の前提である。今迄の樣に單なるカケ聲の時代から、實現の時代が來た事を示す、されば、大衆的討議が白熱化するのも當然であらう。

然るに、事あれかしと覘つてゐるところの大右翼結成論者、極左小兒病の一派は日勞黨は分裂するぞと拍手してゐたのだ。

こゝにおいて、日勞黨は、左の樣な意味の聲明書を九月二十五日の中央執行委員會の名によつて發表する事になつた。

「我等の期するところは全無産政黨の統一、我等の目標とするところは階級的一大大衆黨の結成、而してそれが支柱を爲すものは我黨の外には無い。

內外の揣摩臆測に拘はらず、我黨は微動たもしない（前後略）」

即ち、日勞黨は、社會民主主義者も、共産主義者も共に合同すべしとする大衆政黨論の下に戰ふ事を明かに聲明したのである。

そうした、狀勢の下に期待された十月七日の擴大中央委員會は開かれた。

御承知の一大事として集まる者滿場を埋め、熱烈な質問討論が開始されたが（本號高見氏の傍聽記參照）結局、大右翼結成、及び大左翼結成の名の下に行はれる統一論は無産黨を永遠に分裂せしめるものであるからして飽迄單一大衆政黨實現の爲めに邁進す云々の決議を發表する事になつた。

×　×　×

　この決定に就いては盛んに討議されたのであつたが、その重なるものは、この決議では、日勞黨は左右兩翼が共に合同する機運にまで到達せねば合同が出來ぬ事を語るものであつて、結局何時迄經つても合同は出來ぬ、それよりもすぐにでも合同出來る大衆黨と合同すべしといふにあつた。しかし、かゝる態度を取るならば、單一大衆政黨實現の爲めの統一戰線の柔軟屈曲性ある働きかけを放棄するものであり、黨内の不一致を來たすや明かである。もし、かゝる偏態度をもつて、日勞黨の不一致を表面に表はすならば、單一大衆黨主義の破綻を物語るものであり立黨の精神は夢となる。殊に、關西派日勞黨の態度が大右翼結成に絶對に反對するものであるにおいておやだ。日勞黨の對立が組織上における戰術の相異からくるものであり、單一大衆政黨主義を絶對的に支持するものである以上、兩派の活動を充分ならしめる爲めにこの決議は絶對に必要であつたのだこの決議の下においてのみ、柔軟屈曲性あるところの統一戰線の戰術は有効となるであらう。

　元來單一大衆政黨主義は眞正左翼の進むべき道である。大衆の上に左翼勢力の確立を強固ならしめる道である。大右翼結成論者、及び極左小兒病患者はこの單一大衆政黨主義をボイコットする事により、分裂を永遠のものたらしめんとする本質がある。前者は意識的に協調主義に墮し、後者は小兒病者の故に左翼勢力の強大を夢にだに企圖しない。されば、單一大衆政黨確立の爲めに柔軟屈曲性ある方針を定めて、統一戰線の働きかけを可能ならしめたところに日勞黨擴大中央委員會の意義がある。それは單なる妥協案ではなかつたのだ。

　單一大衆政黨主義――統一戰線の働きかけは國際的にも國内的にも左翼の戰術として用ひられてゐる。假令如何なる大右翼結成論者の反對があつても、その指導下に大衆の存在する限りこの戰術は執拗に繰返されなければならぬ。

　元來日勞黨は單一大衆政黨の一模型たるの觀がある。即ち、黨内の構成分子の中には、社會民主主義者もゐるであらうし、又、左翼共産主義もあるであらう。されば、もし、黨内の對立が高まつて、兩派共に支持してゐる單一大衆黨主義をブチ破つて分裂でもしたら遂にその貧弱なる模型は壞れざるを得ない。否、單に模型のみに止まらない。單一大衆政黨の觀念を常に高く掲げる大右翼結成論者に愈々口實をあたへるのみである。これは、左翼の統一戰線の戰術の上に決定的な失敗を作るものである。されば、黨の内外を問はず同じ單一大衆政黨主義を奉ずるものは、日勞黨の分裂を極度に防衛しなければならぬ。その爲めには黨内の兩派の活動を包容する柔軟屈曲性あるところの方針を定め、立黨の精神の下に戰はされねばならない。一方的方針は警戒しなければならない。この意味において、執行委員會決議第二項より、擴大中央委員會の第一項がはるかに正當であると云はねばならない。

　我々は以上の立場から、日勞黨第五回擴大中央委員會の意義を過小評價するものではない。

各黨各派の批判の批判

この日勞黨の擴大中央委員會を、他の無産黨は何と見たか。

社會民衆黨内の大右翼結成論者は、日勞黨對立再燃で、その分裂を待つてゐる「合同論の裏から脱黨續出」などと書き立てゝ拍手してゐる。そして、日勞黨内の關西派、及び組合同盟が右翼結成論は絶對に反對で反つて、大右翼結成論から脱却しようとする先進分子との固き握手の欣然たと見てとるや、憤慨してゴシップぐらひ飛ばしてゐる「日勞黨立黨の精神に依り社民黨との合同を策して失敗、無産黨合同の喜悲劇一幕、之をもつて第一幕の終り」だと。ところが、その喜悲劇は日勞黨が大右翼結成に賛成するとでも思つた一部幹部諸君自身ではないのか。

次に新黨準備會。

これは結黨せねば頭から相手にされぬので無産大衆黨と日勞黨との喧嘩を煽つてゐる。日勞黨がかつては「單一絶對條件」今は「結黨してから」などゝ條件のみもち出すから、合同運動の裏切りものだなどゝ毒づいてゐる。大衆黨に向つては、曰く「大衆なき大衆黨との合同は何等用なしとの組合同盟の一蹴によつて、彼等の戰線統一の大方針は無殘にも粉碎されて了つた。さらに日勞黨の「大衆黨との即時單獨合同は我黨の合同方針完成の上に支障あるものと認む」との決議によつて彼等の非階級的陰謀は全く手も足も出ない事になつた」と笑つてゐる。

次に無産大衆黨を見よう。無産大衆黨の見解は、合同問題の上に一番重要に取あつかはなければならぬ。

十月二十日發行の無産大衆新聞は語る。先づ關西における社民黨大衆進出の意義を論じて云ふ。

「現に大衆は（社民黨）全合同へ進みつゝある。

（一）關西大衆に、先づ日勞黨との合同のためにその官僚的黨幹部の妨害をはねのけ、關東の右翼幹部と果敢に闘爭して來たが、その先進分子は、更に進んで無産大衆黨をもふくむ合同に邁進出せんとしてゐる。……」

以上の見解が、關西の日勞黨幹部との認識の相異點になるらしい。日勞黨關西派幹部は、社民大衆の進出はまた無産大衆黨をふくむ合同にまで進んでゐないと認識し、こゝに戰術上の相異があらはれ無産大衆黨との合同は、現在において單一政黨合同方針完成の上に支障あるものとしてゐる。

無産大衆黨の考へ通り、社民大衆が進出してくれば、單一政黨主義の上にいゝ事であるが、必ずしもそうした狀勢とは云へぬ。無産大衆黨はこういふ獨斷論をもつて、關西派日勞黨幹部を大右翼結成論者かの如く見做す事は單一大衆政黨主義實現の上に重大なる結果をもたらすことだ。日勞黨としては關西派幹部の愛黨心の上に立つた認識と戰術を容認した前述の方針を取るのが正しかつた。これは自由自在に理想實現の戰術が使ひ分られるといふ意味において、又無産大衆新聞がいふ樣に九月五日の「無産大衆黨との即時單獨合同

は現下の情勢の下においては、我黨の合同方針完成の上に支障あるものと認む」との一方的決議から、無産大衆黨云々の文字を抜いて「適當なる時期において各黨に對し合同を提議すべし」と無産大衆黨をふくめての合同方針を取るに至つて愈々正當化したと見るべきである。無　大衆新聞は、新黨準備會の嘲笑を突ひ返して云ふ。

「擴大中央委員會（日勞黨）において、彼等（新黨準備會）を有頂天ならしめた決議の第二項は削除された。しかも青森、秋田、新潟其の他多數の代表者によつて、わが無産大衆黨との即時合同が力強く叫ばれたのである。お氣の毒にも新黨準備會との合同は一言も聞かれなかつた」と。しかし、最後の新黨との合同論が一言もなかつたといふのはデマゴーギである。會議の席上、和歌山縣代表によつて新黨との合同も考慮の中に入れておかねばならぬとの意見があつた。

無産大衆新聞は續けて日勞黨の擴大中央委員會の決議を批判する

「一、日勞黨は單一階級的大衆政黨を實現する具體的方法として即ち段階としてわが無産大衆黨との即時合同の要求がおこつたのである。決議は逆轉してその點を明確にしてをらぬ。

二、同時に大右翼結成を企らせる社民黨の右翼幹部の結成運動即ち他黨の分裂策動に對する態度方針が明確にされてはならぬ

三、「各黨に對して合同を提議する」時期は適當なる時期と云つてあいまいにされてゐるが、今日はその時期又は具體的方法を決定すべきときである。」と云つてゐる。

日勞黨第五回擴大中央委員會の決議は本號所載高見[illegible]氏の傍聽記の中に編入してある故、省く。

×　　×

（二）の批判は的はづれである。決議の第一項において大右翼結成に反對するとはつきり云つてある。

（三）の問題は（一）の問題が解決されて、はじめてはつきりする事である。

（一）の批判に就いては、すでに述べた樣に一方はその一段階として大衆黨との合同が唱へた事は勿論だが、他の一方には社民黨との合同が最初の段階として唱へた。されはこそ、戰術上の對立が展開されたのである。一方的決議は黨内を危險化せしめるものである。されば組合同盟、及び關西派幹部も讓歩して、無産大衆黨との單獨合同に反對す云々の言葉を決議から削除したではないか。これも單一大衆黨樹立の理想實現の爲ではなかつたか。そして、その爲めに柔軟屈曲性ある、換言すれば、自由自在に兩派の戰術が相抵觸せずに使ひ得られる方針を樹立したのではないか。無産大衆黨との單獨合同反對なる一文が決議から姿を消したと云つて、日勞黨内の大衆黨との合同論が勢力を増したなど、自惚てはならぬ。そして今度は逆に無産大衆黨との合同の重要性が決議に上に現はさぬは誤謬だと暗に示唆する如きは、現段階における單一大衆政黨主義にとつて正に危險なる事であらねばならぬ。

時事日誌

自九月二十一日
至十月二十日

■九月二十一日 金
全國農民組合總本部に開催、香川縣下農民組合再建策を樹立す

■九月二十二日 土
日本勞働組合同盟は日勞大衆兩黨の合同は階級的大衆黨結成に支障ありとし、社民黨との合同は其目的に必然なる第一步なる旨決議す
舊勞農黨新黨準備會は合法政黨結黨に決定幹部試案を發表す

■九月二十五日 火
日勞黨中央委員會は合同問題には現狀維持の方針を執る事に決定

■九月二十七日 木
社民黨は他黨への合同提議はせず、大右翼結成に邁進する旨聲明す

■九月三十日 日
獨乙ハンブルグに於て、共產黨員と共和黨員衝突し死傷二百名に及ぶ

■十月一日 月
陪審法今日より實施
日比谷公園角にて無政府主義者大島英太郎(二四)直訴を企つ
滿州撫順炭坑に爆發起り坑夫五千人慘死
英國勞働黨年次大會バーミンガムに開催
左翼排擊氣分濃厚
上海郵政局の郵務工會二千五百名罷業天津郵務工會も罷業
第一回米收穫豫想六千百卅萬石と發表さる
東京市電自治會要求容れられず怠業

■十月三日 水
支那國民政府組織法發布、即日實施
英國勞働黨年次大會は來年總選擧に對する政綱可決
1. 炭坑運輸機關動力土地生命保險は公營とし、勞働組合法廢止
2. 銀行は國民全體の利益を考慮すべし
3. 最低賃銀法を有効に實施すること
本年度米實收高二千八十二萬石、昨年より二分方增

■十月四日 木
印度ボンベイ紡績罷業解決

■十月五日 金
上海郵務局罷業解決

■十月六日 土
米國マサチユーセツツ州紡績工場二十五工場二萬三千人は今春來賃銀減額に反對罷業中の所、五分減を以て解決
波蘭クラコウロッツ其他の織物業職工の大罷業は各所に流血の慘狀を呈す

■十月七日 日
勞働總同盟第十七回大會は大阪にて三日間開催
日勞黨擴大中央委員會は單一無產黨實現に努力する旨決議す

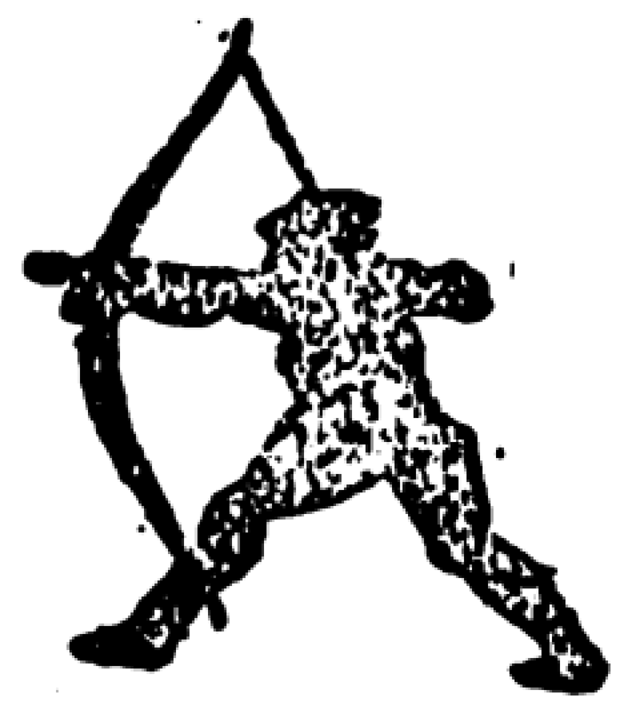
■十月八日 月
支那國民政府幹部氏名發表右傾の色彩頗る顯著
東京銀行團會解散即時斷行要望を決議す

■十月十四日 日
工場法改正案、健康保險改正案、勞働者災害扶助法、救護法、船員保險法を來議會に提出に決す

■十月十六日 火
米國十五石油會社は輸出聯合會を組織す石油のトラスト化

■十月十八日 木
南京に於て濟南事件解決の日支交涉開始

■十月二十日 土
日本農民黨第三回大會開催、合同問題の態度決定保留



現實主義の評價

吉田源藏

日本勞働總同盟の第十七回全國大會では、「現實主義」と云ふことが、徹底的に強調されたが、その「現實主義」とは、同大會の席上、松岡氏によつて、野田の爭議に關して、縷々陳述せられた、「我々は階級鬪爭を激成する爲めに行つたのではなく、頑迷なる資本家諸君に警告を發したのである……」との言葉によつて、それは、改良主義であることがヘツキリしているが、改良主義なれば何も右翼のみの專賣ではない。

吾々は、權力がブルジョアジーの手中にある間においては、改良……即ち勞働者の生活の改善を目標とする鬪爭を、決して輕視するものではない。たがしかし、吾々は、改良の爲めの鬪爭と同時に、改良の爲めに、勞働階級の前進と活動を制約せんとする改良主義者—即ち現實主義者……頑迷なる資本家諸君に警告を發するだけの仕事に止まつている人達—に對しては決定的に鬪爭するものである。何故なれば、改良主義は資本の支配が存在する限り、個々の改善にも不拘勞働階級は永久に賃銀奴隷としておかれるものであり、その爲めにブルジョアジーが、勞働階級に投げ與へる石團子であるからだ。

改良主義が如何にブルジョアジーにとつて必要なものであるかは、既に全世界の經驗が充分に示している。改良主義はプロレタリアの團結を分離せしめ、一度與へた改良を直に奪還する。此のブルジョアジーの改良の欺瞞政策は、たいてい自由主義者が承はつて實行する。彼等によつて爲される改良は、それがたとへ、純眞なる動機から出發していたとて、實際においては、結局勞働者の力を殺ぐ以外の何ものでもない。

現在の日本の階級戰線の分裂も、何が一番統一の妨碍になつているかを見れば直に分ることである。そして、このことは、もはや我が國の戰鬪的プロレタリアーは認識しつゝある。總同盟第十七回大會に於ても、現實主義と既に相容れないところの、階級意識がヘツキリしておつた。たとへば同大會に於ける議案の、「勞働組合總聯合に關する件」「産業合理化に關する件」等に於ては、現實主義の馬脚を全く曝露した。

戰鬪的勞働者は、資本の支配が存續する限り、賃銀奴隷の不可避であることを認識し、自由主義ブルジョアジーの如何なる改良主義の呼聲にも應じなくなつて來た。

たが吾々は、改良を、從つて現實問題を決して等閑に附してはならない。吾々は資本主義の存在下に於ける現實主義が、決して、眞面目な、眞劍なものでないこと、そして、そ

れが勞働者を賃銀奴隷として永久におかれるものであることを認識しつゝ、改善を利用して、階級鬪爭の發展と擴大の爲めに鬪爭せねはならない。

もしも吾々が改善主義に對してかゝる認識を持たないなれば、單に「頑迷なる資本家諸君に對抗する」と云ふやうな現實主義者の影響が大きくなり、それが大きければ大きいだけに、勞働者の力は弱められるのである。從つて、それでは個々の改良さへも實際には出來ないことになつて終ふ。即ち「頑迷なる資本家諸君に對抗」した例へば「團體交渉權」「團體協約權」等を得たとしても、それは、より多くブルジョアジーに隷屬したことになるからである。

かゝる改良主義—現實主義の害惡は、それの過重評價に原因してはいるが改良主義の評價による害惡は、獨り現實主義のみによつて爲されるものではない。プロレタリアーを賃銀鐵鎖から解放することを一手に引き受けているかに考へているところの、革命主義者も、區分と「改良」の「か」の字も行はれない害惡を流している。革命主義者によれば、改良は墮落するから不可ないものであつて、「村民大會」「工代會議」等によつて、「すべての人民に自由を與へよ」とのスローガンの下に、「ソビエット」を作り「總ての權力をソビエットへ」と云つて「蜂起」せねはならぬのだそうである。從つて勞働爭議にしても、小作爭議にしても、所得を度外視して「階級意識」を鬪かひ取れはよいのである。

即ち勞働者の要求や、小作人の主張—當面の改良—はどうでもよいのであつて、これは改良の過小評價から來るものである。

かうした革命主義はインテリゲンチヤによつて指導され、此の兩者の本質は共に小ブルジョアーであつて、小ブルジョアーは、有產者社會意識の最惡の意識の代表的階級であるそして何れも、それの結果は改良のかの字も出來ない結果になる。

改良主義者は、プロレタリアーをブルジョアジーに隷屬せしめて、改良を裏門から取り返され、革命主義はプロレタリアーを改良の裏門を塞いで仕舞つて、表と裏と兩門からプロレタリアーの腹を空にして仕舞ふのである昔からよく言ふことだ。「腹が減つては戰ひが出來ぬ」と吾々は腹を膨らさねはならぬたが吾々の腹を膨らませるのは、決して睡氣を催す爲めであつてはならぬ。戰ひをする爲めであらねはならぬ。

吾々は、吾々自身によつて爲さねはならぬ眞の「改良」を把握せねはならぬ。

階級鬪爭の發展と擴大の爲めに「現實主義」を吾々の手に鬪かひ取らねはならぬ。

「現實主義」を戰鬪的プロレタリアートの手に！

—（をはり）—

石山寅吉著
日勞パンフレット第一編
惡稅撤廢の叫び
一部十錢　本社取次

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

問題の解說

國民政府の內容

十月三日、國民政府組織法が發布され、即日實施の運びに至り、次いで武漢革命の記念日である双十節、――十月十日を期して、政府役員の顏觸れが發表され、その就任を見た。打倒帝國主義、打倒軍閥のスローガンを掲げ三民主義の大旆をかざして全國的統一の目鼻をつけた國民黨の反革命的本質は幾度か本誌上にも紹介されたが、國民黨の最高機關たる全體會議――これは二三年間に一回位しか開かれてゐない――の下にその執行機關たる國民政府がある、國民政府の最高機關が十六名からなる政府委員の組織する國務會議で、これを代表する者が政府主席である。更に其の下に五院があつて、立法、司法、行政、監察、考試、に分れてゐる。(これは孫文提唱の五權憲法によつたもの。)軍部は政府委員の直屬で、何れの院からも獨立してゐる。

政府主席は蔣介石氏、政府委員は彼と他の十五名とで、其の顏觸れを見ると、國民黨從來の元老、西山兩派が六名、浙江派二名、無所屬の學者が二名外に馮玉祥、閻錫山、孫科――(孫文の長子)張學良で、國民黨從來派の元老西山兩派が大勢を支配してゐる。元老派も西山派も名を異にしてゐるが實は同じもので、支那ブルジョアジーと密接な關係があり之が代辯者たる役割を務めゐものである。政府委員陳果夫は西山派で有名な抹殺家であるのでも分明だ。また蔣介石の代表する浙江派なるものは山紫水明物產豐富な浙江省を根據とする浙江派財閥を背景とするものであり、太子派の首領孫科は勿論――海外に在るブルジョアー――の支持を受けてゐることこそ元老派同樣である。斯く純粹に支那ブルジョアジーの支持による抹殺者、十六名中九名を占めそして既西派も浙江派にほゞ近いのだ。殊に滿洲を抱込む策として張學良を入れた事は國民政府中にも大分異論がありもしたが、蔣介石が職を賭して反對論を一蹴した事は彼の社會主義者たる本領を發揮したものであると聞く。

進め案內

一行六號二十字詰 三行迄料金一圓
申込 進め社に告部宛
問合 右宛(返信料封入ノ事)

幸德秋水氏珍藏の書籍、英書等(幸德氏の署名あり)右相當の條件にて讓りたし (東京芝、愛讀生)

社會主義片山潛編輯、東京社會新聞、西川光二郎編輯、破帝國主義論、山口孤劍著 高價に讓り受く (姓名在社一番)

二十世紀の怪物帝國主義、幸德秋水著 右の古本至急に受けたし (姓名在社二番)

堺利彥編輯社會主義研究、明治三十九年發行 右御所持の方御讓り下さい (姓名在社五番)

無產階級戰鬪雜誌進め創刊號より七號まで買りたし但し三十圓以上 (姓名在社六番)

理解ある士に雇はれたし、當方二十六歲、大學々業、思想雜誌、新聞社、經歷、無料校正等あり 西大鴨[illegible]一二五一三高田方ドリ

平民主義 幸德秋水著 至急讓り受けたし (姓名在社八番)

レーニン著作集全卷揃 右安價にて至急希望者に讓り渡したし (姓名在社九番)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時に、國民政府の極右翼化、反動化を物語るもので、右于仁や陳友仁などの國民黨左派を全然除外し去つた事は、國民政府の前程が、支那ブルヂョアジーの爲めに用意された事を意味する。

次に注目すべきは、五院制度である。現在までのブルヂョア各國の憲法は、モンテスキューの三權分立主義に基く、司法、立法、行政の三機關併立を原則としてゐた。所が孫文提唱の五權分立主義が生れ、國民政府は之に依つた譯である。監察院は、日本の會計檢査院が内閣直屬の機關である如く、政府委員會に——國務會議——の直屬で、全國農民組合に於ける統制部を大にした樣なものである。考試院は支那古來の考試制度から生れ、國家試驗制度の樹立と運用を司る。また圖の如く最高は國民政府委員會に直屬する。そして、これを通覽すると、國民政府は、蔣介石、胡漢民、譚延闓の三巨頭を中心として、各地財閥を背景とする各派の聯合したものである。李濟深が廣東で排日運動を嚴禁し共產黨員を彈壓してゐる事や、上海天津に於ける郵務工會の罷業が國民黨中央黨部の指令下に行はれて居ながら、國民政府の干涉と壓迫で復業した事等具體的にも色々な證左がある。紙面がないので詳細は後日に讓る。

國民政府組織一覽

政府委員

蔣介石、陳果夫
胡漢民、何應欽
戴天仇、羽宗仁
譚延闓、李濟深
蔡元培、張繼
王寵惠、閻錫山
馮玉祥、林森
孫科、張學良

政府首席

蔣介石

- 立法院長—胡漢民
  - 副院長—林森
- 司法院長—王寵惠
  - 副院長—張繼
- 行政院長—譚延闓
  - 副院長—馮玉祥
  - 內政部長—閻錫山
  - 外交部長—王正廷
  - 軍政部長—馮玉祥
  - 財政部長—宋子文
  - 交通部長—王伯群
  - 鐵道部長—孫科
  - 工商部長—孔祥熙
  - 農鑛部長—易培基
  - 教育部長—蔣夢麟
  - 衛生部長—薛篤弼
- 監察院長—蔡元培
  - 副院長—陳果夫
- 考試院長—戴天仇
  - 副院長—孫科
- 軍事參議會々長—李宗仁
- 參謀部長—李濟深
- 訓練總監部長—何應欽

日本に於ける社會運動家直筆の執筆者によつて次の値段にて依賴に應ず、照會を乞ふ
短册　一圓、三圓、五圓
色紙　三圓、五圓、拾圓
軸物　五圓、拾圓、貳拾圓
日本社會運動者後援會（本社扱）

高尾平兵衛氏の寫眞を直筆等相當價格にて買ひたし（姓名在社十四番）

日本現下之下層社會、横山源之助、明治三十年頃發行、右書籍讓られたし（研究好み生）

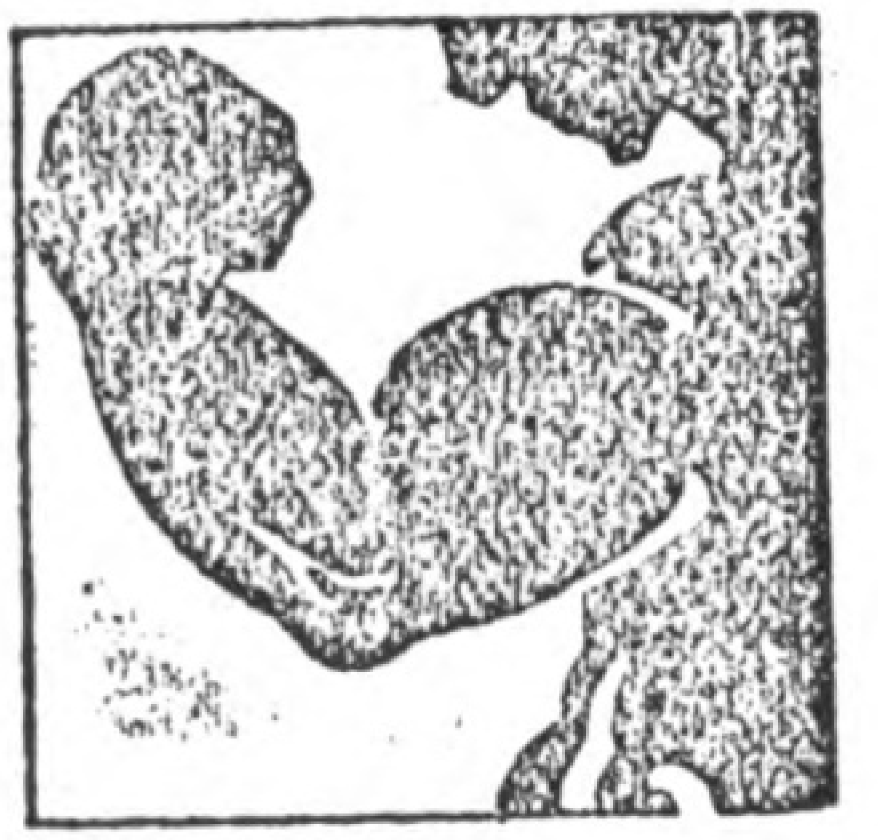
大正七八九十年頃の社會運動の資料ビラ、ポスターの類を保存す。同じ保存の士と交通を希望す、小生同好愛藏の士と互に愛藏する種類目錄を交換し、東京にて展覽會の如きを開催したき希望を有するものなり（進め社氣附T生へ）

幸德傳次郎氏著　キリスト教抹殺論を讓り受けたし、又は責任を以つて拜借するも可なり（秋水崇拜黨員）

友愛會日本勞働總同盟時代の機關誌「勞働及產業」何部にても讓り受けたし（姓名在社十五番）

英文飜譯、應依賴、社會主義的のもの殊に得意とす。（進め本部經由、山川遊正）

大正七、八年以前、明治初期の社會運動勞働運動の各種の文書文献寫眞等所持の方は其內容明細に御一報を乞ふ　ものに依りては相當の高價にて讓り受けます。
日本社會運動資料保存協會
日本社會運動資料編纂會（進め社扱）



講座

社會政策の本質

第五十六議會の欺し太鼓に具へよ

清水寛一

一

ブルヂョア政治家は、ブルヂョアジイの代辯者である。その番頭である。元來ブルヂョアジイはその基本的存在において、無産階級と對立する、無産階級の搾取の上に立つてのみその存在の根據がある。しかし、彼等は表面はつきりそんな事は云はないブルヂョアの利益をこつそりと全人民の名の下においてたくらむ。階級對立をぼかそうとする。ゴマかそうとする。こゝに所謂社會政策の發生の根據があり、ブルヂョア政治家の最大の仕事がある。

何故、ブルヂョア政治家は之を最大の任務として意識し、努力するのであるか。それは階級社會の發展の生みもたらすところの、ブルヂョアの存在を根底からおびやかす無産階級の運動が如何に抑壓しても激しくなつて行く狀勢に、恐れおのゝくからである。この無産階級運動に人民を奪はれては、それこそ一大事である。天下のひつくり返る騒ぎとなる。これを防止し何時までもブルヂョア萬能の社會の存在を保つためには、どんな手段でも講じて人民の奪ひ合をせねばならぬ。こゝにブルヂョア政治家の、社會政策と、彈壓の使ひ分けが生れてくる。一方では「政府はこういふ風に人民の生活の安定のために努力してゐる」と云つて、その社會政策を見せつけ、一方では、この社會政策の本質を曝露する無産者運動に對しては壓迫を連續的にやつてのける。發行禁止、これは言論機關の壓迫であるが、無産者から發しられる曝露が彼等の痛いところにふれるからこんな不合理な事もしなければならぬ。もし、彼等の存在に少しも痛痒も感じないならばこんな事はしなくてもよい。かつて資本主義が自由主義の時代にありし頃はまた資本主義は發展の時代で無産者の言論が痛烈を極めても人民がそれを痛烈に意識しないし爲めに彼等は寛容の態度をもつて之に臨んだ。しかしながら、資本主義が行きつくところまで行きつくと、現在の樣にアラの續出で、失業者が

溢れ、生活苦がひろがつてゐるから無産者運動の主張が、ピリッと人民の心にひゞいてくる。彼等はこゝにおいて彈壓をやらねはならぬ状勢となつてくる。その他、結社の禁止、集會の解散、演説の中止、農民組合のタ、キコワシ

二

人民を爭奪する爲めに、社會政策と、彈壓を兩方にやらねばならぬといふ事は、すでに支配階級が社會政策的に無能力である事は示す以外の何物でもない。即ち、彼等が社會政策の實施によつて、人民の生活を安定せしめ、失業をなくして仕事に困らない様にする事が完全に出來たら、彼等はそんなにピクピクして狂犬の様に吠立てなくてもよい譯た。人民の爭奪は極めてらくである。それが出來ないから、壓迫しておさへつけ様と騒ぎ廻る必要が生れてくる譯た。

では、何故彼等の社會政策は効を奏しないのか。これは資本主義社會の發展の歸結である。資本主義は搾る者と、搾り取られるものとの二大階級の對立する社會である。殊にその對立が、資本主義が發展すればするたけふかくなつてくる、即ち、中産階級が沒落して有産階級が少數化する。別の言葉で云へは大資本家が完全に社會を支配する様になる。例へは、現在において三井、三菱の如きものである。中産階級——小企業家自作農が沒落すればそれは無産階級に落ち込んで了ふ。一方人口はふえる一方た。貧乏人が擴大せざるを得ない。では何故に、中産階級は沒落するか。それは、資本主義社會は、大資本家ほど商品を生産するに都合がよく、從つて商品も小企業家に比して安く出來る。大工場で分業制度でやつて行けるところと、個人經營徒弟制度の様なところは實に問題ではない。

資金の運用が充分に行かぬ、生産組織が小規模たから生産上に無駄な時間を費さねはならぬ。

そういふ譯で對立が尖鋭になる。こういふ風に年々月々擴大して行く無産階級、即ち、身體一つを資本とする人が多くなるに反比例して、科學文明が進歩すればするほど、機械が人間の役目をつとめる様になる。

このふえる一方の失業者に、貧乏人に對して資本家政府の温情政策は一々手がとゞかない。

何故手がとゞかないのか。それは、社會政策の本質が、資本家の利益を阻害しない程度にやつて行かねはならぬ法則になつてゐるからた。この法則あれはこそ、今迄歴代内閣の盛り澤山の社會政策の實施の饒舌が、結局饒舌に終つた所以であるのた。又少し多少の成功があつたにしても、別の方面から十倍二十倍にもして取りあげてゐる。

こゝに社會政策の本質がある。しかし、我々は支配階級の爲すところ盡く失敗であるからとして安心してはゐられない。彼等は欺すことに無中になつて手をかえ、品を變へて意識水準の低い、例へは、「雑菜は非常に幸福な生活を送つてゐる」「何處の奧さんは大變高價な着物を買つた」と羨んでゐる様な人民達をつらうとし、

又つられて了ふからである。しかし、彼等もやがて失望して了ふに違ひない。けれども、吾々は一日も早く吾々の社會を實現する事を願つてゐる以上、こうした人々に一日も早く働きかけねばならぬのだ。

三

無產階級運動の根本的主張は「搾取階級」を無くすることである。人民の生活を安定せしめるには、資本家の利益に反しないでやるといふ方法に反して、資本家の利害なんかテンデ問題にしない。搾取することは不合理の骨頂だ。人民の利益の爲めに人民自身の手によつて、この資本主義社會を、社會主義社會にまで引あげやうとするのである。

社會政策と、社會主義運動——無產者運動の差異はこゝにある。この觀點より一切のブルヂョア政治家の社會政策は批判されなければならない。

以上によつて種明しの終つた社會政策を、無產運動彈壓の張本田中政府も見逃すものではない。

曰く、自作農創定案——これも大低種明しの終つた品物だ、それにもかゝはらず、地主にさうして儲けさせようかと今豫算編成を前にして三土と山本の兩閣員がいがみ合つてゐる。曰く、陪審法の實施——しかし、その實際の美しさにかゝはらずその裏面にひそむ反動作は本誌二號野莊氏の暴露論文によつて暴きてゐる。曰く健康保險法の制定、——保險料率を勞働者四雇主四、國庫二の割合、又老年給付が六十才にして初めて受けられる等の不合理、その他[illegible]ものゝ救貧法、地主本位の米價政策、地租、營業收益税の地方に移讓して大穴のあいた國庫を口實に、關税引上、公債政策で又コッソリ捲りあげる政策、全く沙汰の限りである。

毎年一萬戸づゝ沒落する自作農を知らぬ顔の自作農創定、小作法が度外視した農村救濟策——すべてが亂調子である。

四

しかし、社會主義運動の成果は一足飛びには來ない。こゝに社會主義運動によつて導かれたブルヂョアに對する社會政策實施の徹底化の要求がある。それは、彼等に哀願するのではない。大衆の壓力によつてそれを正當に要求し、支配階級の牙城に肉迫せんとする一切の試みである。この要求鬪爭を通じて、厖大なる人民に、ブルヂョアジーのなすところを曝露し、眞に民衆の爲めに戰ふものは社會主義運動以外にはあり得ない事を知らしめる。この局部的改良の要求をつらぬく深奧な社會主義的鬪爭精神を忘れたものな、吾々は現在の有識幹部の一團に見る、彼等はたゞ改良によつて滿足しやうとする。これは無產階級の解放をもたらすものではなく、支配階級の妥協をもつて滿足するものだ。

吾々はこの社會政策の美名に酔ふ前に、先づふんどしを締めてその正體を見きはめなければならぬ。（十月二十三日夜）

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歐州通信（一）

巴里のプロ展を見る

在巴里　淺野研眞

一

地下鐵道の壁に貼られてゐる廣告によつて、九月十五日から三十日まで、プロレタリア展覽會が開かれることを知つて、小春日和の一日これが見物に出かけた。

二

會場は社會黨の地盤である所の巴里市東部の第二十區である。ボアイヤル街二十三番地の消費組合會館の「ジヤンジヨーレスの間」である。

有名な社會學者オーギユスト・コムトや其他有名なフランス文學者などの墓があり、且つかの有名な巴里コムミユンの時の虐殺のモニユマンのある所の、ピエール・ラシエーズの墓地は、此の近くである。

私は小春日和の土曜日の午後、この墓地を訪ひ、その足を以つて直にプロ展の會場に向つた。

因に「巴里コムミユンの遺跡を訪ふ」なる一文は、別に纏つた形のものを書いて見たいと思つて居る。

三

何とか夫人の寄附によつて建てられたとか云ふ所の、とても立派な勞働者住宅の横を通つて、その會場に着いた。

會場なる「ジヨーレスの間」は日本式に云へば、二階にあつた。消費組合會館と云つても、巴里の建物としては、見すぼらしい方のものである。

二フランの入場料を拂つて、會場に入る。

四

會場と云つても、大きなものではない。僅かに一室である。それでも可なりの作品が並べられてゐる。繪畫、彫刻、工藝品など、かれこれ千に近い出品である。それらは別に印刷になつた目録書に詳細に記されてゐる。

レーニンやマルクスの肖像畫は如何にも多い。その他の運動家の其れも多い。

「貧困の勞働者、蹶起せよ」と云ふのや、「二つの階級」「黄金の犢」「人類のコメデイー」など云ふ表題の附けられたアージ！

アレキサンドロヴイチの作品（油繪）は、最も優秀なものであつたと思ふ。（其等は特に繪ハガキにさへ印刷されてゐた）。

さても深刻なのもあるが、流石は世界の先進國である。徹頭徹尾などと云ふことは無いらしい。

一般の表現は、どれもこれも、希望に滿ちてゐる。悲觀的にセンチメンタルなものは無いやうだ。

中には、平凡に日本ムスメを描いたのも一つ二つあつたやうではあるが、全體としては、甚だしく階級的であつたことを痛感せしめられた。

入場者も、土曜日の午後のことゝて、相當にあつた。そして皆緊張してゐた。

五

「今まで餘りにも多く、ブルジヨア藝術の行き過ぎなる影響を受けてゐる所の、勞働者たちの藝術的感情並に鑑賞を發達させること、同時に又革命的の消費組合の社會的性質を表明し、以つて其の影響を擴張することである。」——

これが本展覽會の目的の第一條に書かれてある所のものである。

あゝ自由の國フランス、藝術の國フランス、近世プロレタリア運動の大先驅者！

私の胸は、かう叫んでゐた。早々會場を出づれば、初秋の太陽は、その投ぐる光線に力がない。次いで隣りの消費組合キヤフエでは、暖かく香り高いキヤフエの一杯が極東異國の巡禮者の席に運ばれて居た。（九、廿五日）

藝術に於けるアヂ、プロの問題

―序に蔵原惟人君の所論を駁す―

深谷進

（一）

プロレタリア藝術に於ける直接アヂの問題！

これは少くも、階級闘争の全面的展開の一翼を擔當して來たプロレタリア藝術が、現在の瞬間に於て緊急な問題の一つとしてその解決が要求されねばならぬ。

然らばプロレタリア藝術のアヂ、プロとは何か？

それは云ふまでもなく藝術の形式が齎す、「最大抵抗線」に於ける大衆的アッピールである。卽ち階級闘争に於ける行動への藝術的働きかけである。そして吾々は此のアヂ、プロの問題を度外してプロレタリア藝術を考へることは出來ない。

然るに此の事から次の如き三つの疑問が生れるかも知れない。

一、プロレタリア藝術の大衆への直接的アヂ、プロの問題が藝術上それ程重要な位置を占めてゐるとするならば、然らばプロレタリア藝術確立の本質的な運動の問題はどうなるか？

二、更に大衆の直接的アヂ、プロの運動がプロレタリア藝術の主體となり得るか？

三、而して若し大衆の直接アヂ、プロがプロレタリア藝術の主體となり得るならばその二つの問題を如何に解決し、如何なる關係のもとに發展せしむべきか？

右に對する結論的な解答は次の如くである。

先づ第一にプロレタリア藝術のプランが、階級闘争の政治的なプログラムの線に添ふてその本來の役割を遂行するためにはその本質的な確立の運動が勿論必要である。

然るに第二に大衆の藝術的直接的アヂ、プロの運動はプロレタリア藝術の主體となり得る。

第三に此の二つの解答に矛盾はないか？然り―矛盾はない。

ただ此處で必要な事は、此の二つの問題を稍々もすると、インテリゲンツイアの小市民性の陷り勝ちな觀念的理論に引き入れないと云ふことが肝腎とされねばならぬ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それはどんなことであるか？

それはこの二つの問題を別個に切り離して考へてはならないと云ふことである。

そして少くとも藝術に於けるマルクス主義的な唯物辯證法はそのやうな考へ方を許さないのである。

ところが此の事について最近我がプロレタリア藝術運動の陣營に於ける機關紙「戰旗」を守るグループ内に於て此の點興味ある二つの對立とその論爭とを吾々は見た。併し此の二つの論爭は未だ吾々に何等の解決をも示して呉れない。のみならず、此の二つの論爭は共に、明かに一つの混亂にすら陥つてゐる。

（二）

雑誌「戰旗」八月號に於て、プロレタリア藝術の大衆への直接的アヂ、プロの問題と、それが本質的な確立運動との關係に對する、一つの見解を代表して藏原惟人は次の如く述べてゐる。

「藝術を利用しての大衆の直接的アヂ、プロの運動はプロレタリア藝術の確立と云ふことを直接の目的とはしない。」更に同じ事の具體的表現として、その機關雑誌「戰旗」の役割について彼は云ふ

「我々は今此の藝術運動の機關誌（戰旗―筆者）と大衆のアヂ、プロの機關を斷然區別しなければならない。此の事から生れて來る實踐的な結論は何であるか？それは極めて簡單である。吾々は吾々の機關誌「戰旗」を眞に藝術運動の指導たらしむるべく努力すると共に、廣く工場・鑛山・農村に持ち込み得べき大衆的繪入雑誌の創刊に向つて凡ゆる努力をなさなければならぬ」と。

藏原の之等の言葉は明かに次の二つのことを意味してゐる。

一、プロレタリア藝術確立の運動と、大衆的アヂ、プロの運動を明確に區別してゐる事

二、そしてその確立の運動によつて大衆的アヂ、プロの運動を指導して行くこと。

此の事は同時にマルクス主義の藝術上に於ける俗化を意味するものである。

そして藏原の小市民的イデオロギーを意識なく暴露してゐる。

それは何故であるか？

吾々がプロレタリア藝術運動と云ふ時、その藝術の確立と云ふことが對照されるのではない。

それとは反對にプロレタリア藝術の運動は、藝術の形式とその特殊性を利用して、如何にして大衆の藝術的要素を動員せしめ、如何にしてより効果ある階級鬪爭の特殊な武器たらしめるかと云ふことがその全目的であり對照とするところである。

併し此の事は決してプロレタリア藝術確立と云ふことを否定することにはならない。

それはどんなことであるか？

即ち階級鬪爭に於ける特殊の武器としてのプロレタリア文藝が、それ自體の確立を完成するためには、熾烈な階級鬪爭の大衆的直接

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

アヂ、プロが實踐的に展開されなければならない。

此のアヂ、プロの運動が、より急速に展開されることによつて、プロレタリア藝術の確立もまたより急速に促進されるのである。工場、職場、農村に於ける被搾取大衆の渦巻く現實を、その生きた心臓を貫くところの闘爭の實踐の中からこそ、その藝術自體の確立の要素が生れるのである。

併しプロレタリア藝術確立への要素を、ただそれのみを吾々は具體的には抽出することは出來ない。

それはただ大衆的直接アヂ、プロの仕事を展開して行くことによつてのみ、その確立への道が指示されるであらう。

そしてその道が指示されることによつて、アヂ、プロの仕事が展開される。

此の二つの關係については更に後に稍詳しく説明したいと思ふがともかくも此れは、決して藝術確立への運動と大衆的アヂ、プロの運動を區別するものではない。

そして此の二つのものは只一つの目的を有するのみである。即ち階級闘爭への道！ただこれのみである。

此のただ一つの道はプロレタリア藝術運動の全活動を次の如く規定する。

一、プロレタリア藝術は、自體その藝術の確立と云ふことを目的とはしない。

二、併しプロレタリア藝術はただ一つの階級闘爭への道！即ち大衆的アヂ、プロの運動を最も勇敢に戦ひ取つたとき、また戦ひ取らんとするとき、その藝術の確立もまた完成し、完成せんとする。

三、從つて大衆的アヂ、プロの運動を離れて若くは別個の方法に於て、プロレタリア藝術運動と云ふことは許容されない。

四、そしてプロレタリア藝術に於けるよりよき藝術とはよりよく階級闘爭の武器たり得ると云ふことがその絶對條件とされなければならない。

以上に於てプロレタリア藝術が、大衆の直接アヂ、プロの運動とは別個に、若しくは異なれる目的を持つところの、その藝術の確立の運動があり得ると考へてゐる藏原の小市民的イデオロギーは明かに誤まれる一個の觀念的抽象理論に過ぎないと云ふことが判るであらう。

（三）

吾々は更に、然らばプロレタリア藝術が、政治的プログラムの線に添ふてその任務を遂行するためには、如何なる發展過程によつてそれが行はれるかを明かにしなければならぬ。

このことはさきにも簡單に觸れて置いたが、プロレタリア藝術確立への道と、大衆的アヂ、プロの運動との關係とその進展過程を説明することによつて自ら解決されるであらう。即ち先づプロレタリア藝術が政治的プログラムの線に添ふといふことは、プロレタリア藝術の運動が一般階級闘爭の全面的な各戦線の各部隊と緊密

に於て、常にその運動の特殊の形態と方法とを以てその運動を遂行しなければならぬと云ふことである。

そしてその運動過程の各瞬間、各時期を貫いて發展するところに於いてのみ、藝術上主觀と客觀との正しき認識があり、プロレタリア藝術の正確な主體を把握し得るのである。

即ち客觀的状勢に應じて敏感にして熾烈な大衆的アヂ、プロ。此の實踐から生れるプロレタリア藝術確立への運動。此の場合大衆的アヂプロはそれ自體既に確立への運動の要素であり、從つて確立の運動は大衆的アヂ、プロによつて規定されるのである。そしてこゝに規定された確立の運動が次の瞬間には大衆的アヂ、プロの指導的役割をも演じ得る。

併し又次の瞬間には大衆的アヂ、プロの中に没入し、大衆的アヂ、プロによつて規定される。そしてこれは只一つの大衆的アヂ、プロの辨證法的姿の中に表現されるのである。

此の姿こそ藝術に於けるマルクス主義の歴史的唯物辨證法の正しき發展の姿である。そして此の正しき關係の上に立つてのみプロレタリア藝術運動確立が必要とされ、大衆的アヂ、プロが藝術運動上に於ける主體となり得るのである。此の事は同時にプロレタリア藝術理論と藝術運動論とを混同するものではなくしてむしろこの二つを正しく認識し從つてこれが正しき地位に引戻すことである。

此處に於て前原の「藝術を利用しての大衆的アヂ、プロはプロレタリア藝術の確立といふことを目的とはしない」そして此の二つの運動を「断然區別しなければならぬ」と云ふことは明かに一つの過誤を示すものである。そして確立の運動のみが藝術運動の指導的役割を演じ得ると考へるところに原小市民的な惱みがあり、マルクス主義を俗化するところの公式主義である。

×

重ねて云ふ。プロレタリア藝術運動は元來その藝術自體の確立を目的とするものではなくして、よりよき階級鬪爭の特殊武器たることをその本來の目的とするものである。そしてそれがよりよき武器となり得た時、又なり得る時、プロレタリア藝術もまたよりよく完成し、またよりよく完成し得るのである。

×

附記　本稿に於て近に中野重治の見解に對して多少の論及批判をなす心算であつたが約束の誌面がつきたので殘念ながらそれが出來なかつた。又他日稿を新ためることにする

一九二八、一〇、一四

進め社だより

大阪より

軍官學校、關西合同の結成研究會、勞働者同盟の準備會、黨務委員會等々と忙しいこと目の廻るようだ。奈良縣では第一回の軍官學校卒業生が、盛んに黨務擴張の爲めに月謝闘爭を展開している既に演說會等も行つたし、研究會等もとしくやつてゐる。全國の同志諸君！秋だ、灯火親しむ候だなんてブルジヨアジーのドラ息子の眞似事なんてやらずに街頭に出ろ！俺達は闘爭だ！（米永）

大阪進め社が九月の廿六日に突如總檢束を食つた。全國の同志諸君からの御見舞厚く感謝します、何しろ同人は言ふに及ばず、進め社に訪問した人は片つ端からちよつと來いたから隨分迷惑せられた同志諸君もあつたことだらうと思ふ。どうせ我々は敵國にすんでいるのだ、敵國も蜂の頭もあるものか、そんなことは問ふだけ野暮だいつ引つ張られたとて、我々自身に原因の分つたためしがあつたことがない、我々が引つ張られたら無産階級解放運動をしているからなんだ、それ以外には我々を引つ張るには理由はいらないんだ、進め社には大阪を代表して、ありもしない權利を主張する馬鹿は一人もいないから御安心下さい。同志諸君やらうぜ。（源威）

十時間と云ふ苦役を終へて、空になつた腹を抱へ、疲れて棒になつた足を引きずつて頑丈の肌を秋の冷たい夕風に吹かれて工場からの歸りがけ、進め社に寄つたところが一寸來いと云ふ次第、御言葉に甘へて行つたところは、サーベルの響と、「オイ」と「コラ」との別世界、私が出て來るときに、「いつ出られるか見當もつかない」と言ひながら、別れを惜んでくれた、彼の肉とやらを賣つた女拘留囚はどうしたか、私は他人とは思へない。あゝ私達は闘はねばならぬ。（はつ子）

我々の云ふところの官設の別莊から、此の間一寸迎へに來て下さつたので御厄介になつて來た。隨分可愛がつて貰つた。頰べたを撫て吳れたのには恐れ入つた。御丁嚀にも兩方の往復と來ている。階級意識を闘ひとるには、何も苦勞して資本論や唯物史觀を讀む必要はないと思つた、一寸別莊の厄介になつて來れば、「一應」どころか、マルクス、レーニン以上に意識化することを請合た。御蔭で大きな學問をした。（作以）

東京より

天高し馬肥ゆるの秋だ。俺等が田畑には一年の勞苦の實が金色の波を限りなく漂はせる秋だ。秋は俺達の苦痛の秋だ。金色の波の香りも一時の間に地主に取り上げられる悲痛の秋だ然るに都會のブル達はどうだ。日光の紅葉は、もうそろそろ見頃だとか、日比谷の菊は出來がどうだとか。やれスポーツのシーズンだのただ騷いでゐる。

御饗式に五十萬人の人を集めた東京のことだ。早慶戰の時報に事務のペンを放り出して飛んで行くのも無理からぬことである。

だが、ブルジョアのスポーツが何になる。ブルジョアのスポーツは階級戰の敵ではないか。見よ海の彼方の同志等は。このブルのスポーツに反逆して、プロのスポーツに依つてブルを壓倒しやうとして居るではないか。「ブルジョアジーは四年目にオリムピツクを祕

ふ。ソヴイエート共和國のプロレタリアートは今年、アムステルダム（皮肉ではないか！）のオリムピツクに對抗して彼等自身のスポーツの競技會を持つた。「スパルタキアーデ」アムステルダムに出場せずにモスカウのスパルタキアーデにドイツやフインランドやメキシコからスポーツマンやスポーツウーマンが參加した。

「スポーツのためのスポーツ」は民衆に對する麻醉劑でしかないスポーツは民衆を政治に無關心にし「灰色」にするための優秀な手段である。大きなスポーツクラブの對立や鳴物入の競技會や、祭やレコード爭ひや、ジャーナリズムの作戰やは巧に階級對立の事實をおほひかくす。たが國家は更に積極的にスポーツを利用する。プロレタリアの稅の上にお尻を据へたブルジョアのスポーツのレコードを國別で爭はせることに依つて愛國心を刺戟する」と云つて反對して居るではないか。我社のU君の如きも、こうした意味に於てプロレタリア、スポーツマンの雄たるものである。社の同人等の日課である早朝の體育時間には、何時も五十ポンドのアレーを連續して三十二回のレコードを作つた。總て君が我國最初のプロ、スポーツマンの代表としてブルジョアの息子共に悲鳴を揚げさせるのも遠きことではあるまい。時は秋だ。諸君何事にも、本當に茶飯事のことに至る迄、總ゆるブルの遣る事に反對せよ。（曙紅生）

合同問題を中心として、日勞黨内に現れた二つの傾向、總同盟大會における現實主義に對する反現實主義、日本農民黨大會の勞農提携說の擡頭の如き過度期的の現像として左右中間各黨を通じて、深き惱みをもちつゝも、鬪爭の秋の深み行くと共に活氣を呈して來た

◇

進め讀者はいかに戰ふべきかも、痛切に感じられて來て、全國各地に遠くは朝鮮、臺灣の方面よりも「進め讀者の會」の組織されし事を聞くは嬉しい。我々の永い戰ひが始めて報ひられて來た事を思ふと、益々奮鬪せねばならない事を痛切に感じられる。

■

鬪爭の秋！鬪爭の秋！この掛け聲はかりでなく、組織に宣傳に絕へざる努力を望む。我社も研究會に演說會に積極的に邁進してゐる。（SU生）

■

日勞黨系の大衆雜誌大衆時代の創刊を祝す、然し飽くまで永續的を大衆は祈つてゐる。二號雜誌や三號雜誌は讀者のみでなく、黨にそのグループの弱さを語るもの、日勞黨をして勞者たるの感を世人に與へる勿れ。中央日勞黨系の雜誌、發刊後直に失敗する所以多し。試みに見よ。「プロレタリヤ」あり「第一戰線」あり。努めよ。

×

進め間接讀者にして差支なくば讀者名簿係宛にハガキをもつて名を示されたい。進め研究會、進め座談會等を通知致します

銘酒　澤之鶴

問題の解説

金解禁の話

佐々木敬三

大藏省、日本銀行、東京大阪兩手形交換所（別名日本銀行團）、商工會議所、蠶絲中央會、諸輸出業者、等が大童になつて金解禁問題を論じてゐる。無論これは昨今に始まつたことではなく、大正六年以來の事であるが、最近日本金融經濟界の最大の關心事として論議され、金解禁の時期が眼前に切迫した所に意味がある。そこで、金解禁問題はどんな由らいを持つてゐるか、解禁されたら如何なるだらうか。

金―貨幣―爲替の關係

この問題は資本主義社會の國際的流通經濟の具たる爲替から始まる。資本主義社會の血液にも比すべきものは貨幣であつて、貨幣がその機能を果してゐるのは、其の背後に金本位制が確立してゐるからである。正貨卽ち金貨、乃至は金塊が充分準備されてゐて、補助貨幣や兌換券（紙幣）が何時でも等價價値となり得るといふ作用が確保されて居なければ、資本主義社會のあらゆる機關は不自由になつて了ふ。そして國内的のみならず、國際的商業貨幣とも云ふべき外國爲替も、振出國の金に依存してゐる。卽ち外國爲替が金價値を媒介として自國の貨幣に變形し得るからこそ流通するのだ。從つて國際間の貸借及び、貿易の收支の決濟は結局金の移轉といふ現象を生ずる。であるから、種々な國内的動搖―内亂、大罷業、恐慌―があれば爲替は勿論變動し上下するが、充分、金價値による被媒介性のある爲替は先づ安定したものである。所が、現在對米爲替の正金銀行建値は十月十五日には四十五弗四分の三であり、且つ爲替の高下が激しい、これは日本が金の輸出を禁止してゐるからだといふ。では爲替の高下するのが何故惡いか。一國の商業は勿論產業までが多分に投機的となり、そのため金融資本がその權威を確立するまでに幾多の犧牲を拂ひ、今後も亦拂はせられると考へるからだ。茂木、阿部幸、高田、鈴木、沒落、それ等に伴つて起つた幾度かの金融恐慌は實にその適例である。然し此れに依つて大資本集中、金融資本の獨裁時代が生れたのだから、日本資本主義發展の要素は、資

本主義社會の不和撲滅の際相談それ自體であつた點で、今更いやとはさはかりに、投機的商業會社は泣いてゐよう。

では、金價値より數弱下る對米爲替建値四十五弗四分の三が何故惡いか。日本資本主義は天與の資源に乏しいため、極度の帝國化と極度の搾取によつて他國と競爭してゐる。その産業の原料は近くは滿州、支那、南洋、遠くは印度、米國に仰いでゐる。この原料買入に際して、自他共に完全な金價値を再現し得る爲替關係があるなら百圓で買入たる原料は、日本に於ても百圓である。（運賃や保險料は便宜上省略）然るに、金價値の再現が不完全のため百圓の原料に對して百十圓の爲替を振出さねばならぬとすれば、原料に於て既に十圓のハンデイキヤツプを附せられる事になる。其上、加工の結果百二十圓となつた商品が輸出された場合 $120圓 \times \frac{100}{110} = 109.0圓$ となり、十圓九十一錢の損失となる譯である。依て多額の原綿を輸入し使用する鐘ケ淵紡績社長武藤山治が金解禁を議會で絶叫したのは、實に這般の事情を說明して餘りがある。

金禁輸の歷史的意義

「それなのに何故、今迄金の輸出禁止令を解かなかつたか」が當然疑問になるがこの問題に入る前に「どうして金が輸出禁止になつたか」に就いて一瞥を試みる。

事は少々古くなるが、世界大戰の眞最中、交戰國はいづれも血眼になつて新しき販路獲得——所謂世界市場の再分割戰爭に熱中してゐる時、漁夫の利を占めたのは、米國と日本の資本主義で、米國が大成金なら日本は小成金の類であつた。戰爭に要する物資を供給する事により、若くは戰爭のため交戰國が一時的に放棄した市場をそつくり頂戴することにより、兩國は莫大な利得をしたが、其の結果必然的に金の流入を見た上、日本の如きは、世界金融市場としてロンドンに代つて覇權を掌握したニユー、ヨークに在外正貨として金の積立を得た。米國は前述の如く金融市場として覇權を握つて、諸外國の逃避地となり、一時は四十五億弗の正貨を有してゐた。四十五億弗と云へば世界正貨總額の半にも達する巨額である。かくて、大正六年九月七日、米國はこの流入した金によつて基礎をかためた聯邦準備銀行制度擁護のため、金の再流出をおそれて金の輸出禁止令を發布した。この聯邦準備銀行制度は、後段敍述する筈であるが、要するに金融資本獨裁の最高型である。人眞似上手の日本資本主義は、早速これに依つて、同月十二日、金輸出禁止令を出した。實に戰爭に乘じて資本主義の、「やらず、ぶつたくり」主義を遺憾なく發揮したものではある。日本の資本主義はこの機を逸せず産業組織の擴大化、再組織化に着手し成功を收めた。原內閣の放漫政策は實質的には斯かる資本主義の要求する所であつた。

金輸出禁止によつて意氣昂れる日米兩國は大正八年に至つて新しい狀態に直面した。即ち米國に在つては、金融市場の覇權が確立し國內の統制が完成して、世界大戰終熄を迎へたのであるから、歐州諸國の復興資金供給國となつた。戰時中は政府が民間から巨額な資

って、之を友好國に貸付けてゐたが、戰ひやんでは、左樣な譯には行かぬ。國際的金自由市場として出直すことが、必要なのであり且つ有利となつてきた。米國産業の優越と、他國爲替安とは相俟つて金輸出禁止當時同樣に金の流入を經驗した。是に於て、汎ヨーロッパ同盟が叫ばれ歐州の米國への隷從が恐しまれ、シュペングラーの「西歐の沒落」が生れたので、みな歐州ブルヂョアジーの挽歌である。かくて戰時大成金は率先して金解禁を斷行し上乘の成績を得たが一方日本はどうであつたか。云ふまでもなく、米國とは客觀的狀勢を異にしてゐた。當時日本の正貨は、國内四億四千萬圓、海外十二億四千萬圓見當を保有し、爲替は對米五十弗の三であつたから、金解禁を斷行したからとて大切な虎の子たる金が流出する理由はないまた世界大戰も終結し戰時中の如き際どい投機は却て資本主義の危險を招來するに過ぎないから、反動的不景氣を覺悟して、産業の編成を、戰時編成から平時編成にうつすべきであつたと說く人は、日本資本主義の主要なる目標を見損じて居ると云はねばならぬ。時の大藏大臣高橋是清は明々白々に日本資本主義の意圖を語つてゐる。曰く、

「對支政策は武斷戰から經濟戰に移らねばならぬ。而して對支投資戰に優勝的地歩を占めるためには、國際に正貨を保有せねばならぬ」

日本資本主義はその特殊性を明瞭に認識し始めた。米國は原料國であり産業國であり金融制覇の國として、黄金による世界支配の旗幟に上り、日本は足下の原料國である半殖民地支那に完全な經濟的隷屬を強ひんとして黄金の槌をふりかざした。今となつて見れば、米國は成功し日本は味噌をつけた。

解禁の目的

其後列國の進出による日本の輸出減退は、やがて貿易國際貸借の決濟に使用されて來た海外正貨の減少を來し、從つて爲替安が徐々に日本産業資本を脅威し出した。然るに日本資本主義の平時編成は容易に成就せず、ボロ企業とボロ銀行は、多額の内地正貨保有による通貨膨脹――物價高と空景氣を生ずる――を楯として依然存在してゐた。大正九年の恐慌後大正十一年十二年頃は金解禁が盛んに論議されたが、ボロ企業、ボロ銀行、投機的商人の一團は極力反對し遂に關東大震災に際會し、大正十三年には對米爲替三十八弗半に低落した。以前は金解禁すれば金が流出すると大事を取つてゐた連中も戰時利得による在外正貨は國際收支決濟のため徐々に消失し戰前以下の額に下つてしまひ、紙幣の金貨幣價値の代表者たる資格を缺如しては、金そのものを流出して資格證明をせねばならない。片岡前藏相は、金解禁の準備に急いだ。急いだ結果は昨春の金融恐慌となり、ボロ企業、ボロ銀行の沒落となり、實はこれ等に依存した政黨ブルヂョア黨、民政黨内閣の瓦解を來し、大正六年來形態を具へ明確に目的を認識し行動し來つた金融資本は寡頭獨裁にまで到達した。そして諸國から取殘されてしまつた金解禁問題があるのみとな

つた。

今や金融資本は、自己の統制する産業資本のために金解禁に向つて突進しつゝある。蠶絲業者を代表する中央蠶絲會の御都合や汽船會社の哀訴など耳を傾けはせぬ、況んや無産階級の生活問題に於てをやだ。東京銀行團の決議――十月十五日――には、金解禁のために暴落啻ならず、我が産業は萎靡振はぬとある。更に曰く、「内地金融界並に事業界は已に著しく整理進捗し（中略）後來財界は解禁の打撃に堪へ得る」これは何を意味するか。即ち金流出より國内の通貨が收縮し、在來既に寡頭金融資本獨裁の結果、資金融通の道を失つた小企業は、この爲め更に金融難に陥る。しかも小企業の多くは國内の需要を見越しての生産に從事してゐるから、通貨收縮による物價低落に對して採算不能となり、破産する。大企業も、よし金解禁の聲明と同時に爲替が三弗方はね上つたにせよ、物價低落の歩調に引づられ、その生産品の價格を引下ねばならず、從つて輸出價格も從前より低落するから、輸出品の増加に拘らず利益は僅少で從つて爲替高を利用して有利に買付けた原料による生産品が市場に現れるまでは、所謂緊縮方針をとらねばならない。この物價低落による不景氣のために收入減、小企業倒産により増大する産業豫備軍、大企業に於ける資本の攻勢――人べらし、勞働時間延長、及び産業合理化による極度の搾取が勞働者農民を窒息せしめるだらう。ボロ銀行を整理した彼等は金解禁に對して遺憾なく準備を整へてゐる。その上、米國の聯邦準備銀行の制度さへも取入れ、日本銀行を日本銀行團の代表者の統制下に置き、政權との直接の結合を計らうとしてゐる。現在日銀制度改善準備委員會が設けられ、新しき金融状勢に適應せしむべく、殊に金解禁により金保有高減少に當面して金比例準備法を採用して從前よりも僅少なる正貨準備を以てより多額なる紙幣發行の可能性を政權に協力し法律の力を借りて實現せしめ様と努力してゐる。また、解禁による圓價暴騰―爲替高―を利用して外國市場で公債を賣り、或は金利安に乘じて、國債社債を増發し直接、又は政府の手を通じて資金を作り、通貨收縮による不景氣忌避を行ふ策も存在してゐる。併しこの外債主義は金融資本の統制を弱めるものとして極力拒否される。外債などで内地産業が息をつけば日本金融資本の魔手が完全に産業を支配し得ないのは當然であるし不自然な内地債は再びボロ銀行の倒産を何時かは實現する原因となる。だから、彼等は飽、拒ひ續ける。

「金解禁を斷行するに就いては政府は先づ財政の緊縮を圖り、公債の増發などは斷じて見合すべきは勿論、國民としても勤儉貯蓄等大いに緊張して之に對するを要する。」

彼等は人爲政策を用ゐず、解禁後に來る難關を拔けよと叫ぶ。彼等は既に準備を完了した。無論人爲は必要でない。彼等にとつたゞ恐るべきは米國金融資本の干渉である。高橋是清が最近東京朝日記者に語つた所によると、

「日本が金を解禁したら、外國品は買易くなるだらうが、イギリスの様に金利も下らず物價も下らず製造工業が發達して行かなか

つたら」として醜態を曝はしてゐるが、これ日米金融資本の對立抗爭による結果を恐怖しての盲である。米國の資本輸出に抗爭するため國民の貯蓄を悉皆吸收しやがてこれを新しい奪取の機械として變形せしめ、勤儉の美辭で搾取率を大ならしめる。無産階級は今日以上に搾取され、今日以上に失業の自由を與へられたのだ。我々はもうそんな事は澤山だ。

×

金、貨幣、爲替、其の資本主義社會の流通手段を通じて見た資本主義社會の本體が何であるかは明白である。我々は金解禁に直面して、日本金融資本の成長と階級對立の尖鋭化を認識すると同時に當面の具體的要求として、

一、失業救濟基金制度の確立

二、解雇絶對反對

の二のスローガンを掲げねばならぬ。失業手當は、就業時賃銀の同額を要求する。生活費の半分にも足らぬ失業救濟金で我等を侮辱してゐるのが獨逸其の他の資本家の奸策だ。要求は同額でなければならぬ。資本の攻勢、これに對して我が陣營を防衛してゆくのは無産階級全體の任務だ。

（十月十七日）

合同運動の危機に際して聲明す

秋の鬪爭を前にして、勞農大衆の戰線統一の要求は愈々強烈となり、各勞農政黨中央部に合同方針を具體化に議することゝなつたが、日勞黨中央部は一は社民との合同を主張し他は大衆黨との合同を主張し何等確たる方針を立て得ざる状態に陷り、日勞黨に追隨、阿諛する無産大衆黨は、その歸する所を失ひ、社民黨は相變らずの右翼結成を頑強に固持して統一運動を妨害し、ために統一の日一日も早かれと切望する勞農大衆の要望は益々裏切られて行くばかりである。此の如きは、結局彼等が分裂主義者であり、左翼大衆を排除せんとする試みの當然失敗に終るべきを物語るものである。

又無産大衆　たてこもる勞農一派が日勞黨一部幹部との取引きに失敗して、その一枚看板の統一大方針の馬脚を露はして徒らに反動的右翼結成を助長してゐる如きは社會民主主義の批判に反對し、大衆と大衆との共同鬪爭を無視し、幹部間だけの所謂感情の融和のみに依つて合同を謀らんとする「勞農」一派の一般的の全破綻を暴露するものである。

かくて今や日本勞農黨並に我が準備會が、とり來つた「共同鬪爭の展開のみが合同の推進力である」との方針が、如何に正しかつたかゞ、完全に確認されるに至つたのである。

現在日勞黨々員諸君は、青森、東京、島根、鳥取等到る處に於て準備會並に諸地勞農政黨の即時合同實現を熱望して居り又關西、宮城その他の地方に於て社會民衆黨員諸君は、中央部に向つて、全階級戰線の統一を要求してゐる。これこそ共同鬪爭の收獲なのである。

而して、我が準備會は、大衆のひたすらなる支持の下に、勞農政黨準備の鬪爭を通じてその力を充實し更に合同運動に向つて一大巨歩を進めつゝあるのである。

茲に我等は、我準備會の戰線統一における任務の愈々重大なるを覺ゆると共に、統一の日近きにありと確信し、當面、日勞黨との合同實現のために努力し、且つ無産大衆黨、その他の諸政黨の全階級戰線統一への參加を切望するものである。

十月四日

新黨準備會本部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎憎讀せよく本書を憎讀して幸德の眞價を知れ。

◇攻擊の材料にせんと本書の憎讀を初めたる某大家も母への手紙に至るや忽ち卷を投じ一聲を飛して曰く『志士の決心同志の意識我れ之を堪へたり、孝子の心情烈母の決意に至りては我れ遂に之れを讀むに堪へず』と

解放群書(8) 故幸德傳次郎著 四六判 二百頁 定價壹圓送料拾錢(半額宣傳版あり)

新重版

幸德秋水書簡集

故秋水の私信祕文を集めて凡そ七十有餘通を得た。その文字の悲壯言々の肺肝に出ずるは改めて言ふを要せぬであらう。

〔一般内容〕

(一) 明治三十八年巢鴨監獄より同志知友に宛てたもの……

(二) 明治三十九年シアトル桑港等より故國に宛てたもの……

(三) 明治四十三年より四十四年迄最後の獄中(東京監獄)から知友親戚特に母に宛てたもの……

(四) 明治三十八年より四十三年間の書簡……

○夏草○小山久之助君を弔ふの記○兆民先生序……

○附錄大石誠之助遺稿……

◎幸德何者ぞ秋水何者ぞ彼れは只一個の傳次郎のみ

『解放群書』『宣傳用書』及月刊誌『解放』發行所

解放社

東京芝區新櫻田町十九
振替東京三六九四四番

理想郷を造らんとして 支那革命に從ふ (四)

福田狂二

馬上の劉狂民

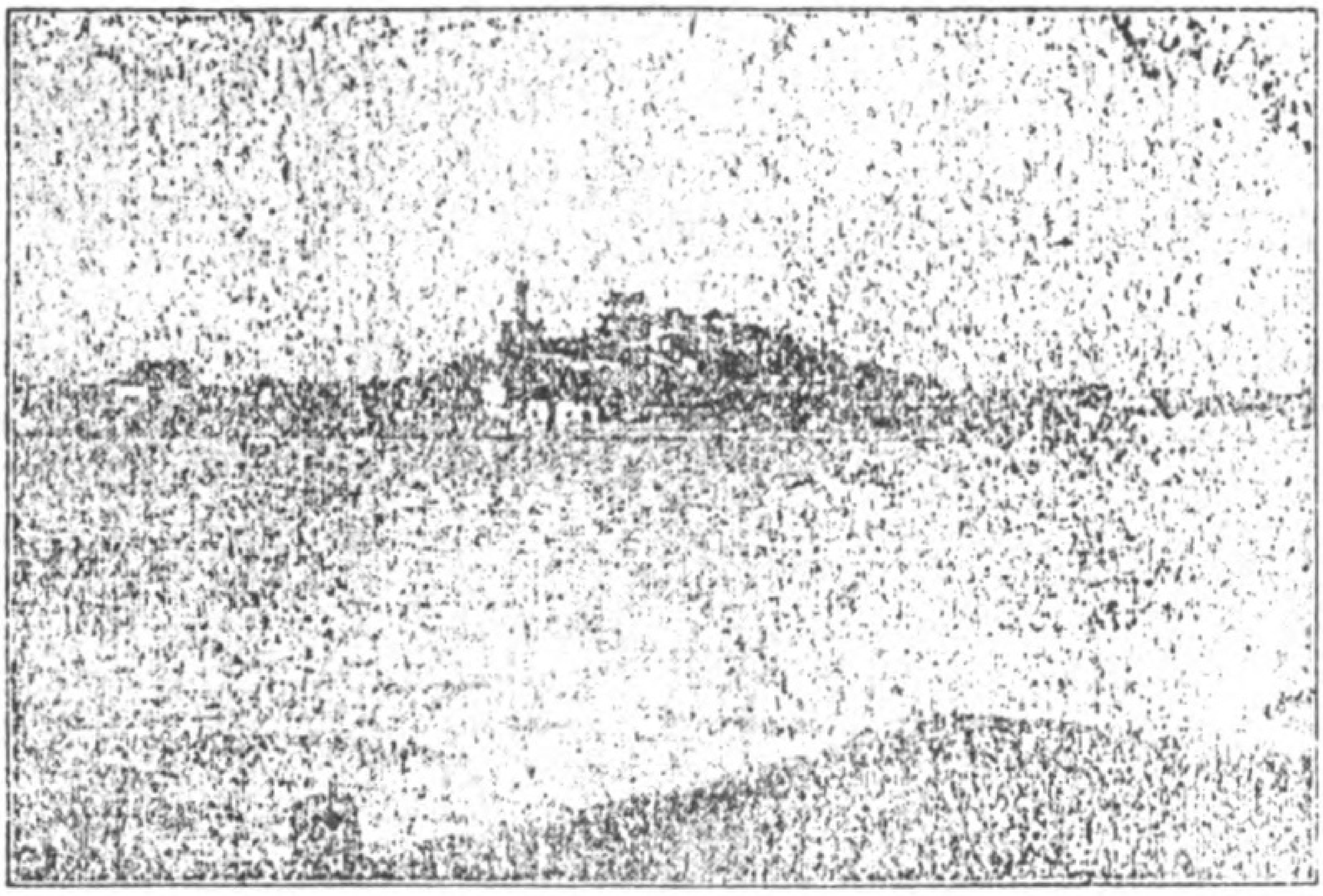
第三次獨立をして貰ひ度い」と云つたところ、陳師長は「これ迄二回も獨立したが、何時も主將が逃げ出すので、獨立しても何にもならない、又自分は、自分の首も危ぶないから出來ない」と言つた。私と何君とは種々と說いた、私は日本人である、中國革命を援助する爲に來たものであるとて、私の日本人の名刺を出し、又「日本からは機關銃、野砲、爆彈が商船に滿載して、今青島沖あたりに來つゝある、又金も上海から來る、少くとも三千万元は來るから、獨立すれば中國革命が完成するのだ。決して躊躇する所なく獨立されよ此處で獨立されたら君は武昌に於ける第一革命當時の黎元洪だ。君の將來は洋々、偉勳赫々たるものあらんと、滔々富婁那の妙舌を振つた。陳もいくらか、うなづいた。そうすると何君と低い聲で話し出した。五分間許もすると激論に及んだ。それは軍用金の事であつた

南京の旗上げ

六月三十日何海鳴君と日本人二十人で共に滬寧鐵道によつて南京に向つた。七時間許りで着いたが、夜もほのぼのと明ける頃であつた。一行は、下關、長田旅館と云ふ日本人經營の宿屋に投宿した。私は午後一時頃、何君と共に城内に這入つた。そうして、一時間許り南京の要所を見て歩いた。それから都督府に二人が這入つた。そうして、都督に面會を求めたところ都督は居らず、誰か居るかと言へば、師長が居ると云ふので、それなら師長に會はふと待つて居つたが、約三十分の後、師長陳子鏃が出て來た。此の人は髭もなく平凡な風采の人であつた。下僚七人許りと五人の兵が銃劍付きで應接室で會つた。で私は先づ口を切つた「我々は革命黨の者だが、南京の

師長は今何程か出して呉れ、たとへ五萬元でも十萬元でも良いから出して呉れ、兵は疲れているから早く俸給を渡さねばならぬ。何君は私の三千萬元來ると云つた事を、三十萬元上海から來ると云つた爲めに化の皮が現れて、師長の怒號となり遂に形勢一變した。「此小僧斬罪に處せ」とて吾々は矢庭に引き立てられて、監倉にぶち込められた。そして吾々は何時引き出して死刑に處せられるも知れない事となつた。私は一時は、監倉で、悶へたが最早如何ともする事が出來ない、只自若として運命に從ふ許りだと決心した。夜、監倉では蚊帳があらう譯がない又蚊帳を呉れる筈もない、南京の蚊は猛烈に突貫して來る。せめて明日殺される此身は、今夜を最後と安らかに眠らんものと思ふたけれど、蚊軍の猛襲の爲めに眠る事が出來ない又故國にまします父母に、私が南京で銃殺されると云ふことを知らせてやり度いと思つた。又自分は二十七年の生涯を空しく此處に朽るかと悲観もした。そうすると夜が明けて來た。朝飯を食つて監倉の壁に倚り眠りしながらもたれて居ると、將校や下士が何回となく來て見る、そして將校がなれなれしく話かけて私の生國籍に就いて詳しく尋ねた。それは私が日本に留學した關東人位に思つてゐるらしい。日本人だと云つてもなかなか承知してくれない。そして「愈々今日死刑が執行されるか」と聞いたら、今日は師長が出て來ないから分らないと云ふ。其の將校が立ち去ると私はせめて、あわてずに死なふと思ふて座禪を組んだ。そうして、生即死死即生と豁然として大悟した。そこには囚はれの身もない、天地萬物即是我、我是天地、我是萬物、私の心身は宇宙と一體となつた。其時の私の境地は安らかなものであつた。私が座禪を續けて居ると、私の呼吸が私の耳に這入る。私の身體は大宇宙となり、呼吸は宇宙の呼吸となる。かゝる境地は、死の褥に入りしものか、禪の深奥を究めし者ならではわからない處だ。又夜が來た。既に大悟した私は蚊軍の襲撃や、人生の執着は少しも私の睡眠を妨げない、夜の七時頃から朝の七時頃迄安らかに眠つた。

朝、眼が醒めると間もなく監倉の扉は開かれた、私は愈々死刑にさ



革軍の戰ひ取りし武昌

れると思ひ、營倉の外に出ると、下士兵卒が三四十名來て居る。そして私に敬禮する。實に不思議に思つた。營倉から一丁許り離れて居る室へ連られて行つた、私はせめて、死に直面する大丈夫の態度を示さんと悠然として濶歩した。一昨日陳師長と面會した應接室の隣りに案內された。何ぞはからんや、何海鳴君が再び起ち上つて私に握手をした。彼れ何海鳴は既に南京都督府の總大將と仰がれて居つたのだ。これは昨夜から下士兵卒が革命黨に味方して陳師長を殺した話は後で聞いたが、夜の十二時頃に陳師長の私宅に行き陳と其妻子迄も殺した。そして革命の赤旗は朝風に飜へつて居た。それで二十七歲を一期として死する筈であつた私は生き延びる事が出來た。私はかゝる不思議な運命に驚いてゐる暇はない。直に軍の組織に着手した。

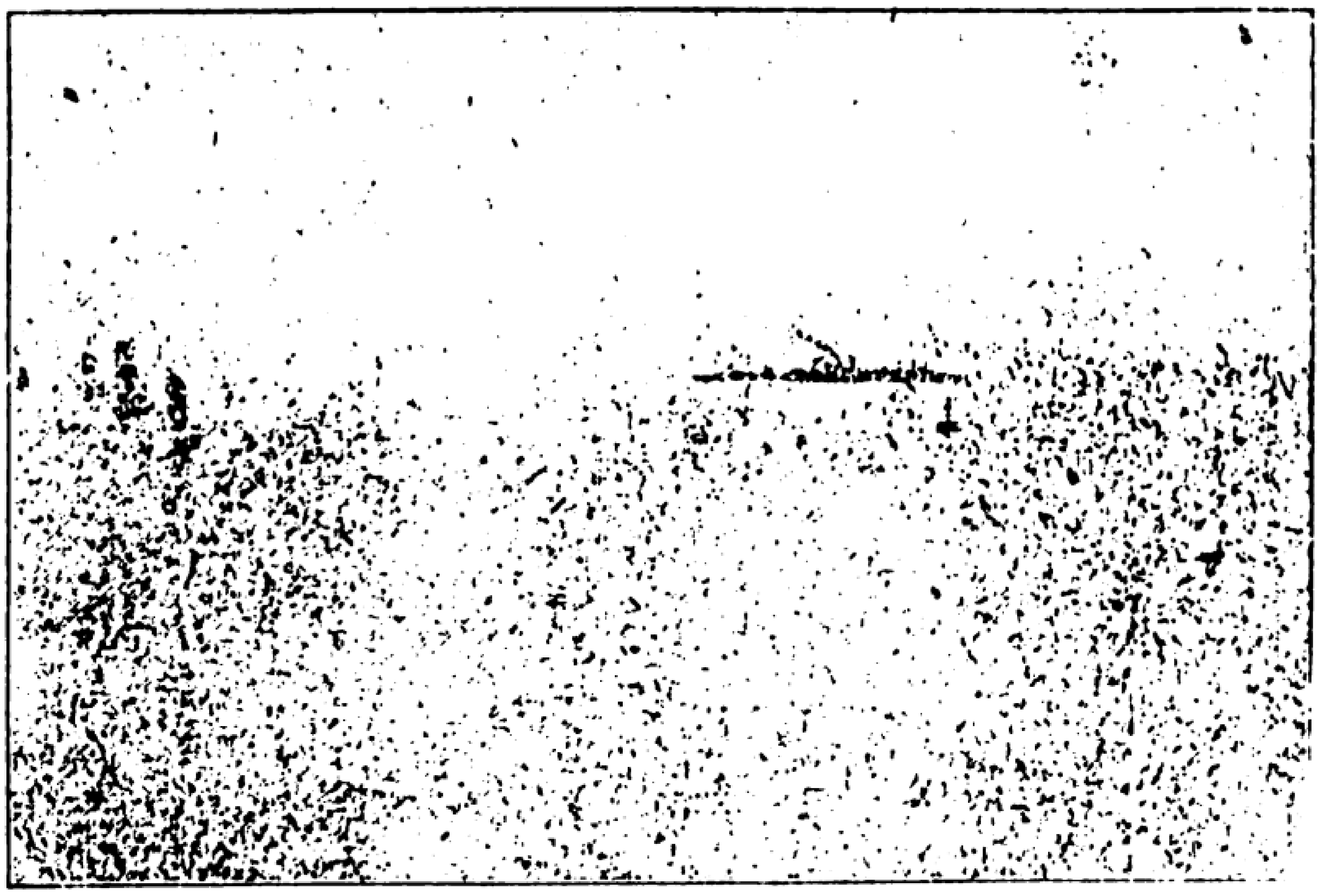
吾が總司令部の陣容

南京は三月以來黄興が旗上げをした處で黄興は支那全省に渉る革命軍の總司令である。南京に立て籠る者が當然革命軍の總司令たるべきだ。吾が何海鳴も討袁軍總司令にならなくてはならない。同君を陸軍上將(大將)に任じた、何海鳴君は軍人ではないから私に總司令になつて呉としきりに言つたが、私は日本人だから支那革命の總大將になると言ふ事は避けなければならない。私は今回の南京獨立を企てたけれども私がなつては士氣に關係するだろうと思つて斷つた。私が以後、上海に於ける武勳な皆が知つてゐるから、私になれくと言つたが、私は參謀長の方が面白いと思つて、それで討袁軍參謀總長となり、陸軍中將に任ぜられた。各官皆それぞれ任命された。私共を營倉に入れて殺そうとした陳師長を殺した高佐麟と云ふ中士(軍曹)は殊勳に依り特に上校(大佐)に任官し、團長(聯隊長)に補せられた。尚ほ兵卒から一躍日本の少佐大尉(小校、上尉)に成つた人もある。或は文官で佐官階級に進んだものもある。日本人は私が大佐以下少佐位迄にしてやつた。中には全く役に立たない人もあつたが、それでも支那の軍隊は日本人の居ると云ふ事で、士氣が盛んになるから致し方なく置いた。それから日本人で、北島勇作と云ふ人は日本の三等看護長をやつておつた事があるので軍醫監にして病院長にした。其の時の討袁軍の幹部を列擧すると左の樣なものだ。

總司令陸軍上將(大將)	何海鳴
參謀總長陸軍中將	劉狂民
第一師長陸軍中將	鐘　春
第八師長同	熊啓林
第十師長同	吳法輪
第十二師長同	梁孝衡
第二旅長陸軍少將	王春霖
第三旅長同	何仲良
第九旅長同	江　蓀
第十旅長同	黄少江
第十七旅長同	饒　政
第十八旅長同	余東一
第二十三旅長同	波　淑
第二十四旅長同	譚[illegible]絲
參謀副長陸軍少將	余孟有

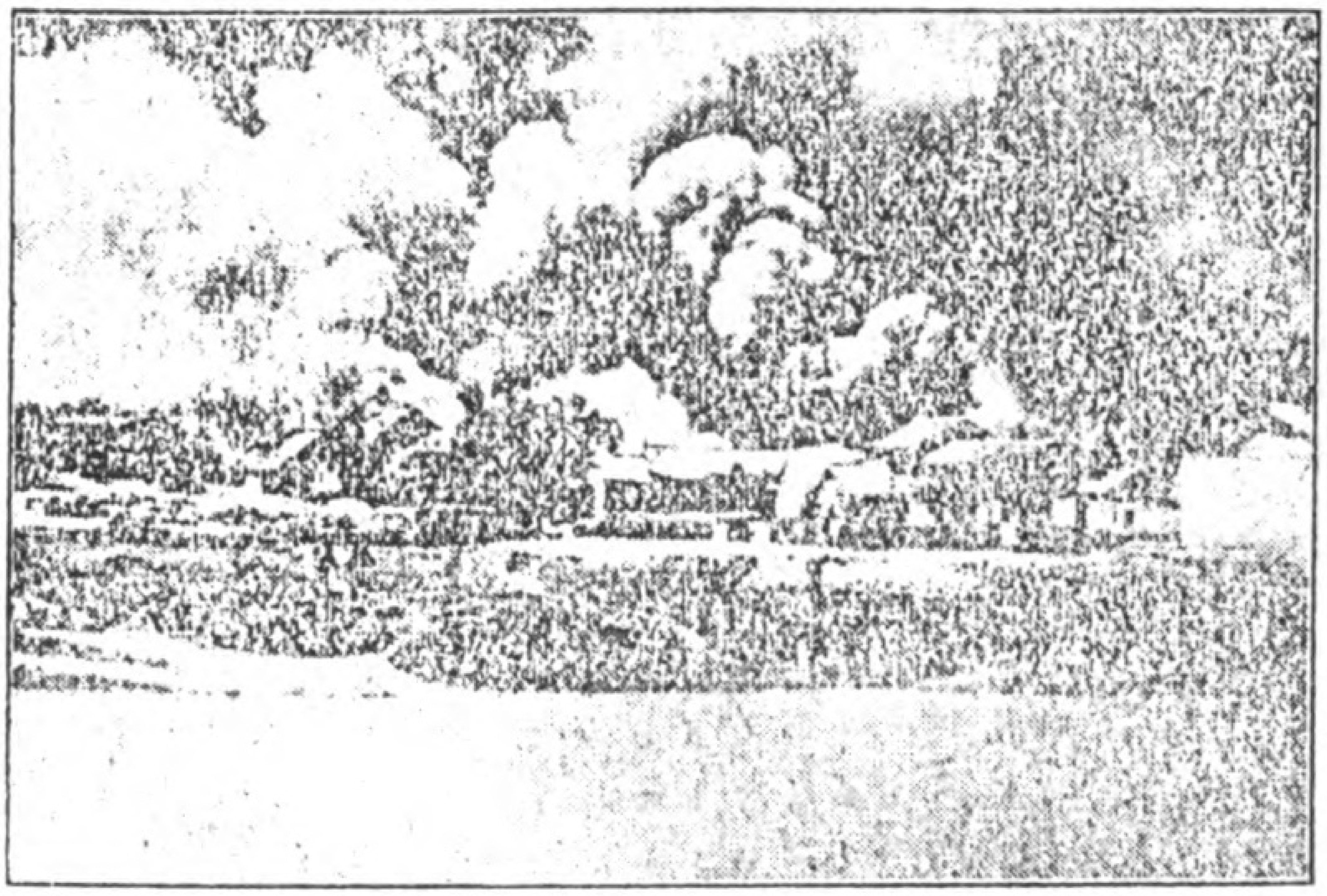
砲兵團長上校(大佐) 陳錫彭
騎兵團長同 施金祥
内務總長 余問超

以上の外團長(聯隊長)が十六人副官等の上校(大佐)もあつた。そして歩兵二萬三千、砲兵一連(中隊)騎兵一連總計約二萬三千余、他に輜重兵の代理をなす軍夫約五百人あつた。支那の軍隊では一師と云へば日本兵の一ケ師團と同じく約一萬人居らなければならない、度々の兵亂で少くなり、補充の道もなく、又財政も許さなかつた。小銃は一萬五千余七密加農砲六門あるのみだつた、他は無銃無劍の丸腰であつた。此の當時はこれでも武器の多い軍隊であつた。私は七月の八日閲兵式を行つた。都督府の前の廣場で行つたところ、捧銃の禮や、大隊教練等は日本の軍隊より皆よかつたのには驚いた。第八師長康啓林君が閲兵總司令で、何上將と劉中將(私)と余参謀次長と三人で閲兵する事になつた。ところが何上將の馬が動かない、此の馬はアメリカ人の馬だつたのだ、何海鳴君は初めて馬に乘つたので馬は言ふことを聞かない。前にも言つたが何君は新聞記者で軍人ではない。馭手の敬禮でさへ私が教へた位であつた。それで馬を下りた、そして私一人で閲兵することになつた。二十七才の私は四個師團を閲兵した。雄志勃々たる私は日本の主義者、同志等に之を見せたかつた位であつた。又日本の軍隊に一泡吹かして見せんと心密かに思つた。閲兵式がすむと日本の昔の軍隊にあつた例に倣つて私は金五千元を出して兵士をねぎらつた。そして吾々は都督府で酒宴を開き我が軍の前途を祝福した。翌九日何君と團長以上を集めて「今回の革命は單に袁世凱を討つと云ふことに止まらず、中國の社會組織を根本的に變更せねばならないことにある。諸氏も御承知の通り、我が中國は内政が紊れ外國の侮りを受けて居る。これは滿朝の悪政の結果で、今假に共和制を布かうとしても出來るものではない。吾々は、土地を國有とし、工場を國營でしなければならない。我が國は産業が發達しない、又地主の搾取が甚しい。農民は饑饉や不作、そして家庭の不幸や病氣になれば食ふに困る。そして善良なる農民も土匪となら


呉淞砲臺より擊破したる官軍揚子江艦隊「海圻」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なければならない。此の土匪が之迄革命にも參與したが、又革命を裏切りて居る。工場生產が離た振るはない、將來必ずや外國の資本に依つて資本主義が我が國に生れるに違ひない。そして新しい階級が出來るであらう。國民は資本家の搾取と外國資本家の搾取と二重搾取に苦しめられるであらう。之は先進諸國にあつたことで我が國も必ず來る。我が革命軍は單なる共和政治を目的とせず社會主義的民主國家を樹立する爲に努力しなければならない。若し吾々が此の目的を達することを得たならは、世界の壓迫されて居る人民は吾々の制度を自己の國內に布くに到るであらう。そして世界の平和を確立し、人類の自由と平等は確立せられるであらう。諸君の努力によつて必ず此の事が遂行せられるのである。此の世界を一變する大使命は諸君の双肩にかゝつて居る。どうか諸君は將卒を慰撫し、このことを徹底せしめられん事を希望する。これ迄眠つて居つた中華民族は全人類



上海機器局爭奪戰

を樂園に導く可く此處に門出をする、呉れぐ\も諸君の奮闘を望むと私は言つた。團員達は皆喜びの色をあらわした。そこで吾々は、又宴を張り將來を祝福した。酒を命じて痛飮し一時頃にしてやうやく宴を終つて各寢室に這入つた。

南京城のこと

これより南京の革命戰を說かねはならないから、先づ南京城の要塞を話そう。南京は、揚子江の下流江蘇省にありて、江寧府とも云つてゐる。揚子江の南で人口約五十万、後漢のときに孫權が此處に都し、以來屢々名前は變つたが、明の時代から南京と云つた。今から五十年前廣東に長髮賊と云ふものが起つた。首領洪秀全はキリスト敎を奉じて天帝の子と唱へ、共產主義的內容を有する彼一流の革命を行わんとして、支那十八省の內十二省迄取た。そして此處に都を定めた。淸朝も爲に危かつた。洪秀全は此處に居る事十三年に及んた。今から彼の事を思ひ彼を詳にすれは大本敎出口王仁三郎のような人物で目に一丁字なく理想も彼と同じたつた樣に思われる。淸朝は遂に英國のゴールドン將軍を招いて洪秀全を亡した。昨年支那學者後藤

明太郎氏が洪秀全の生まれた廣東省香山縣に遊んだりして洪秀全の事業を思ひ、又ゴールドン將軍が清朝に味方したのを惜しむと共に新聞に書かれた事がある。私は南京の城中にあつて洪秀全のことを屢々思ひ起した。南京は今個國民政府の置かれてあるところだ。恰度支那の中央にあつて、少し西にはあるが、支那全體を司どるには都合の良いところだ。日本で云へば神戸、大阪のような上海を控へて京都のある如く、京都よりも揚子江があつて便利なところである揚子江は以前にも云つたが南京の向岸浦口迄でも約二里ある。周圍十里二丈の城壁を以つて圍まれて六つの大きな門がある。その中央に都督府がある。城内の三分の二は幾度か兵亂の爲に燒かれて家はない。外人居留地は城外の江岸の下關と云ふ所にある。内外の汽船軍艦が輻輳して頗る盛觀を呈し、日英佛獨米等の領事館は城内にある。名所舊蹟は頗る多い。獅子山、雞籠山、鐘山、紫金山、天保山、燕子磯、靈谷寺、雞鳴寺、明の孝陵碑、莫愁湖、天武湖、清涼寺等、城の内外に散在して居る。旅人は常にこれに詣で、居る。一八四二年阿片戰爭のために、例の不平等條約は、此處で結ばれたのである。そして今此の不平等條約は此の南京に依つて破棄されんとしつゝある。此の地は云ふ迄もなく、政治、軍事、教育の一大要地であつて、昔から南京の大學堂があり、教育の最も盛んなる所である。國民政府が南京に首府を定めてから半年を經過しないが、將來首府としての形を備へるであらう。私共は此の地に依つて革命を起したのだ。此れから惡戰苦鬪愈々佳境に入るが次號に書く。

十一月七日を迎へて

森貞次

十一月七日は、今より十一年前の一九一七年に、勞働者、農民の國が、反動の牢獄を破つてふかくふかくうち築かれた日であつた。「これは今につぶれるであらう」こう云つて世界の資本主義者は冷笑し、絶へず干渉をもつて脅威した。然るに勞働者、農民の國は微動たもしなかつた。否、益々力強くさへなりつゝある。

これは全く世界の資本主義者にとつては、目の上のコブである。なんとかして早く、ぶつつぶして了はねばならぬと考へてゐる。色々なデマゴーギが盛んに飛ぶ。××の時には父を殺し、その肉を食つたなどゝ彼等はいふ。が事實は、秩序整然と行はれてゐた。一例として各家に入つてあまたの食物を奪取した時、或る者は、これを肩にかけ、ある者は之を首にまいて歩いてゐたが、一指導者が入つて、「それは全人民の財産である」と叫んだ時、大衆は秩序整然と外に去つたとの事である。

われわれは、支配階級の一切の機關の云ふ事を眞實なものとして受取つてはならぬ。無産階級にとつては、勞農ロシヤは正に力強い存在である。勞農ロシヤが潰れたら。「それ見ろ、」と無産運動のデマゴーギを盛んならしめるに違ひない、されば我々はロシヤを守らねばならないのだ。扨て、この意義ある十一月七日は來たが、我々は、これを單に列敗者的イデオロギイとお祭り氣分でさわいではならない。こんな事は何にもならない。××歌の高唱や、愉快ゴッコは自稱左翼ボーイのする事だ。眞に無産階級の解放を願ふの士は、先づ沈思一考して、浮ついた無産運動の眼、力を入れる事だ。無産戰線の統一へ。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會主義運動思出話（其五）

岡野辰之介

八、其の他の餘興

齋藤兼次郎が女房と二人で高座に上つた。亭主は尺八、女房は三味線、合奏をやつたが、兩人共七十近い老人で女房はたしか三ツ上だつたから、薩張り腰が立たず踊た振はなかつたけれども、兩人は得意滿面であつた。今や共に亡し。ア、。

岡千代彦がジヤパンダンスを踊つた。脚捌いほどには面白くなかつた。何しろ脚捌いは木場の出雲で育ち、小さい時から田圃の小川で實地を修練して居るのだから、全に手に入つたものである。會衆が飛び出してカツポレを踊る。一人踊ると亦飛び出す。さても盛んな會であつた。

其の翌年は常盤木倶樂部でやつた。服部が十二の樒といふ講談をやり、其の他にも色々面白い番組はあつたが、中頃民政會の壯士に襲はれ、堺利彦は入場せんとして毆打せられるし、滅茶々々になつてしまつた。

餘興が盛んな時は運動が深刻でない。餘興をやれないやうにし、やらないやうにされた時には、潜行的に實際運動が企てられるやうた。全くこんな遊びが運動上に効果を齎らさうとは思はれないが、之れも永い戰ひの間に、士氣の頽廢を防ぐ位の効果はある。扨、長々とつまらぬ話をした。これから少し本筋に入る。

第三齣　屋上演說事件

一、金曜會平民書房に據る

さる程に、金曜會の一黨は、金城湯地と頼みこしユニヴアサリスト教會も、搦手より敵の攻擊に會ふて一溜りもなく落城し、神田三崎町に在りし吉田屋に籠城することゝなりにけり。吉田屋は貸席に過ぎざれど、單に席料取れば足れりとするものにあらずして、同志

の如く何くれと世話し呉れたりしかば、此處に奮戰すること歳月嗚呼されど、頼む木陰に雨漏りて、遂に此處も逐はるゝ運命に立ち至りしこそ是非なけれ。

然るに曾て週刊平民新聞が全盛時代其の營業部長兼廣告部長として敏腕の聞こえあり、後ち獨立して本郷弓町（椎木横丁）に平民書房となん呼べる小版書肆を營める熊谷千代三郎は盟主と其の一黨が寄邊汀の捨て小舟、根城も無くて漂泊するを見るに見兼ね、己が二階を其の會場にと提供したりしぞ殊勝なる。（こう書くと琵琶歌にもなりそうだ）

平民書房といふのは改正せられた壹岐殿坂の途中から眞砂町に通ずる所で、這入つて左側には榊原子爵の邸宅があり、黒い古風な門があり夫れと向ひ合つて建てられた二階立ての三軒長屋であつた。眞ん中が平民書房で、自分の二階と右側の家の二階とを打ち抜いて借りて居た。だから店は狭いが二階は廣かつた。廣いといつても八疊二間位だつたと思ふ。其處へ同志の面々はいふに及ばず、一般讀者も加はり、其の上敵方の間諜でもが多く馳參じて殆んど立錐の餘地もない程の盛況であつた。

夫れは明治四十一年一月十七日で、午後の六時から開會せられたのである。例によつて警部一名、巡査一名、高等二三名が臨監の前に陣取る。山川均の開會の辭に次いで守田有秋君がユートピヤの話を始めた。此の話はトーマス・ムーアのユートピアの梗概で、殆んど何回か連續したのであつた。

「ユートピヤでは金銀財寶も何の價値もない。唯々勞働のみが神聖で貴いのである。であるから或る時アネモリア國の大使が、金色燦爛たる服裝をし、胸間に金モールの裝飾をしてやつて來るや、無邪氣なユートピアの少年達は、夫れが可笑しいとてカラ〳〵打ち笑ふのであつた」

「辯士中止ー此の會は解散を命じます………」

二、茶話會を開く

富と權を脱ぎ捨てゝ　自由の國に入るは今
正しき清き美しき　友よ手を取り立つは今
山をもい抜く大力に　天地もどよむ聲あげて
歌へや博き愛の歌　進めや直き人の道
迷信深く地に入りて　拓くに難き茨道
赤貧辛く襲ふとも　赤手苦しく貧むるとも
我が身は常に大道の　ソシアリズムを捧げつゝ
励むは近き今日の業　望むは遠き世の光
砲よ劍よいつまでも　國と國とはせめげども
我等は常に同胞の　四海友なる天の民
頼むは結ぶ手の力　かざすは高き義の心
富よ位よ地を占めて　よし今ひとり荒ぶるも
滴る汗に誠あり　打ちふる小手に命あり
行かで止まめや此の歩み　成さで止まめや此の叫び

こういふ歌を歌ひながら町界隈を數十人の若者が練り歩いてゐる平民書房から迷ひ出された連中だ。この歌は當時社會黨の愛歌とい

ふやうなもので、何れ如何なる會合でも歌はれたものだが、今から考へると甚な調で、文句とても微温なものであつた。作者は某呉服店の番頭さんで（木）といふ署名でよく歌や詩を同志の機關紙に寄せた。其の後木は仲間が助けて獨立し信州の方で呉服屋さんに成つた筈だ。

此の連中は再び平民俱樂部の前に來た。戸が鎖されて潜りが開いてゐる。其れから首を出すと警部が中に手帳を披げて待つて居る。名前を手帳につけられる。殆んど前に等しい會衆が集まつた。今度は演說會でない茶話會なのである。曾て神田で演說會を解散されたが會衆が去らない。仕方なしに茶話會を開くことにすると「一旦外へ出ればよい」といふ先例があつたのだ。

茶が出る、菓子が出る、せんべいが出る。會の費用で買つたのか熊谷が獻勞のつもりで出したのか分らない。

ツスツスー

ーカリ〱ガリ〱モリ〱ー

高笑ひ、低笑ひ、ウヘヽヽアハツヘヽヽ。

三、茶話會の解散

堺利彦が起つた。パチ〱パチ〱。拍手の音が盛んに起る。

「米國の恐慌を研究して見ると、實に面白いものがある」ドタドタ下から誰かゞ驅け上がつて來た。警部だ。

「解散を命じます。解散して下さい」

「チエツ！」舌打ちする音が、其處此處から起る。

「こんな馬鹿た解散ツたらありやしない。僕等は何十回解散されたつて一歩も去るもんか。此儘解散しい〱したら癖になる」

「サ、解散です、解散して下さい」

「一人一人引摺りおろし給へ。」

電燈が一時に消へる。

「解散して下さい、早く解散して下さい」

警部が上り口で哀訴して居る。一人も解散するものはない。

暗闇で落花生が飛ぶ。せんべいが舞ふ。

二三人で引き摺りおろしにかゝる。此方も二三人掛りで奪ひ返す揉み合が起つた。

先方は降口に近い方に陣取ある。味方は奥へ奥へと進む。イヤ引込む。子供のやる「子を取ろ、子取ろ」の遊びをやつてゐるやうだ。制服の數は多くなつた。併し何とも致し方がない。

「降りて下さい」を繰返すばかり。

落花生が追儺の晩の豆のやうに、時々バラ〱飛んで壁に當る。

其の内誰かゞ横の方に窓があるのに氣附いて夫れを開けた。道に面した方は格子戸に成つて居たが、其の横の窓から格子戸の前の屋根に出られたのである。窓の下は御隣りの屋根だ。

外には群衆が何事ならんと片唾を飲んで待つてゐる。

堺が屋根に出た。警官隊は屋根に出たものをドウにかしようと寄つて來る。同志は窓の所を十重二十重に圍んで近寄らせない。丸で

芋を洗ふやうな騒ぎ。時々狂的な女の叫び聲が聞こえる。堺爲子た

四、屋上演說

「吾々は社會主義者である。吾々はユニヴアサリスト教會で過金曜日に講演會を開いて居たのであるが、政府は我々を迫害して三崎町の吉田屋に逐ひ込んだ。然も彼は足れりとせず、其處をも迫害して遂に此處の平民倶樂部樓上に小集會を開くの餘儀なきに至らしめた。然るに彼等は二十若くは三十の吾々同志を恐るゝこと數十萬の大敵の如く、此處でも今宵も吾等の上に迫害を加ふるのである。

諸君！吾々は平民の友である。勞働者の味方である。吾々は弱者と共に其の敵なる資本家に對して宣戰する時、何故か政府は其れ等資本家を擁護し、吾々を迫害するのである。諸君！彼の電車を見よ、是が運轉手や車掌は皆吾々と同樣な勞働者ではないか。然も電車會社を所有して暴利を貪るものは株主と稱する資本家ではないか。諸君彼の電燈を見よ、金殿玉樓のみを照らす電燈は、勞働者が營々として機械の運轉を助ける勞力の結果ではないか。（註、當時電燈料金は斯る高價で、一般はラムプのみ使用して居た）彼の瓦斯を見よ、蒸汽を見よ、總ての工業を見よ、何れも勞働者の力に依つて仕事をして居るではないか。然るに勞働者が其れに依つて受ける所は幾何であるか？

諸君！資本家は高枕安臥して勞働者及び貧乏人の膏血を絞る。彼等は政府の手を借り法律の力に依つて勞働者を××する。彼等は軍隊を有し、警察を有し、猫の如く勞働者を迫害する。

あゝ諸君！政府－諸君平民の味方ではない。赤手な勞働者は此の強梁な政府及び資本家に對し、どうすればよいのであるか？何等施すべき術はないだらうか？否、否、唯一つある。それは何かといふとストライキである。

諸君！ストライキは吾々の唯一の武器である。若し電車、電燈、瓦斯其の他各種の工業に從事せらるゝ諸君にして、一日ストライキをするならば、社會の恐慌、資本家の狼狽はどうであらう？

諸君！吾々は團結しなければならない。互に相扶けなくてはならない。而して一朝團結して大ストライキを決行すれば、資本家は數日にして餓死するだらう。此時になれば彼等も軍隊を動かすことは出來ない。警察を以て吾々を迫害することは出來ない。其の時代は何の時代であるか。（吾々勞働者の時代だと街上から叫ぶものがあつた）其の時代は近づきつゝある。」

それから巡査諸君も吾々と同樣勞働者である、テなこともいつた。夫れは其通りであるが、當時官吏を以て任じたものもいたから、侮辱を感じたらう。勞働者としては質の能くない勞働者である。見れば椎木横丁には黑山の如く群衆が押し寄せて、屋上の演說に聞きとれて居る。

今日でこそ之れ位の事は少年少女だつて知つてゐるが、其の當時は如何に耳新しく、如何に卓見と聞へたか知れない。そしてストラ

イキなさいふことはストライキ節といふので知つては居るけれども果してドンナ意味か多くは知らなかつたんだから全く隔世の感サ。
山川均が代つて雄辯を揮ふ。
大杉榮が之れに次いで屋上に飛び出してドモリの雄辯を揮ふ。
堺が再び出る。山川が再び出る。大杉が再び出る。何んでも二三回づゝ代り合つた。
堺が「モウよからう。皆んな降りやう」といふ。皆ンな降りかゝる

五、検擧の手に手套

街上には澤山の私服が居る。非常召集をやつたのだ。階段を降りると例の警部が唯一人、帽子の顎紐をかけ、手套をヘメて上をニランでゐる。上り口が狭いので澤山の巡査は這入れない降りて來るものを一人一人握手するけれども、手套をヘメてゐるからスルリと抜けてしまふ。又陣笠はつかまへる氣もないらしい、頻りに上ばかり見て居るので、皆んな握られた手を振り切つて、潜り戸から外に出る。
いよ〳〵堺が出て來ると之れは離さなかつた。之れを逃がしては彼等の手前ドウにもならなかつたのだらう。堺の手を取つて外へ出ると其處には多くの同志が居て、之れを奪ひ返そうとする。先きは十數人で奪はれまいとする。堺の身體が八ツ裂きになりはしまいかと氣遣はれる。

× ×

「日本政府、支那政府同じある。私何もしらない、縛るイケません」
丁度堺が捕まつた時のやうな聲を出して、二人の巡査の手を振り離そうとしてる。言葉がヘンなのも道理、今は支那の革命政府で參議院議長か何かで時めいてゐる張繼だ。張は最後まで二階に籠城して、面白そうに南京豆の豆撒きをやつて居た。
夫れ！といつて二三の同志が張を巡査の手から奪ふ。今度は張も一所に成つて他の同志の奪還にワッショイ〳〵。
張は二三日すると警視廳へ出頭して、
「ワタクシ平民新聞でアバれました。ドウか縛つて下さい」
と申出た。併し賢明なる警視廳は彼を縛らなかつた。

× ×

警部（宵郷とかいつた）は堺一人が目當であつたらしい。尤も他の連中は知らなかつたかも知れない。そこで堺一人を一生懸命押へて奪還されまいとして居た。
其處へ山川と大杉とが現はれて、
「僕等も堺と同じことをしたんだ。堺一人を引張るとは卑怯だ。僕等を縛らないんなら堺も放せ。」
と喰つてかゝつた。
「夫れは出來ない」
「出來ないなら僕等も連れて行け」
こうして山川は一所に連れて行かれたのであつた。それでも何は

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大杉はお連れを願はれなかつた。

×　　×

二十名の同志は仲間の奪還に力戰して居たが、奪ふと奪はれ、取り返すと取り返され、トウトウ數名を引つ張つて行かれた。平民社から本郷まで、「政府は壓制である。吾々社會主義者を故なくして拘禁します。」「諸君、政府の壓制を見給へ、吾々社會主義者は何もしないのにかくの通り、拘禁します」色々なことを怒鳴りながら引かれて行く。自分が引張られて行くのか、誰か自分の知つてる者が引張られて行くのか分らない。實に從容たるものがあつた。

群衆は雲霞の如くつき從ふ。電車は止まる。店は何事かと驚いて急いで戸を鎖す。(註、電車は上野廣小路から來て、三丁目の所で曲つて、松住町の方へ行く線しか出來て居なかつた)

×　　×

大杉は警察の入口につゝたつて、
「諸君!」と一ツやると、
「貴樣も一所たな!」
とはかり奥へ連れて行かれてしまつた。

×　　×

守田有秋は二六新聞記者の名刺を持つて岡野辰之介と連立ち署長に面會を求めた。署長は居らず、他の警部が出て會つた。

「今晩檢束せられた人々は、直に返されることと思ふが、ドウでせう」

「調べて見た上でなければ何とも御答へが出來ません。」

「モシ長く止めて置くやうでしたら、そのやうに新聞に書かなければなりませんから、御考へを聞かせて下さい」

「マア大したことはあるまいと考へますが、調べて見ませんと何とも御返事が出來兼ねます」

當時二六新聞はマダ全盛時代の餘威といふやうなものがあつたから、警察を威するに都合がよかつた。

六、同志の損失

同夜引張られた面々は左の六名であつた。

堺　利彦
山川　均
大杉　榮
阪本清馬
竹内善朔
森岡永治

そして堺、山川、大杉は三ケ月。阪本、竹内、森岡は二ケ月、治安警察法違反といふことに成つた。

これで金曜會の大頭は殆んど羅致されてしまつた譯である。併し金曜會が全滅したといはれては、天下に對して申譯がないとなつて、同志演說を續けることにした。中心は守田有秋で、岡野辰之介、戸恒安藏、佐藤悟、椎橋重吉等で一座を組織し、次の金曜日に再び

平民新聞で講演會を開いた。

然し、中止！解散！ホンの五分か十分で叩き出された。然も彼等は戰法を改めて、例の窓の近くに伏兵を置いたから、屋上演説は再び出來なかつた。

どうも熊谷の野郎が不都合だ。警察とグルに成つてるんぢやないか。テな事を言ひ出したものがある。そう考へて見ると色々不審な點もあるので、何れも大いに憤慨して平民新聞ではやらぬことにした。

×　　×

其の次ぎは神田錦町の松本亭でやつた。此處では例の更級が出張つたけれども、其の筋の方針が中止解散一點張りにキマツたものと見えて、敬愛する更級警部も何時になく、細井警部が何かシヤベルと「辯士中止を命じます」「解散を命じます」

かくて金曜會は、闘將の出獄まで鳴りを潜めることゝなつた。

×　　×

七、青柳と戸垣

青柳（警部）は二十日ばかり前に巡査から警部に成つたんだとは熊谷のいふ所であつた。そして屋上演説事件で少からず脳を痛め、心臓病となつて二ケ月にして死んだといふ。これも熊谷からの通信であつた。

×　　×

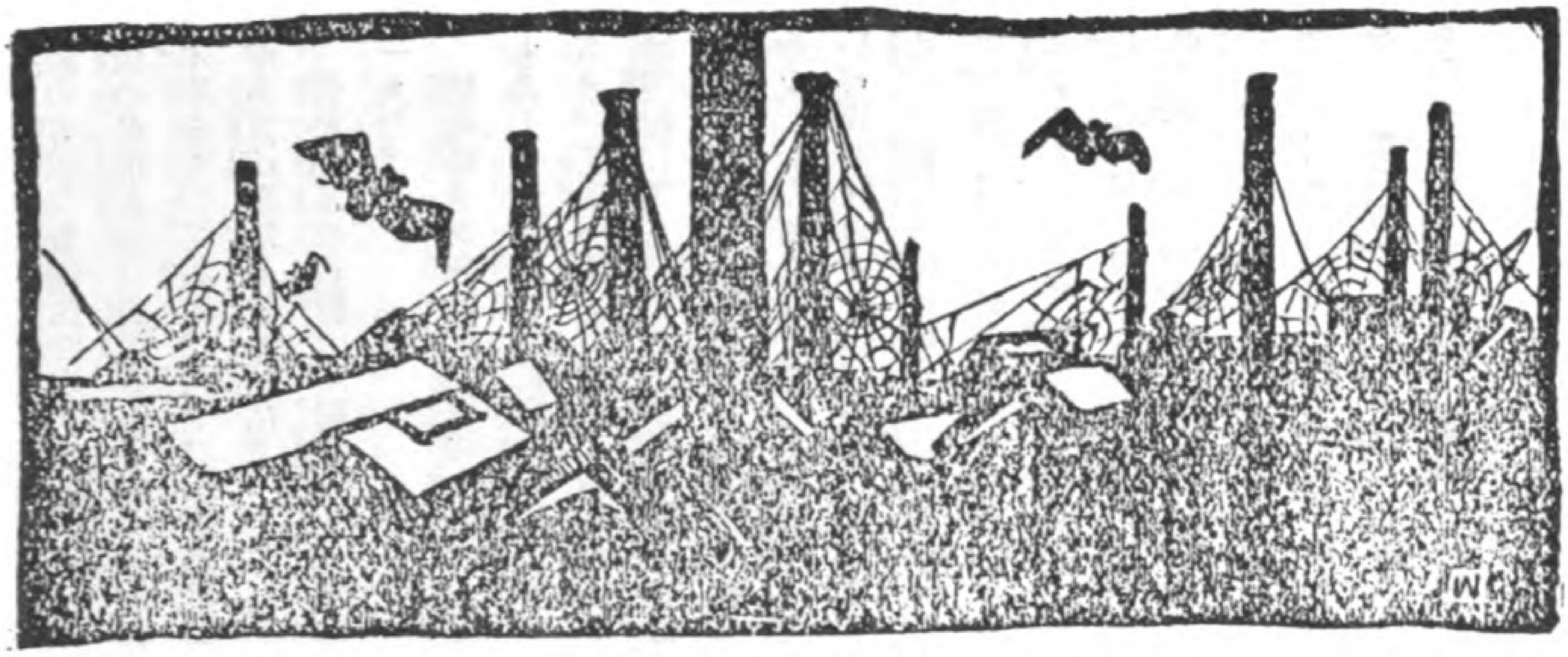
戸垣、渡邊　栃木縣佐野の産で、小兵であつたが敏捷なこと夥しく、赤旗の時にも巡査がバレて旨く逃げた。勿論屋上演説の時にもつかまらなかつた。そして平民新聞の第二回に堂々と無政府主義であることを宣言した。當時無政府主義といふは何の事か分らなかつたと見えて、青柳は戸垣の宣言を平氣で通過させ、守田のユートピアで中止解散を命じたのである。

戸垣は明神下の常陸屋といふ下駄屋の職人で、下駄を作つたり入齒をしたりしてゐた。此の事件後幾何もなく獨立して、下谷御徒町は三稲から鐵道線路の方へ這入つた所で下駄屋を開業し、結婚し二三人の子供も出來たが、遂に肺病で死んだ。（未完）

「日勞大衆」創刊計畫進む。

關西に於ける日勞黨の黨員の間にあつて、計畫された日勞大衆なる戰闘的機關紙は來る一月より創刊さるゝ由である。吾人はその輝かしき姿を一日も早く見んとするものである。

發行所　大阪市東淀川區十三西の町一三一番地



創作

導火線となつた男

平野吉三郎

一

溝臭い大川端の、兩岸かけて、監獄の様な冷酷な目つきをした工場が不規則に並べられてゐた。その中で、軒並の工場を威壓する様な傲慢な態度をした、大川製鐵所の建物は一際、高く、人目を引いた。

角張つた赤煉瓦の煙突、頑丈な鐵骨の、鐵板製の煙突の間からはみ出した工場、そして夜は赫熱した溶解爐が工場全體を火事場の様に照し出す。それは見る者に、貪慾な野獸の胃の腑を想像させた。毎朝、その厳めしい鐵門をくゞつた、ナッパ服の群は、夕方、油粕の様にクタ〳〵に消化されて、排出された。

全世界のプロレタリアが、虫けらの様に打ち殺されることによつて生じた、大戰中の好況時代、洗鐵でしこたま儲けた社長久保田仙造は、いゝ加減のところで洗鐵に見切りをつけて、といふより、ボロ鐵溶かしの足を洗つて、鐵管工場に鞍換をしてしまつた。

初め、個人經營であつたのだが、現在では資本金壹千萬圓、株式會社大川製鐵所となり、屑金屋、久保田仙造は一躍その社長に出世した。東京市に納入された、鐵管の大部分は彼の工場で生産され、大阪分工場、關西の各都市に下水道管、水道管を供給して幅を利かせて居るのだ。

だが、彼の工場が此の様に素晴らしい發展をしたのに關らず、貪慾な、完全に資本家型の彼は十年

前の劣悪な労働條件を、鋼鐵の樣に頑固に保守する。從つて此の工場の労働者達は誰でもが、此の劣悪なる労働條件に對しては、常に不平をもつて居た。たゞ、彼等はその不平を、その不滿を、爆發させる方法を知らなかつた。
　若い職工の吉野も、爆發しさうな不平をふんたんに押さへて居る一人だ。
　朝七時カッキリに、下の小母さんの金切り聲で目を覺ますと、顔もろくすつぽ洗はずに大急ぎで飯をつめこむ、そして辨當を受け取ると、工場の門まで一息で馳けつけるのだ、今詰め込んだ飯が例へば逆行しても、それは工場の門限と何等の關係もない。
　彼は時々考へて見る。「俺達はまるで屠殺場へ飛び込んで行く、牛見たいなもんだ、朝の七時から、晩の五時まで、奴隷になつて稼いで貰ふ賃銀が一圓二十錢。搾つて、搾つて、搾り拔かれた擧句が去年、老朽淘汰とかで、首になつた、藤さんや松爺さんの樣に、猫の額程の目腐れ金で、放り出されるんだ、工場なんぞ屠殺場だ、資本家なんてまるで鬼の樣な奴等だ。そう言ふと、此の前、選擧の石田さんに見せてもらつた新聞、たしか〇〇新聞とか言つたつけ、あの新聞にも、何處かの工場主のことを吸血鬼と書いてあつたつけが全く、生血を吸ふんだ。奴等は泥棒だ、強盗だ、怠者だ、て遊んではかり居やがつて、俺達がへたばる位働いて出來る儲けを大きな面をして貪つて居やがら。俺ア石田さんの樣に本も讀まねえし、偉くもないから、六ッかしい理屈なんぞよくわからないけれど、働いて出來た品物は皆な働いた人間のものになるのが當り前だとは思ふんだ。働かねえ奴等になんぞ、一ッたつて、取られちやいけねえと思ふんだ」彼は斯うした考へを時々は、クレンで運搬でもする氣で奴鳴ることもある。勿論ハンマの響でクレンのうなり聲で誰にも聞へないが。

二

　彼は電氣クレンの運轉手だ、だから、外の連中の樣に、カンカンハンマも振らなければ、スコップで鑄型に使ふ砂運びもやらない、然しその仕事は決して樂な仕事ではない。
　四階建の天井に燕の樣に掛け渡された、幅二尺のクレンが彼の仕事場だ。ドロドロに溶けて太陽の樣に燃え立ち、沸ぎり立つ鐵の一ぱいに入つた大取瓶を釣り上げる、下からは現場監督が無闇に喚きたてる。
　「卷け、卷くのだ」「オーライ」「北だ、北だ、」「ゴースタン」「オーライ」「もう一寸堤の方へ寄せるんだ」、「オーライ」「雨!雨!（降ろす意）」「オーライ」、一寸でも聞き違へたら大變だ、溶鐵は鑄型へ注ぎ込まれずに、地上に撒かれ、下に居る職工は大砲で打ち殺された兵士の樣な屍にしてしまふだらう。
　やがて、溶鐵が注ぎ込まれる、ダイナマイトの炸裂を見る樣に火花が、四方に飛ぶ。黄色の濛々しい煙が、その後から天井の隅々まで這ひ廻り、クレンと、運轉臺に立つた彼を全く地上から隔離して

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

しまふ。阿硫酸瓦斯を多分にふくんだ煙は、彼を肺病患者の様に咳込ませずには置かない。ゴホン、ゴホン、瓦斯臭い咳をしながら、彼はうす暗い電燈の光の下に、ヘンドルを押すのだ。

斯うした、朝七時から夕方五時まで、正味十時間の天井生活も昼飯の四十分の休みに丈け、地上の人間になることが許されるのだ。

彼にとつて、その四十分は工場内の一番愉快な、楽しい時間なのだ、それは勿論、吸つても咳の出ない、瓦斯の臭ひのしない空気を腹一ぱい吸へるといふこともある、又、辛い労働であらうことを豫想して附いた弁当に、黄金色のカツレツを見出すことゝ言つた様な希望を抱けるといふ理由もあるのだが、此頃になつて、一層、昼の汽笛の鳴るのをもどかしがる様になつたのは他にも理由があるのだ。

川向ひの紡績会社の汽笛は彼の工場の汽笛よりも確實に十分だけ早く鳴る。だから彼は紡績のポーが鳴ると、自分の工場のポーが鳴らなくとも、慌てゝクレンをおりる、そして汗とほこりと、煙で、まるで雨に會つた泥人形の様な顔を、すつかり洗ふと、人の目につかぬ様に、工場の東側に積み上げられた、鐵生子の山のすき間に身を屈めて、裏の露地へ出る。そこは相當廣い空地になつて、雑草もある草が一面に茂り、煤煙と、砂ほこりに汚された此邊近邊には珍しく生物の緑の呼吸をすることが出来た。後は、鐵材の山で、彼の工場と仕切られ前は石鹸の空箱とブリキ塀でさへ切られてゐる。

彼は此の叢の丁度真中頃にある、赤い錆の浮いた小さい池の岸に坐つて弁当を開く、そして思ひ切り大きな深呼吸をする、斯うして、彼は、彼の戀人が、その可愛い姿を現はすのを待つ。

お加代は、十九だ、親爺が印刷職工で、阿母は去年二十二になるお加代の姉を頭に十五の男の子、十と八ツと三ツの子供を残して、死んでしまつた、姉のみさは半分馬鹿で、未だ寝小便をする、十五の弟は奉公に出したが、三人の妹弟と白痴の姉の世話をしながら、お加代は工場に通はなければならない。だから、お加代は蒼白くて干からびて居る、たゞ、瞳と唇が、彼をして女らしい美しさに仕上げる。

織工場と石鹸工場は此の空地をはさんで隣り合つて居る、吉野は空地で弁当を食ふのが好きだつた。温順しいお加代も仲間から離れた此の叢で食ふ事になつて来た。二人は何方からとなく待ち合せる様になつた。それはつい一月ばかり前からだ。此の出来たての戀人達は、たつた、四十分の休みの時間中に、大急ぎで、いろ／＼のことを話合はねばならなかつた、それは實にいろいろのことであつた。お互に弁当のお菜を見られることを氣にしながら。公休日には何處かへ二人で行きたい、といふことや、彼女の父が頑固で、その上妹弟達が多勢居るので、そのお守をするために夜はとても出られないことや、さては彼の身の上話まで、等々、いつも決り切つたことを話すのだが、いつも四十分の時間では話し切れないことばかりだつた。

「お加代ちやんところのお父つあんは俺達の結婚を許して呉れるたらうかなア」

「さア！でも許して吳れると思ふんたけれど、」
「たつて隨分やかましい人らしいからなア」
「そうね」あいまい相に首をかしける。
「若し許して吳れなかつたらお加代ちやんは何うするの」
「お父つあんなんぞ、許さなくたつて、私きつと、行くは、逃けてたつて」
「ほんとう、怪しいもんたからナア」
「そんなことないわ、私きつと行くわ、えゝきつとよ」
そして二人は息をはずませて互に誓ひ合ふ。が然し、此うした話の後にはすぐ二人は憂鬱な甘たロマンチツクでない問題につき當るのた。
「たけど、困つたなー」
「何うして？」
「何うしてたつて、俺は一圓二十錢なんたぜ、月に四十圓にならないんた」
「そうね」。
一圓二十錢で世帶をもてぬことは、餘りによく判り切つて居る。然し、それたからと言つて、二人が戀して惡い理由は少しもない。
彼は此んな話が出ると必ず昂奮して會社を罵倒した。
彼奴等は俺達が人間の生活をすることさへ出來ない樣に仕樣さしてるんた、朝から晩まで、こき使ひやがつて、一圓や一圓二十錢の日給で、誤魔化そうてんた、そのくせ、彼奴等は一週間に一遍はかり一寸會社の安樂椅子にふんぞり返るたけで儲けた金を全部、汝の物にして了ふんた、彼奴等はまるで俺達を食ひ物にして生きて行くんた、丁度野良犬の背中にたかつた、たにの樣な奴等たよ。彼奴等は勞働者を搾取することなしには生活出來ないんた」。
終ひの方の文句は彼には此頃聞いた言葉でよく判らなかつたし、氣障な樣な氣もしたが、戀人の手前も考へて、石田さんの言葉をそのまゝ融通した、此頃ちよく／＼、近所に住んで居る石田の家に遊びに出かける樣になつてから、石田達の熱心な敎化は、彼にも勞働者の意識が注ぎ込まれ、目覺めて來たのた。
たが、お加代は、そういふ話が戀人の口から出ると、まゆをしかめた。
「たつて貴方、そりや仕方がないわ、あの人達はお金持ちですもの、私達たつてお金持になりさへすれは、そういふ生活が出來るぢやないの。」彼女にはそれは仕方のない、何うにもならない事であつた、「金持なんたから」、金持は、主人は、何んな無理をしても貧乏人はあきらめが肝心たのた。彼も斯う言はれて見ると、返答に困つた、自分が金持になりさへすれはそれでいゝ譯た、たが、彼は何かしら、不滿がのとの下につかへて居る。
「たつて、金持なんぞ、吸血鬼ぢやないか」
彼は眞紅になつて叱鳴つた。
「貴方が、そんなことを言ふと、まるで社會主義者の樣たわ、私恐ろしくなるわ」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼女は眞實に恐さうに身體をふるはせた。さうだ、社會主義は恐ろしいものだ、だが、然しそれは、誰の言ふ言葉だ。

三

二人の戀人が一圓二十錢の日給では、新世帯をもてぬことを、嘆いて居る時、工場の内でも、解雇や、鐵管の壁に固まつた連中が、何うやら張つた世帯が行き詰つたことを語り合ひ、そして一樣に、一圓二十錢の日給に憤怒を感じて居た。

工場内の自覺分子、石田やその同志達は斯うした情勢の中に、自分達の仕事をドシドシと進めることを怠りはしなかつた。謄寫版ずりの工場新聞が、彼等の手から手へ渡された。小さな、赤い表紙のパンフレットが、職工服のポケットに、スパナと同居した。工場の風呂場が、倶樂部になり、そこでは猛烈な、アヂがなされた。そして、石田の家に、毎週火木土の三日間、研究會が開かれることが誰れからともなく傳はつた。

石田の家の集會に眞先きに出席した一人に吉野も入つて居た、彼はそこで、驚く可き、事ばかり聞かされた、それは彼が今まで植えつけられた、觀念を根本から覆へす樣な、理論であつた。然しそれは決して恐ろしいことではなく彼を今までになく、愉快にする樣な話であつた。集會のあつた翌日、彼は朗かな氣持で、お加代に、昨晩知つたばかりのことを話して聞かせた。

「ね、俺達が貧乏なのは、俺達の働きが足らないからぢやないんだよ、そして、やつぱり金持は、俺達の血を吸つてそれで、ぜいたくしてるんだよ、俺達の貧乏なのは彼奴等を蹴飛ばさなけりやならないんだ。俺達が働いて金持にならうなんてことは、まるで夢見てる樣なもんさ、それよりも、俺達の上に乗つかつて、俺達の企ひ物をふん奪くつて居る、奴等を、地獄へでも放り込んでしまふのが、大切な仕事なんだ。俺ア昨夜、石田さんの家へ行つてすつかり敎はつて來たんだ。石田さんの話を聞いてるさ、俺ア胸がスッとする樣なんだ。世の中のカラクリがすつかりわかるんだからな。お加代ちやんだつて、プロレタリアなんだぜ、だから一緒に力を合せて、奴等と戰はなけりやいけないんだ。」

お加代は泣き相な顏をして居た、彼女には、普段、口數の少い溫順い、自分の戀人を此んなに、恐ろしい人間にする者の力が恨めしく、又不思議であつた。泣いて、そんな恐ろしいことを敎へる場所へ行くのを止める樣に、賴むより仕方がなかつた。

貧乏な印刷工を父に持ち、日給五十錢の石鹼工場の女工であり、勿論、今の樣な生活でなく、もつと／＼自分達の良い生活の出來る世の中を望んでは居た、然し、押しつぶされ、虐げられ、自分を侮る者に尾を振ることに馴らされた、ひしやげた魂は、正しく自分の姿を凝視することを妨害した。

彼女にとつて、社會主義者は、警察の手にも負えない無頼漢なのだ、そのゴロツキの仲間に自分の愛する男が入つて行くことを何うして默つて居られよう。それに、もつと彼女にとつて、耐えられな

いことは、此んなことが會社に知れ、首にでもなつたら、一圓二十錢の給料どころか、當分二人の結婚に望みがなくなるのだ。

吉野には、此のわかり切つた、なんでもない話に怯えて泣いてまで自分を止める彼女の氣持がわからなかつた。でも、泣かれて見ると、彼ももて餘した。

「いゝよ、もう行かないからね、そんな話しもしないよ、大丈夫だよ、」然し彼の様な若い、熱情を持つた、しかも、爆發する様な不平を抱いて居る男には、戀人の涙も、そう永い間効能は持續されないものだ、といふことは直に證明された。その後とても彼は、集會の度毎に石田の家に出掛けた。

今まで、彼の机の上に列べられて居た、宮本武藏や塚原卜傳の武勇傳、立志美談、等が影をひそめて、剰餘價値の話、だとか、無產者政治必携、といふのが幅を利かせた。

お加代の心配が、又一つ殖へた、此頃になつて、彼女は公休みに空地に來ても、一人で辨當を食べなければならない日が、多くなつたからだ。その樣な時、吉野は、六十吋管の中で、四、五人の、職工達にとりまかれて、最も有効な、四十分を過して居た。

四

ダイナマイトの爆發には導火線を必要とする、プロレタリアとしての自分をはつきり見出し、彼奴等に戰ひを宣する場合にも、大ていの場合、導火線とマツチが必要だ。

大川製鐵所の勞働者達は、その、苛酷な勞働條件の下に、動搖をして居た。そして、石田達の、目覺ましい活動は、工場の內部に、大きな力を潜び込ませることに成功した。然し、多くの勞働者達は、不平をつぶやきながらも、永い間に、彼等の腦髓を犯した、ケライ根性が、主人の幻影に怯え、起ち上つて、自分の頭の上に躍る惡魔共を、地上にたゝきつけるに躊躇した。

五

兩岸の石垣の見えなくなる程、潮の滿ちた、大川を、コークス船を曳いた、曳船が、ゆつたりと、下航して居た。高く紫色に澄み切つた十月の空を、赤トンボが、ツイ、ツイ、ツイ飛び交つて居た。たから誰れでもが、此んな、景色のみ見て居たら、五分後に、突然若い人間の命が、最も殘忍な方法で、奪はれることなんぞ、想像も及ばないであらう。

大川製鐵所の天井で、吉野は窓から見える此の樣な景色を見ながら、相不變、ハンドルを握つて居る。

「雨だ！」「オーライ」、ガチヤンと、ヘンドルに力を入れると鎖が、鈍い金屬性の音を響かせて下りる。二三人の職工が駈りよつて、大取瓶の手に、鈎かきを入れる「オーライ、卷いた」、たが何うしたことか、鎖は卷き上らない、機械ん、ゴウン〳〵妙な音をする丈けだ。

「オイ何うしたんだ」手をラツパの樣にして叱鳴る。

「少し、いつもより多いんだ、今日から、中管は百本になつたんだ」

今まで、此の工塲で出来る鉄管の数は大管、三十本、中管八十本、小管が百本、位だつた、それが今日から急に中管が二十本増しの、百本になつた、それに又、今までと同じ時間中に、仕上る可く會社は努力してゐたのだ。

「無理だ…二度にして呉れ」

「だつて監督の野郎、、」野郎、といふのを危く、郎丈けを引込めた、現塲監督の姿が見えたからだ。

「何をぐず〳〵してゐんだ、おうい。吉野、何してゐんだ、今日から、仕事が多くなつたんだ、ぐず〳〵してりや、五時までには、切り上らねえぢやねえか、急け、急くんだ」、彼は下をのぞいて居た首を縮ひて引つ込めた、仕事を増したのは汝等の勝手ぢやねえか。再びハンドルを戻す、何うやら、巻き上る。

「オーライ」クレンはその老軀を、おつくう相に、ガタ〳〵させながら、首をふり〳〵、動き出した、「オーライ」、林立した、型の上まで来て、止めると吉野は、自分で釣つて居た荷物でも下ろしたやうに、ホット吐息を吐いた、そして、窓の下へ行つて、風にでも當らうとして、ブレキを入れた、その時だ。グワン！とまるで、工塲が破れる様な素晴らしい音響と同時に、工塲の隅々まで、真紅に照して、溶鉄が太陽の破片かと、四方に飛び散つた、七百貫の溶鉄の入つた、大取瓶、とそれを今まで、持ち耐へて居た、クレンが凄じい勢で地上へ放り出されたので、使ひ古されて、もうろく爺の様になつた、クレンは、その過度の負擔に堪えかねて、悲鳴を上げて地上に転げた。

投出された、ドロ〳〵の溶鉄は、毒蛇の様に砂の上をのたうち、噴火口の様にグツグツと泡立ち、にえ上つた。水蒸気と瓦斯は、工塲を暗くするまでに、覆ひ包んだ。

めい〳〵の仕事を放り出して、職工達は一せいに、駆けつけて来た、たが誰もが、むせ返る様な臭気と焼けつくやうな火の気に、傍へ寄れなかつた。

煙が納まると、火の池を中心に寄り集まつた、朽木の様に横はつた、クレンの残がいが除かれると岡野と大谷といふ二人の職工が、一人は両足を折られ、一人は大火傷を負ふて呻き廻つて居る。監督の渡邊が、砂の中で目を廻して、ひつくり返つて居る、そして、砂の上に出来た、未だ盛んに火花を散らして居る溶鉄の池を見た時、皆、均しく、顔を蔽ふた。

吉野だ。吉野だ。いや實際は誰だか、不解いのだ。面も、胴もピシヤ〳〵につぶされたのに、溶鉄の中でビフテキの様に、焦けて居る醜い屍なのだ。

醫者が来た、だが、それが何うなるのだ。監督が阿呆みたいに気がついた丈けなのだ。

岡野と大谷の爺や阿母も喚きながら駆けつけた、哀な老人達は砂に埋まつて居た。「誰が殺したのだ、俺のせがれを誰が不具者にし

たのだ」誰れ彼れの、區別なく、狂犬の樣に叱鳴つた。明日から、誰が、飯を稼ぐんだ。

隣りの工場では、お加代は、自分の戀人の斯うした死も知らずに包裝紙を折つて居た。そして、彼等の社長は、伊豆の溫泉宿の二階で、藝者とふざけて居た、電話で、此のことを知つた彼は、面倒臭そうに舌打ちをした丈けだつた。

六

翌日、會社は、負傷職工に八十日分の日給。死んだ吉野の遺族に日給の二百日分を支給することを發表した。

人間一人の生命が二百四十圓だ。」

そう〱爆發する時が來た。彼等は、自分達の生命の定價表を示されたのだ。

二百四十圓の正札は、工場のもつとも臆病な勞働者をも奮ひ立たせずには置かなかつた。

檄文が公然と工場の隅にまで張り出された。

翌日の晝休みには直に從業員大會が開かれた。

十二時の汽笛が鳴ると、石田や、四五人の若い連中が、各仕事場をかけ廻つて、叱鳴つて歩いた。

「おい、仕事を止めろ、皆んな裏の空地に集まつて呉れ、吉野や岡野の事で相談したいんだ。直だぜ、外の連中は皆な集まつてるんだ、仕事なんぞ何うでもいゝんだ」。彼等は自分の仕事を放り出して空地へ走つた。其處は四五日前まで、吉野とお加代が辨當を食べた、あの空地だ。

もう誰の口から何も言はれぬ先きから、彼等には今何が起きやうとして居るか知つて居た。そして人々の顏には戰場にのぞんだ、騎士の樣な決心の色が閃まれた。

石田が先ず、其處等に轉けて居る空函を二ツ三ツ積み重ねて、その上に立ち上つた。五百人近い人間の熱狂した顏が、それをとり卷いた、誰からともなく、一齊に拍手で歡迎が湧いた。彼は熱した口調で、會社が吉野の死を、彼の過失として誤魔化し、僅の手當で片付け樣として居ることを、そしてこの問題は決して個人の問題ではなく、やがて我々全體にもかゝつて來る問題であること。そして此の際、我々は今まで忍從して來た、あらゆる、不平と不滿を打つけて會社と徹底的に戰ひ、劣惡な勞働條件を一掃して終はなければならないことを語つた。

聞いてる中にも、皆の胸は會社に對する憤怒と、今眼前に見る、自分達の固く結ばれた團の力強さに、燃えて居た。

二人、三人、熱狂した顏が、壇上に飛び上つた。話すことに馴れない、彼等は、たゞ無暗に手を振り廻す丈けだつた。然し、それは何んな雄辯な演說よりも力強く彼等の心臟を打つた。

「社長に談判しろ!」誰かゞ叱鳴つた。

「そうだ、會社へ押しかけろ!」

「彼奴等を打ちのめすのが、吉野に對する何よりの供養だぞ!」

「そうた、そうた」

「〇〇を溶解爐の中へ、打ち込んでしまへ」

「ヘンマで〇〇を打ち殺すんた」

彼等を此のまゝで放つて置いたら、何を仕出すか知れない、石田は再び、空函の上に立つた、聲が一しきり落ちついた。

今まで彼等の中にあるものは、危險人物の肩書付きの石田を恐れて居た、又ある者はよく理屈を言つて誰をでも閉口ます、彼に反感を持つて居たものもあつた。然し、今、彼等は一樣に、指導者としての石田を、おやぢの樣な親さと、力強さを持つた目で見上た。

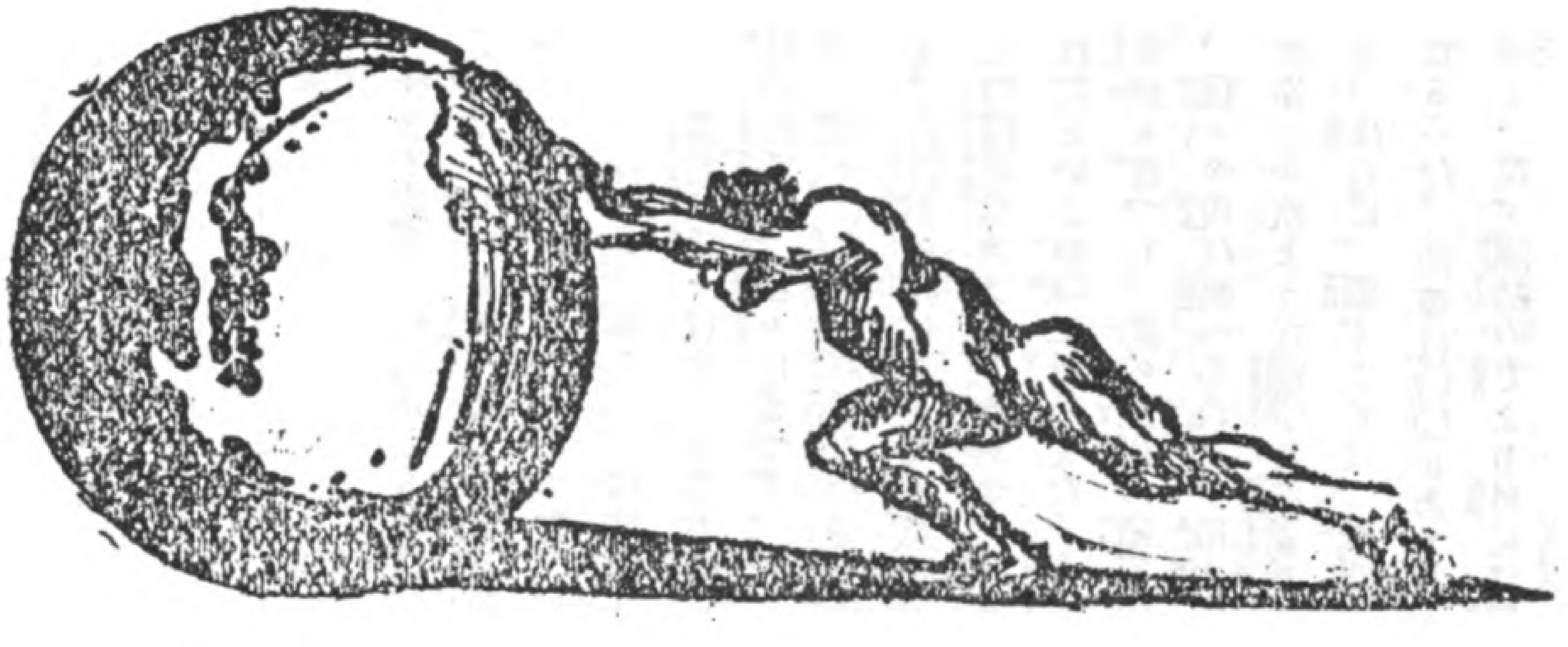
「諸君、我々は今、大事な時に相遇して居るのた。吉野君の扶助料の問題は、我々にとつて、成る程、大切な問題た、然し、それ以上に我々は大きな問題を持つて居るのた、然し、それたからと言つて、吉野君の死は決して無意味ではなかつた。我々に彼奴等の仕組んた殘忍なカラクリを見せ、我々をその大きな問題に直面させて與れたといふ意味に於いてた。大事な問題とは何であるか、それは、先刻も言つた、此の工場の總ての勞働條件の改廢なのた。それこそ、我々の現在與へられた、最大の問題なのた。此の問題の解決には彼等との執ような鬪爭を必要とする、秩序たつた、鬪爭を必要とする、徒らに、騷ぐことは、彼奴等の手に乘つて、自分を縛ることゝになるのた、彼等は〇〇がある、〇〇もある、その力に對抗するものは、たゞ團結の力より外には無い、諸君はお互に、固く、固く、固く、團結しなければならない、團結こそは彼奴等に對する、我々の最大の武器なのた。諸君は、今後幾日かゝるか知れない此の鬪爭の期間あらゆる、會社の彈壓をはねのけて、最後まで裏切らずに、戰ふ丈けの覺悟があるか」五百人の聲は一せいに叱鳴つた。「大丈夫たぞ」。石田は續けた。では、此の中から、代表者を擧けて、その人選によつて、會社への要求書を作らせ、直に會社と交渉することにする。然し、それは當然、會社で拒絶するであらう、その時こそは、我々は、工場の隅々までも、ヘンマの音一ツ響かせぬ樣にするのた。」拍手と、歡聲が、再び石田の足下に湧いた。その時た、狂犬の樣に吼えながら、若い女が、石田を押しのけて空函の上に立ち上つた。お加代た。三日も前に吉野が、死んたことを、彼女は今まで知ることが出來なかつたのた。そして、毎日、孤りで、淋しく、窓で待つた彼女は、今日こそは、と、期待して空地に出て、始めて彼の死を知つたのた、彼女のいろ〳〵な、樂しい希望、空想の幹であり、生命であつた男が、死んたのた。秋晴れの空が、急に地獄の樣に灰色になる樣に感じた、然し、力強く叫ぶ、職工達の、叱鳴り聲は彼女に勇氣を與へた、そして皆の話を聞いて居る中に、愛する者が、如何に慘めな死に態をしたか、殺したのは誰であるか、彼女はそれを今はつきり知ることが出來たので。眠つて居た、虐げられた者の意識は、猛然と起き上つた。

「皆さん、あの人の仇を討つて下さい。彼奴等が殺したのです、彼奴等が殺したのです。」

今こそ彼女の、ふみにじられた、魂は、奴隷根性から解放されたのた。そして、野に放たれた、兇暴な野獸の樣な怒りとなつて、かつては、自分の愛する男の口から出ることさへも、恐れて居た、〇〇〇〇の軌道を爆進する。人々は無言の中に事情を理解することが出來た。そして更に〳〵固い決心の色を、面に輝かして、仕事場に雪崩れて行つた。

(一九二八、九、三〇)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



戯曲

盗人とお仙

一幕 二場

土佐和芳

お仙
亀松
清子
盗人
其他刑事数人

第一場

蜂巣長屋を思はせる汚い家、漆のはげた膳で盲目のお仙と九ッになる息子の亀松とが朝の食事をしてゐる、上手の障子際で三ッになる清子が寝てゐる。

お仙。(四十近くの見るからに栄養不良を思はせるやうに痩れた女、根盲目とみへてさも不自由らしく手探りをしながら粥を食つてゐる。――やがて食ひ終って)亀松。お粥はもうないのかへ?

亀松。(貧乏人の子に似合ぬ頬が丸々肥へて、悧巧さうな顔をしてゐる)また、あと一ぱい位あるよ。

お仙。ぢや、お前おあがり、お母はもういゝから。

亀松。(土鍋の粥を茶椀に移しながら)お母、今日は又昨日の處へ行くの?

お仙。さあ、――あそこの大工は悪い奴ばかりで金を呉れないから、何處か外の普請場へ行かうと思つてるんだがね。

亀松。それぢや、過日の處へ行くかへ?大山組の普請場へ。――だけど向うは恐いね。すぐ巡査が来るんだから。

お仙。なに、巡査が來たつてかまはないよ。こつちの商賣の邪魔すりや、警察の方で捉つて貰へはいゝんだから。さうすりやこんな嫌な思ひをして働く事もいらないし、何の心配もなしに行けるんだから。――たけどお母は向うの暫時出へ行くのはあまり虫が好かないんだよ。この眼がこんなに潰れたのも向うへ行つた祟りなんだからね。（思ひ出したやうに）さうたつたよ。今は何處へ行つてしまつたか居らないけれど、向ふにゐた安と云ふ大工は、それは惡い奴でね。何時行つたからつて金も寄越さないでさんざ人を弄者にしやがつて、そしておまけにこんなに眼まで潰れるやうな恐ろしい梅毒を染しやがつたんだが。ほんとにあんな忌々しい奴つてありやしなかつたよ。――しかし何だね。こんなにまで人を害した奴だから何處の果てへ行つたからつてキット罰が當るに定つてるね。

（少時の間沈默が續く）

鐵松。家も他家のやうにお父つあんがゐて呉れたらね。

お仙。その事たけは云はないでお呉れよ。お母はお父つあんの事を云はれるとほんとに殺されるやうに情無くなるんだから（少時）たけどお前がお父つあんの事を口にするのは當り前たね他家の子供のやうに晝は學校へ行けるんた無し、夜は夜で夕刊賣にまで出てゐるんたから。――とにかくお父つあんは辛福さ。たとへ死刑にせられて死んたにせよ、今は苦しい思ひもつらい思ひも判らないんたから。何と言つても、お母のやうにこの世からぢり／＼嬲り殺しにあつてる者が一番不仕合せなんたよ。

鐵松、うちのお父つあんは、どうして死刑になんかなつたの？

お仙。（言葉に躊躇して）そりや人を殺したからさ。

鐵松。どうして？

お仙。どうしてつてさ。

鐵松。それを聞かせてよ、お母。

お仙。お母はこの事たけは誰にも言ひ度くはないのたが、お前がそれまでに言へは言つてあげるがね。それは、お父つあんが行つてた鐵工所に、同盟罷業と云つて、職工がみな一緒に仕事を休んでしまつた事があつたんたよ。

鐵松。どうして？

お仙。それはね、戰爭のあつた仕事の忙しい時には、職工を牛馬のやうに夜晝なしに酷使つて、戰爭が終んで少し仕事が隙になるとやれ職工の賃金を値下げするとか、やれ人減らしをするとか云つて、職工を苦しめたからさ。たからうちのお父つあんなんかは、どうでもこのストライキに勝たねはいけないと言つて、先頭に立つて働いたもんたから、工場は一ケ月以上も戸が閉め切りになつてゐたよ。それで工場主の方もいよ／＼我を折つて、もう少しでこちらの要求通りになる處たつたんたが――やはり運の惡い者は何處迄も運が惡いんたね。惡賢い、卑怯な工場主は自分の手下を澤山ストライキ組の方へ廻して、金に餓へてゐる職工達に金を掴ましてし裏切をさしたもんたから、みる／＼うちにストライキ組は

崩れてしまつて大きな敗をしてしまつたんだが、今考へてみてもあの時程悔しかつた事は、後にも先にもない位だつたよ。

それから、うちのお父つあんはすぐ工場の方を首にせられてしまつたので、あまりの悔しさに、その裏切者連を煽動てた工場の事務員の奴を殺したんだが、お上はやつぱりお金持の味方さ、そのためにお父つあんはさう〳〵死刑にあげられてしまつたんだよ

鶴松。それからどうなつたの？

お仙。それからお母は一生懸命に働いたさ。土方に出てまでね――だがまもなく病子が出来るし、それが手足纏ひでどうする事も出来ないから、今のやうに知らぬおぢさんにまで身を任すやうになつたんだよ。（少間）だが、お父つあんを殺した裏切者も、いつまでもいゝ事はないとみへて、過日の大雨の日に、上澤の踏切りで飛込み自殺をした上杉と云ふ男もさうなんだが、あれらはみな自分で、自分の墓穴を掘つて入つて行くらしいね。

鶴松。（食べ終つた食器を片づけて）お母それぢやもう行くかへ？

お仙。行かう。ぢや病子を負してお呉れ。

鶴松。ねてゐる乳呑児をソツト抱いて母親の背中へ負はす）よくねてゐるよ。

お仙。さうかへ。それぢやそつとしてお呉れ。起るとうるさいからね。――この子さへなければもう少しは思ふやうになるんだけどお父つあんも殺生だよ（子を負ひ終つて）さあ、行かう。

鶴松に手を引かれて行きかける。

この時、正面の破れほうけた押入の襖が開いて見るからに人相の悪い労働者の盗者のやうな男が現れる。

男。（行かうとする彼等に）ヲイ、待つてくれ。一寸な（驚き立止る）

男。俺あ、お前さん達にチヨツト聞きてえ事があるんだ。

お仙。（刧へ切つて）誰だね。お前さんは？

男。俺かね。――俺は――さうだな、盗人だ。

お仙。ゑゝ、盗人？

鶴松。恐い（母親にすがる）

男。シーツ、静にして呉れ。俺はな、なにもお前さん達の物を盗らうとも、どうせうとも思つてやしないんだ。たから俺の尋ねる事を聞いて呉れ。

お仙。（少し落着いて）だが、お前さんは何時何處から入つて、一體どこにかくれてゐたんだね。

男。俺かへ、俺は昨夜からこの押入の中でねてゐたんだ。

お仙。まあ、昨夜から。

男。さうだよ。俺は昨夜××町で大きな仕事をやらかさうとしたんだが、さう〳〵ヘマを踏んで此處まで逃て来たんだ。

お仙。（やがて其處へ坐り）そしてお前さんは聞き度い事があるつて、そりや一體何の事だね。

男。それかへ、そりや何でもない事だ。――實は、俺がさつき押入の中で聞いて居れば、お前さんの死んだつれあいと云ふのはどう

やら××の鐵工所で一緒に働いてゐた青山清吉君に話が似てゐるんたが、もしやお前さん達はその家族ぢやないのかへ？

お仙。えゝ、青山清吉？それは私のつれあいたが、さう云ふお前さんは一體。——

男。俺かね。俺は青山君と一緒に工場で働いてゐた三木と云ふ野郎なんた。たが俺たつてあのストライキで、同じやうに首切りの憂目をみた奴さ。

お仙。まあ、お前さんも？

男。さうたよ。——ぢや、やつはりお前さん達は俺の思つた通り青山君の家族たつたんたね。

お仙。あゝ、さうよ。

男。(傷しげに子供らを見ながら)青山君もこんな可愛い子供を殘して死んで行くのは嫌たつたたらう。(獨言のやうに)たがさう云ふ俺も今に青山君の二の舞をやるんたな。

お仙。(不審らしく)たけどお前さんは、何故そんな盗人なんかしてゐるんたね。？

男。(苦笑しながら)これはなんにも俺が好き好んでなつた理由ぢやない、唯これより外に仕方がなかつたからたな。

お仙。何かして働いた方がいゝ亦はないの？

男。働くつて、俺には働く處がないんた。

お仙。さうして？

男。さうしてつてお前さん、あのストライキの發頭人と云や警察ではみな注意人物になつてるんたぜ。たから何處の工場へ入つたからつて、高等の名刺が一枚舞込んで來りや、もう其あくる日からは首さ。(少間)(次第に感情的に)そんな具合たから俺はもう馬鹿らしくなつて、仕事を探して歩くのも止めた。そしてウンと酒を飲んでやつたね。金がなけりや人に借りをつけてまで。——たから俺はよく喧嘩をやつたもんた。そして腹立ち紛れにいつも相手の奴には大きな怪我をさしてやつたよ。たから俺はもう何もかも忘れてしまつて、面白いその自分の生活に有頂天になつてゐたもんた。たけどいゝ事はいつまでもないとみへて俺にはさうさうその面白いのんきな生活が續けられなくなつてしまつたんた、と云ふのは、俺が酒さへ飲めば警官はすぐ檢束するやうになつたんた。そして一月でも二月でも南京虫や、蚊のウヂヤ〱してゐる面白くもねえ豚箱へ入れやがるんた。たから俺たつて考へたよ。こりやこんな面白くもねえ處にぶち込まれて、ひもじいなりに護つて貰ふより、外へ出て何か俺にふさわしい商賣をやつた方がいゝとね。それで考へたあげく思ひついたのがこの商賣さ。(少間)たけど、何たぜ。俺がこんなになつたのも今考へてみりや、自分のせいぢやないと思ふんた。みな惡い社會が俺をかうしたんたと思つてるんた。何と云つても警察は罪人の製造所たからね。

(少時沈默が續く)

男。俺は、昨夜××町の紡績會社の社長の家へ入つたんたが、奴さん達の家で來ちやさても立派なもんた。百燭の電燈の下ではでつ

かい金庫がギラ〱光つてあぐらをかいてやがるし、そしてどれもこれも眼につく物が値打物ばかりだ。——俺は思つたね。「ある處には使ひ切れぬ程あつて、ない處にはビタ一文もないのが金だ」と。だが、それから其次に俺の頭の中に映つて來たものは、埃にまみれて、汗みどろになつて働いてゐる哀れな紡績女工の姿だ。俺は思はずこんな事を口走つた。「資本家の搾取の罠にかゝつて喘きもがいてゐる哀な女工よ、俺は今お前達の搾取された生血の幾分かを取返してやる」とね。そして俺は力を込めて金庫をこぢあけやうとしたんだ。だがとう〱家の者に見つけられて、仕方なしに外へ飛んで出ると、運悪く警官に嗅ぎつけられたので此處まで逃て來たんだ。しかし何せだ。此頃の俺としては昨夜のやうにヘマを踏んだ事はほんとにありやしないんだ。

お仙。ぢやお前さんはもうたいぶ人の物は盗つたんだね。

男。そりや盗つた。だけど資産家の金は我々貧乏人が當然貰ふ可きはづの物を、色々な方法に依つてせしめられた物なんだから、何らかまはないと思つてるよ。——何と云つても俺らのやうな盜人はまだやさしいんだ。上の奴らと來ちや、机に坐つて帳面の上から何萬圓、何十萬圓と盗んでゐやがるんだからな。

お仙。さう云や、さうだね。

男。だから俺はこの商賣はあくまでもやるつもりなんだ。それが俺としての——いや我々貧乏人が彼奴らに對する復讐かも知れないと思つてるんだ。(急に態度を變へて)時にね。こゝに金を十兩持つてるんだが、俺はお前さん達のやうな人に使つて貰へば結構だと思つてるんだから、どうか遠慮なしに納めて呉ないかへ(懐口から十圓紙幣を一枚出す)

お仙。十圓?

男。なに、驚く事はないよ。取つといてお呉れ。それからお前さんも食はねば生きて行かれねえからそんなつまらない事をするのだらうが、もうそんな嫌な眞似はせぬ方がいゝね。それからこの子供もこんな小さいのに夕刊賣なんかに出す事はいらねえ。學校へやつてやるんだ。

お仙。何から何まで——だけど、こんな金を貰つて。

男。大丈夫だ。とかくこの世はよく〱苦しみながら生き長らへるよりか、たとへ命は短くとも、面白く樂く暮す方がずつと生甲斐があるもんだ。だから及ばずながら俺がこれからはお前さん達の面倒を見てやるさ。(少間)俺はこの年になつてもまだ誰を養はねばならんと云ふのだなし、ほんとの獨身だから、そこの處は大丈夫だよ。

お仙。ぢや、お前さんは私を救けてやらうと云ふんだね。このどん底のくらしから?

男。さうだ。とにかくこれからは樂くおかしく暮さうよ。(愉快らしく笑ふ)

お仙は處女の如き態度となりて俯向く。銀松はふしぎさうに二人の顔を見比べる。

第二場

前と同じ。數時間經過したる夕方。お仙はカンテキの火を破れ團扇でバタバタ仰いでゐる。龜松は俎板を坐敷の眞ン中へ持出して葱を切つてゐる。盗人の男は何處へ行つたのか見へない。

お仙。龜松。早く葱を切るんだよ。

龜松。あゝ。

お仙。今晩は久し振りで御馳走が食べられるよ。――うれしいね。

龜松。（葱を切りながら）お母、あのおぢさんは何處へ行つたの？

お仙。何處へつて知らないけれどチヨツト行つて來ると云つて出て行つたんだが、すぐ戻つて來るだらう。――だけど何だよ龜松よこれからあの人をおぢさんなんて云ふんぢやないよ。お父つあんなんだから。

龜松。お父つあん。？

お仙。さうだよ。だから何でも云ふ事をよく聞くんだよ。

と、この時盗人の男が慌しく戸外まで走つて來る。そしてやがて、平氣を粧ひ入つて來る。

男。今歸つたよ。

お仙。（扉を開くと急いでカンテキを横の方へ廻し）あゝ、お歸り遅かつたね。

男。もつと早く歸るつもりだつたんだが、チヨツト用が出來たもんだからね。

お仙。さあ、ご飯の用意も出來てるんだよ。

男。さうかへ、ぢや飯にせう。

龜松は葱の切つたのを鍋の中に入れて、それに少量の牛肉をまぜてカンテキにかける。

男。（龜松を見て）龜松はえらいね。今に孝行者だと譽められらあ

お仙。いゝにほいがするね。私やはづかしいことだが、牛肉なんて物は長いこと食べたことがないんだからね。

男。（笑ひながら）牛肉位だつたら毎日食べられるよ。なに、牛肉だなく共、外に好きな物があればどんどん食つたらいゝんだ。

と、この時靜かな空氣を破つて合圖の笛が聞へる。

男。（キツトなつて）笛が鳴つてるな。

お仙。どうしたんだへお前さん。

男。ひよつとするとこりやヅキが廻つたかも知れないよ。

お仙。えゝ（怪訝しく）どうせうお前さん。

男。なに、大丈夫だ。心配する事はねえ。

と、この時數人の刑事が表と裏から一度に入つて來る

刑事。三木貞吉、縛につけ。

刑事四方から寄つて集つて彼を壓へやうとするが彼は激しく抵抗をするので小時は激しい格鬪が續く共ために電燈は消へ子供の泣聲女の悲鳴、暗黒の裡にも物凄い空氣が漲るやがてそれらの物が靜になると、一人の刑事が懐中電燈を照すので繩に縛られた彼の顏が物凄く現れる

男。さあ俺は縛られた限りお前達の物だ。どうなとしろ。

刑事。おとなしい奴だ。さあ行け。

彼は刑事に護られて悄然と歩いて行く。やがて暗黒の中から呟く如くに彼女の泣聲が聞へる

お仙。あゝ、私の夢はとう〳〵破れてしまつた。そして私は又どん底へつき落されたんだ。嫌だ、嫌だ。一體私達をどうして呉れるんだへ。

彼女の泣聲は暗黒の中にも長く續いて行く。

――幕――

一九二八、九、二十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯ノート

秋深し風雲に滿ちて肌の寒きを感づるの時、民衆の生活苦に窮乏す。然るに歌聲をあげて歌ふは誰ぞ

×

無産陣營の合同問題、愈々出でゝ愈々多岐、大衆的討議の舞臺として本誌を活用されん事を望む。日勞黨擴大中央委員會、總同盟大會、日本農民黨大會傍聽記三つ、蓋し本誌を飾るものならん。坂倉良一氏は關西における總同盟の一幹部特に名を秘めて寄稿あり、辻井民之助氏は先に新勞農黨を脫して、日勞黨に加盟せられたる人、勞働運動の老將

×

十月一日より實施せられし陪審法の批判を三輪壽壯氏によつて寄稿された。陪審法の本質は遺憾なく暴露されてゐる。

×

無産階級運動に關する一切の寫眞を送つて戴きたい。雜誌を大衆的ならしめる爲めにそれは必要である。鬪士の面影、演說會、集會示威運動の寫眞等何んでもよい。同時に戰報で說明を忘れるな。

×

今月號に載せるつもりで、麻生久氏日勞黨擴大中央委員會及び大阪の軍官學校等の寫眞をいたゞいたが、都合で載せる事が出來なかつたのを甚だ遺憾に思ふ。麻生氏及び日勞黨の諸氏に厚く御詫びする。

×

岡野福田兩氏の特別讀物愈々佳境に入るの觀がある。馬上の劉狂民秋風地を拂つて馬肥ゆるの時、今昔の感に堪えざるものあらん。

×

全十號の投稿の少ないのを遺憾に思ふ。もし、諸君にして眞に解放運動に戰はんとするならば其處には必ず戰報があるべき筈だ。大衆の戰報なくして無産雜誌の發展はない。無産雜誌をブルヂヨア言論機關と同一視する勿れ。

×

「進め」に對する批評は遠慮なく送られたい。高級に過ぎるとの批評あれば合同問題ばかりの沈滯をならべるなどの批評あり本誌はその根幹を清算しつゝ愈々內容の充實に努力するであらう。

×

「進め」に對する各方面の批評の結果、來月號から、元の十錢にて四六倍版で發行する事に大體、同人會議が決定した。こうするに至つたのは元の型がより戰鬪的であるが、又都會はそうでもないが農村では二十錢では高すぎる。讀者を多くする爲めには是非十錢にする等の讀者及び支局の要求があつたからだ。そしてもつと分り易く書く事にした。分り易く書く事はレベルが下つた譯ではない。よりレベルを上げた譯だ。何故なら、むつかしい事をほんとうに分る樣にするのが無産雜誌の使命だからだ。

×

東京市會の疑獄事件のたゝりは東京市民の稅金滯納となつて表れた。民衆の不平いまや高し、しかし、無産雜誌の誌代滯納は恥辱である。遲滯なく誌代を前納せよ

十月廿三日

定價

一部	二十錢	郵稅一錢
半年	一圓二十錢	郵稅六錢
一年	二圓四十錢	郵稅十二錢

◇誌代は總て前金拂込の事
◇成る可く振替で送金の事
◇郵券代用は必ず一割増の事
◇住所姓名は明かに書く事
◇支局は十日迄に拂込む事

無産階級戰鬪雜誌 **進め** 毎月一回一日發行

東京市麹町區內幸町一ノ五
發行所 進め社本部
振替東京六九八五三番

發行編輯兼印刷人 神庭仲之助

大阪市東淀川區十三西ノ町一三
大阪事務所

廣告料

一等 三百圓	二等 二百圓
三等 百五十圓	四等 百圓

大賣捌

東京堂　東海堂　北隆館
大東館　至文堂　大盛社

喜谷實母散

金銀白金

德力商店

東京神田松田町

電話神田 25 216.235 / 221.976 / 450.御客用

讀め社會民衆黨を支持する

月刊 日本民衆新聞

一部五錢 二十日發行

發行所

東京市芝區三田四國町二の六

日本民衆新聞社

電話高輪三二九〇
振替東京七〇二一

無產大衆の戰鬪的政治新聞

月刊 日本勞農新聞

讀め!!眞の無產政治新聞を!

定價 一部五錢 一ケ年 一圓五十錢

日本勞農新聞社

東京芝公園五號地
振替東京四六六四九番

農民勞働社出版取次書目

一般啓蒙

一、プロレタリアの使命（佐谷）　一〇
一、無産青年に與ふ（辻井）　一〇
一、社會主義大意（堺）　一〇
一、無産青年運動（高橋）　一五
一、青年に與ふ（レーニン）　四〇
一、勞働者の明日（野田）　一〇
一、失業と階級意識（林）　一五
一、唯物史觀解説（河上）　一〇
一、資本主義のからくり（山川）　三〇
一、社會主義學説大要（堺）　三〇
一、社會主義と進化論（パンネコック）　一五
一、社會進化の過程（ハインドマン）　一五
一、人一生の經濟學（河野）　一〇
一、プロレタリア經濟學（田所）　七〇
一、無産者經濟學（プレブス）　八〇

勞働運動

一、勞働組合の基礎智識（松澤）　一五
一、勞働運動と理論鬪爭（荒畑）　一〇
一、國際組合運動の統一（ロソウスキー）　三〇
一、組合の國際統一運動（荒畑）　一〇
一、前衛と勞動組合（ロソウスキー）　七〇
一、メーデー　一〇
一、婦人と勞働組合（野坂）　一〇

農民運動

一、百姓は何故貧乏するか（行政）　一〇
一、町村政の話（吉田）　一〇
一、爭議調停法の話（小岩井）　一〇
一、農村振興策批判（杉山）　一〇
一、獨佛の農民運動（エンゲルス）　二〇
一、解放戰線に於ける農民の地位　二〇
一、農民組合の理論と實際（杉山）　一〇〇
一、小作爭議の實際（杉山）　一〇〇
一、農民組合論（莊原）　一〇〇
一、世界の農民運動（大西）　一〇〇
一、農業と社會主義（平野）　一〇〇
一、立入禁止と如何に戰ふか（泉）　二五

政治運動、社會主義

一、無産政黨の戰術（上條）　一〇〇
一、無産階級の政黨（山川）　一五
一、何から初むべきか（レーニン）　二〇
一、史的唯物論（ブハーリン）　一〇〇
一、辨證法的唯物論大要（ブハーリン）　三〇
一、史的唯物論について（エンゲルス）　三〇
一、何をなす可きか（レーニン）　一〇〇
一、前衛當面の任務（ロソースキー）　二〇
一、日本無産階級運動批判（猪俣）　一〇
一、私は此ふ考へる（山川）　二〇
一、或同志への書翰（山川）　一五
一、左翼小兒病（レーニン、堺）　三〇
一、無産者政治必携（産勞）　一〇〇
一、無産者法律必携（産勞）　一〇〇
一、十一月七日（堺）　二〇
一、パリーコンミユン（堺）　二〇
一、ゴータ綱領批判（マルクス）　二〇
一、支那革命の理論的考察　四〇
一、レーニンと消費組合　一〇
一、健康保險法のからくり　一〇
一、共産制より資本制へ（ハインドマン）　二〇
一、辨證法的唯物論（堺）　一〇
一、暴法と如何に戰ふか　二五
一、組織問題（レーニン）　一五〇
一、資本主義の安定より危機へ（スターリン）　一〇〇

その他

一、マルクス傳　二〇
一、レーニン（ロソースキー）　三〇
一、レーニンの生涯と學說（ジノビエフ）　一〇〇
一、婦人問題の本質（堺）　一〇
一、新ロシアの婦人（近藤）　一〇
一、勞働辭典（勞研）　五〇
一、社會運動辭典（田所）　二〇〇
一、ロザの手紙（堺）　一〇
一、社會講談數種　各一〇
一、勞働讀本（山名）　一〇〇

右書籍は單に十月十五日現在の在庫品の一部に過ぎない。本社取次部はいやしくも無産者運動に關するものであつたら、如何なる大部の書籍でもパンフレットでも新刊舊刊を問はず取次する。注文者は但し、明瞭に發行所著者定價を記して申込みありたい。送料はパンフレットを除き一冊まで五錢、一冊を增す每に五錢宛注文者側で負擔のこと。

◆注文は振替にて前金のこと
◆送料は本書目記載のものに限り不要

東京・芝・二本榎西町二
振替東京七六二七〇番

農民勞働社

尾崎行雄先生序

新使命主筆 高野清八郎著

無産階級の新政策

痛切なる現代の要求を滿たす空前の大快著

次の内容を見よ。。。。。。

◇悲慘なる生活難と亡國を救ふ政策
◇富豪を保護し貧民虐めの我財政
◇貧窮は貧民の納める我國の直接税
◇何億の大會社も廿錢の納税せぬ
◇奇怪なる貧民と富豪の納税額
◇國民の階級別と財産所有の割合
◇富豪財閥が國家から取り返す金額
◇貧民の膏血を絞つて富豪に補助
◇國民生活を安定せしむる根本策
◇無産者の強唱すべき消費税全廢
◇日常必需品を暴騰せしめる關税
◇關税は全く財閥に暴利獲得策
◇勞働者の爲めに朝飯無税政策を
◇財閥保護の爲めに破滅する我國運
◇國家の金を倩貨の爲めに濫發してゐる
市貨

◇二重の不利を防ぎ官營斷行の必要
◇財政改革の根本原則
◇累税の新學理
◇貧民と富豪の納税割合の學理
◇英國の廿分の一しか納税せぬ
◇日英兩國の所得税額
◇アイドルクラス（遊食階級）打破政策
◇日英兩國の相續税比較
◇財政大整理の必要
◇國費を半額に減じた米國
◇英國財政の大整理
◇非常なる英斷を行ふ英國と我國政
◇國費を半減し社會政策を行ふ
◇財政を半減したムッソリーニ氏
◇世界の趨勢に逆行した我國政

◇我國財政の膨脹する趨勢
◇國民負擔の激増する實況
◇國債の益々増大する趨勢
◇借金で亡滅する國を救ふ政策
◇フィリップスノーデン氏の新學説
◇悲慘なる我國民生活の現狀
◇生活難の爲めに自殺する人數
◇不良少年も貧因が原因
◇社會政策實行の急務
◇寡婦孤兒等の救濟策
◇遊食者に與ふる恩給を大整理
◇十五億の新財源を得る政策
◇無産階級最大の使命

附錄
普選法全文、同選擧區變別表

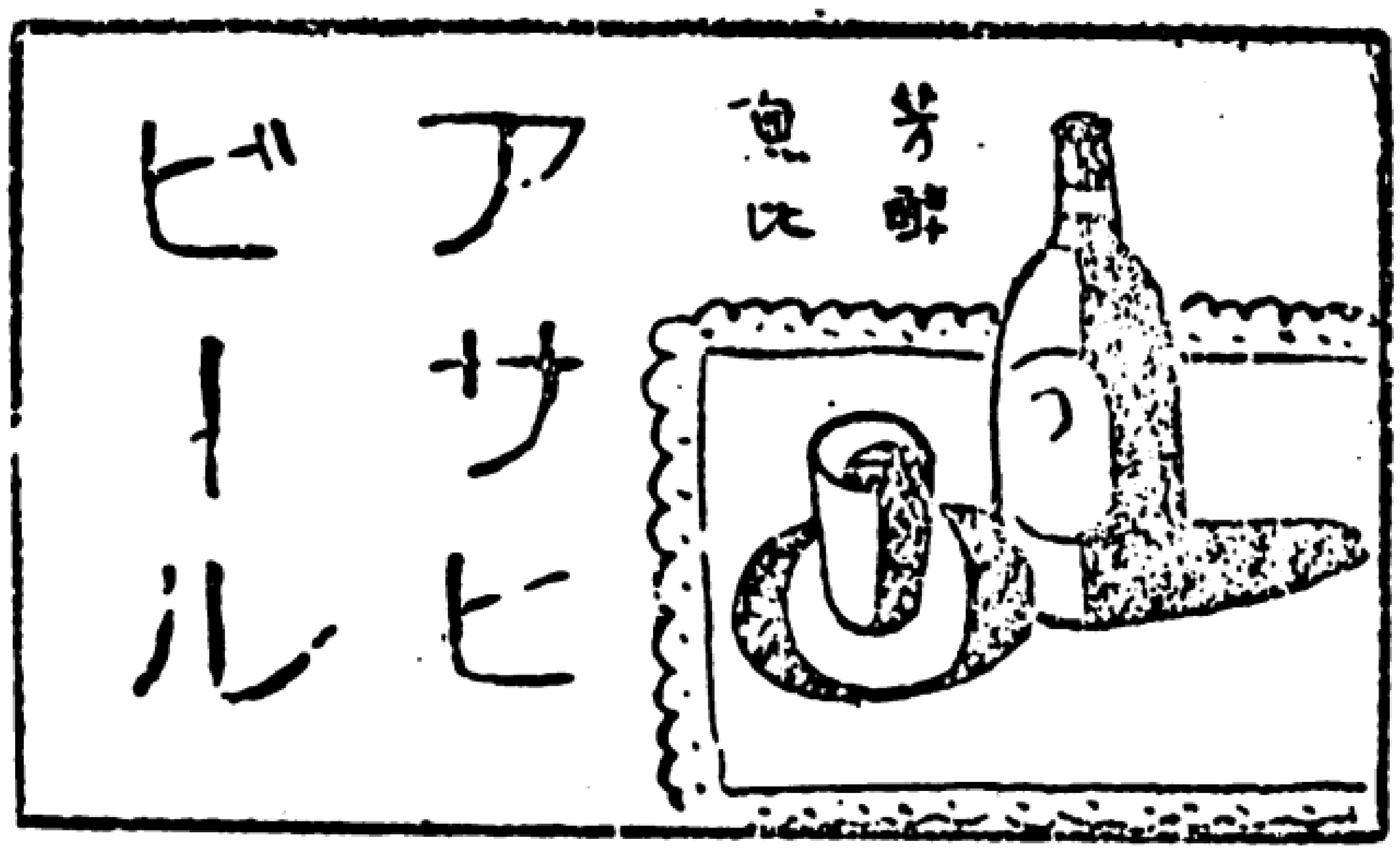
定價 金五拾錢
送料 金四錢

◇理論鬪爭に沒頭せる、現代の學者、思想家を冷罵して深刻なる「生活不安」を救ふ、實際政治上に於ける政策の最高權威

◇◇！各書店は全部賣切れの所、愈々八版發行、驚く可き大賣れ行き！

發賣 東京神田通神保町 電話神田三五五八番 上田屋 大阪 盛文館
（丸ビル内、冨山房書店にあり）

發行 東京市麹町區内山下町一ノ一 振替東京六九〇六九番 電話銀座(57)三七九三番 新使命社



蝙蝠印

揮發油

日本石油株式會社

最新刊

日本勞農黨國際部長 上條愛一著

無産黨の戰術

定價壹圓 送料無料

普選によつて八名の黨員を議會に送つた新興無産政黨は更に急角度を畫いて既成政黨の牙城に肉迫せんとして居る。

今や好むと好まざるとに拘らず、國民は無産黨の内容を徹底的に知らねばならぬ秋に直面して居る。

見よ!! 彼等の闘爭の跡と、而して彼等の戰術とを。

―內 容―

無産黨小史 △明治時代の無産黨運動△普選運動と議會の否認△農民勞働黨の誕生。

對立無産黨の出現 △無産階級陣營内の對立闘爭△宗派分裂主義とは何ぞ△勞働農民黨の結成と分裂△日農、社民、日勞系政黨の結成

無産政黨の内容 △各黨宣言△各黨の綱領△各黨の政策△各黨の幹部△支持團體及勢力。

府縣會選擧に於ける無産政黨の戰術 △選擧戰に對する各黨の戰備△各黨の選擧政策△府縣會選擧の戰績。

總選擧戰に於ける無産黨の奮闘 △總選擧戰に對する無産黨の陣容△各黨總選擧政策△各黨總選擧協定△總選擧の戰績△總選擧戰績の批判。

日常闘爭と其の戰術 △日常闘爭の意義△勞農黨の日常闘爭△左翼の戰術△日農、社民、日勞の日常闘爭△現實派の戰術

戰死せる勞働農民黨 △第二次日本共産黨の檢擧△第二次日本共産黨とは何ぞ△勞働農民黨の解散。

第五十五議會に於ける初陣の無産黨 △議會内に於ける活動△院外に於ける民衆運動。

無産黨の將來 △無産黨の合同問題。無産黨の右傾問題△日本無産黨は何處へ行く？

東京麴町内幸町一の六

第一出版社

振替東京六八〇九〇番

Su-su-me- The Socialism Monthly. Vol. 6 No. 11
Head office; 1. Uchisaiwaicho, Kojimachi, Tokyo, Japan. Nov. 1928

金言 平和は友誼の父なり（西諺）

○齒の爲に一番よい

小粒仁丹

◉高貴薬サフランを倍加して特製す

大粒仁丹は茲に改正し常備護身劑として益々愛用せらる

仁丹のハミガキ

日・英・米・佛專賣品

仁丹齒ブラシ

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（每月一回一日發行）
昭和三年十一月一日發行 昭和三年十月二十八日印刷納本

第六年・第十一號 定價二拾錢

無産階級戦闘雑誌

進め

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和三年十二月一日發行　昭和三年十一月二十八日印刷納本

定價十錢

第六年◆十二月◆第十二號

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本號一瞥

巻頭言 日本無産青年同盟の結成の意義とその任務……上杉定義

時評
◇生命と引換への警察官救恤基金……布施辰治
◇化けそこねた三土藏相……佐々木敬三
◇玉砕主義を打破れ……羽田光雄
◇アルベール・トーマ來る……同

單一無産政黨結成を目標とする合同論の行詰りと其の精算……板垣良一
社會民主主義か共産主義か ◆我が國社會運動既定の運命……佐藤護郎
農民に土地と自由を ◆農民戰線統一への道……南三平
來れ日本無産青年同盟の旗の下に……日本無産青年同盟準備會
米國は何處へ行く……佐々木敬三
社會運動に投ぜんとする婦女達に與ふ……吉田初子
社會主義に投ぜんとするインテリゲンチヤに與ふ……大野佳良

全土戰報
町村會議員改選が近づいた用意はよいか……日勞黨島根支部
反動モーロー團工友會に呈す……關友同志會東工支部委員 難波仙衛
滋賀縣下の暴壓……志賀、松田生
北海道戰報……札幌、一市民
秋田縣の泥棒地主……秋田縣一讀者
青年訓練所の本質を認識せよ……秋田縣、辻峰太郎
社民の兄弟しつかりやつて呉れ……神奈川、佐々木
起てよ市井の貧窮兒……横濱一讀者
因襲を打破つて戰ふ……島根縣八束郡熊野村S生
戰列は整ふた次は鬪爭だ日勞黨名古屋支部誕生す……名古屋青山誠之助
農民の村會と在郷軍人會の活躍……日勞新聞第四十一號
進めの讀者會生る……大野生
電燈料金値下に立つ信州大衆黨……信州大衆黨常任執行委員會
進め讀者會設立さる……廣島支局

[illegible] 勞働組合法に對する吾等の態度(一)……高見憲介
[illegible] 進め社だより　社會須知用語　時事日誌　寄書吾言[illegible]
ある教誨(創作)……中島安太郎
彈壓政治の忠僕達(創作)……李貞植
[illegible] 一理想鄕を造らんとして支那革命に從ふ……福田狂二

進め社本部移轉

東京市芝區南佐久間町二の一八
電話銀座二〇七七番

日本紡織勞働組合機關紙
紡織女工の可憐なる團結、その先頭に輝くたいまつはこれ。

月刊 **正義の光**
一部 拾錢
半年 六拾錢

發行所
東京市芝區芝公園五の四
日本紡織勞働組合

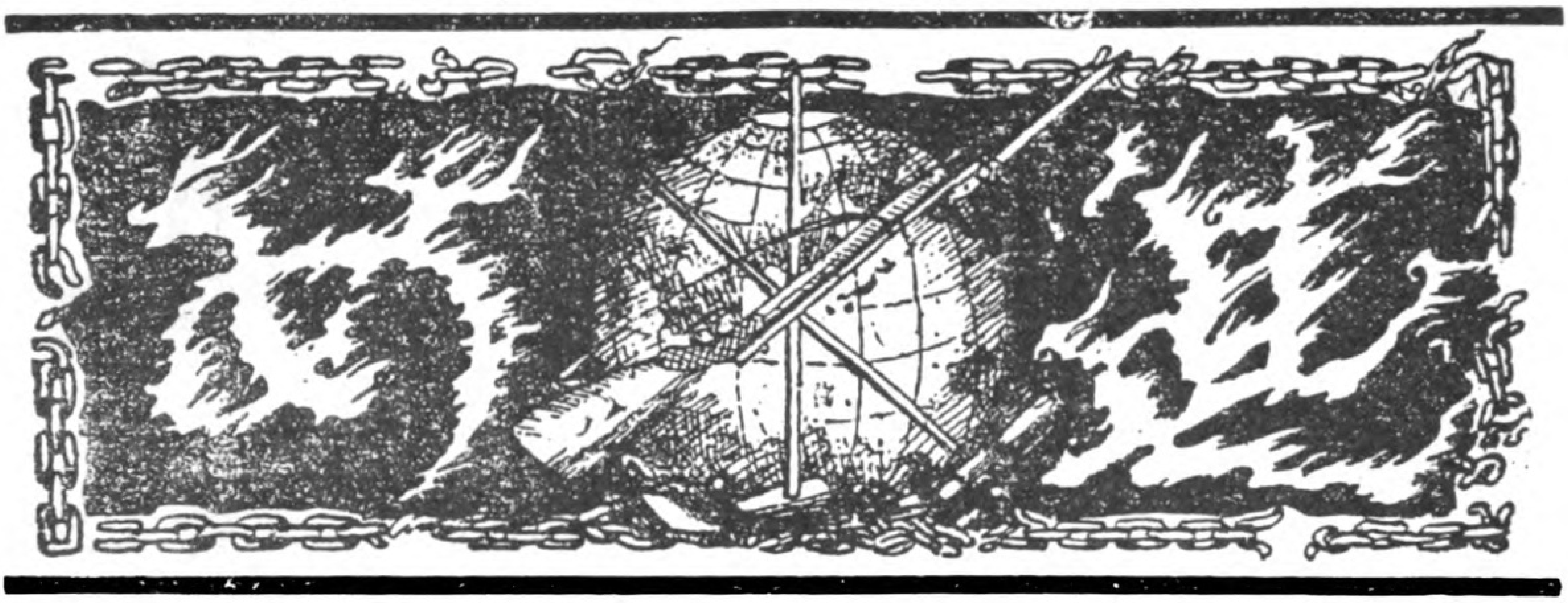
全國農民組合機關紙
働く農民に土地を保證せよ
全國の農民の血をわかす我等の巨砲

土地と自由

月刊一部五錢

大阪市北區堂島濱通三
全國農民組合本部

萬國の無産者團結せよ



第六年◆戰鬪◆進め◆雜誌◆第十二號

第五十六議會に直面して無産代議士に望む

例年、師走の風の吹く頃、吾が日比谷座に帝國議會劇と名を冠して公演する一團があるが、帝國議會劇は議會劇其のもの、行詰りと、永年に亘る失政劇とは、漸く觀客としての國民の人氣信望を地に拂ひ、今や國民は一人として、この議會劇に對する一片の感興をすら持ち合すものがなくなつた。

然るに勁進元たる田中首相を始めとして、座員政友會の諸優は一度失墜した國民の信望を再建せんものと日夜焦々として、民政黨、其他のエキストラと共に華々しくも第五十六回目の公演を試みんとしてゐる。

出し物は、劍劇の雄を以つて自から盲信する猛優諸君の爲めに書下された、曠古の反動迷作者、田中おらが大將の餓作、「二十世紀末世姿、反動おらが大將暴威」を上演せんとして開場前の人氣を煽るべく鳴物入で宣傳してゐる。

脇役と謂はんよりは、寧ろ興業主と言ふを適切なる言葉とする逓相久原房之助は開場に先達つての、エキストラの統一と合流とを目的とする策動の暗中劇に、京都の御大典を背景として意外にも、黄金色の香りの前に成功を收め、遂に憲政一新會を抱込み、更に助平親爺の色慾的魔手は、極彩第三期にある醜婦、床次のお竹さんにチョッカイを出して、これとも醜悪なる野合を遂げ、「おらが天下も泰平ぢや」と田中をしてヘラヘラ笑ひをさせるに至つたが、これ等は單に議會劇を安全に過ごさんとする目的以外に何等本質的のものがなく、只、政友會の天下をして一日も永からんことに努める以外何物もない。

國民、殊に吾が無産階級は、既にこの反動政友會内閣が一日續くことは一日の損失であることを知つてゐる。國民の信望を失ひ、無産階級の敵と叫ばれる内閣に存在の理由のないことは自から明である。然るに彼等は猶も國民を誤魔化し、飽くなき政權慾の擴張を以て日夜の業とし、何等根本的の國是に邁進せんとするの誠意なく一時的に其の場を糊塗して其の日を過ごさんとしてゐるが、斯の如きは、重箱の底を探して其の日の生活の資を求めんとする浮浪者の其の日暮らしと何等選ぶ處なく、一國の政治をして彼等に任する資格なきは勿論、餘りにもサモシキ沙汰と言はざるを得ない。今期の議會に於て反動政府は何を爲す可きであらうか、彼等は彼の莫大なる反動豫算を通過させ、塗炭に苦しむ無産階級を、いやが上にも搾らんとするであらう。

又、本議會の重要問題とする對支外交の如き、要するに現政府が吾國資本閥の手先きとなつて、資本閥の國際投資の安全を保證し支那勞働者の勞働力を吾國資本閥の前に提供して其の飽くなき搾取に任せんとするものである。更に又、勞働組合法案の如き、勞働者の團結權を無視したる勞働者壓迫の惡法案であつて、吾等階級として何等利するところなきものである。既に、無産階級の敵としての田中反動内閣の存在を否定し、資本閥と地主との利益を目的とする議會を信任せざる吾等は、茲に至つて彼等に何物をも望まない。

去りながら、資本の攻勢と、彈壓とに對する無産階級の鬪爭對象として議會を一つの目標とする時、議會の經過と動勢とに一瞬と雖も監視の眼を外すことを許さざるは言を俟たない。この際に於て、一樣の望みを望むものは、普選に依つて議會に送られたる、吾が光輝ある無産代議士八名の諸君にである。諸君は彼の怪色魔たる久原が手を染めるには餘りにも純眞なる乙女ではあつたが、第五十五議會の試練も既に經て來た諸君である。

諸君を光輝ある無産階級の代表者として選出した無産大衆は、御大典に際して「はじめて着た燕尾服の味」を味はしめ、勳四等を頭上に戴き、議會内に於て「處女の如きハニカミ」をなさせんが爲めにのみ選出したものではない。

諸君は、立候補を宣するに臨んで、無産階級の利害を代表し、無産階級の爲めに議場に血を流すとも死を以て事に當らんことを大衆の前に誓つたではないか。

諸君よ、諸君はこの誓ひを忘れず、吾人の前に於て凡百のブルジョア議員を愧死せしめよ。吾人は百の無産代議士を列べることを望む前に、一人のリープクネヒトの出現を望むものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本無産青年同盟の結成の意義とその任務

上杉定義

一

青年同盟の再建が叫ばれてより長い歳月を費した。そして今漸く勞働青年、農村青年によつて具體的再建の一歩が踏み出されんとしてゐる。勿論青年同盟の再建に對しては、支配階級と、封建的優越感に侵されてゐる組合政黨の幹部、及び成年勞働者以外には異議を唱へるものはない。この全無産階級の要望によつて再建されんとする青年運動もその結成への途上において、四つの異つた道を選んだ。日本無産青年同盟準備會を除く外は凡て政黨の下に結集され、その同盟準備會間においても既に悲しむべき對立の影すらたゞよふ。三つの準備會のあるにも係はらず、日本無産青年同盟の結成の意義と任務は、かゝる情勢においてのみ特殊的存在の必要が生じるのである。以下各青年同盟準備會を批判しつゝ、日本無産青年同盟の立場を明かにし、青年運動の進路を規定する事とする。

それには先づ日本の資本主義の發展過程、又その支配階級の政策に對抗する無産階級陣營を簡單に見て置く必要がある。日本に於ける資本主義は既に行詰りを呈しており、何等かの方法をもつてこれを打開すべく、焦慮してゐる。そこには産業の合理化による失業者の續出となり、資本主義生産の行詰りは人口の逐次的過剩を告げ、大衆の生活は愈低下する。その大衆の反抗抑壓のために、支配階級は勞農戰線の全組織の破壊を企てる。それと同時に世界帝國主義國間の對立は殖民地再分割の爲に帝國主義戰爭の準備を整へつゝある。東京朝日新聞は無産運動は沈衰したと書き大山郁夫氏は受難時代が來たとコボす。何れにしても、支配階級の彈壓の魔手が積極的に階級運動の上に蔽ひ被つて來た事丈は事實である。斯うした急迫した客觀的情勢となつたるが故に、必要だ！必要だと口ではかり叫んでゐた青年同盟も具體的に結成されなくてはならなくなつたのである。この支配階級の彈壓政策に對抗する無産階級の陣營は、三月の共産黨事件以來受け太刀の形となり、陣營の整理のために、合同問題が又一しきり起つて來た。無産大衆黨の出現によつて、各黨はその態度決定の必要に迫られ、日勞黨の擴大中央委員會社民黨の中央委員會、日本農民黨大會、新黨準備會の全國代表者會議等を通じて眞劍に或は形式的に一應は論議された。

その結果、各黨共その支持團體の一時的動搖を起したものもあつたが、合同委員會の附託となつたり、單一大衆黨の結成に向つて漸進すると再び強張して、愛黨精神の下に固る事を決議するもありて一波亂は起したけれども、大海に石を投じたと同じく、表面はもとの靜けさに返つた。たが合同論を通じてその裏面を覗へは、既に表面に出されしものもあるが、右翼結成論あり、左翼結成論あり、兩者を抱含せんとする意圖、乃至は分裂を恐れて、その防止のための單一大衆黨の結成論もある。一方においては合同の實現が困難であり、それのみに黨の勢力を費す事に反對して、合同論の打切りをホノめかすものもある。合同論にアクビをして、政治的無關心に落ち入らんとする大衆を目標として、反動的愛國無産黨の結成を考へるタワケ者も居る。尠くとも今の無産階級の戰線程多岐多彩に亘るものは、恐らく前代未聞の現象であらう。

資本主義の攻勢、無産陣營の分裂狀態の中に生れ出でる青年同盟は、當面いかなる使命をもつて、いかなる方向に進むべきかを、先づ結成の當初に於て規定しなくてはならない。私は以上の狀勢を基準として各青年同盟を批判して行く事とする。

二

現に日本の青年運動は、同一の目標の下に新青年同盟（新黨系）全國勞農青年同盟（日勞系）社會青年同盟（社民系）日本無産青年同盟（無所屬）の四つの準備會をもつてゐる。この四つの青年同盟準備會は、日本無産青年同盟の特殊的な存在を除いて、殆ど同一の批判の對照となる事と思ふ。全國勞農青年同盟は日勞黨の下に結集され、單一大衆青年同盟を目標として、鬪爭を展開しつゝあり、日勞黨と同じく中間的立場にある。中間的立場の存在に對しては論議の余地はあるかも知れぬが、割合に無難な立場であつて、批判の余地も隘つて尠い。

そこで私は社會青年同盟準備會に對して新青年同盟準備會が送つた聲明書を中心として兩者を批判して行く。その前に新青年同盟準備會の過去に於ける鬪爭經路に一言觸れておく必要がある。新青年同盟は、全日本無産青年同盟の再建されんとするものであり、その構成員も殆んど舊青年同盟員である。新青年同盟の前身とも言ふべき舊全日本青年同盟は、勿論結成當初にあつては大衆的

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

青年同盟であつたが、最後に至つては、これを共產主義青年同盟迄押し進めんとして、客觀的情勢も何も一切おかまひなしで、闘爭を續けたため、遂に失敗し、少數意識分子の獨斷となつて大衆の支持を失ひ、共產黨事件の發生と共に、その指導者の殆んど凡てを刑務所に送り、闘爭力は支配階級によつて解散せられた。斯うした苦い經驗をもつた新青年同盟は、過去の誤謬を清算しつゝ、大衆的統一青年同盟の結成に忠實に邁進してゐるし、又進んで行くであらう事を望むものではあるが、過般の社會青年同盟準備會に寄せた聲明書は次の如く記してゐる

(前略)かゝる時期にあつてもかの社會民主々義者達はその裏切振を發揮することを忘れない。二十二日、雜誌「勞農」派による「無產大衆黨」の結成、更に右翼民主々義者による勞農政黨、勞働組合、農民組合戰線の意識的攪亂と妨害を見よ!今や又彼等は青年戰線統一に對して攪亂と妨害の魔手を差しのべたのだ!彼等は生理的に、心理的に、最も發育期にある青年勞働者を自己の指導下に喰ひ止め、青年の「特殊性」を逆用し、これを反動的教育によつて忠實なる反動陣營たらしめやうとしてゐるのだ。彼等は御大禮を前に資本家地主の反動政府が我が全運動を彈壓するものであり、反動的白色恐怖政治に頭を低くして奉仕するものである。

我が新青年同盟準備會は、右翼社會民主々義者のかゝる陰謀の下に行はれんとする社會青年同盟の結成に對して斷然反對すると共に、右翼陣營内に於ける青年大衆の反社會民主々義的行動を支持し、保育し、激成し、全無產大衆的青年組織確立のために、全無產青年團體代表者會議の開催を主張し、そのために邁進するものである。

右聲明す

一九二八、八六

新青年同盟組織準備會本部

これを見る時、新青年同盟内にも、觀念的小兒病患者が今尚殘存してゐる事を示してゐる。右翼反動主義者の指導の下に「吾等は現實主義に立脚し、無產青年の大衆的結成の實現を期す」と綱領に掲げて生れんとする社會青年同盟に對しては、一應は反對する、たが社會青年同盟が右翼幹部の意圖によつて發生し、その陰謀の下に結成されんとするものであると斷定する事は餘りにも早計である。例へかゝる意圖の下に結成されしものであるとしても、生理的にも心理的にも最も發育期にあり、隨つて純眞であり、行動的である青年大衆が右翼改良主義者の指導下に滿足するものではない。それは何時かは飛躍しその行動的組織體を確立する事は餘りにも明かな事である。この青年同盟が改良主義的幹部の意圖によつて誕生したものでない事は、その結成の途上において行惱みつゝある事によつても知られる。左の一文もその參考にするに足るものと思ふ。

民衆青年同盟の發會式
俄かに無期延期となる

社會民衆黨内に於ける社會民衆青年同盟は既に綱領規約草案等も發表し夫々結成大會にまで促進せしめて居たことは本通信の屢々詳報した通りであるが、最近に至り俄かに結成運動に行惱みを生じて來た、最初十九日發會式を擧行する豫定でその準備も成立して居たと云ふ矢先に於ける行惱みと、諸團體の期待を裏切つたことは各方面に意外の感を抱かして居る模樣である。

如何なる理由の下に、發會式が無期延期の止むなき狀態に落ち入つたか、それに就ては社民黨青年部に於ては口を緘じて多くを語らないが、某消息通の語に依れば總同盟本部の幹部間より陰陽の壓迫と干渉との結果と傳へられ一例として最初の綱領或は發會主旨の字句の點にすら苦情が出で更に第三回準備會に於ては、青年同盟結成を總同盟内の全組合に計り其の意志に添ふべきであると云ふ殆んど不可能な提議すら持ち出されたと云ふ、これ等の點を凡て綜合して考慮する時總同盟幹部の手に依つて、青年同盟は誅殺されたのであるとさ極端な評さえ下されてゐる。

(日本社會運動通信八月十七日所載)

偶日本自動車運轉手組合の高木輝夫氏に對して、社會青年同盟準備會の名によつて寄せられた書簡の一節には次の如く書かれてゐる。

「團體、政黨、新無產青年同盟に對しての態度は今後の客觀的情勢の推移によりて具體方針を發表實行致します。本同盟の支持せる政黨幹部は勿論相互に　力すべき事を決定してゐます。本同盟の鬪爭任務は一部左翼が解してゐる如く單なる民主々義擁護をもつて全目的とするものではありません」(原文のまゝ)

各社會青年同盟共、内部における暗鬪の公開を避けてゐるために、その核心をつかむ事は中々困難ではあるが、以上の引用文によつて、社會青年同盟の結成途上において、未だ確固たる組織體のなきため、幹部の壓迫の下に戰つてゐる一端を觀ふ事が出來ると思ふ。かくの如く、改良主義者と戰つて、自から尖鋭化せんとするものに對しては友誼的立場より、これが助長援助する事が左翼の戰術でなくてはならぬ。殊に青年運動においては、最もこの點を考ふべきである。生ぶ聲をあげた許りで、未だ海のものとも、山のものとも知れぬものに對して、これは我々の敵であると早合點し、それと飽く迄對立抗爭をした事は從來の極左の人々の採つて來た態度であり、それがために甚だしき戰線運動の上に損失を成した。新無產青年同盟は過去の闘爭經驗より特にこの點に留意しなくてはならぬ。

三

新無產青年同盟、社會青年同盟は、その對立を利用して、批判を痛激に終つた。全國勞農青年同盟は以前一寸觸れておいた如く、三つの青年同盟に對する日本無產青年同盟の特殊的存在を根據として批判する事によつて、日本無產青年同盟の存在の意義と役割を述べる事とする。日本無產青年同盟は政黨中立の立場にある事をもつて、その存在理由となし、それによつて特殊的役割の遂行を期してゐる。何故に政黨に對して中立の立場を取り、分立する青年同盟準備會の中に生れて來たか?これは青年同盟と政黨、組合との關係を明かに成し、勞農戰線の統一に對する青年同盟の任務を規定する。青年運動が階級運動の一翼であり、強力なる政黨の下に於てのみ、青年運動も効果に展開されて來る事は謂ふ迄もない事である。然し乍ら現在日本における如き政黨の分立してゐる時にあ

つては政黨の指導の下に強力な青年運動の展開は望まれぬと同時に、その政黨のために多くの制肘をこそ加へられる。現に結成を急ぎつゝある三つの青年同盟準備會は各自政黨の下に結集し、その指導の下に闘爭を開始したるがために、同一目標に進むものが四つの異つたスタートに立つ事となつたのである。自黨支持團體の青年を獲得する事は、

（一）政黨、組合に組織された意識分子を結合せしめるため、組織が容易である。（二）青年同盟の結成を習はぬ組合、政黨幹部、成年勞働者も自黨指導精神の下に固定化するために重大であり得る。（三）青年同盟は政黨の指導下に闘爭すべきであると云ふ公式理論にあてはまるが故に、公式主義者は自己滿足をする。

以上の理由によつて、三つの青年同盟は、三つの青年同盟準備會を必要とし、その結成に努めてゐる。

最も容易の道を求めて、結成されんとする青年同盟はその目標に到達する迄に、現在通過するよりも數倍した努力を必要とするイバラの道を通過しなくてはならぬ。それは如何なる道か。（一）、封建的優越感の保持者たる政黨、組合の幹部、成年勞働者は、自己の指導によつて發展せんとする青年同盟に對して、これを解體し、煩ワリする代りに、これが壓殺を企てる。（二）、例へ成立しても自黨の下に固定化せしめんとする。（三）そのために、統一を欲して生れたものも對立關係を生じ現在の政黨、組合の二の舞をする危險性がある。（四）この弱點を利用して幹部に追隨し、分裂のまゝ存續せしめんとする機會主義者が出現する。斯くして政黨の下に生れ、政黨の指導の下に發展せんとする青年同盟は容易なる道を選べるが故に、自からの目的は遠く彼方に押しやられて終ふ。その現れは既に新青年同盟において見る事が出來るのである。この危險性を未然に防衛し、たゞ政黨中立の立場にありて、この再建への道を正しく歩む日本無產青年同盟はこの故に、その存在の根本的理由がある政黨中立の立場こそ單一大衆青年同盟の結成を最も急速に進める事を確信するものである。勿論各青年同盟の構成員の多くに、各政黨黨員であり、そのために政黨、組合幹部の壓迫はあり、黨內青年分子の意識水準の低きもの幹部追隨の機會主義者の動員は、中々容易ではない。たがこの困難の道を突破した時、始めて日本の青年運動も正しき軌道を走つて行く事が出來る。

四

日本無產青年同盟は、政黨下に組織されんとする青年同盟に對して、その誤謬なる事を指摘し、政黨中立の立場を採るべき事を強要する。勿論この存在理由が一般的に不可避の事實として、認識される迄は、支配階級の壓迫と戰ふのみでなく、封建的優越感を保持せる組合、政黨幹部の二重の迫害を受けるであらう事が豫測される。然しながら、我が日本無產青年同盟は、斷乎たる決意の下に、勇敢にこの苦難の道を進んで行く。目前の安易の道を求めて、百年の大計を忘却するものは、階級戰士として長い苦難の闘爭を續ける事は出來ない。凡ての青年同盟が政黨中立の立場にあつて單一大衆青年同盟を結成した時において初めてその大衆的勢力をもつて、勞農戰線の統一も具體化する事が出來る。單一大衆黨の出現した時、青年同盟もその大衆的單一行動黨の指導の下に勇敢なる闘爭を展開して行く事が出來る。分立せる青年同盟の統一を當面の目的として、そのための戰術をもつて結成されんとする日本無產青年同盟は、この過渡的現象に對しての存在の意義を極度に發揮して、勇敢にその任務を遂行して行くであらう。

社告

進めを全國の勞働者農民の手に渡せ

大至急支局を確立せよ

經濟的壓迫と戰ひつゝ眞に大衆のための戰闘誌としての使命を果して來た「進め」は、ブルヂョア階級の彈壓の兇刄に倒れ行くプロレタリア雜誌の中に二十一回の發禁處分にも屈せず、六ケ年の輝ける闘爭歴を保持して來た。進めは今や完全に大衆の中に喰入つた。だが更にこの闘爭を進展せしめ、全國的に勞働者農民の凡ての人を讀者にしなくてはならぬ全國的に讀者網を張り巡し、レポートの山を築いて進めの誌面の充實を圖らなくてはならぬ。

進め讀者は、直ちに讀者倍加運動を全國的に捲起せ大至急支局を確立せよ、支局規定書を請求せよ支局に對しては、本社は充分なる經濟的便宜を與ふるものた。

進め社本部研究會

東京地方讀者をもつて組織する、本部研究會は十一月は十九日夜、三輪壽壯氏を招いて座談會を開いた。

來る十二月一日午後六時から研究會だ講師は高橋龜吉氏か或ひは日勞黨調査部長清水武雄氏、問題時局經濟問題、何人を問はぬ進め社本部におしかけろ。研究會座談會出席希望者は葉書で申込んでをかれたい。その都度御通知します。

進め讀者の會

「進め讀者の會」は、各地に於ける進め讀者によつて構成して、研究會、座談會を開きて、プロレタリア教化を成す傍ら、レポートを送る事によつて闘爭の聯絡機關とするものだ。直ちに進め讀者の會を創設し、創設責任者はその姓名を本部に通知せよ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時評

生命と引き換への警察官救慰基金……布施辰治
化けそこねた三土藏相……佐々木敬三
玉碎主義を打破れ……
アルベール・トーマ來る……羽田光雄

生命と引き換への警察官救慰基金

階級闘争の激化に伴ふ警察官の任務が益々露骨に資本家地主階級の××振りを發揮するのが、あまりにも當然な警察官憲本來の發展なのではありませう。だが、所謂高等警察網擴充以來の無産者運動彈壓に忠勤を抜んずる×××××振り、殆んど言語に絶するものがあります。

夫れかあらぬか、資本家地主政府によつて警察官憲の優遇問題が提案せられるのみでなく、一般の無自覺な民衆の間にも之を支持させやうとする種々の策動が切りに行はれて居ます。その一つの現はれの最も著しいものは、此度の警察官救慰基金問題です。

だが然し、警察官憲が階級闘争の激化に伴ふて重加せられる階級的任務は、到底僅少の増俸や、その他の優遇や無自覺な民衆の或る者から時々百圓札を投込む救慰基金位で埋め合せられる譯のものではありません。彼の大阪のピス默事件や、最近の所謂ピス平事件に見られるが如く警察官に何の怨恨のあつたわけでもないものが、一寸したはづみに自分の復讐を邪魔立てをする警察官を射殺すと云ふやうな事もあるのです。又、所謂共産黨事件關係者逮捕のために淺草の某家を襲ふた警察官が狙撃せられたと云ふやうな事件もあります。さうした事を考へたら、自分自身無産者の子弟であり乍ら、就職難の爲め迷ひ込んだ警察官が、雀の涙ほどの増俸や救慰金にごまかされて、その同じ無産者の親兄弟を○○○資本家地主の人垣になる階級的任務の愚劣さを、何人も嘲笑せずには居られないでせうにも拘らず、彼等警察官はさうした立場を知つてか知らないでか――おそらくは種々なる宣傳煽動によつて、自分等が無産者の子弟であると云ふ階級的立場を悟られないやうに、それ劍術だ、柔道だ、競技だと云ふて警察官の階級的任務を幻想せしめられて居る彼等は、何等の増俸よりも眞先に警察官の増俸が行はれると云ふことに、いい氣な陶醉を貪つて居るらしいのです。のみならず、階級闘争の激化に伴ふ無産階級運動の彈壓がいよいよ反動化し兇暴化した所謂治安維持法違反の重刑を擬されて居る被告達をつかまへるさも大手柄でもしたつもりで居るのですが、死刑や無期の重罰を以て捕へられたが最後、生きては歸れないといふことになればさうした被告達の逮捕が命がけになつて行くといふ一事だけを考へても、無産階級運動彈壓の重罰酷刑が彼等警察官にとつて、喜ぶべき事であるか、戰慄すべき事であるかがわかるでせう。そして、さうした命がけの逮捕役を僅かばかりの増俸で重加せられて行く自分等の馬鹿さかげんを、多少なりとも自覺し得ない筈はないでせう。

殊に、警察官の増員が所謂高等警察網の擴充と共に非常な多數に上つて來て居る今日、假りに百萬圓の救慰基金が集まつたところでそんなものは、おそらく勸業銀行の富り籤には當りますまい。でも勸業銀行の富り籤は、五圓か十圓のところで、當れば得、當らなくても損のない仕組になつて居るからいいが、警察官の救慰基金は、其の富り籤をかけがへのない命を的にしなければ引き當てられない代物なのです。然も、從來、飛行將校や戰時決死隊員の命を的に引き當てた救慰基金が未亡人の若い燕に入れ揚げるか、或は遺族間の爭奪騷ぎに種を蒔いた例が骸の山であるところを考へたら、今日の警察官たるものは、少しは考へるところがあつてよからう。（布施辰治）

化けそこねた三土藏相

昭和二年度の豫算は議會の論議日數不足のため不成立となつた故去る十月卅日の閣議で決定した昭和三年度豫算こそ實質的には政友會内閣の手に成つた最初の豫算といふべきである。豫算編成の局に當る三土忠造は、如何なる知慧を絞つたかは知らぬが、如何に多くを國民より貢税させ如何に多くを支配階級――ブルヂョアに献納しやうとして居るかの形跡を誤魔化し得るものではない。新豫算總額は十七億五千二百萬圓であるが、歳入の方面から眺めると階級國家の特質である支配階級の被支配階級に對する生存許可の貢物としての税から、その大部分は成立つてゐる。來年度の如く財源に乏しく而も多年所信の手前、積極政策も今更知らぬ顔の半兵衛が出來ぬ上は木材關税の値上げを行ひ、我無産階級の家賃を引上げて切抜け樣とし、所得税法を改正して増收を見込んだりする。所得税法の改正は、中産階級の所得に課税率を高めるのだが、ブルヂョアの所得には一向手も觸れはしない。その上一億九千萬圓の公債を發行してやがて無産階級の負債に肩がはりせしめ、更に昭和十二年度までの膨大な公債發行の計畫まで作成した三土藏相に無産階級は何を以て答應すべきであらうか。

不景氣による歳入減少や、積極政策に祟られる以外、三土藏相は更に營業收益税及び地租移讓の公約に惱まされた。地方税へのこの兩税の移讓は一億二千八百萬圓の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

減收となり、歳入の骨幹たる租稅體系の大動搖であり、遂に例年不時の支出に備へる剩餘金を殆んど計上せず、はては郵便貯金を預金部より融通して收入に充てる有樣である。餓鬼の如く財源を搜し求めた三土藏相よ。何故、相續稅、資本課稅、大所得に對する稅等の改正を行はぬか。

歳出を一見すると、社會政策費なんて、鼻唾程も計上してない。實業同志會合流の條件は、新稅又は增稅による社會政策の多少なりの實現であつた。實同の主張は、結局、他人の褌で相撲をとる類に過ぎず、その手品の種は餘りにもたらしないが、商工業資本の要求としては御尤もな話である。併し金融資本と無二の親友であり其の代表者たる政友會內閣は鼻も引つかけはしない。金融資本家のために、我等無產階級の血稅を分配し更に血稅の再生產のために放下してゐる。有難き極みではないかにも關らず、鼻息の荒くなつた金融資本家共は、この豫算が彼等の聲明した金解禁促進の要求に不忠實であると公然罵つてゐる。

我等無產階級は「搾取され得る權利」を、直接稅間接稅——即ち征伏者に献げる貢物の變形により確認されてゐる。かゝるさんでもいない權利と、その保證制度とを一蹴せよ。そはたゞ××に依る以外に道はない。されば來るべき議會に於ける無產黨議員團に望するに豫算の正體を暴露し、三土藏相をして完全に化石せしめ、新豫算否認否決に至らしめんことを以てする。

（佐々木敬三）

玉碎主義を打破れ

新黨準備會の結黨方針は玉碎主義たといふ事たか、それは、正にかの解散後唱へられた「合法政黨必要ない主義」の延長であつて我々無產階級にとつては益なき事であらねばならぬ。では何故に、

一、これこそ、最惡の小兒病的英雄主義である。大山、細迫等が引つ込みをつける爲めに、最後の花を華々しくかざらしめ樣とするにある。一二の幹部の出所進退の名分の爲めに、全黨員をまき添へに食はせる事程、非階級的な事はない。

二、無產大衆黨の結成に向つて、官許黨の闘爭を投げかけた手前どうしても玉碎主義を取らねばならぬとするならば、これも、自己の誤謬を永遠化せんとする最も不眞面目な態度である。

三、玉碎主義の結黨方針こそ、正に官憲により以上の彈壓の口實を與へるものであり、彈壓をより強化せしめるものである。この爲め合法政黨再建がより至難になる。

四、玉碎主義は、どれだけ無產階級の陣營を強める事が出來るかといふ問題についても遺憾乍ら、吾々は百害あつて一利なきものであると考へる。

吾人は、かゝる英雄主義、小兒病的態度をもつ新黨準備會を悲しむ。否、より大きく日本の無產階級の爲めに悲しむ。

支配階級の恐るゝものは、玉碎主義ではなく、解散、彈壓の口實を見出す事の出來ぬ〇〇的合法政黨である。玉碎主義こそ正に支配階級の北叟笑む所である。新黨準備會の取つて來た態度はすでに、克服されたものである。されば、彼等も結黨にまで邁進したのだ。然るに、その結黨が、再び玉碎主義と聞いて、吾人は、彼等の小兒病の徹底に驚かざるを得ない。

其の他の政黨は官許黨であるが新黨の合法性要求は、官許黨ではない、支配階級を恐怖させて否應なしに、とるものたなどゝいふ子供欺しの結黨論は止めて、眞に無產政黨を意義あらしめる結黨方針の正道に立ち返れ。無產大衆は、この英雄主義イデオロギーに毒された玉碎主義を打破らねばならぬ飽くまで結黨に邁進せよ。

（羽田光雄）

アルベール、トーマ來る

來る十二月五日、國際勞働局長アルベール、トーマ日本の土を踏む。

トーマ來るの報一度傳はるや、日本社會運動の陣營に一せいにざわめいた。社會民衆黨を盟主とする右翼は、親分アルベール、トーマをして、日本政府及び資本家に對して、國際勞働會議の成果である、社會政策の徹底化を要求せしめ、以て鈴木文治氏米窪滿亮氏がはるはる國際勞働會議に行く理由を日本の勞働者にたゝき込まうと考へ同時にこれを楯に、トーマの肝入で大右翼結成を成就せしめんとしてゐる。

十一月廿日の日本民衆新聞は、「トーマ氏の來朝に、政府資本家大狼狽工場視察を妨害せんとす」と三段拔きの大見出しで書きたて、續けて曰く

「彼等は（日本政府・資本家）每年の國際勞働會議で大きなことを云つて置きながら、また勞働組合法すら制定してゐない。岡谷、野田其の他の爭議彈壓團結權の蹂躙或ひは全產業にわたる勞働者の奴隷的酷使、設備の不完全等々がトーマ氏の來朝によつて暴露されるからだ。聞くところによれば、右翼各勞働組合はトーマ氏をして岡谷、及び九州の諸炭坑を視察せしめるとの事である。之を恐れた政府や資本家は徹底的の妨害をなし、くだらぬ儀禮や歡迎攻めをもつて滯在日程に餘裕なからしめんとしてゐる。」ともちあげてゐる

同時に同紙は、

「今回のアルベール・トーマ氏來朝を機として「勞働立法促進委員會」の名の下に事實上の右翼聯盟を實現せんとしてゐる。我々は共產派のあらゆる中傷讒誣に堪えて來た。而し今こそわれ等多年の要望實現の日が近づいたのだ。」と大右翼聯盟のデッチ上げに努してゐる。

一方新黨準備會、及び無產大衆黨の機關紙は全紙を擧げて、「國際的ダラ幹トーマを葬れ、トーマを上陸させるな」と大みだしで書きたてゝゐる。日本勞農新聞の十一月廿五日號には、この事件は少しも書いてゐないが、總聯合及び組合

同盟事はトーマを招いて態々國際勞働會議の本質を質問するとの事である。

吾等は、アルベール、トーマの來朝によつて結びつくところの大右翼結成を克服しなければならない。即ち、日本勞働總同盟の關西派の進歩的大衆との固き提携をもつて、無產戰線の分裂を永久化しめんとする行動を牽制し、あくまで單一無產政黨に勞働組合の合一へ向つて邁進しなければならない。否、アルベール、トーマの肝入りがなければ進展しない樣な大右翼結成は、その事自身がすでに大衆の要望がその結成を必然ならしめてゐるものでない事を物語るものである。何故ならは、大衆が眞にそれを求めてゐるならば、大右翼結成はアルベール、トーマの肝入りの前にどんどん進行してゐた事であらうから。

右翼幹部笛吹けども大衆躍らず

アルベール、トーマそも何する者ぞ。彼の來朝や、最小限度の改良主義すら、尚拒否する日本政府資本家の多少なるはにかみと、資本主義の行詰りは此處にもあるかとの多少の感慨を土產として返らんのみ。

（十一月二十七日）

時事日誌

自十月二十二日
至十一月二十四日

十月二十二日（月）
東京市の冬期失業者救濟事業豫算百四十万圓、名簿登錄人員一万九千人
支那國民政府は爾後訓政期に入る旨を宣言す

同月二十三日（火）
英佛海軍協定案は秘密とせられしも華府軍縮會議議定に反すとの議論起り遂に内容發表さる

同月二十四日（水）
新黨準備會代表者會議は今日より二日間、開催、日勞黨との合同促進を決議し、十二月に結黨すべき旨聲明す

同月二十五日（木）
九州八幡市の選擧區改定は許可され小選擧區制となる
佛國パリ郊外に於て共產黨の示威運動あり千二百名逮捕さる

同月二十七日（土）
明年度豫算の査定略議終る

同月卅日（火）
大阪に於る社民黨、總同盟其他同系の團體代表者六十余名、日勞黨との合同提唱を決議す
明年度豫算は十七億八千萬圓余と決定す

拾一月一日（木）
支那中央銀行開業
獨乙ミユンヘン、グラツドバツハ等の紡績織物職工は賃銀一割五分五厘値上を要求し、工場閉鎖され、この運動は漸々他地方に波及する傾向あり。西獨乙鐵鋼勞働者は賃銀問題に對する仲裁々判に服せず廿二万人工場閉鎖

同月六日（火）
佛國ポアンカレー聯合内閣瓦解
原因は同内閣支持の急進黨が議會提出中の財政案中の宗教保護の法案に反對し且つ最小限度事業案及び諸侯制度を要求し、同黨出身閣僚エリオ以下四名の辭職を見たるに因てなり

同月七日（水）
米國大統領選擧は共和黨候補フーヴアー壓倒的多數を以て勝つ
露西亞革命第十一回記念日

同月十日（土）
即位式
羅馬尼農民黨、内閣を組織す
約一ケ月に亘る東京製鋼爭議勝利解決

同月十一日（日）
佛國前首相ポアンカレーは社會黨急進黨を除外せる右派聯合内閣を組織す

同月十三日（火）
大阪に於て三土藏相は適當の時期に金解禁實行を聲明す
米作第二回收穫豫想五千九百万石、第一回より六十萬石減

同月十六日（金）
久原遞相の手により政友一新會政友會との提携を聲明し、政府與黨絶對多數となる

同月十七日（土）
新黨俱樂部も政友會と對支問題に就き合流す

同月二十二日（木）
札幌地方共產黨公判決定

同月二十四日（土）
支那國民政府は日支交涉對策として排日貨令を全國に發す

苦言苦言

□十一月八日、日勞黨東京支部の懇親會も終つた頃、愛媛の○君が顏から血を流して二階からおりて來たので、心配して聞くと、「俺が書記長を今度の選擧の時愛媛から立てると云つたら、○○の奴馬鹿な事を云へ、書記長は足尾で立てるんだと、なぐりつけやがつた」と大憤慨。麻生書記長「どうも僕は有難いけれども、喧嘩ぢや困る」と苦笑ひ。

□○○で無產黨代議士連の喜悲劇新聞に紹介さる、日勞黨の○君「内のピカ一は一つも出てゐないね、内のピカ一は新聞宣傳なんか眼中にないからね。こつそり、かくれる樣に行つたらしい。」「いや、圓タクで行つたのだ。」と○君、新黨準備會の輝けるマルキスト、水谷、山本の諸氏に優ること數等、惜しむべし、水谷山本氏と共に大山、細迫代議士の悲喜劇のあらざりしを。

□たより無きは、日勞黨の出版能力なり。先にプロレタリヤを發行し初號廢刊となつた事は今尚世人の記憶に新なる所である。然るに、十一月創刊の「大衆時代」又危し。人曰く「二號も危い。三號廢刊は確實だ」と。日勞黨幹部たるもの少しは體面を考へよ。こんな事では何時迄たつても他黨に馬鹿にされるのだ。三號雜誌は出さざるに劣る。然し、某氏の云ふが如く「單行本」と云ふならよからん。雜誌の名を卽時削るべし敢て苦言を呈す。

□日勞新聞、十二月號より月三回を宣言して曰く

「やる氣なら、何でもやれる！見ろ新聞は今後三回確實に出せるやうになつた。」と然らは、今迄は新聞なんかやるつもりでなかつたらしい。こんな言葉は止めてくれ。こんな下らぬ事を云ふから、何時迄經つても馬鹿にされるのだ。しかし、三回ぐらひ是非出せる樣に祈る。黨員にとつて元氣の無い黨はさびしいからね。

□それはそうと、日勞新聞は支持團體でも金を出さねば廣告はせぬと云ふ。こんな事を云ふから、黨が發展しないのだ。新聞に金が集まらぬのだ。その點では新黨は流石にえらかつた。彼等は否でも應でも支持團體にあらゆる方面で一生懸命やらせる樣に煽てゝゐた。

日勞新聞の營業的態度に腹を立てゝゐるものは、敢て「進め」だけでもあるまい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

單一無產政黨結成を目標とする合同論の行詰りとその淸算

板垣良一

私は本誌十一月號にて自然發生的な單一無產政黨の結成が事實上、客觀的條件から不可能なる事を粗雜的に述べ眞に大衆の間に高まり來つた合同論を階級的一大大衆黨の結成へと進むべきである事を強調した。私は更に進んで最近の客觀的狀態から單一無產政黨の結成を目標とする合同論の行衛を淸算し、一大階級的大衆黨の結成を目標して合同論の巨歩を押進めて行く。

一、單一無產政黨論の批判

(イ)自然發生的の合同論

合同の呼聲！戰線の統一の要望が大衆の間に勃興し初めたのは昨年の府縣會選擧戰の結果からである。各黨結黨以來續け來た對立鬪爭は遂に選擧協定の戰術も突破して、同志相組み打ちて逐鹿戰の結果は、大衆の豫想を裏切つて（特に左翼陣營の）全國的慘敗を事實の上に見せつけられた。此の實證に適應して起るものは、對立鬪爭の嫌忌と同時に全階級的の意識の高揚であつた。こゝに根ざして、單一無產政黨の合同論は出發したのである。卽ち時の狀勢が大衆をして、自然發生的に合同論も叫ばすに至つた。殊に左翼陣營内に於て。

此の合同論は積年の對立鬪爭に嫌忌して居た大衆の間を席捲し且つ浸潤し強力なる勢力となつて表れ、それが普選を通じ一層、此の合同論は重要性を帶びるに至つた當時此の合同論に反對し回避するものは、悉く裏切者であり、反動化したものであり、ダカ幹の刻印は押れて行つた。

斯の如くして燎原の火の如く廣まり且つ高まり行つた單一無產政黨論は各黨、及支持團體間に於いて幾多の曲折を通じて、それは遂に具體的實行に移すべき政策、手段を取らねばならなくなつたにも拘らず、各黨、各派は徒に世間的な又、大會的な決議、聲明、を發して、眞に大衆の要望する單一無產政黨の結成には何等の具體的な實行に移されずして、今日に至つた。

(ロ)問題の提出

單一無產政黨の結成！この呼聲には何等反對すべき論據なく、誠にその結成は望ましい事であり、成し遂げねばならぬ、客觀的な、意識的な要求である。たが今日の各黨の狀勢ではそれは短兵急に出來得ない合同論として體裁よく取扱はれて、大衆の要望は日々に裏切られて行つた形を取つた。それは何故か、何故に大衆の前衛である城塞である黨が、それを廻避して（可能な範圍でといふ如く）高まり來つた合同論を彼方に押しやらねばならないか。

それは云ふ迄もなく結黨以來、深く刻まれ、且つ反目し合つた對立鬪爭の土臺！卽ち、各顧的認識の相異に基礎を置く指導精神？又は理論の結果である。從つて今日の狀勢では此の指導理論（精神）を各黨が階級的立場から、支配階級の強壓を前にいや（左右、中間、地方政黨を含む）全國的單一無產政黨結成の爲めに問題にせない事にならなければ今日、單一黨の結成は斷じて出來得ないのではないか。幹部と大衆を切離す事も今日では小兒欺しであるし、又指導理論が黨の幹部の頭に依つて造られてゐない黨は、自分等の客觀的な認識の正しい事を強調して、仲々大衆が承知すまいし、結局、單一黨の結成は事實上、各黨の客觀的な狀勢がその「結成」を遠き彼方に押しやつたのだ。然らば、大衆は、經濟上、政治上思想上、日々にヒシ／＼と迫り來る資本の攻勢と反動政治の暴壓に對抗し得る強力なる大衆黨！大衆の手となり足となり、忠實に勇敢に且卒直に活動し得る一大階級的政黨の結成を望んでゐる。吾等は此の黨の結成を目標して、今日まで押し進められ、高く叫ばれて來た合同論をして具體的な實行運動に這入る事が今日の狀勢に於ける無產政黨合同論の進み行く途ではなからうか。

單一政黨は望ましい事であり、成し遂げねばならぬ事ではあるが、今日それが事實上、机上の空論として終らんとする觀ある時、吾等は勇敢に、その行詰りを打開して現下の狀勢に適台し得る實力ある大衆黨の結成に進むべきではあるまいか？

二、現下の各黨の狀勢

(イ)無產大衆黨の合同論

無產大衆黨は結黨以來、單一無產政黨の結成を高く叫んで來、現在、尙且つ、只獨り單一黨の結成を叫んでゐる。吾等は此の黨が叫ぶ單一黨結成論は大衆の支持と人氣を集める政策である事を見拔かねばならぬ。此の黨の單一黨結成論なるものは實に甘く合理化されて如何にも穴を見つけるに困難な程に筋途と戰略、戰術が用ひられてゐる。が併し、此の黨の弱身は「大衆の強力なる支持がなきこと、及び左翼黨の右翼として新黨準備會と對立してゐる事」が合同論の上にも極めて心細い足跡しか殘し得ない。此の黨の指導的論客山川均氏は勞農十月號にて「無產大衆黨が出現した事に依つて戰線が統一に導かれ合同論が進展したと言つて大衆黨の出現の意氣を禮贊してゐる」が誠に申分のない禮贊の言葉である。丁度牧師

が信者の實際的生活を考へずに只神の有難さと神秘力を解き聞かすのと同じ筆法である。

誠に我が子は馬鹿でも賢く見ゆるは親の慈愛である。大衆黨の存續する限り山川氏の黨に對する溺愛は續く事であらう。

ただ事實は非常に相異する！大衆黨の出現に依つて、一層戰線は混亂した事は事實だ！新黨對、大衆黨、大衆黨對日勞黨の如き幾多の波瀾を捲起した事は世間周知の事實である。萬一、大衆黨の出現が戰線統一に助力したとて、それは只客觀的な狀勢が大衆黨をして行わしめたに過ぎぬ程度のものである。

新しく論じ來ると大衆黨の合同論の呼聲は、誠に人氣取的であるし又心細い事である。更に大衆黨の合同問題に關する指令では「合同の時期は年内に於いて實現せなければならぬと云ふ」全國的單一無産政黨が年内に結成されれば誠に望ましい事である、が併しその確信があるか？若し、なければ大衆をエビで鯛つる式の欺瞞政策である。更に又「可能なる範圍に於ける順次的合同をなすと云ふ」實に何黨と合同が可能なのか、「可能な範圍」などといふ事は單一成黨を彼方に押しやつた理論である。從つて大衆黨の單一黨結成の合同論も結局行詰る今少し、客觀的條件を批判するのが至當だがそれは紙數の都合やらない。

（ロ）新黨準備會の内在的矛盾の理論と實踐——それに基く合同論

新黨準備會は自から絕叫する樣に輝けるレーニズムを指導精神とする政黨であり、その構成幹部はそれを意識して他から見ると非唯物論的な樣に見ゆる程にレーニズムを信奉して實踐に望んだ黨である。從つてその行動は戰鬪的である革命的であり行動的である、その事は必然的に大衆の自然發生的な要求を滿足さすに非ずして抹殺する事が多い事を實踐に示した。その結果から大衆の眞の底力ある支持となくして少數の前衞分子の意識的な支持であつた事は幾多の戰線に於ける戰績が實證してゐる。

此の事からして吾等は新黨準備會が理論と實踐の上に於ける内在的矛盾を持つてゐる事を見逃してはならぬ。

それは幾多の苦鬪から清算され整理されてゐると云ふかも知れないが今日の狀勢では依然として理論と實踐に於ける矛盾、卽ち前衞政黨か大衆行動黨かの岐路に立つてゐる。從つて新黨準備會が過去に掲げて來た合同論は戰鬪的レーニズムの上に立つた、言葉を代へれば左翼精神を中心としての合同論であると同時に今日尚、依然として其の立場から合同論を主張してゐる。その具體的證明は日勞黨との合同論である。が併し、やはり依然として前衞黨か大衆行動黨かの決定を明確にせない限り、此の合同論は行詰る。勿論、大衆の日常鬪爭を通じて、合同の推進力を中央に押進めると云ふかも知れぬが、大衆は幹部の指導下にある。大衆が指導幹部を捨てない限り具體的に大衆同志の握手が全國的な合同へ進む事は實質的に不可能である。であるからとて大衆間の日常鬪爭を通じて合同論を押進める事に反對してゐるのではないのだ。ただ「急がば廻れ式」の合同論であるといふのだ。

（ハ）社民黨の右翼結成の批判

社民黨の中央幹部が極力主張する右翼結成は、現下の各黨間に重要視され、これが批判と克服に努力される程「右翼結成」は問題となつてゐる。だが吾等は左翼の人々が云ふ如く「右翼結成」をせない前からそれが支配階級への階級的隷屬である如く考へてはゐない。現在の如く戰線が分裂して各派相組み打ちしてゐる現狀では敵の強力なる攻勢！壓迫に對抗出來得ない事は、常識で分つてゐる。吾等が此の攻勢と壓迫に對抗し得る爲には一歩々々と鬪爭力を強め味方の陣營を擴大する上からしても更に階級鬪爭の戰線へ未だ馳せ參じ得ない右翼團體が存在してゐることを併考した場合、「右翼結成」は反動への合理化であり、排擊すべきものであるとして簡單に左翼的指導理論の立場から清算し擊殺することは前衞黨の任務でないと考へる。何故なれば右翼に對する眞のマルクス主義の立場は、右翼の陣營内にあつて陣營を尖鋭化することであり、發展さす事であるからだ。

卽ち階級的水準を下げるに非ずして、右翼的指導理論の下にある大衆を階級的水準まで引き出し、發展さす事である。幸にして、「右翼結成」に包擁されんとする團體は、日常その餘剩生産に酷使されてゐる、プロレタリア層である。これ等の大衆はその生活條件から必然に社會民主々義の甘い夢に惑わされる事を拒否し發展する大衆である。從つて吾等は今日大なる決意と希望を持つて「右翼結成」といふ妥協的な戰術的な言葉に捕はれることなく、眞實、一大大衆黨結成の爲めに右翼結成をして階級的立場まで發展さすことが吾等の任務である。マルクス主義の明確なる理論に基く政策は凡ゆる問題凡ゆる困難な過中にあつてその進み行く方針を誤らず、一歩々々と階級的發展に直進する。

如何に社民の幹部が意識的に反動化を計畫し、鬪爭を回避しても、大衆の強力なる合同への前進は、社會民主主義に基礎を置く現實肯定論では喰ひ止める事は出來ない。吾等は眞の階級的一大大衆黨結成の爲めに凡ゆる困難を克服して、各黨の持つ内在的矛盾を解決して發展に導く事に努力するであらう。それが現下の客觀的狀勢に適應せる合同論者の任務であり成し遂げなければならぬ役割である。されば全國の同志諸君よ！滿身創傷を受けて戰ひ拔いて來た合同論を更に具體的に實行する爲に強力なる握手と合同への巨歩を進めようではないか。（一九二七、一一、一〇）

御願ひ 本誌を借つて前後二回に亘つて粗雜に階級的一大大衆黨の結成を提唱しましたこれに對して各方面の熱心なる合同論者の内には相當異論ある事か豫想します何卒直接遠慮なく御質問なり意見を紙上を通じて發表して下さい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會民主主義か共産主義か
我が國社會運動既定の運命

佐藤護郎

現在、無産階級の戰線は無産政黨の分野に依つて區分せられ、左、右、中、の三つに分布されてゐる。即ち新黨準備會、無産大衆黨、日本勞農黨、社會民衆黨の存在これである。

◆

以上列記した四政黨（内新黨準備會は未結成）の内包する思想並びに運動方針から先づ解剖する。

◆

新黨準備會は極左派として知られ、共産主義を標榜して左翼統一を目標として運動を進めてゐる。

無産大衆黨はその位置左翼に位するが、その運動方針は大衆戰線の統一を目標とし、無産共産主義を標榜する

日本勞農黨は中間派として知られ、運動方針は大衆戰線の統一を目標とし、思想的には共産主義と社會民主主義を包藏する

社會民衆黨は右翼に位し、右翼結成を目標として社會民主主義を標榜する。

◆

以上の如く、我が國の無産政黨の分布並びに客觀的運動狀態は非常に混亂し、現在の儘に於ては發展的片影たもない。併し現在中間派と稱されてゐる日本勞農黨はこの度の擴大中央委員會に於て漸く本質を表白し、その域に達したかの如くにみえた。なほまた、この時期に於て我が國無産政黨の傾向は左翼結成の漸進、右翼結成の急進的傾向を露出するに至つた。

◆

左翼結成の漸進的傾向として具體的に現はれたものゝ中に二種の傾向をみることが出來る。一つは新黨準備會の日勞黨への合同運動、一つは無産大衆黨の日勞黨への合同運動、なほ、日勞黨内部の左翼派、主として全國農民組合側の無産大衆黨への合同的傾向は、一層左翼結成の氣運到來を暗示せしむるものである。

◆

併し新黨準備會の運動目標と無産大衆黨の運動目標には前述の如く差異がある。即ち左翼結成を明確に指示するものと大衆的政黨を目標として左翼結成を目論むものとである。もしこの斷定、即ち無産大衆黨の左翼結成意識の斷定を否定したり、或は無産大衆黨一部の連中が、それを否定したりするならば、客觀的情勢に無智な無策をわらはずにはゐられない。それは新黨準備會と相爭つて日勞黨への合同を策してゐる點に於て明かである。

◆

斯くして一方右翼は、中央委員會に於て資本主義を排すると共に共産主義を排することを決議し、明確に社會民主主義の傾向を聲明した。併し、社會民衆黨を支持する最も有力なる團體、日本勞働總同盟内部にはなほ異分子の存在することを見逃すことは出來ない。

◆

それは、本年度總同盟大會に於て明かなる色彩を表現したる如く、關東派と關西派との反目である。この反目は單に松岡派對西尾派の反目に止まらず、その根底には若干の思想的相違を發見することが出來る。それは社會民主主義とファシズムの無意識的若くは有意識的對立である。

◆

現在、總同盟内部には、この思想的對立をおぼろげ乍ら發見することが出來る。即ち關西派は社會民主主義、關東即ち松岡駒吉氏一派はファシズム的傾向である。

◆

日勞黨内部の關西派中組合同盟の一派は明かに社會民主主義である。この社會民主主義的傾向は單に關西派及び組合同盟派のみに限らず、雜誌「社會思想」を中心とする本部派はすべてこの傾向に位する。隨つて、日勞黨内部の合同問題を討究するの場合には、思想的には必ず社會民主主義一派にしてやられる。

◆

この日勞黨内部の傾向と、總同盟内部の社會民主主義的傾向と、結びつかうとするのは當然すぎる當然の話しで、少しも不思議はない。たゞ組合同盟の幹部はもと總同盟内部の幹部であつた關係上、合同問題には必ず分裂當時の感情がつきまとうに違ひない。が、併し、この感情は主として松岡駒吉氏に對する感情であつて、總同盟幹部全體に對する感情でない。

◆

されば總同盟關西派の幹部が松岡との反目に依り日勞黨との合同を策し、なほ、社會民主主義とファシズム的傾向との對立との故に日勞黨との合同を策すに於ては、日勞黨組合同盟幹部は渡りに舟である。何の異論あらうぞ。

◆

この前の日勞黨擴大執行委員會に於て、組合同盟組合長棚橋小虎氏が、無産大衆黨との合同を主張する一派に向つて、大喝、「組合同盟にも覺悟がある」とやつた時一人の討論もなかつた事は日勞黨内部の勢力分布及び思

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

想分布を間接的に物語つて、面白い現象である。

◆

斯の如く日勞黨の分解的傾向が濃厚となつて來た時右翼は社會民主主義の旗色を鮮明にして（總同盟内部に於けるファシズム的傾向は社會民主主義の明確なる結成の前には飛散する運命を持つてゐる）海員組合、海軍聯盟その他の灰色團體を抱擁して一大勢力を結成して、左翼即ち共産主義との對抗を明かにするであらう

◆

一方、左翼と稱するもの〻中、無産大衆黨は右翼の、即ち社會民主主義の戰鬪開始に對して、どこまでも大衆的無産政黨の旗印を樹て〻ゐるわけにも行くまい。そんなことをしてゐた日には、日本の無産階級運動はみな社會民主主義の下に結成されるであらう。

◆

そこで、無産大衆黨あたりの任務を、及びその旗色を明かにせねばならぬ事になる。即ち、右翼對左翼・社會民主主義對、共産主義として、

◆

もし、この左右兩翼の旗色が、歴然として共産主義對社會民主主義の旗色となつて、無産階級陣營内に對立し、采配を振ふことになれは、從來の單なる社會主義と稱せられたる部分の人々も自ら明確に社會民主主義者、共産主義者となるであらう。

◆

その場合に於ける日勞黨の態度等は問題ではない。落つくところに行つて仕舞ふたけのことである。

◆

新黨準備會對無産大衆黨の問題も然り、無産大衆黨は全體的傾向として本來の共産主義に歸着し、内部若干の社會民主主義的分子は清算されるであらう。新黨準備會と無産大衆黨とは、新黨準備會の結黨と否とにか〻はらず合一される、そして共産主義として戰鬪旗を揭げるであらう。

◆

斯く、日本の無産階級運動を見透せは、解決は簡單である。即ち右翼と左翼、共産主義と社會民主主義との對立は既定の約束であつて曲論を鬪はす必要等は少しもない。

農民に土地と自由を！

——農民戰線統一への路——

南　三平

■全國農民組合はその創立大會の決定に基き立禁反對の共同委員會の共同提唱を、中部農民組合に計り、そして此の共同提唱の結果は七月七日、我國の有力なる農民團體の全ての參加を得て、直に全國農民團體會議の結成を見た。その後、同會議は既に五回の委員會を開き、農民戰線に於ける強力なる鬪爭を展開してゐる。

この事實は、農民戰線の統一は先づ何よりも直接に當面せる農民の利害に於てそれの爲の鬪爭を通じてなさる可きことを示唆するものであり、それは「指導者」の政治的見解の差異や或は立場を一切無視してゐる。事實、問題は指導者、幹部、それ等の本部の合同ではなく、農民大衆の結合にある。結合こそは力である。指導者を自任する幹部の有無に關せず、大衆の進む可き路は大衆自身が知得する立禁反對、立毛差押反對、そして完全小作法の獲得は、小作人の生活から生れ出でた血のにじんでゐる絕叫だ。農民の階級的願望だ。

地主は、窮迫せる農民の要求と擡頭を押へつけるために凡ゆる態度を以てのぞむ。就中、最も意圖の露骨にして苛酷なるは、彼等の所有權の牙城から放つ耕地立入禁止の亂發だ。

■農民團體會議第一回委員會の聲明に曰ふ「實に小作人が昨日まで血と汗を以て耕作せる土地に對し、一朝にして法律の柵を巡らし、その上に一歩も入ることすら許さない。此の如きは實に何たる暴擧ぞ。小作農民は、云ふまでもなく土地を耕して始めて一家の糊口をなすものである。然るに此の小作人が地主との間に小作料の問題につき紛爭ありと云ひて直にその永年の丹精になる土地を奪ひ刑罰を以て立入禁止をするが如きは全く言語同斷である——」

農民は、斯くして飢餓に突き當る。生活の問題ではない、生命、生存の危殆につき落されるのだ。

此の事實が、耕作權の確立・完全小作法の必要を認得せしめる。小作人は耕作權を以て、團結權を以て應じ、戰ひ、破るより他ない。

平作だ、豐作だ、の宣傳から、眼のあたり凶作に轉落しつ〻ある此の秋、今、立禁の嵐は全土を蔽ふてゐる。農民の陋屋は、壁落ち、戸は破れ、臥床は寒さに充ち、打ち果てた屋根はわづかに氷雨をしのぐに足りるのみ。

農民の叫びは深刻化する。

俺達に土地と自由を與へろ！

茲に農民の階級的願望があり、階級的結合の紐帶がある。

俺達にパンと土地を、土地と自由を！

こゝに戰線統一への道が開かれる。

全國農民團體會議は即ち、此の要求のために、此の實踐的鬪爭のために結成された。そして「農民大衆共通の問題たる立禁反對のため共同の鬪爭を敢行」することを誓つてゐる。

此の共同鬪爭を支持しろ！此處から、眞に强力なる大衆の統一が生れるのだ。

（圖）

今、現に、過渡しつつある所謂受難期に處するの途は、凡ての戰線を統一するより他なき事は既に、實行の必要時代になつてゐる。農民戰線の統一が唱へらるること既に久しい。そして巨大なる一步は全日と日農の合同によつて踏み出されてゐる。一步の躍進によつて生じた壓力は、そのまゝ偉大なる統一力である。當面可能なる合同を完成せしめることは、その根本に於て決して全線統一の支障ではなくして、反對に、統一への進出である。部分的合同と雖も之れは實に一步の進出のみではなく、より大なる統一力の創造だ。全線統一への見透しと確信なくして、たゞそれへの希望の故に部分的合同は一方的合同は全的統一の實現を永遠に彼岸に追ひやるものであるとなすは、現在の瞬間に於ける客觀的狀勢に基く技術的行動の現れであり、あらねばならぬものであり、それは、現狀勢の裡に、全線統一の同時的出現への必然性、從つて具體的なる可能性を認めることなき時には、何れの場合でもノンセンスだ。

統一運動はその特殊的任務たる全組織體の合同と共に、多くの未組織者を獲得す可き一般的任務を有つ。

農民戰線の統一も、組織農民と等しく地主資本家の强度の搾取の下に苦惱しつゝある未組織農民の組織そしてその支持を得る時、此の支持を背後に進む時、眞に大衆的基礎の上に確立される。一の合同は全的統一への壓力であり、未組織者の絕へ間なき組織もまた大なる拍車である。

來たれ日本無產青年同盟の旗の下に

日本無產青年同盟準備會

全土の青年諸君

吾々は今、日本無產青年同盟を結成し、その一歩を踏みいださんとしてゐる。何故に、吾等はかゝる運動形態をもたなければならないのか。無產青年の利害は、無產政黨や勞農組合でしつかりとやつてくれるではないか。むろん、無產政黨や勞農組合は無產青年の爲めに戰つてゐる。しかし、政黨や組合にとつては、青年運動は一部であつて全體ではない。青年の特別な任務や仕事をするにはやはり勞農運動の一部としての青年のみの同盟を作り、そしとし仕事をやつて行かねばならないのだ。こゝに、ほんとうの無產階級運動の任務の分擔があるのだ。

青年諸君

諸君は、未來を作るものが誰であるかといふ事を知つてゐるか。それは諸君だ。されはこそ、支配階級は諸君を丸めて自分達の足場にする爲めに、あらゆる反動教育を行つてゐる。青年團を見よ、處女會を見よ。

諸君は元氣盛りの青年である。その元氣盛りの青年を、資本家地主は內に、反動教育を行ひ、外に向つては利權を擴張する戰爭の巷に追ひやる。その爲めに、彼等は軍時教育を行ひ青年訓練所を作り一方、勞働者農民の血稅を搾りたてゝ軍備の擴張をやつてゐる。一體、戰爭とは何者だ。戰爭の正體は、內外資本家の利益の衝突から起るのだ。無產青年は、戰爭によつて得るものは、〇〇の戰死と、家族の貧困が殘るばかりだ。人間同志が殺し合ふ、これほど悲慘な事はない。こんな戰爭には絕對反對だ。戰爭反對の運動も直接資本家からその任務を强要される青年の先頭に立つてやるべき仕事である。

青年は何等の政治的自由を持たない。吾々は滿十八歲以上の男女の選擧權を獲得しなければならない。これも青年同盟の最も重要な任務の一つである。

又、青年は、青年の故に特別的な經濟的搾取を受けてゐる。これに對しても吾々、青年が先頭に立つて戰はねばならぬ。

吾等が青年同盟を作らんとするや、封建的徒弟制度の下にある青年諸君、研究の自由を奪はれつゝある學生の諸君、官僚青年團の先進分子の双手をあげての支持應援の聲があつた。今や、日本無產青年同盟の力强き一步を踏み出すべき時だ。

全土の青年諸君

現在青年同盟が三つある。日勞黨系の青年同盟、社民黨系の青年同盟、勞農黨系の青年同盟以上の三準備會だ。吾々は何故これらの青年同盟の中に更に結成したのか、この問題に答へよう。

以上の三同盟はいづれも政黨の下にある同盟であり、政黨の分裂の爲めに、これらも分裂して生れたわけだ。しかし、無產青年同盟は分裂して存在すべきではない。元來、一つ以外はあつてはならぬものだ。だから、吾々は、政黨の合同を促すと共に、青年同盟の合同も促進せしめねばならない。しかし、政黨の合同は正に至難のものである事を見せつけられてゐる吾々は政黨の合同は合同として無產青年同盟はお互に少しでも早く合同しようではないかとの意見をもつてゐるものだ。それは、非常にいゝ結果をもたらすものだ。

統一された青年同盟に、一時的には政黨中立の態度をとるより外に道はない。何故ならば、政黨が分裂してゐる現狀においては、各政黨の下に作られた青年同盟が一つにより合つた以上は、どれか一つを支持すると云ふ譯には行かない。そこで、政黨の合同を促進するといふ決心の下に、一時的に政黨中立をもたねばならない。吾が日本無產青年同盟は、政黨中立を標榜

して生れたものである。そして、各青年同盟を一日も早く統一し、強力な青年同盟を結成し、その力をもつて吾々の特殊な仕事をやつて行かう。同時に、各無產政黨の合同に努力し、一日も早く政黨中立の一時的な態度を改める樣な狀勢を作つて行かう。

全土の青年諸君

眞に青年同盟の正道を歩むものは我が青年同盟をおいて外にないひるむ事なく入盟せよ。

綱領

一、吾等は無產階級の解放は階級闘爭によつてのみ達成することを確信し、無產青年獨自の立場より之が實現を期す。

一、吾等は全無產階級の前衞として支配階級の彈壓と搾取に對し勇敢なる闘爭を敢行す。

一、吾等は勞農戰線の統一の爲めに凡ゆる分裂的傾向を克服し大衆的單一無產青年同盟結成に向つて邁進す。

主張草案

政治

一、滿十八歲以上の男女に對する選擧權被選擧權の獲得
二、無產階級壓迫諸法令の撤廢
三、言論、集會、結社、出版の自由
四、檢閲制度の撤廢
五、社會立法の徹底的獲得
六、健康保險法の徹底的改善
七、失業救濟法の制定
八、軍備縮少と兵役年限の短縮
九、一年志願兵制度の廢止
一〇、特察政府絕對反對
一一、不當カンキン、冤罪による損害國家賠償
一二、帝國主義的外交の排擊

經濟

一、團結權、罷業權の確立
二、八時間勞働制の實施
三、最低賃銀法の制定
四、立毛差押、立入禁止絕對反對
五、封建的徒弟制度の撤廢
六、自由勞働者の親方制度の撤廢
七、女工幼年工の六時間制の實施
八、女工幼年工の深夜業の廢止
九、青年勞働者に對する差別待遇の廢止

教育

一、教育の機會均等
二、義務教育の國庫負擔
三、軍國主義教育絕對反對
四、青年訓練所の卽時撤廢
五、學校內に於ける軍事教練の廢止
六、無產者的教育機關の設置
七、學問の自由と學園の學生自治

社會

一、既成青年團、處女會に對する官僚的支配の撤廢
二、兵卒の待遇改善と其の家族の生活の保證
三、服役による解雇絕對反對
四、女工寄宿舍制度の撤廢
五、結婚の自由
六、職業紹介機關の設置
七、朝鮮人の勞働の自由と待遇差別の撤廢
八、水平社に對する差別の撤廢
九、人身賣買の禁止

スローガン

青年に選擧權を與へろ
戰爭の準備と抗爭しろ
官僚青年團を乘取れ
青年勞働を差別するな
無產團體は即時一しよになれ

（所在地芝區南佐久間町二丁目十八番地）

最新社會運動用語

部分的合同

合同問題の進展と共に云はれる樣になつた言葉である。即ち單一無產政黨主義者が、無產黨全體の合同が一時に出來ない狀勢にあるのでまづ可能性のある一部分と一部分の合同でもたんたんにやつて理想を實現せしめ樣といふにある。例へは、日勞黨と單一無產政黨主義であるが、社民黨、大衆黨とは一度に出來ぬから何時でも合同の出來る可能性をもつてゐる大衆黨と合同しようといふ樣な主張である。しかし、この部分的合同も仲々出來そうにもない狀態である。

玉碎主義

新黨準備會が十二月に結黨する事になつたがこの結黨方針も政府の解散命令の前に玉碎する覺悟でやらうといふ事から出た言葉である。政府が認めたら、それはもう官許黨だと新黨準備會は云つてゐるから、結黨を眞面目にやらうといふ意志もあるまい。

黃色組合

政府や資本家に依つて作られ、または其の御用をつとめる組合のこと。

機會主義

一貫した理論的根據を持たず狀勢の變化に伴ひ、勝手な理窟を作り勝手な行動を執る主義をいふ。

橫斷左翼

合同問題解決のための左翼の一戰術であつて、左右兩翼の各無產團體內の左翼分子の結合をいふ。

合法政黨主義

舊勞農黨解散後、新黨準備會內には闘爭によつて其の組成を支配階級に確認せしめ樣とする論と、一まづ法律の許す範圍で結黨して戰線の統一と擴大を計らうといふ合法政黨主義とがあつた。この兩理論 對立は無產大衆黨を生み遂に今日の準備會も前說を棄てるに至つた。

產業の合理化

歐州戰後資本主義國に於ては、勞働の組織機械の配置を變更し、休憩時間を制限し、無產者の失業と病と早老を代償とする新搾取方法の總名である。米國フォード會社に於けるものは其の典型的なも。

團體交涉權

これは、勞働者、對資本家間の問題である。即ち、資本家的生產は勞働者をなるべく搾取しようとする點に基調をおいてゐる。之は如何に人道的口吻をもらしても駄目である。この資本家の態度に對しては到底一人一人の勞働者では極めて勞働者の不利益な條件より獲得することは出來ない。この不利を免かれる爲めには勞働者は團結の力をもたなければならぬ。この團結、即ち勞働組合對、資本家の交涉權の事を云ふ日本においては未だ勞働組合法の制定もないし、大勞働組合は團體交涉權を默認されてはゐるけれども、事實において團體交涉權を獲得してはゐない。吾等に徹底勞働組合法團體交涉權を獲得せねばならない。

大衆的共同戰線黨

共產主義者のみの所謂前衞黨と異なるものであつて、資本主義の客觀的狀勢の下において、壓迫されつゝある一切の人民、即ち小市民、小商人、勞働者、俸給生活者自作及び小作農民等の共同利害を代表して戰ふ政黨、現在日本の各無產政黨は皆これである。但し、日本農民黨の如く、農民ばかりの利害を代表する事を指導精神として居るものは、この大衆的共同戰線黨の資格に欠けるものであらう。

量的統一、質的統一

この言葉も合同問題からおこつたものであつて、最近赤松克麿氏が「量的統一から質的統一へ」なる一論文を發表して問題になつて居る。即ち、赤松氏は單一無產政黨主義は 的統一を基調とするもので、即ち共產主義も社會民主主義も一しよにしようとするものである。しかし、かゝる合同論はその明確なる指導精神の對立の故に到底出來得るものではなく、又出來たにしてもやがて分裂の運命を見る。質的統一は之に反して社會民主主義を指導精神とするもののみ合同しようとするものであり、共產主義者は共產主義の下に集れと云ふにあつて、これのみが眞の合同論であると云ふ。この赤松君の合同論即ち質的統一が、大右翼結成となつて表れて居る。この統一論の可否に就いてはこゝでは述べない。それは餘りに幾多の問題があるであらうから。

地方政黨

全國的政黨に對して用ひられる。即ち、一縣、一郡等を結成地域として組織されるもの。日本勞農黨、社會民衆黨、等の全國的政黨に對する千葉勞農黨、關西民衆黨、信州大衆黨、等々、この地方政黨は、階級的に行けば、直ちに全國的政黨に合流すべきものである。地方地方に、はくち打の繩張りの樣に巢をかけて居たのでは、到底黨員の利害の貫徹に徹底的に戰ふ事は出來ないであらうし、支配階級の攻勢に對抗する事は出來ぬであらう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國は何處へ行く

佐々木敬三

一

今や世界の視聽は、欧羅巴と資本主義米國とに集中されてゐる。兩者に關する色々の報導は、善かれ惡かれ多少誇大される傾きを免れぬが、何事でも「世界一」を誇りたがる米國人の事とて米國の眞相は却て其の宣傳や空騷ぎの裏にかくれてゐる觀がある。今度行はれた大統領選擧戰は全米を擧げてのお祭り騷ぎであつたが、その彼等一流のお祭り騷ぎに悩せられ、日本の新聞紙までお太鼓を叩いて事實の眞相を傳へるに不忠實なのにはあきれる。——無論それでなければブルヂョア新聞の役目は勤まらないが——

米國大統領の選擧は間接投票で十一月六日各州の投票者の選擧が行はれ其の結果共和黨四百五十一名、民主黨八十名と云ふ成績で遂に共和黨の大勝に歸した。形式的にはこれ等の代表投票人がワシントン市に集まり候補者に投票し三月より新大統領就任の順序を踏むのだが、事實既に共和黨が壓倒的勝利を博し、その候補者フーヴアーは次期大統領に決定したのである。從來共和黨は八年間の久しきに亘り大統領の椅子を獨占してきた。米國大統領は佛蘭西なぞの地位を擁する大統領ではなく、實際に政治外交を指導し處理して行く元首であり實權行使者であるその椅子を過去八ケ年も獨占してきた共和黨が更に今後四ケ年政權を握つて金權政治の大旆をかざして世界支配に突進しやうとしてゐるのだ。民主黨は、嘗て歐州戰爭當時非戰論者、人道主義者たる假面を脱いで戰爭參加を斷行したウイルソン以來、最も人氣あり大衆的空氣を呼吸してゐるスミスを候補者に押立てたが、その敗北に至つては兩黨何等の差違を認め得られない。

共和黨は米國繁昌第一政策の絶對的支持者であつて關税保護を主張する。民主黨は關税は自由主義を取るが繁昌第一に變りはない。共和黨は反動的帝國主義的外交を以て中米、南米に臨んでゐるのに民主黨は國際協調主義で多小摩擦が輕減されると云ふ丈の話だ。禁酒法に對する兩黨の態度は前者嚴守で後者が緩和といふに過ぎず、しかも民主黨の主張が通つてもなほ憲法改正を要するから實行至難である。然らば何等の差違が存在するか。關税問題に關連する農村救濟問題がある。併し此とても、農村大衆の要求に從つて工業資本——從つて其の背後に金融資本——の御機嫌を取り損ねても構はぬのではない。選擧作戰として農村救濟失業者救濟を高唱した民主黨も歴史的に眞實救濟らしい事をした覺えはない筈だしウオール街の金權者に逆らふ程の愚物でもない。

二

共和黨は勝つた。なまじ下手な同情を安賣りしないで。資本主義謳歌、金權萬歳で押通した共和黨は勝つた。全米國民の誰もが株券の所有者である指導的資本主義國では、反動的、帝國主義的なもの程結構なのだ。昨年度に於て、年收五百萬弗以上に達する者實に二百八十三名と稱せられ。曾て英國がナポレオン戰後百年間に獲た富を、世界大戰數年間に一擧して獲得し、中米南米をその半植民地とする米國は、今や漸く衰亡の素因を内部に孕んでゐる。その素因とは何であらうか。

農村問題と失業問題の内部には過去現在に於ける發展の要素と、將來に於ける沒落の要素とが、包藏されてゐる。農業は全く小資本家の資本家的採算の下に行はれ、未耕作可耕地は四〇パーセントを餘すのみで耕地は粗放な大農的掠奪によつて痩せはてゝゐる。今後米國の農業は、その都市附近の蔬菜園藝地の如き集約的にして多量の肥料、從つて多大な資本の投下を必要とする。これが現在でさへ採算の取り兼ねる米國農業資本家の喜んで採用する方法たらうか。千九百二十年から二十五年までの五ケ年に五パーセントの耕地が減小した事でも充分明白だ。資本主義社會に於ける自作農は、大地主なき米國でも最早や沒落の悲しき運命を辿り始めた。その上常に此の農業小企業者達は政治的勢力として結合出來なかつた。工業資本は政權を左右して彼等の都合よき關税壁を作りあげ、工業資本の發展を便にし速かならしめたが一方外國輸出の農産物を生産する農民は其のため價格の引下げが行はねばならず、しかも一般物價は騰貴するので二重に苦しむ。（[illegible]）にも拘らず、加奈陀、アルゼンチンの農業は粗放で、低い價の農産物を供給する。今や米國の農業は、小作問題こそないが、またそれ丈けに衰退へと彷徨してゐるので、これは米國が、資本主義國として個步し成長すればする程大きくなる暗影である。

米國工業の前途はこれ亦、遠からず一定の限界に達せんとしてゐる。米國の富は廣大な地域に埋藏された天然の資源に基いてゐる。米國の急激な發展の速度は、急激な地下埋藏の濫掘の速度と一致する、石油王國たる米國が世界各地油の田戰爭に參加してゐるのは、國内油田の涸渇を意味する。世界大戰の火蓋により、また新設による結果として新しい設備による産業の合理化、機械化による生産力の増大は世界に冠たる[illegible]があるが、このため、四百萬の失業者と、四十才以上の勞働者お斷りの貼札となつた。中米南米への帝國主義外交はやがて從來假面の平和的對支外交をも武斷化し、世界資本主義の沒落への過程へ捲きこまれる。米國の資本主義的繁昌も一過程に過ぎない。米國の勞働貴族と、産業合理化熱にうかされてゐる連中よ、ダンスホールの床が拔けぬ樣御用心御用心。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

投稿

單一無産政黨結成への不可欠條件とは一體何か

本城廣信

階級意識を闡明にして無産者の本來の精神を發揮すべく生れ出でたる各無産政黨は、確かに無産大衆を代表するものであり、徹頭徹尾無産大衆の爲に猛烈なる鬪爭を資本家地主に對してなさねばならぬ職責を擔つてゐるのである。而して各無産政黨は無産大衆を基礎とするものであつて無産者の無産黨である事は自ら明白である。して見ると無産黨は決して一部幹部の獨裁主義には斷じて任せてはならぬのである。然るに事實に於ては今日の無産黨は幹部獨裁であつて大衆の其れではない。此所たるや大衆は合同を欲するにも係はらず各無産政黨が合同不可能であると云ふ點に於て明かである。

日本に於ける過去の無産者運動を振り返つて見るに、無産政黨が生れ出た時は、其の實際に於ては單一無産政黨ではないとしても、然し乍ら共同戰線に立つべき當然の運命を充分に擔つてゐたのである。して見ると其の分裂は不自然であつたのである。又其の對立が不自然なのである。此等一切が不自然なればこそ、無産政黨を生み出したる大衆の力が分裂せる對立せる各無産政黨の合同、統一及び共同戰線を急迫に要求するのである。而して此の大衆の力の當然不可缺の要求を妨害してゐるものは、そして合同せざる所以のものは、新興無産階級の勢力ではなくして、其れは實に各無産政黨を現在組織せる者の排他的勢力に相違ないのである。即ち合同、單一無産政黨結成を力強く要求するのは無産大衆の力であつて、合同及び統一戰線、單一無産政黨の結成を妨害するものは、現在の幹部の地位と其の勢力とである。私は此を強く斷言して憚らない。

×

總同盟が右翼であるとか全國農民組合が左翼であるとか新黨準備會がどうだのとかそんな事はどうでもよいのである右翼とか左翼とか其は其の組合なり政黨なりの幹部の色彩であるとしても斷じて其の大衆の聲であり色彩であるとは云はれない。總同盟の諸君大衆は合同して階級的對立の下に花々しく有産者を打倒さんと考へてゐるのである然るに其を妨害して右翼だから左翼だとは一致せぬ事と大喝せざるの甚だしき言辭を弄してゐるのは唯其の總同盟を牛耳つてゐる一部の專制主義者鈴木文治君、松岡駒吉君、西尾末廣君等である。此等二三の幹部が現實主義とか右翼主義とか種々なる言辭を取つて總同盟を色彩る事をやつてゐる

×

然し此の同盟の大衆は「有産者の支配を〇へして無産者の〇〇」たらしめるために、合同を希望してゐるのである。同様に亦、社民黨が大右翼結成主義を高調して無産大衆を意識的にか危地に陷れんとしてゐるのは、決して社民黨の大衆諸君ではないのである。其の憎むべき奴隷は社民黨の幹部である。鈴木君でも、赤松克麿君でも自分が社民黨を牛耳つて社民黨中央執行委員の椅子に熱々と坐つてゐたいがために、無産大衆の當然不可缺の要求を蹂躙してゐるのである。新黨準備會でも全く同様である。無産者の事は理論では知つてゐても實際にはサッパリ知らないところの、而して汽車も二等車でなければ三等車には乘れないといふところの學者大山郁夫氏邊りを黨首にして來るから、無産者の實際上の生活は何の事もないのである。細迫兼光君でも上村進君でも、兎に角坊ちやんには駄目である。彼等は形式的合同とか右翼何々とか云つてゐるけれども、準備會所屬の大衆は一日も早く大合同をなして有産者をブッ倒さんと望んでゐる。

×

斯くの如き有様で今日の各無産黨は、大衆の意志を毫も顧みず一切は幹部の專斷でなされてゐる。日勞黨はかなり合同主義であるけれども、愈々左せんか右せんかとなると隱れ根性が出ると見へて、今でも現狀維持といふ態度を作つてゐる。無産大衆のみが合同々々と急迫してゐるが各無産政黨の幹部諸君は前述の通り偉い幹部の椅子に坐り込んでゐて、大衆の意向をチットも顧みない。要するに彼等はあんな背景を持つて獨裁をやりたいのである。合同すればそんな椅子にもあり付けないだらうとのツマラヌ彼等の心配が無産大衆の當然不可缺條件を蹂躙してゐる事に想到する時は、斷然立つて彼等を膺懲せざるを得ないのである。

×

要するに友黨排擊の指導精神は大衆のものではなくして、無産政黨幹部の得手勝手の精神である。そこで分裂時代の立黨精神を守つてゐたのでは、どうしても階級的一大無産政黨の結成は不可能である。そこで眞に無産者の代表たらしめん爲には、現段階に於ける各無産政黨を打壞して、而して新に一大無産政黨を結成するの必要があるのである。無産者運動の本來の精神は、決して無産黨幹部のためのものではない、即ち其の幹部が既設の地位に付く事ではなくして、無産大衆をして一擧に支配階級たらしめる事である。無産階級解放の大精神完成のために無産政黨は玉碎主義で邁進し、其幹部は此の大精神のために犧牲になる事を覺悟して一路單一無産政黨の結成に赴き、而して無産者大衆の眞の精神、意志の權化たる大同結大合同の實現化を期する事が、此の際最も重大なる不可缺條件である新なる意氣と力とで新興單一無産政黨を作るかそれとも現在の各無産政黨の幹部諸君が一切の行掛りや情實や地位や勢力を捨てゝ、一途に大合同に邁進するか、兩者の孰れか一を取る事が刻下の急務であり無産者の本來の精神に適合するものである。

×

どうか無産大衆及び無産黨幹部諸君！私の意見に御贊同あつて實現せられん事を切に々々御願ひ致します。（一九二八一一二〇）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會運動に投ぜんとする處女達に與ふ

吉田初子

貴女は私の宅を訪ねて、社會運動に投ずると云はれました。貴女は無産階級婦人でもなければ又無産婦人同盟員でもない樣です、見受ける處中産階級の娘さんの樣です、そこで問題は貴女の投ずると云はれる社會運動ですが、貴女は一體社會運動をどう考へて居られますか。勿論貴女も大凡考へついてゐるでせう。卽ち現在社會組織と制度が隨分惡い、之を何んとか改造して吾々お互ひに安樂な生活が出來る社會にしたい。所謂貴女ら貧富階級のない共存共榮の新社會を實現さす事の、其の大事業に加はりたいお希望でせう。もしそうだつたら今時の娘さんに似合ない立派な心掛けですが。私は貴女を卒直に信ずる事は出來ません、何故なれば貴女の社會的地位と、立場が惡いのです、斯く云へば貴女も怒らうでせうが、貴女がいくら憤慨されても駄目です。私は貴女を容易に信用することが出來ない理由を持つて居ます。貴女が若しほんとの無産階級に屬する人卽ち女工か小作人の娘であれば私は躊躇せず貴女を信じます。それは之等の人達は必然に備ふてゐるところの歷史的使命を持つて居ります。卽ち之等の人達。女工や小作人の娘さんは現在の資本主義社會に於て資本家階級から直接に搾取せられ支配階級からは壓迫されて居る境遇社會的な立場から本能的に反逆精神が漲つてゐるのですたとへ現在に於てそれが外部に表れていなくとも必ず將來に於ては斯くあるべき素質を備へてゐるのです。たから無産階級は信ずる事が出來ます。ところが貴女はどうでせう。

家には世襲の業務があり資産があり、[illegible]備へて居られます。たからさうしても生粹の無産者とは違ふのであります。でありますから貴女は心掛次第では現在資本主義社會に於て相當の地位迄進み、相當な生活を送り得る可能性があります。それたなくても現在のまゝでも貴女は現在社會の下積み階級よりは遙に上位に居られる身分であります此の點で私が容易に貴女を信用する事が出來ないと云ふのは。貴女は私の宅で「私はそんな薄志弱行な者ではありません、苟くも社會改造と云ふ大事業に身を投じると云ふのです、斷じて一身の生活等の問題は顧みない」とおつしやいましたね、貴女の唯今の御決心、其の純眞な憤り、その牢乎たる御意志の何時迄も變らぬ事をお祈り致します。然し乍ら、唯徒らに因襲を呪ひ・悲鳴をあげ愚痴をこぼす所さけを知つてゐて、闘爭するもの、慘酷を忍ぶ人知れぬ犧牲に堪へられない、動き易い、興奮しやすい、そしてイザとなると何も出來ない現代女性をイヤと云ふ程見せ付けられた私は如何に貴女が斷言されやうが此の事實はどうすることも出來ない無駄事です。貴女は今何かに憧憬てはいませんか理想に燃えて居るでせう。それ丈けに私は貴女の將來を疑ふのです貴女には立派な父母がお出でゝせう兄弟姉妹がありませう。親戚知己友人恩人もありませう。之等の人達が寄つて反對したらどうする積りですか。貴女は恐らく今では之等に反對する覺悟があるでせう又出來るかも知れません。たが貴女は一時的の覺悟や決心等と云ふものは大して確かなものではありませんよ。貴女が愈々社會運動に投じたとなれは貴女の周圍には忽ち暗雲が漂ひます、恐らく貴女の父上は泣いて諫止するでせう。母上は狂氣して貴女を掻き口說くでせう。兄は職に失業し、妹は緣談が破れると云ふ事になつたら貴女は果して此等に堪へ得る事が出來るでせうか。貴女が現在の覺悟と決心とを以てすれは或は之等に堪へ得る事が出來るかも知れませんが、貴女たつて食はずには生きる事は出來ません。若し貴女の職業を奪はれて無一文になつて食へなくなつたとき、貴女はどうしますか。貴女は倍々の反抗心を燃して大いに行ると現在では思つているでせうか。然し私の過去の經驗ではその樣な人は百人に一人もありません。よし一人でも得たとしても二年三年と不安と焦燥を續けても運動の方でさつぱり目に見へた効果も擧がらず嘗て憧憬れていたやうな華々しい溜飲の下る樣な痛快な事件も起らなかつたら貴女は失望しないでせうかね。そこでゞす、貴女の心に弛みが出來た時「改悛」「善良」と云ふ言葉で父母なり先輩なりが拾ひ上げてくれる。そこで貴女の持つて居られる知識學問が今度は貴女をして社會運動を否定する道具として役立つ事になりはしないでせうか。そしてそれは貴女の思想から出發したのではなくして、明かに貴女の地位境遇からである事は貴女自身もよく分る事でありませう。たから私が貴女を疑ふのです。然し乍ら私は貴女を疑ふけれども必ずしも中産階級の人が社會運動に投ずる資格がないと云ふのではありません中産階級には其自體の歷史的使命があり、社會的任務があるのです。貴女を唯今の樣に興奮させたそして現代矛盾の社會に抗議す可

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

く決心せしめた直接の刺戟と眼前の問題が解決され・消滅したとしましたら、其の後に於て貴女は、冷靜な理智と强固な意志に訴へて猶且私達の運動、虐げられたものを解決すべき唯一の途……へ眞直に進むだけの確信がおありでせうか。失禮乍ら社會運動に所ふした絶大な犧牲を要求するそれはくく悲慘な戰ひである事を申し上げて置きます。之れを忍ぶ强固な意志と實践の覺悟、言ひ換へますと未來の新社會を築き上げる……そして築き上つた時には歷史に少しも現はれない、路傍の捨石、土臺石、となる位の覺悟が貴女におありでせうかもし之等の覺悟が出來なければ大金持になる志願でもした方がよいと思ひます（おわり）

社會主義に投ぜんとするインテリゲンチアに與ふ

大野佳良

知識階級の諸君よ・諸君も知るたらう。彼の社會主義の鼻祖マルクスの生涯は非常な迫害を蒙つてゐる。彼がその主義を社會に發表する動機と精神を聞くに決して自己一身の安全を計つたものではなく熱烈な愛と社會の矛盾と憐れなる勞働者に對する深き情熱に引かされて遂に此の運動に投じたのである。又近くの問題としては印度革命の首領ガンデイは印度三億の同胞を救はんが爲め一身を投出したのであるが、其の力は遂に全印度を動かして古來未曾有の大騒擾をなしたのである。彼等は皆利己的慾望を目的としての主張なれば何も苦しんで倒る處の迫害を受けやうか。彼等は自ら先頭に立つて全民衆を煽動し動亂しあらゆる戰闘を突破し犧牲となり危害區域に入りそしてこそ全印度を動かしたのである。之は社會運動に投ずる者の信條であつて殆んど皆同一の經驗を經てゐるのであるが、現在の改造運動に投じてゐるインテリゲンチヤ諸君は果してかゝる公明正大な眞意と行動を有してゐるか、此の點について大いに疑ふ者である。

現代の思想界に立つて改造運動に從事しつゝある所謂インテリゲンチヤ諸君の態度を觀るに、君等の多くは資本家の味方となつてゐるか然らずんは勞働者の味方となつて專ら其の擁護に當つてゐる樣であるが、その何れかの味方になる動機及び理由は概ね何等かの意味に於て我れ自らと利害を同じうする點にあるらしい。表面は堂々たる議論の如く聞えるが、その根本に於ては自己中心の打算より割出してゐるのではないか、勿論一樣には見られないけれど、現在社會に立つて花々しく活動して居るもの程その心底に於てやましい點がありはせぬか、荀くもインテリゲンチアとして世の指導に立つ者は假へ自己一身の利害は何れになろうとも一切それに拘束されずして常に眞理の探究と主張と實現に向つて畢生の努力を捧げねばならぬ。そこにインテリゲンチア獨特の價値があるので、金錢や名譽に左右されて自己の主張を變ずるが如きは全く立場を沒却せるファシストの態度である。

考ふるにインテリゲンチアに屬する者は眞理を以て力とし、ブルジョアは金錢を以て力とし、勞働者は〇〇を以て力とするのである故にインテリゲンチアは金力と〇〇との外に超越して眞理を唯一の武器として迷へる民衆を指導し動見せなければならぬ。然るに現在投じつゝある多くの知識階級の諸君は動もすればファシズムに傾き金力や其の他の誘惑手段に打敗かされるとは實に情ない事であり忌々しい事である、諸君等は專ら眞理を探究し之に依つて得た知識を以て無智なる民衆を指導し或は何等かの手段に依つてアヂテーションする所がなくてはならぬ。而して一度自己が眞理と信じた以上に如何なる迫害如何なる誘惑があらうとも總てを突破しまつすぐに進んで行く雄々しき態度がなくてはならぬ處が現在の所謂諸君等の態度は殘念乍ら賣名の手段とされてゐる樣であつて。之を以て全民衆を救ふと云ふが如き高潔な精神を以て居る者は稀である。中には全民衆を救ふところかデマゴークを飛ばしてファシズムに導きつゝ、ある者も少くないのである。君等は表面如何に眞理たの正義たのと云ひ乍らも公然之を裏切つて居ると云ふに至つては天下無二の大デマゴーク大ファシストと云つても決して過言でないのである。君等のその證據は自己の不利益危險と見たら何時でも沈默して居るのである。一體君等は徒に口に民衆よ民衆よと言ふが果してペンや口で叫ぶ如く民衆の爲を思つてゐるのか或は思想の大勢が民衆々々と言つた方が君等の原稿も賣れ行きがよいと言ふので言ふか、昔の人が何事もお上お上と言つた方が自らの安全を保つ好都合であつたのと同樣の醜い心事ではないか、インテリゲンチア諸君よ、吾々の主義を貫徹させるには徒に不安であり、苦しい時代であり、爭ひの多い社會である。此の不安此の苦痛を切り拔くには中々容易の業でない、非常な決心と努力とを要す。さうしても社會を解放してユートピアを作るには賣名の徒計りでは社會は幾百年すぎても依然として此の通りであらう。此の難關を切り拔くには犧牲の覺悟となり先頭に立つて危險區域に入つてこそ初めて我等のユートピアを建設する事が出來るのた。

インテリゲンチア諸君よ。此の際君等が眞に解放運動に從事する決心勇氣覺悟があるならば、速かに其の醜い點を去り來りて投ぜよ然らずんは速かに一歩退却せよ。（完）

三宅正一・星野三省共著
電氣料は
いくらが正當か
附 富山爭議の眞相
一部 五十錢
本社取次

全土戰報

町村會議員改選が近づいた用意はよいか！

各村に各部落に集會がある。小作農民の組合であり、小町民の集合である。大は數百、小は四五名。皆不平不滿の充滿した會合でないものはない。そこには生活の不安がただよふて居り、「おれたちの暮しは一體どうなるんだ」といふ叫びがあげられて居る。地主や資本家に對する呪咀があり、町村政に對する要求が醸されてゐる。中には自分達の手に役場がのりとられた時の計劃さへもが進められてゐる會合がある。豫算をどうするか、税金をどうするか、小作料をどうするか、賃銀をどうするか、町村制もかえねばならぬぞ、等々の問題が汗と血とでもつて論議研究されてゐる。或村では議員の大部分を小作人から出すやうに活潑してゐる。或村では候補者を物色してゐる。また用意の出來てない所は早く着手せねばならぬ。左記數項に當面の指針である。

一、二、三人でよいから至急集まつて對策をねること。

一、選擧人名簿を調べて確實な票數を知つておくこと、十一月五日から十九日まで各役場で從覽が出來る。登錄もれないとあるから氣をつけよ。その場合は抗議を忘れるな

一、票數と候補者との關係を考へて必ず當選するやうにすること。

一、候補者を物色して、その承諾を得ること。候補者は黨員からが一番よい。二番目に組合員がよい。とにかく小作人、小町人（いはゆる下層民、貧乏人）から出すやうに。

一、票數を融通すること、一部落で足りない場合は他部落に交渉して都合してもらふこと、票數の餘る部落では足りない部落へゆづること、部落感情からはなれて常に村全體として階級的立場を嚴守すること。

一、集會を成るべく度々開いて——何數をかされることに多人數寄せることに努力して、必勝を期すると共に我々自身の政治意識を高めること。

一、村政の缺陷をあばき、地主議員のフシダラ、フギヨウセキをさらけ出すこと。學校、役場の建築、信用組合、農會などの經營について不正はないか、十分調ること。

一、その村で特に重要な問題をとらへて——例へば出雲鄕村の戸數割課率、井尻村の官公造林など——新しく選出される議員によつて有利な解決を告げるやう精力的な研究と鬪爭を開始すること。

一、何月何日に選擧が行はれるかを各村で調査すること。

町村會を民衆の手に！民衆税を輕減せよ！

税金は上から議員は下から！

用意を急げ！

（日勞黨島根支部）

反動モーロー團 工友會に呈す

吾等下級從業員に依つて組織された、遞友同志會東工支部が、當局の壓迫ぶり殊に言語に絕して嚴しい下にあつて、併も僅々二ケ月にも足らぬ日子と、深一貫の微運動資金の裡にあつて斯くも破竹の勢ひを以て數千の同志が蹶然と起ち、雄々しく各分會の發會式を擧げ得たと云ふ事は抑共の偉大なる力は……そもそも其の結果は、如何なる所に原因を發してゐるものであるか。

モーロー御用團體、工友會の盲人共よ！よく拜聽して置け。

正義は常に勝つ…是は動かす可からざる眞理だ、社會の潮流は常に眞理に依つて流れてゐる。

吾等の提出せる數ケ條の要求は…何等不合理の點なき事は君達も承認してゐる事を聲明して置きながら、何故に今更不合理なる策動に依つて合法的なる吾等の運動を中傷し狙止せんとするか。君等の手段が餘りに卑劣極まる故に此の小稿を起して反省をうながすものである。工友會の腰拔け共は同志會に入會すると云ふ事は自己の立場を不利に導くものであると考へてゐるらしい。何故なるや、吾等は判斷に苦しむものである。只徒に彼等工友會の創立委員の顏ぶれを眺むる時、申合せた樣に任官間近にある古參工員であると云ふ事が一つの原因としても考へられる…實に然りとすれば、彼等は自己の任官に致命傷を來す恐れあると考へてゐる同志會に入會せんよりは名を正義に借りて上官の機嫌を伺ふとするものであると解する事が出來るとしても彼等の綱領第一項にある同志の生活向上に智識の啓發を計るを以て目的とす、と云ふ條文と甚だしい矛盾に逢着せざるを得ない、何故ならば吾等下級從業員は當局に向つて生活保證を得る要求をせざれば現在以上生

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

活の向上を計る事は殆んど絶對不可能であるからである。彼等策動分子は同志會に入會すれば還て來る可きものは退職沙汰であると解しそれを口實に同志會員切崩しに狂奔してゐると云ふ事も吾人は解釋に苦しむものである。

遞友同志會が暴力團や不良團ならいざ知らず、假初にも一國の重要なる通信事業に從事してゐる大國民である。それに對して餘りに無理解なる當局に向つて正當なる穏た合理的な要求を提出し全從業員の生活保證の向上を計らんとする、其處に如何なる理由があつて、入會すれば退職になると云ふ言葉を見出したのか。餘り無智なる工友會の策動、當局の壓迫の理由不可解に吾等は苦笑を禁じ得ないのである。過日某氏は私に向つて運動中止を迫つた、理由は斯うである、遞友同志會規約第一項に吾等は社會民衆黨を支持す—と云ふ綱領があるからだと云ふ。それが何故いけないのか？某氏は答へた。曰く吾々官傭人は政治的色彩を持つてゐる結社は絶對に入會又は入黨してはいけない——と云ふのだ。其無智たるや實に悲しまざるを得ない。

遞信當局は官傭人なるが故に政治に參與してはならないと云ふならば過日の普選當日何故に全從業員に投票を許可し投票時間を與へたか、餘りに時代を知らなさすぎる盲人共の多い事にあきれざるを得ない。

吾等は官傭人なると職業人なるとを問はず、大帝國の臣民たる事と社會人たる事は之を否めない事實である。

社會人である故に經濟人たらざる可からざる事は苟くも教養ある現代人にして、否と答へるものはあるまい。斯ふした經濟社會に生活してゐる吾等は當局に向つて、生活保證に必要なる經濟的生活に合理的なる要求は當然なされなければならない。

自己の榮達の爲め個人的利益の爲め無産大衆の生活を脅かす工友會、愛なき小ブルヂョア精神は遙かに葬らなければならない。全國數十萬の遞信從業員同志の爲めに吾等は、前述の如きスパイに對して飽までも正義の強さ、團體の強さを知らしめなければならない。

（遞友同志會東工支部渡邊仙衛）

滋賀縣下の暴壓

〇〇〇を口實として、狂烈なる〇〇〇と無産運動を彈壓する時こそ此の機ぞ！と牙齒を露き出したる反動奴。〇〇一派は〇〇〇の名を濫用して、生くる爲の無産者の日常闘爭を配下に命じ抑壓せしめた、赤主義者と目する者は全て家宅捜査、拘束禁足等に横暴なる人權蹂躙をあへて爲すに至つた。

吾が滋賀縣に於ても其の魔手は下された、十一月一日であつた。久し振で疲勞を休めていた日た、夕方突然〇〇二ツ現れ來りて、俺の寢室に踏込み強制的に文庫を閉き書類を〇〇し同行を強迫した、何たる横暴な振舞か！併し何の爲の書類押收か？何が爲にの召喚か？斷末魔のウロタエさは謂へ何たる狂態ぞ、唯友人との手紙の交換に過ぎないのだ、然るに怖れおのゝき泥坊か働くの拘束するのと斷末魔の氣狂いとは謂へ何たる横暴か！何たる人權蹂躙だ！

然し乍ら斯くの如き彈壓の結果如何なるものを成熟せしめたか！赤奴等〇〇の御有難き御說教の結果如何なる思想が煽り立てたか！

打ては響くのだ、甘言馬耳東風だ〇〇よ、御有難う存じます、一人打ては其の反響は十人となり百千萬と叛逆の陣營は段一段と堅まり行くのだ！〇〇よ、打て〳〵斷して叛逆の理想社會實現の歩は進み行くのだ

同志諸兄！大いに益々闘へ！

治維法が何んだ！

治警法が何んだ！

闘へ 闘へ？

（志賀松田生）

北海道戰報

秋の小作料納入を前にして、吾が北海道の全土は小作爭議の波に洗はれてゐる。然も〇〇に名を借りての檢束の彈壓の中に、勇敢なる農民は闘つてゐる。

殊に新十津川の爭議は、全北海道の中で最も激烈を極めて、地主は農民の咽喉をしめんとして立毛差押を斷行した。地主は新十津川本町精米業大田及上富德大込といふ極惡のスタンプの押された奴だ。左は地主と瀧川署を糺彈したビラである。

小作料納入期の來る前に

小作が汗と油で作つた立毛を差押へる——理由に曰く小作料を支拂はぬらしい

瀧川町の諸君！ドウ慾と助平で有名な本町精米業大田は新十津川の小作人に反別をゴマ化して契約し小作人に小作料を差引かれたら今年耕作前に立入禁止をやつて弱い小作人に裁判費用まで支拂はせた奴だが、今又小作人が汗と油で作つた立毛を「小作料を滿足に支拂はぬらしい」と云ふ口實で差押へ、ゴマ化されてゐる反別にも小作料をフンたくる事を無理矢理約せしめたのだ。

彼大田はこの樣に小作人を搾り上げた金でエイ年をして恋ぐるいをしてゐるのだ、大田の奴はそれだけで滿足せずに自分の奴新十津川上富德の地方の大地主である所から

地主協會とケツタクし上富德のドウ慾非々コッパ地主大込を扇動して立毛を差押へさした

それは大込の小作人佐々木氏が昨年アゼ下水から小作料を引かしたの

進め

で太田始め其地方の地主がアゼ下水を引かねばならぬ處から佐々木君を立毛差押へした上に徹底的にいじめ付け米のされないアゼや下水からも不當な小作料を搾り取らうと云ふ根性なのだ。労働者農民諸君！

悪地主大込、太田を民衆の前にさらけ出し小作人の要求を貫徹せしめ様として全農青年部五十余名外数名が應援に来た所不當にも警官は検束拘留處分にし未だに釈放しない。又支部長小坂君もいじめ付けられた。

警察は決して我々の生命を保護するものでなく地主や金持の〇に過ぎないのだ。

悪地主太田、大込を徹底的に攻撃しろ！

地主の〇　警察を糾彈しろ！

新十津川の全小作人商人諸君に激す

瀧川の悪地主と上濱當のヨツパ地主大込汗と油で作つた立毛を差押へる。

新十津川の小作人小商人諸君！

ドウ慾と臥半で有名な瀧川の悪地主太田と本町上濱當の非々地主大込は地主協會とケツタクし腰弱い小作調山五郎君と佐々木直俊君に今年の小作料を滿足に拂はぬらしいと云ふ口實で小作料納入期の二ケ月以前に汗と油で作り上げた立毛を差押へたのだ。新十津の小作人諸君！瀧川君が三町たと言つて借りた田は一反餘りも不足なのだ。それで昨年十俵差引いてやつた。それが悪いと言つて耕地立入禁止をして弱い小作人をいじめ裁判費用までださせた奴だ、小作が弱ければ地主はツに上つてつけあがるのだ。佐々木君も昨年は地主大込に不足反別を引かした上にアゼ下水を引かした、それで今年は太田や其の外の地主が結タクして佐々木君をいじめつけアゼ下水から不當の小作料を搾取し様として居るのだ地主は小作をいじめるために地主協會を作つて堅く團結してゐるのだ。小作人は小作人で團結して地主に對抗せねばならぬ。小作人よ團をくめ！

全村の小商人諸君！新十津川は本道で一番高い小作料を搾られる、それが故小作人及自作農諸君は思ひ切つて貧乏だ。小商人は不景氣に泣いてゐる、たから不當な小作料を引き下げさす運動を進んで應援せにやならぬ、

小商人は決して資本家地主の味方ではなく小作人労働者の味方だ！

◆悪地主太田と大込を徹底的に葬れ！

◇小作人労働者小商人一致團結せよ！

◆北海道で一番高い小作料を五割引下ろ！

◆アゼ下水不足反別を引け！

（札幌――一市民）

秋田縣の泥棒地主

秋田縣仙北郡金澤西根の地主照井治郎といふ奴は、常に百姓が血と涙で作つた米を取立て、「横暴地主」と云はれる程の不逞の徒であるが、十月十二日朝、人夫四人を雇つて、同金澤町字安本の小作人照井勝吉君が祖先から一生懸命で造りあげた三反歩程の稲を、泥棒の様に無断で刈り取つた。全く地主は××たと云ふがその正體を表した。

十三日になつて、照井勝吉君これを見てびつくりして、直に同村の全國農民組合支部に報告したので、同支部は早速横手町協議會本部に報告した。本部ではすぐ六郷警察署に赴き盗難の告訴と強硬な談判をやつたので、流石、地主の手先きである六郷署も捨ておけないので、直に検事局へ廻す事になつた。

地主の泥棒は、最近百姓達が農民組合に入つて行くので腹を立て、やつたとの事だが、全く馬鹿な奴である。

同村の農民は一せいに憤激し、こんな地主は徹底的にやつつけねば虫が納まらないと云つて、愈々陣容を固めてゐる。

（秋田縣一讀者）

青年訓練所の本質を曝露せよ

わが秋田縣仙北郡南水村の青年訓練所教官高橋尚は常にミリタリズムの注入に夢中となり、村内地主と結托して純真なる青年の頭を惑してゐたが、去る八月生徒を呼び集めて、「青年訓練所の重大さは、軍事教練を行ふと同時に國家を崩壊しやうとする社會主義を撲滅するにある」と高言し、農民諸君の生活權確立の運動である小作爭議を撲滅するの言を弄して憚らぬので、生徒は「その具體的説明」を求めるや、高橋は「例へばこの村の佐藤の様なものである」と個人中傷をなし、青年大衆への反感を強めんとしたので、憤激した佐藤君及び村内大衆は、青年訓練所及びミリタリズムへの反抗に燃えつゝある。すでにして、青年訓練所の目的は明かになつたのだ。彼等の目的は大衆運動のたゝきこはし、無産青年の懐柔なのだ。われらは正體をはつきり知つたのだ。

青年訓練所を即時撤廢せよ。

青年に對する軍國的官僚的支配をたち切れ。全國的大衆青年同盟を建設せよ。

十月三十一日　秋田縣辻峰太郎

社民の兄弟しつかりやつて呉れ

神奈川縣では、此の春の縣議戰で社民黨から、議員四人を出して副議長の椅子まで獲得した。我々は實に神奈川縣無産大衆の躍進的な自覺を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

喜んでゐる。况んや、政友、民政兩派の間に介在して完全に決定的要素となつたのだ。下手に多數派になるよりは社民はうまく出來る筈だ。大衆の前に既成政黨の面皮を剝ぎ、大衆の日常鬪爭を活潑に指導し、大衆の要求を貫徹させるに絶對の機會だ。所が、來年度の豫算に依る廿日から審議されるこの縣會で、豫算案を一蹴してゐること實に平々凡々依然たりだ。如何にも社民の議員が無力で何も出來はせぬとばかり、知事以下既成政黨の奴等に見くびられた形だ。馬鹿にされてもよい。審議する時に、遠慮なく彼等を糾彈し修正して呉れ。栃木縣會がよいお手本だ。石山寅吉氏一人で政友民政を引づり廻したではないか。

神奈川縣無產政黨の對戰協議會よ、うんと頑張つて呉れ。

我々日勞黨青年は相呼應して組織に宣傳に煽動に、今や各縣下にその網を張りつゝある。横濱市に於ける我々は最も活潑な運動を續けてゐる

神奈川佐々木

起てよ市井の貧窮兒

〇〇〇記念だと特別な鳴り物入りで、日本一の公認賭博競馬が行はれてゐる。根岸競馬だ。今日で四日目だ。狹い道路を矢たらに自動車が通る。女子供は家から一歩だつて出られはせぬ。御奇特な官僚青年團の連中に此處は交通整理なんて交通巡査の眞似なんかして居られなくなつた不景氣なんだ。それだのにバクチをしに遠く九州北海道から來る奴があるんだ。

數萬坪の競馬場に明治初年に政府が居留外人に「おべつか」を使つて貸しつけた永代借地で今は日本レース倶樂部といふブル共の無料借地だ。横濱は破産だと口癖に云つて、政府からの借入金さへ踏倒さうとしてゐる市長や市役所の連中は何をしてゐるんだ。こんな無稅地のあるのを知らないのか。そしてこの通路の裏側には百軒長屋や無宿長屋のペタ一面に續いてゐるのを知らないのか。

俺達にとつては、數萬坪の競馬場なんか春秋の二回にブル連の自動車の砂埃を浴びせるだけのことだ。一文だつて俺達に落してゆきはしない。その上、一日に何十萬圓だの何百萬圓だの馬券が賣上であつたと新聞紙では騒ぎたてる。時間が〇〇〇記念として大びらに自動車の紳士をよせ集めてゐるんだ。資本主義の擁護鬪の幕あひには、こんな餘興が興ぜられてゐるぞ。

俺達の子供が平生ゴルフにやつてくる外國人の球ひろひに使はれたり俺達の女房が芝生の手入に雇はれたりする事で、この公認賭博を有難がつてゐる時ぢやねえんだ。馬の樣に使はれ搾られ、その上よいお慰みにまでされては堪まらない。

競馬場なんか撤廢しろ。俺達の生活をもつと、何とかして呉れる

なに、罵奴に頼んだつて始まらねえ。さ。さうだ。兄弟。俺達の腕で解決しよう。

因襲を打破つて戰ふ

横濱一讀者

今度、吾が熊野村に新人聯盟を組織する青年の集まりが出來た。

從來、熊野は[illegible]の農村であり、地主階級の搾取を與ふ困難の村である。これは、此の社會科學の研究され、農民解放の確立の爲めに生れる新人聯盟の發生は、正に彼等地主等の驚駭するところであつた。彼等は中傷漫罵をもつて、この新聞青年の上に限りなき迫害を加へたのであるが、吾等はこれらの反動勢力と抗爭して一歩も譲るところは無い。古き熊野はやがて吾等の力の前に亡び、新しき熊野は、眞に平和な、生活的な文化的な熊野は吾等の力の前に築きあげられるであらう。

勿論、吾等は眞に、新人聯盟をして、少地域的な研究團體に終らしめるものではない。この團體が將來役となつて、村に無產政黨の支部が置かれ、農民組合の礎が据へられるであらう。殊に、吾等は一番苦悶した任務として官僚的半封建的支配の下に呻吟しつゝある村青年團の青年大衆を吾等の陣營に獲得する事である。この任務を最も有効に遂行するには、全國的な無產青年同盟が必要である吾等は進め社同志諸兄と共に、この青年同盟を一日も早く作りあげて、反動勢力の犧牲とならんとしつゝある青年大衆を救ひ返し、滿十八才以上の男女の選擧權の獲得、戰爭防止生活權確保、研究の自由の爲めに戰はねばならぬ。

全國の進め讀者諸君、

吾等の鬪爭を御らん下さい。尚、近村の人々とは積極的に手を握りあひたい。

島根縣八束郡朝酌村Ｓ生

戰列は整つた、次は鬪爭だ！

（日勞黨名古屋支部誕生す）

日本勞農黨の旗の下に！

此のスローガンを押し立て、起つた我が愛知縣・勞働者・農民・小市民の支部組織運動は日を逐ふて熾烈なる其の陣容を調へつゝあつたが、特に目覺ましき活動を續けてゐた、名古屋市を中心とする支部準備會は愈々基礎を固めて去る十月廿五日に同市中區中國に於て無產數千の熱烈なる小市民大衆の支持の下に、又各方面よりの友誼團體から盛んなる祝辭祝電の雨の下に、華々しく結成を擧行、宣言、決議、綱領、規約、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

役員、尊く決定した後、本部派遣の麻生書記長を始め、河上、網島、三宅、細木氏等の應援の下に、創立紀念大演說會を開催した、集まる小市民大衆は結成の有らゆる障礙を完全に擊破した其の意氣と、喜びとに滿場總立ちになつて、日勞黨名古屋支部萬歳を絕叫しつゝ盛會裡に散會した、因に支部宣言決議役員は次の通りだ、

宣言

全無產大衆の要望せる階級的統一主義を高調して吾が日本勞農黨が生れてより早くも二年の歲月は過ぎた而かも我等の輝ける闘爭と主張は、今や全無產大衆の正しき理解と共鳴を得た見よ、全勞農戰線の合同統一は吾黨を中心として的確なる具體的問題となりつゝある此の重大なる秋に於て吾等は名古屋支部を結成し中部日本百萬の勞農大衆と共に光輝ある戰線に加はることは吾等の大なる誇りであり喜びである、而かも顧みれば我名古屋市を中心とする、愛知縣一帶の勞農運動は過去に於て嵐の如き兇暴なる彈壓と又それにも増した右翼幹部の反動的裏切とによつて戰闘的黨と云はず組合と云はず甚だしく振はなかつたのである。

新興大衆の意氣と利害を代表するに足るものは無く、既成政黨は腐敗墮落の極に達し其の醜體を暴露して全民衆の憎惡を買つた。

見よ、愛知縣を中心として暴露された民政黨の醜體をそれに乘じて利權あさりに沒頭する反動の手先共を吾黨の旗の下に密集せる血盟の友よ我等は今より彈壓と迫害と戰ひつゝ更に擴く全日本の無產大衆と結合して我等の全き解放の日の爲に戰ひ、近くは愛知縣下百萬の小市民、勞働者、農民の日常利害の爲に、總ゆる既成政黨、資本家地主の暴虐を排擊して闘はんとするものである。

至誠と純理と意氣とを以つて進む我が黨の闘爭に光輝あれ。

十月廿五日

日勞黨名古屋支部創立大會

決議

一、無產大衆に依る政治の徹底的實現を期す
一、自轉車稅、荷車稅の撤廢
一、電燈料、瓦斯、水道料の値下
一、小學校授業料徵收絕對反對
一、市營勞動者住宅建設要求
一、無料診療所及無料產院設置要求
一、農民運動との緊密なる提携

役員

支部長佐々木市太郎、委員荒谷宗治、龜田了介、宮村汝春、鈴木英一、松本倉吉、田中神信、横山眞一、片桐市藏、太田米吉　以上

愛知縣下百萬の勞農大衆諸君！俺達の戰ひは今からだ、陣容は今整つたのだ、次は闘爭でなければならないのだ先づ我々の當面の仕事は反動的支配に蹂躙されてゐる苦悶の農民大衆を戰ひ取らねばならない、原嘉吉一派に因つて蹂躙されてゐる農民大衆がそれだ、吾々は奴等を眞先に中部の戰線から放逐しない限りは、愛知縣下の輝かしい勞農戰線は統一し得ないのだ、又吾々は舊評議會系の勞働大衆を我等の陣營に闘ひ取らねばならない、そうした時最も強力な愛知縣下百萬の勞農大衆の眞の統一が出來るのだ、偉大なる其の壓力に因つて我々は醜體に醜體を重ねつゝある田中善立一派、久野、西脇、等のゴミ共をけし飛ばしてしまふのだ我が愛知縣下に奴等の如き醜類の影をすら止めさせてはならないのだ。三輪市も、西脇も、久野もあつたもんぢやない、奴等の總てが搾取階級だ、奴等と闘ふ爲に日勞黨の旗は我が名古屋に高く押し上げられたのだ、縣下百萬の勞働者農民、小市民大衆諸君よ、密集せよ、吾が日本勞農黨の旗の下に。

名古屋　青山錠之助

農民の村會と在郷軍人會の活躍

農民の村――群馬の强戶村

群馬縣の强戶村は吾妻郡群馬郡合當の中心勢力で、村會も十二名中九名をとり、村長も書記も農會長も吾が黨員なる農民である最近その管轄の太田署の改築運動が起つた。それは縣の命によつて九ケ村の村長が連名で一村九百圓の寄附をなすべき旨を添て通常縣會に請願の形式をとるのである。强戶村にも九百圓の割當寄附が來たが、吾等の農民村長はこれを村會にかけしに、村會は「農村窮乏の折からかゝる警察の擴大の如き不生產的事業に寄附することを得ず。若しそのために强戶村の駐在所が廢止さるとせば農民自體で警備する」と決した。よつて村長は連判を拒絕した。ために一村の村長の名なきため當局は弱り、つひに「强戶村のみは金はとらない」といふ一札を入れて村長が請願書に署名した。ついで帝國軍人會本部から東京九段に軍人分會館を建設すべくその費用分擔として强戶村分會に四十圓の割當寄附が通告して來た。分會の評議員會はこれを拒絕し「在郷軍人は兵役の義務をつとめ鄕にあつても異常に公共的活動をなしてゐるのでかへつて本部より補助金を下附すべきにも拘らず農村窮乏の折に、會館建設の如きものに寄附を强制するは反對なり」との聲明書を發した。憲兵隊、聯合會長、司令長官はこれに驚愕し「寄附金」は聯合會長が出すといふ條件で百方決議の取消しを懇願し交涉中。

吾々はこの無產者の手にある强戶村がかゝる反民衆的施設に反對して一方村立病院の計畫を進めつゝある。民衆の政治は町村より來る町村選擧戰に於いては、吾々は全國に多數の强戶村を作らねばならぬ。

日勞新聞第四十一號より

進め讀者會生る

十一月十七日午後八時大阪泉尾支部に於て進め讀者會生る。集まる者輝かしき希望に充ちた戰闘的青年諸氏三十名、進め大阪事務所より、末永、吉田女史、大野三名の社同人出席。

定刻武松開會を宣し、後讀者會要旨數項に就いて審議す、定刻終るや

茶話會に移し十一時閉會す

吾社は此の盛大なる讀者會發會式を仰賀すると共に、諸君が今後進め讀者倍加運動に座談會に讀書會に研究會に討論會等を通じて實際運動に參加し、此れを指導せらるゝ日の近き事を望むものである。

進めの威力を以つて鐵鎖をたち切れ、

進めの旗下に投ぜよ。

進め讀者會萬歲。（大野生）

電燈料金値下げに立つ信州大衆黨

吾が信州大衆黨は、安曇電氣株式會社の下に不當なる料金を徴收せられ、苦惱しつゝある民衆の生活擁護のため、今敢然として立つた。吾等は必ずや、大衆の壓力によつて、所期の目的を貫徹するであらう。左は、安曇電氣株式會社に對する勸告狀及び決議である。

電燈料値下に就き安電に勸告す

不景氣は益々深刻化する、農民は收穫物の暴落により、勞働者は賃銀の値下に依り、小賣商人は商況の不振により吾々大衆の生活は極度に窮迫を強ひられつゝある、此秋生活必需品の安價なる供給を求むるは蓋し已むを得ざる趨勢に屬する。

生活必需の重要なる一つである電燈値下の要求も亦必然の結果として起り今や勃々たるものあるを見る。氾濫の中にも風を孕まば遂に勃發すべく進展しつゝある。一つの情勢はその途上必ずや他のより急激なる情勢を生む高價なる電燈料金支拂に喘ぐ大衆は何處に行かんとする？早くも此の情勢を察知せる函館電氣會社は本年四月一燈に對し金拾五錢値下を斷行し、之が逸早く耳にせる京都電燈會社福井支社も亦一燈に付き金七錢の値下を斷行し其他鋭敏なる洞察力と良心的識見をもてる各社は自ら先んじて各識すべき美擧を敢行した。

不幸、然らず、急迫せる事態の前に目をつぶる者或は却て激流に抗したる無智、暴慢なる會社は徒に事を紛糾に導き、亂麻の闘爭は結び解けざること數旬に及び自他共に慘たる犠牲の數々を拂つた。此の代表的一例として吾々の記憶に未だ生々しい富山電氣滑川紛議を擧げる。

然而後、吾等は安筑大衆に電燈、電力を供給しつゝある、安曇電氣株式會社即ち貴社は如何なる供給狀態を以つて需要家に對するかを見る、その時我等は貴社の盲者蛇に怖ぢざるの類と云ふべきか？然らざれば暴虎馮河といふべきか？其危險なる大膽に一驚を喫せざるを得ない。

今、貴社電氣供給規定なるものを繙くに、タングステン電球五燭光より五拾燭光迄一個金四拾錢とあり、東京川北電氣會社の定價表による一個金拾壹錢に比し實に貳拾九錢の高額を示し、電燈料金は中央電氣株式會社に依る十燭光五十五錢（器具損料ヲ含ム以下同ジ）十六燭光六十五錢（各々一ケ月點火料金）に對し十燭光六十錢十六燭光七十錢の高價を示し、その他電燈器具貸附料、電燈取附移動工費等々と視野を擴大するにつれ、過重なる料金を課しつゝある事實は續々と發見される。

而して再び吾等は平然として石を待つが如き貴社を見る時「資本家は儲ければよい。需要家が何か？大衆の意志が何か？」と大衆が侮蔑しての意識的傲慢、貪慾とせば、これ將に噴火口上に亂舞する者と言はねばならぬ。

されど我等は貴社多忙にして思をこゝに至すの隙なきが故と思惟する。茲に我等は黨議により執行委員會の名を持つて、貴社宛本書竝に別紙決議書を送り貴社の反省を促し、暫く需要家の爲め電燈料金の即時値下を斷行せらるべき事を勸告す。

決議文

吾等は安曇電氣株式會社の電燈電力供給料金の過當高價なるを認め、同料金を左記の如く即時値下すべきを勸告し飽迄實現を期す。

一、電燈料一燈に對し二割値下を斷行すること、

二、電燈器具損料を廢すること、

三、一ケ月を通じて停電三回以上に亘りたる時及停電延時間一時間以上に上る時は契約料金の半額とする事

四、電燈取附工費五十錢を金二十錢にすること、

五、電球取換料金を「マッダランプ」定價表値段にて販賣すること、

六、電動機及附屬器具取附位置變更並に取除の工事費は全廢すること

七、電氣法令を確守する事、

右決議す。

昭和三年十月　日

信州大衆黨常任執行委員會

進め讀者の會設立さる

進め讀者の會が、各地に設置される事を知つた我が支局も、單に雜誌の購讀のみに止まらず、それを基準として、研究會を開き、讀者間の親密なる交際を計り、鬪爭論の結成に努めてゐる。平作だ！豐年だと言ふ支配階級の逆宣傳に反して、稻田に鎌を入れた小作人は、あの變態的な天候にわざわいされて、稻の穗先は餘りにも輕い。自然の脅威を受けた小作人の窮狀におかまいなしで地主奴は、例年の如く小作料を取りあげんとしてゐる。例年でも苦しみの最尖端を行きつゝあつた小作人の私達は、何とかしなくては、生き行く事も出來ない。進めの讀者網を全國的に張り廻して、意識分子を糾合して惡地主に對抗して行く組織の確立を急いでゐる。（廣島支局）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產運動講座

勞働組合法案に對する吾等の態度（上）

高見憲介

一

勞働組合法は國家意思に依つて定められる所の一つの法律であつて、我國に於ては大正七、八年の頃勞働運動の揺籃期に於て簇々として發生したる勞働組合や、無識の暴戻性を示したる勞働組合運動に對し、早くも一部の識者間に政府は直ちに之を公認すべしと云ふ聲が擧げられたものである。

また、勞働組合側に於ても一部の勞働者間に於ては、寧ろ公認要求の運動を起し政府に對して適當なる勞働組合法の制定の速かならんことを希望し、且つ要求するを可なりと叫ぶものも多數出現し、この公認要求の運動を起したものもあつたが、當時の内務大臣床次氏は、これに對し勞働組合は公認せざる旨を發表して社會の物議を醸すに至つた。

然るに床次氏の斯くの如き聲明のあつたにも不拘、翌年の大正九年には、勞働組合運動の發展は目覺ましきものあり、政府は如何に勞働組合否認の態度を強調せんとしても、客觀的狀勢は之を許さず、遂に其の年の春、農商務省案と、内務省案との二様の原案を作製して勞働組合を公認し、完全なる發達を成さしめんと急に態度を改め、勞働組合の公認を前提とする、所謂、勞働組合法案なるものが作製し議會に提出すべしと公表するに至つた。

處が、この勞働組合法案なる二省の原案なるものを見ると、何れも現代の資本主義經濟組織の社會に於て自然發生的本質を有する勞働組合なるものゝ本質に對して、極めて盲目的な如何にも御役人が自分勝手な取締りを原則として作製したる單なる取締法に過ぎず、返つて勞働組合の發達を阻害するが如きものであつたが故に、勞働組合の公認を要求した一部の勞働者も今更の如く、役人の頭の古さと、客觀的狀勢を觀るの明なきことに呆然として、この法案に對する反對の意を表明して了つた。

越えて大正十二年の頃には、この法案反對の叫びは益々高まり、全國の勞働組合は勞働組合法案と當時問題にされた他の二法案とを一括して「過激法案、小作爭議調停法案、勞働組合法案、反對全國勞働組合同盟」を組織して、全國の勞働者に檄を飛ばし「官製勞働組合法案は我々が惡戰苦闘して作つた階級的組合を絶滅させ骨抜の協調組合にしやうとするものである」と絶叫し「進め」社其他當時の社會運動團體は「過激社會運動取締法案反對無產者同盟」を組織して、宣言、決議を發表し其の決議の一節に「勞働組合及び勞働組合運動の無條件公認以外、苟くも勞働階級の戰鬪機關としての組合の形態と行動とに干渉する一切の立法に對して、徹底的に反對する」と謂んで居る。又、曉民會の如きも決然として「日本の官僚的資本家政府が今議會に提出せんとする――勞働組合法案は吾々全プロレタリア階級の解放運動を鎭壓し撲滅せんとするものである。本會は全國の同志と協力して、此の妖怪的惡法案を徹底に叩きツブさんことを期す」と揚言してゐる。この取締りを主旨とする勞働組合法案反對の叫びは斯くて燎原の火の如く全國に擴まり、二月四日には芝公園の協調會に「反對大演說會」を開き、二月十一日には大示威運動を決行して飽く迄も反對の氣勢を示した。

其後大正十五年二月九日遂に政府内閣の時漸く議會に上提されるに至つたが、その以前に資本閥の集團である日本工業倶樂部に本法案を示して、政府は資本家の意思を聽いた。（新規なる法案を議會に提出する時は政府は、夫れ夫れの資本閥に原案を示して資本閥の意見を聽くを常例とすると聞く）勿論、資本閥は斯くの如き取締りを主旨とする惡法にも拘らざるに、猶も資本家に都合の惡い點を修正して骨子を抜き取り、惡法に輪をかけた惡法として了つたことに聽いて居るものである。而して斯くも幾多の曲折を經た本法案は勞働者の反對排斥と資本閥の氣儘な強要との爲めに遂に今日に至るも決定を見ることを得ずに了つた。

然し本年の第五十六議會には再び三度、この勞働組合法案が提出され、愈々決定を見るの狀勢にあると言ふことであるから吾々勞働者は、其の經過に一瞬の眼を外すことを許さざるものである。

二

現在に於ける勞働組合法案は、勿論大正九年に發表されたものとは多少異つてはゐるが、最初のものと大同小異であつて取締法案であり、惡法案である點には何等の變りもないものである。現今では政府案と社會局案との二様に分たれてゐる。後者は前者に比較して稍々進歩的であるとの評もあるが、何れにしても其の根本に於ては惡法の程度も同一であると見て差支ないものである。

私は茲に於て同案の逐條的研究と檢討とを極めて必要とするものであると思ふものであるが、斯くの如き逐條的檢討は到底この小論に於て能くする所ではないし、又この問題を詳論することは元より不可能とする所であるから本論に於ては一般的の、一原則的の問題を二三拔ふに止めて置くこととする。

先づ、勞働組合法の重要性の問題を考へる。勞働組合法は勞働立法、或ひは社會立法の中でも第一に重點を置くべき最大の重要法律であるは言を俟たない。

然らば、何故に斯くの如く最重要の法律であるかと謂ふ。夫れは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

運　め

この法律の中には勞働組合──勞働組合運動──の生命である、勞働者の結權、ストライキ權、團體交涉權の如きを初めとし、ピケット權ボイコット權、組織權、（勞働組合加入の自由）組合員たること依る解雇の制限、勞働組合の財產所有權、ストライキ基金及給付權、政治行動の自由、聯合權の自由、勞働協約の強行性等が法の構成要素として居るからであつて、總ゆる勞働組合運動、換言すれば勞働者階級それ自體の生命を擔れる法律であるが故である。

現在の法律秩序は財產法を以つて骨子とするローマ法にその基礎を置いて居るものであるから、從つて財產を所有する資本家の物質的權利は、總ゆる現行法制の中樞をなして居るが故に所有するものの權利は極度に擁護されて居るのである。之に反して何物をも所有せざる無產者たる勞働者階級は、この財產法の下には本質的に何等の利益がなく、著しく從屬的地位に退けられた儘となつて今日迄來たものである。

然し近代勞働者階級は、斯くの如き不利益なる地位に放置されるを不利とし、所謂無產階級の解放なる叫びを擧るに至つて勞働階級の組織的擡頭は日と共に昇天の勢ひを以て進行しつゝある。從つて社會的一部の現象は、この新興無產階級の狀勢を無視して考察することを許さなくなつた。殊に法律の制定等には、甚だしく、この狀勢の反映を見るに至つて、所謂法律の社會化が稱へられ、法的概念の再構成が論ぜられるに至つたものであるが、これ等は勿論覺醒した勞働者階級の生々しき反抗によつて一步一步と獲得したものであつて、されば、現今に於ては、法を制定するものも、制定されるものも決して過去の如き無智ではなくなつたのである　故に勞働組合法も亦、極めて重要なる考察と批判の對象として論議されるも故なきことではない。

元來、勞働組合は經濟的に勞働者階級解放の戰鬪であつて、直接勞働者大衆を結合團結をなさしめ、又、以て無產者政治運動を持つ機關でもあることを本義とするものである。勞働者階級は、この戰鬪がなくては永久に賃銀奴隷として社會の進展の榮光から取り殘され經濟的の進行は勿論、大衆を組織し、覺醒せしめ、實踐的効果ある政治的進出に實現せしめ、從來不當に無視された利益を擁護し、且つ勞働者階級として社會の進展に寄與する重要にして決定的なる役割を果すことは不可能なるものである。

この意味に於て勞働組合運動は勞働運動の中心をなす重要性に富むものである。故にこの勞働組合運動を對象とする勞働組合法の制定は又重大なる意義が有するものであると言はざるを得ない。從つて勞働組合法の確立こそは、諸他の勞働法成立に先立つて確保しなければならぬものである。

進め戰鬪歌

（一）黃金によろほへる
資本の牙城は固く
壓制に傲みつゝ
吾等の戰線はきれず

いざ進め〳〵
農村に工場に
突擊の聲高く
鬪ひ今やせまる

折返し

（二）○○の雲切れて
戰鬪夢は覺く
黎明の鐘のもと
ブルヂョア挽歌ぞ響く
（前節繰返し）

（三）立上れ同胞よ
正義は今ぞ燃ゆる
○○の日は近く
未來は吾等のものぞ
（同樣返し）

（四）振りかざせ赤旗を
よろこびの聲揃へ
民衆は野に山に
凱歌を今ぞ擧ぐる
（同樣返し）

赤旗の譜

更に、資本家階級の權利の法律的表現たる財產法に對するに、勞働者階級の權利を主張すべきは、勞働組合法の中心たる團結權である。であるが故に財產權に對する團結權を主要なる構成要素とする勞働組合法こそは、勞働者階級の利益の實質的基本的基礎的なものであつて同時に又、勞働者階級の憲法的重要性を占むるものであると斷ずることが出來る極めて重要なる法制であると謂ひ得る。

三

勞働組合法の中心要素として第一義的のものは團結權であることは前述した通りであるが單に勞働組合運動に限らず、總ゆる勞働者の運動の中心的事實、根本的な形式は多數の團結と云ふことに存する。無產者としてその個々は極めて弱き勞働者も、多數が團結して組織を持つ時に於ては、その政治的、社會的、經濟的の利益を始めて擁護することが出來るのみならず、更に進んでは自己の立場を強調して自由なる意思を表現し得ると共に、日常賃銀鬪爭の勝利、消費生活の豐富化、無產者の政治的利益の（法律等も）完全なる獲得を實現し得うるゝものであるが、これ等の根本をなすもの、即ち無產者解放運動の手段たり、方法たり、力の根源たるものは團結であるから、勞働組合法の構成要素としての團結權の確立、有無乃至その程度は勞働法全體の趨向に深く關係する契機である。從つて團結權の意義が判つきりと規定することは勞働組合法の構成要素の爲めに第一義的のものである。

而して團結權の要は廣き意義として第一に指摘さるべきは、團結權の持つ不可侵性であり、第二には團結の組織性とも謂ふべき權能の確認である。第三には團結權の完全なる意味の實踐性であるが、この三つの要素に何れが一つ缺いても、法律化された團結權は正しき意味に於て團結權の名に價せぬ團結權である。

勿論、この三つの要素と雖も正しくは結局一の團結權となることであるが、この三つの要素に就ては猶は現在の勞働組合法案と對象して論じて見やうと思ふ。然し豫定の紙數に近づいて來たので本號に於ては、此處で一と先づ筆を休むことゝする。　（未完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

創作

ある教誨

中島安太郎

硝子を見ろ！まるで氷の花だ。壁の冷たいこと、夏なら無茶に暑さの爛熱し切つてゐる窖のセメント壁がまるで氷づけの石壁とつくりぢやあないか。

また來る日もまたくる夜も俺は單調なこの房内生活を強制され切つてゐるのだ。思ひは千々に驅け廻る、今年の雪は五尺ほどしかつもつてゐないな。みんなはどうしたろ、達者でゐるか知ら――も蜂の頭もない、それこそ薄情な奴等だ。何だ彼だと云つてゐながら俺が囚はれるとなると、壁紙一枚差入れることもしなかつた奴等だ。それでも俺はなつかしい氣持におそはれるのだ。堪え難い程の空腹、胃袋の存在が凡そこれ程はつきりすることがまたと何處の國にある。おゝ寒い。ああ冷たい、指の先耳手と云はず、足と云はず針で刺して見ても痛くも何ともない、そしてその色だ。死人の色だ。腐れかゝつてゐる。畜ッ！。何が何だ。起床だ、苦しい一日の作業時間が始まる

そして今日はお正月の七日だ。社會にゐた頃はあゝ、一昨年の正月までは今日小豆粥の雜煮餅を食はぬ年とてなかつたのだ。正月の七日だ、佛壇の供へ餅の下る日だ。餅！餅！何と云ふ惱ましい、うまいものの存在だろう。村山次郎は一九二二年の正月七日の六時頃○○監獄の第一監第三房でこんなことを考へてゐたことは慥だ。そしてその日は日曜だつたので例によつて、教誨のある日であつたので、村山はそれが果敢ないながらも一つの樂しみであるとしたものである。全くそれがどんな馬鹿らしいものであるとしたところで一間に九尺の房内へ閉ぢ込められたまゝたつた一人の生活なんぞは村山だけではなく、みんなのものだつてむしろ恐れてゐるのだ。新入りが體驗する分房生活二箇月の痛苦、工場作業場等で惡い者とされると投込まれる分房。誰だつて嫌だ。

かすかに何處かへ朝日の光のさす頃だ。ガチヤンギイイと扉が開いた。

「教誨」と看守は投るように云つてはまた次の房を開いてゐる。村山はおどり出た。教誨堂と中央見張とは兼ねられてゐて正面には佛壇が三尺高いところに出來てゐた木像の阿彌陀如來は眞黑に見えて像の前後の造作が金色燦然として輝き佛壇は貴いものと村山にさへも思はせることが出來るようになつてゐた。教誨堂は赭衣の囚人達でいつぱいに埋められた。

その日は典獄は留守だつた。一種異樣なリズムが起る

我超世の願を建て
必ず無上道に至らん

……

此の願滿足せずば
誓つて佛道を成ぜず

……

虚空の諸天人
當に珍妙の華を降らすべし。

鉦の音。

有名な大經の中の三誓の偈と云ふものであると云ふ。全囚人の合唱である。

小森教誨師はおもむろに壇に立ち、念珠をつまぐりながら靜かに口を開いた。

皆さん今日は早正月の七日になりました。恒例によりまして今朝は小豆粥を戴いたことでありますが、此處に御座る皆樣が此の一杯を口にすることが出來ないと思ふと思はず一滴の涙を椀に注いだことであります。私には今年とつて十三歳になるのと八歳になるのと二人の男の子が居りますが、今年も只一つ年をとつたゞけでは不可ないから、二人の子を呼び寄せて、正算僧都の母親の話をして聞かせ、親心のありがたさに二人とも涙を流したことでありますが、正算僧都が比叡山で學問なされてゐる時の留守の母親は今日も正算のことが思はれてなりませぬ。

もはや年暮れともなり雪さへ積んで、吹く風は身にしみていと寒い、お山で修業の我子正算は如何してゐることであろう、他所の子達は皆それぞれに親たちからのつけとゞけがあつて此の寒さにもめげず立派に學問もなされ師の御おぼえも芽出度くあたゝかい日送りをして居られるであろうに我が兒正算は貧しく冷たい日を送つてゐることであろうかと思ふと母は早眼に涙の露がポロリ――。あゝさりながら、貧乏な身の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

上の何を塗らん術もない。貧しい中の賃仕事のわづかばかりの金に糊口をしのげば殘りとてはなく、文字どほり洗うが如き赤貧。ふと思ひ當つた母親は何の惜氣もなく何より大切なみどりの黒髪を根本からぶつつりと切り離してしまひました。

山本敎誨師の話は次第に哀れつぽく壯嚴になつて來る、講堂の囚人達に勿論聲がある筈もない。童顏と云つてい丶か年は相當だが顏の色に櫻色が加はつて、てるてると光つてゐる。あれは食物の作用なのだ、囚人の土色の顏、榮養の粗雜な安月給の看守の面などを見るがい丶。結局は衣食住の關係でしかないのだ。村山次郎はこんなことを考へてゐた、その眼には正面の佛壇　緋牡丹と金色の菊の飾の打敷が、寶物のやうに貴く光つてうつつてゐた。その前の三寶にのせて白紙の上に異彩を放つ大鏡餅の美しい存在と胃袋の存在感──話は次第に進んで行く。

──惜し毛もなく切り取つた髪──やがてそれは一袋の米に換へられたのであります。子を思ふ親のみ心──一本の手紙を添へて、近所の飛脚をたのんで正算のもとへ傳言したのであります。見渡す限り一面の雪、白皚々たる雪路細々比叡山への道をたどる飛脚とその影の見えずなるまで見送る正算の母──やがて飛脚の男は正算のもとへついたのであります。

正算と云ふお方はこちらに御座になりませんか──はいあのう正算は私で御座いますと若い僧が飛んで出た──これは、これは、私はあなたの御母さんからの御つかひで參りましたもの、母さまには達者で、あなたの御修業をよろこんでゐられます。これなる袋はあなた樣への贈り物米がいつぱい這入つて居りまする。これはあなたへの御手紙で──と差し出せば、有難う御座ると受取つて、それはようこそ御苦勞さまなさいぞく〳〵とたき火をする。圍呂裏にかけたる小鍋にはときたてのぴい〳〵とろみたいな米粒が煮えくりかへる。やがて御飯が出來ました。サア〳〵おあがり下さい、と精進物の有合せの御菜をそへてそれに出したのでありますが、飛脚はだまつて、うつむいた切り面を上げやうとは致しませんので、やあれおかしや、どうなされましたい、氣分でもお惡う御座るかと聞けばかの飛脚、ぼろり、ぼろりと涙を流して居るのであります。御飯でも惡う御座るか──おもむろに顏を上げた飛脚の男、いや〳〵氣が、惡うは御座らぬ、至極、達者で御座るが只なんとのう勿體のう御座つて涙が出申す、それやあいかなこと──されば、あなたにはそのお米が何ともたゞのことゝ思召すかも知れませんが、それは私が知つて居ります、他ではないが、あなたの母樣が學問修業を勵めんため何か仕送りをいたしたいと貴いみどりの黒髮を、ぶつつり切つてかもじ屋にうり、その米を買はれたので御座ります。さすればこの米、この御飯の一粒、一粒は、母樣の一本一本の髮の毛ぢやと思ふと勿體のうて、口にすることも出來ませんとの物語り、これを聞きました正算僧都。なる程左樣で御座りますかと供に涙を流して親心の廣大さに激し益々勉強なされたとの話をいたしまして、と山森敎誨師は我に還つたもの丶如く──私の二人の子供も涙を流して聞きましたが──それにつけても、此處に御座る皆さんが、この親の慈悲と惠みの貴さを御忘れなさらずば──水をうつたように靜まつてゐた講堂の内部にこの時から時々の息吹きが聞こえ始める。カタコト音をさせるものがある。村山次郎は妙にセンチメンタルな氣分、何となく淋しい自分を靜かに見出した。T縣の代表的社會運動の志士を以て任じてゐた村山。

白皚々たる比叡山への道をとぼ〳〵とたどる飛脚と、その寢主の母の顏がまぼろしのように頭に浮んで來る。いつの間にかそれが自分の母の顏になつて來る。正算の母の思ひが俺の母の心の中に何でなかろう。現實を見よ、彼は僧、我は今、彼は學徒、我は受刑者

──それでありますから皆さんも今日を機會にして立派な人として國家社會の爲の本分を盡し、と山森敎誨師は論を結んで壇を降りる。そして阿彌陀の黒い木像に合唱禮拜して靜かに退場する。輪袈裟の金襴が光る。看守長の金モールが、これ見よがしに佩劍をガチャつかせながらその後へ續く。

背の高い部長は立つて呼ばはる──分房──ガチ〳〵ふるへながらコンクリートの光る冷たさを走りながら二監へ！といふ聲を背にして房へ他の囚人共とまたぞろ〳〵扉をしめて這る。便器の上へあがつて窓をのぞく。

北日本の空は紺青に晴れてゐる。あゝ深い空の色。すが〳〵しい氣分になれる。さわやかな空氣の流動。日はすでに高む。雪は銀色に光つて見へる。區切られた四角なまどよりの限られたる展望──あゝ自由！自由。

──一九二八・一〇・六──

「やきとん」いぶる

北　深

◇
春を賣る、女の白い、夜の街
なんか食ひたい。
なんか飲みたい。
◇
やきとんのいぶるにほい
胃ぶくろに
しみ渡る韻り、かなしも夜更け。
◇
しやべるの土の、落ちた爐の
ひんやりな
鐵の光りに、やきとんにほふ。
◇
支那そばの、笛のかげに
かくれる女の
白い顏、豚の樣に太かつた。
◇
此の腹さへなければ俺は
元氣だに
腹のある故に、腹がへるんだ。
◇
豚の樣に太つちよな女が
俺をさへ、たんなと呼んだ。
俺もたんなか？
◇
電車に乘つて、俺もこれだけにな
つたかと。
思つたもんさ、ビラまきの朝
◇
車屋さんが、もつたいもない
たんなたつて、俺を呼んだ
かつれた俺を。
◇
市場、人間の市場、疲れた男
今日一日の
力賣る市場。

彈壓政治の忠僕達

—パントマイム—

李 貞 植

一

客室——宴會場

宴會場は勞働者と農民から搾り取つた金で思ひ切り贅澤に飾られてある。

共處には酒宴が準備され、數人の血太りした紳士連と將軍連に依つて一切の人民の自由が蹂躙される。

紳士達はシャンペンをあほり、女と抱き合ふ間も將軍連を操ることを忘れはしない

將軍連は紳士連の吸ひ殘りを頂戴すること、よだれをたらすだけで恐縮の體。

彼等は紳士連の操りに甚だ從順だ。

似合はぬ和服姿で御用振るのにせはしい相愛會の幹部連。

共處では飲むこと、食うこと、抱き合ふことゝが全部なのだ。

將軍の一人が胸にぶら下つた金鵄勳章を撫でつゝ挨拶、一同乾杯。そして手と足とを合せて叫ぶ。

——殖民地民族の永久的○○化!(幻燈)

——山梨新總督に幸あれ!

山梨抱負を述べる。(全部幻燈)

對朝鮮殖民政策

1 日本のブルジョアジーは痩衰へた朝鮮を搾取するのに狂奔した。

2 齋藤總督は一方軍隊と警察の「文化政治」を以て朝鮮民族にのぞみ、他方さうすることによつて血太つた紳士連に愛嬌を振撒くのに忙殺されてゐた。

3 だが今日、それは餘りに舊式過ぎる

4 總てはより積極的により合理的に!

紳士連と將軍連の拍手喝采。

(山梨抱負談を終へて頭をペコ〳〵下げ乍ら紳士連から紙幣束を、將軍連より鐵砲を貰ふ) 宴會場では拍手と拍手に抱合と抱合に、乾杯と乾杯に終る。

この時街道では、食と仕事を奪はれた勞働者と、耕すべき田地より追出された農民と、バラックより叩き出された無產市民との足並が揃ひ初める。

宴會場内の紳士連と將軍連に一聯の暗影が現はれる。

—暗 轉—

二

舞臺薄暗

舞臺は朝鮮だ。殘虐な搾取と非人間的な酷使が白晝公々然と演じられる一九二八年の殖民地だ。

抑壓する一切の殘忍性の露骨と虐げられたる朝鮮民族の悲慘な叫びが溢るゝ半島だ。

「赤き朝鮮」を○○○と○○とで掻き消さんと藻掻く將軍と紳士連。

大砲と機關銃を引摺り廻す○○○○○○の軍隊。

鐵砲とサーベルと泥靴で民衆を踏みつぶす○○○。

教科書と口と鞭とで若き學徒を欺瞞する教授連。

彼等は何よりも「恩給」がふんだんなので誇らかだ。

憤慨に鳴り渡る「鞭の脅威」と神經を削るかち合ふサーベルにおぢけつゝ奇妙なポンプを動かす勞働者。

そいつは二本の管を持つ。一本は紳士連の太つた口に、他の一本は自分自身に。

多くのポンプを啣へてみる〳〵肥へ往く紳士連。

それとは正反對にポンプを動かせば動かす程痩衰へる勞働者達。

彼等は疲れ果てた故に鞭打たれ追出される。「搾取機」の前に打倒れる女工達。

土地は剝がれ叩きのめされ追ひ廻される貧農。

幼き孫娘を背に乘せて鞭の下を潜り歩く「ハルモニ」(祖母)

後手に縛られて引摺られて行く學生。

○にされて○○される女學生。

空腹を押へて「七千五百萬圓の○○○○」を怨む無產市民

十二才の少年はヌバイに「保護」されつゝ追廻される。

これ等被虐者達は堪へ難き呪咀と憎惡に燃えていきり立つ。

だがそれ等は再び、鞭打たれ、蹴飛ばされ、踏みにじられることに依つて「治安」が「維持」される。

> **原稿募集**
>
> 本誌は、農村や工場で、汗とほこりにまみれて働いてゐる勞働者、農民諸君の手になる一切の原稿を求めてゐる無產運動の言論戰鬪を手の白い人達に任せる様な事があつてはならぬ。そんな事では何時まで立つても、合同をどうする、こうすると論文に書いて、原稿料の種にする所謂學者先生を喜ばせる事以外何んにもならぬのだ。合同論も、ほんとうに合同を求めてゐる、勞働者農民俸給生活者が叫ばなければ一歩だつて進展しないのだ。
>
> ◇
>
> 本誌は勞働者、農民諸君の言論機關として正に絶好のものである事を確信してゐる。文章の巧拙は問はない。どしどし寄稿されん事を望む。原稿はなるべく四百字原稿にて、丁寧に書いて貰ひたい。締切りは毎月十日進め社編輯部宛

「彈壓政治」の忠僕達の亂痴氣踊りと被虐者の「鞭の壓制」に對する抗爭との中に薄暗き朝鮮は「全面的鬪爭」へと明けて往く。

—暗 轉—

理想郷を造らんとして支那革命に從ふ（五）

福田狂二

馬上の劉狂民

官軍の陣容

我が南京城を攻める寄手の大將は、當時四百餘州に敵なき張勲であつた。彼は齢すでに六十なりしも精悍無比、驍勇並なき人物で、彼の配下には山東兵多く、土匪あがりで大戦少戦幾多の經驗があり、戦塲生き殘りの強兵である。亦、彼が滿州におつた事があるので、配下の將校は馬賊上りのものが多かつた。

由來山東の兵は軀幹偉大、忍耐力強く、支那の軍隊では他省の兵三十人に匹敵すさ云はれてゐる。加ふるに、張勲は部下を愛する事殊も厚く、身を修むる事深く、彼の爲めに死せんと欲する士卒は全軍であつた。武將としての美點を具へてゐた。

私は彼を日本の上杉謙信の如くに思ふ。智略は足らなかつたかも知れないが、猪突猛進的軍人であつた。故に當時、彼は百戦百勝、天下無敵、彼の向ふところ敵はなしで敵が逃げたと云はれてゐる位だ。彼は戦時において掠奪強姦を許してゐる。それで兵は戦ひに勇んで行くのだ。それから。張勲は思想は古いし、其の當時においてすら辮髪を組んでゐたくらひだ。人民は彼の軍が過ると先きを爭つて逃げたものだ。

此の張勲の外に馮國璋、徐寶珍の軍が來てゐた。張勲軍は二師、約一萬五千、徐寶珍軍約一萬、馮國璋軍約一萬二千、總計三萬七千であつたが、支那式の宣傳によつて十萬と稱せられてゐた。

嫣言蜚語

いづれの戦爭においても双方の實力は分るものでは無い。味方の事でも、軍の全體にわたつては司令部より外は分らない。うまく連絡を取らないと司令部でさへ分らぬ事が多い。大きな戦爭になると、右翼が勝つて、左翼が全滅してゐる事さへある。戦爭といふものは、一か擲か、生命を的の大賭博だ。そういふ状況にあるから、一寸した人の云つた事さへ、恐れたり驚いたりする。戦術の一つとして、それで敵を侮り、虚勢を示し、敵の作戦を壞す爲め嫣言を放つ事も必要なものだ。日本においても最近社會運動の仲間においてこの嫣言が特に放たれてゐる。殊に日本共産黨といふ一派はこの嫣言をもつて第一の戦術と心得てゐる。評議會やその他自分の方の團體を百倍も二百倍も誇張して云つて、他の組合を犯す様な事が多くあつた。これらの戦術は矢張り支那から出たものであらうか。

三國誌を讀むと、魏曹操が百萬の兵を率いて云々の事がよくあるが、百萬なんといふ兵は、よし兵があつても、武器もあるものではなし、亦食はせておく事も出來るものではない。多分、二三萬の兵であつたらう。

討袁軍總司令部の参謀長も、嫣言を製造する事においては敢て人後に落ちるものではなかつた。わが二萬三千許りの兵を、三十萬と稱したり、五十萬と稱したりアムストロング砲が一千門あるとか云ふホラも吹いたり、或ひは味方の兵まで欺いて、こういふ事をよく云つた。これは味方を欺けば敵を欺く事が出來るといふ古いやり口ではあるけれども士氣を鼓舞するには払た力があつた。支那の軍隊は大砲には恐れてゐて、大砲が澤山あれば、戦ひには必ず勝てると思つてゐたらしい。

又、私が南京に着いて、總司令と共に殺された陣師長を訪ねて獨立をすゝめた時も戦費が三千萬元來るといふ大ホラを吹いた。亦、城内の目拔きの場所に野砲を引かせて歩いた。僅か十五門の小つぽけな野砲を一日に兵を代へて何回となく同じ所を運はせて人民に砲が何百門もある様に見せかけた。それで人民は今度の革命軍は武器は豐富だから必ず勝つであらうと安心して了つた。

又、彈藥なども、わざわざ南京の大通り、市民の交通頻繁な所を運搬させて見せたものだ。同じものを、同じ處を何十回となく運はせた。尚ほ、城外の人民の前でも試みた。それから、下關といふところの揚子江通ひの船の着く所でも虚勢を張つて見せた。又上海に人をやつて上海の新聞に對して宣傳をやつたものだ。この嫣言が、突

拍子もない大きなものになつて了つて苦笑した事が度々ある。守兵百萬、南京の三分の一の空地には彈藥が滿載されてあるとか、又日本、佛蘭西、米國の軍艦が武器を南京に運んだとか、或ひは、湖南から米を送つて來たとか、最も滑稽なのは、官軍が城外で皆殺しになつたとか、孫逸仙が廣東の軍を五十萬連れて應援に來るとか、種々擽つたい樣な可笑しい流言蜚語が起つたものだ。

こういふ風では、官軍も恐れて仲々迫つて來ないで、鐵口附近で軍を休めてゐた。

革命軍の訓練

私は今の革軍をとても滿足する事が出來なかつた。それはすべて訓練が足らなかつたからだ。流言蜚語はかりでは戰爭は出來るものではない。一時的には敵を恐慄せしめる事は出來るけれども、實力のない流言蜚語は、反つて自らを早く亡ぼすものである。私は敵のおし寄せない間は毎日教練をさせた。實彈射擊は、命もかゝるし出來なかつたけれども、毎日、團長を督勵して白兵戰を、即ち突擊を盛んにやらせたものだ。又砲兵は、砲があつても、擊ち方もロクに知らぬし、知つてゐる者は僅に二三人よりゐなかつたから、これでは戰爭が出來ないし、私が手に取る樣にして操法を教へてやつた。步兵も、砲兵も、約二十四五日の間は、私が監督して猛烈な演習をした。

ある時は、一日食事も食はずに馬上で終つた事もある。翌日から、握り飯をポケットに入つて行つた。突擊の時は私も一方の軍の先頭に立つてやつた。餘り突劍にやつたから、衝擊の際馬が兵を嚙んだ。その兵に二十元の治療代をやつた。支那の將官は、現在でもそうであろうがその頃は兵卒と餘り口もきかなかつたものだが、私は親く兵卒と交つたから、私の人氣は素晴しいものであつた。

又私が銃劍術を教へてやつた。私の銃劍術は日本にありし昔から、自ら世界一の劍士と自惚れてゐたくらひだから、支那兵の教官としてはもつたいないぐらひだ。一個聯隊を整列させておいて型を教へる。そして、一個聯隊に號令をかける。銃をもつたものもあるし、木銃をもつたものもあるし、それも無いものには竹をもたしたものである。それから、その聯隊には防具（面、胴、小手）が十組はかりより無い。私が、兵を相手にして稽古をつけてやつた。

ある日は、三十本位仕合をした。又、十人の兵に木銃をもたして、私は防具なしで五分間に十方より來る十人を打倒して兵を畏服させた。

この銃劍術は今でも私には自信がある。木銃一本握れば、劍道の五段や六段の人が五人や七人來ても突伏せる事も易々たる事である。

參謀總長が木銃をもつて、仕合をする、正に天下の珍とすべきである。かくの如くして、全軍を訓練した。その進步効果は、日本の兵よりは、著しい樣に思はれた。その速成科卒業生の革命兵が、如何に戰つたか。私は今でも、往時を思ひ出して、彼等が私の命を奉じて善戰した事を感謝せずにはゐられない。

守備盡くそなはる

南京には、大門が四つある太平門、朝陽門、通濟門、儀鳳門、この門には步兵二營（二大隊）をもつて守備につかしめ、富貴山、獅子山、天保山に砲壘を築いた。いづれも、間に合せに作つたもので、煉瓦で築いて土を運んだぐらひのものだ。砲は七珊野砲各二門を備へた。その外に臼砲も十門はかりあつたが臼砲といふ大砲は百貫目程より無いもので四人程の人さへあれば車、積んで走る事が出來るくらひだが步兵戰には中々有効なものだ。眞鍮で作つたもので、大きい加農砲に比較すれば薄荷パイプに等しいものである。

都督府には、第十師が守つてゐる。滬寧鐵道の停車場には、步兵一營をもつて守備し、機關銃十門、臼砲五門をそなへて、嚴しく乘客をしらべた。此處は上海との往復の頻繁なところだから、特に嚴格にやつた。

城外との交通は、全く遮斷して了つた。その頃、敵の間諜三名が、太平門と通濟門の間から城壁を越へて入らんとした爲めに、守備兵に打たれた事があつたとの話だ。

もう、南京は蟻の這入る隙もない。これで南京の守備は完備した。支那第一の驍將張勳よ。來らば來たれ。わが軍の武勇の程を示さんとまち構へた。その頃、江西省から米が四百萬石來た。上海から、金が百萬元來た。小銃彈が百五十萬發來た。これは上海から來たが、英國の船を傭つて運んだものだ、これだけの彈丸があれば、優に三ケ月を支へる事が出來る。各省の同志この間に獨立し、中國革命は完成せんと、參謀總長は悦に入つた。それから、左の告示を發表した。

告示

われ等、此處に革命義軍を起し、逆賊袁世凱を倒し、以て中國革命を完成し、人民による政府を作らんと欲す、而して四億萬の生命を救ひ平和の道を實現せんと欲す。庶民安堵して職に就けよ、又、金ある者は金を以て助けよ、力ある者は力を以つて我等の軍を助けよ。江寧府は今省革命軍の總司令部を置くところ、亦秩序を維持し、異背するところなく、我が革命軍の軍政に從ひ、各々業を勵むべし。我等督つて庶民の生命財産を守護せん。此處に告示す。

討袁軍總司令部

民國二年七月

一、盜賊姦なせし者は斬に處す
一、略奪せし者は斬に處す
一、敵に内通せし者は斬に處す

人民は皆革命軍を信じて常の樣に商賣をした。私が夜三人の從卒をつれて乘馬で各

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

軍隊を巡閲した時、夜でも皆店を出して賑々としてゐる樣に見えたし、齊樓では、歌妓が胡弓をひく音がしてゐた。

哨兵なども、決して眠る者も無く、又位置を離れるものもなく、軍規嚴然として整ひ、獨逸の軍隊を見る樣な氣持がしてうれしかつた。

通濟門の戰

七月三十日、朝からポツポツ雨が降つて來る。司令部には、敵兵が通濟門におし寄せたとの電話がかゝつて來た。私は、日本の城上りに登つて來た參謀總長ではない。諸軍を指揮するはかりでなく、前敵を突破して敵將を捕虜とする元氣をもつてゐた。二十七才の參謀總長たもの、外國の七十才ぐらひのヨボヨボした參謀總長とは違つてゐる。これは私の性格だから仕方がない。由來、支那の革軍の領袖達は、謀を帷幄の中にめぐらすといふやり方で、戰爭の出來る人は少かつた。そんな譯では、革命軍が指揮できる譯のものではない。

私が陣頭に立つといふ事は、參謀總長の重職を忘れて、餘りに輕々しい樣だが、實際、支那の兵をひきいて戰ふには、これぐらいの事をして見せなければ戰爭が出來るものではない。

私が行つて見ると、通濟門の上からわが軍が、しきりに打つてゐる。私が壁上から頭を出すと、敵の敢死隊（決死隊）約三營（三個大隊）が四丁程のところへ迫つてゐる。と、目の下の門外に一人の便衣隊がスコップをもつて土を掘り返して居る。私は驚いた。敵が城門を爆破せんとする事に氣がついたので、腰につけてゐたモーゼル一號拳銃を出して撃つた。彈丸は背から貫通した。この拳銃は一千米突の人馬を倒す威力をもつてゐる。それから、其處を守つてゐた第二十九團長と相談して城門を開けた。城門は入口が十間あつて厚い鐵板で張られてゐる中には砂嚢をうづ高く積んでゐる。城外から見ると中には守備兵が一人もゐない樣に見えた。しかし、機關銃四門が、門の兩側に据へつけられて敵軍の入來をまつてゐた。私は、城門の上の銃眼から敵の來るのを待ち構へてゐた。

約三時間程すると彼等はおひおひ近づいて來る。わが軍は一發も打たない。三十間迄來た時に、私のモーゼル銃は發射された。これが合圖で機關銃は城門に出づるや否や亂射された。約十分間の間に、敵兵は殆んど倒れた。そして、我軍は行つて負傷した兵を捕へた。約二千五百人の中、生殘る者僅に十一人、その中で、負傷しなかつた者が二人ゐたが直に十一人は捕虜にした。二三名逃走するものがあつたが、直に射殺された。その際私の目についたものは、我軍の兵卒中に死體から金を探してゐる者であつた。金の多くは軍票であつたが中には、露清銀行の五圓札や十圓札をもつてゐる者もあつた。或る兵は、死體の背負つてゐる掠奪品を又盜つたものもある。

私はこの事を、別に罪惡だとも思はなかつた。

そして死體の側にある銃劍を皆城内に運はせた。拳銃をもつてゐる者が五六人あつた。後になつて調べて見たが、その銃で二千百丁はかりは怪我をしてゐて使へる銃であつた。私が一番最初に城門の上から撃つた支那人は、すでに息は絶へてゐたが、頭をおこして見ると、十六七歲の眉目清秀の少年であつた。

其の掘りつゝあつた穴には一尺四方の箱があつた。それは、炸彈であつた。最も、強烈な火藥が包藏されてあつて門を破る爲めであつた。私はこの少年の勇敢を心ひそかに賞したが、彼の死に對して何等の同情もおこらなかつた。

これらは、私が惡が無いのでは無い。戰場では誰しも、こうなる事であらう。戰といふものは、生命の取り合ひだ。生命をかけての賭博だから、皆、血眼になつて人情も何もあつたものでは無い。敵を早く殺せは勝つのみならず、自己の生命を完ふするものだもの。又、素人の知る事の出來ない境涯である。この戰において我軍の負傷者は只一人だけであつて、直に病院に運はれたが、脚部銃創だから二十日はかりで癒つた。私は病院へ此の兵を見舞に行つた事がある。

私は、この日は、第二十九團の隣りの料亭で、李俊團長から御馳走を受けた。其處に總司令部から、何上將が、一個少隊程の兵をひきいて來た。そして、團長は、この戰ひの結果を報告したところ、雀躍りして喜んだ。南京の第一戰は、かくの如くして勝つた。

續いて幹部の將官が皆この事を聞き傳へて、集まつて來た。皆で司令部に歩き乍ら歸る途中、祝盃を擧けんとして、東聖樓とか云ふ料亭に上り、酒を命じた。樓主や、料理を運ぶ使丁は私の顏はかり見てゐる。そして、私に最大級の敬禮をする。この日の戰ひが、最早、南京全市に傳へられたそうだ。

ある佐官が、私に向つて日本の白浪庵滔天先生には一度會つた事がある。先生（私）と滔天先生は世界の二大革命家だと御世辭を云はれた事は今でも覺へてゐる。此の滔天とは、宮崎寅藏氏の事で、宮崎龍介氏の嚴父であつて、三年程前に死んだが孫逸仙が初めて旗を上けた惠州事件明治三十三年頃から、支那革命を援助しておられた。支那の革命黨で、白浪庵滔天を知らぬ人は無かつた。

諸將はよく呑み、よく歌つた。夜の更けるのも知らないぐらひだつた。私は、あまり酒を呑んではいけないと戒めて、前に立てる兵士三十名はかりの者に守られて、都督府に歸つて寢た。一旦床に入つたが再び起きて、今日私を護衛した衞兵を集めて、銀三十元を渡して、君等もこれから一杯呑めと言つた。

この戰ひは、南京革命戰の序幕であつたが、これから、幾十の戰ひが起る（未完）

進め社だより

昭和三年終る。顧みて多事多端の年であつた。田中反動内閣が厚顔にも足場を据へ、無産階級に嵐の如き彈壓を試みた年であつた。来るべき第五十六議會においても尚彼等は、政友一新會、床次一派に渡りをつけ、反動豫算を通過せしめ、欺瞞的社會政策の言を弄して、凱歌をあげて、新しき年を迎へんとしてゐるのだ。

吾等は屈辱の昭和四年を迎へてはならぬ。田中反動内閣を倒し、内に無産運動の種々なる障害を撃破しなければならない。

◇

無産政黨の合同論は愈々白熱化した。佐野護郎氏、板倉良一氏、南三平氏の諸論文、讀者諸氏の批判はあくまで自由である。筆者も討議、批評を望んでおられる。排すべきは排せ、採るべきは採れ、あくまで階級的に進まねばならない。

◇

日本無産青年同盟準備會の結成を見る。あくまで統一的青年同盟の爲め努力するとの事である。その爲め、階級的に政黨中立をもつて臨むこととなし先づ青年同盟の統一をなし、進んで無産黨の合同にまで邁進すとの聲明、吾人はその成功を祈らざるを得ない。

◇

御大典も愈々無事に終つた。大阪進めの吉田君は一ケ月ばかりの拘留を受けて、今尚呻吟してゐる。吾人は警察の狂態に呆然たらざるを得ない。

今年初頭、同志赤尾は○○に奪はれ、今や同志上杉も○○に奪はれんとしてゐる。然も同志赤尾は、ミリタリストの專制の下に一年の懲役を受けてゐるのだ。

ミリタリズムより青年を救へ、支配階級の魔手より、鐵鎖をたち切れ、不當拘留には絶對反對だ。損害を國庫より賠償しろ。

進め研究會に参加しろ

友人を誘つて一人でも多く出席せよ

◆十二月一日は午後六時から第四回研究會だ

◆講師は日勞黨調査部長 清水武雄氏

◆問題は時局經濟問題

◆場所は進め本部

分らぬ事を準備して

進め研究會に参加せよ

◇

進め社・部は別記の如く移轉した。進め座談會、及び研究會を瀕々として行ふつもりである。希望者はどしどしハガキをもつて通知されたし。期日を報告する。

去る十一月十九日には三輪壽壯氏を聘して座談會を開いた。十二月一日には、別記の如く清水武雄氏を聘して、經濟學の講義を御願ひする、希望者は誰でもよい。どしどし押しかけて下さい。

◇

先月の豫告の通り、元の四六倍版て十錢にした。この際、支局を募集するから、別記規定に從つて大いに讀者網を張廻してもらひたい。同時に戰報と寫眞を必ず忘れるな。

◇

農村より、工場より、事務室より、店頭より、野より山より海より、潮の如きかん聲をあげて進めを守れ、

退くを知らぬ、「進め」の氣持で新しき年を迎へようではないか「進め」は吾等の戰鬪艦だ。機關銃だ。大砲だ。要塞砲だ。

田中反動内閣をぶち破れ、治安維持法を撤廢しろ、ブルヂョア議會を解散しろ、いざ、喊聲をあげて新しき年へ

◇無産者の希望と行動の出發點は本書から生れろ!

途を誤るな理論を以て武裝せよ!

山川均 **資本主義のからくり** 價 .30 送 2

本書の内容は先輩に聞け。誰でも一度は讀んでゐる。資本主義機構の完膚なき解剖だ

栃木縣議 石山寅吉 **惡税撤廢の叫び** 價 拾錢 送 貳錢

著者	書名	價	送
河野密	一生の經濟學	十錢	二錢
堺利彦	社會主義學說大要	三十錢	二錢
田所輝明	無産者經濟學	八十錢	四錢
ブハーリン	史的唯物論	一圓	六錢
猪俣津南雄	日本無産階級運動批判	十錢	二錢
荒畑勝三	勞働運動と理論闘爭	十錢	二錢
レーニン	左翼小兒病	三十錢	二錢
同	何をなすべきか	一圓	六錢
山川均	私は此ふ考へる	二十錢	二錢
同	新方向轉換論	三十錢	二錢
杉山元治郎	農民組合の理論と實際	一圓	四錢

◎その他種々目錄請求要二錢

濱野末太郎 **税金と無産者** 價 二拾錢 送 二錢

全農委員長 杉山元治郎 **農村振興策の徹底批判** 價 .10 送 2

田中反動内閣の大看板農村振興策即ち農村搾取策の徹底的批判、正體曝露 地主資本家の政府にだまされるな!

△送金は振替を必ず利用すること
△註文は必ず前金のこと。切手は一割増のこと
△多数注文は割引す問合せは凡て返信料を

出版取次 東京市芝區二本榎西町二番地 **農民勞働社** 振替東京七六二七〇番

解放の理論なくして解放はない!

◇だまされたら孫の代までいぢめられろぞ!本書は農民組合員に限り送料不要

週刊　月二十圓　一年二百圓

日本社會運動通信

發行所　東京市麹町區内幸町一の五中林ビル内
日本社會運動通信社

喜谷實母散

大黒

粟おこし　福おこし

大阪あみだ池

アサヒビール

解放群書

□毎月壹冊刊行
但三冊に一冊は禁止
□壹冊壹圓
□送代壹冊拾錢
◆印半額版もある
◇石川世界社會運動史
◇岡氏日本社會運動史
◇佐倉氏「女工虐待史」
◇山内「社會思想解説」
◇英國婦人勞働運動史
◇守田世界革命家列傳
◇尾瀬「革命藝術大系」
◇「地及憲兵火水巡査」
◆總論大家傑作集上下
◆名家戲曲集二冊各千
◆幸徳全集上「名文集」
◆幸徳全集中「番茶集」
◆中西傑作「武左一家」
◆神近市子女史傑作集
◆小川未明氏傑作選集
◆新居格氏傑作選集
◆山田清三郎氏傑作集
◆青野季吉隨筆論文集
◆近藤露國革命運動史
◆「古今東西理想郷」
◆新興消費組合虎之巻

◇東京芝區新櫻田町十九
◇振替東京三六九四四番
解放社

解放

月刊半圓但群書同様
三月一回の割で禁止
完讀希望者は要前金

解放社（價半圓（送料共））四年版

大衆年鑑日記

特
◇日記年鑑顧問官◇萬人必携贈答用
◇注文殺倒將絕品◇勞農工商大至急

『解放』十一月
『年鑑日記』號
【日大大學】

1 年鑑
◇四年東西陰陽暦◇
◇郵便小包電報料◇
◇世界各國度量衡◇
◇金利年令御歴代◇
◇世界大衆運動觀◇
◇日本大衆運動觀◇
◇大衆團體現勢解◇
◇政治經濟組合論◇
◇國家統計中百頁◇
◇團體名簿約二千◇
◇歴史年鑑二十頁◇

2 日記
◇新案日記滿壹年◇

3 附錄
◇大衆法律十原則◇
◇大衆法律年別表◇
◇各種稅則圖解表◇
◇大衆法令約百頁◇
◇必讀書籍目錄表◇

長
◇便利重寶御經濟◇美裝堅牢第三種◇
◇辭典懷中活動的◇机上便覽大衆品◇

半円版　各國社會運動史全集

◇以後廣告せず
◇時々禁止の虞
◇完賣金納五圓
◇月刊全十二冊

◇英獨佛伊（西葡）日支殖（民印）中北（歐南歐）露
◇米（南北）東（亞巴爾幹）各國一冊各參（百頁内外・四専門家分）担（半年）完結◇

小粒仁丹
◎高貴薬サフランを倍加して特製す
大粒仁丹
○歯の為に一番よい
仁丹のハミガキ
日・英・米・佛 專賣品
仁丹歯ブラシ!

お買物は三越へ

品質が良く、新流行品揃ひにて、價もまた低廉です
三越はデパートメント、ストーアですから日常生活に御必要なお品は大抵揃へてあります
・何と申しましても良い品は東京に限ります、東京でも三越の品ならばお安心してお買物が出來ます。
地方からのお註文はお手紙にて通信販賣部へ御一報下さいますれば迅速にお送り致します

三越
東京駿河町

實用本位の百貨店
高島屋
お客様本位の百貨店

東京 上野 銀座
良品廉賣
松阪屋
大阪 日本橋 名古屋
實用百貨

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和三年十二月一日發行
同 三年十一月廿八日印刷納本
第六年第十二號 毎月一回一日發行
定價 一部十錢(郵稅五厘) 半年六十錢 一年一圓(稅共)
廣告 一行一圓 一頁三百圓
發行所 東京市芝區南佐久間町二丁目十八番地(振替東京六六四三) 進め社本部
發行編輯兼印刷人 神庭仲之
大阪市東淀川區十三西之町三 大阪事務所

復刻版 進 め 第2回配本〔第5巻〜第8巻〕

1989年12月20日 発行

本体揃価格 72,000円

発行者 船橋 治

発行所 不二出版(株)

東京都文京区向丘1-2-12

〒113 ☎03(812)4433

印刷所 三 進 社

製本所 青木製本

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN